令和６年度（2024年度）

教　育　要　項 Ⅰ

１･２･３･４学年

関 西 医 科 大 学

関西医科大学　建学の精神

本学は、「慈仁心鏡」、すなわち慈しみ・めぐみ・愛を心の規範として生きる医人を育成することを建学の精神とする。

関西医科大学　大学の使命

本学は、独創的な知性と豊かな人間性を備え、社会に貢献し得る医療人を育成するとともに、深く医学、看護学及びリハビリテーション学を研究し、広く文化の発展と公共の健康・福祉に寄与することを使命とする。

関西医科大学　教育の理念

本学医学部は、建学の精神に則り、自由・自律・自学の学風のもと、生涯にわたり、学問的探究心を備え、幅広い教養と国際的視野をもち、地域社会に貢献する人間性豊かな良医を育成することを教育の理念とする。

アドミッション・ポリシー

求める学生像

医学・医療の進歩と質の向上に努め、豊かな感性と教養があり、生涯にわたり国際社会や地域社会に貢献できる医師を育成するため、次のような人材を求めています。

1. 高い倫理性と豊かな人間性を有する人
2. 医学・医療の進歩に貢献しようとする熱意を有する人
3. 医師に必要な使命感、協調性を備えた高いコミュニケーション能力を有する人
4. 課題を発掘する好奇心や探究心を有する人
5. 自己啓発・自己学習を継続する意欲を有する人

本学入学までに求める学習成果

入学する学生には、高等学校等における教育課程により習得した基礎学力を、分析力や俯瞰力により高度な学びへと展開できるように、次のような能力を求めます。

1. 生命科学・医学を学ぶための高校卒業レベルの学力
2. 論理的思考力などの総合的学習能力
3. 多様な人々と協調、協力して物事を成し遂げるためのコミュニケーション能力
4. 国際社会においても活躍できる基礎となる語学能力

入学者選抜の基本方針

医学・生命科学に深い関心を持ち、真摯な姿勢、強い熱意を持って真理を探究し、国際社会や地域社会で活躍できる医療人としての資質･適性を持つ人材を見極めるために、学力試験のみならず、小論文試験・面接試験を課し、総合的な判定に基づき、入学者を選抜します。

1. 一般選抜試験（前期・後期）

個別学力試験と面接試験を課し、それらの結果と調査書から総合的に評価します。

2. 大学入学共通テスト利用選抜試験（前期・後期）

個別学力試験に代わって、大学入学共通テストにより高等学校卒業レベルの基礎学力を有するかを評価します。さらにコミュニケーション能力、学問や研究に対する熱意や積極性、倫理観等について面接試験で評価します。

3. 大学入学共通テスト・一般選抜試験併用試験

大学入学共通テストで測る基礎学力と、個別学力試験で測る高い思考力や表現力をバランスよく兼ね備え、医学を学ぶ基盤となる科目への理解度を評価します。

4．特色選抜試験

多様な背景を持つ人の特性を評価します。国際バカロレアのディプロマ・プログラムにおいて優秀な成績を修め、多様な社会で活躍できることを評価する国際型、高い英語の能力を持ち、グローバル社会において、医学・医療の進歩に中核的役割を果たす自覚を評価する英語型、科学オリンピックにおける優秀な成績に加え、医学や生命現象に対する探究心と独創性を評価する科学型の 3 種類があります。また、適性能力試験により思考力や応用力を、面接、小論文により意欲、資質、表現力を見極め、総合的に評価します。

5．特別枠学校推薦型選抜試験（専願制）

本学の建学の精神に賛同し、高等学校での成績において所定の基準を満たす志願者を対象に、適性能力試験により思考力や応用力を、推薦書、面接、小論文、調査書により特別枠に対する理解・意欲、高等学校での取り組みや医学研究に対する考えを評価します。

6．一般枠学校推薦型選抜試験

適性能力試験により思考力や応用力を、推薦書、面接、小論文、調査書により意欲、資質、表現力を見極め、総合的に評価します。

7．地域枠学校推薦型選抜試験（専願制）

地域医療に従事しようとする意欲溢れる学生を選抜することを目的に、適性能力試験により思考力や応用力を、推薦書、面接、小論文、調査書により、地域医療に対する意欲、資質を総合的に評価します。

カリキュラム・ポリシー

関西医科大学医学部は、卒業の認定に関する方針（ディプロマ・ポリシー）に基づき、個々の学生が水準以上の知識と技術を身につけて、慈しみ・めぐみ・愛を心の規範として豊かな人間性を有し医療と福祉に貢献できる良医を育成するため、学生が修得しなければならない以下の教育課程を編成します。

・ 医療プロフェッショナリズムの実践

1～2 学年および 4 学年の「医療プロフェッショナリズムの実践」では、医療人としての人間性、プロフェッショナリズム・倫理観、多職種連携の基礎を修得する。

・ 準備教育と基礎医学の水平・垂直統合型コース

1～2 学年の「生体の構造と機能」、1、3 学年の「理工学からみた医療・医学」、1 学年の「健康科学」、2 学年の「病因と病態」、「感染と生体防御」では、幅広い教養、医学的知識、科学的思考・問題解決能力を修得する。

1～2 学年および 4 学年の「人間と社会」では、幅広い教養、コミュニケーション能力を修得する。また、4 学年では「社会医学」を学び、医学的知識、科学的思考・問題解決能力に加えて、保健・医療・福祉を理解していく。

1～2 学年の「医学英語」では、国際的視野を持ち国際的に貢献できる幅広い教養を修得する。

1 学年の「リベラルアーツセミナー」では、医学的知識の基礎、幅広い教養を修得する。

・ 臓器別系統別コース

3～4 学年の「臓器別系統別コース」では、1～2 学年の学びをもとに医学的知識・技能、科学的思考・問題解決能力を修得する。

・ 科学的思考・問題解決の実践

1～4 学年の「LPBL」では、プロフェッショナリズム・倫理観、医学的知識、問題解決能力を修得する。

1～3 学年の「リサーチマインドの実践」では、教養・基礎・臨床医学的知識が実際の研究室、医療現場等でどのように活用・実践されているかを自らが体験し、自主的に学ぶことにより科学的思考・問題解決能力を修得する。

・ 臨床実習

1～4 学年の「臨床実習入門」では、医療人としての人間性、プロフェッショナリズム・倫理観、患者中心・共感の姿勢、地域医療に貢献する姿勢を修得する。4 学年には、共用試験 CBT、臨床実習前 OSCE を受験する。この試験に合格し、4 学年の進級要件を満たせば、「クリニカル・クラークシップ」を開始する。

4～6 学年の「クリニカル・クラークシップ」では、附属病院、国内外の関連病院で初期臨床研修につながる参加型臨床実習を実施していく。「クリニカル・クラークシップ」はこれまでの学びの集大成であり、全てのディプロマ・ポリシーを総合的に修得する。クリニカル・クラークシップ終了後、臨床実習後 OSCE や卒業試験でこれまでの学習が総合的に評価される。

ディプロマ・ポリシー

各学年での講義、及び実習等における試験と総合（卒業）試験に合格のうえ「履修修了認定に関する細則」に定める進級要件を満たし、建学の精神、教育の理念に則り、以下の教育目標を全て満たしたと認められる学生に学位を授与します。

１．医療人としての人間性

(1) 慈しみ・めぐみ・愛を心の規範として豊かな人間性を身につける。

２．プロフェッショナリズム・倫理観

(1) 医師としての職責を自覚し、倫理観・使命感・責任感を涵養し、省察的態度をもって行動ができる。

(2) 法令や社会的規範を遵守し、責任ある社会人として行動ができる。

３．コミュニケーション能力

(1) コミュニケーション能力を持ち、患者・家族・同僚と良好な人間関係を築くことができる。

４．患者中心・共感の姿勢

(1) 共感的姿勢を持ち、患者の立場になって行動する態度を身につける。

５．医学的知識・技能

(1) 国際的・社会的に貢献できる幅広い教養、特定分野にとらわれない医学的知識を修得する。

(2) 根拠に基づいた医療を基盤とする臨床推論を実践できる。

(3) 良質で安全な医療に立脚した基本的診療能力・技能を修得する。

６．科学的思考・問題解決能力

(1) 科学的な観察力・思考力・表現力を身につけ、自ら問題を解決することができる。

７．自己主導型学習・生涯学習

(1) 自己主導型学習を実践し、向上心を持ち生涯にわたり学習を継続する姿勢を身につける。

８．多職種連携

(1) リーダーシップを発揮し、多職種連携による医療・研究を実践できる。

９．国際的視野・地域医療

(1) 国際的視野を持ち、医療人として国際社会に貢献できる。

(2) 地域における保健・医療・福祉を理解し、医療人として地域社会に貢献できる。

医学部のアセスメント・ポリシー

医学部では、DP（学位授与の方針）に定める学生が修得すべき資質や能力を教育課程レベル・科目レベルで次の指標により測定し、その達成状況を評価、検証していきます。

<table>
<tr><th></th><th>DPに定める資質・能力</th><th>入学時</th><th>在学中</th><th>卒業時</th></tr>
<tr><td rowspan="2">教育課程レベル</td><td rowspan="9">DP1：医療人としての人間性
（慈仁心鏡）
DP2：プロフェッショナリズム・
倫理観
DP3：コミュニケーション能力
DP4：患者中心・共感の姿勢
DP5：医学的知識・技能
DP6：科学的思考・問題解決能力
DP7：自己主導型学習・生涯学習
DP8：多職種連携</td><td rowspan="9">各種入学試験
入学時調査票の記載事項
入学前課題</td><td>修得単位数
GPA
進級率・休学率・退学率
総合試験成績
（プレCBT総合試験,
ｸﾘﾆｶﾙ・ｸﾗｰｸｼｯﾌﾟ総合試験(中間試験を含む。))
共用試験成績
（CBT,臨床実習前OSCE）
Mini-CEX
360度評価
実習評価（ルーブリック等）
TOEFL ITP成績
学修実態調査
態度・人間性評価</td><td>卒業試験成績
臨床実習後OSCE
医師国家試験合格率
進級率・休学率・退学率
ストレート卒業率
態度・人間性評価</td></tr>
<tr><td>科目レベル</td><td>各科目評価（講義、実習）
出席、試験成績、レポート
ポートフォリオ等
授業評価アンケート</td><td>各科目評価（講義、実習）
出席、試験成績、レポート
ポートフォリオ等</td></tr>
<tr><td colspan="2">DP9：国際的視野・地域医療</td></tr>
</table>

関西医科大学の科目ナンバリング

科目ナンバリングとは

科目ナンバリングとは、授業科目に適切な番号を付し分類することで、学修の段階や順序等を表し、教育課程の体系性を明示する仕組みのことをいいます。本学医学部、看護学部、リハビリテーション学部で開講するすべての授業科目に付すコードを、次の 6 種類の英数字で表すこととしています。

ナンバリングコードの構成

M	A	01	A	1	01
①	②	③	④	⑤	⑥

① 学部コード
② 科目区分-1
③ 科目区分-2（科目の種類）
④ 授業形態コード
⑤ 配当年次コード（レベルコード）
⑥ 識別コード

ナンバリングコード対応表

① 学部コード

学部コード	学部
M	医学部
N	看護学部
R	リハビリテーション学部

② 科目区分-1

【医学部】

科目区分-1	科目区分
A	コース
Z	臨床実習

【看護学部】

科目区分-1	科目区分
A	基礎科目
B	専門基礎科目
C	専門科目（助産選択）

【リハビリテーション学部】

科目区分-1	科目区分
A	基礎教養科目
B	専門基礎科目
C	専門科目

③　科目区分-2（科目の種類）

【医学部】　コース、臨床実習の通し番号を示す。

【看護学部・リハビリテーション学部】　科目の分類を示す。

④　授業形態コード

【医学部】

科目区分-1	科目区分
1	コース
A,B,C,P	ユニット
S	試験
Z	臨床実習

【看護学部・リハビリテーション学部】

科目区分-1	科目区分
A	講義・演習
B	実習

⑤　配当年次コード（レベルコード）

当該科目の配当年次を示す。

⑥　識別コード

【医学部】　サブユニットの通し番号を示す。

【看護学部・リハビリテーション学部】　科目の分類ごとの通し番号を示す。

以上

建学の精神
アドミッション・ポリシー
カリキュラム・ポリシー
ディプロマ・ポリシー
アセスメント・ポリシー
関西医科大学の科目ナンバリング

目次

はじめに ……1
履修系統図 ……2
関西医科大学における６年間の教育課程 ……3
特別枠入学者（１０名）・大阪府地域枠入学者（５名）・
　静岡県地域枠入学者（８名）・新潟県地域枠入学者（２名）のカリキュラム ……5
研究医養成コース・研究マインド育成プログラムのカリキュラム ……6

ディプロマ・ポリシーと各科目の関連／コア・カリキュラム一覧 ……7

関西医科大学学則 ……126
医学部科目及び単位表（学則･別表第１） ……133
教室、講座及び領域（学則･別表第４） ……136
医学部履修修了認定に関する細則（令和６年度以降入学者） ……137
医学部履修修了認定に関する細則（令和５年度以降入学者） ……143
医学部履修修了認定に関する細則（令和４年度以降入学者） ……149
医学部履修修了認定に関する細則（令和２年度以降入学者） ……155
医学部履修修了認定に関する細則（平成３０年度以降入学者） ……161
成績開示及び異議申立てに関する規則 ……167
気象警報発令時等における試験･講義・実習の取扱いについて ……170
試験時の交通機関延着について ……171
令和６年度教務関係日程表 ……172
令和６年度週当り時間割 ……173
令和６年度１学年試験日程 ……184
令和６年度２学年試験日程 ……185
令和６年度３学年試験日程 ……186
令和６年度４学年試験日程 ……187
講義室･実習室年間使用予定表 ……188
枚方学舎フロア構成図 ……189
学生用接遇マニュアル ……190
個人身だしなみチェックリスト ……194
附属図書館本館利用案内 ……195

は　じ　め　に

医学部教務部長　岡　田　英　孝

本学は 1928 年に大阪女子高等医学専門学校として牧野に創設されました。その後、大阪女子医科大学、1954 年からは男女共学の関西医科大学として、8,900 人余りの卒業生を送り出してきました。医療系複合大学として、医学部のみならず、看護学部とリハビリテーション学部を新たに設置して、多職種連携に対応できる広い視野で学べる環境を整えています。

本学の教育理念は、建学の精神「慈仁心鏡」に則った、「人間性豊かな良医の育成」です。すなわち、医学および医療の専門職として必要な知識と技術を身につけると同時に幅広い教養と人間性を兼ね備えた医師を育てることです。この目的を達成するために、2013 年度に 6 年一貫教育の枠組みの中でバランスのとれたカリキュラムを確立しました。さらに、2018 年度 1 学年からは全学年にわたって教養教育と専門教育を水平・垂直に統合して、新しい医学教育・社会のニーズに対応したコース制のカリキュラムを導入しています。

1，2 学年の皆さんは、教養と基礎医学が統合されたコースを受講します。例えば、「生体の構造と機能」では、生物学、化学、医化学、解剖学、生理学の垣根を越えて統合的に学ぶことになります。英語の学習は 6 年間続き、外国の文化や科学の最新情報を知り、世界を舞台に活躍する医師になるために国際性を身につけます。

1 学年から、態度・人間性教育を学ぶことも将来の医療人として重要なため、「医療プロフェッショナリズムの実践」を受講し、プロフェッショナリズムについて考える機会を設けます。1 学年では、医療の現場を早期から体験する「白衣の日 P1、臨床実習入門 P1b（早期医療実習）」を、2 学年ではチーム医療の重要性を学ぶ「臨床実習入門 P2（看護実習）」を行います。

3 学年の皆さんは、臓器別系統別コース（臨床医学講義）がはじまります。この時期に臨床知識を十分に習得してもらいます。3 学年の 3 学期には「リサーチマインドの実践 P3（配属実習）」として、4 週間をかけて国内外の基礎・臨床の研究室で科学する目を養い、地域実習などを通して社会における医療の役割などを学びます。学年末には、プレ CBT 総合試験を実施し、1 年間の総復習を行って知識の定着を確実なものにします。総復習で得た知識は、次学年以降の重要な基盤となり、4 学年で受験する共用試験 CBT（知識を見るコンピュータ試験）の早期対策としても有効なものです。

4 学年の皆さんは、3 学年に引き続き臓器別系統別コースを受講し、臨床知識を醸成します。また、共用試験 CBT と臨床実習前 OSCE（臨床技能を見る実地試験）があり、これらに合格しなければなりません。4 学年の 3 学期から、いよいよ参加型臨床実習（クリニカル・クラークシップ）が始まります。

5，6 学年では、学内実習と学外、海外、他大学での実習にも参加でき、広い視野をもってさらに必要な医学・医療の実力を身につけ、態度・人間性に磨きをかけることになります。臨床実習を終えて、卒業試験①②にパスした後に、最終段階の国家試験に合格して、晴れて医師となります。

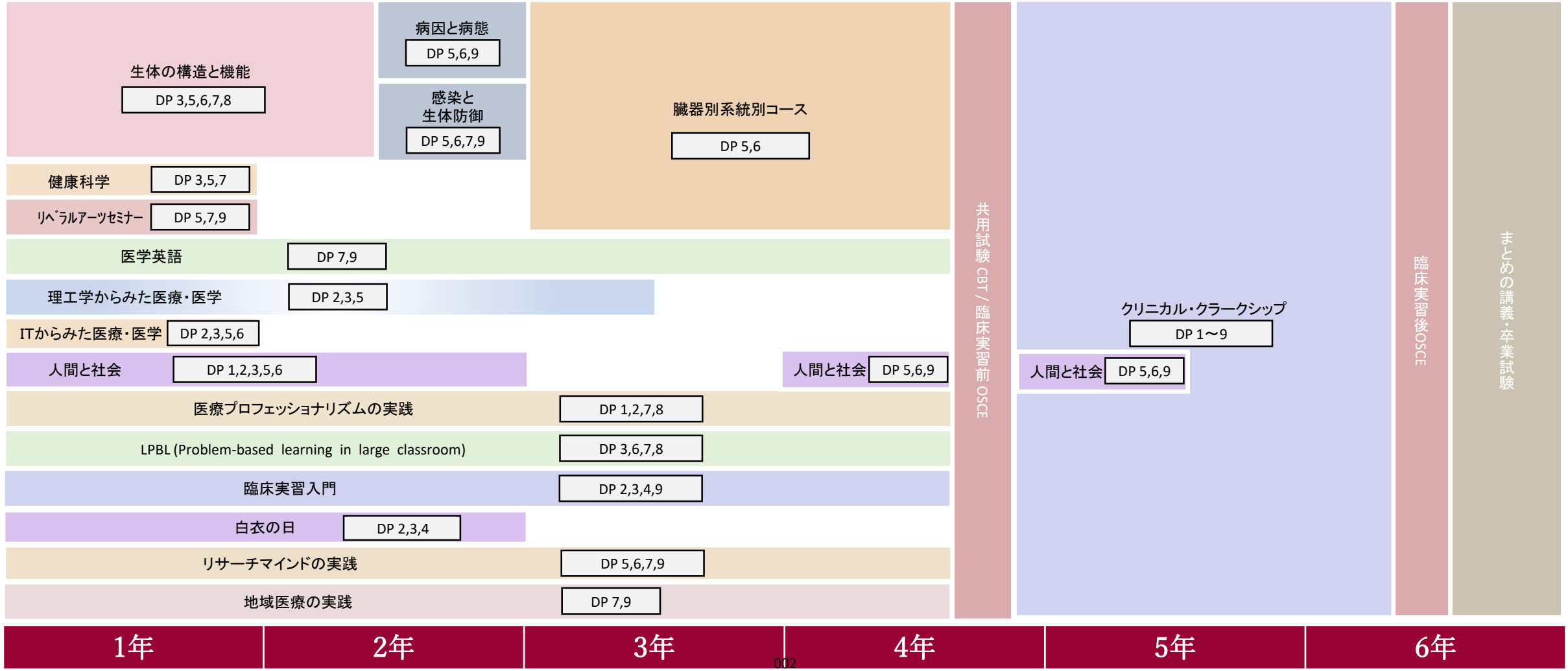
このように、長い期間をかけて、多くのことを学ぶのは、それだけ医師が社会に対して責任の重い職業だからです。日常の弛まざる学習の継続があって、はじめて到達できるものです。さらに将来、臨床医だけでなく、基礎・社会医学、臨床医学の各領域で、教育者や研究者にもなって欲しいと期待しています。

最後に母校、関西医大で学べたことを誇りに思い、立派な良医になってください。

医学部 履修系統図

ディプロマポリシー（DP）

1 医療人としての人間性（慈仁心鏡）
2 プロフェッショナリズム・倫理観
3 コミュニケーション能力
4 患者中心・共感の姿勢
5 医学的知識・技能
6 科学的思考・問題解決能力
7 自己主導型学習・生涯学習
8 多職種連携
9 国際的視野・地域医療



関西医科大学における6年間の教育課程

令和6年度から、新カリキュラムを適用します。以下に教育課程を示します（※新設科目においては、令和7年度以降に順次開講するものも含む）。コースの下にユニットを設けユニットによる評価を行います。試験はユニット又はユニットに属するサブユニットで各々試験を行い、総合的にユニットの評価を確定します。

学年	主な教育内容	コース・ユニット・科目名	評　　価
1	教養・基礎統合コース	生体の構造と機能 A1、B1、P1a、P1b 理工学からみた医療・医学 A1、P1 ITからみた医療・医学 A1 人間と社会 A1、P1a、P1b 医療プロフェッショナリズムの実践 A1 医学英語 A1 健康科学 A1 リベラルアーツセミナー A1 臨床実習入門 P1b 白衣の日 P1 LPBL A1 リサーチマインドの実践 A1 地域医療の実践 A1	・各ユニット内の科目試験 ・レポート評価 ・実習評価 ・発表評価 ・セミナー評価
2		生体の構造と機能 B2、C2、P2b、P2c、P2d 人間と社会 A2 医療プロフェッショナリズムの実践 A2 医学英語 A2 臨床実習入門 P2 白衣の日 P2 LPBL A2 病因と病態 A2 感染と生体防御 A2、P2 リサーチマインドの実践 A2 地域医療の実践 A2	・各ユニット内の科目試験 ・レポート評価 ・実習評価 ・発表評価
3	臓器別系統別コース	医学総論、放射線診断学、臨床腫瘍学、腎尿路、感染症、循環器、呼吸器、消化器、血液・移植、神経、免疫・膠原病・アレルギー、内分泌・代謝、臓器再建外科・再生医療、運動器、リハビリテーション・地域包括医療、救急・中毒	・各コース/各ユニット内の科目試験 ・レポート評価 ・実習評価 ・発表評価 ・プレCBT総合試験
	教養・基礎統合コース	理工学からみた医療・医学 B3 医学英語 A3 臨床実習入門 P3 LPBL A3 リサーチマインドの実践 P3 地域医療の実践 A3	

<table>
<tr><th>学年</th><th>主な教育内容</th><th>コース・ユニット・科目名</th><th>評　　価</th></tr>
<tr><td rowspan="3">4</td><td>臓器別系統別コース</td><td>麻酔･集中治療、眼･視覚、耳鼻咽喉･頭頸部外科、皮膚、精神･行動、周産期･生殖器、小児の成長･発達、全人的医療･行動科学</td><td rowspan="2">・各コース/各ユニット内の科目試験
・レポート評価
・実習評価
・発表評価
・共用試験CBT
・臨床実習前OSCE</td></tr>
<tr><td>教養・基礎統合コース</td><td>人間と社会 A4
医学英語 A4
医療プロフェッショナリズムの実践 A4
臨床実習入門 P4a、P4b、P4c
LPBL A4
地域医療の実践 P4</td></tr>
<tr><td rowspan="2">5</td><td rowspan="2">臨床実習</td><td>内科学(１)、内科学(２)、内科学(３)、呼吸器腫瘍内科学、心療内科学、神経内科学、精神神経科学、小児科学、外科学、心臓血管外科学、呼吸器外科学、脳神経外科学、整形外科学、リハビリテーション医学、形成外科学、皮膚科学、腎泌尿器外科学、眼科学、耳鼻咽喉科・頭頸部外科学、放射線科学、産科学・婦人科学、麻酔科学、病態検査学、救急医学
人間と社会 P5</td><td>・各科の実習評価
・中間試験
・クリニカル・クラークシップ総合試験</td></tr>
<tr><td>6</td><td>選択制臨床実習
まとめの講義と卒業試験</td><td>選択制臨床実習、自由選択制臨床実習、
まとめの講義</td><td>･各科､各施設の実習評価
・臨床実習後OSCE
・卒業試験①②</td></tr>
</table>

特別枠入学者(10 名)・大阪府地域枠入学者(5 名)・静岡県地域枠入学者(8 名)・新潟県地域枠入学者(2 名)のカリキュラム

平成30年度から導入した新カリキュラムでは、特別枠入学者(10名)、大阪府地域枠入学者(5名)、静岡県地域枠入学者(8名)、新潟県地域枠入学者(2名)に対し、下記のカリキュラムを実施する予定です。

学年	カリキュラム内容
1	臨床実習入門 P1b において、体験実習を課す。また、医師不足科、地域に関して学ぶ「地域医療の実践 A1」の受講を義務付ける。
2	地域包括医療に焦点を当て、「地域医療の実践 A1」で学んだことを基盤として、地域医療・地域保健の在り方について学ぶ「地域医療の実践 A2」の受講を義務付ける。
3	地域包括医療に焦点を当て、「地域医療の実践 A1」、「地域医療の実践 A2」で学んだことを基盤として、さらに深く地域医療について理解を深めるため、実習を主体とした「地域医療の実践 A3」の受講を義務付ける。
4	「地域医療の実践 A1」、「地域医療の実践 A2」、「地域医療の実践 A3」で学んだことを基盤として、さらに深く地域医療についての実状を理解するために、夏期休暇期間に実習科目「地域医療の実践 P4」の受講を義務付ける。
5・6	診療参加型臨床実習を行う。学内選択制臨床実習においては「1 内科・2 内科・3 内科」から 1 つ、「小児科または産婦人科」から 1 つ、「外科・救急」から 1 つの計 12 週間を必須選択とする。学外臨床実習においては、本学関連の医師不足地域・診療科施設、または地域枠を設置する各府県が指定する医療機関で 4 週間の実習を行う。

※5・6 学年は選択制臨床実習において実施する。

研究医養成コース・研究マインド育成プログラムのカリキュラム

研究医養成コース(4名)に対し、4月の新入生オリエンテーション時に説明を行い、準備カリキュラムである『研究マインド育成プログラム』に参加する学生を10～20名程度募集し、下記のカリキュラムを実施する予定です。

■研究マインド育成プログラム

学年	カリキュラム内容
1	【必須カリキュラム】 選択必修コースであるリベラルアーツセミナーにおいて、『リサーチマインドの実践セミナー』を必須受講し、近年のヒトゲノム完全解読をきっかけとして大きく変化してきている“ヒト”“疾患”“治療”等の最新の情報を、グループ学習で学ぶ。 【希望者のみ】 連携大学である奈良県立医科大学・大阪医科薬科大学・兵庫医科大学・神戸大学・藤田医科大学合同で開催するコンソーシアム合宿に参加し、他大学との交流を図る。 希望する講座・部門・教室に自由に出入りし、医学研究・実験方法の指導を受ける。 2 学年から始まる研究医養成コースへの履修を申請する。これまで自身が研究してきた内容を発表し、審査を受ける。

■研究医養成コース

学年	カリキュラム内容
2	【必須カリキュラム】 連携大学である奈良県立医科大学・大阪医科薬科大学・兵庫医科大学・神戸大学・藤田医科大学合同で開催するコンソーシアム合宿に参加し、他大学との交流を図る。 希望する講座・部門・教室に自由に出入りし、医学研究・実験方法の指導を受ける。
3	【必須カリキュラム】 連携大学である奈良県立医科大学・大阪医科薬科大学・兵庫医科大学・神戸大学・藤田医科大学合同で開催するコンソーシアム合宿に参加し、研究内容を発表する。 希望する講座・部門・教室に自由に出入りし、医学研究・実験方法の指導を受ける。 医学研究、実験方法の指導を受けることが理由の場合は、臓器別系統別コースの講義欠席を 1/2 に至らない範囲まで認める。(ただし、指導教員の証明する書類が必要。詳細は別に定める。)
4	【必須カリキュラム】 連携大学である奈良県立医科大学・大阪医科薬科大学・兵庫医科大学・神戸大学・藤田医科大学合同で開催するコンソーシアム合宿に参加し、研究内容を発表する。 希望する講座・部門・教室に自由に出入りし、医学研究・実験方法の指導を受ける。 医学研究、実験方法の指導を受けることが理由の場合は、臓器別系統別コースの講義欠席を 1/2 に至らない範囲まで認める。(ただし、指導教員の証明する書類が必要。詳細は別に定める。)
5、6	【必須カリキュラム】 6 学年時に研究発表を行い、研究修了報告書を提出し、審査を受ける。 審査に合格した者を当該コースの修了者と定める。 【希望者のみ】 連携大学である奈良県立医科大学・大阪医科薬科大学・兵庫医科大学・神戸大学・藤田医科大学合同で開催するコンソーシアム合宿に参加し、研究内容を発表する。

ディプロマ・ポリシー と 各科目の関連

第一学年		医療ﾌﾟﾛﾌｪｯｼｮﾅﾘｽﾞﾑの実践	臨床実習入門	LP BL	地域医療の実践	白衣の日	生体の構造と機能									理工学からみた医療・医学			ITからみた医療・医学	人間と社会						医学英語			健康科学	リベラルアーツセミナー																							
		A1	P1b	A1	A1	P1	A1					B1		P1a	P1b	A1		P1	A1	A1				P1a	P1b	A1			A1	A1																							
							(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(1)	(2)			(1)	(2)			(1)	(2)	(3)	(4)			(1)	(2)	(3)		栄養	ﾘﾃｰﾁ	光学	基物	統計	生物	英語	カウ	運動	医社	基生	医Ⅰ	医Ⅱ	辞書	数理	仏セ	生化	保健	記憶	感覚	ｲﾉﾍ	独セ	医教	TOEFL	細胞
1. 医療人としての人間性	(1)慈しみ・めぐみ・愛を心の規範として豊かな人間性を身につける。	○		○		○																			○																													
2. プロフェッショナリズム・倫理観	(1)医師としての職責を自覚し、倫理観・使命感・責任感を涵養し、省察的態度をもって行動ができる。	○	○	○		○														○																																			
	(2)法令や社会的規範を遵守し、責任ある社会人として行動ができる。	○		○		○												○	○																						○													
3. コミュニケーション能力	(1)コミュニケーション能力を持ち、患者・家族・同僚と良好な人間関係を築くことができる。	○	○	○		○									○			○	○					○				○	○		○	○		○		○				○						○	○			○			
4. 患者中心・共感の姿勢	(1)共感的姿勢を持ち、患者の立場になって行動する態度を身につける。		○	○		○																																																
5. 医学的知識・技能	(1)国際的・社会的に貢献できる幅広い教養、特定分野にとらわれない医学的知識を修得する。	○					○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○						○		○	○	○		○					○	○										○		○
	(2)根拠に基づいた医療を基盤とする臨床推論を実践できる。																																																					
	(3)良質で安全な医療に立脚した基本的診療能力・技能を修得する。																																																					
6. 科学的思考・問題解決能力	(1)科学的な観察力・思考力・表現力を身につけ、自ら問題を解決することができる。			○			○	○	○	○	○	○	○	○	○			○	○					○	○					○	○	○	○	○	○			○	○		○		○	○		○		○	○	○		○		○
7. 自己主導型学習・生涯学習	(1)自己主導型学習を実践し、向上心を持ち生涯にわたり学習を継続する姿勢を身につける。	○			○	○	○	○	○	○	○	○	○													○	○	○	○			○	○	○				○		○	○		○					○				○		○
8. 多職種連携	(1)リーダーシップを発揮し、多職種連携による医療・研究を実践できる。	○		○		○						○	○																																										
9. 国際的視野・地域医療	(1)国際的視野を持ち、医療人として国際社会に貢献できる。				○																					○	○	○								○									○		○						○	
	(2)地域における保健・医療・福祉を理解し、医療人として地域社会に貢献できる。	○	○		○																																				○													

ディプロマ・ポリシー と 各科目の関連

第二学年		医療プロフェッショナリズムの実践	臨床実習入門	LPBL	リサーチマインドの実践	地域医療の実践	生体の構造と機能									人間と社会	医学英語	病因と病態		感染と生体防御			
		A2	P2	A2	A2	A2	B2	C2				P2b		P2c	P2d	A2	A2	A2		A2			P2
								(1)	(2)	(3)	(4)	(1)	(2)					(1)	(2)	(1)	(2)	(4)	
1. 医療人としての人間性	(1)慈しみ・めぐみ・愛を心の規範として豊かな人間性を身につける。	○										○	○										
2. プロフェッショナリズム・倫理観	(1)医師としての職責を自覚し、倫理観・使命感・責任感を涵養し、省察的態度をもって行動ができる。	○	○									○	○										
	(2)法令や社会的規範を遵守し、責任ある社会人として行動ができる。	○										○	○										
3. コミュニケーション能力	(1)コミュニケーション能力を持ち、患者・家族・同僚と良好な人間関係を築くことができる。		○	○								○	○		○		○						
4. 患者中心・共感の姿勢	(1)共感的姿勢を持ち、患者の立場になって行動する態度を身につける。		○																				
5. 医学的知識・技能	(1)国際的・社会的に貢献できる幅広い教養、特定分野にとらわれない医学的知識を修得する。				○		○	○	○	○	○	○	○	○		○			○	○	○	○	
	(2)根拠に基づいた医療を基盤とする臨床推論を実践できる。																						
	(3)良質で安全な医療に立脚した基本的診療能力・技能を修得する。																						
6. 科学的思考・問題解決能力	(1)科学的な観察力・思考力・表現力を身につけ、自ら問題を解決することができる。			○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○			○	○			○	○
7. 自己主導型学習・生涯学習	(1)自己主導型学習を実践し、向上心を持ち生涯にわたり学習を継続する姿勢を身につける。			○	○	○	○	○			○						○					○	
8. 多職種連携	(1)リーダーシップを発揮し、多職種連携による医療・研究を実践できる。	○		○			○																
9. 国際的視野・地域医療	(1)国際的視野を持ち、医療人として国際社会に貢献できる。				○												○		○		○		
	(2)地域における保健・医療・福祉を理解し、医療人として地域社会に貢献できる。					○																	

ディプロマ・ポリシー と 各科目の関連

第三学年		臨床実習入門	ＬＰＢＬ	リサーチマインドの実践	地域医療の実践	理工学からみた医療・医学	内科総論	外科総論	放射線診断学	臨床腫瘍学	腎尿路	感染症	循環器	呼吸器	消化器	運動器	神経	免疫・膠原病・アレルギー	内分泌・代謝	臓器再建外科・再生医療	血液・移植	リハビリ・地域包括医療	救急・中毒
		P3	A3	P3	A3	B3																	
1. 医療人としての人間性	(1) 慈しみ・めぐみ・愛を心の規範として豊かな人間性を身につける。																						
2. プロフェッショナリズム・倫理観	(1) 医師としての職責を自覚し、倫理観・使命感・責任感を涵養し、省察的態度をもって行動ができる。	○																					
	(2) 法令や社会的規範を遵守し、責任ある社会人として行動ができる。																						
3. コミュニケーション能力	(1) コミュニケーション能力を持ち、患者・家族・同僚と良好な人間関係を築くことができる。	○																					
4. 患者中心・共感の姿勢	(1) 共感的姿勢を持ち、患者の立場になって行動する態度を身につける。	○																					
5. 医学的知識・技能	(1) 国際的・社会的に貢献できる幅広い教養、特定分野にとらわれない医学的知識を修得する。		○				○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	(2) 根拠に基づいた医療を基盤とする臨床推論を実践できる。		○			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	(3) 良質で安全な医療に立脚した基本的診療能力・技能を修得する。																					○	
6. 科学的思考・問題解決能力	(1) 科学的な観察力・思考力・表現力を身につけ、自ら問題を解決することができる。		○	○			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
7. 自己主導型学習・生涯学習	(1) 自己主導型学習を実践し、向上心を持ち生涯にわたり学習を継続する姿勢を身につける。		○	○	○	○									○								
8. 多職種連携	(1) リーダーシップを発揮し、多職種連携による医療・研究を実践できる。																					○	
9. 国際的視野・地域医療	(1) 国際的視野を持ち、医療人として国際社会に貢献できる。																					○	
	(2) 地域における保健・医療・福祉を理解し、医療人として地域社会に貢献できる。				○																	○	

ディプロマ・ポリシー と 各科目の関連

第四学年		医療プロフェッショナリズムの実践	臨床実習入門			LPBL	地域医療の実践	人間と社会			麻酔・集中治療	眼・視覚	耳鼻・頭頸部	皮膚	精神・行動	周産期・生殖器	小児の成長・発達	全人的医療・行動科学
		A4	P4a	P4b	P4c	A4	P4	A4										
								(1)	(2)	(3)								
1. 医療人としての人間性	(1)慈しみ・めぐみ・愛を心の規範として豊かな人間性を身につける。				○													
2. プロフェッショナリズム・倫理観	(1)医師としての職責を自覚し、倫理観・使命感・責任感を涵養し、省察的態度をもって行動ができる。			○	○			○	○	○								
	(2)法令や社会的規範を遵守し、責任ある社会人として行動ができる。			○	○			○	○	○								
3. コミュニケーション能力	(1)コミュニケーション能力を持ち、患者・家族・同僚と良好な人間関係を築くことができる。																	○
4. 患者中心・共感の姿勢	(1)共感的姿勢を持ち、患者の立場になって行動する態度を身につける。				○													○
5. 医学的知識・技能	(1)国際的・社会的に貢献できる幅広い教養、特定分野にとらわれない医学的知識を修得する。		○		○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	(2)根拠に基づいた医療を基盤とする臨床推論を実践できる。				○	○		○			○	○	○	○	○	○	○	○
	(3)良質で安全な医療に立脚した基本的診療能力・技能を修得する。		○	○	○													
6. 科学的思考・問題解決能力	(1)科学的な観察力・思考力・表現力を身につけ、自ら問題を解決することができる。					○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
7. 自己主導型学習・生涯学習	(1)自己主導型学習を実践し、向上心を持ち生涯にわたり学習を継続する姿勢を身につける。					○	○	○										
8. 多職種連携	(1)リーダーシップを発揮し、多職種連携による医療・研究を実践できる。	○		○	○													
9. 国際的視野・地域医療	(1)国際的視野を持ち、医療人として国際社会に貢献できる。																	
	(2)地域における保健・医療・福祉を理解し、医療人として地域社会に貢献できる。			○			○	○		○		○						

1学年

第1層 語	第1層 説明	第2層	第2層 語	第3層	第3層 語	第4層	第4層 語
プロフェッショナリズム	人の命に深く関わり健康を守るという医師の職責を十分に自覚し、多様性・人間性を尊重し、利他的な態度で診療にあたりながら、医師としての道を究めていく。	PR-01	信頼	PR-01-01	誠実さ	PR-01-01-01	患者や社会に対して誠実である行動とはどのようなものかを考え、そのように行動する（利益相反等）。
	人の命に深く関わり健康を守るという医師の職責を十分に自覚し、多様性・人間性を尊重し、利他的な態度で診療にあたりながら、医師としての道を究めていく。	PR-01		PR-01-01		PR-01-01-02	社会から信頼される専門職集団の一員であるためにはどのように行動すべきかを考え、行動する。
	人の命に深く関わり健康を守るという医師の職責を十分に自覚し、多様性・人間性を尊重し、利他的な態度で診療にあたりながら、医師としての道を究めていく。	PR-01		PR-01-02	省察	PR-01-02-01	自分自身の限界を適切に認識し行動する。
	人の命に深く関わり健康を守るという医師の職責を十分に自覚し、多様性・人間性を尊重し、利他的な態度で診療にあたりながら、医師としての道を究めていく。	PR-01		PR-01-02		PR-01-02-02	他者からのフィードバックを適切に受け入れる。
	人の命に深く関わり健康を守るという医師の職責を十分に自覚し、多様性・人間性を尊重し、利他的な態度で診療にあたりながら、医師としての道を究めていく。	PR-02	思いやり	PR-02-01	思いやり	PR-02-01-01	患者を含めた他者に思いやりをもって接する。
	人の命に深く関わり健康を守るという医師の職責を十分に自覚し、多様性・人間性を尊重し、利他的な態度で診療にあたりながら、医師としての道を究めていく。	PR-02		PR-02-01		PR-02-01-02	他者に思いやりをもって接することができない場合の原因・背景を考える。
	人の命に深く関わり健康を守るという医師の職責を十分に自覚し、多様性・人間性を尊重し、利他的な態度で診療にあたりながら、医師としての道を究めていく。	PR-02		PR-02-02	他者理解と自己理解	PR-02-02-01	自身の想像力の限界を認識した上で、他者を理解することに努める。
	人の命に深く関わり健康を守るという医師の職責を十分に自覚し、多様性・人間性を尊重し、利他的な態度で診療にあたりながら、医師としての道を究めていく。	PR-02		PR-02-02		PR-02-02-02	他者を適切に理解するための妨げとなる自分や自集団の偏見とはどのようなものか考え、意識して行動する。
	人の命に深く関わり健康を守るという医師の職責を十分に自覚し、多様性・人間性を尊重し、利他的な態度で診療にあたりながら、医師としての道を究めていく。	PR-02		PR-02-03	品格・礼儀	PR-02-03-01	医師に求められる品格とはどのようなものかを考え、それを備えるように努める。
	人の命に深く関わり健康を守るという医師の職責を十分に自覚し、多様性・人間性を尊重し、利他的な態度で診療にあたりながら、医師としての道を究めていく。	PR-02		PR-02-03		PR-02-03-02	礼儀正しく振る舞う。
	人の命に深く関わり健康を守るという医師の職責を十分に自覚し、多様性・人間性を尊重し、利他的な態度で診療にあたりながら、医師としての道を究めていく。	PR-03	教養	PR-03-01	教養	PR-03-01-01	人の生命に深く関わる医師に相応しい教養を身につける。
	人の命に深く関わり健康を守るという医師の職責を十分に自覚し、多様性・人間性を尊重し、利他的な態度で診療にあたりながら、医師としての道を究めていく。	PR-03		PR-03-01		PR-03-01-02	答えのない問いについて考え続ける。
	人の命に深く関わり健康を守るという医師の職責を十分に自覚し、多様性・人間性を尊重し、利他的な態度で診療にあたりながら、医師としての道を究めていく。	PR-04	生命倫理	PR-04-01	臨床倫理	PR-04-01-01	生と死に関わる倫理的問題の概要を理解している。
	人の命に深く関わり健康を守るという医師の職責を十分に自覚し、多様性・人間性を尊重し、利他的な態度で診療にあたりながら、医師としての道を究めていく。	PR-04		PR-04-01		PR-04-01-02	多様な価値観を理解して、多職種と連携し、自己決定権を含む患者の権利を尊重する。
	人の命に深く関わり健康を守るという医師の職責を十分に自覚し、多様性・人間性を尊重し、利他的な態度で診療にあたりながら、医師としての道を究めていく。	PR-04		PR-04-01		PR-04-01-03	診療現場における倫理的問題について、倫理学の考え方に依拠し、分析した上で、自身の考えを述べることができる。
総合的に 患者・生活者をみる姿勢	患者の抱える問題を臓器横断的に捉えた上で、心理社会的背景も踏まえ、ニーズに応じて柔軟に自身の専門領域にとどまらずに診療を行い、個人と社会のウェルビーイングを実現する	GE-01	全人的な視点とアプローチ	GE-01-01	臓器横断的な診療	GE-01-01-01	臓器横断的に医学的課題を捉えることができる。
	患者の抱える問題を臓器横断的に捉えた上で、心理社会的背景も踏まえ、ニーズに応じて柔軟に自身の専門領域にとどまらずに診療を行い、個人と社会のウェルビーイングを実現する	GE-01		GE-01-01		GE-01-01-02	適切な医療機関や診療科につなぐ重要性を理解している。
	患者の抱える問題を臓器横断的に捉えた上で、心理社会的背景も踏まえ、ニーズに応じて柔軟に自身の専門領域にとどまらずに診療を行い、個人と社会のウェルビーイングを実現する	GE-01		GE-01-01		GE-01-01-03	基本的なフレームワーク（頻度・重症度・緊急度、解剖学的アプローチ、病態生理学的アプローチ、二重過程理論、事前確率等）を用いて臨床推論を行うことができる。
	患者の抱える問題を臓器横断的に捉えた上で、心理社会的背景も踏まえ、ニーズに応じて柔軟に自身の専門領域にとどまらずに診療を行い、個人と社会のウェルビーイングを実現する	GE-01		GE-01-01		GE-01-01-04	主訴に応じて、必要な医療面接・身体診察・検査を実施できる。
	患者の抱える問題を臓器横断的に捉えた上で、心理社会的背景も踏まえ、ニーズに応じて柔軟に自身の専門領域にとどまらずに診療を行い、個人と社会のウェルビーイングを実現する	GE-01		GE-01-01		GE-01-01-05	診断がつかない健康問題やその介入方法の概要を理解している。
	患者の抱える問題を臓器横断的に捉えた上で、心理社会的背景も踏まえ、ニーズに応じて柔軟に自身の専門領域にとどまらずに診療を行い、個人と社会のウェルビーイングを実現する	GE-01		GE-01-01		GE-01-01-06	多疾患が併存した状態及び複数臓器にまたがる疾患について、その介入方法の概要を理解している。
	患者の抱える問題を臓器横断的に捉えた上で、心理社会的背景も踏まえ、ニーズに応じて柔軟に自身の専門領域にとどまらずに診療を行い、個人と社会のウェルビーイングを実現する	GE-01		GE-01-01		GE-01-01-07	ポリファーマシーとその介入方法の概要を理解している。
	患者の抱える問題を臓器横断的に捉えた上で、心理社会的背景も踏まえ、ニーズに応じて柔軟に自身の専門領域にとどまらずに診療を行い、個人と社会のウェルビーイングを実現する	GE-01		GE-01-02	生物・心理・社会的な問題への包括的な視点	GE-01-02-01	身体・心理・社会の問題を統合したアプローチを理解している。
	患者の抱える問題を臓器横断的に捉えた上で、心理社会的背景も踏まえ、ニーズに応じて柔軟に自身の専門領域にとどまらずに診療を行い、個人と社会のウェルビーイングを実現する	GE-01		GE-01-02		GE-01-02-02	個人・家族の双方への影響を踏まえたアプローチを理解している。
	患者の抱える問題を臓器横断的に捉えた上で、心理社会的背景も踏まえ、ニーズに応じて柔軟に自身の専門領域にとどまらずに診療を行い、個人と社会のウェルビーイングを実現する	GE-01		GE-01-03	患者中心の医療	GE-01-03-01	個々の患者の医療への期待、解釈モデル、健康観を聞き出すことができる。
	患者の抱える問題を臓器横断的に捉えた上で、心理社会的背景も踏まえ、ニーズに応じて柔軟に自身の専門領域にとどまらずに診療を行い、個人と社会のウェルビーイングを実現する	GE-01		GE-01-03		GE-01-03-02	患者の社会的背景（経済的・制度的側面等）が病いに及ぼす影響を理解している。
	患者の抱える問題を臓器横断的に捉えた上で、心理社会的背景も踏まえ、ニーズに応じて柔軟に自身の専門領域にとどまらずに診療を行い、個人と社会のウェルビーイングを実現する	GE-01		GE-01-03		GE-01-03-03	医療の継続性（時間・情報・関係等）がもたらす影響の概要を理解している。
	患者の抱える問題を臓器横断的に捉えた上で、心理社会的背景も踏まえ、ニーズに応じて柔軟に自身の専門領域にとどまらずに診療を行い、個人と社会のウェルビーイングを実現する	GE-01		GE-01-04	根拠に基づいた医療<EBM>	GE-01-04-01	根拠に基づいた医療（EBM）の5つのステップを列挙できる。
	患者の抱える問題を臓器横断的に捉えた上で、心理社会的背景も踏まえ、ニーズに応じて柔軟に自身の専門領域にとどまらずに診療を行い、個人と社会のウェルビーイングを実現する	GE-01		GE-01-04		GE-01-04-02	PICO（PECO）を用いた問題の定式化ができる。
	患者の抱える問題を臓器横断的に捉えた上で、心理社会的背景も踏まえ、ニーズに応じて柔軟に自身の専門領域にとどまらずに診療を行い、個人と社会のウェルビーイングを実現する	GE-01		GE-01-04		GE-01-04-03	データベースや二次文献からのエビデンス、診療ガイドラインを検索することができる。
	患者の抱える問題を臓器横断的に捉えた上で、心理社会的背景も踏まえ、ニーズに応じて柔軟に自身の専門領域にとどまらずに診療を行い、個人と社会のウェルビーイングを実現する	GE-01		GE-01-04		GE-01-04-04	得られたエビデンスの批判的吟味ができる。
	患者の抱える問題を臓器横断的に捉えた上で、心理社会的背景も踏まえ、ニーズに応じて柔軟に自身の専門領域にとどまらずに診療を行い、個人と社会のウェルビーイングを実現する	GE-01		GE-01-04		GE-01-04-05	診療ガイドラインの種類、推奨の強さ、使用上の注意を理解している。
	患者の抱える問題を臓器横断的に捉えた上で、心理社会的背景も踏まえ、ニーズに応じて柔軟に自身の専門領域にとどまらずに診療を行い、個人と社会のウェルビーイングを実現する	GE-01		GE-01-04		GE-01-04-06	患者の個別性や状況を考慮してエビデンスの適用について考えることができる。
	患者の抱える問題を臓器横断的に捉えた上で、心理社会的背景も踏まえ、ニーズに応じて柔軟に自身の専門領域にとどまらずに診療を行い、個人と社会のウェルビーイングを実現する	GE-01		GE-01-05	行動科学	GE-01-05-01	行動科学に関する知識・理論・面接法を予防医療、診断、治療、ケアに適用できる。
	患者の抱える問題を臓器横断的に捉えた上で、心理社会的背景も踏まえ、ニーズに応じて柔軟に自身の専門領域にとどまらずに診療を行い、個人と社会のウェルビーイングを実現する	GE-01		GE-01-05		GE-01-05-02	適切な環境調整や認知行動療法を提案できる。
	患者の抱える問題を臓器横断的に捉えた上で、心理社会的背景も踏まえ、ニーズに応じて柔軟に自身の専門領域にとどまらずに診療を行い、個人と社会のウェルビーイングを実現する	GE-01		GE-01-05		GE-01-05-03	健康に関する行動経済学の知識を活用できる。
	患者の抱える問題を臓器横断的に捉えた上で、心理社会的背景も踏まえ、ニーズに応じて柔軟に自身の専門領域にとどまらずに診療を行い、個人と社会のウェルビーイングを実現する	GE-01		GE-01-06	緩和ケア	GE-01-06-01	緩和ケアの概念を理解した上で、全人的苦痛（身体的苦痛、心理社会的苦痛、スピリチュアルペイン）を評価できる。
	患者の抱える問題を臓器横断的に捉えた上で、心理社会的背景も踏まえ、ニーズに応じて柔軟に自身の専門領域にとどまらずに診療を行い、個人と社会のウェルビーイングを実現する	GE-01		GE-01-06		GE-01-06-02	がん・非がんの症状緩和の薬物療法や非薬物療法の概要を理解している。
	患者の抱える問題を臓器横断的に捉えた上で、心理社会的背景も踏まえ、ニーズに応じて柔軟に自身の専門領域にとどまらずに診療を行い、個人と社会のウェルビーイングを実現する	GE-01		GE-01-06		GE-01-06-03	救急・集中治療における治療・ケアに関して、人生の最終段階における医療（エンド・オブ・ライフ・ケア）を踏まえた患者・家族とのコミュニケーションの意義を理解し、頻度の高い苦痛とその対処法・ケアを計画できる。

第4層	医療プロフェッショナリズムの実践	臨床実習入門	白衣の日	LPBL	地域医療の実践	生体の構造と機能									理工学からみた医療・医学			ITからみた医療・医学	人間と社会						医学英語			健康科学
	A1	P1b	P1	A1	A1	A1					B1		P1a	P1b	A1		P1	A1	A1				P1a	P1b	A1			A1
						(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(1)	(2)			(1)	(2)			(1)	(2)	(3)	(4)			(1)	(2)	(3)	
PR-01-01-01	○	○	○	○										○					○									
PR-01-01-02	○	○	○	○										○														
PR-01-02-01	○	○	○	○										○														
PR-01-02-02	○	○	○	○										○									○					
PR-02-01-01	○	○	○	○										○										○				
PR-02-01-02	○	○	○	○										○														
PR-02-02-01	○	○	○	○										○												○	○	
PR-02-02-02	○	○	○	○										○								○						○
PR-02-03-01	○	○	○	○										○														
PR-02-03-02	○	○	○	○										○														
PR-03-01-01	○	○	○	○							○																	
PR-03-01-02	○	○	○	○										○														
PR-04-01-01																			○									
PR-04-01-02																			○	○								
PR-04-01-03																			○									
GE-01-01-01																												
GE-01-01-02																												
GE-01-01-03																												
GE-01-01-04																												
GE-01-01-05																												
GE-01-01-06																												
GE-01-01-07																												
GE-01-02-01																												
GE-01-02-02																												
GE-01-03-01																				○								
GE-01-03-02																										○	○	
GE-01-03-03																												
GE-01-04-01																												
GE-01-04-02																												
GE-01-04-03																												
GE-01-04-04						○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○												
GE-01-04-05																												
GE-01-04-06																												
GE-01-05-01																				○	○	○	○					
GE-01-05-02																					○	○	○	○				
GE-01-05-03																												
GE-01-06-01																												
GE-01-06-02																												
GE-01-06-03																												

第4層	リベラルアーツセミナー																								
	A1																								
	数理	光学	栄養	生化	時間	カウ	感覚	運動	TOEFL	英語	記憶	医教	辞書	統計学	基物	基生	ﾘｻｰﾁ	ｲﾉﾍﾞ	保健	独セ	仏セ	医経Ⅰ	医経Ⅱ	医社	細胞生物
PR-01-01-01															○			○				○			
PR-01-01-02															○			○				○			
PR-01-02-01		○													○							○			
PR-01-02-02		○				○									○							○	○		
PR-02-01-01		○													○			○							
PR-02-01-02		○																○							
PR-02-02-01		○													○			○				○			
PR-02-02-02															○			○				○			
PR-02-03-01																		○							
PR-02-03-02		○						○							○			○							
PR-03-01-01					○		○										○	○							
PR-03-01-02							○	○				○					○	○				○	○		
PR-04-01-01																								○	
PR-04-01-02																		○						○	
PR-04-01-03																									
GE-01-01-01																									
GE-01-01-02																									
GE-01-01-03																									
GE-01-01-04																									
GE-01-01-05																									
GE-01-01-06																									
GE-01-01-07																									
GE-01-02-01																						○			
GE-01-02-02																									
GE-01-03-01																						○			
GE-01-03-02																						○			
GE-01-03-03																						○			
GE-01-04-01																						○			
GE-01-04-02																									
GE-01-04-03																						○	○		
GE-01-04-04	○	○	○		○							○				○	○					○			○
GE-01-04-05																									
GE-01-04-06																									
GE-01-05-01						○						○										○			
GE-01-05-02						○		○																	
GE-01-05-03																						○			
GE-01-06-01																									
GE-01-06-02																									
GE-01-06-03																									

1学年

第1層 語	第1層 説明	第2層	第2層 語	第3層	第3層 語	第4層	第4層 語	医療プロフェッショナリズムの実践 A1	臨床実習入門 P1b	白衣の日 P1	LPBL A1	地域医療の実践 A1	生体の構造と機能 A1 (1)	生体の構造と機能 A1 (2)	生体の構造と機能 A1 (3)	生体の構造と機能 A1 (4)	生体の構造と機能 A1 (5)	生体の構造と機能 B1 (1)	生体の構造と機能 B1 (2)	生体の構造と機能 P1a	生体の構造と機能 P1b	理工学からみた医療・医学 A1 (1)	理工学からみた医療・医学 A1 (2)	理工学からみた医療・医学 P1	ITからみた医療・医学 A1	人間と社会 A1 (1)	人間と社会 A1 (2)	人間と社会 A1 (3)	人間と社会 A1 (4)	人間と社会 P1a	人間と社会 P1b	医学英語 A1 (1)	医学英語 A1 (2)	医学英語 A1 (3)	健康科学 A1	リベラルアーツセミナー A1 数理	光学	栄養	生化	時間	カウ	感覚	運動	TOEFL	英語	記憶	医教	辞書	統計学	基物	基生	ﾘｻｰﾁ	ｲﾉﾍﾞ	保健	独セ	仏セ	医経Ⅰ	医経Ⅱ	医社	細胞生物
総合的に 患者・生活者をみる姿勢	患者の抱える問題を臓器横断的に捉えた上で、心理社会的背景も踏まえ、ニーズに応じて柔軟に自身の専門領域にとどまらずに診療を行い、個人と社会のウェルビーイングを実現する。	GE-01		GE-01-06		GE-01-06-04	慢性疼痛の病態、経過、治療を理解した上で、その対処法・ケアを計画できる。																																																					
	患者の抱える問題を臓器横断的に捉えた上で、心理社会的背景も踏まえ、ニーズに応じて柔軟に自身の専門領域にとどまらずに診療を行い、個人と社会のウェルビーイングを実現する。	GE-01		GE-01-06		GE-01-06-05	患者の苦痛や不安感に配慮しながら、就学・就労、育児・介護等との両立支援を含め患者と家族に対して誠実で適切な支援を計画できる。																																																	○			
	患者の抱える問題を臓器横断的に捉えた上で、心理社会的背景も踏まえ、ニーズに応じて柔軟に自身の専門領域にとどまらずに診療を行い、個人と社会のウェルビーイングを実現する。	GE-02	地域の視点とアプローチ	GE-02-01	プライマリ・ケアにおける基本概念	GE-02-01-01	地域の健康格差を理解し、医療へのアクセス障害等のヘルスケアシステム上の課題を適切に判断できる。	○	○			○																																												○	○		
	患者の抱える問題を臓器横断的に捉えた上で、心理社会的背景も踏まえ、ニーズに応じて柔軟に自身の専門領域にとどまらずに診療を行い、個人と社会のウェルビーイングを実現する。	GE-02		GE-02-01		GE-02-01-02	患者の所属する地域や文化的な背景が健康に関連することを理解している。	○	○			○																																												○	○		
	患者の抱える問題を臓器横断的に捉えた上で、心理社会的背景も踏まえ、ニーズに応じて柔軟に自身の専門領域にとどまらずに診療を行い、個人と社会のウェルビーイングを実現する。	GE-02		GE-02-02	地域におけるプライマリ・ケア	GE-02-02-01	地域(都会・郊外・へき地・離島を含む)の実情に応じた医療と医師の偏在(地域、診療科及び臨床・非臨床)の現状の概要を理解している。	○	○			○																																												○			
	患者の抱える問題を臓器横断的に捉えた上で、心理社会的背景も踏まえ、ニーズに応じて柔軟に自身の専門領域にとどまらずに診療を行い、個人と社会のウェルビーイングを実現する。	GE-02		GE-02-02		GE-02-02-02	地域の医療体制や診療機関の規模・役割に応じて、医療者として柔軟に対応できる。	○	○			○																																												○			
	患者の抱える問題を臓器横断的に捉えた上で、心理社会的背景も踏まえ、ニーズに応じて柔軟に自身の専門領域にとどまらずに診療を行い、個人と社会のウェルビーイングを実現する。	GE-02		GE-02-02		GE-02-02-03	患者の居住する地域における各疾患の罹患率、有病率等の指標を用い、臨床推論で活用できる。	○	○			○																																												○			
	患者の抱える問題を臓器横断的に捉えた上で、心理社会的背景も踏まえ、ニーズに応じて柔軟に自身の専門領域にとどまらずに診療を行い、個人と社会のウェルビーイングを実現する。	GE-02		GE-02-02		GE-02-02-04	地域の量的指標(人口構成等)や質的情報(地理的・歴史的・経済的・文化的背景)を収集し、地域の健康課題を説明できる。	○	○			○																																												○	○		
	患者の抱える問題を臓器横断的に捉えた上で、心理社会的背景も踏まえ、ニーズに応じて柔軟に自身の専門領域にとどまらずに診療を行い、個人と社会のウェルビーイングを実現する。	GE-02		GE-02-02		GE-02-02-05	地域の住民や医療を提供する上で必要となる専門職と協働した地域の健康増進活動の意義の概要を理解している。	○	○			○																																												○	○		
	患者の抱える問題を臓器横断的に捉えた上で、心理社会的背景も踏まえ、ニーズに応じて柔軟に自身の専門領域にとどまらずに診療を行い、個人と社会のウェルビーイングを実現する。	GE-02		GE-02-03	医療資源に応じたプライマリ・ケア	GE-02-03-01	地域の人的・物的資源に応じた医療・サービスを提案できる。	○	○			○																																												○	○		
	患者の抱える問題を臓器横断的に捉えた上で、心理社会的背景も踏まえ、ニーズに応じて柔軟に自身の専門領域にとどまらずに診療を行い、個人と社会のウェルビーイングを実現する。	GE-02		GE-02-03		GE-02-03-02	離島・へき地や医師不足地域等の医療資源が限られた状況での医療提供体制及び保健・福祉・介護の体制の概要を理解している。	○	○			○																																												○	○		
	患者の抱える問題を臓器横断的に捉えた上で、心理社会的背景も踏まえ、ニーズに応じて柔軟に自身の専門領域にとどまらずに診療を行い、個人と社会のウェルビーイングを実現する。	GE-02		GE-02-04	在宅におけるプライマリ・ケア	GE-02-04-01	在宅医療の現状と適応を踏まえて、その必要性や課題の概要を理解している。	○	○			○																																												○			
	患者の抱える問題を臓器横断的に捉えた上で、心理社会的背景も踏まえ、ニーズに応じて柔軟に自身の専門領域にとどまらずに診療を行い、個人と社会のウェルビーイングを実現する。	GE-02		GE-02-04		GE-02-04-02	在宅における緩和ケアや人生の最終段階における医療、看取りの在り方と課題の概要を理解している。	○	○			○																																												○			
	患者の抱える問題を臓器横断的に捉えた上で、心理社会的背景も踏まえ、ニーズに応じて柔軟に自身の専門領域にとどまらずに診療を行い、個人と社会のウェルビーイングを実現する。	GE-03	人生の視点とアプローチ	GE-03-01	人生のプロセス	GE-03-01-01	ライフサイクル(胎児期、新生児期、乳幼児期、学童期、思春期、青年期、成人期、壮年期、老年期、終末期)の視点で、患者の課題を検討できる。																						○																												○			
	患者の抱える問題を臓器横断的に捉えた上で、心理社会的背景も踏まえ、ニーズに応じて柔軟に自身の専門領域にとどまらずに診療を行い、個人と社会のウェルビーイングを実現する。	GE-03		GE-03-01		GE-03-01-02	ライフステージやライフイベントの視点で、健康管理と環境・生活習慣改善を検討できる。																											○								○														○			
	患者の抱える問題を臓器横断的に捉えた上で、心理社会的背景も踏まえ、ニーズに応じて柔軟に自身の専門領域にとどまらずに診療を行い、個人と社会のウェルビーイングを実現する。	GE-03		GE-03-01		GE-03-01-03	家族ライフサイクル・家族成員間関係・家族システムの視点で、患者・家族間の問題(虐待・ネグレクト等)を指摘できる。																						○																															
	患者の抱える問題を臓器横断的に捉えた上で、心理社会的背景も踏まえ、ニーズに応じて柔軟に自身の専門領域にとどまらずに診療を行い、個人と社会のウェルビーイングを実現する。	GE-03		GE-03-02	小児期全般	GE-03-02-01	小児期の身体の成長と生理機能の発達について理解している。																											○																									
	患者の抱える問題を臓器横断的に捉えた上で、心理社会的背景も踏まえ、ニーズに応じて柔軟に自身の専門領域にとどまらずに診療を行い、個人と社会のウェルビーイングを実現する。	GE-03		GE-03-02		GE-03-02-02	小児期の正常な精神運動発達について理解している。																						○																															
	患者の抱える問題を臓器横断的に捉えた上で、心理社会的背景も踏まえ、ニーズに応じて柔軟に自身の専門領域にとどまらずに診療を行い、個人と社会のウェルビーイングを実現する。	GE-03		GE-03-02		GE-03-02-03	小児期の愛着形成や保育法・栄養法について理解している。																																																					
	患者の抱える問題を臓器横断的に捉えた上で、心理社会的背景も踏まえ、ニーズに応じて柔軟に自身の専門領域にとどまらずに診療を行い、個人と社会のウェルビーイングを実現する。	GE-03		GE-03-02		GE-03-02-04	小児期の栄養面での特性や食育について理解している。																																																					
	患者の抱える問題を臓器横断的に捉えた上で、心理社会的背景も踏まえ、ニーズに応じて柔軟に自身の専門領域にとどまらずに診療を行い、個人と社会のウェルビーイングを実現する。	GE-03		GE-03-02		GE-03-02-05	小児期の免疫発達と感染症の関係について理解している。																																																					
	患者の抱える問題を臓器横断的に捉えた上で、心理社会的背景も踏まえ、ニーズに応じて柔軟に自身の専門領域にとどまらずに診療を行い、個人と社会のウェルビーイングを実現する。	GE-03		GE-03-02		GE-03-02-06	小児期から成人期への医療の移行について、現状と課題を理解している。																																																					
	患者の抱える問題を臓器横断的に捉えた上で、心理社会的背景も踏まえ、ニーズに応じて柔軟に自身の専門領域にとどまらずに診療を行い、個人と社会のウェルビーイングを実現する。	GE-03		GE-03-03	胎児期、新生児期、乳幼児期	GE-03-03-01	胎児の循環・呼吸の生理的特徴と出生時の変化について理解している。																																																						
	患者の抱える問題を臓器横断的に捉えた上で、心理社会的背景も踏まえ、ニーズに応じて柔軟に自身の専門領域にとどまらずに診療を行い、個人と社会のウェルビーイングを実現する。	GE-03		GE-03-03		GE-03-03-02	新生児・乳幼児の生理的特徴について理解している。																																																					
	患者の抱える問題を臓器横断的に捉えた上で、心理社会的背景も踏まえ、ニーズに応じて柔軟に自身の専門領域にとどまらずに診療を行い、個人と社会のウェルビーイングを実現する。	GE-03		GE-03-04	学童期、思春期、青年期、成人期	GE-03-04-01	思春期発現の機序と性徴について理解している。														○																																									
	患者の抱える問題を臓器横断的に捉えた上で、心理社会的背景も踏まえ、ニーズに応じて柔軟に自身の専門領域にとどまらずに診療を行い、個人と社会のウェルビーイングを実現する。	GE-03		GE-03-04		GE-03-04-02	学童期、思春期と関連する課題(学業、友達等に関わる課題)について理解している。																																																					
	患者の抱える問題を臓器横断的に捉えた上で、心理社会的背景も踏まえ、ニーズに応じて柔軟に自身の専門領域にとどまらずに診療を行い、個人と社会のウェルビーイングを実現する。	GE-03		GE-03-04		GE-03-04-03	思春期、青年期と関連する課題(生殖、いのち等に関わる課題)について理解している。																																																				
	患者の抱える問題を臓器横断的に捉えた上で、心理社会的背景も踏まえ、ニーズに応じて柔軟に自身の専門領域にとどまらずに診療を行い、個人と社会のウェルビーイングを実現する。	GE-03		GE-03-04		GE-03-04-04	成人期と関連する課題(メンタルヘルス、仕事、運動習慣、不妊等に関わる課題)について理解している。																											○																									
	患者の抱える問題を臓器横断的に捉えた上で、心理社会的背景も踏まえ、ニーズに応じて柔軟に自身の専門領域にとどまらずに診療を行い、個人と社会のウェルビーイングを実現する。	GE-03		GE-03-05	老年期	GE-03-05-01	老化に伴う臓器や身体機能の変化、それに伴う生理的変化、老化機構について理解している。														○							○																																	
	患者の抱える問題を臓器横断的に捉えた上で、心理社会的背景も踏まえ、ニーズに応じて柔軟に自身の専門領域にとどまらずに診療を行い、個人と社会のウェルビーイングを実現する。	GE-03		GE-03-05		GE-03-05-02	高齢者総合機能評価を実施できる。																																																					
	患者の抱える問題を臓器横断的に捉えた上で、心理社会的背景も踏まえ、ニーズに応じて柔軟に自身の専門領域にとどまらずに診療を行い、個人と社会のウェルビーイングを実現する。	GE-03		GE-03-05		GE-03-05-03	老年症候群(歩行障害・転倒、認知機能障害、排泄障害、栄養障害、摂食嚥下障害等)について理解している。																											○																									
	患者の抱える問題を臓器横断的に捉えた上で、心理社会的背景も踏まえ、ニーズに応じて柔軟に自身の専門領域にとどまらずに診療を行い、個人と社会のウェルビーイングを実現する。	GE-03		GE-03-05		GE-03-05-04	フレイル、サルコペニア、ロコモティブシンドロームの概念、その対処法、予防について理解している。																											○																									
	患者の抱える問題を臓器横断的に捉えた上で、心理社会的背景も踏まえ、ニーズに応じて柔軟に自身の専門領域にとどまらずに診療を行い、個人と社会のウェルビーイングを実現する。	GE-03		GE-03-05		GE-03-05-05	国際生活機能分類について理解している。																																																					
	患者の抱える問題を臓器横断的に捉えた上で、心理社会的背景も踏まえ、ニーズに応じて柔軟に自身の専門領域にとどまらずに診療を行い、個人と社会のウェルビーイングを実現する。	GE-03		GE-03-05		GE-03-05-06	高齢者の栄養マネジメントについて理解している。																																																					
	患者の抱える問題を臓器横断的に捉えた上で、心理社会的背景も踏まえ、ニーズに応じて柔軟に自身の専門領域にとどまらずに診療を行い、個人と社会のウェルビーイングを実現する。	GE-03		GE-03-05		GE-03-05-07	日常生活動作に応じた介護と環境整備について理解している。																																																○			
	患者の抱える問題を臓器横断的に捉えた上で、心理社会的背景も踏まえ、ニーズに応じて柔軟に自身の専門領域にとどまらずに診療を行い、個人と社会のウェルビーイングを実現する。	GE-03		GE-03-06	終末期	GE-03-06-01	死の概念と定義や生物学的な個体の死について理解している。																																																					
	患者の抱える問題を臓器横断的に捉えた上で、心理社会的背景も踏まえ、ニーズに応じて柔軟に自身の専門領域にとどまらずに診療を行い、個人と社会のウェルビーイングを実現する。	GE-03		GE-03-06		GE-03-06-02	死に至る身体と心の過程の知識を活用して、患者や家族がもつ死生観を配慮できる。																																																					
	患者の抱える問題を臓器横断的に捉えた上で、心理社会的背景も踏まえ、ニーズに応じて柔軟に自身の専門領域にとどまらずに診療を行い、個人と社会のウェルビーイングを実現する。	GE-03		GE-03-06		GE-03-06-03	人生の最終段階における医療(エンド・オブ・ライフ・ケア)について理解している。																																																					
	患者の抱える問題を臓器横断的に捉えた上で、心理社会的背景も踏まえ、ニーズに応じて柔軟に自身の専門領域にとどまらずに診療を行い、個人と社会のウェルビーイングを実現する。	GE-03		GE-03-06		GE-03-06-04	小児の終末期の特殊性について理解している。																																																						

1学年

第1層 語	第1層 説明	第2層	第2層 語	第3層	第3層 語	第4層	第4層 語
総合的に 患者・生活者をみる姿勢	患者の抱える問題を臓器横断的に捉えた上で、心理社会的背景も踏まえ、ニーズに応じて柔軟に自身の専門領域にとどまらずに診療を行い、個人と社会のウェルビーイングを実現する。	GE-03	社会の視点とアプローチ	GE-03-06		GE-03-06-05	ACP、事前指示書遵守、延命治療、蘇生不要指示、尊厳死と安楽死、治療の中止と差し控え等について理解している。
	患者の抱える問題を臓器横断的に捉えた上で、心理社会的背景も踏まえ、ニーズに応じて柔軟に自身の専門領域にとどまらずに診療を行い、個人と社会のウェルビーイングを実現する。	GE-03		GE-03-06		GE-03-06-06	悲嘆のケア（グリーフケア）について理解している。
	患者の抱える問題を臓器横断的に捉えた上で、心理社会的背景も踏まえ、ニーズに応じて柔軟に自身の専門領域にとどまらずに診療を行い、個人と社会のウェルビーイングを実現する。	GE-04		GE-04-01	医学的・文化的・社会的文脈における健康	GE-04-01-01	患者の健康観や病いに対する価値観を理解するうえで、健康に関わる知識（定義、健康寿命、健康生成論、ウェルビーイング、QOL、SDH、ICF、UHC等）を活用し、健康問題に対する包括的アプローチが実践できる。
	患者の抱える問題を臓器横断的に捉えた上で、心理社会的背景も踏まえ、ニーズに応じて柔軟に自身の専門領域にとどまらずに診療を行い、個人と社会のウェルビーイングを実現する。	GE-04		GE-04-01		GE-04-01-02	患者が受療に至るまでにどのような過程があるかを生活者の視点から説明できる。
	患者の抱える問題を臓器横断的に捉えた上で、心理社会的背景も踏まえ、ニーズに応じて柔軟に自身の専門領域にとどまらずに診療を行い、個人と社会のウェルビーイングを実現する。	GE-04		GE-04-01		GE-04-01-03	栄養やエネルギー代謝に関する知識や統計情報をもとに個人の栄養状態を評価でき、本人や家族の生活や価値観も踏まえた上で食生活の支援を計画できる。
	患者の抱える問題を臓器横断的に捉えた上で、心理社会的背景も踏まえ、ニーズに応じて柔軟に自身の専門領域にとどまらずに診療を行い、個人と社会のウェルビーイングを実現する。	GE-04		GE-04-01		GE-04-01-04	身体活動、スポーツ医・科学（競技スポーツ以外も含む）の知識や統計情報をもとに個人の生活活動を評価でき、本人や家族の生活や価値観も踏まえた上で活動や運動の支援を計画できる。
	患者の抱える問題を臓器横断的に捉えた上で、心理社会的背景も踏まえ、ニーズに応じて柔軟に自身の専門領域にとどまらずに診療を行い、個人と社会のウェルビーイングを実現する。	GE-04		GE-04-01		GE-04-01-05	休養や心の健康について知識や統計情報をもとに評価し、本人や家族の生活や価値観も踏まえた上で支援を計画できる。
	患者の抱える問題を臓器横断的に捉えた上で、心理社会的背景も踏まえ、ニーズに応じて柔軟に自身の専門領域にとどまらずに診療を行い、個人と社会のウェルビーイングを実現する。	GE-04		GE-04-01		GE-04-01-06	喫煙や飲酒に関して、喫煙や飲酒による健康影響の知識や統計情報をもとに、本人や家族の生活や価値観を踏まえた評価や支援を計画できる。
	患者の抱える問題を臓器横断的に捉えた上で、心理社会的背景も踏まえ、ニーズに応じて柔軟に自身の専門領域にとどまらずに診療を行い、個人と社会のウェルビーイングを実現する。	GE-04		GE-04-01		GE-04-01-07	健康の社会的決定要因とアドボカシーの概要について理解している。
	患者の抱える問題を臓器横断的に捉えた上で、心理社会的背景も踏まえ、ニーズに応じて柔軟に自身の専門領域にとどまらずに診療を行い、個人と社会のウェルビーイングを実現する。	GE-04		GE-04-02	社会科学	GE-04-02-01	人の言動の意味をその人の人生史・生活史や社会関係の文脈の中において検討できる。
	患者の抱える問題を臓器横断的に捉えた上で、心理社会的背景も踏まえ、ニーズに応じて柔軟に自身の専門領域にとどまらずに診療を行い、個人と社会のウェルビーイングを実現する。	GE-04		GE-04-02		GE-04-02-02	文化人類学・社会学（主に医療人類学・医療社会学）の視点で、患者やその家族と生活環境・地域社会・医療機関等との関係について説明できる。
	患者の抱える問題を臓器横断的に捉えた上で、心理社会的背景も踏まえ、ニーズに応じて柔軟に自身の専門領域にとどまらずに診療を行い、個人と社会のウェルビーイングを実現する。	GE-04		GE-04-02		GE-04-02-03	文化人類学・社会学（主に医療人類学・医療社会学）の理論や概念を用いて、患者の判断や行動に関わる諸事象を説明できる。
生涯にわたって 共に学ぶ姿勢	安全で質の高い医療を実践するために絶えず省察し、他の医師・医療者と共に研鑽しながら、生涯にわたって自律的に学び続け、積極的に教育に携わっていく。	LL-01	生涯学習	LL-01-01	生涯学習の実践	LL-01-01-01	医学知識が常に変わりゆくことを認識し、現時点での最善の医学情報にアクセスできる。
	安全で質の高い医療を実践するために絶えず省察し、他の医師・医療者と共に研鑽しながら、生涯にわたって自律的に学び続け、積極的に教育に携わっていく。	LL-01		LL-01-01		LL-01-01-02	学修・経験したことを省察し、自己の課題を明確にできる。
	安全で質の高い医療を実践するために絶えず省察し、他の医師・医療者と共に研鑽しながら、生涯にわたって自律的に学び続け、積極的に教育に携わっていく。	LL-01		LL-01-02	キャリア開発	LL-01-02-01	自身の職業観を涵養しながら、主体的にキャリアを構築していくことができる。
	安全で質の高い医療を実践するために絶えず省察し、他の医師・医療者と共に研鑽しながら、生涯にわたって自律的に学び続け、積極的に教育に携わっていく。	LL-01		LL-01-02		LL-01-02-02	自らの心身を大切にできる。
	安全で質の高い医療を実践するために絶えず省察し、他の医師・医療者と共に研鑽しながら、生涯にわたって自律的に学び続け、積極的に教育に携わっていく。	LL-02	医療者教育	LL-02-01	医療者教育の実践	LL-02-01-01	後輩や同僚等と協働して学修できる。
	安全で質の高い医療を実践するために絶えず省察し、他の医師・医療者と共に研鑽しながら、生涯にわたって自律的に学び続け、積極的に教育に携わっていく。	LL-02		LL-02-01		LL-02-01-02	後輩や同僚等に対して、適切にフィードバックできる。
	安全で質の高い医療を実践するために絶えず省察し、他の医師・医療者と共に研鑽しながら、生涯にわたって自律的に学び続け、積極的に教育に携わっていく。	LL-02		LL-02-01		LL-02-01-03	成人学習理論を活用し、後輩や同僚等に対して教育を実践できる。
科学的探究	医学・医療の発展のための医学研究の重要性を理解し、科学的思考を身に付けながら、学術・研究活動に関与して医学を創造する。	RE-01	リサーチマインド	RE-01-01	能動的姿勢	RE-01-01-01	常識を疑う。
	医学・医療の発展のための医学研究の重要性を理解し、科学的思考を身に付けながら、学術・研究活動に関与して医学を創造する。	RE-01		RE-01-01		RE-01-01-02	何事にも知的好奇心を持って取り組むことができる。
	医学・医療の発展のための医学研究の重要性を理解し、科学的思考を身に付けながら、学術・研究活動に関与して医学を創造する。	RE-01		RE-01-02	探究心	RE-01-02-01	最先端の研究に刺激を受ける。
	医学・医療の発展のための医学研究の重要性を理解し、科学的思考を身に付けながら、学術・研究活動に関与して医学を創造する。	RE-01		RE-01-02		RE-01-02-02	ロールモデルとしての研究者の生き方に触れる。
	医学・医療の発展のための医学研究の重要性を理解し、科学的思考を身に付けながら、学術・研究活動に関与して医学を創造する。	RE-02	既知の知	RE-02-01	医学と医療	RE-02-01-01	医療の実践が基礎医学・臨床医学・社会医学の研究に基づいていることを理解する。
	医学・医療の発展のための医学研究の重要性を理解し、科学的思考を身に付けながら、学術・研究活動に関与して医学を創造する。	RE-02		RE-02-02	論文読解	RE-02-02-01	医学論文（英語）を読んで概要を理解する。
	医学・医療の発展のための医学研究の重要性を理解し、科学的思考を身に付けながら、学術・研究活動に関与して医学を創造する。	RE-03	研究の実施	RE-03-01	問い	RE-03-01-01	自身の関心を問いにすることができる。
	医学・医療の発展のための医学研究の重要性を理解し、科学的思考を身に付けながら、学術・研究活動に関与して医学を創造する。	RE-03		RE-03-02	研究計画	RE-03-02-01	研究計画の素案を作ることができる。
	医学・医療の発展のための医学研究の重要性を理解し、科学的思考を身に付けながら、学術・研究活動に関与して医学を創造する。	RE-03		RE-03-03	研究手法	RE-03-03-01	基礎医学の実習から基本的な実験手技を体得する。
	医学・医療の発展のための医学研究の重要性を理解し、科学的思考を身に付けながら、学術・研究活動に関与して医学を創造する。	RE-03		RE-03-03		RE-03-03-02	社会医学（行動科学を含む）の実習から基本的な研究方法論を体得する。
	医学・医療の発展のための医学研究の重要性を理解し、科学的思考を身に付けながら、学術・研究活動に関与して医学を創造する。	RE-03		RE-03-03		RE-03-03-03	研究室配属等で医学研究の基本的な研究手法を修得する。
	医学・医療の発展のための医学研究の重要性を理解し、科学的思考を身に付けながら、学術・研究活動に関与して医学を創造する。	RE-03		RE-03-04	研究結果	RE-03-04-01	研究データを適切に記録、管理できる。
	医学・医療の発展のための医学研究の重要性を理解し、科学的思考を身に付けながら、学術・研究活動に関与して医学を創造する。	RE-04	研究の発信	RE-04-01	研究発表	RE-04-01-01	自身の行った研究内容を論文や報告書・学会発表等の形にまとめることができる。
	医学・医療の発展のための医学研究の重要性を理解し、科学的思考を身に付けながら、学術・研究活動に関与して医学を創造する。	RE-04		RE-04-01		RE-04-01-02	発表の場に応じて読者・聴衆にわかりやすく研究内容をプレゼンテーションできる。
	医学・医療の発展のための医学研究の重要性を理解し、科学的思考を身に付けながら、学術・研究活動に関与して医学を創造する。	RE-04		RE-04-01		RE-04-01-03	他の研究者の発表に対して質問や意見を述べることができる。
	医学・医療の発展のための医学研究の重要性を理解し、科学的思考を身に付けながら、学術・研究活動に関与して医学を創造する。	RE-05	研究倫理	RE-05-01	適切な研究遂行	RE-05-01-01	捏造、改ざん、盗用等を含め研究不正の類型を説明することができ、研究不正を行わない。
	医学・医療の発展のための医学研究の重要性を理解し、科学的思考を身に付けながら、学術・研究活動に関与して医学を創造する。	RE-05		RE-05-02	対象者の保護	RE-05-02-01	人を対象とした研究（治験、特定臨床研究を含む）に関するルールの概要を理解し、遵守する。
	医学・医療の発展のための医学研究の重要性を理解し、科学的思考を身に付けながら、学術・研究活動に関与して医学を創造する。	RE-05		RE-05-02		RE-05-02-02	利益相反や動物・遺伝子組み換え実験に関するルールの概要を理解し、遵守する。
専門知識に基づいた 問題解決能力	医学及び関連する学問分野の知識を身に付け、根拠に基づいた医療を基盤に、経験も踏まえながら、患者の抱える問題を解決する。	PS-01		PS-01-01		PS-01-01-01	細胞の観察法について概要を理解している。
	医学及び関連する学問分野の知識を身に付け、根拠に基づいた医療を基盤に、経験も踏まえながら、患者の抱える問題を解決する。	PS-01		PS-01-01		PS-01-01-02	細胞の全体像を図示できる。

第4層	医療プロフェッショナリズムの実践 A1	臨床実習入門 P1b	白衣の日 P1	LPBL A1	地域医療の実践 A1	生体の構造と機能 A1 (1)	生体の構造と機能 A1 (2)	生体の構造と機能 A1 (3)	生体の構造と機能 A1 (4)	生体の構造と機能 A1 (5)	生体の構造と機能 B1 (1)	生体の構造と機能 B1 (2)	生体の構造と機能 P1a	生体の構造と機能 P1b	理工学からみた医療・医学 A1 (1)	理工学からみた医療・医学 A1 (2)	理工学からみた医療・医学 P1	ITからみた医療・医学 A1	人間と社会 A1 (1)	人間と社会 A1 (2)	人間と社会 A1 (3)	人間と社会 A1 (4)	人間と社会 P1a	人間と社会 P1b	医学英語 A1 (1)	医学英語 A1 (2)	医学英語 A1 (3)	健康科学 A1
GE-03-06-05																												
GE-03-06-06																												
GE-04-01-01																				○						○	○	
GE-04-01-02																												
GE-04-01-03												○																○
GE-04-01-04																												○
GE-04-01-05																												○
GE-04-01-06																												○
GE-04-01-07																										○		○
GE-04-02-01																				○						○	○	
GE-04-02-02																				○						○	○	
GE-04-02-03																				○		○						
LL-01-01-01	○			○										○														○
LL-01-01-02	○			○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○										○		○
LL-01-02-01	○			○	○																							
LL-01-02-02	○			○																								○
LL-02-01-01	○			○	○																							○
LL-02-01-02	○			○											○	○												
LL-02-01-03	○			○											○	○												
RE-01-01-01														○														
RE-01-01-02														○														
RE-01-02-01														○														
RE-01-02-02										○	○	○		○														
RE-02-01-01											○	○																
RE-02-02-01																												
RE-03-01-01										○	○	○	○															
RE-03-02-01																												
RE-03-03-01													○	○														
RE-03-03-02																												
RE-03-03-03																												
RE-03-04-01																												
RE-04-01-01													○	○	○	○							○	○				
RE-04-01-02																												
RE-04-01-03																												
RE-05-01-01																		○										
RE-05-02-01										○																		
RE-05-02-02																												
PS-01-01-01							○						○	○														
PS-01-01-02							○						○	○														

第4層	リベラルアーツセミナー A1 数理	光学	栄養	生化	時間	カウ	感覚	運動	TOEFL	英語	記憶	医教	辞書	統計学	基物	基生	ﾘｻｰﾁ	ｲﾉﾍﾞ	保健	独セ	仏セ	医経Ⅰ	医経Ⅱ	医社	細胞生物
GE-03-06-05																									
GE-03-06-06																									
GE-04-01-01																						○			
GE-04-01-02																							○		
GE-04-01-03			○																						
GE-04-01-04								○														○			
GE-04-01-05						○		○																	
GE-04-01-06																									
GE-04-01-07																						○	○		
GE-04-02-01												○										○			
GE-04-02-02												○										○	○		
GE-04-02-03												○										○			
LL-01-01-01		○			○		○					○		○			○						○		
LL-01-01-02	○	○	○		○		○	○			○	○	○	○	○	○	○	○				○	○		
LL-01-02-01												○										○			
LL-01-02-02																									
LL-02-01-01		○						○			○	○		○			○						○		
LL-02-01-02	○	○						○				○	○	○			○								
LL-02-01-03	○	○										○		○			○								
RE-01-01-01		○					○	○			○		○				○	○							
RE-01-01-02		○					○	○			○		○		○		○	○				○			○
RE-01-02-01		○					○										○	○							○
RE-01-02-02			○														○	○							○
RE-02-01-01							○																		○
RE-02-02-01					○																				○
RE-03-01-01		○			○		○				○											○	○		
RE-03-02-01		○									○											○			
RE-03-03-01																									○
RE-03-03-02																									
RE-03-03-03																									○
RE-03-04-01		○												○											
RE-04-01-01	○	○									○		○	○	○		○					○	○		
RE-04-01-02		○									○	○	○	○	○		○					○	○		
RE-04-01-03		○										○	○	○	○		○					○			
RE-05-01-01		○												○											
RE-05-02-01			○											○											
RE-05-02-02																									
PS-01-01-01		○														○									○
PS-01-01-02																○									○

1学年

第1層 語	第1層 説明	第2層	第2層 語	第3層	第3層 語	第4層	第4層 語
専門知識に基づいた問題解決能力	医学及び関連する学問分野の知識を身に付け、根拠に基づいた医療を基盤に、経験も踏まえながら、患者の抱える問題を解決する。	PS-01		PS-01-01	生命現象の科学	PS-01-01-03	核とリボソーム、小胞体、ゴルジ体、リソソーム等の細胞内膜系、ミトコンドリア、葉緑体、細胞骨格の種類とその構造と機能について概要を理解している。
	医学及び関連する学問分野の知識を身に付け、根拠に基づいた医療を基盤に、経験も踏まえながら、患者の抱える問題を解決する。	PS-01		PS-01-01		PS-01-01-04	細胞膜の構造と機能、細胞同士の接着と結合様式について概要を理解している。
	医学及び関連する学問分野の知識を身に付け、根拠に基づいた医療を基盤に、経験も踏まえながら、患者の抱える問題を解決する。	PS-01		PS-01-01		PS-01-01-05	原核細胞と真核細胞の特徴について理解している。
	医学及び関連する学問分野の知識を身に付け、根拠に基づいた医療を基盤に、経験も踏まえながら、患者の抱える問題を解決する。	PS-01		PS-01-01		PS-01-01-06	メンデルの法則、ミトコンドリア遺伝、エピゲノム修飾(インプリンティングを含む)及び多因子遺伝について理解している。
	医学及び関連する学問分野の知識を身に付け、根拠に基づいた医療を基盤に、経験も踏まえながら、患者の抱える問題を解決する。	PS-01		PS-01-01		PS-01-01-07	遺伝型と表現型の関係について理解している。
	医学及び関連する学問分野の知識を身に付け、根拠に基づいた医療を基盤に、経験も踏まえながら、患者の抱える問題を解決する。	PS-01		PS-01-01		PS-01-01-08	染色体の構造を理解し、ゲノムと染色体及び遺伝子の構造と関係性、体細胞分裂及び減数分裂における染色体の挙動について理解している。
	医学及び関連する学問分野の知識を身に付け、根拠に基づいた医療を基盤に、経験も踏まえながら、患者の抱える問題を解決する。	PS-01		PS-01-01		PS-01-01-09	DNAの複製と修復、DNAからRNAへの転写、タンパク質合成に至る翻訳を含む遺伝情報の発現及び調節(セントラルドグマ)について理解している。
	医学及び関連する学問分野の知識を身に付け、根拠に基づいた医療を基盤に、経験も踏まえながら、患者の抱える問題を解決する。	PS-01		PS-01-01		PS-01-01-10	染色体分析・DNA配列決定を含むゲノム解析技術について概要を理解している。
	医学及び関連する学問分野の知識を身に付け、根拠に基づいた医療を基盤に、経験も踏まえながら、患者の抱える問題を解決する。	PS-01		PS-01-01		PS-01-01-11	ゲノム編集技術とその応用について概要を理解している。
	医学及び関連する学問分野の知識を身に付け、根拠に基づいた医療を基盤に、経験も踏まえながら、患者の抱える問題を解決する。	PS-01		PS-01-01		PS-01-01-12	進化の基本的な考え方について理解している。
	医学及び関連する学問分野の知識を身に付け、根拠に基づいた医療を基盤に、経験も踏まえながら、患者の抱える問題を解決する。	PS-01		PS-01-01		PS-01-01-13	生物種とその系統関係について理解している。
	医学及び関連する学問分野の知識を身に付け、根拠に基づいた医療を基盤に、経験も踏まえながら、患者の抱える問題を解決する。	PS-01		PS-01-01		PS-01-01-14	アミノ酸配列や塩基配列の比較による分子系統樹について概要を理解している。
	医学及び関連する学問分野の知識を身に付け、根拠に基づいた医療を基盤に、経験も踏まえながら、患者の抱える問題を解決する。	PS-01		PS-01-02	個体の構成と機能	PS-01-02-01	細胞内液・外液のイオン組成、及び浸透圧と(静止)膜電位の形成機構について理解している。
	医学及び関連する学問分野の知識を身に付け、根拠に基づいた医療を基盤に、経験も踏まえながら、患者の抱える問題を解決する。	PS-01		PS-01-02		PS-01-02-02	細胞膜のイオンチャネル、ポンプ及び膜を介する物質の能動・受動輸送過程について理解している。
	医学及び関連する学問分野の知識を身に付け、根拠に基づいた医療を基盤に、経験も踏まえながら、患者の抱える問題を解決する。	PS-01		PS-01-02		PS-01-02-03	活動電位の発生機構と伝導、シナプス(神経筋接合部を含む)の形態とシナプス伝達の機能(興奮性、抑制性)と可塑性について理解している。
	医学及び関連する学問分野の知識を身に付け、根拠に基づいた医療を基盤に、経験も踏まえながら、患者の抱える問題を解決する。	PS-01		PS-01-02		PS-01-02-04	情報伝達の種類と機能について理解している。
	医学及び関連する学問分野の知識を身に付け、根拠に基づいた医療を基盤に、経験も踏まえながら、患者の抱える問題を解決する。	PS-01		PS-01-02		PS-01-02-05	受容体の種類・細胞内局在・機能、受容体による細胞内シグナル伝達過程について理解している。
	医学及び関連する学問分野の知識を身に付け、根拠に基づいた医療を基盤に、経験も踏まえながら、患者の抱える問題を解決する。	PS-01		PS-01-02		PS-01-02-06	液性因子による細胞間情報伝達(自己分泌、傍分泌、内分泌)について理解している。
	医学及び関連する学問分野の知識を身に付け、根拠に基づいた医療を基盤に、経験も踏まえながら、患者の抱える問題を解決する。	PS-01		PS-01-02		PS-01-02-07	細胞骨格を構成するタンパク質とその機能、アクチンフィラメント系による細胞運動について概要を理解している。
	医学及び関連する学問分野の知識を身に付け、根拠に基づいた医療を基盤に、経験も踏まえながら、患者の抱える問題を解決する。	PS-01		PS-01-02		PS-01-02-08	細胞膜を介する分泌と吸収の過程と細胞内輸送システム、微小管の役割や機能について理解している。
	医学及び関連する学問分野の知識を身に付け、根拠に基づいた医療を基盤に、経験も踏まえながら、患者の抱える問題を解決する。	PS-01		PS-01-02		PS-01-02-09	軸索輸送、軸索の変性と再生について理解している。
	医学及び関連する学問分野の知識を身に付け、根拠に基づいた医療を基盤に、経験も踏まえながら、患者の抱える問題を解決する。	PS-01		PS-01-02		PS-01-02-10	上皮組織と腺の構造と機能について理解している。
	医学及び関連する学問分野の知識を身に付け、根拠に基づいた医療を基盤に、経験も踏まえながら、患者の抱える問題を解決する。	PS-01		PS-01-02		PS-01-02-11	支持組織を構成する細胞と細胞間質(線維成分と基質)について理解している。
	医学及び関連する学問分野の知識を身に付け、根拠に基づいた医療を基盤に、経験も踏まえながら、患者の抱える問題を解決する。	PS-01		PS-01-02		PS-01-02-12	血管とリンパ管の微細構造と機能について理解している。
	医学及び関連する学問分野の知識を身に付け、根拠に基づいた医療を基盤に、経験も踏まえながら、患者の抱える問題を解決する。	PS-01		PS-01-02		PS-01-02-13	神経組織の微細構造について理解している。
	医学及び関連する学問分野の知識を身に付け、根拠に基づいた医療を基盤に、経験も踏まえながら、患者の抱える問題を解決する。	PS-01		PS-01-02		PS-01-02-14	筋組織について、骨格筋、心筋、平滑筋の構造と機能を対比して理解している。
	医学及び関連する学問分野の知識を身に付け、根拠に基づいた医療を基盤に、経験も踏まえながら、患者の抱える問題を解決する。	PS-01		PS-01-02		PS-01-02-15	組織の再生の機序について理解している。
	医学及び関連する学問分野の知識を身に付け、根拠に基づいた医療を基盤に、経験も踏まえながら、患者の抱える問題を解決する。	PS-01		PS-01-02		PS-01-02-16	位置関係を方向用語(上・下、前・後、内側・外側、浅・深、頭側・尾側、背側・腹側、近位・遠位、内転・外転)で理解している。
	医学及び関連する学問分野の知識を身に付け、根拠に基づいた医療を基盤に、経験も踏まえながら、患者の抱える問題を解決する。	PS-01		PS-01-02		PS-01-02-17	刺激に対する感覚受容の種類と機序について理解している。
	医学及び関連する学問分野の知識を身に付け、根拠に基づいた医療を基盤に、経験も踏まえながら、患者の抱える問題を解決する。	PS-01		PS-01-02		PS-01-02-18	反射について理解している。
	医学及び関連する学問分野の知識を身に付け、根拠に基づいた医療を基盤に、経験も踏まえながら、患者の抱える問題を解決する。	PS-01		PS-01-02		PS-01-02-19	生体の恒常性維持と適応、恒常性維持のための調節機構(フィードバック調節)について理解している。
	医学及び関連する学問分野の知識を身に付け、根拠に基づいた医療を基盤に、経験も踏まえながら、患者の抱える問題を解決する。	PS-01		PS-01-02		PS-01-02-20	生体機能や体内環境のリズム性変化について理解している。
	医学及び関連する学問分野の知識を身に付け、根拠に基づいた医療を基盤に、経験も踏まえながら、患者の抱える問題を解決する。	PS-01		PS-01-02		PS-01-02-21	生体の恒常性維持における常在菌・腸内細菌と宿主との相互作用の重要性について理解している。
	医学及び関連する学問分野の知識を身に付け、根拠に基づいた医療を基盤に、経験も踏まえながら、患者の抱える問題を解決する。	PS-01		PS-01-02		PS-01-02-22	配偶子の形成から出生に至る一連の経過と胚形成の全体像、胚内体腔の形成過程について概要を理解している。
	医学及び関連する学問分野の知識を身に付け、根拠に基づいた医療を基盤に、経験も踏まえながら、患者の抱える問題を解決する。	PS-01		PS-01-02		PS-01-02-23	体節の形成と分化、咽頭弓・咽頭嚢(鰓弓・鰓嚢)の分化、頭・頸部と顔面・口腔の形成過程について理解している。
	医学及び関連する学問分野の知識を身に付け、根拠に基づいた医療を基盤に、経験も踏まえながら、患者の抱える問題を解決する。	PS-01		PS-01-02		PS-01-02-24	体幹と四肢の骨格と筋、心血管系、泌尿生殖器系各器官の形成過程について理解している。
	医学及び関連する学問分野の知識を身に付け、根拠に基づいた医療を基盤に、経験も踏まえながら、患者の抱える問題を解決する。	PS-01		PS-01-02		PS-01-02-25	消化・呼吸器系各器官の形成過程について理解している。
	医学及び関連する学問分野の知識を身に付け、根拠に基づいた医療を基盤に、経験も踏まえながら、患者の抱える問題を解決する。	PS-01		PS-01-02		PS-01-02-26	神経管の分化と脳、脊髄、視覚器、平衡聴覚器と自律神経系、皮膚の形成過程について理解している。
	医学及び関連する学問分野の知識を身に付け、根拠に基づいた医療を基盤に、経験も踏まえながら、患者の抱える問題を解決する。	PS-01		PS-01-02		PS-01-02-27	酵素の機能と調節について理解している。

第4層	医療ﾌﾟﾛﾌｪｯｼｮﾅﾘｽﾞﾑの実践 A1	臨床実習入門 P1b	白衣の日 P1	LPBL A1	地域医療の実践 A1	生体の構造と機能 A1 (1)	生体の構造と機能 A1 (2)	生体の構造と機能 A1 (3)	生体の構造と機能 A1 (4)	生体の構造と機能 A1 (5)	生体の構造と機能 B1 (1)	生体の構造と機能 B1 (2)	生体の構造と機能 P1a	生体の構造と機能 P1b	理工学からみた医療・医学 A1 (1)	理工学からみた医療・医学 A1 (2)	理工学からみた医療・医学 P1	ITからみた医療・医学 A1	人間と社会 A1 (1)	人間と社会 A1 (2)	人間と社会 A1 (3)	人間と社会 A1 (4)	人間と社会 P1a	人間と社会 P1b	医学英語 A1 (1)	医学英語 A1 (2)	医学英語 A1 (3)
PS-01-01-03							○	○																			
PS-01-01-04								○						○													
PS-01-01-05							○																				
PS-01-01-06										○																	
PS-01-01-07										○																	
PS-01-01-08							○		○																		
PS-01-01-09									○																		
PS-01-01-10									○																		
PS-01-01-11																											
PS-01-01-12									○																		
PS-01-01-13									○				○														
PS-01-01-14									○																		
PS-01-02-01							○																				
PS-01-02-02							○																				
PS-01-02-03										○				○													
PS-01-02-04								○																			
PS-01-02-05								○																			
PS-01-02-06								○																			
PS-01-02-07								○																			
PS-01-02-08							○																				
PS-01-02-09							○			○				○													
PS-01-02-10						○							○	○													
PS-01-02-11						○							○	○													
PS-01-02-12						○								○													
PS-01-02-13										○				○													
PS-01-02-14						○							○	○													
PS-01-02-15														○													
PS-01-02-16																											
PS-01-02-17							○							○													
PS-01-02-18							○																				
PS-01-02-19						○																					
PS-01-02-20						○																					
PS-01-02-21						○																					
PS-01-02-22										○																	
PS-01-02-23																											
PS-01-02-24																											
PS-01-02-25																											
PS-01-02-26							○			○																	
PS-01-02-27							○					○															

第4層	健康科学 A1	リベラルアーツセミナー A1 数理	光学	栄養	生化	時間	カウ	感覚	運動	TOEFL	英語	記憶	医教	辞書	統計学	基物	基生	ﾘｻｰﾁ	ｲﾉﾍﾞ	保健	独セ	仏セ	医経Ⅰ	医経Ⅱ	医社	細胞生物
PS-01-01-03																	○									○
PS-01-01-04																	○									○
PS-01-01-05																	○									
PS-01-01-06																	○	○								
PS-01-01-07																	○	○								
PS-01-01-08																	○	○								
PS-01-01-09																	○	○								
PS-01-01-10																	○	○								
PS-01-01-11																										
PS-01-01-12																	○									
PS-01-01-13																	○									
PS-01-01-14																	○									
PS-01-02-01								○									○									
PS-01-02-02					○			○									○									
PS-01-02-03								○									○									
PS-01-02-04					○												○	○								
PS-01-02-05					○												○	○								
PS-01-02-06																	○									
PS-01-02-07																	○									
PS-01-02-08																	○									○
PS-01-02-09																	○									
PS-01-02-10																	○									
PS-01-02-11																	○									
PS-01-02-12																	○									
PS-01-02-13								○									○									
PS-01-02-14	○								○								○									
PS-01-02-15																										
PS-01-02-16																										
PS-01-02-17								○									○									
PS-01-02-18								○									○									
PS-01-02-19																	○									
PS-01-02-20						○																				
PS-01-02-21																	○									
PS-01-02-22																	○									
PS-01-02-23																										
PS-01-02-24																										
PS-01-02-25																										
PS-01-02-26																	○									
PS-01-02-27				○	○												○									

第1層 語	第1層 説明	第2層	第2層 語	第3層	第3層 語	第4層	第4層 語
	医学及び関連する学問分野の知識を身に付け、根拠に基づいた医療を基盤に、経験も踏まえながら、患者の抱える問題を解決する。	PS-01		PS-01-02		PS-01-02-28	糖質の構造、代謝と調節（解糖、クエン酸回路、電子伝達系と酸化的リン酸化、グリコーゲン代謝、糖新生、五炭糖リン酸回路）、生理的意義について理解している。
	医学及び関連する学問分野の知識を身に付け、根拠に基づいた医療を基盤に、経験も踏まえながら、患者の抱える問題を解決する。	PS-01		PS-01-02		PS-01-02-29	タンパク質の構造、代謝と調節、生理的意義、主要なアミノ酸の代謝、尿素回路を理解している。
	医学及び関連する学問分野の知識を身に付け、根拠に基づいた医療を基盤に、経験も踏まえながら、患者の抱える問題を解決する。	PS-01		PS-01-02		PS-01-02-30	脂質の構造、代謝と調節、生理的意義、脂質の輸送（リポタンパク質）を理解している。
	医学及び関連する学問分野の知識を身に付け、根拠に基づいた医療を基盤に、経験も踏まえながら、患者の抱える問題を解決する。	PS-01		PS-01-02		PS-01-02-31	ヘム・ポルフィリンの代謝について概要を理解している。
	医学及び関連する学問分野の知識を身に付け、根拠に基づいた医療を基盤に、経験も踏まえながら、患者の抱える問題を解決する。	PS-01		PS-01-02		PS-01-02-32	ヌクレオチドの合成・異化・再利用経路について理解している。
	医学及び関連する学問分野の知識を身に付け、根拠に基づいた医療を基盤に、経験も踏まえながら、患者の抱える問題を解決する。	PS-01		PS-01-02		PS-01-02-33	酸化ストレス（フリーラジカル、活性酸素）について概要を理解している。
	医学及び関連する学問分野の知識を身に付け、根拠に基づいた医療を基盤に、経験も踏まえながら、患者の抱える問題を解決する。	PS-01		PS-01-02		PS-01-02-34	ビタミン、微量元素の種類と作用について理解している。
	医学及び関連する学問分野の知識を身に付け、根拠に基づいた医療を基盤に、経験も踏まえながら、患者の抱える問題を解決する。	PS-01		PS-01-02		PS-01-02-35	栄養素の相互変換とエネルギー代謝（エネルギーの定義、食品中のエネルギー値、エネルギー消費量、推定エネルギー必要量）について理解している。
	医学及び関連する学問分野の知識を身に付け、根拠に基づいた医療を基盤に、経験も踏まえながら、患者の抱える問題を解決する。	PS-01		PS-01-02		PS-01-02-36	空腹時、飢餓時、食後、過食時と運動時における代謝について理解している。
	医学及び関連する学問分野の知識を身に付け、根拠に基づいた医療を基盤に、経験も踏まえながら、患者の抱える問題を解決する。	PS-01		PS-01-02		PS-01-02-37	複合糖質、複合脂質について概要を理解している。
	医学及び関連する学問分野の知識を身に付け、根拠に基づいた医療を基盤に、経験も踏まえながら、患者の抱える問題を解決する。	PS-01		PS-01-03		PS-01-03-01	原核生物としての細菌の構造と機能の違いについて真核生物と比較して理解している。
	医学及び関連する学問分野の知識を身に付け、根拠に基づいた医療を基盤に、経験も踏まえながら、患者の抱える問題を解決する。	PS-01		PS-01-03		PS-01-03-02	細菌の感染経路を分類し、細菌が疾病を引き起こす機序について理解している。
	医学及び関連する学問分野の知識を身に付け、根拠に基づいた医療を基盤に、経験も踏まえながら、患者の抱える問題を解決する。	PS-01	基礎医学	PS-01-03		PS-01-03-03	細菌の産生するタンパク質性毒素、非タンパク質性毒素の作用機序について理解している。
	医学及び関連する学問分野の知識を身に付け、根拠に基づいた医療を基盤に、経験も踏まえながら、患者の抱える問題を解決する。	PS-01		PS-01-03		PS-01-03-04	主なグラム陽性球菌、グラム陽性桿菌、グラム陰性球菌、グラム陰性桿菌の細菌学的特徴、リスク因子、感染経路と病態を説明し、それが引き起こす疾患を列挙できる。
	医学及び関連する学問分野の知識を身に付け、根拠に基づいた医療を基盤に、経験も踏まえながら、患者の抱える問題を解決する。	PS-01		PS-01-03		PS-01-03-05	抗酸菌の細菌学的特徴、リスク因子、感染経路と病態を説明し、それが引き起こす疾患を列挙できる。
	医学及び関連する学問分野の知識を身に付け、根拠に基づいた医療を基盤に、経験も踏まえながら、患者の抱える問題を解決する。	PS-01		PS-01-03		PS-01-03-06	らせん状細菌、マイコプラズマ、リケッチア、クラミジアの微生物学的特徴とそれが引き起こす疾患を列挙できる。
	医学及び関連する学問分野の知識を身に付け、根拠に基づいた医療を基盤に、経験も踏まえながら、患者の抱える問題を解決する。	PS-01		PS-01-03		PS-01-03-07	生体各部の細菌叢（マイクロバイオーム）の構成菌、細菌叢の機能について概要を理解している。
	医学及び関連する学問分野の知識を身に付け、根拠に基づいた医療を基盤に、経験も踏まえながら、患者の抱える問題を解決する。	PS-01		PS-01-03		PS-01-03-08	ウイルス粒子の構造と性状によりウイルスを分類できる。
	医学及び関連する学問分野の知識を身に付け、根拠に基づいた医療を基盤に、経験も踏まえながら、患者の抱える問題を解決する。	PS-01		PS-01-03		PS-01-03-09	ウイルス感染の種特異性、組織特異性と吸着、侵入、複製、成熟と放出の各過程、ウイルス感染細胞に起こる変化について理解している。
専門知識に基づいた問題解決能力	医学及び関連する学問分野の知識を身に付け、根拠に基づいた医療を基盤に、経験も踏まえながら、患者の抱える問題を解決する。	PS-01		PS-01-03		PS-01-03-10	主なDNAウイルスの特徴、リスク因子、感染経路と病態を説明し、これらのウイルスが引き起こす疾患名を列挙できる。
	医学及び関連する学問分野の知識を身に付け、根拠に基づいた医療を基盤に、経験も踏まえながら、患者の抱える問題を解決する。	PS-01		PS-01-03		PS-01-03-11	主なRNAウイルスの特徴、リスク因子、感染経路と病態を説明し、これらのウイルスが引き起こす疾患名を列挙できる。
	医学及び関連する学問分野の知識を身に付け、根拠に基づいた医療を基盤に、経験も踏まえながら、患者の抱える問題を解決する。	PS-01		PS-01-03		PS-01-03-12	真菌（接合菌、子嚢菌、担子菌、不完全菌）の微生物学的特徴、リスク因子、感染経路と病態を説明し、それが引き起こす疾患を列挙できる。
	医学及び関連する学問分野の知識を身に付け、根拠に基づいた医療を基盤に、経験も踏まえながら、患者の抱える問題を解決する。	PS-01		PS-01-03		PS-01-03-13	寄生虫の分類、形態学的特徴、生活史、リスク因子、感染経路と病態、感染疫学的意義、寄生虫感染宿主の生体防御の特徴について理解している。
	医学及び関連する学問分野の知識を身に付け、根拠に基づいた医療を基盤に、経験も踏まえながら、患者の抱える問題を解決する。	PS-01		PS-01-03		PS-01-03-14	微生物の特性に応じた治療薬の作用機序について概要を理解している。
	医学及び関連する学問分野の知識を身に付け、根拠に基づいた医療を基盤に、経験も踏まえながら、患者の抱える問題を解決する。	PS-01		PS-01-03		PS-01-03-15	微生物感染症に対するワクチンの原理、種類とそれに対する問題点について理解している。
	医学及び関連する学問分野の知識を身に付け、根拠に基づいた医療を基盤に、経験も踏まえながら、患者の抱える問題を解決する。	PS-01		PS-01-03		PS-01-03-16	人獣共通感染症の原因となる微生物について、その生活史、リスク因子、感染経路と病態、感染疫学的意義について理解している。
	医学及び関連する学問分野の知識を身に付け、根拠に基づいた医療を基盤に、経験も踏まえながら、患者の抱える問題を解決する。	PS-01		PS-01-03	個体の反応	PS-01-03-17	媒介性感染症の原因となる微生物について、その生活史、リスク因子、感染経路と病態、感染疫学的意義を理解している。
	医学及び関連する学問分野の知識を身に付け、根拠に基づいた医療を基盤に、経験も踏まえながら、患者の抱える問題を解決する。	PS-01		PS-01-03		PS-01-03-18	免疫反応に関わる組織と細胞について理解している。
	医学及び関連する学問分野の知識を身に付け、根拠に基づいた医療を基盤に、経験も踏まえながら、患者の抱える問題を解決する。	PS-01		PS-01-03		PS-01-03-19	補体及び自然免疫細胞が病原体により活性化し、炎症を引き起こす仕組みについて理解している。
	医学及び関連する学問分野の知識を身に付け、根拠に基づいた医療を基盤に、経験も踏まえながら、患者の抱える問題を解決する。	PS-01		PS-01-03		PS-01-03-20	主要組織適合遺伝子複合体クラスIとクラスIIの基本構造と機能、抗原提示によるT細胞活性化の仕組みについて理解している。
	医学及び関連する学問分野の知識を身に付け、根拠に基づいた医療を基盤に、経験も踏まえながら、患者の抱える問題を解決する。	PS-01		PS-01-03		PS-01-03-21	免疫グロブリンとT細胞抗原レセプターの構造と反応様式、免疫グロブリンとT細胞抗原レセプター遺伝子の構造と遺伝子再構成に基づき、多様性獲得の機構について理解している。
	医学及び関連する学問分野の知識を身に付け、根拠に基づいた医療を基盤に、経験も踏まえながら、患者の抱える問題を解決する。	PS-01		PS-01-03		PS-01-03-22	ヘルパーT細胞（Th1 cell、Th2 cell、Th17 cell）、細胞傷害性T細胞、制御性T細胞それぞれが担当する生体防御反応について理解している。
	医学及び関連する学問分野の知識を身に付け、根拠に基づいた医療を基盤に、経験も踏まえながら、患者の抱える問題を解決する。	PS-01		PS-01-03		PS-01-03-23	B細胞の活性化による抗体産生の機構及び抗体の役割を理解している。
	医学及び関連する学問分野の知識を身に付け、根拠に基づいた医療を基盤に、経験も踏まえながら、患者の抱える問題を解決する。	PS-01		PS-01-03		PS-01-03-24	自然免疫系を構成する主な細胞とそれらの活性化機構（TLR等）を理解している。
	医学及び関連する学問分野の知識を身に付け、根拠に基づいた医療を基盤に、経験も踏まえながら、患者の抱える問題を解決する。	PS-01		PS-01-03		PS-01-03-25	抗原提示細胞の種類と役割、抗原提示機構について理解している。
	医学及び関連する学問分野の知識を身に付け、根拠に基づいた医療を基盤に、経験も踏まえながら、患者の抱える問題を解決する。	PS-01		PS-01-03		PS-01-03-26	ウイルス、細菌、真菌と寄生虫に対する免疫応答の特徴の概要について理解している。
	医学及び関連する学問分野の知識を身に付け、根拠に基づいた医療を基盤に、経験も踏まえながら、患者の抱える問題を解決する。	PS-01		PS-01-03		PS-01-03-27	原発性免疫不全症候群と後天性免疫不全症候群の概要について理解している。
	医学及び関連する学問分野の知識を身に付け、根拠に基づいた医療を基盤に、経験も踏まえながら、患者の抱える問題を解決する。	PS-01		PS-01-03		PS-01-03-28	免疫寛容の維持機構とその破綻による自己免疫疾患の発症について理解している。
	医学及び関連する学問分野の知識を身に付け、根拠に基づいた医療を基盤に、経験も踏まえながら、患者の抱える問題を解決する。	PS-01		PS-01-03		PS-01-03-29	アレルギー発症の機序について理解している。

第4層	医療プロフェッショナリズムの実践	臨床実習入門	白衣の日	LPBL	地域医療の実践	生体の構造と機能									理工学からみた医療・医学			ITからみた医療・医学	人間と社会						医学英語			健康科学
	A1	P1b	P1	A1	A1	A1					B1		P1a	P1b	A1		P1	A1	A1				P1a	P1b	A1			A1
						(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(1)	(2)			(1)	(2)			(1)	(2)	(3)	(4)			(1)	(2)	(3)	
PS-01-02-28							○					○																
PS-01-02-29							○	○				○																
PS-01-02-30							○					○																
PS-01-02-31												○																
PS-01-02-32																												
PS-01-02-33											○	○																
PS-01-02-34							○					○																
PS-01-02-35												○																○
PS-01-02-36												○																○
PS-01-02-37																												
PS-01-03-01																												
PS-01-03-02																												
PS-01-03-03																												
PS-01-03-04																												
PS-01-03-05																												
PS-01-03-06																												
PS-01-03-07						○																						
PS-01-03-08																												
PS-01-03-09									○																			
PS-01-03-10																												
PS-01-03-11																												
PS-01-03-12																												
PS-01-03-13																												
PS-01-03-14																												
PS-01-03-15																												
PS-01-03-16																												
PS-01-03-17																												
PS-01-03-18									○					○														
PS-01-03-19									○																			
PS-01-03-20									○																			
PS-01-03-21									○																			
PS-01-03-22									○																			
PS-01-03-23									○																			
PS-01-03-24									○																			
PS-01-03-25									○																			
PS-01-03-26																												
PS-01-03-27																												
PS-01-03-28									○																			
PS-01-03-29																												

第4層	リベラルアーツセミナー A1 数理	光学	栄養	生化	時間	カウ	感覚	運動	TOEFL	英語	記憶	医教	辞書	統計学	基物	基生	ﾘｻｰﾁ	ｲﾉﾍﾞ	保健	独セ	仏セ	医経Ⅰ	医経Ⅱ	医社	細胞生物
PS-01-02-28			○	○												○									
PS-01-02-29				○												○									
PS-01-02-30				○												○									
PS-01-02-31																									
PS-01-02-32																									
PS-01-02-33																									
PS-01-02-34			○													○									
PS-01-02-35								○																	
PS-01-02-36								○																	
PS-01-02-37																									
PS-01-03-01																									
PS-01-03-02																									
PS-01-03-03																									
PS-01-03-04																									
PS-01-03-05																									
PS-01-03-06																									
PS-01-03-07																○									
PS-01-03-08																									
PS-01-03-09																○									
PS-01-03-10																									
PS-01-03-11																									
PS-01-03-12																									
PS-01-03-13																									
PS-01-03-14																									
PS-01-03-15																									
PS-01-03-16																									
PS-01-03-17																									
PS-01-03-18																○	○								○
PS-01-03-19																○	○								
PS-01-03-20																○	○								
PS-01-03-21																○	○								
PS-01-03-22																○	○								
PS-01-03-23																○	○								
PS-01-03-24																○	○								
PS-01-03-25																○	○								
PS-01-03-26																	○								
PS-01-03-27																	○								
PS-01-03-28																	○								
PS-01-03-29																	○								

第1層 語	第1層 説明	第2層	第2層 語	第3層	第3層 語	第4層	第4層 語
	医学及び関連する学問分野の知識を身に付け、根拠に基づいた医療を基盤に、経験も踏まえながら、患者の抱える問題を解決する。	PS-01		PS-01-03		PS-01-03-30	がん免疫に関わる細胞性機序について理解している。
	医学及び関連する学問分野の知識を身に付け、根拠に基づいた医療を基盤に、経験も踏まえながら、患者の抱える問題を解決する。	PS-01		PS-01-03		PS-01-03-31	生体(あるいは生体群)の薬物・毒物反応性について、用量反応曲線を理解している。
	医学及び関連する学問分野の知識を身に付け、根拠に基づいた医療を基盤に、経験も踏まえながら、患者の抱える問題を解決する。	PS-01		PS-01-03		PS-01-03-32	薬物の受容体結合・薬理作用の関連性及び作動薬・拮抗薬について理解している。
	医学及び関連する学問分野の知識を身に付け、根拠に基づいた医療を基盤に、経験も踏まえながら、患者の抱える問題を解決する。	PS-01		PS-01-03		PS-01-03-33	薬物の有害作用、薬物間相互作用について概要を理解している。
	医学及び関連する学問分野の知識を身に付け、根拠に基づいた医療を基盤に、経験も踏まえながら、患者の抱える問題を解決する。	PS-01		PS-01-04		PS-01-04-01	ゲノムの多様性に基づく個体の多様性について理解している。
	医学及び関連する学問分野の知識を身に付け、根拠に基づいた医療を基盤に、経験も踏まえながら、患者の抱える問題を解決する。	PS-01		PS-01-04		PS-01-04-02	単一遺伝子疾患、染色体異常による疾患、ミトコンドリア遺伝子の変異による疾患を挙げ、遺伝様式を含め理解している。
	医学及び関連する学問分野の知識を身に付け、根拠に基づいた医療を基盤に、経験も踏まえながら、患者の抱える問題を解決する。	PS-01		PS-01-04		PS-01-04-03	多因子疾患における遺伝要因と環境要因の関係について理解している。
	医学及び関連する学問分野の知識を身に付け、根拠に基づいた医療を基盤に、経験も踏まえながら、患者の抱える問題を解決する。	PS-01		PS-01-04		PS-01-04-04	薬剤の有効性や安全性とゲノムの多様性との関係について概要を理解している。
	医学及び関連する学問分野の知識を身に付け、根拠に基づいた医療を基盤に、経験も踏まえながら、患者の抱える問題を解決する。	PS-01		PS-01-04		PS-01-04-05	ネクローシスとアポトーシスの違いを含め、細胞傷害・変性と細胞死の多様性、病因と意義について理解している。
	医学及び関連する学問分野の知識を身に付け、根拠に基づいた医療を基盤に、経験も踏まえながら、患者の抱える問題を解決する。	PS-01		PS-01-04		PS-01-04-06	細胞傷害・変性と細胞死の細胞と組織の形態的変化の特徴について理解している。
	医学及び関連する学問分野の知識を身に付け、根拠に基づいた医療を基盤に、経験も踏まえながら、患者の抱える問題を解決する。	PS-01		PS-01-04		PS-01-04-07	糖代謝異常の病態について理解している。
	医学及び関連する学問分野の知識を身に付け、根拠に基づいた医療を基盤に、経験も踏まえながら、患者の抱える問題を解決する。	PS-01		PS-01-04		PS-01-04-08	タンパク質・アミノ酸代謝異常の病態について理解している。
	医学及び関連する学問分野の知識を身に付け、根拠に基づいた医療を基盤に、経験も踏まえながら、患者の抱える問題を解決する。	PS-01		PS-01-04		PS-01-04-09	脂質代謝異常の病態について理解している。
	医学及び関連する学問分野の知識を身に付け、根拠に基づいた医療を基盤に、経験も踏まえながら、患者の抱える問題を解決する。	PS-01		PS-01-04		PS-01-04-10	核酸・ヌクレオチド代謝異常の病態について理解している。
	医学及び関連する学問分野の知識を身に付け、根拠に基づいた医療を基盤に、経験も踏まえながら、患者の抱える問題を解決する。	PS-01		PS-01-04		PS-01-04-11	ビタミン、微量元素の代謝異常の病態について理解している。
	医学及び関連する学問分野の知識を身に付け、根拠に基づいた医療を基盤に、経験も踏まえながら、患者の抱える問題を解決する。	PS-01		PS-01-04		PS-01-04-12	メタボリックシンドロームの病態について概要を理解している。
	医学及び関連する学問分野の知識を身に付け、根拠に基づいた医療を基盤に、経験も踏まえながら、患者の抱える問題を解決する。	PS-01		PS-01-04	病因と病態	PS-01-04-13	血行障害(阻血、低酸素血、充血、うっ血、出血)の違いとそれぞれの病因と病態、梗塞(血栓、塞栓)の種類と病態について理解している。
	医学及び関連する学問分野の知識を身に付け、根拠に基づいた医療を基盤に、経験も踏まえながら、患者の抱える問題を解決する。	PS-01		PS-01-04		PS-01-04-14	血圧異常(高血圧、低血圧)について理解している。
	医学及び関連する学問分野の知識を身に付け、根拠に基づいた医療を基盤に、経験も踏まえながら、患者の抱える問題を解決する。	PS-01		PS-01-04		PS-01-04-15	炎症の定義について理解している。
専門知識に基づいた問題解決能力	医学及び関連する学問分野の知識を身に付け、根拠に基づいた医療を基盤に、経験も踏まえながら、患者の抱える問題を解決する。	PS-01		PS-01-04		PS-01-04-16	炎症の分類、組織形態学的変化と経時的変化(局所的変化と全身的変化)について理解している。
	医学及び関連する学問分野の知識を身に付け、根拠に基づいた医療を基盤に、経験も踏まえながら、患者の抱える問題を解決する。	PS-01		PS-01-04		PS-01-04-17	炎症組織の治癒過程について理解している。
	医学及び関連する学問分野の知識を身に付け、根拠に基づいた医療を基盤に、経験も踏まえながら、患者の抱える問題を解決する。	PS-01		PS-01-04		PS-01-04-18	炎症とメタボリックシンドローム、動脈硬化、腫瘍、老化への関わりについて理解している。
	医学及び関連する学問分野の知識を身に付け、根拠に基づいた医療を基盤に、経験も踏まえながら、患者の抱える問題を解決する。	PS-01		PS-01-04		PS-01-04-19	自律性の増殖、良性腫瘍と悪性腫瘍の違いについて理解している。
	医学及び関連する学問分野の知識を身に付け、根拠に基づいた医療を基盤に、経験も踏まえながら、患者の抱える問題を解決する。	PS-01		PS-01-04		PS-01-04-20	がんの原因や遺伝子変化について概要を理解している。
	医学及び関連する学問分野の知識を身に付け、根拠に基づいた医療を基盤に、経験も踏まえながら、患者の抱える問題を解決する。	PS-01		PS-01-04		PS-01-04-21	用語(異形成、上皮内癌、進行癌、早期癌、異型性、多形性等)について理解している。
	医学及び関連する学問分野の知識を身に付け、根拠に基づいた医療を基盤に、経験も踏まえながら、患者の抱える問題を解決する。	PS-01		PS-01-04		PS-01-04-22	がんの病理診断と治療の関わりについて概要を理解している。
	医学及び関連する学問分野の知識を身に付け、根拠に基づいた医療を基盤に、経験も踏まえながら、患者の抱える問題を解決する。	PS-01		PS-01-04		PS-01-04-23	がんの転移について概要を理解している。
	医学及び関連する学問分野の知識を身に付け、根拠に基づいた医療を基盤に、経験も踏まえながら、患者の抱える問題を解決する。	PS-01		PS-01-04		PS-01-04-24	がんの免疫系による排除機構について概要を理解している。
	医学及び関連する学問分野の知識を身に付け、根拠に基づいた医療を基盤に、経験も踏まえながら、患者の抱える問題を解決する。	PS-02		PS-02-01	総論	PS-02-01-01	臓器毎及び全身におよぶ疾患について理解している(表1)。
	医学及び関連する学問分野の知識を身に付け、根拠に基づいた医療を基盤に、経験も踏まえながら、患者の抱える問題を解決する。	PS-02		PS-02-02		PS-02-02-01	血液・造血器・リンパ系の構造と機能について基本的事項を理解している。
	医学及び関連する学問分野の知識を身に付け、根拠に基づいた医療を基盤に、経験も踏まえながら、患者の抱える問題を解決する。	PS-02		PS-02-02		PS-02-02-02	血液・造血器・リンパ系でみられる症候について理解している。
	医学及び関連する学問分野の知識を身に付け、根拠に基づいた医療を基盤に、経験も踏まえながら、患者の抱える問題を解決する。	PS-02		PS-02-02	血液・造血器・リンパ系(表2-1)	PS-02-02-03	血液・造血器・リンパ系で行う検査方法について基本的事項を理解している。
	医学及び関連する学問分野の知識を身に付け、根拠に基づいた医療を基盤に、経験も踏まえながら、患者の抱える問題を解決する。	PS-02		PS-02-02		PS-02-02-04	血液・造血器・リンパ系疾患に特異的な治療法について基本的事項を理解している。
	医学及び関連する学問分野の知識を身に付け、根拠に基づいた医療を基盤に、経験も踏まえながら、患者の抱える問題を解決する。	PS-02		PS-02-02		PS-02-02-05	血液・造血器・リンパ系の疾患・病態について病因、疫学、症候、検査、診断、治療法を理解している。
	医学及び関連する学問分野の知識を身に付け、根拠に基づいた医療を基盤に、経験も踏まえながら、患者の抱える問題を解決する。	PS-02		PS-02-03		PS-02-03-01	神経系の構造と機能について基本的事項を理解している。
	医学及び関連する学問分野の知識を身に付け、根拠に基づいた医療を基盤に、経験も踏まえながら、患者の抱える問題を解決する。	PS-02		PS-02-03		PS-02-03-02	神経系でみられる症候について理解している。
	医学及び関連する学問分野の知識を身に付け、根拠に基づいた医療を基盤に、経験も踏まえながら、患者の抱える問題を解決する。	PS-02		PS-02-03	神経系(表2-2)	PS-02-03-03	神経系で行う検査方法について基本的事項を理解している。
	医学及び関連する学問分野の知識を身に付け、根拠に基づいた医療を基盤に、経験も踏まえながら、患者の抱える問題を解決する。	PS-02		PS-02-03		PS-02-03-04	神経系疾患に特異的な治療法について基本的事項を理解している。
	医学及び関連する学問分野の知識を身に付け、根拠に基づいた医療を基盤に、経験も踏まえながら、患者の抱える問題を解決する。	PS-02		PS-02-03		PS-02-03-05	神経系の疾患・病態について病因、疫学、症候、検査、診断、治療法を理解している。

第4層	医療プロフェッショナリズムの実践	臨床実習入門	白衣の日	LPBL	地域医療の実践	生体の構造と機能									理工学からみた医療・医学			ITからみた医療・医学	人間と社会						医学英語			健康科学	リベラルアーツセミナー																								
	A1	P1b	P1	A1	A1	A1					B1		P1a	P1b	A1		P1	A1	A1				P1a	P1b	A1			A1	A1																								
						(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(1)	(2)			(1)	(2)			(1)	(2)	(3)	(4)			(1)	(2)	(3)		数理	光学	栄養	生化	時間	カウ	感覚	運動	TOEFL	英語	記憶	医教	辞書	統計学	基物	基生	ﾘｻｰﾁ	ｲﾉﾍﾞ	保健	独セ	仏セ	医経Ⅰ	医経Ⅱ	医社	細胞生物
PS-01-03-30																																													○								
PS-01-03-31																																																					
PS-01-03-32																																																					
PS-01-03-33																																																					
PS-01-04-01																																													○								
PS-01-04-02																																																					
PS-01-04-03																																													○								
PS-01-04-04																																																					
PS-01-04-05																																													○								
PS-01-04-06																																																					
PS-01-04-07																																																					
PS-01-04-08																																																					
PS-01-04-09																																																					
PS-01-04-10																																																					
PS-01-04-11																																																					
PS-01-04-12																												○																									
PS-01-04-13																																																					
PS-01-04-14																																				○																	
PS-01-04-15																																																					
PS-01-04-16																																																					
PS-01-04-17																																																					
PS-01-04-18																																																					
PS-01-04-19									○																																			○	○								
PS-01-04-20									○																																			○	○								
PS-01-04-21																																																					
PS-01-04-22																																																					
PS-01-04-23									○																																			○									○
PS-01-04-24																																																					○
PS-02-01-01																																																					
PS-02-02-01						○							○																															○									
PS-02-02-02																																																					
PS-02-02-03																																																					
PS-02-02-04																																																					
PS-02-02-05																																																					
PS-02-03-01							○						○																						○									○									
PS-02-03-02																																			○																		
PS-02-03-03																																																					
PS-02-03-04																																																						
PS-02-03-05																																																						

1学年

第1層 語	第1層 説明	第2層	第2層 語	第3層	第3層 語	第4層	第4層 語	医療プロフェッショナリズムの実践	臨床実習入門	白衣の日	LPBL	地域医療の実践	生体の構造と機能									理工学からみた医療・医学			ITからみた医療・医学	人間と社会						医学英語			健康科学	リベラルアーツセミナー																								
								A1	P1b	P1	A1	A1	A1					B1		P1a	P1b	A1		P1	A1	A1				P1a	P1b	A1			A1	A1																								
													(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(1)	(2)			(1)	(2)			(1)	(2)	(3)	(4)			(1)	(2)	(3)		数理	光学	栄養	生化	時間	カウ	感覚	運動	TOEFL	英語	記憶	医教	辞書	統計学	基物	基生	ﾘｻｰﾁ	ｲﾉﾍﾞ	保健	独セ	仏セ	医経Ⅰ	医経Ⅱ	医社	細胞生物
	医学及び関連する学問分野の知識を身に付け、根拠に基づいた医療を基盤に、経験も踏まえながら、患者の抱える問題を解決する。	PS-02		PS-02-04		PS-02-04-01	皮膚系の構造と機能について基本的事項を理解している。														○																																									
	医学及び関連する学問分野の知識を身に付け、根拠に基づいた医療を基盤に、経験も踏まえながら、患者の抱える問題を解決する。	PS-02		PS-02-04		PS-02-04-02	皮膚系でみられる症候について理解している。																																																						
	医学及び関連する学問分野の知識を身に付け、根拠に基づいた医療を基盤に、経験も踏まえながら、患者の抱える問題を解決する。	PS-02		PS-02-04	皮膚系(表2-3)	PS-02-04-03	皮膚系で行う検査方法について基本的事項を理解している。																																																						
	医学及び関連する学問分野の知識を身に付け、根拠に基づいた医療を基盤に、経験も踏まえながら、患者の抱える問題を解決する。	PS-02		PS-02-04		PS-02-04-04	皮膚系疾患に特異的な治療法について基本的事項を理解している。																																																						
	医学及び関連する学問分野の知識を身に付け、根拠に基づいた医療を基盤に、経験も踏まえながら、患者の抱える問題を解決する。	PS-02		PS-02-04		PS-02-04-05	皮膚系の疾患・病態について病因、疫学、症候、検査、診断、治療法を理解している。																																																						
	医学及び関連する学問分野の知識を身に付け、根拠に基づいた医療を基盤に、経験も踏まえながら、患者の抱える問題を解決する。	PS-02		PS-02-05		PS-02-05-01	運動器(筋骨格)系の構造と機能について基本的事項を理解している。						○								○																													○									
	医学及び関連する学問分野の知識を身に付け、根拠に基づいた医療を基盤に、経験も踏まえながら、患者の抱える問題を解決する。	PS-02		PS-02-05		PS-02-05-02	運動器(筋骨格)系でみられる症候について理解している。																																																				
	医学及び関連する学問分野の知識を身に付け、根拠に基づいた医療を基盤に、経験も踏まえながら、患者の抱える問題を解決する。	PS-02		PS-02-05	運動器(筋骨格)系(表2-4)	PS-02-05-03	運動器(筋骨格)系で行う検査方法について基本的事項を理解している。																																																					
	医学及び関連する学問分野の知識を身に付け、根拠に基づいた医療を基盤に、経験も踏まえながら、患者の抱える問題を解決する。	PS-02		PS-02-05		PS-02-05-04	運動器(筋骨格)系疾患に特異的な治療法について基本的事項を理解している。																																																					
	医学及び関連する学問分野の知識を身に付け、根拠に基づいた医療を基盤に、経験も踏まえながら、患者の抱える問題を解決する。	PS-02		PS-02-05		PS-02-05-05	運動器(筋骨格)系の疾患・病態について病因、疫学、症候、検査、診断、治療法を理解している。																																																					
	医学及び関連する学問分野の知識を身に付け、根拠に基づいた医療を基盤に、経験も踏まえながら、患者の抱える問題を解決する。	PS-02		PS-02-06		PS-02-06-01	循環器系の構造と機能について基本的事項を理解している。						○								○																						○								○									
	医学及び関連する学問分野の知識を身に付け、根拠に基づいた医療を基盤に、経験も踏まえながら、患者の抱える問題を解決する。	PS-02		PS-02-06		PS-02-06-02	循環器系でみられる症候について理解している。																																																					
	医学及び関連する学問分野の知識を身に付け、根拠に基づいた医療を基盤に、経験も踏まえながら、患者の抱える問題を解決する。	PS-02		PS-02-06	循環器系(表2-5)	PS-02-06-03	循環器系で行う検査方法について基本的事項を理解している。														○																																									
	医学及び関連する学問分野の知識を身に付け、根拠に基づいた医療を基盤に、経験も踏まえながら、患者の抱える問題を解決する。	PS-02		PS-02-06		PS-02-06-04	循環器系疾患に特異的な治療法について基本的事項を理解している。																																																					
	医学及び関連する学問分野の知識を身に付け、根拠に基づいた医療を基盤に、経験も踏まえながら、患者の抱える問題を解決する。	PS-02		PS-02-06		PS-02-06-05	循環器系の疾患・病態について病因、疫学、症候、検査、診断、治療法を理解している。																																																					
	医学及び関連する学問分野の知識を身に付け、根拠に基づいた医療を基盤に、経験も踏まえながら、患者の抱える問題を解決する。	PS-02		PS-02-07		PS-02-07-01	呼吸器系の構造と機能について基本的事項について理解している。						○								○																															○									
	医学及び関連する学問分野の知識を身に付け、根拠に基づいた医療を基盤に、経験も踏まえながら、患者の抱える問題を解決する。	PS-02		PS-02-07		PS-02-07-02	呼吸器系でみられる症候について理解している。																																																					
	医学及び関連する学問分野の知識を身に付け、根拠に基づいた医療を基盤に、経験も踏まえながら、患者の抱える問題を解決する。	PS-02		PS-02-07	呼吸器系(表2-6)	PS-02-07-03	呼吸器系で行う検査方法について基本的事項を理解している。																																																					
	医学及び関連する学問分野の知識を身に付け、根拠に基づいた医療を基盤に、経験も踏まえながら、患者の抱える問題を解決する。	PS-02		PS-02-07		PS-02-07-04	呼吸器系疾患に特異的な治療法について基本的事項を理解している。																																																					
専門知識に基づいた問題解決能力	医学及び関連する学問分野の知識を身に付け、根拠に基づいた医療を基盤に、経験も踏まえながら、患者の抱える問題を解決する。	PS-02		PS-02-07		PS-02-07-05	呼吸器系の疾患・病態について病因、疫学、症候、検査、診断、治療法を理解している。																																																					
	医学及び関連する学問分野の知識を身に付け、根拠に基づいた医療を基盤に、経験も踏まえながら、患者の抱える問題を解決する。	PS-02		PS-02-08		PS-02-08-01	消化器系の構造と機能について基本的事項を理解している。						○								○																															○									
	医学及び関連する学問分野の知識を身に付け、根拠に基づいた医療を基盤に、経験も踏まえながら、患者の抱える問題を解決する。	PS-02		PS-02-08		PS-02-08-02	消化器系でみられる症候について理解している。																																																					
	医学及び関連する学問分野の知識を身に付け、根拠に基づいた医療を基盤に、経験も踏まえながら、患者の抱える問題を解決する。	PS-02		PS-02-08	消化器系(表2-7)	PS-02-08-03	消化器系で行う検査方法について基本的事項を理解している。																																																					
	医学及び関連する学問分野の知識を身に付け、根拠に基づいた医療を基盤に、経験も踏まえながら、患者の抱える問題を解決する。	PS-02		PS-02-08		PS-02-08-04	消化器系疾患に特異的な治療法について基本的事項を理解している。																																																					
	医学及び関連する学問分野の知識を身に付け、根拠に基づいた医療を基盤に、経験も踏まえながら、患者の抱える問題を解決する。	PS-02		PS-02-08		PS-02-08-05	消化器系の疾患・病態について病因、疫学、症候、検査、診断、治療法を理解している。																																																					
	医学及び関連する学問分野の知識を身に付け、根拠に基づいた医療を基盤に、経験も踏まえながら、患者の抱える問題を解決する。	PS-02		PS-02-09		PS-02-09-01	腎・尿路系の構造と機能について基本的事項を理解している。							○							○																																								
	医学及び関連する学問分野の知識を身に付け、根拠に基づいた医療を基盤に、経験も踏まえながら、患者の抱える問題を解決する。	PS-02		PS-02-09		PS-02-09-02	腎・尿路系でみられる症候について理解している。																																																					
	医学及び関連する学問分野の知識を身に付け、根拠に基づいた医療を基盤に、経験も踏まえながら、患者の抱える問題を解決する。	PS-02		PS-02-09	腎・尿路系(体液・電解質バランスを含む)(表2-8)	PS-02-09-03	腎・尿路系で行う検査方法について基本的事項を理解している。																																																					
	医学及び関連する学問分野の知識を身に付け、根拠に基づいた医療を基盤に、経験も踏まえながら、患者の抱える問題を解決する。	PS-02		PS-02-09		PS-02-09-04	腎・尿路系疾患に特異的な治療法について基本的事項を理解している。																																																					
	医学及び関連する学問分野の知識を身に付け、根拠に基づいた医療を基盤に、経験も踏まえながら、患者の抱える問題を解決する。	PS-02	人体各器官の正常構造と機能、病態、診断、治療	PS-02-09		PS-02-09-05	腎・尿路系の疾患・病態について病因、疫学、症候、検査、診断、治療法を理解している。																																																					
	医学及び関連する学問分野の知識を身に付け、根拠に基づいた医療を基盤に、経験も踏まえながら、患者の抱える問題を解決する。	PS-02		PS-02-10		PS-02-10-01	生殖器系の構造と機能について基本的事項を理解している。							○							○																																								
	医学及び関連する学問分野の知識を身に付け、根拠に基づいた医療を基盤に、経験も踏まえながら、患者の抱える問題を解決する。	PS-02		PS-02-10		PS-02-10-02	生殖器系でみられる症候について理解している。																																																					
	医学及び関連する学問分野の知識を身に付け、根拠に基づいた医療を基盤に、経験も踏まえながら、患者の抱える問題を解決する。	PS-02		PS-02-10	生殖器系(表2-9)	PS-02-10-03	生殖器系で行う検査方法について基本的事項を理解している。																																																					
	医学及び関連する学問分野の知識を身に付け、根拠に基づいた医療を基盤に、経験も踏まえながら、患者の抱える問題を解決する。	PS-02		PS-02-10		PS-02-10-04	生殖器系に関する疾患に特異的な治療法について基本的事項を理解している。																																																					
	医学及び関連する学問分野の知識を身に付け、根拠に基づいた医療を基盤に、経験も踏まえながら、患者の抱える問題を解決する。	PS-02		PS-02-10		PS-02-10-05	生殖器系に関する疾患・病態について病因、疫学、症候、検査、診断、治療法を理解している。																																																					
	医学及び関連する学問分野の知識を身に付け、根拠に基づいた医療を基盤に、経験も踏まえながら、患者の抱える問題を解決する。	PS-02		PS-02-11		PS-02-11-01	妊娠と分娩に関する構造と機能について基本的事項を理解している。																																																					
	医学及び関連する学問分野の知識を身に付け、根拠に基づいた医療を基盤に、経験も踏まえながら、患者の抱える問題を解決する。	PS-02		PS-02-11		PS-02-11-02	妊娠と分娩でみられる症候について理解している。																																																					
	医学及び関連する学問分野の知識を身に付け、根拠に基づいた医療を基盤に、経験も踏まえながら、患者の抱える問題を解決する。	PS-02		PS-02-11	妊娠と分娩(表2-10)	PS-02-11-03	妊娠と分娩で行う検査方法について基本的事項を理解している。																																																					
	医学及び関連する学問分野の知識を身に付け、根拠に基づいた医療を基盤に、経験も踏まえながら、患者の抱える問題を解決する。	PS-02		PS-02-11		PS-02-11-04	妊娠と分娩に特異的な治療法について基本的事項を理解している。																																																					

1学年

第1層 語	第1層 説明	第2層	第2層 語	第3層	第3層 語	第4層	第4層 語
	医学及び関連する学問分野の知識を身に付け、根拠に基づいた医療を基盤に、経験も踏まえながら、患者の抱える問題を解決する。	PS-02		PS-02-11		PS-02-11-05	妊娠と分娩に関する疾患・病態について病因、疫学、症候、検査、診断、治療法を理解している。
	医学及び関連する学問分野の知識を身に付け、根拠に基づいた医療を基盤に、経験も踏まえながら、患者の抱える問題を解決する。	PS-02		PS-02-12		PS-02-12-01	小児にみられる症候について理解している。
	医学及び関連する学問分野の知識を身に付け、根拠に基づいた医療を基盤に、経験も踏まえながら、患者の抱える問題を解決する。	PS-02		PS-02-12	小児(表2-11)	PS-02-12-02	小児で行う検査方法について基本的事項を理解している。
	医学及び関連する学問分野の知識を身に付け、根拠に基づいた医療を基盤に、経験も踏まえながら、患者の抱える問題を解決する。	PS-02		PS-02-12		PS-02-12-03	小児に特異的な治療法について基本的事項を理解している。
	医学及び関連する学問分野の知識を身に付け、根拠に基づいた医療を基盤に、経験も踏まえながら、患者の抱える問題を解決する。	PS-02		PS-02-12		PS-02-12-04	小児の疾患・病態について病因、疫学、症候、検査、診断、治療法を理解している。
	医学及び関連する学問分野の知識を身に付け、根拠に基づいた医療を基盤に、経験も踏まえながら、患者の抱える問題を解決する。	PS-02		PS-02-13		PS-02-13-01	乳房の構造と機能について基本的事項を理解している。
	医学及び関連する学問分野の知識を身に付け、根拠に基づいた医療を基盤に、経験も踏まえながら、患者の抱える問題を解決する。	PS-02		PS-02-13		PS-02-13-02	乳房でみられる症候について理解している。
	医学及び関連する学問分野の知識を身に付け、根拠に基づいた医療を基盤に、経験も踏まえながら、患者の抱える問題を解決する。	PS-02		PS-02-13	乳房(表2-12)	PS-02-13-03	乳房に関して行う検査方法について基本的事項を理解している。
	医学及び関連する学問分野の知識を身に付け、根拠に基づいた医療を基盤に、経験も踏まえながら、患者の抱える問題を解決する。	PS-02		PS-02-13		PS-02-13-04	乳房疾患に特異的な治療法について基本的事項を理解している。
	医学及び関連する学問分野の知識を身に付け、根拠に基づいた医療を基盤に、経験も踏まえながら、患者の抱える問題を解決する。	PS-02		PS-02-13		PS-02-13-05	乳房に関する疾患・病態について病因、疫学、症候、検査、診断、治療法について理解している。
	医学及び関連する学問分野の知識を身に付け、根拠に基づいた医療を基盤に、経験も踏まえながら、患者の抱える問題を解決する。	PS-02		PS-02-14		PS-02-14-01	内分泌・栄養・代謝系の構造と機能について基本的事項を理解している。
	医学及び関連する学問分野の知識を身に付け、根拠に基づいた医療を基盤に、経験も踏まえながら、患者の抱える問題を解決する。	PS-02		PS-02-14		PS-02-14-02	内分泌・栄養・代謝系でみられる症候について理解している。
	医学及び関連する学問分野の知識を身に付け、根拠に基づいた医療を基盤に、経験も踏まえながら、患者の抱える問題を解決する。	PS-02		PS-02-14	内分泌・栄養・代謝系(表2-13)	PS-02-14-03	内分泌・栄養・代謝系で行う検査方法について基本的事項を理解している。
	医学及び関連する学問分野の知識を身に付け、根拠に基づいた医療を基盤に、経験も踏まえながら、患者の抱える問題を解決する。	PS-02		PS-02-14		PS-02-14-04	内分泌・栄養・代謝系疾患に特異的な治療法について基本的事項を理解している。
	医学及び関連する学問分野の知識を身に付け、根拠に基づいた医療を基盤に、経験も踏まえながら、患者の抱える問題を解決する。	PS-02		PS-02-14		PS-02-14-05	内分泌・栄養・代謝系の疾患・病態について病因、疫学、症候、検査、診断、治療法を理解している。
	医学及び関連する学問分野の知識を身に付け、根拠に基づいた医療を基盤に、経験も踏まえながら、患者の抱える問題を解決する。	PS-02		PS-02-14		PS-02-14-06	メタボリックシンドロームの病態について理解している。
	医学及び関連する学問分野の知識を身に付け、根拠に基づいた医療を基盤に、経験も踏まえながら、患者の抱える問題を解決する。	PS-02		PS-02-15		PS-02-15-01	眼・視覚系の構造と機能について基本的事項を理解している。
	医学及び関連する学問分野の知識を身に付け、根拠に基づいた医療を基盤に、経験も踏まえながら、患者の抱える問題を解決する。	PS-02		PS-02-15		PS-02-15-02	眼・視覚系でみられる症候について理解している。
	医学及び関連する学問分野の知識を身に付け、根拠に基づいた医療を基盤に、経験も踏まえながら、患者の抱える問題を解決する。	PS-02		PS-02-15	眼・視覚系(表2-14)	PS-02-15-03	眼・視覚系で行う検査方法について基本的事項を理解している。
専門知識に基づいた問題解決能力	医学及び関連する学問分野の知識を身に付け、根拠に基づいた医療を基盤に、経験も踏まえながら、患者の抱える問題を解決する。	PS-02		PS-02-15		PS-02-15-04	眼・視覚系疾患に特異的な治療法について基本的事項を理解している。
	医学及び関連する学問分野の知識を身に付け、根拠に基づいた医療を基盤に、経験も踏まえながら、患者の抱える問題を解決する。	PS-02		PS-02-15		PS-02-15-05	眼・視覚系の疾患・病態について病因、疫学、症候、検査、診断、治療法を理解している。
	医学及び関連する学問分野の知識を身に付け、根拠に基づいた医療を基盤に、経験も踏まえながら、患者の抱える問題を解決する。	PS-02		PS-02-16		PS-02-16-01	耳鼻・咽喉・口腔系の構造と機能について基本的事項を理解している。
	医学及び関連する学問分野の知識を身に付け、根拠に基づいた医療を基盤に、経験も踏まえながら、患者の抱える問題を解決する。	PS-02		PS-02-16		PS-02-16-02	耳鼻・咽喉・口腔系でみられる症候について理解している。
	医学及び関連する学問分野の知識を身に付け、根拠に基づいた医療を基盤に、経験も踏まえながら、患者の抱える問題を解決する。	PS-02		PS-02-16	耳鼻・咽喉・口腔系(表2-15)	PS-02-16-03	耳鼻・咽喉・口腔系で行う検査方法について基本的事項を理解している。
	医学及び関連する学問分野の知識を身に付け、根拠に基づいた医療を基盤に、経験も踏まえながら、患者の抱える問題を解決する。	PS-02		PS-02-16		PS-02-16-04	耳鼻・咽喉・口腔系疾患に特異的な治療法について基本的事項を理解している。
	医学及び関連する学問分野の知識を身に付け、根拠に基づいた医療を基盤に、経験も踏まえながら、患者の抱える問題を解決する。	PS-02		PS-02-16		PS-02-16-05	耳鼻・咽喉・口腔系の疾患・病態について病因、疫学、症候、検査、診断、治療法を理解している。
	医学及び関連する学問分野の知識を身に付け、根拠に基づいた医療を基盤に、経験も踏まえながら、患者の抱える問題を解決する。	PS-02		PS-02-17		PS-02-17-01	脳とこころの働きについて基本的事項を理解している。
	医学及び関連する学問分野の知識を身に付け、根拠に基づいた医療を基盤に、経験も踏まえながら、患者の抱える問題を解決する。	PS-02		PS-02-17		PS-02-17-02	精神系でみられる症候について理解している。
	医学及び関連する学問分野の知識を身に付け、根拠に基づいた医療を基盤に、経験も踏まえながら、患者の抱える問題を解決する。	PS-02		PS-02-17	精神系(表2-16)	PS-02-17-03	精神系で行う検査方法について基本的事項を理解している。
	医学及び関連する学問分野の知識を身に付け、根拠に基づいた医療を基盤に、経験も踏まえながら、患者の抱える問題を解決する。	PS-02		PS-02-17		PS-02-17-04	精神系疾患に特異的な治療法について基本的事項を理解している。
	医学及び関連する学問分野の知識を身に付け、根拠に基づいた医療を基盤に、経験も踏まえながら、患者の抱える問題を解決する。	PS-02		PS-02-17		PS-02-17-05	精神系の疾患・病態について病因、疫学、症候、検査、診断、治療法を理解している。
	医学及び関連する学問分野の知識を身に付け、根拠に基づいた医療を基盤に、経験も踏まえながら、患者の抱える問題を解決する。	PS-03		PS-03-01		PS-03-01-01	集団遺伝学の基礎としてハーディ・ワインベルグの法則について概要を理解している。
	医学及び関連する学問分野の知識を身に付け、根拠に基づいた医療を基盤に、経験も踏まえながら、患者の抱える問題を解決する。	PS-03		PS-03-01		PS-03-01-02	家系図を作成し、評価できる。
	医学及び関連する学問分野の知識を身に付け、根拠に基づいた医療を基盤に、経験も踏まえながら、患者の抱える問題を解決する。	PS-03		PS-03-01		PS-03-01-03	生殖細胞系列変異と体細胞変異の違い、遺伝学的検査の目的と意義について理解している。
	医学及び関連する学問分野の知識を身に付け、根拠に基づいた医療を基盤に、経験も踏まえながら、患者の抱える問題を解決する。	PS-03		PS-03-01	遺伝医療・ゲノム医療	PS-03-01-04	遺伝情報の特性(不変性、予見性、共有性、あいまい性)について理解している。
	医学及び関連する学問分野の知識を身に付け、根拠に基づいた医療を基盤に、経験も踏まえながら、患者の抱える問題を解決する。	PS-03		PS-03-01		PS-03-01-05	遺伝カウンセリングの意義と方法について理解している。
	医学及び関連する学問分野の知識を身に付け、根拠に基づいた医療を基盤に、経験も踏まえながら、患者の抱える問題を解決する。	PS-03		PS-03-01		PS-03-01-06	遺伝医療における倫理的・法的・社会的配慮について理解している。
	医学及び関連する学問分野の知識を身に付け、根拠に基づいた医療を基盤に、経験も踏まえながら、患者の抱える問題を解決する。	PS-03		PS-03-01		PS-03-01-07	遺伝医学関連情報にアクセスすることができる。
	医学及び関連する学問分野の知識を身に付け、根拠に基づいた医療を基盤に、経験も踏まえながら、患者の抱える問題を解決する。	PS-03		PS-03-01		PS-03-01-08	遺伝情報に基づく治療や予防をはじめとする未発症者を含む患者・家族への適切な対処法について概要を理解している。

第4層	医療ﾌﾟﾛﾌｪｯｼｮﾅﾘｽﾞﾑの実践	臨床実習入門	白衣の日	LPBL	地域医療の実践	生体の構造と機能									理工学からみた医療・医学			ITからみた医療・医学	人間と社会						医学英語			健康科学	リベラルアーツセミナー																								
	A1	P1b	P1	A1	A1	A1					B1		P1a	P1b	A1		P1	A1	A1				P1a	P1b	A1			A1	A1																								
						(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(1)	(2)			(1)	(2)			(1)	(2)	(3)	(4)			(1)	(2)	(3)		数理	光学	栄養	生化	時間	カウ	感覚	運動	TOEFL	英語	記憶	医教	辞書	統計学	基物	基生	ﾘｻｰﾁ	ｲﾉﾍﾞ	保健	独セ	仏セ	医経Ⅰ	医経Ⅱ	医社	細胞生物
PS-02-11-05																																																					
PS-02-12-01																																																					
PS-02-12-02																																																					
PS-02-12-03																																																					
PS-02-12-04																																																					
PS-02-13-01														○																																							
PS-02-13-02																																																					
PS-02-13-03																																																					
PS-02-13-04																																																					
PS-02-13-05																																																					
PS-02-14-01						○								○																														○									
PS-02-14-02																																																					
PS-02-14-03																																																					
PS-02-14-04																																																					
PS-02-14-05																																																					
PS-02-14-06																																																					
PS-02-15-01														○																					○																		
PS-02-15-02																																			○																		
PS-02-15-03																																																					
PS-02-15-04																																																					
PS-02-15-05																																																					
PS-02-16-01														○																																							
PS-02-16-02																																																					
PS-02-16-03																																																					
PS-02-16-04																																																					
PS-02-16-05																																																					
PS-02-17-01																																																					
PS-02-17-02																																																					
PS-02-17-03																					○																																
PS-02-17-04																																																					
PS-02-17-05																																																					
PS-03-01-01																																																					
PS-03-01-02																																																					
PS-03-01-03																																																					
PS-03-01-04																																																					
PS-03-01-05																																																					
PS-03-01-06																																																					
PS-03-01-07																																																					
PS-03-01-08																																																					

第1層 語	第1層 説明	第2層	第2層 語	第3層	第3層 語	第4層	第4層 語	医療プロフェッショナリズムの実践	臨床実習入門	白衣の日	LPBL	地域医療の実践	生体の構造と機能									理工学からみた医療・医学			ITからみた医療・医学	人間と社会						医学英語			健康科学	リベラルアーツセミナー																								
								A1	P1b	P1	A1	A1	A1					B1		P1a	P1b	A1		P1	A1	A1				P1a	P1b	A1			A1	A1																								
													(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(1)	(2)			(1)	(2)			(1)	(2)	(3)	(4)			(1)	(2)	(3)		数理	光学	栄養	生化	時間	カウ	感覚	運動	TOEFL	英語	記憶	医教	辞書	統計学	基物	基生	リサーチ	イノベ	保健	独セ	仏セ	医経Ⅰ	医経Ⅱ	医社	細胞生物
専門知識に基づいた問題解決能力	医学及び関連する学問分野の知識を身に付け、根拠に基づいた医療を基盤に、経験も踏まえながら、患者の抱える問題を解決する。	PS-03	全身に及ぶ生理的変化、病態、診断、治療	PS-03-02	免疫・アレルギー	PS-03-02-01	膠原病、血管炎、リウマチ性疾患、アレルギー性疾患、自己免疫疾患の概念を区別して理解し、それぞれに含まれる疾患を列挙できる(表1)。																																																	
	医学及び関連する学問分野の知識を身に付け、根拠に基づいた医療を基盤に、経験も踏まえながら、患者の抱える問題を解決する。	PS-03		PS-03-02		PS-03-02-02	膠原病、血管炎、リウマチ性疾患、アレルギー性疾患、自己免疫疾患でみられる症状・症候について説明できる(表2-17)。																																																	
	医学及び関連する学問分野の知識を身に付け、根拠に基づいた医療を基盤に、経験も踏まえながら、患者の抱える問題を解決する。	PS-03		PS-03-02		PS-03-02-03	免疫血清学検査の原理と検査結果の臨床的意義について理解している(表2-17)。																																																	
	医学及び関連する学問分野の知識を身に付け、根拠に基づいた医療を基盤に、経験も踏まえながら、患者の抱える問題を解決する。	PS-03		PS-03-02		PS-03-02-04	膠原病、血管炎、リウマチ性疾患、アレルギー性疾患、自己免疫疾患に使用する治療薬について理解している(表2-17)。																																																	
	医学及び関連する学問分野の知識を身に付け、根拠に基づいた医療を基盤に、経験も踏まえながら、患者の抱える問題を解決する。	PS-03		PS-03-02		PS-03-02-05	膠原病、血管炎、リウマチ性疾患、アレルギー性疾患、自己免疫疾患の疾患・病態について病因、疫学、症候、主な検査・診断、治療法、合併症を説明できる(表2-17)。																																																	
	医学及び関連する学問分野の知識を身に付け、根拠に基づいた医療を基盤に、経験も踏まえながら、患者の抱える問題を解決する。	PS-03		PS-03-03	感染症(表 2-18)	PS-03-03-01	代表的な市中感染症の原因微生物について理解している。																																																	
	医学及び関連する学問分野の知識を身に付け、根拠に基づいた医療を基盤に、経験も踏まえながら、患者の抱える問題を解決する。	PS-03		PS-03-03		PS-03-03-02	代表的な医療関連感染の原因微生物について理解している。																																																	
	医学及び関連する学問分野の知識を身に付け、根拠に基づいた医療を基盤に、経験も踏まえながら、患者の抱える問題を解決する。	PS-03		PS-03-03		PS-03-03-03	代表的な免疫不全患者の罹患しやすい微生物について概要を理解している。																																																	
	医学及び関連する学問分野の知識を身に付け、根拠に基づいた医療を基盤に、経験も踏まえながら、患者の抱える問題を解決する。	PS-03		PS-03-03		PS-03-03-04	薬剤耐性の現状、代表的な薬剤耐性菌（メチシリン耐性黄色ブドウ球菌等）と抗菌薬適正使用等の予防策について理解している。																																																	
	医学及び関連する学問分野の知識を身に付け、根拠に基づいた医療を基盤に、経験も踏まえながら、患者の抱える問題を解決する。	PS-03		PS-03-03		PS-03-03-05	患者（宿主）、感染臓器・部位、原因微生物の関係について理解している。																																																	
	医学及び関連する学問分野の知識を身に付け、根拠に基づいた医療を基盤に、経験も踏まえながら、患者の抱える問題を解決する。	PS-03		PS-03-03		PS-03-03-06	代表的な市中感染症のリスク因子、感染経路・侵入門戸、病態生理について理解している。																																																	
	医学及び関連する学問分野の知識を身に付け、根拠に基づいた医療を基盤に、経験も踏まえながら、患者の抱える問題を解決する。	PS-03		PS-03-03		PS-03-03-07	代表的な医療関連感染のリスク因子、感染経路・侵入門戸、病態生理を理解している。																																																	
	医学及び関連する学問分野の知識を身に付け、根拠に基づいた医療を基盤に、経験も踏まえながら、患者の抱える問題を解決する。	PS-03		PS-03-03		PS-03-03-08	敗血症と血流感染の相違を理解し、病態について理解している。																																																	
	医学及び関連する学問分野の知識を身に付け、根拠に基づいた医療を基盤に、経験も踏まえながら、患者の抱える問題を解決する。	PS-03		PS-03-03		PS-03-03-09	新興感染症等についてその感染経路を理解し、必要な感染対策を理解している。																																																	
	医学及び関連する学問分野の知識を身に付け、根拠に基づいた医療を基盤に、経験も踏まえながら、患者の抱える問題を解決する。	PS-03		PS-03-03		PS-03-03-10	医療面接と身体所見から感染臓器と原因微生物を想定し理解している。																																																	
	医学及び関連する学問分野の知識を身に付け、根拠に基づいた医療を基盤に、経験も踏まえながら、患者の抱える問題を解決する。	PS-03		PS-03-03		PS-03-03-11	医療面接と身体診察から想定した原因微生物の診断方法について理解している。																																																	
	医学及び関連する学問分野の知識を身に付け、根拠に基づいた医療を基盤に、経験も踏まえながら、患者の抱える問題を解決する。	PS-03		PS-03-03		PS-03-03-12	発熱患者への基本検査（血液培養2セット、尿検査・尿培養、胸部エックス線写真等）について理解している。																																																	
	医学及び関連する学問分野の知識を身に付け、根拠に基づいた医療を基盤に、経験も踏まえながら、患者の抱える問題を解決する。	PS-03		PS-03-03		PS-03-03-13	抗菌薬投与の原則（抗菌薬投与前に培養検体を提出する、微生物と臓器による標準薬を選択し投与期間を設定する）について理解している。																																																	
	医学及び関連する学問分野の知識を身に付け、根拠に基づいた医療を基盤に、経験も踏まえながら、患者の抱える問題を解決する。	PS-03		PS-03-03		PS-03-03-14	抗菌薬の初期治療（経験的治療）について理解している。																																																	
	医学及び関連する学問分野の知識を身に付け、根拠に基づいた医療を基盤に、経験も踏まえながら、患者の抱える問題を解決する。	PS-03		PS-03-03		PS-03-03-15	抗菌薬の最適治療（標的治療）について理解している。																																																	
	医学及び関連する学問分野の知識を身に付け、根拠に基づいた医療を基盤に、経験も踏まえながら、患者の抱える問題を解決する。	PS-03		PS-03-03		PS-03-03-16	ワクチン予防可能な疾患について理解している(表1)。																																																	
	医学及び関連する学問分野の知識を身に付け、根拠に基づいた医療を基盤に、経験も踏まえながら、患者の抱える問題を解決する。	PS-03		PS-03-03		PS-03-03-17	職業感染対策（ワクチン接種、針刺切創・体液曝露、結核曝露等）について理解している。																																																	
	医学及び関連する学問分野の知識を身に付け、根拠に基づいた医療を基盤に、経験も踏まえながら、患者の抱える問題を解決する。	PS-03		PS-03-03		PS-03-03-18	標準予防策（スタンダード・プリコーション）、感染経路別予防策（飛沫感染予防策、接触感染予防策、空気感染予防策等）が必要となる病原微生物、患者から医療従事者への病原微生物曝露を防ぐための個人防護具、予防接種等、医療従事者の体液曝露後の感染予防策について理解している。																																																		
	医学及び関連する学問分野の知識を身に付け、根拠に基づいた医療を基盤に、経験も踏まえながら、患者の抱える問題を解決する。	PS-03		PS-03-04	腫瘍	PS-03-04-01	腫瘍の定義とその特性について、ゲノム異常や分子機構(エピゲノム修飾を含む)とともに理解している。																																											○								
	医学及び関連する学問分野の知識を身に付け、根拠に基づいた医療を基盤に、経験も踏まえながら、患者の抱える問題を解決する。	PS-03		PS-03-04		PS-03-04-02	我が国及び世界における各腫瘍の頻度等について理解している。																																																	
	医学及び関連する学問分野の知識を身に付け、根拠に基づいた医療を基盤に、経験も踏まえながら、患者の抱える問題を解決する。	PS-03		PS-03-04		PS-03-04-03	腫瘍性疾患発症の遺伝的素因・基礎疾患・感染症・環境生活習慣等のリスク因子、腫瘍の予防・検診について理解している。																																																		
	医学及び関連する学問分野の知識を身に付け、根拠に基づいた医療を基盤に、経験も踏まえながら、患者の抱える問題を解決する。	PS-03		PS-03-04		PS-03-04-04	腫瘍マーカー、バイオマーカー、がん遺伝子パネル検査等、腫瘍に特化した検査とその所見について概要を理解している。																																																	
	医学及び関連する学問分野の知識を身に付け、根拠に基づいた医療を基盤に、経験も踏まえながら、患者の抱える問題を解決する。	PS-03		PS-03-04		PS-03-04-05	腫瘍の内視鏡検査・画像検査（エックス線、CT、MRI、PET・核医学、超音波等）の異常所見がわかり診断できる。																																																	
	医学及び関連する学問分野の知識を身に付け、根拠に基づいた医療を基盤に、経験も踏まえながら、患者の抱える問題を解決する。	PS-03		PS-03-04		PS-03-04-06	腫瘍の生検・細胞診や病理検査とその所見について概要を理解している。																																																	
	医学及び関連する学問分野の知識を身に付け、根拠に基づいた医療を基盤に、経験も踏まえながら、患者の抱える問題を解決する。	PS-03		PS-03-04		PS-03-04-07	腫瘍のTNM分類、ステージについて概要を理解している。																																																	
	医学及び関連する学問分野の知識を身に付け、根拠に基づいた医療を基盤に、経験も踏まえながら、患者の抱える問題を解決する。	PS-03		PS-03-04		PS-03-04-08	がんの症候について理解している(表2-19)。																																																	
	医学及び関連する学問分野の知識を身に付け、根拠に基づいた医療を基盤に、経験も踏まえながら、患者の抱える問題を解決する。	PS-03		PS-03-04		PS-03-04-09	主な造血器腫瘍の症候、診断、治療について理解している。																																																	
	医学及び関連する学問分野の知識を身に付け、根拠に基づいた医療を基盤に、経験も踏まえながら、患者の抱える問題を解決する。	PS-03		PS-03-04		PS-03-04-10	主な脳腫瘍の症候、診断、治療について概要を理解している。																																																	
	医学及び関連する学問分野の知識を身に付け、根拠に基づいた医療を基盤に、経験も踏まえながら、患者の抱える問題を解決する。	PS-03		PS-03-04		PS-03-04-11	主な皮膚腫瘍の症候、診断、治療について概要を理解している。																																																	
	医学及び関連する学問分野の知識を身に付け、根拠に基づいた医療を基盤に、経験も踏まえながら、患者の抱える問題を解決する。	PS-03		PS-03-04		PS-03-04-12	主な骨軟部腫瘍の症候、診断、治療について概要を理解している。																																																	
	医学及び関連する学問分野の知識を身に付け、根拠に基づいた医療を基盤に、経験も踏まえながら、患者の抱える問題を解決する。	PS-03		PS-03-04		PS-03-04-13	主な胸部腫瘍（呼吸器系）の症候、診断、治療について概要を理解している。																																																	
	医学及び関連する学問分野の知識を身に付け、根拠に基づいた医療を基盤に、経験も踏まえながら、患者の抱える問題を解決する。	PS-03		PS-03-04		PS-03-04-14	主な消化器腫瘍の症候、診断、治療について理解している。																																																	
	医学及び関連する学問分野の知識を身に付け、根拠に基づいた医療を基盤に、経験も踏まえながら、患者の抱える問題を解決する。	PS-03		PS-03-04		PS-03-04-15	主な泌尿器系腫瘍の症候、診断、治療について理解している。																																																	
	医学及び関連する学問分野の知識を身に付け、根拠に基づいた医療を基盤に、経験も踏まえながら、患者の抱える問題を解決する。	PS-03		PS-03-04		PS-03-04-16	主な生殖器系腫瘍の症候、診断、治療について理解している。																																																	

1学年

第1層 語	第1層 説明	第2層	第2層 語	第3層	第3層 語	第4層	第4層 語
	医学及び関連する学問分野の知識を身に付け、根拠に基づいた医療を基盤に、経験も踏まえながら、患者の抱える問題を解決する。	PS-03		PS-03-04		PS-03-04-17	主な乳腺腫瘍の症候、診断、治療について理解している。
	医学及び関連する学問分野の知識を身に付け、根拠に基づいた医療を基盤に、経験も踏まえながら、患者の抱える問題を解決する。	PS-03		PS-03-04		PS-03-04-18	主な内分泌系腫瘍の症候、診断、治療について理解している。
	医学及び関連する学問分野の知識を身に付け、根拠に基づいた医療を基盤に、経験も踏まえながら、患者の抱える問題を解決する。	PS-03		PS-03-04		PS-03-04-19	主な頭頸部癌の症候、診断、治療について理解している。
	医学及び関連する学問分野の知識を身に付け、根拠に基づいた医療を基盤に、経験も踏まえながら、患者の抱える問題を解決する。	PS-03		PS-03-04		PS-03-04-20	主な小児腫瘍の種類、症候、診断、治療について理解している。
	医学及び関連する学問分野の知識を身に付け、根拠に基づいた医療を基盤に、経験も踏まえながら、患者の抱える問題を解決する。	PS-03		PS-03-04		PS-03-04-21	原発不明癌、転移性腫瘍、重複癌、AYA世代の腫瘍、希少がんの種類、症候、診断、治療について概要を理解している。
	医学及び関連する学問分野の知識を身に付け、根拠に基づいた医療を基盤に、経験も踏まえながら、患者の抱える問題を解決する。	PS-03		PS-03-04		PS-03-04-22	オンコロジーエマージェンシー(脊髄圧迫、腫瘍崩壊、上大静脈症候群、代謝障害、治療の有害事象等)の起こりやすいがん、病態生理、症候と対応について概要を理解している。
	医学及び関連する学問分野の知識を身に付け、根拠に基づいた医療を基盤に、経験も踏まえながら、患者の抱える問題を解決する。	PS-03		PS-03-04		PS-03-04-23	主な腫瘍の手術療法について概要を理解している。
	医学及び関連する学問分野の知識を身に付け、根拠に基づいた医療を基盤に、経験も踏まえながら、患者の抱える問題を解決する。	PS-03		PS-03-04		PS-03-04-24	主な腫瘍の放射線療法・インターベンショナルラジオロジーの適応について概要を理解している。
	医学及び関連する学問分野の知識を身に付け、根拠に基づいた医療を基盤に、経験も踏まえながら、患者の抱える問題を解決する。	PS-03		PS-03-04		PS-03-04-25	主な腫瘍の薬物療法(細胞障害性抗癌薬、分子標的治療薬)、造血幹細胞移植、がん免疫に関する治療法について概要を理解している。
	医学及び関連する学問分野の知識を身に付け、根拠に基づいた医療を基盤に、経験も踏まえながら、患者の抱える問題を解決する。	PS-03		PS-03-04		PS-03-04-26	がん患者に対する支持療法及び緩和ケアを理解している。
	医学及び関連する学問分野の知識を身に付け、根拠に基づいた医療を基盤に、経験も踏まえながら、患者の抱える問題を解決する。	PS-03		PS-03-04		PS-03-04-27	腫瘍性疾患患者が直面する社会的・精神的な課題について理解している。
	医学及び関連する学問分野の知識を身に付け、根拠に基づいた医療を基盤に、経験も踏まえながら、患者の抱える問題を解決する。	PS-03		PS-03-05		PS-03-05-01	地域の救急医療体制について病院前救護体制、メディカルコントロール、初期・二次・三次救急医療の概念を用いて概要を理解している。
	医学及び関連する学問分野の知識を身に付け、根拠に基づいた医療を基盤に、経験も踏まえながら、患者の抱える問題を解決する。	PS-03		PS-03-05		PS-03-05-02	ショックの原因分類としての①血流分布異常性ショック(アナフィラキシー、敗血症性、神経原性)、②循環血液量減少性ショック(出血性、体液喪失)、③心原性ショック(心筋収縮力低下、弁疾患、不整脈)、④閉塞性ショック(心タンポナーデ、肺塞栓症、緊張性気胸)とそれぞれの病態及び診断の要点について理解している。
	医学及び関連する学問分野の知識を身に付け、根拠に基づいた医療を基盤に、経験も踏まえながら、患者の抱える問題を解決する。	PS-03		PS-03-05		PS-03-05-03	ショックの患者の初期対応と原因に応じた治療について理解している。
	医学及び関連する学問分野の知識を身に付け、根拠に基づいた医療を基盤に、経験も踏まえながら、患者の抱える問題を解決する。	PS-03		PS-03-05		PS-03-05-04	心停止の原因分類としての①心血管原性(急性心筋梗塞、急性大動脈解離、大動脈瘤破裂、肺塞栓症)、②呼吸原性(気道閉塞、緊張性気胸、肺実質病変による低酸素血症)、③ 神経原性(重症頭部・脊髄外傷、急性くも膜下出血)、④中毒・環境要因(中毒、熱中症、低体温症)、⑤電解質・酸塩基平衡異常(低・高カリウム血症、アシドーシス、低血糖)と病態及び診断の要点について理解している。
	医学及び関連する学問分野の知識を身に付け、根拠に基づいた医療を基盤に、経験も踏まえながら、患者の抱える問題を解決する。	PS-03		PS-03-05		PS-03-05-05	心停止患者の初期対応(一次・二次救命処置)と原因に応じた治療について理解している(表2-20)。
	医学及び関連する学問分野の知識を身に付け、根拠に基づいた医療を基盤に、経験も踏まえながら、患者の抱える問題を解決する。	PS-03		PS-03-05		PS-03-05-06	中毒患者が呈するトキシドロームに基づき病歴と身体所見から中毒の起因物質を推定できる。
	医学及び関連する学問分野の知識を身に付け、根拠に基づいた医療を基盤に、経験も踏まえながら、患者の抱える問題を解決する。	PS-03		PS-03-05		PS-03-05-07	中毒患者への治療としての吸収の阻害、排泄の促進、拮抗薬の適応と禁忌について概要を理解している。
専門知識に基づいた問題解決能力	医学及び関連する学問分野の知識を身に付け、根拠に基づいた医療を基盤に、経験も踏まえながら、患者の抱える問題を解決する。	PS-03		PS-03-05		PS-03-05-08	食中毒、ガス中毒(一酸化炭素中毒、硫化水素、青酸ガス)、農薬(有機リン・有機塩素)、アルコール、薬物(睡眠薬・向精神薬・解熱鎮痛薬・麻薬・覚醒剤)による中毒の病因(発生機序)、症候、診断と治療について理解している。
	医学及び関連する学問分野の知識を身に付け、根拠に基づいた医療を基盤に、経験も踏まえながら、患者の抱える問題を解決する。	PS-03		PS-03-05		PS-03-05-09	水銀、鉛、青酸、ヒ素、パラコート、自然毒、腐食剤による中毒(酸、アルカリ、フッ化水素)、ボタン電池誤飲 による中毒について理解している。
	医学及び関連する学問分野の知識を身に付け、根拠に基づいた医療を基盤に、経験も踏まえながら、患者の抱える問題を解決する。	PS-03		PS-03-05	救急・集中治療(表2-20)	PS-03-05-10	高温による障害(熱中症)、低温による障害(低体温症)の症候、主な検査・診断、治療法について理解している。
	医学及び関連する学問分野の知識を身に付け、根拠に基づいた医療を基盤に、経験も踏まえながら、患者の抱える問題を解決する。	PS-03		PS-03-05		PS-03-05-11	気圧、振動、騒音による障害の症候、主な検査・診断、治療法について概要を理解している。
	医学及び関連する学問分野の知識を身に付け、根拠に基づいた医療を基盤に、経験も踏まえながら、患者の抱える問題を解決する。	PS-03		PS-03-05		PS-03-05-12	外傷の病態と診断の要点について理解している。
	医学及び関連する学問分野の知識を身に付け、根拠に基づいた医療を基盤に、経験も踏まえながら、患者の抱える問題を解決する。	PS-03		PS-03-05		PS-03-05-13	熱傷の重症度を評価し(気道熱傷の有無、熱傷面積及び深達度)、治療方針について理解している。
	医学及び関連する学問分野の知識を身に付け、根拠に基づいた医療を基盤に、経験も踏まえながら、患者の抱える問題を解決する。	PS-03		PS-03-05		PS-03-05-14	臓器不全(多臓器不全、サイトカインストーム、播種性血管内凝固症候群)について理解している。
	医学及び関連する学問分野の知識を身に付け、根拠に基づいた医療を基盤に、経験も踏まえながら、患者の抱える問題を解決する。	PS-03		PS-03-05		PS-03-05-15	集中治療及び集中治療室の概要を理解している。
	医学及び関連する学問分野の知識を身に付け、根拠に基づいた医療を基盤に、経験も踏まえながら、患者の抱える問題を解決する。	PS-03		PS-03-05		PS-03-05-16	侵襲(手術, 外傷, 熱傷)で生じる生体侵襲と生体反応を理解している。
	医学及び関連する学問分野の知識を身に付け、根拠に基づいた医療を基盤に、経験も踏まえながら、患者の抱える問題を解決する。	PS-03		PS-03-05		PS-03-05-17	人工呼吸管理・体外式膜型肺・補助循環・急性血液浄化法が必要な病態とその意義を理解している。
	医学及び関連する学問分野の知識を身に付け、根拠に基づいた医療を基盤に、経験も踏まえながら、患者の抱える問題を解決する。	PS-03		PS-03-05		PS-03-05-18	重症患者に対する体温管理(体温維持療法を含む)及び栄養管理を理解している。
	医学及び関連する学問分野の知識を身に付け、根拠に基づいた医療を基盤に、経験も踏まえながら、患者の抱える問題を解決する。	PS-03		PS-03-05		PS-03-05-19	集中治療後症候群について概念を理解している。
	医学及び関連する学問分野の知識を身に付け、根拠に基づいた医療を基盤に、経験も踏まえながら、患者の抱える問題を解決する。	PS-03		PS-03-06		PS-03-06-01	放射線の種類と放射能、これらの性質・定量法・単位について概要を理解している。
	医学及び関連する学問分野の知識を身に付け、根拠に基づいた医療を基盤に、経験も踏まえながら、患者の抱える問題を解決する。	PS-03		PS-03-06		PS-03-06-02	内部被ばくと外部被ばくについて、線量評価やその病態、症候、診断と治療について概要を理解している。
	医学及び関連する学問分野の知識を身に付け、根拠に基づいた医療を基盤に、経験も踏まえながら、患者の抱える問題を解決する。	PS-03		PS-03-06		PS-03-06-03	放射線及び電磁波の人体(胎児を含む)への影響(急性影響と晩発影響)と適切な利用法について理解している。
	医学及び関連する学問分野の知識を身に付け、根拠に基づいた医療を基盤に、経験も踏まえながら、患者の抱える問題を解決する。	PS-03		PS-03-06		PS-03-06-04	種々の正常組織の放射線の透過性や放射線感受性の違いについて理解している。
	医学及び関連する学問分野の知識を身に付け、根拠に基づいた医療を基盤に、経験も踏まえながら、患者の抱える問題を解決する。	PS-03		PS-03-06	放射線の生体影響と適切な利用、放射線障害	PS-03-06-05	磁気共鳴画像で用いられている磁場や電磁波の特徴を理解し、人体や植え込みデバイスの発熱等の現象について理解している。
	医学及び関連する学問分野の知識を身に付け、根拠に基づいた医療を基盤に、経験も踏まえながら、患者の抱える問題を解決する。	PS-03		PS-03-06		PS-03-06-06	医療被ばく・職業被ばくも含めた放射線被ばく低減の3原則と安全管理を理解し、放射線を用いる画像検査と処置(エックス線撮影、CT、核医学、血管造影及びインターベンショナルラジオロジー、エックス線透視等)の被ばく軽減を実行できる。
	医学及び関連する学問分野の知識を身に付け、根拠に基づいた医療を基盤に、経験も踏まえながら、患者の抱える問題を解決する。	PS-03		PS-03-06		PS-03-06-07	放射線診断や血管造影及びインターベンショナルラジオロジー等の利益とコスト・リスク(被ばく線量、急性・晩発影響等)を知り、適応の有無を判断できる。
	医学及び関連する学問分野の知識を身に付け、根拠に基づいた医療を基盤に、経験も踏まえながら、患者の抱える問題を解決する。	PS-03		PS-03-06		PS-03-06-08	放射線治療の生物学的原理と、放射線の遺伝子・細胞への作用と放射線による細胞死の機序、局所的・全身的影響について概要を理解している。
情報・科学技術を活かす能力	発展し続ける情報化社会を理解し、人工知能等の情報・科学技術を活用しながら、医学研究・医療を実践する。	IT-01		IT-01-01		IT-01-01-01	情報・科学技術を医療に活用することの重要性と社会的意義を理解している。

第4層	医療プロフェッショナリズムの実践 A1	臨床実習入門 P1b	白衣の日 P1	LPBL A1	地域医療の実践 A1	生体の構造と機能 A1 (1)	生体の構造と機能 A1 (2)	生体の構造と機能 A1 (3)	生体の構造と機能 A1 (4)	生体の構造と機能 A1 (5)	生体の構造と機能 B1 (1)	生体の構造と機能 B1 (2)	生体の構造と機能 P1a	生体の構造と機能 P1b	理工学からみた医療・医学 A1 (1)	理工学からみた医療・医学 A1 (2)	理工学からみた医療・医学 P1	ITからみた医療・医学 A1	人間と社会 A1 (1)	人間と社会 A1 (2)	人間と社会 A1 (3)	人間と社会 A1 (4)	人間と社会 P1a	人間と社会 P1b	医学英語 A1 (1)	医学英語 A1 (2)	医学英語 A1 (3)	健康科学 A1	リベラルアーツセミナー A1 数理	光学	栄養	生化	時間	カウ	感覚	運動	TOEFL	英語	記憶	医教	辞書	統計学	基物	基生	ﾘｻｰﾁ	ｲﾉﾍﾞ	保健	独セ	仏セ	医経Ⅰ	医経Ⅱ	医社	細胞生物
PS-03-04-17																																																						
PS-03-04-18																																																							
PS-03-04-19																																																							
PS-03-04-20																																																							
PS-03-04-21																																																							
PS-03-04-22																																																							
PS-03-04-23																																																							
PS-03-04-24																																																							
PS-03-04-25																																																							
PS-03-04-26																																																							
PS-03-04-27																																																							
PS-03-05-01																																																							
PS-03-05-02																																																							
PS-03-05-03																																																							
PS-03-05-04																																																							
PS-03-05-05																																																							
PS-03-05-06																																																							
PS-03-05-07																																																							
PS-03-05-08																																																							
PS-03-05-09																																																							
PS-03-05-10																																																							
PS-03-05-11																																																							
PS-03-05-12																																																							
PS-03-05-13																																																							
PS-03-05-14																																																							
PS-03-05-15																																																							
PS-03-05-16																																																							
PS-03-05-17																																																							
PS-03-05-18																																																							
PS-03-05-19																																																							
PS-03-06-01																○																											○											
PS-03-06-02																○																																						
PS-03-06-03																																											○											
PS-03-06-04																○																											○											
PS-03-06-05																○																											○											
PS-03-06-06																○																											○											
PS-03-06-07																																																							
PS-03-06-08																○																											○											
IT-01-01-01																		○																																				○

1学年

第1層 語	第1層 説明	第2層	第2層 語	第3層	第3層 語	第4層	第4層 語	医療プロフェッショナリズムの実践	臨床実習入門	白衣の日	LPBL	地域医療の実践	生体の構造と機能									理工学からみた医療・医学			ITからみた医療・医学	人間と社会						医学英語			健康科学	リベラルアーツセミナー																								
								A1	P1b	P1	A1	A1	A1					B1		P1a	P1b	A1		P1	A1	A1				P1a	P1b	A1			A1	A1																								
													(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(1)	(2)			(1)	(2)			(1)	(2)	(3)	(4)			(1)	(2)	(3)		数理	光学	栄養	生化	時間	カウ	感覚	運動	TOEFL	英語	記憶	医教	辞書	統計学	基物	基生	ﾘｻｰﾁ	ｲﾉﾍﾞ	保健	独セ	仏セ	医経Ⅰ	医経Ⅱ	医社	細胞生物
情報・科学技術を活かす能力	発展し続ける情報化社会を理解し、人工知能等の情報・科学技術を活用しながら、医学研究・医療を実践する。	IT-01	情報・科学技術に向き合うための倫理観とルール	IT-01-01	情報・科学技術に向き合うための準備	IT-01-01-02	医療における情報・科学技術に関連する規制(法律、ガイドライン等)の概要を理解している。																		○																																					
	発展し続ける情報化社会を理解し、人工知能等の情報・科学技術を活用しながら、医学研究・医療を実践する。	IT-01		IT-01-01		IT-01-01-03	デジタル情報や科学技術の活用における社会的格差が医療や福祉にもたらす影響や倫理的問題を議論できる。																		○																															○			
	発展し続ける情報化社会を理解し、人工知能等の情報・科学技術を活用しながら、医学研究・医療を実践する。	IT-01		IT-01-02	情報・科学技術利用にあたっての倫理観とルール	IT-01-02-01	電子カルテをはじめとする医療情報の管理・保管の原則について理解し、関連する規制(法律、倫理基準、個人情報保護のための規定等)を遵守できる。																		○																																			
	発展し続ける情報化社会を理解し、人工知能等の情報・科学技術を活用しながら、医学研究・医療を実践する。	IT-01		IT-01-02		IT-01-02-02	ソーシャルメディア(インターネット、SNS等)の利用において、医療者として相応しい情報発信の在り方を理解し、実践できる。																	○	○																																			
	発展し続ける情報化社会を理解し、人工知能等の情報・科学技術を活用しながら、医学研究・医療を実践する。	IT-02	医療とそれを取り巻く社会に必要な情報・科学技術の原理	IT-02-01	情報・科学技術を活用した医療	IT-02-01-01	情報端末(コンピューター、スマートフォン等)を用いてインターネットやアプリ等を医療の実践に活用できる。																	○																																		○		
	発展し続ける情報化社会を理解し、人工知能等の情報・科学技術を活用しながら、医学研究・医療を実践する。	IT-02		IT-02-01		IT-02-01-02	情報・科学技術を用いて収集した情報およびデータを基に問題解決を図る。														○				○											○	○													○								○		○
	発展し続ける情報化社会を理解し、人工知能等の情報・科学技術を活用しながら、医学研究・医療を実践する。	IT-02		IT-02-02	情報・科学技術の先端知識	IT-02-02-01	医療に関連する情報・科学技術(医療情報システム、ウェアラブルデバイス、アプリ、人工知能、遠隔医療技術、IoT等)を理解し、それらの応用可能性について議論できる。																		○																									○							○			
	発展し続ける情報化社会を理解し、人工知能等の情報・科学技術を活用しながら、医学研究・医療を実践する。	IT-02		IT-02-02		IT-02-02-02	情報・科学技術の専門家とともに、技術を医療へ応用する際に、医療者に求められる役割を理解している。																		○																															○			
	発展し続ける情報化社会を理解し、人工知能等の情報・科学技術を活用しながら、医学研究・医療を実践する。	IT-03	診療現場における情報・科学技術の活用	IT-03-01	情報・科学技術を活用したコミュニケーションスキル	IT-03-01-01	電子カルテの特性を踏まえた適切な記載や活用ができる。																		○																																			
	発展し続ける情報化社会を理解し、人工知能等の情報・科学技術を活用しながら、医学研究・医療を実践する。	IT-03		IT-03-01		IT-03-01-02	遠隔コミュニケーションの在り方を理解し、その目的に応じて適切なツール(電子メール、テレビ会議システム、SNS等)を選択し利用できる。																		○												○													○										
	発展し続ける情報化社会を理解し、人工知能等の情報・科学技術を活用しながら、医学研究・医療を実践する。	IT-03		IT-03-02	情報・科学技術を活用した学習スキル	IT-03-02-01	自己学習や協同学習の場に適切なICT(eラーニング、モバイル技術等)を活用できる。														○				○												○													○										
	発展し続ける情報化社会を理解し、人工知能等の情報・科学技術を活用しながら、医学研究・医療を実践する。	IT-03		IT-03-02		IT-03-02-02	新たに登場する情報・科学技術を自身の学び及び医療に活用する柔軟性を有する。														○				○												○																							
患者ケアのための診療技能	患者の苦痛や不安感に配慮し、確実で信頼される診療技能を磨き、医療の質と患者安全を踏まえた診療を実践する。	CS-01	患者の情報収集	CS-01-01	医療面接	CS-01-01-01	医療面接における基本的コミュニケーション技法を用いることができる。																																		○																			
	患者の苦痛や不安感に配慮し、確実で信頼される診療技能を磨き、医療の質と患者安全を踏まえた診療を実践する。	CS-01		CS-01-01		CS-01-01-02	病歴(主訴、現病歴、常用薬、アレルギー歴、既往歴、家族歴、嗜好、生活習慣、社会歴・職業歴、生活環境、家庭環境、海外渡航歴、システムレビュー)を聴き取り、情報を取捨選択し整理できる。																																																						
	患者の苦痛や不安感に配慮し、確実で信頼される診療技能を磨き、医療の質と患者安全を踏まえた診療を実践する。	CS-01		CS-01-01		CS-01-01-03	患者に関わる人達から必要な情報を得ることができる。																																																					
	患者の苦痛や不安感に配慮し、確実で信頼される診療技能を磨き、医療の質と患者安全を踏まえた診療を実践する。	CS-01		CS-01-02	身体所見	CS-01-02-01	患者の状態に応じた診察ができる。																																																						
	患者の苦痛や不安感に配慮し、確実で信頼される診療技能を磨き、医療の質と患者安全を踏まえた診療を実践する。	CS-01		CS-01-02		CS-01-02-02	全身の外観(体型、栄養、姿勢、歩行、顔貌、皮膚、発声)を評価できる。																																																						
	患者の苦痛や不安感に配慮し、確実で信頼される診療技能を磨き、医療の質と患者安全を踏まえた診療を実践する。	CS-01		CS-01-02		CS-01-02-03	バイタルサイン(体温、脈拍、血圧、呼吸数、酸素飽和度)の測定ができる。																																				○																	
	患者の苦痛や不安感に配慮し、確実で信頼される診療技能を磨き、医療の質と患者安全を踏まえた診療を実践する。	CS-01		CS-01-02		CS-01-02-04	適切な体位(立位、座位、半座位、臥位、砕石位)で診察できる。																																																						
	患者の苦痛や不安感に配慮し、確実で信頼される診療技能を磨き、医療の質と患者安全を踏まえた診療を実践する。	CS-01		CS-01-02		CS-01-02-05	部位毎の身体診察(表3)ができる。																																																						
	患者の苦痛や不安感に配慮し、確実で信頼される診療技能を磨き、医療の質と患者安全を踏まえた診療を実践する。	CS-01		CS-01-02		CS-01-02-06	基本診療科(表4)において必要な診察ができる。																																																						
	患者の苦痛や不安感に配慮し、確実で信頼される診療技能を磨き、医療の質と患者安全を踏まえた診療を実践する。	CS-02		CS-02-01	診療録記載	CS-02-01-01	適切に患者の情報を収集し、問題志向型医療記録を作成できる。																																																						
	患者の苦痛や不安感に配慮し、確実で信頼される診療技能を磨き、医療の質と患者安全を踏まえた診療を実践する。	CS-02		CS-02-01		CS-02-01-02	診療経過を主観的所見・客観的所見・評価・計画で記載できる。																																																						
	患者の苦痛や不安感に配慮し、確実で信頼される診療技能を磨き、医療の質と患者安全を踏まえた診療を実践する。	CS-02		CS-02-01		CS-02-01-03	過去の診療経過をまとめて診療録に記載できる。																																																						
	患者の苦痛や不安感に配慮し、確実で信頼される診療技能を磨き、医療の質と患者安全を踏まえた診療を実践する。	CS-02		CS-02-02	臨床推論	CS-02-02-01	主要症候(表5)について原因と病態生理を理解している。																																																						
	患者の苦痛や不安感に配慮し、確実で信頼される診療技能を磨き、医療の質と患者安全を踏まえた診療を実践する。	CS-02		CS-02-02		CS-02-02-02	主要症候(表5)について鑑別診断を検討し、診断の要点を説明できる。																																																						
	患者の苦痛や不安感に配慮し、確実で信頼される診療技能を磨き、医療の質と患者安全を踏まえた診療を実践する。	CS-02		CS-02-02		CS-02-02-03	基本診療科(表4)で主訴からの診断推論を組み立てられる。																																																						
	患者の苦痛や不安感に配慮し、確実で信頼される診療技能を磨き、医療の質と患者安全を踏まえた診療を実践する。	CS-02		CS-02-02		CS-02-02-04	基本診療科(表4)における疾患の病態や疫学を理解している。																																																						
	患者の苦痛や不安感に配慮し、確実で信頼される診療技能を磨き、医療の質と患者安全を踏まえた診療を実践する。	CS-02		CS-02-03	検査(計画、分析評価)	CS-02-03-01	主要な臨床・画像検査(表6)の目的と意義を理解し、診断仮説の検証に最低限必要な検査項目を選択して、結果を解釈できる。																																																						
	患者の苦痛や不安感に配慮し、確実で信頼される診療技能を磨き、医療の質と患者安全を踏まえた診療を実践する。	CS-02		CS-02-03		CS-02-03-02	主要な臨床・画像検査(表6)の正しい検体採取方法と検体保存方法を理解している。																																																						
	患者の苦痛や不安感に配慮し、確実で信頼される診療技能を磨き、医療の質と患者安全を踏まえた診療を実践する。	CS-02		CS-02-03		CS-02-03-03	主要な臨床・画像検査(表6)の安全な実施方法(患者確認と検体確認、検査の合併症、感染症予防、精度管理)を理解している。																																																						
	患者の苦痛や不安感に配慮し、確実で信頼される診療技能を磨き、医療の質と患者安全を踏まえた診療を実践する。	CS-02		CS-02-03		CS-02-03-04	主要な臨床・画像検査(表6)の特性(感度、特異度、偽陽性、偽陰性、検査前確率・検査後確率、尤度比、ROC曲線)と判定基準(基準値・基準範囲、カットオフ値、パニック値)を理解している。																																										○											
	患者の苦痛や不安感に配慮し、確実で信頼される診療技能を磨き、医療の質と患者安全を踏まえた診療を実践する。	CS-02		CS-02-03		CS-02-03-05	主要な臨床・画像検査(表6)の生理的変動、測定誤差、精度管理、ヒューマンエラーについて理解している。																																																						
	患者の苦痛や不安感に配慮し、確実で信頼される診療技能を磨き、医療の質と患者安全を踏まえた診療を実践する。	CS-02		CS-02-03		CS-02-03-06	患者に応じた検査値特性を理解し、結果を解釈できる。																																																						
	患者の苦痛や不安感に配慮し、確実で信頼される診療技能を磨き、医療の質と患者安全を踏まえた診療を実践する。	CS-02		CS-02-03		CS-02-03-07	主要な臨床・画像検査(表6)の目的と適応を理解し、解釈できる。																																																						
	患者の苦痛や不安感に配慮し、確実で信頼される診療技能を磨き、医療の質と患者安全を踏まえた診療を実践する。	CS-02		CS-02-04		CS-02-04-01	主要症候(表5)について初期対応を計画し、専門的診療が必要かどうかを考えることができる。																																																						
	患者の苦痛や不安感に配慮し、確実で信頼される診療技能を磨き、医療の質と患者安全を踏まえた診療を実践する。	CS-02		CS-02-04		CS-02-04-02	服薬の基本・アドヒアランスについて理解している。																																																						
	患者の苦痛や不安感に配慮し、確実で信頼される診療技能を磨き、医療の質と患者安全を踏まえた診療を実践する。	CS-02		CS-02-04		CS-02-04-03	処方箋の下書きを作成できる。																																																						
	患者の苦痛や不安感に配慮し、確実で信頼される診療技能を磨き、医療の質と患者安全を踏まえた診療を実践する。	CS-02		CS-02-04		CS-02-04-04	薬の薬理作用、適応、有害事象、投与時の注意事項について理解している。																																																						

1学年

第1層 語	第1層 説明	第2層	第2層 語	第3層	第3層 語	第4層	第4層 語
	患者の苦痛や不安感に配慮し、確実で信頼される診療技能を磨き、医療の質と患者安全を踏まえた診療を実践する。	CS-02		CS-02-04		CS-02-04-05	年齢や臓器障害に応じた薬物動態の特徴を考慮した薬剤投与の注意点について理解している。
	患者の苦痛や不安感に配慮し、確実で信頼される診療技能を磨き、医療の質と患者安全を踏まえた診療を実践する。	CS-02		CS-02-04		CS-02-04-06	薬物動態的相互作用について理解している。
	患者の苦痛や不安感に配慮し、確実で信頼される診療技能を磨き、医療の質と患者安全を踏まえた診療を実践する。	CS-02		CS-02-04		CS-02-04-07	使用禁忌、特定条件下での薬物使用(アンチ・ドーピング等)について理解している。
	患者の苦痛や不安感に配慮し、確実で信頼される診療技能を磨き、医療の質と患者安全を踏まえた診療を実践する。	CS-02		CS-02-04		CS-02-04-08	主な薬物アレルギーの症候、診察、診断、予防策と対処法について理解している。
	患者の苦痛や不安感に配慮し、確実で信頼される診療技能を磨き、医療の質と患者安全を踏まえた診療を実践する。	CS-02		CS-02-04		CS-02-04-09	薬物の蓄積、耐性、タキフィラキシー、依存の概要を理解している。
	患者の苦痛や不安感に配慮し、確実で信頼される診療技能を磨き、医療の質と患者安全を踏まえた診療を実践する。	CS-02		CS-02-04		CS-02-04-10	抗腫瘍薬の適応、有害事象、投与時の注意事項について理解している。
	患者の苦痛や不安感に配慮し、確実で信頼される診療技能を磨き、医療の質と患者安全を踏まえた診療を実践する。	CS-02		CS-02-04		CS-02-04-11	抗微生物薬の薬理作用、適応、有害事象、投与時の注意事項について理解している。
	患者の苦痛や不安感に配慮し、確実で信頼される診療技能を磨き、医療の質と患者安全を踏まえた診療を実践する。	CS-02		CS-02-04		CS-02-04-12	オピオイド鎮痛薬・鎮静薬の適応、有害事象、投与時の注意事項について理解している。
	患者の苦痛や不安感に配慮し、確実で信頼される診療技能を磨き、医療の質と患者安全を踏まえた診療を実践する。	CS-02		CS-02-04		CS-02-04-13	分子標的薬・バイオ医薬の薬理作用と有害事象の概要を理解している。
	患者の苦痛や不安感に配慮し、確実で信頼される診療技能を磨き、医療の質と患者安全を踏まえた診療を実践する。	CS-02		CS-02-04		CS-02-04-14	漢方医学の特徴、主な和漢薬(漢方薬)の適応、薬理作用について概要を理解している。
	患者の苦痛や不安感に配慮し、確実で信頼される診療技能を磨き、医療の質と患者安全を踏まえた診療を実践する。	CS-02		CS-02-04		CS-02-04-15	主な放射線治療法の適応の概要を理解している。
	患者の苦痛や不安感に配慮し、確実で信頼される診療技能を磨き、医療の質と患者安全を踏まえた診療を実践する。	CS-02		CS-02-04		CS-02-04-16	インターベンショナルラジオロジーについて概要を理解している。
	患者の苦痛や不安感に配慮し、確実で信頼される診療技能を磨き、医療の質と患者安全を踏まえた診療を実践する。	CS-02		CS-02-04		CS-02-04-17	内視鏡を用いる治療の概要を理解している。
	患者の苦痛や不安感に配慮し、確実で信頼される診療技能を磨き、医療の質と患者安全を踏まえた診療を実践する。	CS-02	患者情報の統合、分析と評価、診療計画	CS-02-04		CS-02-04-18	超音波を用いる治療の概要を理解している。
	患者の苦痛や不安感に配慮し、確実で信頼される診療技能を磨き、医療の質と患者安全を踏まえた診療を実践する。	CS-02		CS-02-04		CS-02-04-19	被覆材の種類と適応、効果について理解している。
	患者の苦痛や不安感に配慮し、確実で信頼される診療技能を磨き、医療の質と患者安全を踏まえた診療を実践する。	CS-02		CS-02-04		CS-02-04-20	外科的治療の適応と合併症について理解している。
	患者の苦痛や不安感に配慮し、確実で信頼される診療技能を磨き、医療の質と患者安全を踏まえた診療を実践する。	CS-02		CS-02-04		CS-02-04-21	手術の危険因子とその対応の基本について理解している。
	患者の苦痛や不安感に配慮し、確実で信頼される診療技能を磨き、医療の質と患者安全を踏まえた診療を実践する。	CS-02		CS-02-04		CS-02-04-22	主な術後合併症とその予防の基本について理解している。
	患者の苦痛や不安感に配慮し、確実で信頼される診療技能を磨き、医療の質と患者安全を踏まえた診療を実践する。	CS-02		CS-02-04		CS-02-04-23	手術および侵襲的処置に関するインフォームド・コンセントの注意点について理解している。
患者ケアのための診療技能	患者の苦痛や不安感に配慮し、確実で信頼される診療技能を磨き、医療の質と患者安全を踏まえた診療を実践する。	CS-02		CS-02-04		CS-02-04-24	周術期における事前のリスク評価について理解している。
	患者の苦痛や不安感に配慮し、確実で信頼される診療技能を磨き、医療の質と患者安全を踏まえた診療を実践する。	CS-02		CS-02-04	治療(計画、経過の評価)	CS-02-04-25	周術期における主な薬剤の服薬管理(継続、中止等)の必要性とそれに伴うリスクについて理解している。
	患者の苦痛や不安感に配慮し、確実で信頼される診療技能を磨き、医療の質と患者安全を踏まえた診療を実践する。	CS-02		CS-02-04		CS-02-04-26	周術期における輸液・輸血について理解している。
	患者の苦痛や不安感に配慮し、確実で信頼される診療技能を磨き、医療の質と患者安全を踏まえた診療を実践する。	CS-02		CS-02-04		CS-02-04-27	周術期における疼痛の管理について理解している。
	患者の苦痛や不安感に配慮し、確実で信頼される診療技能を磨き、医療の質と患者安全を踏まえた診療を実践する。	CS-02		CS-02-04		CS-02-04-28	局所麻酔、末梢神経ブロック、神経叢ブロック、脊髄くも膜下麻酔、硬膜外麻酔の適応、禁忌と合併症について概要を理解している。
	患者の苦痛や不安感に配慮し、確実で信頼される診療技能を磨き、医療の質と患者安全を踏まえた診療を実践する。	CS-02		CS-02-04		CS-02-04-29	麻酔管理を安全に行うための術前評価について概要を理解している。
	患者の苦痛や不安感に配慮し、確実で信頼される診療技能を磨き、医療の質と患者安全を踏まえた診療を実践する。	CS-02		CS-02-04		CS-02-04-30	安全な麻酔のためのモニタリングの方法、重要な異常所見と対処法について概要を理解している。
	患者の苦痛や不安感に配慮し、確実で信頼される診療技能を磨き、医療の質と患者安全を踏まえた診療を実践する。	CS-02		CS-02-04		CS-02-04-31	麻酔薬と筋弛緩薬の種類と使用上の原則について理解している。
	患者の苦痛や不安感に配慮し、確実で信頼される診療技能を磨き、医療の質と患者安全を踏まえた診療を実践する。	CS-02		CS-02-04		CS-02-04-32	吸入麻酔と静脈麻酔の適応、禁忌、方法、事故と合併症について理解している。
	患者の苦痛や不安感に配慮し、確実で信頼される診療技能を磨き、医療の質と患者安全を踏まえた診療を実践する。	CS-02		CS-02-04		CS-02-04-33	気管挿管を含む各種の気道確保法を理解している。
	患者の苦痛や不安感に配慮し、確実で信頼される診療技能を磨き、医療の質と患者安全を踏まえた診療を実践する。	CS-02		CS-02-04		CS-02-04-34	栄養アセスメント、栄養ケア・マネジメント、栄養サポートチーム、疾患別の栄養療法について理解している。
	患者の苦痛や不安感に配慮し、確実で信頼される診療技能を磨き、医療の質と患者安全を踏まえた診療を実践する。	CS-02		CS-02-04		CS-02-04-35	経静脈栄養と経管・経腸栄養の適応、方法と合併症、長期投与時の注意事項について理解している。
	患者の苦痛や不安感に配慮し、確実で信頼される診療技能を磨き、医療の質と患者安全を踏まえた診療を実践する。	CS-02		CS-02-04		CS-02-04-36	主な医療機器の種類と原理について概要を理解している。
	患者の苦痛や不安感に配慮し、確実で信頼される診療技能を磨き、医療の質と患者安全を踏まえた診療を実践する。	CS-02		CS-02-04		CS-02-04-37	主な人工臓器の種類と原理について概要を理解している。
	患者の苦痛や不安感に配慮し、確実で信頼される診療技能を磨き、医療の質と患者安全を踏まえた診療を実践する。	CS-02		CS-02-04		CS-02-04-38	血液製剤及び血漿分画製剤の種類と適応について理解している。
	患者の苦痛や不安感に配慮し、確実で信頼される診療技能を磨き、医療の質と患者安全を踏まえた診療を実践する。	CS-02		CS-02-04		CS-02-04-39	輸血副反応、輸血使用記録保管義務、不適合輸血の防止手順について理解している。
	患者の苦痛や不安感に配慮し、確実で信頼される診療技能を磨き、医療の質と患者安全を踏まえた診療を実践する。	CS-02		CS-02-04		CS-02-04-40	輸血の適正使用、成分輸血、自己血輸血、緊急時の輸血について理解している。
	患者の苦痛や不安感に配慮し、確実で信頼される診療技能を磨き、医療の質と患者安全を踏まえた診療を実践する。	CS-02		CS-02-04		CS-02-04-41	移植医療(臓器移植、組織移植、造血幹細胞移植等)の我が国と世界の状況について概要を理解している。
	患者の苦痛や不安感に配慮し、確実で信頼される診療技能を磨き、医療の質と患者安全を踏まえた診療を実践する。	CS-02		CS-02-04		CS-02-04-42	終末期医療における臓器・組織提供選択提示の意義について概要を理解している。
	患者の苦痛や不安感に配慮し、確実で信頼される診療技能を磨き、医療の質と患者安全を踏まえた診療を実践する。	CS-02		CS-02-04		CS-02-04-43	移植における免疫応答(拒絶反応、移植片対宿主病)について理解している。

第4層	医療プロフェッショナリズムの実践 A1	臨床実習入門 P1b	白衣の日 P1	LPBL A1	地域医療の実践 A1	生体の構造と機能 A1 (1)	生体の構造と機能 A1 (2)	生体の構造と機能 A1 (3)	生体の構造と機能 A1 (4)	生体の構造と機能 A1 (5)	生体の構造と機能 B1 (1)	生体の構造と機能 B1 (2)	生体の構造と機能 P1a	生体の構造と機能 P1b	理工学からみた医療・医学 A1 (1)	理工学からみた医療・医学 A1 (2)	理工学からみた医療・医学 P1	ITからみた医療・医学 A1	人間と社会 A1 (1)	人間と社会 A1 (2)	人間と社会 A1 (3)	人間と社会 A1 (4)	人間と社会 P1a	人間と社会 P1b	医学英語 A1 (1)	医学英語 A1 (2)	医学英語 A1 (3)	健康科学 A1	リベラルアーツセミナー A1 数理	光学	栄養	生化	時間	カウ	感覚	運動	TOEFL	英語	記憶	医教	辞書	統計学	基物	基生	ﾘｻｰﾁ	ｲﾉﾍﾞ	保健	独セ	仏セ	医経Ⅰ	医経Ⅱ	医社	細胞生物
CS-02-04-05																																																					
CS-02-04-06																																																					
CS-02-04-07																																																					
CS-02-04-08																																																					
CS-02-04-09																																																					
CS-02-04-10																																																					
CS-02-04-11																																																					
CS-02-04-12																																																					
CS-02-04-13																																																					
CS-02-04-14																																																					
CS-02-04-15																																																					
CS-02-04-16																																																					
CS-02-04-17																																																					
CS-02-04-18																																																					
CS-02-04-19																																																					
CS-02-04-20																																																					
CS-02-04-21																																																					
CS-02-04-22																																																					
CS-02-04-23																																																					
CS-02-04-24																																																					
CS-02-04-25																																																					
CS-02-04-26																																																					
CS-02-04-27																																																					
CS-02-04-28																																																					
CS-02-04-29																																																					
CS-02-04-30																																																					
CS-02-04-31																																																					
CS-02-04-32																																																					
CS-02-04-33																																																					
CS-02-04-34																																																					
CS-02-04-35																																																					
CS-02-04-36																○																																					
CS-02-04-37																																																					
CS-02-04-38																																																					
CS-02-04-39																																																					
CS-02-04-40																																																					
CS-02-04-41																																																					
CS-02-04-42																																																					
CS-02-04-43																																																					

1学年

第1層 語	第1層 説明	第2層	第2層 語	第3層	第3層 語	第4層	第4層 語	医療プロフェッショナリズムの実践	臨床実習入門	白衣の日	LPBL	地域医療の実践	生体の構造と機能								理工学からみた医療・医学			ITからみた医療・医学	人間と社会						医学英語			健康科学	リベラルアーツセミナー																								
								A1	P1b	P1	A1	A1	A1					B1		P1a	P1b	A1		P1	A1	A1				P1a	P1b	A1			A1	A1																								
													(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(1)	(2)			(1)	(2)			(1)	(2)	(3)	(4)			(1)	(2)	(3)		数理	光学	栄養	生化	時間	カウ	感覚	運動	TOEFL	英語	記憶	医教	辞書	統計学	基物	基生	リサーチ	イノベ	保健	独セ	仏セ	医経Ⅰ	医経Ⅱ	医社	細胞生物
患者ケアのための診療技能	患者の苦痛や不安感に配慮し、確実で信頼される診療技能を磨き、医療の質と患者安全を踏まえた診療を実践する。	CS-02		CS-02-04		CS-02-04-44	移植後の免疫抑制について概要を理解している。																																																					
	患者の苦痛や不安感に配慮し、確実で信頼される診療技能を磨き、医療の質と患者安全を踏まえた診療を実践する。	CS-02		CS-02-04		CS-02-04-45	リハビリテーションの概念と適応について理解している。																																																			
	患者の苦痛や不安感に配慮し、確実で信頼される診療技能を磨き、医療の質と患者安全を踏まえた診療を実践する。	CS-02		CS-02-04		CS-02-04-46	機能障害と日常生活動作の評価ができる。																																																				
	患者の苦痛や不安感に配慮し、確実で信頼される診療技能を磨き、医療の質と患者安全を踏まえた診療を実践する。	CS-02		CS-02-04		CS-02-04-47	理学療法、作業療法と言語聴覚療法について概要を理解している。																																																				
	患者の苦痛や不安感に配慮し、確実で信頼される診療技能を磨き、医療の質と患者安全を踏まえた診療を実践する。	CS-02		CS-02-04		CS-02-04-48	主な歩行補助具、車椅子、義肢（義手、義足）と装具について概要を理解している。																																																			
	患者の苦痛や不安感に配慮し、確実で信頼される診療技能を磨き、医療の質と患者安全を踏まえた診療を実践する。	CS-02		CS-02-04		CS-02-04-49	基本診療科(表4)の基本的な治療計画を立案できる。																																																			
	患者の苦痛や不安感に配慮し、確実で信頼される診療技能を磨き、医療の質と患者安全を踏まえた診療を実践する。	CS-02		CS-02-05	教育計画	CS-02-05-01	代表的な疾患における患者指導の計画を立案できる。																																																			
	患者の苦痛や不安感に配慮し、確実で信頼される診療技能を磨き、医療の質と患者安全を踏まえた診療を実践する。	CS-03	治療を含む対応の実施	CS-03-01	検査手技	CS-03-01-01	検査に関する基本的臨床手技(表7)を実施できる。																																																		
	患者の苦痛や不安感に配慮し、確実で信頼される診療技能を磨き、医療の質と患者安全を踏まえた診療を実践する。	CS-03		CS-03-02	治療手技	CS-03-02-01	治療に関する基本的臨床手技(表7)を実施できる。																																																			
	患者の苦痛や不安感に配慮し、確実で信頼される診療技能を磨き、医療の質と患者安全を踏まえた診療を実践する。	CS-03		CS-03-03	救急・初期対応	CS-03-03-01	バイタルサインや身体徴候から緊急性の高い状態にある患者を認識できる。																																																			
	患者の苦痛や不安感に配慮し、確実で信頼される診療技能を磨き、医療の質と患者安全を踏まえた診療を実践する。	CS-03		CS-03-03		CS-03-03-02	一次救命処置を実施できる。																											○																								
	患者の苦痛や不安感に配慮し、確実で信頼される診療技能を磨き、医療の質と患者安全を踏まえた診療を実践する。	CS-03		CS-03-03		CS-03-03-03	頻度や緊急性の高い患者に対する初期対応（二次救命処置を含む）の実施を補助できる。																																																			
	患者の苦痛や不安感に配慮し、確実で信頼される診療技能を磨き、医療の質と患者安全を踏まえた診療を実践する。	CS-03		CS-03-03		CS-03-03-04	外傷の初期対応の実施を補助できる。																																																			
	患者の苦痛や不安感に配慮し、確実で信頼される診療技能を磨き、医療の質と患者安全を踏まえた診療を実践する。	CS-03		CS-03-03		CS-03-03-05	アナフィラキシーショックの対応を補助できる。																																																			
	患者の苦痛や不安感に配慮し、確実で信頼される診療技能を磨き、医療の質と患者安全を踏まえた診療を実践する。	CS-03		CS-03-04	書類の作成	CS-03-04-01	各種診断書・証明書、診療情報提供書の下書きを作成できる。																																																			
	患者の苦痛や不安感に配慮し、確実で信頼される診療技能を磨き、医療の質と患者安全を踏まえた診療を実践する。	CS-03		CS-03-04		CS-03-04-02	各種検案書の下書きを作成できる。																																																			
	患者の苦痛や不安感に配慮し、確実で信頼される診療技能を磨き、医療の質と患者安全を踏まえた診療を実践する。	CS-03		CS-03-05	患者ケアに必要な連携	CS-03-05-01	基本診療科(表4)にどのようにコンサルテーションすればよいかを理解している。																																																			
	患者の苦痛や不安感に配慮し、確実で信頼される診療技能を磨き、医療の質と患者安全を踏まえた診療を実践する。	CS-03		CS-03-05		CS-03-05-02	褥瘡の予防、評価、処置・治療について理解している。																																																			
	患者の苦痛や不安感に配慮し、確実で信頼される診療技能を磨き、医療の質と患者安全を踏まえた診療を実践する。	CS-03		CS-03-06	診療計画カンファレンス	CS-03-06-01	症例検討会において適切にプレゼンテーションできる。																																																			
	患者の苦痛や不安感に配慮し、確実で信頼される診療技能を磨き、医療の質と患者安全を踏まえた診療を実践する。	CS-03		CS-03-06		CS-03-06-02	診察で得た情報を上級医にわかりやすく報告できる。																																																			
	患者の苦痛や不安感に配慮し、確実で信頼される診療技能を磨き、医療の質と患者安全を踏まえた診療を実践する。	CS-04	診療経過の振り返りと改善	CS-04-01	振り返りカンファレンス	CS-04-01-01	M&Mカンファレンスに参加して自身の意見を述べることができる。																																																			
	患者の苦痛や不安感に配慮し、確実で信頼される診療技能を磨き、医療の質と患者安全を踏まえた診療を実践する。	CS-04		CS-04-01		CS-04-01-02	CPCに参加して自身の意見を述べることができる。																																																			
	患者の苦痛や不安感に配慮し、確実で信頼される診療技能を磨き、医療の質と患者安全を踏まえた診療を実践する。	CS-05	医療の質と患者安全	CS-05-01	医療の質向上	CS-05-01-01	品質改善の手法を用いて医療を改善する重要性を理解し、繰り返し評価する姿勢を身に付ける。																																																			
	患者の苦痛や不安感に配慮し、確実で信頼される診療技能を磨き、医療の質と患者安全を踏まえた診療を実践する。	CS-05		CS-05-02	医療従事者の健康管理	CS-05-02-01	医療従事者に求められる健康管理（生活習慣改善、予防接種、被ばく低減策）、職業感染対策（結核スクリーニング、ワクチン接種）を実践する。																																																			
	患者の苦痛や不安感に配慮し、確実で信頼される診療技能を磨き、医療の質と患者安全を踏まえた診療を実践する。	CS-05		CS-05-02		CS-05-02-02	自身を含む医療者の労働環境の改善の必要性を理解し、実際の医療現場において改善に努めることができる。																																																○	○		
	患者の苦痛や不安感に配慮し、確実で信頼される診療技能を磨き、医療の質と患者安全を踏まえた診療を実践する。	CS-05		CS-05-03	安全管理体制	CS-05-03-01	患者安全のための管理体制と各々の役割（リスクマネージャー、医療安全管理委員会等）の概要を理解している。																																																			
	患者の苦痛や不安感に配慮し、確実で信頼される診療技能を磨き、医療の質と患者安全を踏まえた診療を実践する。	CS-05		CS-05-03		CS-05-03-02	医療過誤に関連した刑事・民事責任や医師法に基づく行政処分を理解している。																																																			
	患者の苦痛や不安感に配慮し、確実で信頼される診療技能を磨き、医療の質と患者安全を踏まえた診療を実践する。	CS-05		CS-05-04	感染制御	CS-05-04-01	医療関連感染症に関連したシステム（院内感染対策委員会、院内感染サーベイランス、感染制御チーム、感染対策マニュアル等）の役割や意義を理解して参加する。																																																			
	患者の苦痛や不安感に配慮し、確実で信頼される診療技能を磨き、医療の質と患者安全を踏まえた診療を実践する。	CS-05		CS-05-04		CS-05-04-02	標準予防策（スタンダード・プリコーション）の必要性を説明し、実践できる。																																																			
	患者の苦痛や不安感に配慮し、確実で信頼される診療技能を磨き、医療の質と患者安全を踏まえた診療を実践する。	CS-05		CS-05-04		CS-05-04-03	針刺切創、体液暴露等に遭遇した際、適切に対処できる。																																																			
	患者の苦痛や不安感に配慮し、確実で信頼される診療技能を磨き、医療の質と患者安全を踏まえた診療を実践する。	CS-05		CS-05-05	患者安全の配慮と促進	CS-05-05-01	基本的予防策（患者確認、ダブルチェック、チェックリスト法、類似名称薬への注意喚起、フェイルセイフやフールプルーフの考え方等）を実践できる。																				○																																
	患者の苦痛や不安感に配慮し、確実で信頼される診療技能を磨き、医療の質と患者安全を踏まえた診療を実践する。	CS-05		CS-05-05		CS-05-05-02	医療の安全性に関する情報（薬剤等の副作用、薬害、転倒・転落、医療過誤、やってはいけないこと、優れた取組事例等）を共有し、事後に役立てるための分析ができる。																																																			
	患者の苦痛や不安感に配慮し、確実で信頼される診療技能を磨き、医療の質と患者安全を踏まえた診療を実践する。	CS-05		CS-05-06	患者安全の実践	CS-05-06-01	個人及び組織における患者安全管理の重要性を理解し、行動できる。																																																			
	患者の苦痛や不安感に配慮し、確実で信頼される診療技能を磨き、医療の質と患者安全を踏まえた診療を実践する。	CS-05		CS-05-06		CS-05-06-02	診療録の重要性を理解し、適切に記載し取り扱うことができる。																																																			
	患者の苦痛や不安感に配慮し、確実で信頼される診療技能を磨き、医療の質と患者安全を踏まえた診療を実践する。	CS-05		CS-05-06		CS-05-06-03	真摯に疑義に応じることができる。																																																			
	患者の苦痛や不安感に配慮し、確実で信頼される診療技能を磨き、医療の質と患者安全を踏まえた診療を実践する。	CS-05		CS-05-06		CS-05-06-04	インシデントが発生した際に、緊急対応や記録、報告できる。																																																			
	患者及び患者に関わる人たちと、相手の状況を考慮した上で良好な関係性を築き、患者の意思決定を支援して、安全で質の高い医療を実践する。	CM-01		CM-01-01	患者・家族への適切なコミュニケーションスキルの活用	CM-01-01-01	言語的コミュニケーション技能を発揮して、良好な人間関係を築くことができる。	○	○	○	○										○							○	○	○			○	○						○	○		○		○	○	○								○	○	○	○		
	患者及び患者に関わる人たちと、相手の状況を考慮した上で良好な関係性を築き、患者の意思決定を支援して、安全で質の高い医療を実践する。	CM-01		CM-01-01		CM-01-01-02	非言語的コミュニケーション（身だしなみ、視線、表情、ジェスチャー等）を意識できる。	○	○	○	○																	○	○	○				○							○						○									○	○	○		
	患者及び患者に関わる人たちと、相手の状況を考慮した上で良好な関係性を築き、患者の意思決定を支援して、安全で質の高い医療を実践する。	CM-01		CM-01-01		CM-01-01-03	患者や家族に敬意を持った言葉遣いや態度で接することができる。	○	○	○	○										○							○	○	○			○	○						○	○				○		○								○	○	○	○		

1学年

								医療プロフェッショナリズムの実践	臨床実習入門	白衣の日	LPBL	地域医療の実践	生体の構造と機能									理工学からみた医療・医学			ITからみた医療・医学	人間と社会						医学英語			健康科学	リベラルアーツセミナー																								
								A1	P1b	P1	A1	A1	A1					B1		P1a	P1b	A1		P1	A1	A1				P1a	P1b	A1			A1	A1																							
第1層 語	第1層 説明	第2層	第2層 語	第3層	第3層 語	第4層	第4層 語						(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(1)	(2)			(1)	(2)			(1)	(2)	(3)	(4)			(1)	(2)	(3)		数理	光学	栄養	生化	時間	カウ	感覚	運動	TOEFL	英語	記憶	医教	辞書	統計学	基物	基生	ﾘｻｰﾁ	ｲﾉﾍﾞ	保健	独セ	仏セ	医経Ⅰ	医経Ⅱ	医社	細胞生物
コミュニケーション能力	患者及び患者に関わる人たちと、相手の状況を考慮した上で良好な関係性を築き、患者の意思決定を支援して、安全で質の高い医療を実践する。	CM-01	患者に接する言葉遣い・態度・身だしなみ・配慮	CM-01-01		CM-01-01-04	対人関係に関わる心理的要因(陽性感情・陰性感情等)を認識しながらコミュニケーションをとることができる。	○	○	○	○																		○	○				○													○											○		
	患者及び患者に関わる人たちと、相手の状況を考慮した上で良好な関係性を築き、患者の意思決定を支援して、安全で質の高い医療を実践する。	CM-01		CM-01-01		CM-01-01-05	相手の話を聞き、事実や自分の意見を相手にわかるように述べることができる。	○	○	○	○										○								○	○				○							○					○	○											○		
	患者及び患者に関わる人たちと、相手の状況を考慮した上で良好な関係性を築き、患者の意思決定を支援して、安全で質の高い医療を実践する。	CM-01		CM-01-02	患者の立場の尊重と苦痛への配慮	CM-01-02-01	患者や家族の精神的・身体的・社会的苦痛に十分配慮できる。	○	○	○	○																				○										○																			
	患者及び患者に関わる人たちと、相手の状況を考慮した上で良好な関係性を築き、患者の意思決定を支援して、安全で質の高い医療を実践する。	CM-01		CM-01-02		CM-01-02-02	患者や家族の話を傾聴し、怒りや悲しみ、不安等の感情を理解し、共感できる。	○	○	○	○																			○				○							○																			
	患者及び患者に関わる人たちと、相手の状況を考慮した上で良好な関係性を築き、患者の意思決定を支援して、安全で質の高い医療を実践する。	CM-02	患者の意思決定の支援とそのための情報収集・わかりやすい説明	CM-02-01	患者へのわかりやすい言葉の説明	CM-02-01-01	患者や家族の多様性(高齢者、小児、障害者、LGBTQ、国籍、人種、文化・言語・慣習の違い等)に配慮してコミュニケーションをとることができる。	○	○	○	○											○	○				○					○	○	○	○	○				○			○	○	○		○	○					○	○	○	○	○			
	患者及び患者に関わる人たちと、相手の状況を考慮した上で良好な関係性を築き、患者の意思決定を支援して、安全で質の高い医療を実践する。	CM-02		CM-02-01		CM-02-01-02	患者が理解できるよう、極力専門用語を使わずに、わかりやすく説明できる。	○	○	○	○																○														○																			
	患者及び患者に関わる人たちと、相手の状況を考慮した上で良好な関係性を築き、患者の意思決定を支援して、安全で質の高い医療を実践する。	CM-02		CM-02-02	患者への行動変容の促し	CM-02-02-01	患者や家族と情報共有や意見のすり合わせを行い、理解と同意を踏まえた意思決定を支援できる。	○	○	○	○																○		○	○																														
	患者及び患者に関わる人たちと、相手の状況を考慮した上で良好な関係性を築き、患者の意思決定を支援して、安全で質の高い医療を実践する。	CM-02		CM-02-03	患者の意思決定の支援	CM-02-03-01	患者の自己決定を阻害する問題点を理解する。	○	○	○	○																○																															○	
	患者及び患者に関わる人たちと、相手の状況を考慮した上で良好な関係性を築き、患者の意思決定を支援して、安全で質の高い医療を実践する。	CM-02		CM-02-03		CM-02-03-02	患者の経験を尊重し、価値観を明確にできるように傾聴することができる。	○	○	○	○																○						○	○																											
	患者及び患者に関わる人たちと、相手の状況を考慮した上で良好な関係性を築き、患者の意思決定を支援して、安全で質の高い医療を実践する。	CM-02		CM-02-03		CM-02-03-03	患者の意思決定支援のために、最善のエビデンスをできるだけ専門用語を使わずに、わかりやすく説明することができる。	○	○	○	○																○					○	○	○										○																○	
	患者及び患者に関わる人たちと、相手の状況を考慮した上で良好な関係性を築き、患者の意思決定を支援して、安全で質の高い医療を実践する。	CM-02		CM-02-03		CM-02-03-04	患者の価値観に沿った目標に基づいた治療方針を計画することができる。	○	○	○	○																○																														○			
	患者及び患者に関わる人たちと、相手の状況を考慮した上で良好な関係性を築き、患者の意思決定を支援して、安全で質の高い医療を実践する。	CM-03	患者や家族のニーズの把握と配慮	CM-03-01	患者・家族の課題の把握と必要な情報の取得	CM-03-01-01	患者の心理的及び社会的背景や自立した生活を送るためのニーズを把握することができる。	○	○	○	○																						○																									○			
	患者及び患者に関わる人たちと、相手の状況を考慮した上で良好な関係性を築き、患者の意思決定を支援して、安全で質の高い医療を実践する。	CM-03		CM-03-01		CM-03-01-02	患者が抱える課題、問題点を抽出・整理できる。	○	○	○	○																						○							○																	○			
	患者及び患者に関わる人たちと、相手の状況を考慮した上で良好な関係性を築き、患者の意思決定を支援して、安全で質の高い医療を実践する。	CM-03		CM-03-01		CM-03-01-03	患者自身から情報が得られない場合、代理人や保護者等から必要な情報を得ることができる。	○	○	○	○																						○																									○			
	患者及び患者に関わる人たちと、相手の状況を考慮した上で良好な関係性を築き、患者の意思決定を支援して、安全で質の高い医療を実践する。	CM-03		CM-03-02	患者・家族の心理・社会的背景に配慮した診療	CM-03-02-01	家族や地域といった視点をもちながら、コミュニケーションをとることができる。	○	○	○	○																						○																									○			
	患者及び患者に関わる人たちと、相手の状況を考慮した上で良好な関係性を築き、患者の意思決定を支援して、安全で質の高い医療を実践する。	CM-03		CM-03-02		CM-03-02-02	心理・社会的背景に配慮した診療に可能な範囲で参加することができる。	○	○	○	○																						○																									○	○		
	患者及び患者に関わる人たちと、相手の状況を考慮した上で良好な関係性を築き、患者の意思決定を支援して、安全で質の高い医療を実践する。	CM-03		CM-03-02		CM-03-02-03	医療の不確実性を理解した上で適切な行動や態度をとることができる。	○	○	○	○																																																		
多職種連携能力	医療・保健・福祉・介護など患者・家族に関わる全ての人々の役割を理解し、お互いに良好な関係を築きながら、患者・家族・地域の課題を共有し、関わる人々と協働することができる。	IP-01	連携の基盤	IP-01-01	患者中心の保健医療福祉	IP-01-01-01	患者・利用者・家族に関連する情報について、多職種及び他の医療系学部の学生と共有できる。	○	○	○																																																○		
	医療・保健・福祉・介護など患者・家族に関わる全ての人々の役割を理解し、お互いに良好な関係を築きながら、患者・家族・地域の課題を共有し、関わる人々と協働することができる。	IP-01		IP-01-02	職種間コミュニケーション	IP-01-02-01	多職種及び他の医療系学部の学生の役割や意見を尊重した説明や返答、問いかけができる。	○	○	○																																																○		
	医療・保健・福祉・介護など患者・家族に関わる全ての人々の役割を理解し、お互いに良好な関係を築きながら、患者・家族・地域の課題を共有し、関わる人々と協働することができる。	IP-01		IP-01-03	医師間の紹介と相談	IP-01-03-01	適切な診断・検査・治療のために、適切な施設・専門科・医師への紹介や相談ができる。	○	○	○																																																		
	医療・保健・福祉・介護など患者・家族に関わる全ての人々の役割を理解し、お互いに良好な関係を築きながら、患者・家族・地域の課題を共有し、関わる人々と協働することができる。	IP-01		IP-01-03		IP-01-03-02	患者のケアと責任が継続できるよう、医師間での考えや期待を共有できる。	○	○	○																																																		
	医療・保健・福祉・介護など患者・家族に関わる全ての人々の役割を理解し、お互いに良好な関係を築きながら、患者・家族・地域の課題を共有し、関わる人々と協働することができる。	IP-02	協働実践	IP-02-01	職種役割	IP-02-01-01	自らの知識や価値観を多職種及び他の医療系学部の学生に伝えることができる。	○	○	○																								○																											
	医療・保健・福祉・介護など患者・家族に関わる全ての人々の役割を理解し、お互いに良好な関係を築きながら、患者・家族・地域の課題を共有し、関わる人々と協働することができる。	IP-02		IP-02-01		IP-02-01-02	多職種及び他の医療系学部の学生の中で自らの役割を果たすことができる。	○	○	○																								○																									○		
	医療・保健・福祉・介護など患者・家族に関わる全ての人々の役割を理解し、お互いに良好な関係を築きながら、患者・家族・地域の課題を共有し、関わる人々と協働することができる。	IP-02		IP-02-02	関係性への働きかけ	IP-02-02-01	多職種及び他の医療系学部の学生と共に学び、成長できる。	○	○	○																								○																									○		
	医療・保健・福祉・介護など患者・家族に関わる全ての人々の役割を理解し、お互いに良好な関係を築きながら、患者・家族・地域の課題を共有し、関わる人々と協働することができる。	IP-02		IP-02-02		IP-02-02-02	対人関係や対人行動に関わる概念について理解している。	○	○	○																				○				○														○										○			
	医療・保健・福祉・介護など患者・家族に関わる全ての人々の役割を理解し、お互いに良好な関係を築きながら、患者・家族・地域の課題を共有し、関わる人々と協働することができる。	IP-02		IP-02-03	自職種の省察	IP-02-03-01	医師の役割を多職種及び他の医療系学部の学生に説明できる。	○	○	○																								○																											
	医療・保健・福祉・介護など患者・家族に関わる全ての人々の役割を理解し、お互いに良好な関係を築きながら、患者・家族・地域の課題を共有し、関わる人々と協働することができる。	IP-02		IP-02-03		IP-02-03-02	自らの価値観や言動について、多職種及び他の医療系学部の学生との関係性の中で、相対化できる。	○	○	○																								○																								○	○		
	医療・保健・福祉・介護など患者・家族に関わる全ての人々の役割を理解し、お互いに良好な関係を築きながら、患者・家族・地域の課題を共有し、関わる人々と協働することができる。	IP-02		IP-02-04	他職種の理解	IP-02-04-01	病院・診療所・施設等の職場環境やチームや部門等の所属に応じた他職種の役割を理解している。	○	○	○																								○																								○			
社会における医療の役割の理解	医療は社会の一部であるという認識を持ち、経済的な観点・地域性の視点・国際的な視野なども持ちながら、公正な医療を提供し、健康の代弁者として公衆衛生の向上に努める。	SO-01	社会保障	SO-01-01	公衆衛生	SO-01-01-01	公衆衛生の概念を理解している。																																																	○		
	医療は社会の一部であるという認識を持ち、経済的な観点・地域性の視点・国際的な視野なども持ちながら、公正な医療を提供し、健康の代弁者として公衆衛生の向上に努める。	SO-01		SO-01-01		SO-01-01-02	地域共生社会の概念を理解している。																																															○			
	医療は社会の一部であるという認識を持ち、経済的な観点・地域性の視点・国際的な視野なども持ちながら、公正な医療を提供し、健康の代弁者として公衆衛生の向上に努める。	SO-01		SO-01-01		SO-01-01-03	予防の段階とそれらの戦略を理解している。																											○																									
	医療は社会の一部であるという認識を持ち、経済的な観点・地域性の視点・国際的な視野なども持ちながら、公正な医療を提供し、健康の代弁者として公衆衛生の向上に努める。	SO-01		SO-01-01		SO-01-01-04	公衆衛生活動(健診、健康づくりイベント等)の意義を理解し、役割の一部を担うことができる。																																																	
	医療は社会の一部であるという認識を持ち、経済的な観点・地域性の視点・国際的な視野なども持ちながら、公正な医療を提供し、健康の代弁者として公衆衛生の向上に努める。	SO-01		SO-01-02	社会保険、公的扶助、社会福祉	SO-01-02-01	生存権等の健康に関する基本的人権と社会保障(社会保険、社会福祉、公的扶助)の意義と概要を理解している。																																																	
	医療は社会の一部であるという認識を持ち、経済的な観点・地域性の視点・国際的な視野なども持ちながら、公正な医療を提供し、健康の代弁者として公衆衛生の向上に努める。	SO-01		SO-01-02		SO-01-02-02	国民皆保険としての医療保険、介護保険、年金保険を含む社会保険の仕組みと問題点を理解し、改善策を議論できる。																																															○	○		
	医療は社会の一部であるという認識を持ち、経済的な観点・地域性の視点・国際的な視野なども持ちながら、公正な医療を提供し、健康の代弁者として公衆衛生の向上に努める。	SO-01		SO-01-02		SO-01-02-03	障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律(障害者総合支援法)等の障害者福祉の概要を理解している。																																															○			
	医療は社会の一部であるという認識を持ち、経済的な観点・地域性の視点・国際的な視野なども持ちながら、公正な医療を提供し、健康の代弁者として公衆衛生の向上に努める。	SO-01		SO-01-03	地域保健	SO-01-03-01	保健所、市町村保健センター、地方衛生研究所の役割を理解している。																																																	
	医療は社会の一部であるという認識を持ち、経済的な観点・地域性の視点・国際的な視野なども持ちながら、公正な医療を提供し、健康の代弁者として公衆衛生の向上に努める。	SO-01		SO-01-03		SO-01-03-02	健康増進法、栄養、身体活動、休養等の健康増進施策の意義と概要を理解している。												○																	○			○																						
	医療は社会の一部であるという認識を持ち、経済的な観点・地域性の視点・国際的な視野なども持ちながら、公正な医療を提供し、健康の代弁者として公衆衛生の向上に努める。	SO-01		SO-01-03		SO-01-03-03	地域保健に関連する基本的な制度や法律を理解している。																																														○	○		
	医療は社会の一部であるという認識を持ち、経済的な観点・地域性の視点・国際的な視野なども持ちながら、公正な医療を提供し、健康の代弁者として公衆衛生の向上に努める。	SO-01		SO-01-03		SO-01-03-04	精神保健及び精神障害者福祉の意義及び関連する制度や法律を理解している。																																																	

1学年

第1層 語	第1層 説明	第2層	第2層 語	第3層	第3層 語	第4層	第4層 語	医療プロフェッショナリズムの実践	臨床実習入門	白衣の日	LPBL	地域医療の実践	生体の構造と機能									理工学からみた医療・医学			ITからみた医療・医学	人間と社会						医学英語			健康科学	リベラルアーツセミナー																								
								A1	P1b	P1	A1	A1	A1					B1		P1a	P1b	A1		P1	A1	A1				P1a	P1b	A1			A1	A1																								
													(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(1)	(2)			(1)	(2)			(1)	(2)	(3)	(4)			(1)	(2)	(3)		数理	光学	栄養	生化	時間	カウ	感覚	運動	TOEFL	英語	記憶	医教	辞書	統計学	基物	基生	ﾘｻｰﾁ	ｲﾉﾍﾞ	保健	独セ	仏セ	医経Ⅰ	医経Ⅱ	医社	細胞生物
社会における医療の役割の理解	医療は社会の一部であるという認識を持ち、経済的な観点・地域性の視点・国際的な視野なども持ちながら、公正な医療を提供し、健康の代弁者として公衆衛生の向上に努める。	SO-01		SO-01-03		SO-01-03-05	成育基本法、母子保健法、母体保護法、児童福祉法、児童虐待防止法等、母子保健施策の意義と概要を理解している。																																																						
	医療は社会の一部であるという認識を持ち、経済的な観点・地域性の視点・国際的な視野なども持ちながら、公正な医療を提供し、健康の代弁者として公衆衛生の向上に努める。	SO-01		SO-01-03		SO-01-03-06	学校保健安全法、学校医の役割、学校感染症等、学校保健の意義と概要を理解している。																											○																										
	医療は社会の一部であるという認識を持ち、経済的な観点・地域性の視点・国際的な視野なども持ちながら、公正な医療を提供し、健康の代弁者として公衆衛生の向上に努める。	SO-01		SO-01-04	産業保健・環境保健	SO-01-04-01	産業保健の意義、労働衛生の3管理等、産業保健の基本的な考え方を理解している。																											○																						○			
	医療は社会の一部であるという認識を持ち、経済的な観点・地域性の視点・国際的な視野なども持ちながら、公正な医療を提供し、健康の代弁者として公衆衛生の向上に努める。	SO-01		SO-01-04		SO-01-04-02	産業保健・環境保健に関連する基本的な制度や法律を理解している。																																																					
	医療は社会の一部であるという認識を持ち、経済的な観点・地域性の視点・国際的な視野なども持ちながら、公正な医療を提供し、健康の代弁者として公衆衛生の向上に努める。	SO-01		SO-01-04		SO-01-04-03	労働災害及び職業性疾病とのその対策を理解している。																																															○			
	医療は社会の一部であるという認識を持ち、経済的な観点・地域性の視点・国際的な視野なども持ちながら、公正な医療を提供し、健康の代弁者として公衆衛生の向上に努める。	SO-01		SO-01-04		SO-01-04-04	有害物質による産業中毒とその対策を理解している。																																																				
	医療は社会の一部であるという認識を持ち、経済的な観点・地域性の視点・国際的な視野なども持ちながら、公正な医療を提供し、健康の代弁者として公衆衛生の向上に努める。	SO-01		SO-01-05	健康危機管理	SO-01-05-01	健康危機の概念と種類、それらへの対応(リスクコミュニケーションを含む)について理解している。																																																				
	医療は社会の一部であるという認識を持ち、経済的な観点・地域性の視点・国際的な視野なども持ちながら、公正な医療を提供し、健康の代弁者として公衆衛生の向上に努める。	SO-01		SO-01-05		SO-01-05-02	健康危機管理(感染症、放射線事故、災害等の有事)に関連する基本的な制度や法律を理解している。																																																				
	医療は社会の一部であるという認識を持ち、経済的な観点・地域性の視点・国際的な視野なども持ちながら、公正な医療を提供し、健康の代弁者として公衆衛生の向上に努める。	SO-01		SO-01-05		SO-01-05-03	災害拠点病院、種々の活動チーム等、災害保健医療の意義を理解している。																																																				
	医療は社会の一部であるという認識を持ち、経済的な観点・地域性の視点・国際的な視野なども持ちながら、公正な医療を提供し、健康の代弁者として公衆衛生の向上に努める。	SO-02	疫学・医学統計	SO-02-01	保健統計	SO-02-01-01	主な人口統計(人口静態と人口動態)、疾病・障害の分類・統計(ICD等)を理解している。																																															○			
	医療は社会の一部であるという認識を持ち、経済的な観点・地域性の視点・国際的な視野なども持ちながら、公正な医療を提供し、健康の代弁者として公衆衛生の向上に努める。	SO-02		SO-02-01		SO-02-01-02	平均寿命、健康寿命について説明できる。																											○																										
	医療は社会の一部であるという認識を持ち、経済的な観点・地域性の視点・国際的な視野なども持ちながら、公正な医療を提供し、健康の代弁者として公衆衛生の向上に努める。	SO-02		SO-02-02	疫学	SO-02-02-01	公衆衛生と臨床の視点から見た疫学の役割を理解している。																																																				
	医療は社会の一部であるという認識を持ち、経済的な観点・地域性の視点・国際的な視野なども持ちながら、公正な医療を提供し、健康の代弁者として公衆衛生の向上に努める。	SO-02		SO-02-02		SO-02-02-02	割合・比・率の違い及び代表的な疫学指標(有病割合、リスク比、罹患率等)を理解している。																																																					
	医療は社会の一部であるという認識を持ち、経済的な観点・地域性の視点・国際的な視野なども持ちながら、公正な医療を提供し、健康の代弁者として公衆衛生の向上に努める。	SO-02		SO-02-02		SO-02-02-03	主なバイアスや交絡を例示できる。																																															○			
	医療は社会の一部であるという認識を持ち、経済的な観点・地域性の視点・国際的な視野なども持ちながら、公正な医療を提供し、健康の代弁者として公衆衛生の向上に努める。	SO-02		SO-02-02		SO-02-02-04	年齢調整における直接法と間接法の違いを説明できる。																																																				
	医療は社会の一部であるという認識を持ち、経済的な観点・地域性の視点・国際的な視野なども持ちながら、公正な医療を提供し、健康の代弁者として公衆衛生の向上に努める。	SO-02		SO-02-02		SO-02-02-05	主な疫学の研究デザインとして、観察研究(記述研究、横断研究、症例対照研究、コホート研究)及び介入研究(ランダム化比較試験等)を理解している。																																																○			
	医療は社会の一部であるという認識を持ち、経済的な観点・地域性の視点・国際的な視野なども持ちながら、公正な医療を提供し、健康の代弁者として公衆衛生の向上に努める。	SO-02		SO-02-02		SO-02-02-06	急性感染症に特異的な疫学的アプローチを理解している。																																																				
	医療は社会の一部であるという認識を持ち、経済的な観点・地域性の視点・国際的な視野なども持ちながら、公正な医療を提供し、健康の代弁者として公衆衛生の向上に努める。	SO-02		SO-02-02		SO-02-02-07	エビデンスの限界を踏まえながら、集団に影響する意思決定を支援できる。																																																				
	医療は社会の一部であるという認識を持ち、経済的な観点・地域性の視点・国際的な視野なども持ちながら、公正な医療を提供し、健康の代弁者として公衆衛生の向上に努める。	SO-02		SO-02-03	データ解析と統計手法	SO-02-03-01	尺度(間隔、比、順序、名義)について説明できる。																						○																			○											
	医療は社会の一部であるという認識を持ち、経済的な観点・地域性の視点・国際的な視野なども持ちながら、公正な医療を提供し、健康の代弁者として公衆衛生の向上に努める。	SO-02		SO-02-03		SO-02-03-02	データの分布(欠損値を含む)について説明できる。																						○						○												○								○			
	医療は社会の一部であるという認識を持ち、経済的な観点・地域性の視点・国際的な視野なども持ちながら、公正な医療を提供し、健康の代弁者として公衆衛生の向上に努める。	SO-02		SO-02-03		SO-02-03-03	正規分布の母平均の信頼区間について説明できる。																																								○								○			
	医療は社会の一部であるという認識を持ち、経済的な観点・地域性の視点・国際的な視野なども持ちながら、公正な医療を提供し、健康の代弁者として公衆衛生の向上に努める。	SO-02		SO-02-03		SO-02-03-04	相関分析、平均値と割合の検定等を実施できる。																																			○			○								○			
	医療は社会の一部であるという認識を持ち、経済的な観点・地域性の視点・国際的な視野なども持ちながら、公正な医療を提供し、健康の代弁者として公衆衛生の向上に努める。	SO-02		SO-02-03		SO-02-03-05	多変量解析の意義を理解している。																																						○								○			
	医療は社会の一部であるという認識を持ち、経済的な観点・地域性の視点・国際的な視野なども持ちながら、公正な医療を提供し、健康の代弁者として公衆衛生の向上に努める。	SO-03	法医学	SO-03-01	死と法	SO-03-01-01	植物状態、脳死、心臓死及び脳死判定について理解している。																																																				
	医療は社会の一部であるという認識を持ち、経済的な観点・地域性の視点・国際的な視野なども持ちながら、公正な医療を提供し、健康の代弁者として公衆衛生の向上に努める。	SO-03		SO-03-01		SO-03-01-02	異状死・異状死体の取扱いと死体検案について理解している。																																																				
	医療は社会の一部であるという認識を持ち、経済的な観点・地域性の視点・国際的な視野なども持ちながら、公正な医療を提供し、健康の代弁者として公衆衛生の向上に努める。	SO-03		SO-03-01		SO-03-01-03	死亡診断書と死体検案書を作成できる。																																																				
	医療は社会の一部であるという認識を持ち、経済的な観点・地域性の視点・国際的な視野なども持ちながら、公正な医療を提供し、健康の代弁者として公衆衛生の向上に努める。	SO-03		SO-03-01		SO-03-01-04	個人識別の方法を理解している。																																																				
	医療は社会の一部であるという認識を持ち、経済的な観点・地域性の視点・国際的な視野なども持ちながら、公正な医療を提供し、健康の代弁者として公衆衛生の向上に努める。	SO-03		SO-03-01		SO-03-01-05	病理解剖、法医解剖(司法解剖、行政解剖、死因・身元調査法解剖、承諾解剖)について理解している。																																																					
	医療は社会の一部であるという認識を持ち、経済的な観点・地域性の視点・国際的な視野なども持ちながら、公正な医療を提供し、健康の代弁者として公衆衛生の向上に努める。	SO-04	社会の構造や変化から捉える医療	SO-04-01	健康と医療	SO-04-01-01	健康寿命を延ばすために働きかけを行うことができる。																											○								○																	
	医療は社会の一部であるという認識を持ち、経済的な観点・地域性の視点・国際的な視野なども持ちながら、公正な医療を提供し、健康の代弁者として公衆衛生の向上に努める。	SO-04		SO-04-01		SO-04-01-02	バリアフリー等の障害と社会環境に関連する概念を理解した行動をとることができる。																																																				
	医療は社会の一部であるという認識を持ち、経済的な観点・地域性の視点・国際的な視野なども持ちながら、公正な医療を提供し、健康の代弁者として公衆衛生の向上に努める。	SO-04		SO-04-02	ジェンダーと医療	SO-04-02-01	女性やLGBTQに対する差別等のジェンダー不平等をなくすために積極的な行動をとることができる。																			○																										○			○			
	医療は社会の一部であるという認識を持ち、経済的な観点・地域性の視点・国際的な視野なども持ちながら、公正な医療を提供し、健康の代弁者として公衆衛生の向上に努める。	SO-04		SO-04-03	気候変動と医療	SO-04-03-01	気候変動と医療との関係性を理解し、患者が抱える健康に関する課題と気候変動との関係を想像できる。																																																				
	医療は社会の一部であるという認識を持ち、経済的な観点・地域性の視点・国際的な視野なども持ちながら、公正な医療を提供し、健康の代弁者として公衆衛生の向上に努める。	SO-04		SO-04-03		SO-04-03-02	自然災害(新興感染症を含む)が起きた際に必要とされる医師の役割を理解している。																																																				
	医療は社会の一部であるという認識を持ち、経済的な観点・地域性の視点・国際的な視野なども持ちながら、公正な医療を提供し、健康の代弁者として公衆衛生の向上に努める。	SO-04		SO-04-04	哲学と医療	SO-04-04-01	近現代思想・哲学の語彙の概要を理解している。																																															○			
	医療は社会の一部であるという認識を持ち、経済的な観点・地域性の視点・国際的な視野なども持ちながら、公正な医療を提供し、健康の代弁者として公衆衛生の向上に努める。	SO-04		SO-04-05	歴史と医学・医療	SO-04-05-01	医学・医療の歴史的変遷を踏まえ現代の医学的問題を相対化できる。																		○																															○	
	医療は社会の一部であるという認識を持ち、経済的な観点・地域性の視点・国際的な視野なども持ちながら、公正な医療を提供し、健康の代弁者として公衆衛生の向上に努める。	SO-04		SO-04-06	医療経済	SO-04-06-01	経済が医療に与える影響について理解している。																																															○	○		
	医療は社会の一部であるという認識を持ち、経済的な観点・地域性の視点・国際的な視野なども持ちながら、公正な医療を提供し、健康の代弁者として公衆衛生の向上に努める。	SO-04		SO-04-07	社会的公正	SO-04-07-01	医療資源を公平に分配するとはどういうことか考え、自らの意見を述べることができる。																																															○	○		
	医療は社会の一部であるという認識を持ち、経済的な観点・地域性の視点・国際的な視野なども持ちながら、公正な医療を提供し、健康の代弁者として公衆衛生の向上に努める。	SO-05		SO-05-01		SO-05-01-01	医師法が定める医師の職権と義務を理解している。																																																				
	医療は社会の一部であるという認識を持ち、経済的な観点・地域性の視点・国際的な視野なども持ちながら、公正な医療を提供し、健康の代弁者として公衆衛生の向上に努める。	SO-05		SO-05-01		SO-05-01-02	医療職を規定する法律・制度を説明できる。																																															○			

1学年

第1層 語	第1層 説明	第2層	第2層 語	第3層	第3層 語	第4層	第4層 語
社会における医療の役割の理解	医療は社会の一部であるという認識を持ち、経済的な観点・地域性の視点・国際的な視野なども持ちながら、公正な医療を提供し、健康の代弁者として公衆衛生の向上に努める。	SO-05	国内外の視点から捉える医療	SO-05-01	国内の医療職の役割や医療体制	SO-05-01-03	医療法が定める医療施設の種類と機能について概要を理解している。
	医療は社会の一部であるという認識を持ち、経済的な観点・地域性の視点・国際的な視野なども持ちながら、公正な医療を提供し、健康の代弁者として公衆衛生の向上に努める。	SO-05		SO-05-01		SO-05-01-04	医療計画について概要を理解している。
	医療は社会の一部であるという認識を持ち、経済的な観点・地域性の視点・国際的な視野なども持ちながら、公正な医療を提供し、健康の代弁者として公衆衛生の向上に努める。	SO-05		SO-05-01		SO-05-01-05	地域医療提供体制に関する諸課題の相互関連性の概要を理解している。
	医療は社会の一部であるという認識を持ち、経済的な観点・地域性の視点・国際的な視野なども持ちながら、公正な医療を提供し、健康の代弁者として公衆衛生の向上に努める。	SO-05		SO-05-01		SO-05-01-06	医療提供体制と医師の働き方について自身の考えを述べることができる。
	医療は社会の一部であるという認識を持ち、経済的な観点・地域性の視点・国際的な視野なども持ちながら、公正な医療を提供し、健康の代弁者として公衆衛生の向上に努める。	SO-05		SO-05-02	グローバルヘルスの役割や医療体制	SO-05-02-01	国際的に取り組む必要のある医療・健康課題について、歴史・社会的背景を踏まえて、概要を理解している。
	医療は社会の一部であるという認識を持ち、経済的な観点・地域性の視点・国際的な視野なども持ちながら、公正な医療を提供し、健康の代弁者として公衆衛生の向上に努める。	SO-05		SO-05-02		SO-05-02-02	ユニバーサル・ヘルス・カバレッジの意義を理解し、世界各国の医療制度が抱える問題を例示できる。
	医療は社会の一部であるという認識を持ち、経済的な観点・地域性の視点・国際的な視野なども持ちながら、公正な医療を提供し、健康の代弁者として公衆衛生の向上に努める。	SO-05		SO-05-02		SO-05-02-03	保健関連の国連開発目標や国際機関・国際協力に関わる組織・団体について概要を理解している。
	医療は社会の一部であるという認識を持ち、経済的な観点・地域性の視点・国際的な視野なども持ちながら、公正な医療を提供し、健康の代弁者として公衆衛生の向上に努める。	SO-06	社会科学の視点から捉える医療	SO-06-01	社会科学と医療との関係	SO-06-01-01	日常生活や外来診療・在宅療養・入院・施設入所等において、健康・病気・死の捉え方を探索できる。
	医療は社会の一部であるという認識を持ち、経済的な観点・地域性の視点・国際的な視野なども持ちながら、公正な医療を提供し、健康の代弁者として公衆衛生の向上に努める。	SO-06		SO-06-01		SO-06-01-02	時代の流れ、社会の状況や諸制度との関わりのなかで医療に関する諸事象を捉え、構造的に説明できる。
	医療は社会の一部であるという認識を持ち、経済的な観点・地域性の視点・国際的な視野なども持ちながら、公正な医療を提供し、健康の代弁者として公衆衛生の向上に努める。	SO-06		SO-06-01		SO-06-01-03	個や集団に及ぼす文化・慣習による影響（コミュニケーションの在り方等）を理解している。

第4層	医療ﾌﾟﾛﾌｪｯｼｮﾅﾘｽﾞﾑの実践	臨床実習入門	白衣の日	LPBL	地域医療の実践	生体の構造と機能									理工学からみた医療・医学			ITからみた医療・医学	人間と社会						医学英語			健康科学	リベラルアーツセミナー																								
	A1	P1b	P1	A1	A1	A1					B1		P1a	P1b	A1		P1	A1	A1				P1a	P1b	A1			A1	A1																								
						(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(1)	(2)			(1)	(2)			(1)	(2)	(3)	(4)			(1)	(2)	(3)		数理	光学	栄養	生化	時間	カウ	感覚	運動	TOEFL	英語	記憶	医教	辞書	統計学	基物	基生	ﾘｻｰﾁ	ｲﾉﾍﾞ	保健	独セ	仏セ	医経Ⅰ	医経Ⅱ	医社	細胞生物
SO-05-01-03																																																		○			
SO-05-01-04																																																		○			
SO-05-01-05																																																		○			
SO-05-01-06																																																		○			
SO-05-02-01					○																					○	○	○																			○			○	○		
SO-05-02-02																																															○			○			
SO-05-02-03					○																																										○			○			
SO-06-01-01																				○																				○										○			
SO-06-01-02																				○																														○	○		
SO-06-01-03																						○	○	○		○	○							○						○						.				○			

コア・カリキュラム一覧

（平成28年度改訂版）

							医療プロフェッショナリズムの実践	臨床実習入門	LPBL	リサーチマインドの実践	地域医療の実践	生体の構造と機能								人間と社会	医学英語	病因と病態		感染と生体防御			
							A2	P2	A2	A2	A2	B2	C2				P2b		P2c	P2d	A2	A2	A2		A2			P2
													(1)	(2)	(3)	(4)	(1)	(2)					(1)	(2)	(1)	(2)	(4)	
A 医師として求められる基本的な資質・能力	1 プロフェッショナリズム	1）医の倫理と生命倫理		ねらい		医療と医学研究における倫理の重要性を学ぶ。																						
				学修目標	①	医学・医療の歴史的な流れとその意味を概説できる。	○														○		○		○	○		
					②	臨床倫理や生と死に関わる倫理的問題を概説できる。	○														○							
					③	ヒポクラテスの誓い、ジュネーブ宣言、医師の職業倫理指針、医師憲章等医療の倫理に関する規範を概説できる。	○														○							
		2）患者中心の視点		ねらい		患者及びその家族の秘密を守り、医師の義務や医療倫理を遵守するとともに、患者の安全を最優先し、常に患者中心の立場に立つ。																						
				学修目標	①	リスボン宣言等に示された患者の基本的権利を説明できる。	○														○							
					②	患者の自己決定権の意義を説明できる。	○	○													○							
					③	選択肢が多様な場合でも適切に説明を行い患者の価値観を理解して、患者の自己決定を支援する。	○	○													○							
					④	インフォームド・コンセントとインフォームド・アセントの意義と必要性を説明できる。	○														○							
		3）医師としての責務と裁量権		ねらい		豊かな人間性と生命の尊厳についての深い認識を有し、人の命と健康を守る医師としての職責を自覚する。																						
				学修目標	①	診療参加型臨床実習において患者やその家族と信頼関係を築くことができる。	○	○																				
					②	患者やその家族のもつ価値観や社会的背景が多様であり得ることを認識し、そのいずれにも柔軟に対応できる。	○	○														○						
					③	医師が患者に最も適した医療を勧めなければならない理由を説明できる。	○	○																				
					④	医師には能力と環境により診断と治療の限界があることを説明できる。	○	○																				
					⑤	医師の法的義務を列挙し、例示できる。	○																					
	2 医学知識と問題対応能力	1）課題探求・解決能力		ねらい		自分の力で課題を発見し、自己学習によってそれを解決するための能力を獲得する。																						
				学修目標	①	必要な課題を自ら発見できる。			○			○				○	○	○	○	○								
					②	自分に必要な課題を、重要性・必要性に照らして順位付けできる。			○			○				○	○	○	○	○								
					③	課題を解決する具体的な方法を発見し、課題を解決できる。			○			○				○	○	○	○	○								
					④	課題の解決に当たり、他の学修者や教員と協力してよりよい解決方法を見出すことができる。			○			○				○	○	○	○	○								
					⑤	適切な自己評価ができ、改善のための具体的方策を立てることができる。			○			○				○	○	○	○	○								
		2）学修の在り方		ねらい		科学や社会の中で医学・医療だけでなく様々な情報を客観的・批判的に取捨選択して統合整理し、表現する基本的能力（知識、技能、態度・行動）・リベラルアーツを獲得する。																						
				学修目標	①	講義、国内外の教科書・論文、検索情報等の内容について、重要事項や問題点を抽出できる。			○			○					○	○	○								
					②	得られた情報を統合し、客観的・批判的に整理して自分の考えを分かりやすく表現できる。			○			○					○	○	○	○								
					③	実験・実習の内容を決められた様式に従って文書と口頭で発表できる。						○					○	○	○	○								○
					④	後輩等への適切な指導が実践できる。												○										
					⑤	各自の興味に応じて選択制カリキュラム（医学研究等）に参加する。												○										
	3 診療技能と患者ケア	1）全人的実践的能力		ねらい		統合された知識、技能、態度に基づき、患者の立場を尊重しながら、全身を総合的に診療するための実践的能力を獲得する。																						
				学修目標	①	病歴（主訴、現病歴、既往歴、家族歴、生活歴、社会歴・職業歴、システムレビュー等）を適切に聴取するとともに患者との良好な関係を構築し、必要に応じて患者教育を行える。																○						
					②	網羅的に系統立てて適切な順序で効率的な身体診察を行える。異常所見を認識・記録し、適切な鑑別診断が行える。																						
					③	基本的な臨床技能（適応、実施方法、合併症、注意点）を理解し、適切な態度で診断や治療を行える。																					
					④	診療録（カルテ）についての基本的な知識を修得し、問題志向型医療記録(problem-oriented medical record:POMR)形式で診療録を作成し、必要に応じて医療文書を作成できる。																					
					⑤	患者の病状（症状、身体所見、検査所見等）、プロブレムリスト、鑑別診断、臨床経過、治療法の要点を提示し、医療チーム構成員と意見交換ができる。																					
					⑥	緊急を要する病態や疾患・外傷の基本的知識を説明できる。診療チームの一員として救急医療に参画できる。																					
					⑦	慢性疾患や慢性疼痛の病態、経過、治療を説明できる。医療を提供する場や制度に応じて、診療チームの一員として慢性期医療に参画できる。																					
					⑧	患者の苦痛や不安感に配慮しながら、就学・就労、育児・介護等との両立支援を含め患者と家族に対して誠実で適切な支援を行える。																					
	4 コミュニケーション能力	1）コミュニケーション		ねらい		医療内容を分かりやすく説明する等、患者やその家族との対話を通じて、良好な人間関係を築くためのコミュニケーション能力を有する。																						
				学修目標	①	コミュニケーションの方法と技能（言語的と非言語的）を説明し、コミュニケーションが態度あるいは行動に及ぼす影響を概説できる。		○	○												○	○						
					②	コミュニケーションを通じて良好な人間関係を築くことができる。		○	○								○	○			○	○						
					③	患者・家族の話を傾聴し、共感することができる。		○	○													○						
		2）患者と医師の関係		ねらい		患者と医師の良好な関係を築くために、患者の個別的背景を理解し、問題点を把握する能力を獲得する。																						
				学修目標	①	患者と家族の精神的・身体的苦痛に十分配慮できる。																						
					②	患者に分かりやすい言葉で説明できる。																○						
					③	患者の心理的及び社会的背景や自立した生活を送るための課題を把握し、抱える問題点を抽出・整理できる。																					
					④	医療行為が患者と医師の契約的な信頼関係に基づいていることを説明できる。																						
					⑤	患者の要望（診療・転医・紹介）への対処の仕方を説明できる。																○						
					⑥	患者のプライバシーに配慮できる。																						
					⑦	患者情報の守秘義務と患者等への情報提供の重要性を理解し、適切な取扱いができる。																						
	5 チーム医療の実践	1）患者中心のチーム医療		ねらい		医療チームの構成員として、相互の尊重のもとに適切な行動をとるとともに、後輩等に対する指導を行う。																						
				学修目標	①	チーム医療の意義を説明できる。	○	○																				
					②	医療チームの構成や各構成員（医師、歯科医師、薬剤師、看護師、その他の医療職）の役割分担と連携・責任体制を説明し、チームの一員として参加できる。	○	○																				
					③	自分の能力の限界を認識し、必要に応じて他の医療従事者に援助を求めることができる。	○	○																				
					④	保健、医療、福祉と介護のチーム連携における医師の役割を説明できる。	○	○																				
	6 医療の質と安全の管理	1）安全性の確保		ねらい		医療上の事故等（インシデントを含む）や医療関連感染症（院内感染を含む）等は日常的に起こる可能性があることを認識し、過去の事例に学び、事故を防止して患者の安全性確保を最優先することにより、信頼される医療を提供しなければならないことを理解する。																						
				学修目標	①	実際の医療には、多職種が多段階の医療業務内容に関与していることを具体的に説明できる。	○																				
					②	医療上の事故等を防止するためには、個人の注意（ヒューマンエラーの防止）はもとより、組織的なリスク管理（制度・組織エラーの防止）が重要であることを説明できる。																					
					③	医療現場における報告・連絡・相談と記録の重要性や、診療録（カルテ）改竄の違法性を説明できる。																					
					④	医療の安全性に関する情報（薬剤等の副作用、薬害、医療過誤（事例や経緯を含む）、やってはいけないこと、優れた取組事例等）を共有し、事後に役立てるための分析の重要性を説明できる。																					
					⑤	医療の安全性確保のため、職種・段階に応じた能力向上の必要性を説明できる。	○																				

コア・カリキュラム一覧（平成28年度改訂版）							医療プロフェッショナリズムの実践	臨床実習入門	LPBL	リサーチマインドの実践	地域医療の実践	生体の構造と機能									人間と社会	医学英語	病因と病態		感染と生体防御			
							A2	P2	A2	A2	A2	B2	C2				P2b		P2c	P2d	A2	A2	A2		A2			P2
													(1)	(2)	(3)	(4)	(1)	(2)					(1)	(2)	(1)	(2)	(4)	
A 医師として求められる基本的な資質・能力	6 医療の質と安全の管理	1) 安全性の確保		学修目標	⑥	医療機関における医療安全管理体制の在り方（事故報告書、インシデントレポート、医療事故防止マニュアル、医療廃棄物処理、医療安全管理者（リスクマネージャー）、安全管理委員会、事故調査委員会、医療事故調査制度、産科医療補償制度）を概説できる																						
					⑦	医療関連感染症の原因及び回避する方法（院内感染対策委員会、院内感染サーベイランス、院内感染対策チーム（infection control team<ICT>）、感染対策マニュアル等）を概説できる。																			
					⑧	真摯に疑義に応じることができる。																						
		2) 医療上の事故等への対処と予防		ねらい		医療上の事故等（インシデントを含む）が発生した場合の対処の仕方を学ぶ。																						
				学修目標	①	医療上の事故等（インシデントを含む）と合併症の違いを説明できる。																						
					②	医療上の事故等（インシデントを含む）が発生したときの緊急処置や記録、報告を説明し、実践できる。																					
					③	医療過誤に関連した刑事・民事責任や医師法に基づく行政処分を説明できる。																						
					④	基本的予防策（ダブルチェック、チェックリスト法、薬品名称の改善、フェイルセイフ・フールプルーフの考え方等）を概説し、指導医の指導の下に実践できる。																					
		3) 医療従事者の健康と安全		ねらい		医療従事者が遭遇する危険性（事故、感染等）等について、基本的な予防・対処及び改善の方法を学ぶ。																						
				学修目標	①	医療従事者の健康管理（予防接種を含む）の重要性を説明できる。																						
					②	標準予防策（standard precautions）の必要性を説明し、実行できる。																						
					③	患者隔離の必要な場合を説明できる。																						
					④	針刺し事故（針刺切創）等に遭遇した際の対処の仕方を説明できる。																						
					⑤	医療現場における労働環境の改善の必要性を説明できる。																						
	7 社会における医療の実践	1) 地域医療への貢献		ねらい		地域医療・地域保健の在り方と現状及び課題を理解し、地域医療に貢献するための能力を獲得する。																						
				学修目標	①	地域社会（離島・へき地を含む）における医療の状況、医師の偏在（地域、診療科及び臨床・非臨床）の現状を概説できる。					○																	
					②	医療計画（医療圏、基準病床数、地域医療支援病院、病診連携、病病連携、病院・診療所・薬局の連携等）及び地域医療構想を説明できる。																					
					③	地域包括ケアシステムの概念を理解し、地域における保健（母子保健、学校保健、成人・高齢者保健、地域保健、精神保健）・医療・福祉・介護の分野間及び多職種間（行政を含む）の連携の必要性を説明できる。	○				○																	
					④	かかりつけ医等の役割や地域医療の基盤となるプライマリ・ケアの必要性を理解し、実践に必要な能力を獲得する。					○																	
					⑤	地域における救急医療、在宅医療及び離島・へき地医療の体制を説明できる。					○																	
					⑥	災害医療（災害時保健医療、医療救護班、災害派遣医療チーム(Disaster Medical Assistance Team <DMAT>)、災害派遣精神医療チーム(Disaster Psychiatric Assistance Team <DPAT>)、日本医師会災害医療チーム(Japan Medical Association Team <JMAT>)、災害拠点病院、トリアージ等）を説明できる。																					
					⑦	地域医療に積極的に参加・貢献する。					○																	
		2) 国際医療への貢献		ねらい		国際社会における医療の現状と課題を理解し、実践するための基礎的素養を身に付ける。																						
				学修目標	①	患者の文化的背景を尊重し、英語をはじめとした異なる言語に対応することができる。																○	○					
					②	地域医療の中での国際化を把握し、価値観の多様性を尊重した医療の実践に配慮することができる。																○						
					③	保健、医療に関する国際的課題を理解し、説明できる。					○											○						
					④	日本の医療の特徴を理解し、国際社会への貢献の意義を理解している。					○																	
					⑤	医療に関わる国際協力の重要性を理解し、仕組みを説明できる。																						
	8 科学的探究	1) 医学研究への志向の涵養		ねらい		医学・医療の進歩と改善に資するために研究を遂行する意欲と基礎的素養を有する。																						
				学修目標	①	研究は、医学・医療の発展や患者の利益の増進を目的として行われるべきことを説明できる。				○						○				○							
					②	生命科学の講義・実習で得た知識を基に、診療で経験した病態の解析ができる。				○						○				○							
					③	患者や疾患の分析を基に、教科書・論文等から最新の情報を検索・整理統合し、疾患の理解・診断・治療の深化につなげることができる。				○						○				○							
					④	抽出した医学・医療情報から新たな仮説を設定し、解決に向けて科学的研究（臨床研究、疫学研究、生命科学研究等）に参加することができる。				○						○				○							
	9 生涯にわたって共に学ぶ姿勢	1) 生涯学習への準備		ねらい		キャリアを意識し、生涯にわたり自己研鑽を続ける意欲と態度を有する。																						
				学修目標	①	生涯学習の重要性を説明できる。	○		○																			
					②	生涯にわたる継続的学習に必要な情報を収集できる。	○		○																			
					③	キャリア開発能力を獲得する。	○		○																			
					④	キャリアステージにより求められる能力に異なるニーズがあることを理解する。	○		○																			
					⑤	臨床実習で経験したことを省察し、自己の課題を明確にする。																						
B 社会と医学・医療	1 集団に対する医療	1) 統計の基礎		ねらい		確率には頻度と信念の度合いの二つがあり、それを用いた統計・推計学の有用性と限界を理解し、確率変数とその分布、統計的推測（推定と検定）の原理と方法を理解する。																						
				学修目標	①	データの記述と要約（記述統計を含む）ができる。																						
					②	主要な確率分布を説明できる。																						
					③	正規分布の母平均の信頼区間を計算できる。																						
					④	基本的な仮説検定の構造を説明できる。																						
		2) 統計手法の適用		ねらい		医学、生物学でよく遭遇する標本に統計手法を適用するときに生じる問題点、統計パッケージの利用を含めた具体的な扱い方を修得する。																						
				学修目標	①	2群間の平均値の差を検定する（群間の対応のあり、なしを含む）。																						
					②	パラメトリック検定とノンパラメトリック検定の違いを説明できる。																						
					③	カイ2乗検定法を実施できる。																						
					④	一元配置分散分析を利用できる。																						
					⑤	2変量の散布図を描き、回帰と相関の違いを説明できる。																						
					⑥	線形重回帰分析、多重ロジスティック回帰分析と交路調整を概説できる。																						
		3) 根拠に基づいた医療<EBM>		ねらい		臨床現場での意思決定において、入手可能な最善の医学知見を用い、適切な意思決定を行うための方法を身に付ける。																						
				学修目標	①	根拠に基づいた医療<EBM>の5つのステップを列挙できる。																						
					②	Patient, population, problem, intervention（exposure）, comparison, outcome <PICO（PECO）>を用いた問題の定式化ができる。																						
					③	研究デザイン（観察研究（記述研究、横断研究、症例対照研究、コホート研究）、介入研究（臨床研究、ランダム化比較試験）、システマティックレビュー、メタ分析（メタアナリシス））を概説できる。																					
					④	データベースや二次文献からのエビデンス、診療ガイドラインを検索することができる。																						
					⑤	得られた情報の批判的吟味ができる。																						
					⑥	診療ガイドラインの種類と使用上の注意を列挙できる。																						
					⑦	診療ガイドラインの推奨の強さについて違いを説明できる。																						

コア・カリキュラム一覧
（平成28年度改訂版）

							医療プロフェッショナリズムの実践	臨床実習入門	LPBL	リサーチマインドの実践	地域医療の実践	生体の構造と機能								人間と社会	医学英語	病因と病態		感染と生体防御			
							A2	P2	A2	A2	A2	B2	C2				P2b		P2c	P2d	A2	A2	A2		A2			P2
													(1)	(2)	(3)	(4)	(1)	(2)					(1)	(2)	(1)	(2)	(4)	
B 社会と医学・医療	1 集団に対する医療	4) 疫学と予防医学		ねらい		保健統計の意義と現状、疫学とその応用、疾病の予防について学ぶ。																						
				学修目標	①	人口統計（人口静態と人口動態）、疾病・障害の分類・統計（国際疾病分類(International Classification of Diseases〈ICD〉)等）を説明できる。																					
					②	平均寿命、健康寿命を説明できる。																					
					③	罹患率と発生割合の違いを説明できる。																					
					④	疫学とその応用（疫学の概念、疫学指標（リスク比、リスク差、オッズ比）とその比較（年齢調整率、標準化死亡比(standardized mortality ratio〈SMR〉)）、バイアス、交絡）を説明できる。																				
					⑤	予防医学（一次、二次、三次予防）と健康保持増進（健康管理の概念・方法、健康診断・診査と事後指導）を概説できる。																					
		5) 生活習慣とリスク		ねらい		生活習慣（食生活を含む）とそのリスクについて学ぶ。																					
				学修目標	①	基本概念（国民健康づくり運動、生活習慣病とリスクファクター、健康寿命の延伸と生活の質（quality of life 〈QOL〉）向上、行動変容、健康づくり支援のための環境整備等）を説明できる。																					
					②	栄養、食育、食生活を説明できる。																					
					③	身体活動、運動を説明できる。																					
					④	休養・心の健康（睡眠の質、不眠、ストレス対策、過重労働対策、自殺の予防）を説明できる。																				
					⑤	喫煙（状況、有害性、受動喫煙防止、禁煙支援）、飲酒（状況、有害性、アルコール依存症からの回復支援）を説明できる。																					
					⑥	ライフステージに応じた健康管理と環境・生活習慣改善（環境レベル、知識レベル、行動レベルと行動変容）を説明できる。																					
		6) 社会・環境と健康		ねらい		社会と健康・疾病との関係を理解し、個体及び集団をとりまく環境諸要因の変化による個人の健康と社会生活への影響について学ぶ。																					
				学修目標	①	健康（健康の定義）、障害と疾病の概念と社会環境（機能障害、活動制限、参加制約、生活の質〈QOL〉、ノーマライゼーション、バリアフリー、ユニバーサルデザイン等）を説明できる。																					
					②	社会構造（家族、コミュニティ、地域社会、国際化）と健康・疾病との関係（健康の社会的決定要因(social determinant of health)）を概説できる。															○					
					③	仕事と健康、環境と適応、生体環境系、病因と保健行動、環境基準と環境影響評価、公害と環境保全が健康と生活に与える影響を概説できる。																					
					④	各ライフステージの健康問題（母子保健、学校保健、産業保健、成人・高齢者保健）を説明できる。																					
					⑤	スポーツ医学を説明できる。																					
		7) 地域医療・地域保健		ねらい		地域医療・地域保健の在り方と現状及び課題を理解し、地域医療に貢献するための能力を獲得する。																					
				学修目標	①	地域社会（へき地・離島を含む）における医療の状況、医師の偏在（地域、診療科及び臨床・非臨床）の現状を概説できる。																					
					②	医療計画（医療圏、基準病床数、地域医療支援病院、病診連携、病病連携、病院・診療所・薬局の連携等）及び地域医療構想を説明できる。																					
					③	地域包括ケアシステムの概念を理解し、地域における、保健（母子保健、学校保健、成人・高齢者保健、地域保健、精神保健）・医療・福祉・介護の分野間及び多職種間（行政を含む）の連携の必要性を説明できる。				○																
					④	かかりつけ医等の役割や地域医療の基盤となるプライマリ・ケアの必要性を理解し、実践に必要な能力を獲得する。																					
					⑤	地域における救急医療、在宅医療及び離島・へき地医療の体制を説明できる。																					
					⑥	災害医療（災害時保健医療、医療救護班、災害派遣医療チーム〈DMAT〉、災害派遣精神医療チーム〈DPAT〉、日本医師会災害医療チーム〈JMAT〉、災害拠点病院、トリアージ等）を説明できる。																					
					⑦	地域医療に積極的に参加・貢献する。																					
		8) 保健・医療・福祉・介護の制度		ねらい		限られた医療資源の有効活用の視点を踏まえ、保健・医療・福祉・介護の制度の内容を学ぶ。																					
				学修目標	①	日本における社会保障制度と医療経済（国民医療費の収支と将来予測）を説明できる。														○							
					②	医療保険、介護保険及び公費医療を説明できる。														○							
					③	高齢者福祉と高齢者医療の特徴を説明できる。																					
					④	産業保健（労働基準法等の労働関連法規を含む）を概説できる。																					
					⑤	医療の質の確保（病院機能評価、国際標準化機構(International Organaization for Standardization〈ISO〉)、医療の質に関する評価指標、患者満足度、患者説明文書、同意書、同意撤回書、クリニカルパス等）を説明できる。																					
					⑥	医師法、医療法等の医療関連法規を概説できる。														○							
					⑦	医療関連法規に定められた医師の義務を列挙できる。																					
					⑧	医療における費用対効果分析を説明できる。																					
					⑨	医療資源と医療サービスの価格形成を説明できる。診療報酬制度を説明でき、同制度に基づいた診療計画を立てることができる。																					
					⑩	医療従事者の資格免許、現状と業務範囲、職種間連携を説明できる。																					
					⑪	感染症法・食品衛生法の概要と届出義務を説明できる。																					
					⑫	予防接種の意義と現状を説明できる。																					
					⑬	障害者福祉・精神保健医療福祉の現状と制度を説明できる。																					
		9) 国際保健		ねらい		国際保健の重要性について学ぶ。																					
				学修目標	①	世界の保健・医療問題（母子保健、感染症、非感染性疾患(non-communicable diseases〈NCD〉)、UHC(Universal Health Coverage)、保健システム（医療制度）、保健関連SDG(Sustainable Development Goals)）を概説できる。																					
					②	国際保健・医療協力（国際連合(United Nations 〈UN〉)、世界保健機関(World Health Organization 〈WHO〉)、国際労働機関(International Labour Organization 〈ILO〉)、国連合同エイズ計画(The Joint United Nations Programme on HIV/AIDS 〈UNAIDS〉)、世界エイズ・結核・マラリア対策基金(The Global Fund to Fight AIDS,Tuberculosis and Malaria〈GFS〉)、GAVIアライアンス(The Global Alliance for Vaccines and Immunization〈GAVI〉)、国際協力機構(Japan International Cooperation Agency 〈JICA〉)、政府開発援助(Official Development Assistance 〈ODA〉)、非政府組織(Non-Governmental Organization 〈NGO〉)を列挙し、概説できる。																					
	2 法医学と関連法規	1) 死と法		ねらい		死の判定や死亡診断と死体検案を理解する。																					
				学修目標	①	植物状態、脳死、心臓死及び脳死判定を説明できる。																					
					②	異状死・異状死体の取り扱いと死体検案を説明できる。																					
					③	死亡診断書と死体検案書を作成できる。																					
					④	個人識別の方法を説明できる。																					
					⑤	病理解剖、法医解剖（司法解剖、行政解剖、死因・身元調査法解剖、承諾解剖）を説明できる。																					
		2) 診療情報と諸証明書		ねらい		診療情報の利用方法、情報管理とプライバシー保護について学ぶ。																					
				学修目標	①	診療録（カルテ）に関する基本的な知識（診療録の管理と保存（電子カルテを含む）、診療録の内容、診療情報の開示、プライバシー保護、セキュリティー、問題志向型医療記録〈POMR〉、主観的所見、客観的所見、評価、計画(subjective, objective, assessment, plan 〈SOAP〉)を説明でき、実際に作成できる。																					
					②	診療に関する諸記録（処方箋、入院診療計画書、検査・画像・手術の記録、退院時要約）を説明できる。																					
					③	診断書、検案書、証明書（診断書、出生証明書、死産証書、死胎検案書、死亡診断書、死体検案書）を説明できる。																					
					④	電子化された診療情報の作成ができ、管理を説明できる。																					
	3 医学研究と倫理	1) 倫理規範と実践倫理		ねらい		医療の発展における医学研究と倫理の重要性について学ぶ。																					
				学修目標	①	医学研究と倫理（それぞれの研究に対応した倫理指針と法律）を説明できる。			○											○							

コア・カリキュラム一覧（平成28年度改訂版）							医療プロフェッショナリズムの実践	臨床実習入門	LPBL	リサーチマインドの実践	地域医療の実践	生体の構造と機能									人間と社会	医学英語	病因と病態		感染と生体防御			
							A2	P2	A2	A2	A2	B2	C2				P2b		P2c	P2d	A2	A2	A2		A2			P2
													(1)	(2)	(3)	(4)	(1)	(2)					(1)	(2)	(1)	(2)	(4)	
B 社会と医学・医療	3 医学研究と倫理	1) 倫理規範と実践倫理		学修目標	②	臨床研究、臨床試験、治験と市販後臨床試験の違いを概説できる。															○							
					③	臨床試験・治験と倫理性（ヘルシンキ宣言、第Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ相試験、医薬品の臨床試験の実施の基準(Good Clinical Practice <GCP>)、治験審査委員会・倫理審査委員会(institutional review board <IRB>)について説明できる。																					
					④	薬物に関する法令を概説し、医薬品の適正使用に関する事項を列挙できる。																						
					⑤	副作用報告と有害事象の違い、報告の意義（医薬品・医療機器等安全性情報報告制度等）を説明できる。																					
	4 医療に関連のある社会科学領域	1) 医師に求められる社会性		ねらい		文化的社会的文脈のなかで人の心と社会の仕組みを理解するための基礎的な知識と考え方及びリベラルアーツを学ぶ。臨床実践に行動科学・社会科学の知見を生かすことができるよう、健康・病い・医療に関する文化人類学・社会学（主に医療人類学・医療社会学）の視点・方法・理論について、理解を深める。																					
				学修目標	①	医療人類学や医療社会学等の行動科学・社会科学の基本的な視点・方法・理論を概説できる。																						
					②	病気・健康・医療・死をめぐる文化的な多様性を説明できる。																○						
					③	自身が所属する文化を相対化することができる。																○						
					④	人々の暮らしの現場において病気・健康がどのようにとらえられているかを説明できる。																						
					⑤	人の言動の意味をその人の人生史や社会関係の文脈の中で説明することができる。																○						
					⑥	文化・ジェンダーと医療の関係を考えることができる。																						
					⑦	国際保健・医療協力の現場における文化的な摩擦について、文脈に応じた課題を設定して、解決案を提案できる。																					
					⑧	社会をシステムとして捉えることができる。																						
					⑨	病人役割を概説できる。																						
					⑩	対人サービスの困難（バーンアウトリスク）を概説できる。																						
					⑪	経済的側面や制度的側面をふまえた上で、医療現場の実践を評価できる。																						
					⑫	在宅療養と入院または施設入所との関係について総合的な考察ができる。																						
					⑬	多職種の医療・保健・福祉専門職、患者・利用者、その家族、地域の人々など、様々な立場の人が違った視点から医療現場に関わっていることを理解する。																					
					⑭	具体的な臨床事例に文化・社会的課題を見いだすことができる。																						
C 医学一般	1 生命現象の科学	1) 生命の最小単位一細胞		ねらい		細胞の構造とその様々な働きとともに、遺伝子からタンパクへの流れに基づく生命現象を学び、遺伝子工学の手法と応用やヒトゲノムの解析を理解する。																						
			(1) 細胞の構造と機能	学修目標	①	細胞の観察法を説明できる。									○													
					②	細胞の全体像を図示できる。						○																
					③	核とリボソームの構造と機能を説明できる。						○																
					④	小胞体、ゴルジ体、リソソーム等の細胞内膜系の構造と機能を説明できる。						○																
					⑤	ミトコンドリア、葉緑体の構造と機能を説明できる。						○																
					⑥	細胞骨格の種類とその構造と機能を概説できる。																						
					⑦	細胞膜の構造と機能、細胞同士の接着と結合様式を説明できる。																						
					⑧	原核細胞と真核細胞の特徴を説明できる。																						
			(2) ゲノム・染色体・遺伝子	学修目標	①	Mendelの法則、ミトコンドリア遺伝、インプリンティング及び多因子遺伝を説明できる。																		○				
					②	遺伝型と表現型の関係を説明できる。						○			○									○				
					③	染色体の構造を概説し、ゲノムと染色体及び遺伝子の構造と関係性、体細胞分裂及び減数分裂における染色体の挙動を説明できる。						○			○									○				
					④	デオキシリボ核酸（deoxyribonucleic acid<DNA>）の複製と修復を概説できる。						○												○				
					⑤	デオキシリボ核酸（DNA）からリボ核酸（ribonucleic acid<RNA>）への転写、タンパク質合成に至る翻訳を含む遺伝情報の発現及び調節（セントラルドグマ）を説明できる。						○												○				
					⑥	染色体分析・DNA配列決定を含むゲノム解析技術を概説できる。				○		○												○	○			
		2) 生物の進化		ねらい		生物の進化を知り、比較生物学的な見地から動物の体のつくりとはたらきを学ぶ。																						
			(1) 生物の進化	学修目標	①	進化の基本的な考え方を説明できる。																						
					②	生物種とその系統関係を概説できる。																						
					③	アミノ酸配列や塩基配列の比較による分子系統樹を概説できる。						○																
	2 個体の構成と機能	1) 細胞の構成と機能		ねらい		細胞の微細構造と機能を理解する。																						
			(1) 細胞膜	学修目標	①	細胞内液・外液のイオン組成、浸透圧と静止（膜）電位を説明できる。						○	○	○	○													
					②	膜のイオンチャネル、ポンプ、受容体と酵素の機能を概説できる。						○		○	○													
					③	細胞膜を介する物質の能動・受動輸送過程を説明できる。						○		○														
					④	細胞膜を介する分泌と吸収の過程を説明できる。						○																
			(2) 細胞骨格と細胞運動	学修目標	①	細胞骨格を構成するタンパク質とその機能を概説できる。						○																
					②	アクチンフィラメント系による細胞運動を説明できる。						○																
					③	細胞内輸送システムを説明できる。						○																
					④	微小管の役割や機能を説明できる。						○																
		2) 組織・各臓器の構成、機能と位置関係		ねらい		細胞集団としての組織・臓器の構成、機能分化と方向用語を理解する。																						
			(1) 組織・各臓器の構造と機能	学修目標	①	上皮組織と腺の構造と機能を説明できる。						○																
					②	支持組織を構成する細胞と細胞間質（線維成分と基質）を説明できる。						○																
					③	血管とリンパ管の微細構造と機能を説明できる。						○			○													
					④	神経組織の微細構造を説明できる。						○																
					⑤	筋組織について、骨格筋、心筋、平滑筋の構造と機能を対比して説明できる。						○																
					⑥	組織の再生の機序を説明できる。				○		○																
			(2) 器官の位置関係	学修目標	①	位置関係を方向用語（上下、前後、内・外側、浅深、頭・尾側、背・腹側）で説明できる。											○	○										
		3) 個体の調節機構とホメオスタシス		ねらい		生体の恒常性を維持するための情報伝達と生体防御の機序を理解する。																						
			(1) 情報伝達の基本	学修目標	①	情報伝達の種類と機能を説明できる。				○		○	○	○	○													
					②	受容体による情報伝達の機序を説明できる。				○		○	○	○	○												○	

コア・カリキュラム一覧

（平成28年度改訂版）

							医療プロフェッショナリズムの実践	臨床実習入門	LPBL	リサーチマインドの実践	地域医療の実践	生体の構造と機能									人間と社会	医学英語	病因と病態		感染と生体防御			
							A2	P2	A2	A2	A2	B2	C2				P2b		P2c	P2d	A2	A2	A2		A2			P2
													(1)	(2)	(3)	(4)	(1)	(2)					(1)	(2)	(1)	(2)	(4)	
C 医学一般	2 個体の構成と機能	3) 個体の調節機構とホメオスタシス	(1) 情報伝達の基本	学修目標	③	細胞内シグナル伝達過程を説明できる。				○		○	○	○	○												○	
			(2) 神経による情報伝達の基礎	学修目標	①	活動電位の発生機構と伝導を説明できる。								○														
					②	シナプス（神経筋接合部を含む）の形態とシナプス伝達の機能（興奮性、抑制性）と可塑性を説明できる。								○														
					③	軸索輸送、軸索の変性と再生を説明できる。								○														
					④	刺激に対する感覚受容の種類と機序を説明できる。								○			○	○										
					⑤	反射を説明できる。								○			○	○										
			(3) 生体防御の機序	学修目標	①	生体の非特異的防御機構を説明できる。								○													○	
					②	特異的防御機構である免疫系の役割を説明できる。																					○	
					③	体液性と細胞性免疫応答を説明できる。																					○	
			(4) ホメオスタシス	学修目標	①	生体の恒常性維持と適応を説明できる。						○		○	○													
					②	恒常性維持のための調節機構（ネガティブフィードバック調節）を説明できる。						○	○	○	○													
					③	生体機能や体内環境のリズム性変化を説明できる。						○		○														
					④	生体の恒常性維持における常在菌・腸内細菌と宿主との相互作用の重要性を説明できる。						○		○														
					⑤	運動生理学など、身体活動時の神経・骨格筋、循環器、代謝系の変化を説明できる。						○		○														
		4) 個体の発生		ねらい		個体と器官が形成される発生過程を理解する。																						
				学修目標	①	配偶子の形成から出生に至る一連の経過と胚形成の全体像を説明できる。				○						○												
					②	体節の形成と分化を説明できる。										○												
					③	体幹と四肢の骨格と筋の形成過程を概説できる。										○												
					④	消化・呼吸器系各器官の形成過程を概説できる。										○												
					⑤	心血管系の形成過程を説明できる。				○						○												
					⑥	泌尿生殖器系各器官の形成過程を概説できる。										○												
					⑦	筋肉体腔の形成過程を概説できる。										○												
					⑧	鰓弓・鰓嚢の分化と頭・頸部と顔面・口腔の形成過程を概説できる。										○												
					⑨	神経管の分化と脳、脊髄、視覚器、平衡聴覚器と自律神経系の形成過程を概説できる。				○						○												
		5) 生体物質の代謝		ねらい		生体物質の代謝の動態を理解する。																						
				学修目標	①	酵素の機能と調節を説明できる。						○							○									
					②	解糖の経路と調節機構を説明できる。						○																
					③	クエン酸回路を説明できる。						○																
					④	電子伝達系と酸化的リン酸化を説明できる。						○																
					⑤	糖新生の経路と調節機構を説明できる。						○																
					⑥	グリコーゲンの合成と分解の経路を説明できる。						○																
					⑦	五炭糖リン酸回路の意義を説明できる。						○																
					⑧	脂質の合成と分解を説明できる。						○							○									
					⑨	リポタンパクの構造と代謝を説明できる。						○																
					⑩	タンパク質の合成と分解を説明できる。						○							○									
					⑪	アミノ酸の異化と尿素合成の経路を概説できる。						○																
					⑫	ヘム・ポルフィリンの代謝を説明できる。																						
					⑬	ヌクレオチドの合成・異化・再利用経路を説明できる。						○																
					⑭	酸化ストレス（フリーラジカル、活性酸素）の発生と作用を説明できる。				○		○																
					⑮	ビタミン、微量元素の種類と作用を説明できる。						○																
					⑯	エネルギー代謝（エネルギーの定義、食品中のエネルギー値、エネルギー消費量、推定エネルギー必要量）を理解し、空腹（飢餓）時、食後（過食時）と運動時における代謝を説明できる。						○																
	3 個体の反応	1) 生体と微生物		ねらい		各種微生物の基本的性状、病原性とそれによって生じる病態を理解する。																						
			(1) ウイルスの基本的性状と病原性	学修目標	①	ウイルス粒子の構造を図示し、各部の機能を説明できる。																				○		
					②	構造と性状によりウイルスを分類できる。																				○		
					③	デオキシリボ核酸<DNA>ゲノムとリボ核酸<RNA>ゲノムの複製・転写を一般化し、説明できる。																				○		
					④	ウイルスの吸着、侵入、複製、成熟と放出の各過程を説明できる。																				○		
					⑤	ウイルス感染細胞に起こる変化を説明できる。																				○		○
					⑥	ウイルス感染の種特異性、組織特異性と病原性を説明できる。																				○		
					⑦	主な感染様式の具体例を説明できる。																	○			○		
			(2) ウイルス感染に対する生体反応・予防	学修目標	①	ウイルスに対する中和反応と細胞性免疫を説明できる。																				○		
					②	ワクチンによるウイルス感染症予防の原理を説明できる。																				○		
					③	ワクチンの種類と問題点を説明できる。																				○		
			(3) 各種のウイルスの特徴と病原性	学修目標	①	主なデオキシリボ核酸<DNA>ウイルス（サイトメガロウイルス(cytomegalovirus <CMV>)、Epstein-Barr <EB>ウイルス、アデノウイルス、パルボウイルスB19、ヒトヘルペスウイルス、B 型肝炎ウイルス、ヒトパピローマウイルス）が引き起こす疾患名を列挙できる。																				○		
					②	主なリボ核酸<RNA>ウイルス（インフルエンザウイルス、麻疹ウイルス、ムンプスウイルス、風疹ウイルス、ポリオウイルス、コクサッキーウイルス、エコー(enteric cytopathic human orphan <ECHO>)ウイルス、ライノウイルス、A 型肝炎ウイルス、C 型肝炎ウイルス）が引き起こす疾患名を列挙できる。																				○		
					③	レトロウイルス(ヒト免疫不全ウイルス(human immunodeficiency virus <HIV>)の特性と一般ゲノム構造を説明し、分類できる。																				○		
			(4) 細菌・真菌	学修目標	①	細菌の構造を図示し、形態と染色性により分類できる。																			○			○
					②	細菌の感染経路を分類し、説明できる。																			○			
					③	細菌が疾病を引き起こす機序を説明できる。																			○			
					④	Gram 陽性球菌（ブドウ球菌、連鎖球菌）の細菌学的特徴とそれが引き起こす疾患を列挙できる。																			○			○

コア・カリキュラム一覧（平成28年度改訂版）							医療プロフェッショナリズムの実践	臨床実習入門	LPBL	リサーチマインドの実践	地域医療の実践	生体の構造と機能								人間と社会	医学英語	病因と病態		感染と生体防御			
							A2	P2	A2	A2	A2	B2	C2				P2b		P2c	P2d	A2	A2	A2		A2			P2
													(1)	(2)	(3)	(4)	(1)	(2)					(1)	(2)	(1)	(2)	(4)	
C 医学一般	3 個体の反応	1) 生体と微生物	(4) 細菌・真菌	学修目標	⑤	Gram 陰性球菌（淋菌、髄膜炎菌）の細菌学的特徴とそれが引き起こす疾患を列挙できる。																			○			○
					⑥	Gram 陽性桿菌（破傷風菌、ガス壊疽菌、ボツリヌス菌、ジフテリア菌）の細菌学的特徴とそれが引き起こす疾患を列挙できる。																		○			○
					⑦	Gram 陽性桿菌（大腸菌、赤痢菌、サルモネラ菌、チフス菌、ペスト菌、コレラ菌、百日咳菌、腸炎ビブリオ菌、緑膿菌、ブルセラ菌、レジオネラ菌、インフルエンザ（桿）菌）の細菌学的特徴とそれが引き起こす疾患を列挙できる。																		○			○
					⑧	Gram 陰性スピリルム属病原菌（Helicobacter pylori）の細菌学的特徴とそれが引き起こす疾患を列挙できる。																		○			
					⑨	抗酸菌（結核菌、非結核性(非定型)抗酸菌 ）の細菌学的特徴とそれが引き起こす疾患を列挙できる。																		○			○
					⑩	真菌（アスペルギルス、クリプトコックス、カンジダ、ムーコル（ムコール））の微生物学的特徴とそれが引き起こす疾患を列挙できる。																		○			
					⑪	スピロヘータ、マイコプラズマ、リケッチア、クラミジアの微生物学的特徴とそれが引き起こす疾患を列挙できる。																		○			
			(5) 寄生虫	学修目標	①	原虫類・蠕虫類の分類および形態学的特徴を説明できる。																					
					②	寄生虫の生活史、感染経路と感染疫学的意義を説明できる。																					
					③	寄生虫感染宿主の生体防御の特徴を説明できる。																					
					④	各臓器・器官の主な寄生虫症を説明できる。																					
					⑤	寄生虫症の診断、治療と予防の概要を説明できる。																					
		2) 免疫と生体防御		ねらい		免疫系の機構を分子レベルで理解し、病原体に対する免疫反応、主な自己免疫疾患、先天性及び後天性免疫不全症候群(acquired immune deficiency syndrome <AIDS>)と腫瘍に対する免疫系の反応を理解する。																					
			(1) 免疫系の一般特性	学修目標	①	生体防御機構における免疫系の特徴（特異性、多様性、寛容、記憶）を説明できる。																				○	
					②	免疫反応に関わる組織と細胞を説明できる。																			○	○	
					③	免疫学的自己の確立と破綻を説明できる。																				○	
					④	自然免疫と獲得免疫の違いを説明できる。																			○	○	
			(2) 自己と非自己の識別に関与する分子とその役割	学修目標	①	主要組織適合遺伝子複合体(major histocompatibility complex <MHC>)クラスI とクラスII の基本構造、抗原提示経路の違いを説明できる。																				○	
					②	免疫グロブリンとT 細胞抗原レセプターの構造と反応様式を説明できる。																				○	
					③	免疫グロブリンとT 細胞抗原レセプター遺伝子の構造と遺伝子再構成に基づき、多様性獲得の機構を説明できる。																				○	
					④	自己と非自己の識別機構の確立と免疫学的寛容を概説できる。																				○	
			(3) 免疫反応の調節機構	学修目標	①	抗原レセプターからのシグナルを増強あるいは減弱する調節機構を概説できる。																				○	
					②	代表的なサイトカイン・ケモカインの特徴を説明できる。																				○	
					③	ヘルパーT 細胞(Th1 cell、Th2 cell、Th17 cell)、細胞傷害性T 細胞(cytotoxic T lymphocyte <CTL>)、制御性T 細胞(regulatory T cell <Treg>)それぞれが担当する生体防御反応を説明できる。																				○	
			(4) 疾患と免疫	学修目標	①	ウイルス、細菌、真菌と寄生虫に対する免疫応答の特徴を説明できる。																			○	○	○	
					②	原発性免疫不全症と後天性免疫不全症候群<AIDS>を概説できる。																	○			○	○	
					③	免疫寛容の維持機構とその破綻による自己免疫疾患の発症を概説できる。																					○	
					④	アレルギー発症の機序（Coombs 分類）を概説できる。																	○				○	
					⑤	癌免疫に関わる細胞性機序を概説できる。																					○	
		3) 生体と薬物		ねらい		薬物・毒物の生体への作用について、個体・細胞・分子のレベルにおける作用機序と、生体と薬物分子との相互作用を理解し、的確な薬物療法を行うための基本的な考え方を学ぶ。																					
			(1) 薬理作用の基本	学修目標	①	薬物・毒物の濃度反応曲線を描き、その決定因子を説明できる。							○														
					②	薬物の受容体結合と薬理作用との定量的関連性及び活性薬・拮抗薬と分子標的薬を説明できる。							○														
					③	薬物・毒物の用量反応曲線を描き、有効量・中毒量・致死量の関係を説明できる。							○														
			(2) 薬物の動態	学修目標	①	薬物・毒物の吸収、分布、代謝と排泄を説明できる。									○												
					②	薬物の生体膜通過に影響する因子を説明できる。									○												
					③	薬物投与方法（経口、舌下、皮膚、粘膜、直腸、注射、吸入、点眼、点鼻等）を列挙し、それぞれの薬物動態を説明できる。									○												
			(3) 薬物の評価	学修目標	①	薬物の評価におけるプラセボ効果の意義を説明できる。									○												
	4 病因と病態	1) 遺伝的多様性と疾患		ねらい		ゲノム・染色体・遺伝子の多様性と疾患との関連を理解する。																					
				学修目標	①	ゲノムの多様性に基づく個体の多様性を説明できる。																		○			
					②	単一遺伝子疾患の遺伝様式を説明し、代表的な疾患を列挙できる。										○			○					○			
					③	染色体異常による疾患の中で主なものを挙げ、概説できる。										○							○	○			
					④	ミトコンドリア遺伝子の変異による疾患を挙げ、概説できる。																		○			
					⑤	エピゲノムの機序及び関連する疾患を概説できる。																		○			
					⑥	多因子疾患における遺伝要因と環境要因の関係を概説できる。																		○			
					⑦	薬剤の有効性や安全性とゲノムの多様性と関係を概説できる。																		○			
		2) 細胞傷害・変性と細胞死		ねらい		細胞傷害・変性と細胞死の病因と細胞・組織の形態的変化を理解する。																					
				学修目標	①	細胞傷害・変性と細胞死の多様性、病因と意義を説明できる。																	○				
					②	細胞傷害・変性と細胞死の細胞と組織の形態的変化の特徴を説明できる。																					
					③	ネクローシスとアポトーシスの違いを説明できる。																	○				
		3) 代謝障害		ねらい		糖、タンパク質、脂質等の代謝異常によって生じる多様な疾患について理解する。																					
				学修目標	①	糖質代謝異常の病態を説明できる。						○											○				
					②	タンパク質・アミノ酸代謝異常の病態を説明できる。						○											○				
					③	脂質代謝異常の病態を説明できる。						○											○				
					④	核酸・ヌクレオチド代謝異常の病態を説明できる。						○															
					⑤	ビタミン、微量元素の代謝異常の病態を説明できる。						○															
					⑥	肥満に起因する代謝障害の病態を理解できる。						○															
		4) 循環障害、臓器不全		ねらい		循環障害、臓器不全の病因と病態を理解する。																					
				学修目標	①	血行障害（阻血、虚血、充血、うっ血、出血）の違いとそれぞれの病因と病態を説明できる。									○												
					②	梗塞（血栓、塞栓）の種類と病態を説明できる。									○								○				

コア・カリキュラム一覧（平成28年度改訂版）							医療プロフェッショナリズムの実践	臨床実習入門	LPBL	リサーチマインドの実践	地域医療の実践	生体の構造と機能									人間と社会	医学英語	病因と病態		感染と生体防御			
							A2	P2	A2	A2	A2	B2	C2				P2b		P2c	P2d	A2	A2	A2		A2			P2
													(1)	(2)	(3)	(4)	(1)	(2)					(1)	(2)	(1)	(2)	(4)	
C 医学一般	4 病因と病態	4) 循環障害、臓器不全		学修目標	③	ショック（血流分布異常性ショック（アナフィラキシー、感染性(敗血症性)、神経原性）、循環血液量減少性ショック（出血性、体液喪失）、心原性ショック（心筋性、機械性、不整脈）、閉塞性ショック（心タンポナーデ、肺塞栓症、緊張性気胸））を説明できる。																	○				
					④	血圧異常（高血圧、低血圧）を説明できる。								○													
					⑤	臓器不全（多臓器不全、多臓器障害(multiple organ dysfunction syndrome（MODS）)）を説明できる。																				
		5) 炎症と創傷治癒		ねらい		炎症の概念と感染症との関係、またそれらの治癒過程を理解する。																						
				学修目標	①	炎症の定義を説明できる。																	○					
					②	炎症の分類、組織形態学的変化と経時的変化（局所的変化と全身的変化）を説明できる。																○					
					③	感染症による炎症性変化を説明できる。																						
					④	創傷の治癒過程を概説できる。																						
		6) 腫瘍		ねらい		発癌のメカニズムと、病態を理解する。																						
				学修目標	①	自律性の増殖と、良性腫瘍と悪性腫瘍の違いを説明できる。																	○					
					②	癌の原因や遺伝子変化を説明できる。																	○			○		
					③	腫瘍の分類、分化度、グレード、ステージを概説できる。																						
					④	用語（異形成、上皮内癌、進行癌、早期癌、異型性、多形性等）を説明できる。																	○					
					⑤	癌の診断と治療を概説できる。																						
					⑥	癌の転移を説明できる。																	○					
	5 人の行動と心理	1) 人の行動		ねらい		人の行動と心理を理解するための基礎的な知識と考え方を学ぶ。																						
				学修目標	①	行動と知覚、学習、記憶、認知、言語、思考、性格との関係を概説できる。																						
					②	行動の脳内基礎課程を説明できる。																						
					③	行動と人の内的要因、社会・文化的環境との関係を概説できる。																						
		2) 行動の成り立ち		学修目標	①	本能行動と学習行動（適応的な学習、適応的でない学習）を説明できる。								○														
					②	レスポンデント条件付け（事象と事象との関係の学習）とオペラント条件付け（反応と結果との関係の学習）を説明できる。								○													
					③	社会的学習（モデリング、観察学習、模倣学習）を概説できる。								○													
		3) 動機付け		学修目標	①	生理的動機（個体保存、種族保存）、内発的動機（活動、感性、好奇、操作等）、及び社会的動機（達成、親和、愛着、支配等）を概説できる。																						
					②	動機付けを例示できる。								○														
					③	欲求とフラストレーション・葛藤との関連を概説できる。																						
					④	適応（防衛）機制を概説できる。																						
		4) ストレス		学修目標	①	主なストレス学説を概説できる。																						
					②	人生、日常生活や仕事におけるストレッサーとその健康への影響を例示できる。																						
					③	ストレス－コーピング過程に関連する心理社会的要因について説明できる。																						
					④	ストレス対処法について概説できる。																						
		5) 生涯発達		学修目標	①	こころの発達の原理を概説できる。																						
					②	ライフサイクルの各段階におけるこころの発達と発達課題をを概説できる。																						
					③	こころの発達にかかわる遺伝的要因と環境的要因を概説できる。																						
		6) 個人差		学修目標	①	パーソナリティーの類型と特性を概説できる。																						
					②	パーソナリティーの形成を概説できる。																						
					③	知能の発達と経年変化を概説できる。																						
					④	役割理論を概説できる。																						
					⑤	ジェンダーの形成並びに性的指向及び性自認への配慮方法を説明できる。																						
		7) 対人関係と対人コミュニケーション		学修目標	①	対人関係にかかわる心理的要因を概説できる。																						
					②	人間関係における欲求と行動の関係を概説できる。																						
					③	主な対人行動（援助、攻撃等）を概説できる。																						
					④	集団の中の人間関係（競争と協同、同調、服従と抵抗、リーダーシップ）を概説できる。																						
					⑤	効果的な対人コミュニケーションを説明できる。																○						
					⑥	話し手と聞き手の役割を説明でき、適切なコミュニケーションスキルが使える。																○						
					⑦	個と集団に及ぼす文化的影響を例示できる。																						
					⑧	文化・慣習によってコミュニケーションのあり方が異なることを例示できる。																○						
		8) 行動変容における理論と技法		学修目標	①	健康行動や行動変容を行う動機付けを概説できる。																						
					②	行動療法を説明できる。																						
					③	認知行動療法を説明できる。																						
					④	心理教育を説明できる。																						
					⑤	生活習慣病における患者支援（自律性支援）や保健指導を概説できる。																						
D 人体を器官の正常構造と機能、病因、診断、治療	1 血液・造血器・リンパ系			ねらい		血液・造血器・リンパ系の構造と機能を理解し、主な疾患の病因、病態生理、症候、診断と治療を学ぶ。																						
		1) 構造と機能		学修目標	①	骨髄の構造を説明できる。								○														
					②	造血幹細胞から各血球への分化と成熟の過程を説明できる。								○														
					③	主な造血因子（エリスロポエチン、顆粒球コロニー刺激因子(granulocyte-colony stimulating factor（G-CSF）)、トロンボポエチン）を説明できる。				○				○													
					④	脾臓、胸腺、リンパ節、扁桃とPeyer 板の構造と機能を説明できる。								○														
					⑤	血漿タンパク質の種類と機能を説明できる。								○														
					⑥	赤血球とヘモグロビンの構造と機能を説明できる。								○														
					⑦	白血球の種類と機能を説明できる。								○														

コア・カリキュラム一覧
（平成28年度改訂版）

							医療プロフェッショナリズムの実践	臨床実習入門	LPBL	リサーチマインドの実践	地域医療の実践	生体の構造と機能								人間と社会	医学英語	病因と病態		感染と生体防御			
							A2	P2	A2	A2	A2	B2	C2				P2b		P2c	P2d	A2	A2	A2		A2			P2
													(1)	(2)	(3)	(4)	(1)	(2)					(1)	(2)	(1)	(2)	(4)	
D 人体各器官の正常構造と機能、病態、診断、治療	1 血液・造血器・リンパ系	1) 構造と機能		学修目標	⑧	血小板の機能と止血や凝固・線溶の機序を説明できる。									○													
		2) 診断と検査の基本		学修目標	①	末梢血の血球数の基準値とその変化の意義を説明できる。																					
					②	骨髄検査（骨髄穿刺、骨髄生検）を説明できる。			○																		
					③	血漿タンパク質の基準値とその変化の意義を説明できる。																					
		3) 症候		学修目標	①	発熱																					
					②	全身倦怠感																					
					③	黄疸																					
					④	貧血																					
					⑤	出血傾向																					
					⑥	リンパ節腫脹																					
					⑦	腹部膨隆（腹水を含む）・腫瘤																					
		4) 疾患	(1) 貧血	学修目標	①	貧血を分類し、鑑別に有用な検査を列挙できる。																					
					②	鉄欠乏性貧血、二次性貧血の病因、病態、診断と治療を説明できる。																					
					③	再生不良性貧血・夜間発作性血色素尿症(paroxysmal nocturnal hemoglobinuria <PNH>)の病因、病態、診断、治療と予後を説明できる。																					
					④	溶血性貧血の病因、病態、診断と治療を説明できる。																					
					⑤	巨赤芽球性貧血の病因、病態、診断と治療を説明できる。																					
			(2) 出血傾向・紫斑病その他	学修目標	①	出血傾向の病因、病態、症候と診断を説明できる。																					
					②	免疫性血小板減少性紫斑病（immune thrombocytopenic purpura<ITP>）の病因、症候、診断と治療を説明できる。																					
					③	血友病の病因、症候、診断、治療と遺伝形式を説明できる。																					
					④	播種性血管内凝固(disseminated intravascular coagulation <DIC>)の基礎疾患、病態、診断と治療を説明できる。																					
					⑤	溶血性尿毒症症候群(hemolytic-uremic syndrome <HUS>)の基礎疾患、病態、診断と治療を説明できる。																					
					⑥	IgA 血管炎(Schönlein-Henoch 紫斑病)を概説できる。																					
					⑦	血栓性血小板減少性紫斑病(thrombotic thrombocytopenic purpura <TTP>)を概説できる。																					
			(3) 脾臓疾患	学修目標	①	脾腫をきたす疾患を列挙し、鑑別の要点を説明できる。																					
			(4) 腫瘍性疾患	学修目標	①	急性白血病の病態、症候、病理所見、治療と予後を説明できる。																					
					②	急性白血病のFrench-American-British <FAB>分類、WHO分類を概説できる。																					
					③	慢性骨髄性白血病の病態、症候、病理所見、治療と予後を説明できる。			○																		
					④	骨髄異形成症候群(myelodysplastic syndromes <MDS>)の臨床像と病理所見を説明できる。																					
					⑤	成人T 細胞白血病の病因、疫学、臨床所見、病理所見を説明できる。																			○		
					⑥	小児白血病と成人白血病の違いを説明できる。																					
					⑦	真性赤血球増加症・本態性血小板血症、骨髄線維症の病因、病態、診断と治療を説明できる。																					
					⑧	悪性リンパ腫の分類を概説し、病態、症候、病理所見、治療と予後を説明できる。																					
					⑨	多発性骨髄腫の病態、症候、診断、治療と予後を説明できる。																					
	2 神経系			ねらい		神経系の正常構造と機能を理解し、主な神経系疾患の病因、病態生理、症候、診断と治療を学ぶ。																					
		1) 構造と機能	(1) 神経系の一般特性	学修目標	①	中枢神経系と末梢神経系の構成を概説できる。							○			○	○									
					②	脳の血管支配と血液脳関門を説明できる。							○				○									
					③	脳のエネルギー代謝の特徴を説明できる。							○													
					④	主な脳内神経伝達物質（アセチルコリン、ドパミン、ノルアドレナリン）とその作用を説明できる。						○	○													
					⑤	髄膜・脳室系の構造と脳脊髄液の産生と循環を説明できる。							○				○									
			(2) 脊髄と脊髄神経	学修目標	①	脊髄の構造、機能局在と伝導路を説明できる。							○				○									
					②	脊髄反射（伸張反射、屈筋反射）と筋の相反神経支配を説明できる。							○				○									
					③	脊髄神経と神経叢（頸神経叢、胸神経叢、腰神経叢、仙骨神経叢）の構成及び主な骨格筋支配と皮膚分布（デルマトーム）を概説できる。							○			○									
			(3) 脳幹と脳神経	学修目標	①	脳幹の構造と伝導路を説明できる。							○				○									
					②	脳神経の名称、核の局在、走行・分布と機能を概説できる。							○				○									
					③	脳幹の機能を概説できる。							○				○									
			(4) 大脳と高次機能	学修目標	①	大脳の構造を説明できる。							○				○									
					②	大脳皮質の機能局在（運動野・感覚野・言語野）を説明できる。							○				○									
					③	記憶、学習の機序を辺縁系の構成と関連させて概説できる。							○				○									
			(5) 運動系	学修目標	①	随意運動の発現機構を錐体路を中心として概説できる。							○				○									
					②	小脳の構造と機能を概説できる。							○				○									
					③	大脳基底核（線条体、淡蒼球、黒質）の線維結合と機能を概説できる。							○				○									
			(6) 感覚系	学修目標	①	痛覚、温度覚、触覚と深部感覚の受容機序と伝導路を説明できる。							○				○									
					②	視覚、聴覚・平衡覚、嗅覚、味覚の受容機序と伝導路を概説できる。							○				○									
			(7) 自律機能と本能行動	学修目標	①	交感神経系と副交感神経系の中枢内局在、末梢分布、機能と伝達物質を概説できる。						○	○				○									
					②	視床下部の構造と機能を内分泌及び自律機能と関連付けて概説できる。							○				○									
					③	ストレス反応と本能・情動行動の発現機序を概説できる。							○				○									
		2) 診断と検査の基本		学修目標	①	脳・脊髄のコンピュータ断層撮影(computed tomography <CT>)・磁気共鳴画像法(magnetic resonance imaging <MRI>)検査の適応と異常所見を説明し、結果を解釈できる。																					
					②	神経系の電気生理学的検査（脳波検査、筋電図、末梢神経伝導速度）で得られる情報を説明できる。							○													
		3) 症候		学修目標	①	けいれん																					

コア・カリキュラム一覧
（平成28年度改訂版）

							医療プロフェッショナリズムの実践	臨床実習入門	LPBL	リサーチマインドの実践	地域医療の実践	生体の構造と機能								人間と社会	医学英語	病因と病態		感染と生体防御			
							A2	P2	A2	A2	A2	B2	C2				P2b		P2c	P2d	A2	A2	A2		A2			P2
													(1)	(2)	(3)	(4)	(1)	(2)					(1)	(2)	(1)	(2)	(4)	
D 人体各器官の正常構造と機能、病態、診断、治療	2 神経系	3) 症候		学修目標	②	意識障害・失神																						
					③	めまい																						
					④	頭痛																						
					⑤	運動麻痺・筋力低下												○										
			(1) 運動失調障害と不随意運動	学修目標	①	小脳性・前庭性・感覚性運動失調障害を区別して説明できる。												○										
					②	振戦を概説できる。												○										
					③	その他の不随意運動（ミオクローヌス、舞踏運動、ジストニア、固定姿勢保持困難(asterixis)、アテトーシス、チック）を概説できる。												○										
			(2) 歩行障害	学修目標	①	歩行障害を病態に基づいて分類できる。																						
			(3) 言語障害	学修目標	①	失語症と構音障害の違いを説明できる。																						
			(4) 頭蓋内圧亢進	学修目標	①	脳浮腫の病態を説明できる。																						
					②	急性・慢性頭蓋内圧亢進の症候を説明できる。																						
					③	脳ヘルニアの種類と症候を説明できる。																						
		4) 疾患	(1) 脳・脊髄血管障害	学修目標	①	脳血管障害（脳出血、くも膜下出血、頭蓋内血腫、脳梗塞、一過性脳虚血発作）の病態、症候と診断を説明できる。																						
					②	脳血管障害の治療と急性期・回復期・維持期（生活期）のリハビリテーション医療を概説できる。																						
			(2) 認知症と変性疾患	学修目標	①	認知症の病因を列挙できる。																						
					②	認知症をきたす主な病態（Alzheimer 型認知症、Lewy 小体型認知症、血管性認知症）の症候と診断を説明できる。																						
					③	Parkinson 病の病態、症候と診断を説明できる。												○										
					④	筋萎縮性側索硬化症を概説できる。																						
					⑤	多系統萎縮症を概説できる。																						
			(3) 感染性・炎症性・脱髄性疾患	学修目標	①	脳炎・髄膜炎、脳症の病因、症候と診断を説明できる。																						
					②	多発性硬化症の病態、症候と診断を説明できる。																						
			(4) 頭部外傷	学修目標	①	頭部外傷の分類を説明できる。																						
					②	急性硬膜外・硬膜下血腫及び慢性硬膜下血腫の症候と診断を説明できる。																						
					③	頭部外傷後の高次脳機能障害を説明できる。																						
			(5) 末梢神経疾患	学修目標	①	ニューロパチーの病因（栄養障害、中毒、遺伝性）と病態を分類できる。																						
					②	Guillain-Barré 症候群の症候、診断を説明できる。																						
					③	Bell 麻痺の症候、診断を説明できる。																						
					④	主な神経障害性疼痛（三叉・坐骨神経痛）を概説できる。																						
			(6) 筋疾患	学修目標	①	重症筋無力症の病態、症候と診断を説明できる。																						
					②	進行性筋ジストロフィーの病因、分類、症候と診断を説明できる。																						
					③	周期性四肢麻痺を概説できる。																						
			(7) 発作性疾患	学修目標	①	てんかんの分類、診断と治療を説明できる。																						
			(8) 頭痛	学修目標	①	頭痛（偏頭痛、緊張型頭痛等）の分類、診断と治療を説明できる。																						
			(9) 先天性と周産期脳障害	学修目標	①	脳性麻痺の病因、病型、症候とリハビリテーションを説明できる。																						
					②	水頭症の症候と治療を説明できる。																						
			(10) 腫瘍性疾患	学修目標	①	主な脳・脊髄腫瘍の分類と好発部位を説明し、病態を概説できる。																						
	3 皮膚系			ねらい		皮膚の構造と機能を理解し、主な皮膚疾患の病因、病態生理、症候、診断と治療を学ぶ。																						
		1) 構造と機能		学修目標	①	皮膚の組織構造を図示して説明できる。																						
					②	皮膚の細胞動態と角化の機構を説明できる。																						
					③	皮膚の免疫防御能を説明できる。																						
		2) 診断と検査の基本		学修目標	①	皮膚検査法（硝子圧法、皮膚描記法(Darier 徴候)、Nikolsky 現象、Tzanck 試験、光線テスト）を概説できる。																						
					②	皮膚アレルギー検査法（プリックテスト、皮内テスト、パッチテスト）を説明できる。																						
					③	微生物検査法（検体採取法、苛性カリ（KOH）直接検鏡法）を概説できる。																						
		3) 症候		学修目標	①	発疹																						
		4) 疾患	(1) 湿疹・皮膚炎	学修目標	①	湿疹反応を説明できる。																						
					②	湿疹・皮膚炎の疾患（接触皮膚炎、アトピー性皮膚炎、脂漏性皮膚炎、貨幣状湿疹、皮脂欠乏性湿疹、自家感作性皮膚炎）を列挙し、概説できる。																						
			(2) 蕁麻疹、紅斑症、紅皮症と皮膚掻痒症	学修目標	①	蕁麻疹の病態、診断と治療を説明できる。																						
					②	多形滲出性紅斑、輪状紅斑と紅皮症の病因と病態を説明できる。																						
					③	皮膚そう痒症の病因と病態を説明できる。																						
			(3) 紫斑・血流障害と血管炎	学修目標	①	皮膚血流障害と血管炎の病因、症候と病態を説明できる。																						
			(4) 薬疹・薬物障害	学修目標	①	薬疹や薬物障害の発生機序、症候と治療を説明できる。																						
					②	薬疹を起こしやすい主な薬物を列挙できる。																						
			(5) 水疱症と膿疱症	学修目標	①	自己免疫性水疱症の病因、病態と分類を説明できる。																						
					②	膿疱症の種類と病態を説明できる。																						
					③	水疱症鑑別のための検査法を説明できる。																						
			(6) 乾癬と角化症	学修目標	①	尋常性乾癬、扁平苔癬とGibert 薔薇色粃糠疹の病態、症候と治療を説明できる。																						
					②	魚鱗癬の病態、症候と治療を説明できる。																						
			(7) 皮膚感染症	学修目標	①	皮膚細菌感染症（伝染性膿痂疹、せつ、癤、毛嚢炎、丹毒、ブドウ球菌性熱傷様皮膚症候群）を列挙し、概説できる。																						
					②	皮膚真菌症（表在性、深在性）の症候と病型を説明できる。																			○			

コア・カリキュラム一覧
（平成28年度改訂版）

							医療プロフェッショナリズムの実践	臨床実習入門	LPBL	リサーチマインドの実践	地域医療の実践	生体の構造と機能									人間と社会	医学英語	病因と病態		感染と生体防御			
							A2	P2	A2	A2	A2	B2	C2				P2b		P2c	P2d	A2	A2	A2		A2			P2
													(1)	(2)	(3)	(4)	(1)	(2)					(1)	(2)	(1)	(2)	(4)	
D 人体各器官の正常構造と機能、病態、診断、治療	3 皮膚系	4) 疾患	(7) 皮膚感染症	学修目標	③	皮膚結核病の症候、病型と病因菌を説明できる。																						
					④	梅毒の症候、病期と合併症を説明できる。																						
					⑤	皮膚ウィルス感染症（単純ヘルペス、帯状疱疹、伝染性軟属腫、麻疹、風疹、水痘）を列挙し、概説できる。																					
					⑥	後天性免疫不全症候群<AIDS>に伴う皮膚症状（梅毒、難治性ヘルペス、伝染性軟属腫、カポジ肉腫等）を列挙し、概説できる。																					
			(8) 母斑・腫瘍性疾患・腫瘍	学修目標	①	母斑・母斑症の種類を列挙できる。																						
					②	皮膚良性腫瘍、前癌状態と悪性腫瘍の種類と見分け方を説明できる。																						
					③	皮膚悪性リンパ腫、血管肉腫を説明できる。																						
					④	基底細胞上皮腫（癌）の定義と病態、症候、皮疹とダーモスコピー像の所見、病理所見や診断、治療法を説明できる。																					
					⑤	有棘細胞癌の定義と病態、症候、皮疹とダーモスコピー像の所見、病理所見や診断、治療法を説明できる。																					
					⑥	悪性黒色腫の定義と病態、症候、皮疹とダーモスコピー像の所見、病理所見や診断、治療法を説明できる。																					
			(9) 付属器疾患	学修目標	①	毛の疾患の病態、症状と治療を説明できる。																						
					②	爪の疾患の病態、症状と治療を説明できる。																						
	4 運動器（筋骨格）系			ねらい		運動器系の正常構造と機能を理解し、主な運動器疾患の病因、病態生理、症候、診断と治療を学ぶ。																						
		1) 構造と機能		学修目標	①	骨・軟骨・関節・靭帯の構成と機能を説明できる。											○	○										
					②	頭頸部の構成を説明できる。											○	○										
					③	脊柱の構成と機能を説明できる。											○	○										
					④	四肢の骨格、主要筋群の運動と神経支配を説明できる。											○	○										
					⑤	骨盤の構成と性差を説明できる。											○	○										
					⑥	骨の成長と骨形成・吸収の機序を説明できる。																						
					⑦	姿勢と体幹の運動にかかわる筋群を概説できる。											○	○										
					⑧	抗重力筋を説明できる。											○	○										
		2) 診断と検査の基本		学修目標	①	筋骨格系の病態に即した徒手検査（四肢・脊柱の可動域検査、神経学的検査等）を説明できる。																						
					②	筋骨格系画像診断（エックス線撮影、コンピュータ断層撮影<CT>、核磁気共鳴画像法<MRI>、超音波検査、骨塩定量）の適応を概説できる。																					
		3) 症候		学修目標	①	運動麻痺・筋力低下																						
					②	関節痛・関節腫脹																						
					③	腰背部痛																						
		4) 疾患	(1) 運動器系の一般的疾患	学修目標	①	四肢・脊椎外傷の診断と初期治療を説明できる。																						
					②	関節の脱臼、靭帯損傷の定義、重症度分類、診断と治療を説明できる。																						
					③	骨折の分類、症候、診断、治療と合併症を説明できる。																						
					④	コンパートメント症候群の病態、症候、診断と治療を説明できる。																						
					⑤	骨粗鬆症の病因と病態を説明し、骨折の好発部位を列挙できる。																						
					⑥	関節炎、腱鞘炎の病態、診断と治療を説明できる。																						
					⑦	変形性関節症の症候、診断と治療を説明できる。																						
					⑧	絞扼性末梢神経障害（手根管症候群、肘部管症候群等）を列挙し、その症候を説明できる。																					
					⑨	頸椎症性脊髄症（脊柱靭帯骨化症を含む）・頸椎症性神経根症の神経症候を説明できる。																					
					⑩	脊髄損傷の診断、治療を説明できる。																						
					⑪	腰椎椎間板ヘルニアの症候、診断と治療を説明できる。																						
					⑫	腰部脊柱管狭窄症の病態、症候、診断と治療を説明できる。																						
					⑬	腰椎分離・すべり症の症候、診断と治療を説明できる。																						
					⑭	運動器慢性疼痛（腰背部痛、頸部痛、肩こり）の病態、診断と治療を説明できる。																						
					⑮	運動器疾患のリハビリテーションを概説できる。																						
			(2) 感染性疾患	学修目標	①	化膿性関節炎の症候、診断と治療を説明できる。																						
					②	椎間板炎、化膿性脊椎炎、脊椎カリエス症候、診断と治療を説明できる。																						
			(3) 腫瘍性疾患	学修目標	①	原発性骨腫瘍（骨肉腫、Ewing肉腫）の臨床所見、画像所見、病理所見、初期治療を説明できる。																						
					②	転移性骨腫瘍の臨床所見、画像所見、検査所見を説明できる。																						
					③	悪性軟部腫瘍（脂肪肉腫）の診断、病理所見、治療を概説できる。																						
	5 循環器系			ねらい		循環器（心血管）系の構造と機能を理解し、各科日常診療の基本となる一般的な循環器疾患の予防、病因、病態生理、症候、診断と初期対応を中心とした治療を学ぶ。																					
		1) 構造と機能		学修目標	①	心臓の構造と分布する血管・神経、冠動脈の特長とその分布域を説明できる。			○					○		○	○										
					②	心筋細胞の微細構造と機能を説明できる。								○													
					③	心筋細胞の電気現象と心臓の興奮（刺激）伝導系を説明できる。								○													
					④	興奮収縮連関を概説できる。								○													
					⑤	体循環、肺循環と胎児・胎盤循環を説明できる。								○													
					⑥	大動脈と主な分枝（頭頸部、上肢、胸部、腹部、下肢）を図示し、分布域を概説できる。								○		○	○									
					⑦	主な静脈を図示し、門脈系と上・下大静脈系を説明できる。								○		○	○									
					⑧	毛細血管における物質・水分交換を説明できる。								○													
					⑨	胸管を経由するリンパの流れを概説できる。								○		○	○										
					⑩	心周期にともなう血行動態を説明できる。								○													
					⑪	心機能曲線と心拍出量の調節機序を説明できる。								○													
					⑫	主な臓器（脳、心臓、肺、腎臓）の循環調節を概説できる。								○		○	○										

コア・カリキュラム一覧
（平成28年度改訂版）

							医療プロフェッショナリズムの実践	臨床実習入門	LPBL	リサーチマインドの実践	地域医療の実践	生体の構造と機能								人間と社会	医学英語	病因と病態		感染と生体防御			
							A2	P2	A2	A2	A2	B2	C2				P2b		P2c	P2d	A2	A2	A2		A2			P2
													(1)	(2)	(3)	(4)	(1)	(2)					(1)	(2)	(1)	(2)	(4)	
D 人体各器官の正常構造と機能、病態、診断、治療	5 循環器系	1) 構造と機能		学修目標	⑬	血圧調節の機序を説明できる。									○													
					⑭	体位や運動に伴う循環反応とその機序を説明できる。									○													
		2) 診断と検査の基本		学修目標	①	胸部エックス線撮影写真、心電図の主な所見を説明できる。			○								○											
					②	心臓音波検査の主な所見を説明できる。																						
					③	運動負荷心電図、ホルター心電図を説明できる。																						
					④	心臓シンチグラフィーについて説明できる。																						
					⑤	冠動脈造影、冠動脈コンピュータ断層撮影<CT>及び心臓磁気共鳴画像法<MRI>の主な所見を説明できる。																						
					⑥	心カテーテル検査（心内圧、心機能、シャント率の測定）と結果の解釈を説明できる。																						
		3) 症候		学修目標	①	発熱																						
					②	全身倦怠感																						
					③	食思（欲）不振																						
					④	体重減少・体重増加																						
					⑤	ショック																						
					⑥	意識障害・失神																						
					⑦	けいれん																						
					⑧	めまい																						
					⑨	浮腫																						
					⑩	咳・痰																						
					⑪	呼吸困難																						
					⑫	胸痛																						
					⑬	動悸																						
					⑭	胸水																						
					⑮	嚥下困難・障害																						
					⑯	腹痛																						
					⑰	悪心・嘔吐																						
					⑱	頭痛																						
					⑲	腰背部痛																						
					⑳	心停止																						
		4) 疾患	(1) 心不全	学修目標	①	心不全の定義と原因、病態生理（収縮不全、拡張不全）を説明できる。				○																		
					②	左心不全と右心不全の徴候、病態、診断と治療を説明できる。																						
					③	急性心不全と慢性心不全の診断と薬物療法、非薬物療法（心臓リハビリテーションを含む）を説明できる。																						
					④	心不全診療における多職種連携（チーム医療）による疾病管理プログラムを概説できる。																						
					⑤	高齢者における心不全の特徴を説明できる。																						
			(2) 虚血性心疾患	学修目標	①	安定労作性狭心症の病態、症候、診断、治療を説明できる。			○																			
					②	冠攣縮性狭心症の病態、症候、診断、治療を説明できる。																						
					③	急性冠症候群（不安定狭心症、非ST 上昇型心筋梗塞及びST 上昇型心筋梗塞）の病態、症候、診断、治療を説明できる。																						
					④	虚血性心疾患の発症予防、再発予防を説明できる。																						
					⑤	陳旧性心筋梗塞の病態、症候、診断、治療を説明できる。																						
					⑥	虚血性心疾患の薬物治療、非薬物療法（血行再建術（経皮的冠動脈形成術、ステント留置術、冠動脈バイパス術））、心臓リハビリテーションを説明できる。																						
			(3) 不整脈	学修目標	①	主な徐脈性不整脈（洞不全症候群（sick sinus 症候群）、房室ブロック）の原因、症候、心電図の特徴、治療を説明できる。									○													
					②	主な上室性頻脈性不整脈（洞性頻脈、上室性期外収縮、心房細動、心房粗動、発作性上室性頻拍症）の原因、症候、心電図の特徴、治療を説明できる。									○													
					③	主な心室性頻脈性不整脈（心室性期外収縮、心室頻拍、多源性心室頻拍（トルサード・ド・ポワント(torsadesde pointes)、心室細動）の原因、症候、心電図の特徴、治療を説明できる。									○													
					④	不整脈の原因となる疾患や病態（電解質異常、QT 延長症候群、薬剤、甲状腺機能亢進症、Wolff-Parkinson-White<WPW>症候群、Brugada 症候群等）を説明できる。									○													
					⑤	不整脈の薬物療法、非薬物療法（カテーテルアブレーション、電気的除細動、ペースメーカー植え込み、植え込み型除細動器）を概説できる。									○													
					⑥	致死性不整脈の診断、初期対応、治療を説明できる。									○													
			(4) 弁膜症	学修目標	①	主な弁膜症（僧帽弁疾患、大動脈弁疾患）の病因、病態生理、症候と診断を説明し、治療を説明できる。																						
			(5) 心筋・心膜疾患	学修目標	①	心肥大の病態生理、リモデリング機序を説明できる。																						
					②	特発性心筋症（肥大型心筋症、拡張型心筋症、拘束型心筋症）と二次性心筋疾患の定義・概念と病態生理を説明できる。																						
					③	急性心筋炎の病態、症候、診断、治療症候を説明できる。																						
					④	感染性心内膜炎の病態、症候、診断、治療を説明できる。																						
					⑤	急性心膜炎、収縮性心膜炎の病態、症候、診断、治療を説明できる。																						
					⑥	心タンポナーデの病態、症候、診断、治療を説明できる。																						
					⑦	主な心臓腫瘍（粘液腫など）の病態、症候、診断、治療を説明できる。																						
			(6) 先天性心疾患	学修目標	①	主な先天性心疾患（心房中隔欠損症、心室中隔欠損症、動脈管開存、Fallot 四徴症）の病態生理、症候と診断を説明し、治療を概説できる。																						
			(7) 動脈疾患	学修目標	①	動脈硬化の危険因子、病態、非侵襲的検査法を説明できる。																						
					②	急性大動脈解離の病態、症候、診断、治療を説明できる。																						
					③	大動脈瘤（破裂）の病態、症候、診断、治療を説明できる。																						
					④	閉塞性動脈硬化症とBuerger 病の病態、症候、診断、治療を説明できる。																						
					⑤	高安動脈炎（大動脈炎症候群）を概説できる。																						

コア・カリキュラム一覧（平成28年度改訂版）							医療プロフェッショナリズムの実践	臨床実習入門	LPBL	リサーチマインドの実践	地域医療の実践	生体の構造と機能									人間と社会	医学英語	病因と病態		感染と生体防御			
							A2	P2	A2	A2	A2	B2	C2				P2b		P2c	P2d	A2	A2	A2		A2			P2
													(1)	(2)	(3)	(4)	(1)	(2)					(1)	(2)	(1)	(2)	(4)	
D 人体各器官の正常構造と機能、病態、診断、治療	5 循環器系	4) 疾患	(8) 静脈・リンパ管疾患	学修目標	①	深部静脈血栓症(deep vein thrombosis <DVT>)、血栓性静脈炎の病因、症候、合併症、治療を説明できる。																						
					②	上大静脈症候群の病因と症候を説明できる。																						
					③	下肢静脈瘤を説明できる。																						
					④	リンパ浮腫の病因を列挙できる。																						
			(9) 高血圧症	学修目標	①	本態性高血圧症の疫学、診断、合併症、予後、治療を説明できる。																						
					②	二次性高血圧症の病因（内分泌性、腎血管性、薬剤性）、症候、診断、治療を説明できる。																						
					③	各種降圧薬の作用機序、適応、禁忌、副作用を説明できる。									○													
					④	高血圧緊急症の病態と対応を説明できる。																						
					⑤	他疾患（脳血管疾患、心疾患、腎疾患、糖尿病）を合併する場合の血圧管理を説明できる。																						
					⑥	高齢者の高血圧の特徴と治療の注意点を説明できる。																						
			(10) 低血圧症	学修目標	①	低血圧の原因疾患、病態生理、症候、診断、予後、治療を説明できる。																						
					②	起立性低血圧、神経調節性失神の診断、予後、治療を説明できる。																						
			(11) 腫瘍性疾患	学修目標	①	粘液腫の定義と病態、症候、検査所見、画像所見、病理所見、診断、治療法を説明できる。																						
	6 呼吸器系			ねらい		呼吸器系の構造と機能を理解し、主な呼吸器疾患の病因、病態生理、症候、診断と治療を学ぶ。																						
		1) 構造と機能		学修目標	①	気道の構造、肺葉・肺区域と肺門の構造を説明できる。									○		○	○										
					②	肺微環と体微環の違いを説明できる。									○		○	○										
					③	縦隔と胸膜腔の構造を説明できる。									○		○	○										
					④	呼吸筋と呼吸運動の機序を説明できる。									○		○	○										
					⑤	肺気量分画、換気、死腔（換気力学（胸腔内圧、肺コンプライアンス、抵抗、クロージングボリューム(closingvolume)））を説明できる。									○												
					⑥	肺胞におけるガス交換と血流の関係を説明できる。									○													
					⑦	肺の換気と血流（換気血流比）が動脈血ガスにおよぼす影響（肺胞気-動脈血酸素分圧較差(alveolar-arterialoxygen dfference <A-aDO2>)）を説明できる。									○												
					⑧	呼吸中枢を介する呼吸調節の機序を説明できる。									○													
					⑨	血液による酸素 と二酸化炭素 の運搬の仕組みを説明できる。									○													
					⑩	気道と肺の防御機構（免疫学的・非免疫学的）と代謝機能を説明できる。									○													
		2) 診断と検査の基本		学修目標	①	単純エックス線撮影、コンピュータ断層撮影<CT>、磁気共鳴画像法<MRI>、及び核医学検査（ポジトロン断層法(positron emission tomography <PET>)検査を含む）等の画像検査の意義を説明できる。											○	○										
					②	気管支内視鏡検査の意義を説明できる。																						
					③	喀痰検査(喀痰細胞診、喀痰培養)の意義を説明できる。																						
		3) 症候	(1) 喘鳴	学修目標	①	喘鳴の発生機序と原因疾患を説明できる。																						
			(2) その他の症候	学修目標	①	胸水																						
					②	胸痛・胸部圧迫感																						
					③	呼吸困難・息切れ																						
					④	咳・痰																						
					⑤	血痰・喀血																						
		4) 疾患	(1) 呼吸不全、低酸素血症と高二酸化炭素血症	学修目標	①	呼吸不全の定義、分類、病態生理と主な病因を説明できる。																						
					②	低酸素血症と高二酸化炭素血症の病因、分類と診断を説明し、治療を概説できる。																						
			(2) 呼吸器感染症	学修目標	①	急性上気道感染症（かぜ症候群）と扁桃炎の病因、診断と治療を説明できる。																						
					②	気管支炎・細気管支炎・肺炎（定型肺炎、非定型肺炎）の主な病原体を列挙し、症候、診断と治療を説明できる。																						
					③	肺結核症と肺真菌症の症候、診断、治療と届出手続きを説明できる。																						
					④	非結核性(非定型)抗酸菌症を概説できる。																						
					⑤	誤嚥性肺炎の発生機序とその予防法を説明できる。																						
					⑥	クループ症候群と急性喉頭蓋炎の病因、診断と治療を説明できる。																						
					⑦	肺化膿症と膿胸を概説できる。																						
			(3) 閉塞性換気障害・拘束性換気障害をきたす肺疾患	学修目標	①	慢性閉塞性肺疾患(chronic obstructive pulmonary disease <COPD>)の病因を列挙できる。																						
					②	慢性閉塞性肺疾患<COPD>の病因、診断、治療、呼吸器リハビリテーションを説明できる。																						
					③	気管支喘息（小児喘息を含む）の病態生理、診断と治療を説明できる。																						
					④	間質性肺炎（特発性、膠原病及び血管炎関連性）の病態、診断と治療を説明できる。																						
					⑤	びまん性汎細気管支炎を概説できる。																						
					⑥	放射線肺炎を概説できる。																						
					⑦	じん肺症(珪肺(silicosis)、石綿肺(asbestosis))を概説できる。																						
			(4) 肺微環障害	学修目標	①	肺性心の病因、診断と治療を説明できる。																						
					②	急性呼吸促(窮)迫症候群(acute respiratory distress syndrome <ARDS>)の病因、症候と治療を説明できる。																						
					③	肺血栓塞栓症の病因、診断と治療を説明できる。																						
					④	肺高血圧症を概説できる。																						
			(5) 免疫学的機序による肺疾患	学修目標	①	過敏性肺炎の病因、症候と診断を説明できる。																						
					②	サルコイドーシスの症候、診断と治療を説明できる。																						
					③	好酸球性肺炎を概説できる。																						
					④	薬剤性肺炎を概説できる。																						
			(6) 異常呼吸	学修目標	①	過換気症候群を概説できる。																						
					②	睡眠時無呼吸症候群を概説できる。																						

コア・カリキュラム一覧
（平成28年度改訂版）

							医療プロフェッショナリズムの実践	臨床実習入門	LPBL	リサーチマインドの実践	地域医療の実践	生体の構造と機能									人間と社会	医学英語	病因と病態		感染と生体防御			
							A2	P2	A2	A2	A2	B2	C2				P2b		P2c	P2d	A2	A2	A2		A2			P2
													(1)	(2)	(3)	(4)	(1)	(2)					(1)	(2)	(1)	(2)	(4)	
D 人体各器官の正常構造と機能、病態、診断、治療	6 呼吸器系	4) 疾患	(6) 異常呼吸	学修目標	③	肺胞低換気症候群を概説できる。																						
			(7) 気管支拡張症とその他の肺疾患	学修目標	①	気管支拡張症の症候、診断と治療を説明できる。																						
					②	無気肺の病因と診断を説明できる。																						
					③	新生児呼吸促迫症候群の症候、病態、診断と治療を説明できる。																						
					④	肺リンパ新管筋腫症を概説できる。																						
					⑤	肺胞タンパク症を概説できる。																						
			(8) 胸膜・縦隔疾患	学修目標	①	胸膜炎の病因、症候、診断と治療を説明できる。																						
					②	気胸（自然気胸、緊張性気胸、外傷性気胸）の病因、症候、診断と治療を説明できる。																						
					③	縦隔気腫の病因、症候と診断を説明できる。																						
					④	胸膜生検の適応を説明できる。																						
			(9) 腫瘍性疾患	学修目標	①	肺癌の組織型、病期分類、病理所見、診断、治療を説明できる。																						
					②	転移性肺腫瘍の診断と治療を説明できる。																						
					③	縦隔腫瘍の種類を列挙し、診断と治療を説明できる。																						
					④	胸膜中皮腫の病因、診断、治療を概説できる。																						
	7 消化器系			ねらい		消化器系の正常構造と機能を理解し、主な消化器系疾患の病因、病態生理、症候、診断と治療を学ぶ。																						
		1) 構造と機能		学修目標	①	各消化器官の位置、形態と関係する血管を図示できる。											○	○										
					②	腹膜と臓器の関係を説明できる。											○	○										
					③	食道・胃・小腸・大腸の基本構造と部位による違いを説明できる。							○				○	○										
					④	消化管運動の仕組みを説明できる。							○															
					⑤	消化器官に対する自律神経の作用を説明できる。							○															
					⑥	肝の構造と機能を説明できる。							○				○											
					⑦	胃液の作用と分泌機序を説明できる。							○															
					⑧	胆汁の作用と胆嚢収縮の調節機序を説明できる。							○															
					⑨	膵外分泌系の構造と膵液の作用を説明できる。							○															
					⑩	小腸における消化・吸収の仕組みを説明できる。							○				○											
					⑪	大腸における糞便形成と排便の仕組みを説明できる。							○															
					⑫	主な消化管ホルモンの作用を説明できる。							○															
					⑬	歯、舌、唾液腺の構造と機能を説明できる。							○				○											
					⑭	咀しゃくと嚥下の機構を説明できる。							○															
					⑮	消化管の正常細菌叢（腸内細菌叢）の役割を説明できる。							○															
		2) 診断と検査の基本		学修目標	①	代表的な肝炎ウイルス検査の検査項目を列挙し、その意義を説明できる。																				○		
					②	消化器関連の代表的な腫瘍マーカー（α-fetoprotein <AFP>、carcinoembryonic antigen <CEA>、carbohydrateantigen <CA> 19-9、protein induced by vitamin K absence or antagonists <PIVKA>-Ⅱ）の意義を説明できる。																						
					③	消化器系疾患の画像検査を列挙し、その適応と異常所見を説明し、結果を解釈できる。																						
					④	消化器内視鏡検査から得られる情報を説明できる。																						
					⑤	生検と細胞診の意義と適応を説明できる。																						
		3) 症候	(1) 肝腫大	学修目標	①	肝腫大をきたす疾患を列挙し、その病態生理を説明できる。																						
					②	肝腫大のある患者における医療面接、診察と診断の要点を説明できる。																						
			(2) その他の症候	学修目標	①	黄疸																						
					②	腹痛																						
					③	悪心・嘔吐																						
					④	食思〈欲〉不振																						
					⑤	便秘・下痢・血便																						
					⑥	吐血・下血																						
					⑦	腹部膨隆（腹水を含む）・腫満・腫瘤																						
		4) 疾患	(1) 食道疾患	学修目標	①	食道・胃静脈瘤の病態生理、内視鏡分類と治療を説明できる。																						
					②	胃食道逆流症(gastroesophageal reflux disease <GERD>)と逆流性食道炎の病態生理、症候と診断を説明できる。																						
					③	Mallory-Weiss 症候群を概説できる。																						
			(2) 胃・十二指腸疾患	学修目標	①	胃潰瘍、十二指腸潰瘍(消化性潰瘍)の病因、症候、進行度分類、診断と治療を説明できる。							○															
					②	Helicobacter pylori 感染症の診断と治療を説明できる。							○															
					③	胃ポリープの病理と肉眼分類を説明できる。																						
					④	急性胃粘膜病変の概念、診断と治療を説明できる。																						
					⑤	急性胃腸炎、慢性胃炎を概説できる。																						
					⑥	胃切除後症候群の病態生理を説明できる。																						
					⑦	機能性消化管障害（機能性ディスペプシア(functional dyspepsia<FD>)）を説明できる。							○															
					⑧	肥厚性幽門狭窄症を概説できる。																						
			(3) 小腸・大腸疾患	学修目標	①	急性虫垂炎の症候、診断と治療を説明できる。																						
					②	腸閉塞とイレウスの病因、症候、診断と治療を説明できる。																						
					③	炎症性腸疾患（潰瘍性大腸炎・Crohn 病）の病態生理、症候、診断と治療を説明できる。																						
					④	痔核と痔瘻の病態生理、症候と診断を説明できる。																						

コア・カリキュラム一覧
（平成28年度改訂版）

							医療プロフェッショナリズムの実践	臨床実習入門	LPBL	リサーチマインドの実践	地域医療の実践	生体の構造と機能									人間と社会	医学英語	病因と病態		感染と生体防御			
							A2	P2	A2	A2	A2	B2	C2				P2b		P2c	P2d	A2	A2	A2		A2			P2
													(1)	(2)	(3)	(4)	(1)	(2)					(1)	(2)	(1)	(2)	(4)	
D 人体各器官の正常構造と機能、病態、診断、治療	7 消化器系	4) 疾患	(3) 小腸・大腸疾患	学修目標	⑤	機能性消化管障害（過敏性腸症候群）を概説できる。							○															
					⑥	腸管憩室症（大腸憩室炎と大腸憩室出血）を概説できる。																						
					⑦	薬物性腸炎を概説できる。																						
					⑧	消化管ポリポーシスを概説できる。																						
					⑨	大腸の主な先天性疾患（鎖肛、Hirschsprung 病）を概説できる。																						
					⑩	腸重積症を概説できる。																						
					⑪	便秘症、乳児下痢症を説明できる。																						
					⑫	感染性腸炎を概説できる。																						
					⑬	虚血性大腸炎を概説できる。																						
					⑭	急性出血性直腸潰瘍を概説できる。																						
					⑮	上腸間膜動脈閉塞症を概説できる。																						
					⑯	消化管神経内分泌腫瘍（neuroendocrine tumor ＜NET＞）を概説できる。																						
					⑰	消化管間質腫瘍（gastrointestinal stromal tumor ＜GIST＞）を概説できる。																						
			(4) 胆道疾患	学修目標	①	胆石症の病因、症候、診断と治療を説明できる。																						
					②	胆嚢炎と胆管炎の病因、病態生理、症候、診断、合併症と治療を説明できる。																						
					③	胆嚢ポリープを概説できる。																						
					④	先天性胆道拡張症と膵・胆管合流異常症を概説できる。																						
			(5) 肝疾患	学修目標	①	A 型・B 型・C 型・D 型・E 型肝炎の疫学、症候、診断、治療、経過と予後を説明できる。																				○		
					②	急性肝炎、慢性肝炎の定義を説明できる。																						
					③	急性肝不全の概念、診断を説明できる。																						
					④	肝硬変の病因、病理、症候、診断と治療を説明できる。																						
					⑤	肝硬変の合併症（門脈圧亢進症、肝性脳症、肝癌）を概説できる。																						
					⑥	アルコール性肝障害を概説できる。																						
					⑦	薬物性肝障害を概説できる。																						
					⑧	肝膿瘍の症候、診断と治療を説明できる。																						
					⑨	原発性胆汁性胆管炎（原発性胆汁性肝硬変）と原発性硬化性胆管炎の症候、診断、治療、経過と予後を説明できる。																						
					⑩	自己免疫性肝炎を概説できる。																						
					⑪	脂肪性肝疾患を概説できる。																						
			(6) 膵臓疾患	学修目標	①	急性膵炎（アルコール性、胆石性、特発性）の病態生理、症候、診断と治療を説明できる。																						
					②	慢性膵炎（アルコール性、特発性）の病態生理、症候、診断、合併症と治療を説明できる。																						
					③	自己免疫性膵炎を概説できる。																						
			(7) 腹膜・腹壁・横隔膜疾患	学修目標	①	腹膜炎の病因、症候、診断と治療を説明できる。																						
					②	ヘルニアの概念、病態（滑脱、嵌頓、絞扼）と好発部位を説明できる。																						
					③	鼠径部ヘルニアの病因、病態、診断と治療を説明できる。																						
			(8) 腫瘍性疾患	学修目標	①	食道癌の病理所見、肉眼分類と進行度分類を説明できる。																						
					②	食道癌の症候、診断、治療と予後を説明できる。																						
					③	胃癌の疫学、病理所見、症候、肉眼分類と進行度分類を説明できる。																						
					④	胃癌の診断法を列挙し、所見とその意義を説明できる。																						
					⑤	胃癌の進行度に応じた治療を概説できる。																						
					⑥	大腸癌の病理所見、診断、肉眼分類と進行度分類を説明できる。																						
					⑦	大腸癌の症候、診断、治療を説明できる。																						
					⑧	胆嚢・胆管癌・乳頭部癌の病理所見、症候、診断と治療を説明できる。																						
					⑨	原発性肝癌、転移性肝癌の病因、病理所見、症候、診断と治療を説明できる。																						
					⑩	膵癌の病理所見、症候、診断と治療を説明できる。																						
					⑪	嚢胞性膵腫瘍の分類と病理所見を説明できる。																						
					⑫	腹膜中皮腫、消化管間質腫瘍（GIST）、消化管カルチノイドを概説できる。																						
	8 腎・尿路系（体液・電解質バランスを含む）			ねらい		腎・尿路系の構造と機能を理解し、主な腎・尿路系疾患の病因、病態生理、症候、診断と治療を学ぶ。																						
		1) 構造と機能		学修目標	①	体液の量と組成・浸透圧を小児と成人を区別して説明できる。								○														
					②	腎・尿路系の位置・形態と血管分布・神経支配を説明できる。								○			○	○										
					③	腎の機能の全体像やネフロン各部の構造と機能を概説できる。								○														
					④	腎糸球体における濾過の機序を説明できる。								○														
					⑤	尿細管各部における再吸収・分泌機構と尿の濃縮機序を説明できる。								○														
					⑥	水電解質、酸・塩基平衡の調節機構を概説できる。								○														
					⑦	腎で産生される又は腎に作用するホルモン・血管作動性物質（エリスロポエチン、ビタミンD、レニン、アンギオテンシンⅡ、アルドステロン）の作用を説明できる。			○			○		○													
					⑧	蓄排尿の機序を説明できる。								○														
		2) 診断と検査の基本		学修目標	①	腎・尿路系の画像診断の適応と異常所見を概説できる。																						
					②	糸球体濾過量（実測、推算）を含む腎機能検査法を概説できる。																						
					③	腎生検の適応と禁忌を説明できる。																						
					④	尿流動態検査を説明できる。																						

コア・カリキュラム一覧
（平成28年度改訂版）

							医療プロフェッショナリズムの実践	臨床実習入門	LPBL	リサーチマインドの実践	地域医療の実践	生体の構造と機能								人間と社会	医学英語	病因と病態		感染と生体防御			
							A2	P2	A2	A2	A2	B2	C2				P2b		P2c	P2d	A2	A2	A2		A2			P2
													(1)	(2)	(3)	(4)	(1)	(2)					(1)	(2)	(1)	(2)	(4)	
D 人体各器官の正常構造と機能、病態、診断、治療	8 腎・尿路系（体液・電解質バランスを含む）	3) 症候	(1) 電解質異常	学修目標	①	高・低Na 血症（原因疾患、症状、治療）を概説できる。																					
					②	高・低K 血症（原因疾患、症状、治療）を概説できる。																					
					③	高・低Ca 血症（原因疾患、症状、治療）を概説できる。																					
					④	高・低P 血症、高・低Cl 血症、高・低Mg 血症を概説できる。																					
			(2) アシドーシス・アルカローシス	学修目標	①	アシドーシス・アルカローシス（代謝性・呼吸性）の定義、病態生理と診断を説明できる。									○												
					②	アシドーシス・アルカローシス（代謝性・呼吸性）の治療を概説できる。									○												
			(3) その他の症候	学修目標	①	脱水																					
					②	浮腫			○																		
					③	血尿・タンパク尿			○																		
					④	尿量・排尿の異常																					
		4) 疾患	(1) 腎不全	学修目標	①	急性腎不全（急性腎障害）の病因、症状、診断と治療を説明できる。																					
					②	慢性腎不全（慢性腎臓病(chronic kidney disease <CKD>)）の病因、症状、診断と治療を説明できる。																					
					③	慢性腎臓病<CKD>重症度分類を説明できる。																					
					④	慢性腎不全の合併症である腎性貧血、ミネラル骨代謝異常を概説できる。				○																	
					⑤	透析導入基準（慢性腎不全）を説明できる。																					
					⑥	腎不全の治療（血液透析・腹膜透析・腎移植）を説明できる。				○																	
			(2) 原発性糸球体疾患	学修目標	①	急性糸球体腎炎症候群の病因、症状、診断と治療を説明できる。																					
					②	慢性糸球体腎炎症候群（IgA 腎症を含む）の症状、診断と治療を説明できる。																					
					③	ネフローゼ症候群の分類、症状、診断と治療を説明できる。																					
					④	急速進行性糸球体腎炎を概説できる。																					
					⑤	臨床症候分類（急性腎炎症候群、慢性腎炎症候群、ネフローゼ症候群、急速進行性腎炎症候群、反復性または持続性血尿症候群）を概説できる。																					
			(3) 高血圧および腎血管障害	学修目標	①	高血圧による腎障害（腎硬化症）を概説できる。																					
					②	腎血管性高血圧症を概説できる。									○												
			(4) 尿細管機能異常	学修目標	①	尿細管性アシドーシスの分類、病態生理、診断と治療を説明できる。																					
					②	Fanconi 症候群（腎性糖尿を含む）の概念、症状と診断を説明できる。																					
			(5) 尿細管・間質性疾患	学修目標	①	急性・慢性腎盂腎炎の病因、症状、診断と治療を説明できる。																					
					②	急性・慢性尿細管間質性腎炎の病因、症状、診断と治療を説明できる。																					
			(6) 全身性疾患による腎障害	学修目標	①	糖尿病腎症の症状、診断と治療を説明できる。			○																		
					②	ループス腎炎の症状、診断と治療を説明できる。																					
					③	アミロイド腎症の症状、診断と治療を説明できる。																					
					④	膠原病関連疾患（血管炎症候群、抗糸球体基底膜(glomerular basement membrane <GBM>)病(Goodpasture 症候群)）の腎病変を説明できる。																					
					⑤	IgA 血管炎（紫斑病性腎炎）を概説できる。																					
			(7) 先天異常と外傷	学修目標	①	腎尿路の主な先天異常（多発性嚢胞腎、膀胱尿管逆流）を概説できる。																					
					②	腎外傷の症状、診断と治療を説明できる。																					
			(8) 尿路疾患	学修目標	①	尿路結石の病因、症状、診断と治療を説明できる。																					
					②	尿路の炎症（膀胱炎・前立腺炎・尿道炎）の病因、診断と治療を説明できる。																					
					③	神経因性膀胱を概説できる。																					
			(9) 腫瘍性疾患	学修目標	①	腎癌の症状、病理所見、診断、治療を説明できる。																					
					②	膀胱癌を含む尿路上皮癌の症状、診断、治療を説明できる。																					
	9 生殖機能			ねらい		生殖系の構造と機能を理解し、生殖器に問題を有する患者の診断と治療に関する知識を学ぶ。																					
		1) 構造と機能		学修目標	①	生殖腺の発生と性分化の過程を説明できる。										○											
					②	男性生殖器の発育の過程を説明できる。																					
					③	男性生殖器の形態と機能を説明できる。											○	○									
					④	精巣の組織構造と精子形成の過程を説明できる。							○		○												
					⑤	陰茎の組織構造と勃起・射精の機序を説明できる。																					
					⑥	女性生殖器の発育の過程を説明できる。							○														
					⑦	女性生殖器の形態と機能を説明できる。							○				○	○									
					⑧	性周期発現と排卵の機序を説明できる。						○	○		○												
					⑨	閉経の過程と疾病リスクの変化を説明できる。																					
		2) 診断と検査の基本	(1) 男性生殖器	学修目標	①	精巣と前立腺の検査法（尿路造影、超音波検査、コンピュータ断層撮影<CT>、磁気共鳴画像法<MRI>）の適応と異常所見を説明し、結果を解釈できる。																					
			(2) 女性生殖器	学修目標	①	血中ホルモン（卵胞刺激ホルモン(follicle-stimulating hormone <FSH>)、黄体形成ホルモン(luteinizinghormone <LH>)、プロラクチン、ヒト絨毛性ゴナドトロピン(human chorionic gonadotropin <hCG>)、エストロゲン、プロゲステロン）測定値を評価できる。																					
					②	骨盤内臓器と腫瘍の画像診断（超音波検査、コンピュータ断層撮影<CT>、磁気共鳴画像法<MRI>、子宮卵管造影(hysterosalpingography <HSG>)）所見を概説できる。																					
					③	基礎体温の所見を説明できる。																					
					④	腟分泌物の所見を説明できる。																					
		3) 症候	(1) 男性生殖器の主要症候	学修目標	①	勃起不全と射精障害を概説できる。																					
					②	精巣機能障害を概説できる。																					
			(2) 男性生殖器のその他の症候	学修目標	①	腹痛																					
					②	腹部膨隆（腹水を含む）・膨満・腫瘤																					
					③	血尿・タンパク尿																					

コア・カリキュラム一覧
（平成28年度改訂版）

							医療プロフェッショナリズムの実践	臨床実習入門	LPBL	リサーチマインドの実践	地域医療の実践	生体の構造と機能									人間と社会	医学英語	病因と病態		感染と生体防御			
							A2	P2	A2	A2	A2	B2	C2				P2b		P2c	P2d	A2	A2	A2		A2			P2
													(1)	(2)	(3)	(4)	(1)	(2)					(1)	(2)	(1)	(2)	(4)	
D 人体各器官の正常構造と機能、病態、診断、治療	9 生殖機能	3) 症候	(2) 男性生殖器のその他の症候	学修目標	④	尿量・排尿の異常																						
			(3) 女性生殖器の主要症候	学修目標	①	不正性器出血、腟分泌物（帯下）の増量、腟乾燥感、性交痛、乳汁漏出症をきたす疾患を列挙し、その病態を説明できる。																						
			(4) 女性生殖器のその他の症候	学修目標	①	貧血																						
					②	腹痛																						
					③	腹部膨隆（腹水を含む）・膨満・腫瘤																						
					④	尿量・排尿の異常																						
					⑤	月経異常・無月経																						
		4) 疾患	(1) 男性生殖器疾患	学修目標	①	男性不妊症を概説できる。																						
					②	前立腺肥大症の診断と治療を説明できる。							○															
					③	停留精巣、陰嚢内腫瘤を概説できる。																						
			(2) 女性生殖器疾患	学修目標	①	内外生殖器の先天異常を説明できる。																						
					②	卵巣機能障害、更年期障害を概説できる。																						
					③	不妊症の系統診断と治療を説明できる。			○																			
					④	子宮筋腫・子宮腺筋症の症候、診断と治療を概説できる。																						
					⑤	子宮内膜症の症候、診断と治療を説明できる。																						
					⑥	外陰、腟と骨盤内感染症の症候、診断と治療を説明できる。																						
			(3) 腫瘍性疾患	学修目標	①	前立腺癌の症候、病理所見、診断、治療を説明できる。																						
					②	精巣腫瘍の症候、診断、治療を説明できる。																						
					③	子宮頸癌・子宮体癌（子宮内膜癌）の予防、症候、病理所見、診断、治療を説明できる。																					
					④	卵巣腫瘍（卵巣癌、卵巣嚢腫）の症候、病理所見、診断、治療を説明できる。																					
					⑤	絨毛性疾患（胞状奇胎、絨毛癌）の症候、診断、治療を説明できる。																						
	10 妊娠と分娩			ねらい		妊娠、分娩と産褥期の管理に必要な基礎知識とともに、母子保健、生殖医療のあり方を学ぶ。																						
		1) 診断と検査の基本		学修目標	①	妊娠の診断法を説明できる。																						
					②	妊娠に伴う身体的変化を概説できる。																						
					③	胎児・胎盤検査法（超音波検査、分娩監視装置による）の意義を説明できる。																						
					④	羊水検査法の意義と異常所見を説明できる																						
		2) 症候		学修目標	①	腹痛																						
					②	悪心・嘔吐																						
					③	腹部膨隆（腹水を含む）・膨満・腫瘤																						
		3)正常妊娠・分娩・産褥		学修目標	①	妊娠・分娩・産褥での母体の解剖学的と生理学的変化を説明できる。																						
					②	胎児・胎盤系の発達過程での機能・形態的変化を説明できる。									○													
					③	正常妊娠の経過を説明できる。																						
					④	正常分娩の経過を説明できる。																						
					⑤	産褥の過程を説明できる。																						
					⑥	育児に伴う母体の構造的・生理的な変化、身体精神問題について説明できる。																						
					⑦	母子保健の意義を医学的に説明できる。																						
					⑧	妊娠時の薬物療法の注意点を説明できる。																						
		4) 疾患		学修目標	①	主な異常妊娠（流産、切迫流産、子宮外妊娠（異所性妊娠）、妊娠高血圧症候群、多胎妊娠、胎児発育不全）の病態を説明できる。																						
					②	主な異常分娩（早産、微弱陣痛、遷延分娩、回旋異常、前置胎盤、癒着胎盤、常位胎盤早期剥離、弛緩出血、分娩外傷）の病態を説明できる。																						
					③	主な異常産褥（子宮復古不全、産褥熱、乳腺炎）の病態を説明できる。																						
					④	産科救急（産科出血、播種性血管内凝固〈DIC〉）の病態と治療を説明できる。																						
					⑤	主な合併症妊娠（耐糖能異常、甲状腺疾患、血液型不適合妊娠、toxoplasmosis, other agents, rubella, cytomegalovirus, herpes simplex 〈TORCH〉症候群）の病態を説明できる。																						
		5) 産科手術		学修目標	①	人工妊娠中絶の適応を説明できる。																						
					②	帝王切開術の適応を説明できる。																						
	11 乳房			ねらい		乳房の構造と内分泌依存性の機能を理解し、主な乳房疾患の症候、診断と治療を学ぶ。																						
		1) 構造と機能		学修目標	①	乳房の構造と機能を説明できる。											○	○										
					②	成長発達に伴う乳房の変化を説明できる。																						
					③	乳汁分泌に関するホルモンの作用を説明できる。																						
		2) 診断と検査の基本		学修目標	①	乳房腫瘤の画像診断（乳房撮影、超音波検査、核磁気共鳴画像法〈MRI〉）を概説できる。																						
					②	乳房腫瘤に対する細胞・組織診断法を概説できる。																						
		3) 症候		学修目標	①	乳房腫瘤、異常乳汁分泌（血性乳頭分泌）と乳房の腫脹・疼痛・変形をきたす主な病因を列挙できる。																						
		4) 疾患	(1) 良性乳腺疾患	学修目標	①	良性乳腺疾患の種類を列挙できる。																						
					②	女性化乳房を概説できる。																						
			(2) 腫瘍性疾患	学修目標	①	乳癌の危険因子、症候、病理所見、診断、治療と予後を説明できる。																						
	12 内分泌・栄養・代謝系			ねらい		内分泌・代謝系の構成と機能を理解し、主な内分泌・代謝疾患の病因、病態生理、症候、診断と治療を学ぶ。																						
		1) 構造と機能		学修目標	①	ホルモンを構造から分類し作用機序と分泌調節機能を説明できる。							○	○														
					②	各内分泌器官の位置を図示し、そこから分泌されるホルモンを列挙できる。			○				○	○			○	○										
					③	視床下部ホルモン・下垂体ホルモンの名称、作用と相互関係を説明できる。			○				○	○														
					④	甲状腺と副甲状腺（上皮小体）から分泌されるホルモンの作用と分泌調節機構を説明できる。							○	○														

コア・カリキュラム一覧
（平成28年度改訂版）

							医療プロフェッショナリズムの実践	臨床実習入門	LPBL	リサーチマインドの実践	地域医療の実践	生体の構造と機能									人間と社会	医学英語	病因と病態		感染と生体防御			
							A2	P2	A2	A2	A2	B2	C2				P2b		P2c	P2d	A2	A2	A2		A2			P2
													(1)	(2)	(3)	(4)	(1)	(2)					(1)	(2)	(1)	(2)	(4)	
D 人体各器官の正常構造と機能、病態、診断、治療	12 内分泌・栄養・代謝系	1) 構造と機能		学修目標	⑤	副腎の構造と分泌されるホルモンの作用と分泌調節機構を説明できる。							○	○			○	○										
					⑥	膵島から分泌されるホルモンの作用を説明できる。						○	○	○														
					⑦	男性ホルモン・女性ホルモンの合成・代謝経路と作用を説明できる。							○	○														
					⑧	三大栄養素、ビタミン、微量元素の消化吸収と栄養素の生物学的利用効率(bioavailability)を説明できる。						○																
					⑨	糖質・タンパク質・脂質の代謝経路と相互作用を説明できる。						○		○														
		2) 診断と検査の基本		学修目標	①	ホルモンの過剰または欠乏がもたらす身体症状を説明できる。								○														
					②	血中ホルモン濃度に影響を与える因子を列挙できる。								○														
					③	ホルモンの日内変動の例を挙げて説明できる。								○														
					④	ホルモン分泌刺激試験と抑制試験の原理と反応の型を説明できる。																						
					⑤	エネルギー摂取の過剰または欠乏がもたらす身体症状を説明できる。																						
		3) 症候	(1) 低身長	学修目標	①	低身長をきたす疾患を列挙し、その病態生理を説明できる。																						
			(2) 甲状腺腫	学修目標	①	甲状腺腫を分類し、疾患を列挙できる。																						
					②	甲状腺の触診ができる。											○	○										
			(3) その他の症候	学修目標	①	肥満・やせ						○																
					②	月経異常																						
		4) 疾患	(1) 視床下部・下垂体疾患	学修目標	①	Cushing 病の病態と診断を説明できる。																						
					②	先端巨大症を概説できる。																						
					③	汎下垂体機能低下症を概説できる。			○																			
					④	尿崩症を概説できる。																						
					⑤	成長ホルモン分泌不全性低身長症を概説できる。																						
					⑥	高プロラクチン血症を概説できる。																						
					⑦	抗利尿ホルモン不適合分泌症候群(syndrome of inappropriate secretion of antidiuretic hormone <SIADH>)を概説できる。																						
			(2) 甲状腺疾患	学修目標	①	Basedow 病の病態、症候、診断と治療を説明できる。																						
					②	甲状腺炎（慢性・亜急性）を概説できる。																						
					③	甲状腺機能低下症の症候、診断と治療を説明できる。																						
			(3) 副甲状腺疾患とカルシウム代謝異常	学修目標	①	カルシウム代謝の異常を疾患と関連づけて説明できる。																						
					②	副甲状腺機能亢進症と副甲状腺機能低下症の病因、病態、症候と診断を説明できる。																						
					③	悪性腫瘍に伴う高Ca 血症を概説できる。																						
					④	偽性副甲状腺機能低下症を概説できる。																						
			(4) 副腎皮質・髄質疾患	学修目標	①	Cushing 症候群の病態、症候と診断を説明できる。							○															
					②	アルドステロン過剰症、原発性アルドステロン症を概説できる。																						
					③	副腎不全（急性・慢性(Addison 病)）の病因、病態生理、症候、診断と治療を説明できる。																						
					④	先天性副腎（皮質）過形成を概説できる。																						
			(5) 糖代謝異常	学修目標	①	糖尿病の病因、病態生理、分類、症候と診断を説明できる。						○																
					②	糖尿病の急性合併症を説明できる。																						
					③	糖尿病の慢性合併症を列挙し、概説できる。																						
					④	糖尿病の治療（食事療法、運動療法、薬物治療）を概説できる。							○															
					⑤	低血糖症を概説できる。																						
			(6) 脂質代謝異常	学修目標	①	脂質異常症(高脂血症)の分類、病因と病態を説明できる。						○	○															
					②	脂質異常症(高脂血症)の予防と治療を説明できる。							○															
			(7) タンパク質及び核酸代謝異常	学修目標	①	血清タンパク質の異常を概説できる。						○																
					②	高尿酸血症・痛風の病因と病態を説明できる。						○	○															
			(8) ビタミン・微量元素の欠乏と過剰	学修目標	①	ビタミン・微量元素の欠乏症と過剰症を概説できる。																						
			(9) 先天性代謝異常	学修目標	①	ヘモクロマトーシスを概説できる。							○															
					②	ポルフィリアを概説できる。																						
					③	Wilson 病を概説できる。																						
			(10) 腫瘍性疾患	学修目標	①	甲状腺腫瘍を分類し、症候、病理所見、治療法を説明できる。																						
					②	褐色細胞腫の病態、症候、画像所見、病理所見、診断、治療法を説明できる。																						
					③	神経芽腫を概説し、小児腹部腎形腫瘍（腎芽腫、胚芽腫、奇形腫）との鑑別点を説明できる。																						
	13 眼・視覚系			ねらい		眼・視覚系疾患の構造と機能を理解し、眼・視覚系疾患の症候、病態、診断と治療を理解する。																						
		1) 構造と機能		学修目標	①	眼球と付属器の構造と機能を説明できる。											○	○										
					②	視覚情報の受容のしくみと伝導路を説明できる。								○			○	○										
					③	眼球運動のしくみを説明できる。								○			○	○										
					④	対光反射、輻輳反射、角膜反射の機能について説明できる。								○			○	○										
		2) 診断と検査の基本		学修目標	①	基本的眼科検査（視力検査、視野検査、細隙灯顕微鏡検査、眼圧検査、眼底検査）を列挙し、それらの原理と適応を述べ、主要所見を解釈できる。																						
		3) 症候	(1) 眼・視覚系に関する主要症候	学修目標	①	眼・視覚系に関する主要症候（視力障害、視野異常、色覚異常、眼球運動障害、眼脂・眼の充血、飛蚊症、眼痛）を列挙し、それらの発生機序、原因疾患と治療を説明できる。																						
			(2) その他の症候	学修目標	①	めまい																						
					②	頭痛・頭重感																						
					③	悪心・嘔吐																						

コア・カリキュラム一覧
（平成28年度改訂版）

							医療プロフェッショナリズムの実践	臨床実習入門	LPBL	リサーチマインドの実践	地域医療の実践	生体の構造と機能									人間と社会	医学英語	病因と病態		感染と生体防御			
							A2	P2	A2	A2	A2	B2	C2				P2b		P2c	P2d	A2	A2	A2		A2			P2
													(1)	(2)	(3)	(4)	(1)	(2)					(1)	(2)	(1)	(2)	(4)	
D 人体各器官の正常構造と機能、病態、診断、治療	13 眼・視覚系	4) 疾患	(1) 眼・視覚系の良性疾患	学修目標	①	屈折異常（近視、遠視、乱視）と調節障害の病態生理を説明できる。																						
					②	感染性角結膜疾患の症候、診断と治療を説明できる。																						
					③	白内障の病因、症候、診断と治療を説明できる。																						
					④	緑内障の病因を列挙し、それらの発症機序、症候と治療を説明できる。																						
					⑤	裂孔原性網膜剥離の症候、診断と治療を説明できる。																						
					⑥	糖尿病、高血圧・動脈硬化による眼底変化を説明できる。																						
					⑦	ぶどう膜炎の病因、症候、診断と治療を説明できる。																						
					⑧	視神経炎（症）・うっ血乳頭の病因、症候と診断を説明できる。																						
					⑨	アルカリ、酸による化学損傷の症候と救急処置を説明できる。																						
					⑩	網膜静脈閉塞症と動脈閉塞症の症候、診断と治療を説明できる。																						
			(2) 腫瘍性疾患	学修目標	①	網膜芽細胞腫の症候、診断と治療を説明できる。																						
	14 耳鼻・咽喉・口腔系			ねらい		耳鼻・咽喉・口腔の構造と機能を理解し、耳鼻・咽喉・口腔系疾患の症候、病態、診断と治療を理解する。																						
		1) 構造と機能		学修目標	①	外耳・中耳・内耳の構造を図示できる。								○				○										
					②	聴覚・平衡覚の受容のしくみと伝導路を説明できる。								○														
					③	口腔・鼻腔・咽頭・喉頭の構造を図示できる。											○	○										
					④	喉頭の機能と神経支配を説明できる。											○	○										
					⑤	平衡感覚機構を眼球運動、姿勢制御と関連させて説明できる。								○				○										
					⑥	味覚と嗅覚の受容のしくみと伝導路を説明できる。								○				○										
		2) 診断と検査の基本		学修目標	①	聴力検査と平衡機能検査を説明できる。																						
					②	味覚検査と嗅覚検査を説明できる。																						
		3) 症候	(1) 耳鼻・咽喉・口腔系に関する主要症候	学修目標	①	気道狭窄、難聴、鼻出血、咽頭痛、開口障害と反回神経麻痺（嗄声）をきたす疾患を列挙し、その病態を説明できる。																						
			(2) その他の症候	学修目標	①	めまい																						
					②	嚥下障害・誤嚥																						
		4) 疾患	(1) 耳鼻・咽喉・口腔系の良性疾患	学修目標	①	滲出性中耳炎、急性中耳炎と慢性中耳炎の病因、診断と治療を説明できる。																						
					②	伝音難聴と感音難聴、迷路性と中枢性難聴を病態から鑑別し、治療を説明できる。																						
					③	末梢性めまいと中枢性めまいを鑑別し、治療を説明できる。																						
					④	良性発作性頭位眩暈症の症候、診断と治療を説明できる。																						
					⑤	鼻出血の好発部位と止血法を説明できる。																						
					⑥	副鼻腔炎（急性、慢性）の病態と治療を説明できる。																						
					⑦	アレルギー性鼻炎の発症機構を説明できる																						
					⑧	扁桃の炎症性疾患の病態と治療を説明できる。																						
					⑨	歯科疾患（う蝕、歯周病等）とその全身への影響や口腔機能管理を概説できる。																						
					⑩	気管切開の適応を説明できる。																						
					⑪	外耳道・鼻腔・咽頭・喉頭・食道の代表的な異物を説明し、除去法を説明できる。																						
					⑫	唾液腺疾患を列挙できる。																						
			(2) 腫瘍性疾患	学修目標	①	口腔・咽頭癌について、病因、病期分類、検査所見、画像所見、病理所見、治療法を説明できる。																						
					②	喉頭癌について、病因、病期分類、検査所見、画像所見、病理所見、治療法を説明できる。																						
	15 精神系			ねらい		精神と行動の障害に対して、児童・思春期から老年期のライフステージに応じた病態生理、診断、治療を理解し、良好な患者と医師の信頼関係に基づいた全人的医療を学ぶ。																						
		1) 診断と検査の基本		学修目標	①	患者・医師の良好な信頼関係に基づく精神科面接の基本を説明できる。																						
					②	精神科診断分類法を説明できる。																						
					③	精神科医療の法と倫理に関する必須項目（精神保健及び精神障害者福祉に関する法律、心神喪失者等医療観察法、インフォームド・コンセント）を説明できる。																						
					④	コンサルテーション・リエゾン精神医学を説明できる。																						
					⑤	心理学的検査法（質問紙法、Rorschach テスト、簡易精神症状評価尺度(Brief Psychiatric Rating Scale <BPRS>)、Hamilton うつ病評価尺度、Beck のうつ病自己評価尺度、状態特性不安検査(State-Trait Anxiety Inventory<STAI>)、Mini-Mental State Examination <MMSE>、改訂長谷川式簡易知能評価スケール等）の種類と概要を説明できる。																						
		2) 症候		学修目標	①	不安・躁うつをきたす精神障害を列挙し、その鑑別診断を説明できる。																						
					②	意識障害、不眠、幻覚・妄想をきたす精神障害を列挙し、その鑑別診断を説明できる。																						
					③	ストレスなどの心理社会的要因が症候（息苦しさ、心窩部痛、腹痛、頭痛、疲労、痺み、慢性疼痛等）に密接に関与している代表的な疾患を列挙し、その鑑別診断を説明できる。																						
		3) 疾患・障害		学修目標	①	症状精神病の概念と診断を概説できる。																						
					②	認知症の診断と治療を説明できる。																						
					③	薬物使用に関連する精神障害やアルコール、ギャンブル等への依存症の病態と症候を説明できる。																						
					④	統合失調症の症候と診断、救急治療を説明できる。																						
					⑤	うつ病の症候と診断を説明できる。																						
					⑥	双極性障害(躁うつ病)の症候と診断を説明できる。																						
					⑦	不安障害群と心的外傷及びストレス因関連障害群の症候と診断を説明できる。																						
					⑧	身体症状症及び関連症群、食行動障害及び摂食障害群の症候と診断を説明できる。																						
					⑨	解離性障害群の症候、診断と治療を説明できる。																						
					⑩	パーソナリティ障害群を概説できる。																						
					⑪	知的能力障害群と自閉症スペクトラム障害(autism spectrum disorder <ASD>)を概説できる。																						
					⑫	注意欠如・多動障害(attention deficit / hyperactivity disorder <ADHD>)と運動障害群を概説できる。																						

コア・カリキュラム一覧
（平成28年度改訂版）

							医療プロフェッショナリズムの実践	臨床実習入門	LPBL	リサーチマインドの実践	地域医療の実践	生体の構造と機能									人間と社会	医学英語	病因と病態		感染と生体防御			
							A2	P2	A2	A2	A2	B2	C2				P2b		P2c	P2d	A2	A2	A2		A2			P2
													(1)	(2)	(3)	(4)	(1)	(2)					(1)	(2)	(1)	(2)	(4)	
E 全身におよぶ生理的変化、病態、診断、治療	1 遺伝医療・ゲノム医療	1) 遺伝医療・ゲノム医療と情報の特性		ねらい		遺伝情報・ゲノム情報の特性を理解し、遺伝情報・ゲノム情報に基づいた診断と治療、未発症者を含む患者・家族の支援を学ぶ。																						
				学修目標	①	集団遺伝学の基礎としてHardy–Weinberg の法則を概説できる。																		○				
					②	家系図を作成、評価（Bayes の定理、リスク評価）できる。																		○				
					③	生殖細胞系列変異と体細胞変異の違いを説明でき、遺伝学的検査の目的と意義を概説できる。																		○				
					④	遺伝情報の特性（不変性、予見性、共有性）を説明できる。																		○				
					⑤	遺伝カウンセリングの意義と方法を説明できる。																		○				
					⑥	遺伝医療における倫理的・法的・社会的配慮を説明できる。																		○				
					⑦	遺伝医学関連情報にアクセスすることができる。																		○				
					⑧	遺伝情報に基づく治療や予防をはじめとする適切な対処法を概説できる。																		○				
	2 感染症			ねらい		主要な感染症の疫学、病態生理、症候、診断と治療を学ぶ。診断と治療に必要な病原微生物、感染臓器と治療薬の関係性を理解する。																						
		1) 病態		学修目標	①	敗血症の症候と診断と治療を説明できる。																						
					②	市中感染症と院内(病院)感染症を説明できる。																			○			
					③	医療器具関連感染症（血管留置カテーテル、尿道カテーテル、人工呼吸器）、術後感染症、手術部位感染症、を説明できる。																			○			
					④	薬剤耐性(antimicrobial resistance <AMR>)、菌交代現象・菌交代症、薬剤耐性菌(Methicillin–resistantStaphylococcus aureus <MRSA>、バンコマイシン耐性腸球菌(vancomycin–resistant Enterococci <VRE>)、基質特異性拡張型β ラクタマーゼ(extended spectrum beta–lactamase <ESBL>)産生Gram 陰性桿菌、多剤耐性アシネトバクター属菌、カルバペネム耐性腸内細菌科細菌等）を概説できる。																			○			
					⑤	コロナイゼーションと感染症発症の違いを説明できる。																						
					⑥	コンプロマイズドホストと日和見感染症を説明できる。																						
					⑦	新興・再興感染症（中東呼吸器症候群(Middle East respiratory syndrome <MERS>)、ジカ熱、劇症型A 群レンサ球菌感染症等）、人獣共通感染症、バイオテロに関連する感染症を列挙できる。																			○	○		
		2) 診断・検査・治療の基本		学修目標	①	各病原微生物、各感染臓器の診断の手がかりとなる病歴と身体所見について説明できる。																						
					②	ウイルス感染症診断における抗原検査、核酸増幅検査、血清抗体検査について説明できる。																				○		○
					③	細菌感染症診断における直接塗抹、Gram 染色、培養検査、抗原検査、核酸増幅検査、毒素検出検査、血清抗体検査を説明できる。																			○			○
					④	真菌感染症診断における直接塗抹、培養検査、抗原検査、核酸増幅検査を説明できる。																						
					⑤	病原微生物及び感染臓器ごとの適切な抗微生物薬を説明できる。																			○			
					⑥	抗菌薬適正使用(antimicrobial stewardship <AMS>)を説明できる。																						
					⑦	予防接種について、適応と意義、種類とそれぞれの投与方法を説明できる。																						
					⑧	感染症法を概説できる。																			○			
		3) 症候		学修目標	①	ショック																						
					②	発熱			○																			
					③	けいれん			○																			
					④	意識障害・失神																						
					⑤	脱水																						
					⑥	全身倦怠感																						
					⑦	黄疸																						
					⑧	発疹																						
					⑨	リンパ節腫脹																						
					⑩	浮腫																						
					⑪	胸水																						
					⑫	胸痛・胸部圧迫感																						
					⑬	呼吸困難・息切れ																						
					⑭	咳・痰																						
					⑮	血痰・喀血																						
					⑯	頭痛・頭重感																						
					⑰	腹痛																						
					⑱	悪心、嘔吐																						
					⑲	便秘・下痢・血便																						
					⑳	吐血・下血																						
					㉑	血尿・タンパク尿																						
					㉒	関節痛、関節腫脹																						
					㉓	腰背部痛																						
		4) 疾患	(1) ウイルス感染症・プリオン病	学修目標	①	インフルエンザの症候と診断と治療を説明できる。																				○		
					②	麻疹の症候と診断と合併症および予防法を説明できる。																				○		
					③	風疹の症候と診断と合併症および予防法を説明できる。																				○		
					④	水痘・帯状疱疹の症候と診断と治療および予防法を説明できる。																				○		
					⑤	流行性耳下腺炎(ムンプス)の症候と診断と合併症および予防法を説明できる。																				○		
					⑥	ヒト免疫不全ウイルス<HIV>感染症の症候と診断と治療および感染対策を説明できる。																				○		
					⑦	単純ヘルペスウイルス感染症、伝染性紅斑、手足口病、突発性発疹、咽頭結膜熱、伝染性単核(球)症を説明できる。																				○		
					⑧	サイトメガロウイルス<CMV>感染症を説明できる。																				○		
					⑨	ヒトT 細胞白血病ウイルス(human T–cell leukemia virus type 1 <HTLV–Ⅰ>)感染症を説明できる。																				○		
					⑩	プリオン病を説明できる。																				○		

コア・カリキュラム一覧（平成28年度改訂版）							医療プロフェッショナリズムの実践	臨床実習入門	LPBL	リサーチマインドの実践	地域医療の実践	生体の構造と機能									人間と社会	医学英語	病因と病態		感染と生体防御			
							A2	P2	A2	A2	A2	B2	C2				P2b		P2c	P2d	A2	A2	A2		A2			P2
													(1)	(2)	(3)	(4)	(1)	(2)					(1)	(2)	(1)	(2)	(4)	
E 全身におよぶ生理的変化、病態、診断、治療	2 感染症	4) 疾患	(2) 細菌感染症	学修目標	①	黄色ブドウ球菌感染症の症候と診断と治療を説明できる。																						
					②	A 群β溶血性レンサ球菌感染症の症候と診断と治療を説明できる。																						
					③	肺炎球菌感染症の症候と診断と治療と予防法を説明できる。																						
					④	インフルエンザ(桿)菌感染症とMoraxella catarrhalis 感染症を説明できる。																						
					⑤	緑膿菌感染症の症候と診断と治療を説明できる。																						
					⑥	大腸菌感染症の症候と診断と治療を説明できる。																						
					⑦	Clostridium difficile 感染症の症候と診断と治療を説明できる。																						
					⑧	結核症、非結核性(非定型)抗酸菌症の症候と診断と治療及び予防法を説明できる。																						
					⑨	マイコプラズマ感染症を説明できる。																			○			
					⑩	クラミジア感染症を説明できる。																			○			
					⑪	レジオネラ感染症を説明できる。																			○			
					⑫	リケッチア感染症を説明できる。																			○			
					⑬	カンピロバクター、サルモネラ、リステリア感染症を説明できる。																			○			
			(3) 真菌感染症と寄生虫症	学修目標	①	カンジダ症、クリプトコッカス症、アスペルギルス症の症候と診断と治療を説明できる。																			○			
					②	ニューモシスチス肺炎の症候と診断と治療を説明できる。																			○			
					③	主な寄生虫感染症(回虫症、アニサキス症、吸虫症)を説明できる。																						
					④	主な原虫感染症(マラリア、トキソプラズマ症、アメーバ赤病)を説明できる。																						
			(4) 性感染症	学修目標	①	性感染症の原因微生物を説明できる。																			○			
					②	梅毒の症候と診断と治療について説明できる。																						
					③	淋菌性感染症の診断と治療について説明できる。																						
					④	性器クラミジア、性器ヘルペス、尖圭コンジローマの診断と治療を説明できる。																						
			(5) 院内感染	学修目標	①	標準予防策(standard precautions)、感染経路別予防策(飛沫感染予防策、接触感染予防策や空気感染予防策等)が必要となる病原微生物を説明できる。																			○			
					②	患者から医療従事者への病原微生物曝露を防ぐための個人防護具、予防接種等について概説できる。																			○			
					③	医療従事者の体液曝露後の感染予防策について概説できる。																			○			
	3 腫瘍			ねらい		腫瘍の病態、診断と治療を学ぶ。																						
		1) 定義・病態		学修目標	①	腫瘍の定義と病態を説明できる。																						
					②	腫瘍の症候を説明できる。																						
					③	腫瘍のグレード、ステージを概説できる。																						
		2) 診断		学修目標	①	腫瘍の検査所見を説明できる。																						
					②	腫瘍の画像所見や診断を説明できる。																						
					③	腫瘍の病理所見や診断を説明できる。																						
		3) 治療		学修目標	①	腫瘍の集学的治療を概説できる。																						
					②	腫瘍の手術療法を概説できる。																						
					③	腫瘍の放射線療法を概説できる。																						
					④	腫瘍の薬物療法(殺細胞性抗癌薬、分子標的薬、免疫チェックポイント阻害薬)を概説できる。																	○					
					⑤	腫瘍の生物学的療法を概説できる。																						
					⑥	腫瘍における支持療法を概説できる。																						
					⑦	腫瘍における緩和ケアを概説できる。																						
		4) 診療の基本的事項		学修目標	①	腫瘍の診療におけるチーム医療を概説できる。																						
					②	腫瘍の診療における生命倫理(バイオエシックス)を概説できる。																						
					③	腫瘍性疾患をもつ患者の置かれている状況を深く認識できる。																						
		5) 各論		学修目標	①	血液・造血器・リンパ系：急性白血病、慢性骨髄性白血病、骨髄異形成症候群(MDS)、成人T 細胞白血病、真正赤血球増加症、本態性血小板血症、骨髄線維症、悪性リンパ腫、多発性骨髄腫																						
					②	神経系：脳・脊髄腫瘍、転移性脳腫瘍																						
					③	皮膚系：皮膚良性腫瘍、皮膚悪性リンパ腫、血管肉腫、基底細胞上皮腫(癌)、扁平上皮癌、悪性黒色腫																						
					④	運動器(筋骨格系)：転移性骨髄腫瘍、骨肉腫																						
					⑤	循環器系：粘液腫																						
					⑥	呼吸器系：肺癌、転移性肺腫瘍、縦隔腫瘍、胸膜中皮腫																						
					⑦	消化器系：食道癌、胃癌、大腸ポリープ、大腸癌、胆嚢・胆管癌、原発性肝癌、膵内分泌腫瘍、嚢胞性膵腫瘍、膵癌																						
					⑧	腎・尿路系：腎癌、膀胱癌を含む尿路上皮癌																						
					⑨	生殖機能：前立腺癌、精巣腫瘍、子宮頸癌、子宮体癌(子宮内膜癌)、卵巣腫瘍(卵巣癌、卵巣嚢腫)、絨毛性疾患(胞状奇胎、絨毛癌)																						
					⑩	乳房：原発性乳癌																						
					⑪	内分泌・栄養・代謝系：甲状腺腫瘍(腺腫様甲状腺腫、甲状腺癌)、褐色細胞腫																						
					⑫	眼・視覚系：網膜芽細胞腫																						
					⑬	耳鼻・咽喉・口腔系：舌癌、咽頭癌、喉頭癌																						
					⑭	小児腫瘍：神経芽腫																						
	4 免疫・アレルギー			ねらい		自己免疫疾患・アレルギー性疾患・免疫不全疾患の病態生理を理解し、症候、診断と治療を学ぶ。																						
		1) 診断と検査の基本		学修目標	①	自己抗体の種類と臨床的意義を説明できる。																						
		2) 症候		学修目標	①	ショック																						
					②	発熱																						

コア・カリキュラム一覧
（平成28年度改訂版）

							医療プロフェッショナリズムの実践	臨床実習入門	LPBL	リサーチマインドの実践	地域医療の実践	生体の構造と機能									人間と社会	医学英語	病因と病態		感染と生体防御			
							A2	P2	A2	A2	A2	B2	C2				P2b		P2c	P2d	A2	A2	A2		A2			P2
													(1)	(2)	(3)	(4)	(1)	(2)					(1)	(2)	(1)	(2)	(4)	
E 全身におよぶ生理的変化、病態、診断、治療	4 免疫・アレルギー	2) 症候		学修目標	③	全身倦怠感																						
					④	発疹																						
					⑤	貧血																						
					⑥	リンパ節腫脹																						
					⑦	浮腫																						
					⑧	呼吸困難・息切れ																						
					⑨	咳・痰																						
					⑩	血尿・タンパク尿																						
					⑪	関節痛・関節腫脹																						
		3) 病態と疾患	(1) 自己免疫疾患一般	学修目標	①	膠原病と自己免疫疾患を概説し、その種類を列挙できる。																						
					②	関節炎をきたす疾患を列挙できる。																						
					③	膠原病に特徴的な皮疹を説明し、関連する疾患を列挙できる。																						
			(2) 関節リウマチと類縁疾患	学修目標	①	関節リウマチの病態生理、症候、診断、治療とリハビリテーションを説明できる。																						
					②	関節リウマチの関節外症状を説明できる。																						
					③	成人Still 病の症候、診断と治療を説明できる。																						
					④	若年性特発性関節炎(juvenile idiopathic arthritis <JIA>)の特徴を説明できる。																						
			(3) 全身性エリテマトーデス(systemic lupus erythematosus <SLE>)、抗リン脂質抗体症候群	学修目標	①	全身性エリテマトーデス<SLE>の病態生理、症候、診断と治療を説明できる。																						
					②	全身性エリテマトーデス<SLE>の合併症（神経精神全身性エリテマトーデス、ループス腎炎）を説明できる。																						
					③	抗リン脂質抗体症候群の病態生理、症候、診断と治療を説明できる。																						
			(4) 全身性強皮症、皮膚筋炎・多発性筋炎、混合性結合織病、Sjögren 症候群	学修目標	①	全身性強皮症の病態生理、分類、症候、診断及び臓器病変（特に肺・腎）を説明できる。																						
					②	皮膚筋炎・多発性筋炎の症候、診断、治療及び合併症（間質性肺炎、悪性腫瘍）を説明できる。																						
					③	混合性結合組織病を概説できる。																						
					④	Sjögren 症候群を概説できる。																						
			(5) 全身性血管炎、Behçet 病、Kawasaki 病(急性熱性皮膚粘膜リンパ節症候群)	学修目標	①	全身性血管炎を分類/列挙し、その病態生理、症候、診断と治療を説明できる。																						
					②	Behçet 病の症候、診断と治療を説明できる。																						
					③	Kawasaki 病(急性熱性皮膚粘膜リンパ節症候群)の病態生理、症候、診断と治療を説明できる。																						
			(6) アレルギー性疾患	学修目標	①	主要な全身性アレルギー性疾患の分類と特徴を概説できる。																						
					②	アナフィラキシーの症候、診断と治療を説明できる。																						
					③	食物アレルギーの種類、診断と治療を概説できる。																						
			(7) 原発性免疫不全症	学修目標	①	原発性免疫不全症の病態、診断と治療を概説できる。																						
	5 物理・化学的因子による疾患			ねらい		中毒と環境要因によって生じる疾患の病態生理を理解し、症候、診断と治療を学ぶ。																						
		1) 診断と検査の基本		学修目標	①	中毒患者の検査と起因物質の分析を概説できる。																						
		2) 症候		学修目標	①	ショック																						
					②	発熱																						
					③	意識障害・失神																						
					④	脱水																						
					⑤	黄疸																						
					⑥	発疹																						
					⑦	貧血																						
					⑧	呼吸困難・息切れ																						
					⑨	運動麻痺・筋力低下																						
					⑩	腹痛																						
					⑪	悪心・嘔吐																						
					⑫	便秘・下痢・血便																						
					⑬	吐血・下血																						
					⑭	尿量・排尿の異常																						
		3) 疾患	(1) 中毒	学修目標	①	食中毒の病因、症候と予防法を説明できる。																						
					②	一酸化炭素中毒の発生機序、症候、診断と治療法を説明できる。																						
					③	有機リン剤、有機塩素剤と有機溶剤による中毒の機序、診断と治療を説明できる。																						
					④	重金属、青酸、ヒ素、パラコート、自然毒による中毒を概説できる。																						
					⑤	アルコール、覚醒剤・麻薬・大麻などの乱用薬物による中毒を説明できる。																						
					⑥	医薬品による中毒を説明できる。																						
			(2) 環境要因等による疾患	学修目標	①	高温による障害（熱中症）を説明できる。																						
					②	寒冷による障害を説明できる。																						
					③	振動障害と騒音障害を説明できる。																						
					④	気圧による障害の原因や対処を説明できる。																						
			(3) 熱傷	学修目標	①	熱傷面積（9 の法則）と深(達)度から熱傷の重症度を説明できる。																						
					②	熱傷の治療方針を概説できる。																						
	6 放射線の生体影響と放射線障害			ねらい		医学・医療の分野に広く応用されている放射線や電磁波等の生体への作用や応用を理解する。																						

コア・カリキュラム一覧
（平成28年度改訂版）

							医療プロフェッショナリズムの実践	臨床実習入門	LPBL	リサーチマインドの実践	地域医療の実践	生体の構造と機能								人間と社会	医学英語	病因と病態		感染と生体防御			
							A2	P2	A2	A2	A2	B2	C2				P2b		P2c	P2d	A2	A2	A2		A2			P2
													(1)	(2)	(3)	(4)	(1)	(2)					(1)	(2)	(1)	(2)	(4)	
E 全身におよぶ生理的変化、病態、診断、治療	6 放射線の生体影響と放射線障害	1) 生体と放射線		学修目標	①	放射線の種類と放射能、これらの性質・定量法・単位を説明できる。																						
					②	内部被ばくと外部被ばくについて、線量評価やその病態、症状、診断と治療を説明できる。																					
					③	放射線及び電磁波の人体（胎児を含む）への影響（急性影響と晩発影響）を説明できる。																					
					④	種々の正常組織の放射線の透過性や放射線感受性の違いを説明できる。																					
					⑤	磁気共鳴画像法（MRI）で用いられている磁場や電磁波による人体や植え込みデバイスの発熱等の現象を概説できる。																					
					⑥	放射線の遺伝子、細胞への作用と放射線による細胞死の機序、局所的・全身的影響を説明できる。																					
					⑦	放射線被ばく低減の3原則と安全管理を説明できる。																					
		2) 医療放射線と生体影響		学修目標	①	放射線診断やインターベンショナルラジオロジーの被ばく軽減の原則を知り、それを実行できる。																					
					②	放射線診断（エックス線撮影、コンピュータ断層撮影（CT）、核医学）や血管造影及びインターベンショナルラジオロジーの利益とコスト・リスク（被ばく線量、急性、晩発影響等）を知り、適応の有無を判断できる。																					
					③	放射線治療の生物学的原理と、人体への急性影響と晩発影響を説明できる。																					
					④	医療被ばくに関して、放射線防護と安全管理を説明できる。																					
					⑤	放射線診断や治療の被ばくに関して、患者にわかりやすく説明できる。																					
		3) 放射線リスクコミュニケーション		学修目標	①	患者と家族が感じる放射線特有の精神的・社会的苦痛に対して十分に配慮できる。																					
					②	患者の漠然とした不安を受け止め、不安を軽減するためにわかりやすい言葉で説明でき、対話ができる。																					
		4) 放射線災害医療		学修目標	①	内部被ばくと外部被ばくの病態、症状、線量評価、治療を説明できる。																					
					②	放射線災害・原子力災害でのメンタルヘルスを説明できる。																					
	7 成長と発達			ねらい		胎児・新生児・乳幼児・小児期から思春期にかけての生理的成長・発達とその異常の特徴および精神・社会的な問題を理解する。																					
		1) 胎児・新生児		学修目標	①	胎児の循環・呼吸の生理的特徴と出生時の変化を説明できる。																					
					②	主な先天性疾患を列挙できる。																					
					③	新生児の生理的特徴を説明できる。																					
					④	胎児機能不全(non-reassuring fetal status（NRFS）)を説明できる。																					
					⑤	新生児仮死の病態を説明できる。																					
					⑥	新生児マススクリーニングを説明できる。																					
					⑦	新生児黄疸の鑑別と治療を説明できる。																					
					⑧	新生児期の呼吸障害の病因を列挙できる。																					
					⑨	正常児・低出生体重児・病児の管理の基本を説明できる。																					
					⑩	低出生体重児固有の疾患を概説できる。																					
		2) 乳幼児		学修目標	①	乳幼児の生理機能の発達を説明できる。																					
					②	乳幼児の正常な精神運動発達を説明できる。																					
					③	乳幼児の保育法・栄養法の基本を概説できる。																					
					④	乳幼児突然死症候群(sudden infant death syndrome（SIDS）)を説明できる。																					
		3) 小児期全般		学修目標	①	小児の精神運動発達および心身相関を説明できる。																					
					②	小児の栄養上の問題点を列挙できる。																					
					③	小児免疫発達と感染症の関係を概説できる。																					
					④	小児保健における予防接種の意義と内容を説明できる。																					
					⑤	成長に関わる主な異常（小児心身症を含む）を列挙できる。																					
					⑥	児童虐待を概説できる。																					
					⑦	小児の診断法と治療法における特徴を概説できる。																					
					⑧	神経発達障害群（自閉症スペクトラム障害（ASD）、注意欠如・多動障害（ADHD）、限局性学習障害、チック障害群）を列挙できる。																					
		4) 思春期		学修目標	①	思春期発現の機序と性徴を説明できる。																					
					②	思春期と関連した精神保健上の問題を列挙できる。																					
					③	移行期医療の現状と課題を説明できる。																					
	8 加齢と老化	1) 老化と高齢者の特徴		ねらい		加齢に伴う身体的変化、精神・心理的変化、高齢者に特有な疾患・病態の診断と治療、リハビリテーション、介護、人生の最終段階における医療（エンド・オブ・ライフ・ケア）に関わる問題を学ぶ。																					
				学修目標	①	老化学説、老化制御、加齢に伴う臓器の構造的・機能的変化を説明でき、これによる予備能の低下等患者にもたらされる生理的変化を説明できる。																					
					②	高齢者総合機能評価(comprehensive geriatric assessment（CGA）)を実施できる。																					
					③	老年症候群（歩行障害・転倒、認知機能障害、排泄障害、栄養障害、摂食・嚥下障害等）の概念を説明できる。																					
					④	フレイル、サルコペニア、ロコモティブ・シンドロームの概念、その対処法、予防が説明できる。																					
					⑤	認知症、うつ、せん妄の違いを説明し、それぞれの鑑別、初期対応を実施できる。																					
					⑥	歩行障害・転倒の評価、鑑別診断を行い、原因に応じた転倒予防・リハビリテーションを説明できる。																					
					⑦	口腔機能低下、摂食・嚥下障害の評価、鑑別診断を行い、原因に応じた治療・リハビリテーション、予防を実施できる。																					
					⑧	高齢者の栄養マネジメントを説明できる。																					
					⑨	加齢に伴う薬物動態の変化、高齢者に対する薬物療法の注意点を説明でき、ポリファーマシーの是正等適切な介入が実施できる。																					
					⑩	高齢者の障害及び廃用症候群を説明でき、それらに対するリハビリテーションを説明できる。																					
					⑪	高齢者の退院支援と介護保険制度を説明できる。																					
					⑫	高齢者の人生の最終段階における医療（エンド・オブ・ライフ・ケア）を説明できる。																					
	9 人の死	1) 生物的死と社会的死		ねらい		個体の死を理解する。																					
				学修目標	①	死の概念と定義や生物学的な個体の死を説明できる。																					
					②	植物状態と脳死の違いを説明できる。																					
					③	内因死と外因死について違いと内容を説明できる。																					

2学年

コア・カリキュラム一覧（平成28年度改訂版）							医療プロフェッショナリズムの実践	臨床実習入門	LPBL	リサーチマインドの実践	地域医療の実践	生体の構造と機能									人間と社会	医学英語	病因と病態		感染と生体防御			
							A2	P2	A2	A2	A2	B2	C2				P2b		P2c	P2d	A2	A2	A2		A2			P2
													(1)	(2)	(3)	(4)	(1)	(2)					(1)	(2)	(1)	(2)	(4)	
E 全身に及ぶ生理的変化、病態、診断、治療	9 人の死	1) 生物的死と社会的死		学修目標	④	突然死の定義を説明でき、突然死を来しうる疾患（乳幼児突然死症候群<SIDS>を含む）を列挙できる。																						
					⑤	診療関連死について説明できる。																						
					⑥	死に至る身体と心の過程を説明できる。その個別性にも共感配慮できる。																						
					⑦	人生の最終段階における医療（エンド・オブ・ライフ・ケア）での患者とのコミュニケーション、頻度の高い苦痛とその対処法・ケアを説明できる。																						
					⑧	水・補液、栄養管理を含む人生の最終段階における医療（エンド・オブ・ライフ・ケア）と小児の特殊性を説明できる。																						
					⑨	人生の最終段階における医療（エンド・オブ・ライフ・ケア）での本人の意思決定、事前指示、延命治療、Do not attempt resuscitation <DNAR>、尊厳死と安楽死、治療の中止と差し控えの概念を説明できる。																						
					⑩	患者の死後の家族ケア（悲嘆のケア（グリーフケア））を説明できる。																						
F 診療の基本	1 症候・病態からのアプローチ			ねらい		主な症候・病態の原因、分類、診断と治療の概要を各分野統合して学ぶことにより、医師として必須となる診療の基本を修得する。																						
		1) 発熱		学修目標	①	発熱の原因と病態生理を説明できる。																						
					②	発熱をきたす疾患(群)を列挙し、診断の要点を説明できる。																						
					③	発熱がある患者の治療の要点を説明し、専門的治療が必要な状態を概説できる。																						
		2) 全身倦怠感		学修目標	①	全身倦怠感の原因と病態生理を説明できる。																						
					②	全身倦怠感をきたす疾患(群)を列挙し、診断の要点を説明できる。																						
					③	全身倦怠感がある患者の治療の要点を説明し、専門的治療が必要な状態を概説できる。																						
		3) 食思(欲)不振		学修目標	①	食思(欲)不振の原因と病態生理を説明できる。																						
					②	食思(欲)不振をきたす疾患(群)を列挙し、診断の要点を説明できる。																						
					③	食思(欲)不振がある患者の治療の要点を説明し、専門的治療が必要な状態を概説できる。																						
		4) 体重減少・体重増加		学修目標	①	体重減少・体重増加の原因と病態生理を説明できる。																						
					②	体重減少・体重増加をきたす疾患(群)を列挙し、診断の要点を説明できる。																						
					③	体重減少・体重増加がある患者の治療の要点を説明し、専門的治療が必要な状態を概説できる。																						
		5) ショック		学修目標	①	ショックの原因と病態生理を説明できる。																						
					②	ショックをきたす疾患(群)を列挙し、診断の要点を説明できる。																						
					③	ショック状態にある患者の治療の要点を説明し、専門的治療が必要な状態を概説できる。																						
		6) 心停止		学修目標	①	心停止の原因と病態生理を説明できる。																						
					②	心停止をきたす疾患(群)を列挙し、診断の要点を説明できる。																						
					③	心停止患者の治療の要点を説明し、専門的治療が必要な状態を概説できる。																						
		7) 意識障害・失神		学修目標	①	意識障害・失神の原因と病態生理を説明できる。																						
					②	意識障害・失神をきたす疾患(群)を列挙し、診断の要点を説明できる。																						
					③	意識障害・失神がある患者の治療の要点を説明し、専門的治療が必要な状態を概説できる。																						
		8) けいれん		学修目標	①	けいれんの原因と病態生理を説明できる。																						
					②	けいれんをきたす疾患(群)を列挙し、診断の要点を説明できる。																						
					③	けいれんがある患者の治療の要点を説明し、専門的治療が必要な状態を概説できる。																						
		9) めまい		学修目標	①	めまいの原因と病態生理を説明できる。																						
					②	めまいをきたす疾患(群)を列挙し、診断の要点を説明できる。																						
					③	めまいがある患者の治療の要点を説明し、専門的治療が必要な状態を概説できる。																						
		10) 脱水		学修目標	①	脱水の原因と病態生理を説明できる。																						
					②	脱水をきたす疾患(群)を列挙し、診断の要点を説明できる。																						
					③	脱水がある患者の治療の要点を説明し、専門的治療が必要な状態を概説できる。																						
		11) 浮腫		学修目標	①	浮腫の原因と病態生理を説明できる。																	○					
					②	浮腫をきたす疾患(群)を列挙し、診断の要点を説明できる。																						
					③	浮腫がある患者の治療の要点を説明し、専門的治療が必要な状態を概説できる。																						
		12) 発疹		学修目標	①	発疹の原因と病態生理を説明できる。																						
					②	発疹をきたす疾患(群)を列挙し、診断の要点を説明できる。																						
					③	発疹がある患者の治療の要点を説明し、専門的治療が必要な状態を概説できる。																						
		13) 咳・痰		学修目標	①	咳・痰の原因と病態生理を説明できる。																						
					②	咳・痰をきたす疾患(群)を列挙し、診断の要点を説明できる。																						
					③	咳・痰がある患者の治療の要点を説明し、専門的治療が必要な状態を概説できる。																						
		14) 血痰・喀血		学修目標	①	血痰・喀血の原因と病態生理を説明できる。																						
					②	血痰・喀血をきたす疾患(群)を列挙し、診断の要点を説明できる。																						
					③	血痰・喀血がある患者の治療の要点を説明し、専門的治療が必要な状態を概説できる。																						
		15) 呼吸困難		学修目標	①	呼吸困難の原因と病態生理を説明できる。																						
					②	呼吸困難をきたす疾患(群)を列挙し、診断の要点を説明できる。																						
					③	呼吸困難がある患者の治療の要点を説明し、専門的治療が必要な状態を概説できる。																						
		16) 胸痛		学修目標	①	胸痛の原因と病態生理を説明できる。																						
					②	胸痛をきたす疾患(群)を列挙し、診断の要点を説明できる。																						
					③	胸痛がある患者の治療の要点を説明し、専門的治療が必要な状態を概説できる。																						
		17) 動悸		学修目標	①	動悸の原因と病態生理を説明できる。																						
					②	動悸をきたす疾患(群)を列挙し、診断の要点を説明できる。																						
					③	動悸がある患者の治療の要点を説明し、専門的治療が必要な状態を概説できる。																						

コア・カリキュラム一覧

（平成28年度改訂版）

							医療プロフェッショナリズムの実践	臨床実習入門	LPBL	リサーチマインドの実践	地域医療の実践	生体の構造と機能									人間と社会	医学英語	病因と病態		感染と生体防御			
							A2	P2	A2	A2	A2	B2	C2				P2b		P2c	P2d	A2	A2	A2		A2			P2
													(1)	(2)	(3)	(4)	(1)	(2)					(1)	(2)	(1)	(2)	(4)	
F 診療の基本	1 症候・病態からのアプローチ	18) 胸水		学修目標	①	胸水の原因と病態生理を説明できる。																						
					②	胸水をきたす疾患(群)を列挙し、診断の要点を説明できる。																						
					③	胸水がある患者の治療の要点を説明し、専門的治療が必要な状態を概説できる。																						
		19) 嚥下困難・障害		学修目標	①	嚥下困難・障害の原因と病態生理を説明できる。																						
					②	嚥下困難・障害をきたす疾患(群)を列挙し、診断の要点を説明できる。																						
					③	嚥下困難・障害がある患者の治療の要点を説明し、専門的治療が必要な状態を概説できる。																						
		20) 腹痛		学修目標	①	腹痛の原因と病態生理を説明できる。																						
					②	腹痛をきたす疾患(群)を列挙し、診断の要点を説明できる。																						
					③	腹痛がある患者の治療の要点を説明し、専門的治療が必要な状態を概説できる。																						
		21) 悪心・嘔吐		学修目標	①	悪心・嘔吐の原因と病態生理を説明できる。																						
					②	悪心・嘔吐をきたす疾患(群)を列挙し、診断の要点を説明できる。																						
					③	悪心・嘔吐がある患者の治療の要点を説明し、専門的治療が必要な状態を概説できる。																						
		22) 吐血・下血		学修目標	①	吐血・下血の原因と病態生理を説明できる。																						
					②	吐血・下血をきたす疾患(群)を列挙し、診断の要点を説明できる。																						
					③	吐血・下血がある患者の治療の要点を説明し、専門的治療が必要な状態を概説できる。																						
		23) 便秘・下痢		学修目標	①	便秘・下痢の原因と病態生理を説明できる。																						
					②	便秘・下痢をきたす疾患(群)を列挙し、診断の要点を説明できる。																						
					③	便秘・下痢がある患者の治療の要点を説明し、専門的治療が必要な状態を概説できる。																						
		24) 黄疸		学修目標	①	黄疸の原因と病態生理を説明できる。																						
					②	黄疸をきたす疾患(群)を列挙し、診断の要点を説明できる。																						
					③	黄疸がある患者の治療の要点を説明し、専門的治療が必要な状態を概説できる。																						
		25) 腹部膨隆(腹水を含む)・腫瘤		学修目標	①	腹部膨隆(腹水を含む)・腫瘤の原因と病態生理を説明できる。																						
					②	腹部膨隆(腹水を含む)・腫瘤をきたす疾患(群)を列挙し、診断の要点を説明できる。																						
					③	腹部膨隆(腹水を含む)・腫瘤がある患者の治療の要点を説明し、専門的治療が必要な状態を概説できる。																						
		26) 貧血		学修目標	①	貧血の原因と病態生理を説明できる。																						
					②	貧血をきたす疾患(群)を列挙し、診断の要点を説明できる。																						
					③	貧血がある患者の治療の要点を説明し、専門的治療が必要な状態を概説できる。																						
		27) リンパ節腫脹		学修目標	①	リンパ節腫脹の原因と病態生理を説明できる。																						
					②	リンパ節腫脹をきたす疾患(群)を列挙し、診断の要点を説明できる。																						
					③	リンパ節腫脹がある患者の治療の要点を説明し、専門的治療が必要な状態を概説できる。																						
		28) 尿量・排尿の異常		学修目標	①	尿量・排尿の異常の原因と病態生理を説明できる。																						
					②	尿量・排尿の異常をきたす疾患(群)を列挙し、診断の要点を説明できる。																						
					③	尿量・排尿の異常がある患者の治療の要点を説明し、専門的治療が必要な状態を概説できる。																						
		29) 血尿・タンパク尿		学修目標	①	血尿・タンパク尿の原因と病態生理を説明できる。																						
					②	血尿・タンパク尿をきたす疾患(群)を列挙し、診断の要点を説明できる。																						
					③	血尿・タンパク尿がある患者の治療の要点を説明し、専門的治療が必要な状態を概説できる。																						
		30) 月経異常		学修目標	①	月経異常の原因と病態生理を説明できる。																						
					②	月経異常をきたす疾患(群)を列挙し、診断の要点を説明できる。																						
					③	月経異常がある患者の治療の要点を説明し、専門的治療が必要な状態を概説できる。																						
		31) 不安・抑うつ		学修目標	①	不安・抑うつの原因と病態生理を説明できる。																						
					②	不安・抑うつをきたす疾患(群)を列挙し、診断の要点を説明できる。																						
					③	不安・抑うつがある患者の治療の要点を説明し、専門的治療が必要な状態を概説できる。																						
		32) もの忘れ		学修目標	①	もの忘れの原因と病態生理を説明できる。																						
					②	もの忘れをきたす疾患(群)を列挙し、診断の要点を説明できる。																						
					③	もの忘れがある患者の治療の要点を説明し、専門的治療が必要な状態を概説できる。																						
		33) 頭痛		学修目標	①	頭痛の原因と病態生理を説明できる。																						
					②	頭痛をきたす疾患(群)を列挙し、診断の要点を説明できる。																						
					③	頭痛がある患者の治療の要点を説明し、専門的治療が必要な状態を概説できる。																						
		34) 運動麻痺・筋力低下		学修目標	①	運動麻痺・筋力低下の原因と病態生理を説明できる。																						
					②	運動麻痺・筋力低下をきたす疾患(群)を列挙し、診断の要点を説明できる。																						
					③	運動麻痺・筋力低下がある患者の治療の要点を説明し、専門的治療が必要な状態を概説できる。																						
		35) 腰背部痛		学修目標	①	腰背部痛の原因と病態生理を説明できる。																						
					②	腰背部痛をきたす疾患(群)を列挙し、診断の要点を説明できる。																						
					③	腰背部痛がある患者の治療の要点を説明し、専門的治療が必要な状態を概説できる。																						
		36) 関節痛・関節腫脹		学修目標	①	関節痛・関節腫脹の原因と病態生理を説明できる。																						
					②	関節痛・関節腫脹をきたす疾患(群)を列挙し、診断の要点を説明できる。																						
					③	関節痛・関節腫脹がある患者の治療の要点を説明し、専門的治療が必要な状態を概説できる。																						
		37) 外傷・熱傷		学修目標	①	外傷・熱傷の病態生理を説明できる。																						
					②	外傷・熱傷の診断の要点を説明できる。																						

コア・カリキュラム一覧（平成28年度改訂版）							医療プロフェッショナリズムの実践	臨床実習入門	LPBL	リサーチマインドの実践	地域医療の実践	生体の構造と機能									人間と社会	医学英語	病因と病態		感染と生体防御			
							A2	P2	A2	A2	A2	B2	C2				P2b		P2c	P2d	A2	A2	A2		A2			P2
													(1)	(2)	(3)	(4)	(1)	(2)					(1)	(2)	(1)	(2)	(4)	
F 診療の基本	1 症候・病態からのアプローチ	37) 外傷・熱傷		学修目標	③	外傷・熱傷がある患者の治療の要点を説明し、専門的治療が必要な状態を概説できる。																						
	2 基本的診療知識	1) 臨床推論		ねらい		患者に生じた健康問題を明らかにし、対応を意思決定するために、問題点を予測し、論じることができる。			○																			
				学修目標	①	問題の同定から治療やマネジメントに至るプロセスを列挙できる。			○																			
					②	情報収集には医療面接、身体診察、検査の3 つの方法があることを説明できる。			○																			
					③	診断仮説を想起するためには、解剖学、病理学、生理学、生化学等の基礎医学や疾患頻度が重要であることを説明できる。			○														○					
					④	診断仮説を検証するために、診断仮説に基づいた情報収集を実施できる。			○																			
					⑤	診断過誤の原因とその防止法を説明できる。			○																			
					⑥	状況に応じ、診断プロセスと治療やマネジメントが並行して行われることが説明できる。			○																			
					⑦	治療やマネジメントに関して意思決定するために、患者側と情報共有や摺り合わせをすることができる。			○																			
					⑧	コンサルテーションや紹介の必要な状況を説明できる。			○																			
		2) 根拠に基づいた医療〈EBM〉		ねらい		臨床現場での意思決定において、入手可能な最善の医学知見を用い、適切な意思決定を行うための方法を身に付ける。																						
				学修目標	①	根拠に基づく医療〈EBM〉の5つのステップを列挙できる。																						
					②	現場で遭遇した臨床上の問題に関し、PICO (PECO)を用いた問題の定式化ができる。																						
					③	研究デザイン（観察研究（記述研究、横断研究、症例対照研究、コホート研究）、介入研究（臨床研究、ランダム化比較試験）、システマティックレビュー、メタ分析（メタアナリシス）を概説できる。																						
					④	データベースや二次文献からのエビデンス、診療ガイドラインを検索することができる。																						
					⑤	得られた情報の批判的吟味ができる。																						
					⑥	診療ガイドラインの種類と使用上の注意を列挙できる。																						
					⑦	診療ガイドラインの推奨の強さについて違いを述べることができる。																						
		3) 臨床検査		ねらい		検査の方法と臨床推論における適応、意義、検査結果の解釈を説明できる。																						
				学修目標	①	臨床検査の目的と意義を説明でき、必要最小限の検査項目を選択できる。																						
					②	臨床検査の正しい検体採取方法と検体保存方法を説明できる。																						
					③	臨床検査の安全な実施方法（患者確認と検体確認、検査の合併症、感染症予防、精度管理）を説明できる。																						
					④	臨床検査の特性（感度、特異度、偽陽性、偽陰性、検査前確率（事前確率）・検査後確率（事後確率）、尤度比、receiver operating characteristic 〈ROC〉曲線）と判定基準（基準値・基準範囲、カットオフ値、パニック値）を説明できる。																						
					⑤	臨床検査の生理的変動、測定誤差、精度管理、ヒューマンエラーを説明できる。																						
					⑥	小児、高齢者、妊産婦の検査値特性を説明し、結果を解釈できる。																						
					⑦	病態を推察する基本的検査と確定診断のための検査の意義・相違点を理解・説明できる。																						
					⑧	血算、凝固・線溶検査、尿・糞便検査、生化学検査の目的と適応を説明し、結果を解釈できる。																						
					⑨	染色体・遺伝子検査の目的と適応を説明し、結果を解釈できる。															○							
					⑩	病理組織検査、細胞診検査、フローサイトメトリの意義を説明できる。																						
					⑪	免疫血清学検査、輸血検査の目的と適応を説明し、結果を解釈できる。																						
					⑫	生体機能検査（心電図、心臓機能検査、呼吸機能検査、超音波検査、内分泌・代謝機能検査、脳波検査、針筋電図検査、末梢神経伝導検査）の目的と適応を説明し、結果を解釈できる。																						
					⑬	細菌学検査（細菌の塗抹、培養、同定、薬剤感受性試験）の目的と適応を説明し、結果を解釈できる。																						○
					⑭	動脈血ガス分析、経皮的酸素飽和度モニターの目的と適応を説明し、結果を解釈できる。																						
					⑮	脳脊髄液・胸水・腹水検査の目的と適応を説明し、結果を解釈できる。																						
		4) 病理診断		ねらい		臨床診断に必須の病理診断、細胞診の目的、方法、意義を理解する。																						
				学修目標	①	病理診断、細胞診の適切な検体の取扱い、標本作製及び診断過程が説明できる。																	○					
					②	診断に必要な臨床情報の適切な提供法を説明できる。																						
					③	術中迅速診断の利点、欠点を説明できる。																						
					④	デジタル画像を用いた病理診断（遠隔診断を含む）の利点、欠点を説明できる。																						
					⑤	病理解剖の医療における位置付けと法的事項、手続等を説明できる。																	○					
		5) 放射線等を用いる診断と治療		ねらい		放射線等による診断と治療の基本を学ぶ。																						
				学修目標	①	エックス線撮影、コンピュータ断層撮影〈CT〉、磁気共鳴画像法〈MRI〉と核医学検査の原理を説明できる。																						
					②	エックス線撮影、コンピュータ断層撮影〈CT〉、磁気共鳴画像法〈MRI〉と核医学検査の読影の基本を説明できる。										○	○										
					③	放射線治療の原理を説明し、主な放射線治療法を列挙できる。																						
					④	放射線診断・治療による利益と不利益を説明できる。																						
					⑤	インターベンショナルラジオロジー（画像誘導下治療）を概説できる。																						
		6) 内視鏡を用いる診断と治療		ねらい		内視鏡の原理とそれによる診断と治療の基本を学ぶ。																						
				学修目標	①	内視鏡機器の種類と原理を説明できる。																						
					②	内視鏡検査法の種類を列挙し、概説できる。																						
					③	内視鏡を用いる治療を概説できる。																						
		7) 超音波を用いる診断と治療		ねらい		超音波機器の原理とそれによる診断と治療の基本を学ぶ。																						
				学修目標	①	超音波機器の種類と原理を説明できる。																						
					②	超音波検査法の種類を列挙し、概説できる。																						
					③	主な疾患、病態のエコー像を概説できる。																						
					④	超音波を用いる治療を概説できる。																						
					⑤	超音波の生体作用と安全性を説明できる。																						
					⑥	超音波造影法を説明できる。																						
		8) 薬物治療の基本原理		ねらい		診療に必要な薬物治療の基本（薬理作用、有害事象、投与時の注意事項）を学ぶ。																						
				学修目標	①	薬物（オピオイドを含む）の蓄積、耐性、タキフィラキシー、依存、習慣性や嗜癖を説明できる。							○	○													

コア・カリキュラム一覧（平成28年度改訂版）							医療プロフェッショナリズムの実践	臨床実習入門	LPBL	リサーチマインドの実践	地域医療の実践	生体の構造と機能									人間と社会	医学英語	病因と病態		感染と生体防御			
							A2	P2	A2	A2	A2	B2	C2				P2b		P2c	P2d	A2	A2	A2		A2			P2
													(1)	(2)	(3)	(4)	(1)	(2)					(1)	(2)	(1)	(2)	(4)	
F 診療の基本	2 基本的診療知識	8) 薬物治療の基本原理		学修目標	②	主な薬物アレルギーの症状、診察、診断を列挙し、予防策と対処法を説明できる。																						
					③	薬物によるアナフィラキシーショックの症状、診断、対処法を説明できる。																						
					④	各臓器系統（中枢・末梢神経、循環器、呼吸器、消化器、腎泌尿器、血液、内分泌等）に作用する薬の薬理作用、適応、有害事象、投与時の注意事項を説明できる。							○	○	○												
					⑤	抗微生物薬の薬理作用、適応、有害事象、投与時の注意事項を説明できる。																						
					⑥	抗腫瘍薬の適応、有害事象、投与時の注意事項を説明できる。																	○					
					⑦	麻薬性鎮痛薬・鎮静薬の適応、有害事象、投与時の注意事項を説明できる。								○														
					⑧	主な薬物の有害事象を概説できる。							○	○	○													
					⑨	年齢や臓器障害に応じた薬物動態の特徴を考慮して薬剤投与の注意点を説明できる。																						
					⑩	薬物動態的相互作用について例を挙げて説明できる。																						
					⑪	処方箋の書き方、服薬の基本・アドヒアランスを説明できる。																						
					⑫	分子標的薬の薬理作用と有害事象を説明できる。																						
					⑬	漢方医学の特徴や、主な和漢薬（漢方薬）の適応、薬理作用を概説できる。																						
					⑭	ポリファーマシー、使用禁忌、特定条件下での薬物使用（アンチ・ドーピング等）を説明できる。																						
		9) 外科的治療と周術期管理		ねらい		外科的治療と周術期管理の基本を学ぶ。																						
			(1) 外科的治療	学修目標	①	清潔の概念と必要性を説明できる。																						
					②	手洗いの意味と手技を説明できる。																						
					③	ガウンテクニックの必要性と手技を説明できる。																						
					④	創傷治癒のメカニズムを説明できる。																						
					⑤	消毒の意味と方法を説明でき、被覆材の種類と適応、効果を説明できる。																						
					⑥	外科的治療の適応と合併症を説明できる。																						
			(2) 周術期管理	学修目標	①	手術の危険因子を列挙し、その対応の基本を説明できる。																						
					②	基本的バイタルサイン（体温、呼吸、脈拍、血圧）の意義とモニターの方法を説明できる。																						
					③	主な術後合併症を列挙し、その予防の基本を説明できる。																						
					④	手術に関するインフォームド・コンセントの注意点を列挙できる。																						
					⑤	周術期管理における事前のリスク評価を説明できる。																						
					⑥	周術期における主な薬剤の服薬管理（継続、中止等）の必要性とそれに伴うリスクの基本を説明できる。																						
					⑦	周術期管理における輸液・輸血の基本を説明できる。																						
					⑧	術後痛の管理を説明できる。																						
					⑨	術後回復室の役割を概説できる。																						
					⑩	集中治療室の役割を概説できる。																						
		10) 麻酔		ねらい		全身麻酔・局所麻酔の基本を学ぶ。																						
				学修目標	①	麻酔の概念、種類と麻酔時の生体反応を説明できる。																						
					②	麻酔管理を安全に行うための術前評価と呼吸管理を概説できる。																						
					③	麻酔薬と筋弛緩薬の種類と使用上の原則を説明できる。																						
					④	吸入麻酔と静脈麻酔の適応、禁忌、方法、事故と合併症を概説できる。																						
					⑤	気管挿管を含む各種の気道確保法を概説できる。																						
					⑥	局所麻酔、末梢神経ブロック、神経叢ブロック、脊髄くも膜下麻酔、硬膜外麻酔の適応、禁忌と合併症を概説できる。																						
					⑦	安全な麻酔のためのモニタリングの方法、重要な異常所見と対処法を概説できる。																						
					⑧	悪性高熱症や神経筋疾患患者における麻酔管理上の注意点を概説できる。																						
		11) 食事・栄養療法と輸液療法		ねらい		食事・栄養療法と輸液療法の基本を学ぶ。																						
				学修目標	①	食行動、食事摂取基準、食事バランス、日本食品標準成分表、補助食品、食物繊維・プロバイオティクス・プレバイオティクスを概説できる。																						
					②	栄養アセスメント、栄養ケア・マネジメント、栄養サポートチーム(nutrition support team〈NST〉)、疾患別の栄養療法を説明できる。																						
					③	各種補液製剤（ビタミン、微量元素を含む）の特徴と病態に合わせた適応、投与時の注意事項を説明できる。																						
					④	経静脈栄養と経管・経腸栄養の適応、方法と合併症、長期投与時の注意事項を説明できる。																						
					⑤	乳幼児と小児の輸液療法を説明できる。																						
		12) 医療機器と人工臓器		ねらい		医用機器と人工臓器の基本を学ぶ。																						
				学修目標	①	主な医療機器の種類と原理を概説できる。																						
					②	主な人工臓器の種類と原理を概説できる。																						
		13) 輸血と移植		ねらい		輸血と移植の基本を学ぶ。																						
				学修目標	①	血液製剤及び血漿分画製剤の種類と適応を説明できる。																						
					②	血液型(ABO、RhD)検査、血液交差適合（クロスマッチ）試験、不規則抗体検査を説明できる。																						
					③	輸血副反応、輸血使用記録保管義務、不適合輸血の防止手順を説明できる。																						
					④	輸血の適正使用、成分輸血、自己血輸血、緊急時の輸血を説明できる。																						
					⑤	臓器移植、造血幹細胞移植の種類と適応を説明できる。																						
					⑥	移植と組織適合性の関係を説明できる。																						
					⑦	移植後の拒絶反応、移植片対宿主病の病態生理と発症時の対応を説明できる。																						
					⑧	免疫抑制薬の種類、適応と副作用を説明できる。																	○					
		14) リハビリテーション		ねらい		リハビリテーションの基本を学ぶ。																						
				学修目標	①	リハビリテーションの概念と適応（心大血管疾患、呼吸器疾患、癌等の内部障害を含む）を説明できる。																						

コア・カリキュラム一覧
（平成28年度改訂版）

							医療プロフェッショナリズムの実践	臨床実習入門	LPBL	リサーチマインドの実践	地域医療の実践	生体の構造と機能									人間と社会	医学英語	病因と病態		感染と生体防御			
							A2	P2	A2	A2	A2	B2	C2				P2b		P2c	P2d	A2	A2	A2		A2			P2
													(1)	(2)	(3)	(4)	(1)	(2)					(1)	(2)	(1)	(2)	(4)	
F 診療の基本	2 基本的診療知識	14) リハビリテーション		学修目標	②	リハビリテーション・チームの構成を理解し、医師の役割を説明できる。																						
					③	福祉・介護との連携におけるリハビリテーションの役割を説明できる。																						
					④	障害を国際生活機能分類の心身機能・身体構造、活動、参加に分けて説明できる。																						
					⑤	機能障害と日常生活動作(activities of daily living <ADL>)の評価ができる。																						
					⑥	理学療法、作業療法と言語聴覚療法を概説できる。																						
					⑦	主な歩行補助具、車椅子、義肢(義手、義足)と装具を概説できる。																						
		15) 在宅医療と介護		ねらい		在宅医療と介護の基本を学ぶ。																						
				学修目標	①	在宅医療の在り方、今後の必要性と課題を概説できる。																						
					②	在宅医療における多職種連携の重要性を説明できる。																						
					③	褥瘡の予防、評価、処置・治療及びチーム医療の重要性を説明できる。																						
					④	在宅における人生の最終段階における医療、看取りの在り方と課題を概説できる。																						
					⑤	介護の定義と種類を説明できる。																						
					⑥	日常生活動作<ADL>(排泄、摂食、入浴等)に応じた介護と環境整備の要点を概説できる。																						
					⑦	地域包括ケアシステムと介護保険制度、障害者総合支援法等の医療保健福祉制度を概説できる。																						
		16) 緩和ケア		ねらい		緩和ケアの基本を学ぶ。																						
				学修目標	①	緩和ケア(緩和ケアチーム、ホスピス、緩和ケア病棟、在宅緩和ケアを含む)を概説できる。																						
					②	全人的苦痛を説明できる。																						
					③	緩和ケアにおいて頻度の高い身体的苦痛、心理社会的苦痛を列挙することができる。																						
					④	疼痛のアセスメント、疼痛緩和の薬物療法、癌疼痛治療法を説明できる。																						
					⑤	オピオイドの適応と課題を説明できる。																						
					⑥	緩和ケアにおける患者・家族の心理を説明できる。																						
	3基本的診療技能	1)問題志向型システムと臨床診断推論		学修目標	①	基本的診療知識に基づき、症例に関する情報を収集・分析できる。																						
					②	得られた情報を基に、その症例の問題点を抽出できる。																						
					③	病歴と身体所見等の情報を統合して、鑑別診断ができる。																						
					④	主要疾患の症例に関して、診断・治療計画を立案できる。																						
		2) 医療面接		学修目標	①	適切な身だしなみ、言葉遣い及び態度で患者に接することができる。																						
					②	医療面接における基本的コミュニケーション技法を用いることができる。																						
					③	病歴(主訴、現病歴、常用薬、アレルギー歴、既往歴、家族歴、嗜好、生活習慣、社会歴・職業歴、生活環境、家庭環境、海外渡航歴、システムレビュー)を聴き取り、情報を取捨選択し整理できる。																						
					④	診察時に患者に適切な体位(立位、座位、半座位、臥位、砕石位)を説明できる。																						
					⑤	診察で得た所見、診断、必要な検査を上級医に説明、報告できる。																						
		3) 診療録(カルテ)		学修目標	①	適切に患者の情報を収集し、問題志向型医療記録<POMR>を作成できる。																						
					②	診療経過を主観的所見・客観的所見・評価・計画<SOAP>で記載できる。																						
					③	症例を適切に要約する習慣を身に付け、状況に応じて提示できる。																						
					④	プライバシー保護とセキュリティーに充分配慮できる。																						
		4) 臨床判断		学修目標	①	臨床疫学的指標(感度・特異度、尤度比等)を考慮して、必要十分な検査を挙げ、症例における検査結果の臨床的意義を解釈できる。																						
					②	科学的根拠に基づいた治療法を述べることができる。																						
		5) 身体診察	(1) 基本事項	学修目標	①	患者の立場を尊重し、信頼を得ることができる。																						
					②	患者の安全を重視し、有害事象が生じた場合は適切に対応ができる。																						
					③	患者のプライバシー、羞恥心、苦痛に配慮し、個人情報等を守秘できる。																						
					④	感染を予防するため、診察前後の標準予防策(standard precautions)ができる。																						
					⑤	身だしなみ、言葉遣い及び態度等に気を配ることができる。																						
					⑥	患者の状態から診察が可能かどうかを判断し、状態に応じた診察ができる。																						
			(2) 全身状態とバイタルサイン	学修目標	①	身長・体重を測定し、body mass index <BMI>の算出、栄養状態を評価できる。																						
					②	上腕で触診、聴診法により血圧を測定できる。																						
					③	両側の橈骨動脈で脈拍を診察できる。																						
					④	呼吸数を測定し、呼吸の異常の有無を確認できる。																						
					⑤	腋窩で体温の測定ができる。																						
					⑥	下肢の動脈の触診等、下腿の血圧測定(触診法)、大腿の血圧測定(聴診法)を実施できる。																						
					⑦	全身の外観(体型、栄養、姿勢、歩行、顔貌、皮膚、発声)を評価できる。																						
			(3) 頭頸部	学修目標	①	頭部(顔貌、頭髪、頭皮、頭蓋)の診察ができる。																						
					②	眼(視野、瞳孔、対光反射、眼球運動・突出、結膜)の診察ができる。																						
					③	耳(耳介、聴力)の診察ができる。																						
					④	耳鏡で外耳道、鼓膜を観察できる。																						
					⑤	音叉を用いて聴力試験を実施できる。																						
					⑥	口唇、口腔、咽頭、扁桃の診察ができる。																						
					⑦	鼻腔、副鼻腔の診察ができる。																						
					⑧	鼻鏡を用いて前鼻腔を観察できる。																						
					⑨	甲状腺、頸部血管、気管、唾液腺の診察ができる。																						
					⑩	頭頸部リンパ節の診察ができる。																						

コア・カリキュラム一覧（平成28年度改訂版）							医療プロフェッショナリズムの実践	臨床実習入門	LPBL	リサーチマインドの実践	地域医療の実践	生体の構造と機能									人間と社会	医学英語	病因と病態		感染と生体防御			
							A2	P2	A2	A2	A2	B2	C2				P2b		P2c	P2d	A2	A2	A2		A2			P2
													(1)	(2)	(3)	(4)	(1)	(2)					(1)	(2)	(1)	(2)	(4)	
F 診療の基本	3基本的診療技能	5) 身体診察	(4) 胸部	学修目標	①	胸部の視診、触診、打診ができる。																						
					②	呼吸音と副雑音の聴診ができる。																						
					③	心音と心雑音の聴診ができる。																						
					④	背部の叩打痛を確認できる。																						
					⑤	乳房の診察を実施できる（シミュレータでも可とする）。																						
			(5) 腹部	学修目標	①	腹部の視診、聴診ができる。																						
					②	区分に応じて腹部の打診、触診ができる。																						
					③	圧痛、腹膜刺激徴候、筋性防御の有無を判断できる。																						
					④	腹水の有無を判断できる。																						
					⑤	腸雑音、血管雑音の聴診ができる。																						
					⑥	直腸（前立腺を含む）指診を実施できる（シミュレータでも可とする）。																						
			(6) 神経	学修目標	①	意識レベルを判定できる。																						
					②	脳神経系の診察ができる（眼底検査を含む）。																						
					③	腱反射の診察ができる。																						
					④	小脳機能・運動系の診察ができる。																						
					⑤	感覚系（痛覚、温度覚、触覚、深部感覚）の診察ができる。																						
					⑥	髄膜刺激所見（項部硬直、Kernig 徴候）を確認できる。																						
			(7) 四肢と脊柱	学修目標	①	四肢と脊柱（奇曲、疼痛）の診察ができる。																						
					②	関節（可動域、腫脹、疼痛、変形）の診察ができる。																						
					③	筋骨格系の診察（徒手筋力テスト）ができる。																						
			(8) 小児の診察	学修目標（一般方略を含む）	①	主訴からの診断推論を組み立てられる、又はたどることができる。																						
					②	疾患の病態や疫学を理解する。																						
					③	治療の立案・実施に可能な範囲で参加できる。																						
					④	保護者から必要な情報を得たり対応したりすることに可能な範囲で参加できる。																						
					⑤	小児の成長・発達の評価に可能な範囲で参加できる。																						
					⑥	基本的な小児科診察ができる。																						
					⑦	どのように小児科にコンサルテーションすればよいか説明できる。																						
		6) 基本的臨床手技	(1) 一般手技	学修目標	①	皮膚消毒を実施できる。																						
					②	静脈採血をシミュレータで実施できる。																						
					③	手指衛生等の標準予防策（standard precautions）を実施できる。																						
			(2) 検査手技	学修目標	①	尿検査（尿沈渣を含む）を実施できる。																						
					②	末梢血塗抹標本を作成し、観察できる。																						
					③	微生物学検査（Gram 染色を含む）を実施できる。																						○
					④	12 誘導心電図を記録できる。																						
					⑤	経皮的酸素飽和度を測定できる。																						
			(3) 外科手技	学修目標	①	無菌操作を実施できる。																						
					②	手術や手技のための手洗いができる。																						
					③	手術室におけるガウンテクニックができる。																						
			(4) 救命処置	学修目標	①	緊急性の高い状況かどうかをある程度判断できるようになる。																						
					②	一次救命処置を実施できる。																						
G 臨床実習	1 診療の基本	1) 臨床実習	(1) 医師として求められる基本的な資質・能力（A参照）			「A 医師として求められる基本的な資質・能力」（以下、再掲）を常に意識しながら、臨床実習を行う。																						
					①	プロフェッショナリズム																						
					②	医学知識と問題対応能力																						
					③	診療技能と患者ケア																						
					④	コミュニケーション能力																						
					⑤	チーム医療の実践																						
					⑥	医療の質と安全の管理																						
					⑦	社会における医療の実践																						
					⑧	科学的探究																						
					⑨	生涯にわたって共に学ぶ姿勢																						
			(2) 診療の基本（F参照）			「F 診療の基本」の内容を基盤として、臨床の現場で研鑽を積む。																						
			(3) 学生を信頼し任せられる役割			臨床実習で学生の評価を行う際はentrustable professional activities（EPA）の考え方を参考にする。下記の大項目を枠組みにしながら、それぞれの診療科で「臨床実習で学生にどのような業務を信頼して任せることができるか」「初期臨床研修の初日にできなければならない業務は何か」について考慮し、実際に行う臨床業務の形で学修目標を設定する。																						
					①	病歴を聴取して身体診察を行う。																						
					②	鑑別診断を想定する。																						
					③	基本的な検査の結果を解釈する。																						
					④	処方を計画する。																						
					⑤	診療記録（カルテ）を記載する。																						
					⑥	患者の状況について口頭でプレゼンテーションする。																						

コア・カリキュラム一覧
（平成28年度改訂版）

						医療プロフェッショナリズムの実践	臨床実習入門	LPBL	リサーチマインドの実践	地域医療の実践	生体の構造と機能									人間と社会	医学英語	病因と病態		感染と生体防御			
						A2	P2	A2	A2	A2	B2	C2				P2b		P2c	P2d	A2	A2	A2		A2			P2
												(1)	(2)	(3)	(4)	(1)	(2)					(1)	(2)	(1)	(2)	(4)	
G 臨床実習	1 診療の基本	1) 臨床実習	(3) 学生を信頼し任せられる役割		⑦ 臨床上の問題を明確にしてエビデンスを収集する。																						
					⑧ 患者さんの申し送りを行う・受け取る。																						
					⑨ 多職種のチームで協働する。	○																					
					⑩ 緊急性の高い患者さんの初期対応を行う。																						
					⑪ インフォームド・コンセントを得る。																						
					⑫ 基本的臨床手技を実施する。																						
					⑬ 組織上の問題の同定と改善を通して医療安全に貢献する。																						
	2 臨床推論	1) 発熱		感染症	肺炎、結核、尿路感染症																						
				腫瘍	悪性リンパ腫、腎細胞癌																						
				自己免疫	全身性エリテマトーデス〈SLE〉、炎症性腸疾患																						
				環境	熱中症																						
		2) 全身倦怠感		感染症・炎症性	結核、肝炎																						
				精神	うつ病、双極性障害																						
				中毒性	アルコール依存症、薬物依存症																						
				内分泌・代謝	甲状腺機能亢進症、甲状腺機能低下症、更年期障害																						
				腫瘍	悪性腫瘍全般																						
		3) 食思（欲）不振		腫瘍	悪性腫瘍全般																						
				消化器	機能性ディスペプシア〈FD〉																						
				呼吸器	慢性閉塞性肺疾患〈COPD〉																						
				循環器	心不全																						
				精神	うつ病																						
		4) 体重減少・体重増加	（体重増加）	急性	心不全、ネフローゼ症候群																						
				慢性	甲状腺機能低下症																						
			（体重減少）	腫瘍	悪性腫瘍全般																						
				内分泌	糖尿病、甲状腺機能亢進症																						
				精神	うつ病																						
				感染症	結核																						
				自己免疫	炎症性腸疾患																						
				消化器	慢性膵炎																						
				中毒	アルコール依存症																						
		5) ショック		循環血液量減少性	急性消化管出血、大動脈瘤破裂、熱傷																						
				心原性	急性心筋梗塞、心筋炎																						
				閉塞性	緊張性気胸、肺塞栓症																						
				血液分布異常性	敗血症、急性膵炎、アナフィラキシー、脊髄損傷																						
		6) 心停止		心血管	急性心筋梗塞、急性大動脈解離、大動脈瘤破裂																						
				呼吸器	緊張性気胸、外傷性気胸																						
				神経原性	くも膜下出血、頭部外傷、脊髄損傷																						
				自己免疫	アナフィラキシー																						
				環境	熱中症、寒冷による障害																						
		7) 意識障害・失神		脳原発性	くも膜下出血、頭蓋内血腫、脳炎																						
				全身性	心筋梗塞、不整脈、肺塞栓症、てんかん、急性消化管出血、肝不全																						
		8) けいれん		脳血管障害	脳梗塞																						
				中毒	薬物依存症、アルコール依存症																						
				感染症	脳炎、脳症、熱性けいれん																						
		9) めまい		末梢性	良性発作性頭位めまい症																						
				中枢性	脳出血、脳梗塞																						
				失神性	不整脈、肺塞栓症、弁膜症																						
				心因性	パニック障害																						
		10) 脱水		消化器	急性消化管出血、乳児下痢症、急性膵炎																						
				内分泌・代謝	糖尿病																						
				環境	熱中症、熱傷																						
		11) 浮腫		局所性	深部静脈血栓症																						
				全身性	心不全、ネフローゼ症候群、慢性腎臓病、肝硬変、甲状腺機能低下症																						
		12) 発疹		感染症	ウイルス性発疹症（麻疹、風疹、水痘、ヘルペス）																						
				アレルギー、自己免疫	薬麻疹、薬疹、全身性エリテマトーデス〈SLE〉																						
		13) 咳・痰		感染症	気管支炎、肺炎、副鼻腔炎																						
				腫瘍	肺癌																						
				特発性	間質性肺疾患																						

コア・カリキュラム一覧
（平成28年度改訂版）

						医療プロフェッショナリズムの実践	臨床実習入門	LPBL	リサーチマインドの実践	地域医療の実践	生体の構造と機能									人間と社会	医学英語	病因と病態		感染と生体防御			
						A2	P2	A2	A2	A2	B2	C2				P2b		P2c	P2d	A2	A2	A2		A2			P2
												(1)	(2)	(3)	(4)	(1)	(2)					(1)	(2)	(1)	(2)	(4)	
G 臨床実習	2 臨床推論	13) 咳・痰		自己免疫	気管支喘息																						
				消化器	胃食道逆流症〈GERD〉																						
		14) 血痰・喀血		呼吸器	肺結核、肺癌																						
				心血管系	僧帽弁膜症、心不全																						
				出血傾向	白血病、播種性血管内凝固〈DIC〉																						
		15) 呼吸困難		呼吸器	肺塞栓症、急性呼吸促(窮)迫症候群〈ARDS〉、気管支喘息、慢性閉塞性肺疾患〈COPD〉、緊張性気胸																						
				循環器	心不全																						
				心因性	パニック障害、過換気症候群																						
		16) 胸痛		呼吸器	肺塞栓症、気胸																						
				循環器	急性冠症候群																						
				消化器	胃食道逆流症〈GERD〉																						
				心因性	パニック障害																						
		17) 動悸		循環器	不整脈																						
				二次性	甲状腺機能亢進症																						
				心因性	パニック障害																						
		18) 浮腫		循環器	心不全																						
				呼吸器	肺炎、肺結核、肺癌																						
				消化器	肝硬変、急性膵炎																						
				自己免疫	関節リウマチ、全身性エリテマトーデス〈SLE〉																						
				腎・泌尿器	ネフローゼ症候群																						
		19) 嚥下困難・障害		神経	脳出血、脳梗塞																						
				呼吸器	扁桃炎、肺癌																						
				消化器	胃食道逆流症〈GERD〉、食道癌																						
				心因性	身体症状症																						
		20) 腹痛		消化器	機能性ディスペプシア〈FD〉、過敏性腸症候群、炎症性腸疾患、消化性潰瘍、急性虫垂炎、胆石症、急性膵炎、腸閉塞、鼠径ヘルニア																						
				泌尿・生殖器	尿路結石、流・早産																						
				循環器	急性冠症候群																						
				心因性	身体症状症																						
		21) 悪心・嘔吐		消化管	機能性ディスペプシア〈FD〉、腸閉塞、食中毒																						
				循環器	急性心筋梗塞																						
				神経	片頭痛、脳出血、くも膜下出血、頭蓋内血腫																						
				精神	うつ病																						
		22) 吐血・下血	(吐血)	食道	食道静脈瘤、食道癌																						
				胃	消化性潰瘍、胃癌																						
			(下血)	上部消化管	食道静脈瘤、消化性潰瘍																						
				下部消化管	炎症性腸疾患、大腸癌																						
		23) 便秘・下痢	(便秘)	機能性	過敏性腸症候群、甲状腺機能低下症																						
				器質性	腸閉塞、大腸癌																						
			(下痢)	炎症性	急性胃腸炎、炎症性腸疾																						
				腸管運動異常	過敏性腸症候群、甲状腺機能亢進症																						
				浸透圧性	慢性膵炎																						
		24) 黄疸		抱合型	急性肝炎、慢性肝炎、肝硬変、胆管炎、膵癌																						
				非抱合型	溶血性貧血																						
		25) 腹部膨隆（腹水を含む）・腫瘤		消化管	腸閉塞、大腸癌																						
				腹水	肝硬変、ネフローゼ症候群、心不全																						
				腫瘤	肝癌、卵巣嚢腫																						
		26) 貧血		鉄欠乏性貧血	消化性潰瘍、痔核、子宮筋腫																						
				造血器腫瘍	白血病、骨髄腫																						
				二次性貧血	肝硬変、慢性腎臓病、アルコール依存症																						
		27) リンパ節腫脹		感染症	ウイルス性発疹症（風疹・麻疹）、結核																						
				自己免疫	全身性エリテマトーデス〈SLE〉																						
				腫瘍	悪性リンパ腫、その他の悪性腫瘍全般																						
		28) 尿量・排尿の異常	(多尿)	浸透圧利尿	糖尿病																						
				中毒	薬剤性																						
			(頻尿)	蓄尿障害	尿路感染症、腎臓損傷																						
				排出困難（排出障害）	前立腺肥大症、尿路感染症、前立腺癌																						
		29) 血尿・タンパク尿		腎臓	糸球体腎炎症候群、ネフローゼ症候群、糖尿病腎症、腎細胞癌																						
				尿管、膀胱	尿路結石、尿路感染症、膀胱癌																						
		30) 月経異常		無月経	妊娠																						

コア・カリキュラム一覧（平成28年度改訂版）						医療プロフェッショナリズムの実践	臨床実習入門	LPBL	リサーチマインドの実践	地域医療の実践	生体の構造と機能									人間と社会	医学英語	病因と病態		感染と生体防御			
						A2	P2	A2	A2	A2	B2	C2				P2b		P2c	P2d	A2	A2	A2		A2			P2
												(1)	(2)	(3)	(4)	(1)	(2)					(1)	(2)	(1)	(2)	(4)	
G 臨床実習	2 臨床推論	30) 月経異常		月経困難	月経困難症、子宮内膜症																						
				不正性器出血	子宮頸癌、子宮体癌																						
		31) 不安・抑うつ		一次性	うつ病、双極性障害、不安障害																						
				二次性（不安障害）	甲状腺機能亢進症、悪性腫瘍全般																						
				二次性（うつ病）	甲状腺機能低下症、認知症、Parkinson 病、悪性腫瘍全般																						
		32) もの忘れ		血管	脳梗塞																						
				変性	認知症、Parkinson 病																						
				精神	うつ病																						
		33) 頭痛		機能性	緊張型頭痛、片頭痛																						
				症候性	髄膜炎、脳出血、くも膜下出血、頭内障、急性副鼻腔炎																						
		34) 運動麻痺・筋力低下		脳病変	脳梗塞、一過性脳虚血発作、脳出血、頭蓋内血腫																						
				脊髄病変	脊髄損傷、椎間板ヘルニア																						
				末梢神経病変	糖尿病																						
				神経筋接合部病変	肺癌																						
				筋病変	甲状腺機能亢進症、アルコール性中毒																						
		35) 腰背部痛		呼吸器	肺癌																						
				心血管	急性大動脈解離																						
				消化器	胆石症																						
				泌尿・生殖器	尿管結石、腎細胞癌																						
				脊椎	椎間板ヘルニア、変形性脊椎症、脊柱管狭窄症、脊椎圧迫骨折、骨髄腫																						
		36) 関節痛・関節腫脹		単関節炎	痛風																						
				多発関節炎	関節リウマチ、全身性エリテマトーデス〈SLE〉																						
		37) 外傷・熱傷		一次性	頭部外傷、骨折、外傷性気胸、脊髄損傷、熱傷																						
				二次性	急性大動脈解離、脳出血、くも膜下出血、頭蓋内血腫																						
	3 基本的臨床手技			ねらい	基本的臨床手技の目的、適応、禁忌、合併症と実施法について事前に十分理解した上で、指導医の指導・監督の下で自ら実施する、又は指導医の実施を見学し、介助する。																						
		1) 一般手技		学修目標	① 体位交換、移送ができる。																						
					② 皮膚消毒ができる。																						
					③ 外用薬の貼付・塗布ができる。																						
					④ 気道内吸引、ネブライザーを実施できる。																						
					⑤ 静脈採血を実施できる。																						
					⑥ 末梢静脈の血管確保を実施できる。																						
					⑦ 中心静脈カテーテル挿入を見学し、介助する。																						
					⑧ 動脈血採血・動脈ラインの確保を見学し、介助する。																						
					⑨ 腰椎穿刺を見学し、介助する。																						
					⑩ 胃管の挿入と抜去ができる。																						
					⑪ 尿道カテーテルの挿入と抜去を実施できる。																						
					⑫ ドレーンの挿入と抜去を見学し、介助する。																						
					⑬ 注射（皮内、皮下、筋肉、静脈内）を実施できる。																						
					⑭ 全身麻酔、局所麻酔、輸血を見学し、介助する。																						
					⑮ 眼球に直接触れる治療を見学し、介助する。																						
					⑯ 診療録（カルテ）を作成する。																						
					⑰ 各種診断書・検案書・証明書の作成を見学し、介助する。																						
		2) 検査手技		学修目標	① 尿検査（尿沈渣を含む）を実施できる。																						
					② 末梢血塗抹標本を作成し、観察できる。																						
					③ 微生物学検査（Gram 染色を含む）を実施できる。																						
					④ 妊娠反応検査を実施できる。																						
					⑤ 血液型判定を実施できる。																						
					⑥ 視力、視野、聴力、平衡機能検査を実施できる。																						
					⑦ 12 誘導心電図を記録できる。																						
					⑧ 脳波検査の記録ができる。																						
					⑨ 眼球に直接触れる検査を見学し、介助する。																						
					⑩ 心臓、腹部の超音波検査を実施できる。																						
					⑪ 経皮的酸素飽和度を測定できる。																						
					⑫ エックス線撮影、コンピュータ断層撮影〈CT〉、磁気共鳴画像法〈MRI〉、核医学検査、内視鏡検査を見学し、介助する。																						
		3) 外科手技		学修目標	① 無菌操作を実施できる																						
					② 手術や手技のための手洗いができる。																						
					③ 手術室におけるガウンテクニックができる。																						
					④ 基本的な縫合と抜糸ができる。																						

コア・カリキュラム一覧

（平成28年度改訂版）

							医療プロフェッショナリズムの実践	臨床実習入門	LPBL	リサーチマインドの実践	地域医療の実践	生体の構造と機能									人間と社会	医学英語	病因と病態		感染と生体防御			
							A2	P2	A2	A2	A2	B2	C2				P2b		P2c	P2d	A2	A2	A2		A2			P2
													(1)	(2)	(3)	(4)	(1)	(2)					(1)	(2)	(1)	(2)	(4)	
G 臨床実習	3 基本的臨床手技	3) 外科手技		学修目標	⑤	創の消毒やガーゼ交換ができる。																						
					⑥	手術、術前・術中・術後管理を見学し、介助する。																						
		4) 救命処置		学修目標	①	身体徴候、バイタルサインから緊急性の高い状況であることを判断できる。																						
					②	一次救命処置を実施できる。																						
					③	二次救命処置を含む緊急性の高い患者の初期対応に可能な範囲で参加する。																						
	4 診療科臨床実習	1) 必ず経験すべき診療科	(1) 内科	ねらい	①	将来、内科医にならない場合にも必要な内科領域の診療能力について学ぶ。																						
					②	内科医のイメージを獲得する。																						
				学修目標（一部方略を含む）	①	主訴からの診断推論を組み立てる、又はたどる。																						
					②	疾患の病態や疫学を理解する。																						
					③	内科的治療の立案・実施に可能な範囲で参加する。																						
					④	複数の臓器にまたがる問題を統合する視点を獲得する。																						
					⑤	基本的な内科的診察技能について学ぶ。																						
					⑥	どのように内科にコンサルテーションすればよいかわかる。																						
			(2) 外科	ねらい	①	将来、外科医にならない場合にも必要な外科領域の診療能力について学ぶ。																						
					②	外科医のイメージを獲得する。																						
				学修目標（一部方略を含む）	①	外科的治療の適応を知る。																						
					②	手術計画の立案に可能な範囲で参加する。																						
					③	周術期管理に可能な範囲で参加する。																						
					④	手術等の外科的治療に可能な範囲で参加する。																						
					⑤	基本的な外科的手技について学ぶ。																						
					⑥	どのように外科にコンサルテーションすればよいかわかる。																						
			(3) 小児科	ねらい	①	将来、小児科医にならない場合にも必要な小児科領域の診療能力について学ぶ。																						
					②	小児科医のイメージを獲得する。																						
				学修目標（一部方略を含む）	①	主訴からの診断推論を組み立てる、又はたどる。																						
					②	疾患の病態や疫学を理解する。																						
					③	治療の立案・実施に可能な範囲で参加する。																						
					④	保護者から必要な情報を得たり対応したりすることに可能な範囲で参加する。																						
					⑤	小児の成長・発達の評価に可能な範囲で参加する。																						
					⑥	基本的な小児科診察技能について学ぶ。																						
					⑦	どのように小児科にコンサルテーションすればよいかわかる。																						
			(4) 産婦人科	ねらい	①	将来、産婦人科医にならない場合にも必要な産婦人科領域の診療能力について学ぶ。																						
					②	産婦人科医のイメージを獲得する。																						
				学修目標（一部方略を含む）	①	妊婦の周産期診察及び分娩に可能な範囲で参加する。																						
					②	女性の健康問題に関する理解を深める。																						
					③	主訴からの診断推論を組み立てる、又はたどる。																						
					④	疾患の病態や疫学を理解する。																						
					⑤	手術を含めた婦人科的治療に可能な範囲で参加する。																						
					⑥	基本的な婦人科診察技能について学ぶ。																						
					⑦	どのように産婦人科にコンサルテーションすればよいかわかる。																						
			(5) 精神科	ねらい	①	将来、精神科医にならない場合にも必要な精神科領域の診療能力について学ぶ。																						
					②	精神科医のイメージを獲得する。																						
				学修目標	①	主訴からの診断推論を組み立てる、又はたどる。																						
					②	疾患の病態や疫学を理解する。																						
					③	精神科的治療に可能な範囲で参加する。																						
					④	基本的な精神科面接技法について学ぶ。																						
					⑤	どのように精神科にコンサルテーションすればよいかわかる。																						
			(6) 総合診療科	ねらい	①	どの科の医師になっても求められる総合診療能力について学ぶ。																						
					②	総合診療医のイメージを獲得する。																						
				学修目標	①	病歴・身体診察を重視した診断推論（診断がつかない場合を含む）を組み立てる、又はたどる。																						
					②	健康問題に対する包括的アプローチ（複数の健康問題の相互作用等）を体験する。																						
					③	家族や地域といった視点をもち、心理・社会的背景により配慮した診療に可能な範囲で参加する。																						
					④	在宅医療を体験する。																						
					⑤	多職種連携を体験してその重要性を認識する。																						
					⑥	臨床現場において、保健・医療・福祉・介護に関する制度に触れる。																						
			(7) 救急科	ねらい	①	どの科の医師になっても求められる救急診療能力について学ぶ。																						
					②	救急科医のイメージを獲得する。																						
				学修目標	①	呼吸、循環を安定化するための初期治療を学ぶ。																						
					②	症候をベースとした診断推論を組み立てる、又はたどる。																						
					③	チーム医療の一員として良好なコミュニケーションを実践できる。																						

コア・カリキュラム一覧（平成28年度改訂版）							医療プロフェッショナリズムの実践	臨床実習入門	LPBL	リサーチマインドの実践	地域医療の実践	生体の構造と機能								人間と社会	医学英語	病因と病態		感染と生体防御			
							A2	P2	A2	A2	A2	B2	C2				P2b		P2c	P2d	A2	A2	A2		A2			P2
													(1)	(2)	(3)	(4)	(1)	(2)					(1)	(2)	(1)	(2)	(4)	
G 臨床実習	4 診療科臨床実習	1) 必ず経験すべき診療科	(7) 救急科	学修目標	④	家族や地域といった視点をもち、保健・医療・福祉・介護との連携を学ぶ。																						
					⑤	救急隊員との連携を通じて、病院前救護体制とメディカルコントロールについて学ぶ。																						
					⑥	地域の災害医療体制について学ぶ。																						
		2) 上記以外の診療科		ねらい	①	将来、該当診療科の医師にならない場合にも必要な該当診療科領域の診療能力について学ぶ。																						
					②	該当診療科の医師のイメージを獲得する。																						
				学修目標	①	主訴からの診断推論を組み立てる、又はたどる。																						
					②	疾患の病態や疫学を理解する。																						
					③	該当診療科の治療に可能な範囲で参加する。																						
					④	該当診療科の基本的な診察技能について学ぶ。																						
					⑤	どのように該当診療科にコンサルテーションすればよいかわかる。																						
		3) 地域医療実習		ねらい		地域社会で求められる保健・医療・福祉・介護等の活動を通して地域医療と地域包括ケアシステムを一体的に構築することの必要性・重要性を学ぶ。																						
				教育方略	①	学外の臨床研修病院等の地域病院や診療所、さらに保健所や社会福祉施設等の協力を得る。																						
					②	必要に応じて臨床教授制度等を利用する。																						
					③	早期臨床体験実習を拡充し、低学年から継続的に地域医療の現場に接する機会を設ける。																						
					④	衛生学・公衆衛生学実習等と連携し、社会医学的（主に量的）な視点から地域を診る学習機会を作る。																						
					⑤	人間学・社会学・心理学・哲学・教育学等と連携し、行動科学・社会科学的（主に質的）な視点から地域における生活の中での医療を知り体験する学習機会を作る。																						
		4) シミュレーション教育		ねらい		医療安全の観点から臨床現場を想定した環境でシミュレーションによるトレーニングを積むことで、実際の臨床現場で対処できるようになる。																						
				教育方略	①	シミュレーターを用いて反復練習をすることで、臨床技能を磨く。																						
					②	模擬患者の協力を得て、臨床技能（コミュニケーションスキルを含む）や医療者に求められる態度を身に付ける。																						
					③	シナリオを用いたトレーニングを通して、状況判断、意思決定能力を獲得する。																						
					④	チームトレーニングによって、チーム医療の実践能力を高める。																						
					⑤	振り返りによって自己省察能力を高める。																						

コア・カリキュラム一覧（平成28年度改訂版）							臨床入門P3実習	LPBLA3	リサーチP3	地域医療A3	理工B3	内科総論	外科総論	放射線診断学	臨床腫瘍学	腎尿路	感染症	循環器	呼吸器	消化器	運動器	神経	免疫・膠原病・アレルギー	内分泌・代謝	臓器再建外科・再生医療	血液・移植	リハビリ・地域包括医療	救急・中毒
A 医師として求められる基本的な資質・能力	1 プロフェッショナリズム	1）医の倫理と生命倫理		ねらい		医療と医学研究における倫理の重要性を学ぶ。																							
				学修目標	①	医学・医療の歴史的な流れとその意味を概説できる。																							
					②	臨床倫理や生と死に関わる倫理的問題を概説できる。																							
					③	ヒポクラテスの誓い、ジュネーブ宣言、医師の職業倫理指針、医師憲章等医療の倫理に関する規範を概説できる。																							
		2）患者中心の視点		ねらい		患者及びその家族の秘密を守り、医師の義務や医療倫理を遵守するとともに、患者の安全を最優先し、常に患者中心の立場に立つ。																							
				学修目標	①	7 社会における医療の実践																							
					②	患者の自己決定権の意義を説明できる。	○																						
					③	選択肢が多様な場合でも適切に説明を行い患者の価値観を理解して、患者の自己決定を支援する。	○																						
					④	インフォームド・コンセントとインフォームド・アセントの意義と必要性を説明できる。	○																						
		3）医師としての責務と裁量権		ねらい		豊かな人間性と生命の尊厳についての深い認識を有し、人の命と健康を守る医師としての職責を自覚する。																							
				学修目標	①	診療参加型臨床実習において患者やその家族と信頼関係を築くことができる。																							
					②	患者やその家族のもつ価値観や社会的背景が多様であり得ることを認識し、そのいずれにも柔軟に対応できる。	○																						
					③	医師が患者に最も適した医療を勧めなければならない理由を説明できる。																							
					④	医師には能力と環境により診断と治療の限界があることを説明できる。																							
					⑤	医師の法的義務を列挙し、例示できる。																							
	2 医学知識と問題対応能力	1）課題探求・解決能力		ねらい		自分の力で課題を発見し、自己学習によってそれを解決するための能力を獲得する。																							
				学修目標	①	必要な課題を自ら発見できる。		○			○																		
					②	自分に必要な課題を、重要性・必要性に照らして順位付けできる。		○			○																		
					③	課題を解決する具体的な方法を発見し、課題を解決できる。		○			○																		
					④	課題の解決に当たり、他の学修者や教員と協力してよりよい解決方法を見出すことができる。		○			○																		
					⑤	適切な自己評価ができ、改善のための具体的方策を立てることができる。		○																					
		2）学修の在り方		ねらい		科学や社会の中で医学・医療だけでなく様々な情報を客観的・批判的に取捨選択して統合整理し、表現する基本的能力（知識、技能、態度・行動）・リベラルアーツを獲得する。																							
				学修目標	①	講義、国内外の教科書・論文、検索情報等の内容について、重要事項や問題点を抽出できる。		○			○																		
					②	得られた情報を統合し、客観的・批判的に整理して自分の考えを分かりやすく表現できる。		○			○																		
					③	実験・実習の内容を決められた様式に従って文書と口頭で発表できる。					○																		
					④	後輩等への適切な指導が実践できる。					○																		
					⑤	各自の興味に応じて選択制カリキュラム（医学研究等）に参加する。					○																		
	3 診療技能と患者ケア	1）全人的実践的能力		ねらい		統合された知識、技能、態度に基づき、患者の立場を尊重しながら、全身を総合的に診療するための実践的能力を獲得する。																							
				学修目標	①	病歴（主訴、現病歴、既往歴、家族歴、生活歴、社会歴・職業歴、システムレビュー等）を適切に聴取するとともに患者との良好な関係を構築し、必要に応じて患者教育を行える。	○															○					
					②	網羅的に系統立てて適切な順序で効率的な身体診察を行える。異常所見を認識・記録し、適切な鑑別診断が行える。																						
					③	基本的な臨床技能（適応、実施方法、合併症、注意点）を理解し、適切な態度で診断や治療を行える。																					
					④	診療録（カルテ）についての基本的な知識を修得し、問題志向型医療記録（problem-oriented medical record：POMR）形式で診療録を作成し、必要に応じて医療文書を作成できる。																				
					⑤	患者の病状（症状、身体所見、検査所見等）、プロブレムリスト、鑑別診断、臨床経過、治療法の要点を提示し、医療チーム構成員と意見交換ができる。																				
					⑥	緊急を要する病態や疾患・外傷の基本的知識を説明できる。診療チームの一員として救急医療に参画できる。																				○
					⑦	慢性疾患や慢性疼痛の病態、経過、治療を説明できる。医療を提供する場や制度に応じて、診療チームの一員として慢性期医療に参画できる。																				
					⑧	患者の苦痛や不安感に配慮しながら、就学・就労、育児・介護等との両立支援を含め患者と家族に対して誠実で適切な支援を行える。	○																				
	4 コミュニケーション能力	1）コミュニケーション		ねらい		医療内容を分かりやすく説明する等、患者やその家族との対話を通じて、良好な人間関係を築くためのコミュニケーション能力を有する。																							
				学修目標	①	コミュニケーションの方法と技能（言語的と非言語的）を説明し、コミュニケーションが態度あるいは行動に及ぼす影響を概説できる。		○																				
					②	コミュニケーションを通じて良好な人間関係を築くことができる。	○	○																					
					③	患者・家族の話を傾聴し、共感することができる。	○	○																					
		2）患者と医師の関係		ねらい		患者と医師の良好な関係を築くために、患者の個別的背景を理解し、問題点を把握する能力を獲得する。																							
				学修目標	①	患者と家族の精神的・身体的苦痛に十分配慮できる。	○																		○			
					②	患者に分かりやすい言葉で説明できる。	○																					
					③	患者の心理的及び社会的背景や自立した生活を送るための課題を把握し、抱える問題点を抽出・整理できる。	○																					
					④	医療行為が患者と医師の契約的な信頼関係に基づいていることを説明できる。																							
					⑤	患者の要望（診察・転医・紹介）への対処の仕方を説明できる。	○																						
					⑥	患者のプライバシーに配慮できる。	○																						
					⑦	患者情報の守秘義務と患者等への情報提供の重要性を理解し、適切な取扱いができる。																							
	5 チーム医療の実践	1）患者中心のチーム医療		ねらい		医療チームの構成員として、相互の尊重のもとに適切な行動をとるとともに、後輩等に対する指導を行う。																							
				学修目標	①	チーム医療の意義を説明できる。							○												○			○
					②	医療チームの構成や各構成員（医師、歯科医師、薬剤師、看護師、その他の医療職）の役割分担と連携・責任体制を説明し、チームの一員として参加できる。							○				○								○			○
					③	自分の能力の限界を認識し、必要に応じて他の医療従事者に援助を求めることができる。							○															○
					④	保健、医療、福祉と介護のチーム連携における医師の役割を説明できる。							○															
	6 医療の質と安全の管理	1）安全性の確保		ねらい		医療上の事故等（インシデントを含む）や医療関連感染症（院内感染を含む）等は日常的に起こる可能性があることを認識し、過去の事例に学び、事故を防止して患者の安全性確保を最優先することにより、信頼される医療を提供しなければならないことを理解する。																							
				学修目標	①	実際の医療には、多職種が多段階の医療業務内容に関与していることを具体的に説明できる。																							
					②	医療上の事故等を防止するためには、個人の注意（ヒューマンエラーの防止）はもとより、組織的なリスク管理（制度・組織エラーの防止）が重要であることを説明できる。							○															
					③	医療現場における報告・連絡・相談と記録の重要性や、診療録（カルテ）改竄の違法性を説明できる。																						
					④	医療の安全性に関する情報（薬剤等の副作用、薬害、医療過誤（事例や経緯を含む）、やってはいけないこと、優れた取組事例等）を共有し、事後に役立てるための分析の重要性を説明できる。																						
					⑤	医療の安全性確保のため、職種・段階に応じた能力向上の必要性を説明できる。																							

コア・カリキュラム一覧 （平成28年度改訂版）						臨床実習入門P3	LPBLA3	リサーチP3	地域医療A3	理工B3	内科総論	外科総論	放射線診断学	臨床腫瘍学	腎尿路	感染症	循環器	呼吸器	消化器	運動器	神経	免疫・膠原病・アレルギー	内分泌・代謝	臓器再建外科・再生医療	血液・移植	リハビリ・地域包括医療	救急・中毒
A 医師として求められる基本的な資質・能力	6 医療の質と安全の管理	1) 安全性の確保	学修目標	⑥	医療機関における医療安全管理体制の在り方（事故報告書、インシデントレポート、医療事故防止マニュアル、医療廃棄物処理、医療安全管理者（リスクマネージャー）、安全管理委員会、事故調査委員会、医療事故調査制度、産科医療補償制度）を概説できる																						
				⑦	医療関連感染症の原因及び回避する方法（院内感染対策委員会、院内感染サーベイランス、院内感染対策チーム（infection control team<ICT>）、感染対策マニュアル等）を概説できる。											○											
				⑧	真摯に疑義に応じることができる。																						
		2) 医療上の事故等への対処と予防	ねらい		医療上の事故等（インシデントを含む）が発生した場合の対処の仕方を学ぶ。																						
			学修目標	①	医療上の事故等（インシデントを含む）と合併症の違いを説明できる。																						
				②	医療上の事故等（インシデントを含む）が発生したときの緊急処置や記録、報告を説明し、実践できる。																						
				③	医療過誤に関連した刑事・民事責任や医師法に基づく行政処分を説明できる。																						
				④	基本的予防策（ダブルチェック、チェックリスト法、薬品名称の改善、フェイルセイフ・フールプルーフの考え方等）を概説し、指導医の指導の下に実践できる。																						
		3) 医療従事者の健康と安全	ねらい		医療従事者が遭遇する危険性（事故、感染等）等について、基本的な予防・対処及び改善の方法を学ぶ。																						
			学修目標	①	医療従事者の健康管理（予防接種を含む）の重要性を説明できる。											○											
				②	標準予防策（standard precautions）の必要性を説明し、実行できる。											○											
				③	患者隔離の必要な場合を説明できる。											○											
				④	針刺し事故(針刺切創)等に遭遇した際の対処の仕方を説明できる。											○											
				⑤	医療現場における労働環境の改善の必要性を説明できる。																						
	7 社会における医療の実践	1) 地域医療への貢献	ねらい		地域医療・地域保健の在り方と現状及び課題を理解し、地域医療に貢献するための能力を獲得する。																						
			学修目標	①	地域社会（離島・へき地を含む）における医療の状況、医師の偏在（地域、診療科及び臨床・非臨床）の現状を概説できる。				○																		
				②	医療計画（医療圏、基準病床数、地域医療支援病院、病診連携、病病連携、病院・診療所・薬局の連携等）及び地域医療構想を説明できる。				○																		
				③	地域包括ケアシステムの概念を理解し、地域における保健（母子保健、学校保健、成人・高齢者保健、地域保健、精神保健）・医療・福祉・介護の分野間及び多職種間（行政を含む）の連携の必要性を説明できる。				○																	○	
				④	かかりつけ医等の役割や地域医療の基盤となるプライマリ・ケアの必要性を理解し、実践に必要な能力を獲得する。				○																		
				⑤	地域における救急医療、在宅医療及び離島・へき地医療の体制を説明できる。				○																		○
				⑥	災害医療（災害時保健医療、医療救護班、災害派遣医療チーム(Disaster Medical Assistance Team <DMAT>)、災害派遣精神医療チーム(Disaster Psychiatric Assistance Team <DPAT>)、日本医師会災害医療チーム(Japan Medical Association Team <JMAT>)、災害拠点病院、トリアージ等）を説明できる。																						○
				⑦	地域医療に積極的に参加・貢献する。				○																		
		2) 国際医療への貢献	ねらい		国際社会における医療の現状と課題を理解し、実践するための基礎的素養を身に付ける。																						
			学修目標	①	患者の文化的背景を尊重し、英語をはじめとした異なる言語に対応することができる。						○		○														
				②	地域医療の中での国際化を把握し、価値観の多様性を尊重した医療の実践に配慮することができる。																						
				③	保健、医療に関する国際的課題を理解し、説明できる。																						
				④	日本の医療の特徴を理解し、国際社会への貢献の意義を理解している。																						
				⑤	医療に関わる国際協力の重要性を理解し、仕組みを説明できる。																						
	8 科学的探究	1) 医学研究への志向の涵養	ねらい		医学・医療の進歩と改善に資するために研究を遂行する意欲と基礎的素養を有する。																						
			学修目標	①	研究は、医学・医療の発展や患者の利益の増進を目的として行われるべきことを説明できる。			○																			
				②	生命科学の講義・実習で得た知識を基に、診療で経験した病態の解析ができる。			○																			
				③	患者や疾患の分析を基に、教科書・論文等から最新の情報を検索・整理統合し、疾患の理解・診断・治療の深化につなげることができる。			○																			
				④	抽出した医学・医療情報から新たな仮説を設定し、解決に向けて科学的研究（臨床研究、疫学研究、生命科学研究等）に参加することができる。			○																			
	9 生涯にわたって共に学ぶ姿勢	1) 生涯学習への準備	ねらい		キャリアを意識し、生涯にわたり自己研鑽を続ける意欲と態度を有する。																						
			学修目標	①	生涯学習の重要性を説明できる。		○																				
				②	生涯にわたる継続的学習に必要な情報を収集できる。		○																				
				③	キャリア開発能力を獲得する。		○		○																		
				④	キャリアステージにより求められる能力に異なるニーズがあることを理解する。		○																				
				⑤	臨床実習で経験したことを省察し、自己の課題を明確にする。				○																		
B 社会と医学・医療	1 集団に対する医療	1) 統計の基礎	ねらい		確率には頻度と信念の度合いの二つがあり、それを用いた統計・推計学の有用性と限界を理解し、確率変数とその分布、統計的推測（推定と検定）の原理と方法を理解する。					○																	
			学修目標	①	データの記述と要約（記述統計を含む）ができる。					○																	
				②	主要な確率分布を説明できる。					○																	
				③	正規分布の母平均の信頼区間を計算できる。					○																	
				④	基本的な仮説検定の構造を説明できる。					○																	
		2) 統計手法の適用	ねらい		医学、生物学でよく遭遇する標本に統計手法を適用するときに生じる問題点、統計パッケージの利用を含めた具体的な扱い方を修得する。					○																	
			学修目標	①	2群間の平均値の差を検定できる（群間の対応のあり、なしを含む）。					○																	
				②	パラメトリック検定とノンパラメトリック検定の違いを説明できる。					○																	
				③	カイ2乗検定法を実施できる。					○																	
				④	一元配置分散分析を利用できる。					○																	
				⑤	2変量の散布図を描き、回帰と相関の違いを説明できる。					○																	
				⑥	線形重回帰分析、多重ロジスティック回帰分析と交路調整を概説できる。					○																	
		3) 根拠に基づいた医療<EBM>	ねらい		臨床現場での意思決定において、入手可能な最善の医学知見を用い、適切な意思決定を行うための方法を身に付ける。																						
			学修目標	①	根拠に基づいた医療<EBM>の5つのステップを列挙できる。																						
				②	Patient, population, problem, intervention（exposure）, comparison, outcome <PICO（PECO）>を用いた問題の定式化ができる。																						
				③	研究デザイン（観察研究（記述研究、横断研究、症例対照研究、コホート研究）、介入研究（臨床研究、ランダム化比較試験）、システマティックレビュー、メタ分析（メタアナリシス））を概説できる。																						
				④	データベースや二次文献からのエビデンス、診療ガイドラインを検索することができる。																						
				⑤	得られた情報の批判的吟味ができる。																						
				⑥	診察ガイドラインの種類と使用上の注意を列挙できる。																						
				⑦	診療ガイドラインの推奨の強さについて違いを説明できる。																						

コア・カリキュラム一覧

（平成28年度改訂版）

							臨床実習入門P3	LABL A3	リサーチP3	地域医療A3	理工B3	内科総論	外科総論	放射線診断学	臨床腫瘍学	腎尿路	感染症	循環器	呼吸器	消化器	運動器	神経	免疫・膠原病・アレルギー	内分泌・代謝	皮膚・再建外科・再生医療	血液・移植	リハビリ・地域包括医療	救急・中毒
B 社会と医学・医療	1 集団に対する医療	4) 疫学と予防医学		ねらい		保健統計の意義と現状、疫学とその応用、疾病の予防について学ぶ。																						
				学修目標	①	人口統計（人口静態と人口動態）、疾病・障害の分類・統計（国際疾病分類(International Classification of Diseases<ICD>)等）を説明できる。																						
					②	平均寿命、健康寿命を説明できる。																						
					③	罹患率と発生割合の違いを説明できる。																						
					④	疫学とその応用（疫学の概念、疫学指標（リスク比、リスク差、オッズ比）とその比較（年齢調整率、標準化死亡比(standardized mortality ratio<SMR>)）、バイアス、交絡）を説明できる。																						
					⑤	予防医学（一次、二次、三次予防）と健康保持増進（健康管理の概念・方法、健康診断・診査と事後指導）を概説できる。																						
		5) 生活習慣とリスク		ねらい		生活習慣（食生活を含む）とそのリスクについて学ぶ。																						
				学修目標	①	基本概念（国民健康づくり運動、生活習慣病とリスクファクター、健康寿命の延伸と生活の質（quality of life <QOL>）向上、行動変容、健康づくり支援のための環境整備等）を説明できる。											○						○				
					②	栄養、食育、食生活を説明できる。																		○				
					③	身体活動、運動を説明できる。																		○				
					④	休養・心の健康（睡眠の質、不眠、ストレス対策、過重労働対策、自殺の予防）を説明できる。																		○				
					⑤	喫煙（状況、有害性、受動喫煙防止、禁煙支援）、飲酒（状況、有害性、アルコール依存症からの回復支援）を説明できる。											○						○				
					⑥	ライフステージに応じた健康管理と環境・生活習慣改善（環境レベル、知識レベル、行動レベルと行動変容）を説明できる。																	○				
		6) 社会・環境と健康		ねらい		社会と健康・疾病との関係を理解し、個体及び集団をとりまく環境諸要因の変化による個人の健康と社会生活への影響について学ぶ。																						
				学修目標	①	健康（健康の定義）、障害と疾病の概念と社会環境（機能障害、活動制限、参加制約、生活の質<QOL>、ノーマライゼーション、バリアフリー、ユニバーサルデザイン等）を説明できる。																						
					②	社会構造（家族、コミュニティ、地域社会、国際化）と健康・疾病との関係（健康の社会的決定要因(social determinant of health)）を概説できる。																						
					③	仕事と健康、環境と適応、生体環境系、病因と保健行動、環境基準と環境影響評価、公害と環境保全が健康と生活に与える影響を概説できる。																						
					④	各ライフステージの健康問題（母子保健、学校保健、産業保健、成人・高齢者保健）を説明できる。																						
					⑤	スポーツ医学を説明できる。																						
		7) 地域医療・地域保健		ねらい		地域医療・地域保健の在り方と現状及び課題を理解し、地域医療に貢献するための能力を獲得する。																						
				学修目標	①	地域社会（へき地・離島を含む）における医療の状況、医師の偏在（地域、診療科及び臨床・非臨床）の現状を概説できる。			○																			
					②	医療計画（医療圏、基準病床数、地域医療支援病院、病診連携、病病連携、病院・診療所・薬局の連携等）及び地域医療構想を説明できる。																						
					③	地域包括ケアシステムの概念を理解し、地域における、保健（母子保健、学校保健、成人・高齢者保健、地域保健、精神保健）・医療・福祉・介護の分野間及び多職種間（行政を含む）の連携の必要性を説明できる。			○																			
					④	かかりつけ医等の役割や地域医療の基盤となるプライマリ・ケアの必要性を理解し、実践に必要な能力を獲得する。			○																			
					⑤	地域における救急医療、在宅医療及び離島・へき地医療の体制を説明できる。			○																			○
					⑥	災害医療（災害時保健医療、医療救護班、災害派遣医療チーム<DMAT>、災害派遣精神医療チーム<DPAT>、日本医師会災害医療チーム<JMAT>、災害拠点病院、トリアージ等）を説明できる。																						○
					⑦	地域医療に積極的に参加・貢献する。			○																			
		8) 保健・医療・福祉・介護の制度		ねらい		限られた医療資源の有効活用の視点を踏まえ、保健・医療・福祉・介護の制度の内容を学ぶ。																						
				学修目標	①	日本における社会保障制度と医療経済（国民医療費の収支と将来予測）を説明できる。																						
					②	医療保険、介護保険及び公費医療を説明できる。																						
					③	高齢者福祉と高齢者医療の特徴を説明できる。																						
					④	産業保健（労働基準法等の労働関連法規を含む）を概説できる。																						
					⑤	医療の質の確保（病院機能評価、国際標準化機構(International Organaization for Standardization<ISO>)、医療の質に関する評価指標、患者満足度、患者説明文書、同意書、同意撤回書、クリニカルパス等）を説明できる。																						
					⑥	医師法、医療法等の医療関連法規を概説できる。																						
					⑦	医療関連法規に定められた医師の義務を列挙できる。																						
					⑧	医療における費用対効果分析を説明できる。																						
					⑨	医療資源と医療サービスの価格形成を説明できる。診療報酬制度を説明でき、同制度に基づいた診療計画を立てることができる。																						
					⑩	医療従事者の資格免許、現状と業務範囲、職種間連携を説明できる。																						
					⑪	感染症法・食品衛生法の概要と届出義務を説明できる。											○											
					⑫	予防接種の意義と現状を説明できる。											○											
					⑬	障害者福祉・精神保健医療福祉の現状と制度を説明できる。																						
		9) 国際保健		ねらい		国際保健の重要性について学ぶ。																						
				学修目標	①	世界の保健・医療問題（母子保健、感染症、非感染性疾患(non-communicable diseases<NCD>)、UHO(Universal Health Coverage)、保健システム（医療制度）、保健関連SDG(Sustainable Development Goals)）を概説できる。											○										
					②	国際保健・医療協力（国際連合(United Nations <UN>)、世界保健機関(World Health Organization <WHO>)、国際労働機関(International Labour Organization <ILO>)、国連合同エイズ計画(The Joint United Nations Programme on HIV/AIDS <UNAIDS>)、世界エイズ・結核・マラリア対策基金(The Global Fund to Fight AIDS,Tuberculosis and Malaria<GF>)、GAVIアライアンス(The Global Alliance for Vaccines and Immunization<GAVI>)、国際協力機構(Japan International Cooperation Agency <JICA>)、政府開発援助(Official Development Assistance <ODA>)、非政府組織(Non-Governmental Organization <NGO>)を列挙し、概説できる。																						
	2 法医学と関連法規	1) 死と法		ねらい		死の判定や死亡診断と死体検案を理解する。																						
				学修目標	①	植物状態、脳死、心臓死及び脳死判定を説明できる。																○						○
					②	異状死・異状死体の取り扱いと死体検案を説明できる。																						
					③	死亡診断書と死体検案書を作成できる。																						
					④	個人識別の方法を説明できる。																						
					⑤	病理解剖、法医解剖（司法解剖、行政解剖、死因・身元調査法解剖、承諾解剖）を説明できる。																						
		2) 診療情報と諸証明書		ねらい		診療情報の利用方法、情報管理とプライバシー保護について学ぶ。																						
				学修目標	①	診療録（カルテ）に関する基本的な知識（診療録の管理と保存（電子カルテを含む）、診療録の内容、診療情報の開示、プライバシー保護、セキュリティー、問題志向型医療記録<POMR>、主観的所見、客観的所見、評価、計画(subjective, objective, assessment, plan <SOAP>)を説明でき、実際に作成できる。																						
					②	診療に関する諸記録（処方箋、入院診療計画書、検査・画像・手術の記録、退院時要約）を説明できる。																						
					③	診断書、検案書、証明書（診断書、出生証明書、死産証書、死胎検案書、死亡診断書、死体検案書）を説明できる。																						
					④	電子化された診療情報の作成ができ、管理を説明できる。																						
	3 医学研究と倫理	1) 倫理規範と実践倫理		ねらい		医療の発展における医学研究と倫理の重要性について学ぶ。																						
				学修目標	①	医学研究と倫理（それぞれの研究に対応した倫理指針と法律）を説明できる。							○														

コア・カリキュラム一覧

（平成28年度改訂版）

							臨床入門実習P3	LABL A3	リサーチP3	地域医療A3	理工B3	内科総論	外科総論	放射線診断学	臨床腫瘍学	腎尿路	感染症	循環器	呼吸器	消化器	運動器	神経	免疫・膠原病・アレルギー	内分泌・代謝	臓器再建外科・再生医療	血液・移植	リハビリ・地域包括医療	救急・中毒
B 社会と医学・医療	3 医学研究と倫理	1) 倫理規範と実践倫理		学修目標	②	臨床研究、臨床試験、治験と市販後臨床試験の違いを概説できる。																						
					③	臨床試験・治験と倫理性（ヘルシンキ宣言、第Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ相試験、医薬品の臨床試験の実施の基準(Good Clinical Practice〈GCP〉)、治験審査委員会・倫理審査委員会(institutional review board〈IRB〉)）について説明できる。																				
					④	薬物に関する法令を概説し、医薬品の適正使用に関する事項を列挙できる。																						
					⑤	副作用報告と有害事象の違い、報告の意義（医薬品・医療機器等安全性情報報告制度等）を説明できる。																				
	4 医療に関連のある社会科学領域	1) 医師に求められる社会性		ねらい		文化的社会的文脈のなかで人の心と社会の仕組みを理解するための基礎的な知識と考え方及びリベラルアーツを学ぶ。臨床実践に行動科学・社会科学の知見を生かすことができるよう、健康・病い・医療に関する文化人類学・社会学（主に医療人類学・医療社会学）の視点・方法・理論について、理解を深める。																				
				学修目標	①	医療人類学や医療社会学等の行動科学・社会科学の基本的な視点・方法・理論を概説できる。																						
					②	病気・健康・医療・死をめぐる文化的な多様性を説明できる。																						
					③	自身が所属する文化を相対化することができる。																						
					④	人々の暮らしの現場において病気・健康がどのようにとらえられているかを説明できる。																						
					⑤	人の言動の意味をその人の人生史や社会関係の文脈の中で説明することができる。																						
					⑥	文化・ジェンダーと医療の関係を考えることができる。																						
					⑦	国際保健・医療協力の現場における文化的な摩擦について、文脈に応じた課題を設定して、解決案を提案できる。																				
					⑧	社会をシステムとして捉えることができる。																						
					⑨	病人役割を概説できる。																						
					⑩	対人サービスの困難（バーンアウトリスク）を概説できる。																						
					⑪	経済的側面や制度的側面をふまえた上で、医療現場の実践を評価できる。																						
					⑫	在宅療養と入院または施設入所との関係について総合的な考察ができる。																						
					⑬	多職種の医療・保健・福祉専門職、患者・利用者、その家族、地域の人々など、様々な立場の人が違った視点から医療現場に関わっていることを理解する。																				
					⑭	具体的な臨床事例に文化・社会的課題を見いだすことができる。																		○			
C 医学一般	1 生命現象の科学	1) 生命の最小単位ー細胞		ねらい		細胞の構造とその様々な働きとともに、遺伝子からタンパクへの流れに基づく生命現象を学び、遺伝子工学の手法と応用やヒトゲノムの解析を理解する。																						
			(1) 細胞の構造と機能	学修目標	①	細胞の観察法を説明できる。																						
					②	細胞の全体像を図示できる。																						
					③	核とリボソームの構造と機能を説明できる。																						
					④	小胞体、ゴルジ体、リンソーム等の細胞内膜系の構造と機能を説明できる。																						
					⑤	ミトコンドリア、葉緑体の構造と機能を説明できる。																						
					⑥	細胞骨格の種類とその構造と機能を概説できる。																						
					⑦	細胞膜の構造と機能、細胞同士の接着と結合様式を説明できる。																						
					⑧	原核細胞と真核細胞の特徴を説明できる。																						
			(2) ゲノム・染色体・遺伝子	学修目標	①	Mendelの法則、ミトコンドリア遺伝、インプリンティング及び多因子遺伝を説明できる。																						
					②	遺伝型と表現型の関係を説明できる。																						
					③	染色体の構造を概説し、ゲノムと染色体及び遺伝子の構造と関係性、体細胞分裂及び減数分裂における染色体の挙動を説明できる。																					
					④	デオキシリボ核酸（deoxyribonucleic acid〈DNA〉）の複製と修復を概説できる。																					
					⑤	デオキシリボ核酸〈DNA〉からリボ核酸（ribonucleic acid〈RNA〉）への転写、タンパク質合成に至る翻訳を含む遺伝情報の発現及び調節（セントラルドグマ）を説明できる。																				
					⑥	染色体分析・DNA配列決定を含むゲノム解析技術を概説できる。						○																
		2) 生物の進化		ねらい		生物の進化を知り、比較生物学的な見地から動物の体のつくりとはたらきを学ぶ。																						
			(1) 生物の進化	学修目標	①	進化の基本的な考え方を説明できる。																						
					②	生物種とその系統関係を概説できる。																						
					③	アミノ酸配列や塩基配列の比較による分子系統樹を概説できる。																						
	2 個体の構成と機能	1) 細胞の構成と機能		ねらい		細胞の微細構造と機能を理解する。																						
			(1) 細胞膜	学修目標	①	細胞内液・外液のイオン組成、浸透圧と静止（膜）電位を説明できる。																						
					②	膜のイオンチャネル、ポンプ、受容体と酵素の機能を概説できる。																						
					③	細胞膜を介する物質の能動・受動輸送過程を説明できる。																						
					④	細胞膜を介する分泌と吸収の過程を説明できる。																						
			(2) 細胞骨格と細胞運動	学修目標	①	細胞骨格を構成するタンパク質とその機能を概説できる。																						
					②	アクチンフィラメント系による細胞運動を説明できる。																						
					③	細胞内輸送システムを説明できる。																						
					④	微小管の役割や機能を説明できる。																						
		2) 組織・各臓器の構成、機能と位置関係		ねらい		細胞集団としての組織・臓器の構成、機能分化と方向用語を理解する。																						
			(1) 組織・各臓器の構造と機能	学修目標	①	上皮組織と腺の構造と機能を説明できる。																○		○			
					②	支持組織を構成する細胞と細胞間質（線維成分と基質）を説明できる。																○		○			
					③	血管とリンパ管の微細構造と機能を説明できる。																○		○			
					④	神経組織の微細構造を説明できる。																						
					⑤	筋組織について、骨格筋、心筋、平滑筋の構造と機能を対比して説明できる。																						
					⑥	組織の再生の機序を説明できる。																		○			
			(2) 器官の位置関係	学修目標	①	位置関係を方向用語（上下、前後、内・外側、浅深、頭・尾側、背・腹側）で説明できる。																						
		3) 個体の調節機構とホメオスタシス		ねらい		生体の恒常性を維持するための情報伝達と生体防御の機序を理解する。																						
			(1) 情報伝達の基本	学修目標	①	情報伝達の種類と機能を説明できる。																○					
					②	受容体による情報伝達の機序を説明できる。																○					

コア・カリキュラム一覧

（平成28年度改訂版）

							臨床入門P3実習	LABL A3	リサーチP3	地域医療A3	理工B3	内科総論	外科総論	放射線診断学	臨床腫瘍学	腎尿路	感染症	循環器	呼吸器	消化器	運動器	神経	免疫・膠原病・アレルギー	内分泌・代謝	臓器再建・外科・再生医療	血液・移植	リハビリ・地域包括医療	救急・中毒
C 医学一般	2 個体の構成と機能	3) 個体の調節機構とホメオスタシス	(1) 情報伝達の基本	学修目標	③	細胞内シグナル伝達過程を説明できる。																	○					
			(2) 神経による情報伝達の基礎	学修目標	①	活動電位の発生機構と伝導を説明できる。																						
					②	シナプス（神経筋接合部を含む）の形態とシナプス伝達の機能（興奮性、抑制性）と可塑性を説明できる。																					
					③	軸索輸送、軸索の変性と再生を説明できる。																						
					④	刺激に対する感覚受容の種類と機序を説明できる。																						
					⑤	反射を説明できる。																						
			(3) 生体防御の機序	学修目標	①	生体の非特異的防御機構を説明できる。																	○					
					②	特異的防御機構である免疫系の役割を説明できる。																	○					
					③	体液性と細胞性免疫応答を説明できる。																	○					
			(4) ホメオスタシス	学修目標	①	生体の恒常性維持と適応を説明できる。																						
					②	恒常性維持のための調節機構（ネガティブフィードバック調節）を説明できる。																						
					③	生体機能や体内環境のリズム性変化を説明できる。																						
					④	生体の恒常性維持における常在菌・腸内細菌と宿主との相互作用の重要性を説明できる。																						
					⑤	運動生理学など、身体活動時の神経・骨格筋、循環器、代謝系の変化を説明できる。																						
		4) 個体の発生		ねらい		個体と器官が形成される発生過程を理解する。																						
				学修目標	①	配偶子の形成から出生に至る一連の経過と胚形成の全体像を説明できる。																						
					②	体節の形成と分化を説明できる。																						
					③	体幹と四肢の骨格と筋の形成過程を概説できる。																						
					④	消化・呼吸器系各器官の形成過程を概説できる。							○															
					⑤	心血管系の形成過程を説明できる。												○										
					⑥	泌尿生殖器系各器官の形成過程を概説できる。																						
					⑦	胚内体腔の形成過程を概説できる。																						
					⑧	鰓弓・鰓嚢の分化と頭・頸部と顔面・口腔の形成過程を概説できる。																			○			
					⑨	神経管の分化と脳、脊髄、視覚器、平衡聴覚器と自律神経系の形成過程を概説できる。																						
		5) 生体物質の代謝		ねらい		生体物質の代謝の動態を理解する。																						
				学修目標	①	酵素の機能と調節を説明できる。						○																
					②	解糖の経路と調節機構を説明できる。																						
					③	クエン酸回路を説明できる。																						
					④	電子伝達系と酸化的リン酸化を説明できる。																						
					⑤	糖新生の経路と調節機構を説明できる。																						
					⑥	グリコーゲンの合成と分解の経路を説明できる。																						
					⑦	五炭糖リン酸回路の意義を説明できる。																						
					⑧	脂質の合成と分解を説明できる。						○																
					⑨	リポタンパクの構造と代謝を説明できる。																						
					⑩	タンパク質の合成と分解を説明できる。																						
					⑪	アミノ酸の異化と尿素合成の経路を概説できる。																						
					⑫	ヘム・ポルフィリンの代謝を説明できる。																						
					⑬	ヌクレオチドの合成・異化・再利用経路を説明できる。																						
					⑭	酸化ストレス（フリーラジカル、活性酸素）の発生と作用を説明できる。																						
					⑮	ビタミン、微量元素の種類と作用を説明できる。																						
					⑯	エネルギー代謝（エネルギーの定義、食品中のエネルギー値、エネルギー消費量、推定エネルギー必要量）を理解し、空腹（飢餓）時、食後（過食時）と運動時におけるエネルギー代謝を説明できる。																					
	3 個体の反応	1) 生体と微生物		ねらい		各種微生物の基本的性状、病原性とそれによって生じる病態を理解する。																						
			(1) ウイルスの基本的性状と病原性	学修目標	①	ウイルス粒子の構造を図示し、各部の機能を説明できる。											○											
					②	構造と性状によりウイルスを分類できる。											○											
					③	デオキシリボ核酸〈DNA〉ゲノムとリボ核酸〈RNA〉ゲノムの複製・転写を一般化し、説明できる。											○											
					④	ウイルスの吸着、侵入、複製、成熟と放出の各過程を説明できる。											○											
					⑤	ウイルス感染細胞に起こる変化を説明できる。											○											
					⑥	ウイルス感染の種特異性、組織特異性と病原性を説明できる。											○											
					⑦	主な感染様式の具体例を説明できる。											○											
			(2) ウイルス感染に対する生体反応・予防	学修目標	①	ウイルスに対する中和反応と細胞性免疫を説明できる。											○											
					②	ワクチンによるウイルス感染症予防の原理を説明できる。											○											
					③	ワクチンの種類と問題点を説明できる。											○											
			(3) 各種のウイルスの特徴と病原性	学修目標	①	主なデオキシリボ核酸〈DNA〉ウイルス（サイトメガロウイルス(cytomegalovirus 〈CMV〉)、Epstein−Barr 〈EB〉ウイルス、アデノウイルス、パルボウイルスB19 、ヒトヘルペスウイルス、B 型肝炎ウイルス、ヒトパピローマウイルス）が引き起こす疾患名を列挙できる。											○											
					②	主なリボ核酸〈RNA〉ウイルス（インフルエンザウイルス、麻疹ウイルス、ムンプスウイルス、風疹ウイルス、ポリオウイルス、コクサッキーウイルス、エコー(enteric cytopathic human orphan 〈ECHO〉)ウイルス、ライノウイルス、A 型肝炎ウイルス、C 型肝炎ウイルス）が引き起こす疾患名を列挙できる。											○											
					③	レトロウイルス(ヒト免疫不全ウイルス(human immunodeficiency virus 〈HIV〉)の特性と一般ゲノム構造を説明し、分類できる。											○											
			(4) 細菌・真菌	学修目標	①	細菌の構造を図示し、形態と染色性により分類できる。											○											
					②	細菌の感染経路を分類し、説明できる。											○											
					③	細菌が疾病を引き起こす機序を説明できる。											○											
					④	Gram 陽性球菌（ブドウ球菌、連鎖球菌）の細菌学的特徴とそれが引き起こす疾患を列挙できる。											○											

コア・カリキュラム一覧
（平成28年度改訂版）

							臨床実習入門P3	LPBL A3	リサーチP3	地域医療A3	理工B3	内科総論	外科総論	放射線診断学	臨床腫瘍学	腎尿路	感染症	循環器	呼吸器	消化器	運動器	神経	免疫・膠原病・アレルギー	内分泌・代謝	腫瘍・再建外科・再生医療	血液・移植	リハビリ・地域包括医療	救急・中毒
C 医学一般	3 個体の反応	1) 生体と微生物	(4) 細菌・真菌	学修目標	⑤	Gram 陰性球菌（淋菌、髄膜炎菌）の細菌学的特徴とそれが引き起こす疾患を列挙できる。											○												
					⑥	Gram 陽性桿菌（破傷風菌、ガス壊疽菌、ボツリヌス菌、ジフテリア菌）の細菌学的特徴とそれが引き起こす疾患を列挙できる。											○												
					⑦	Gram 陽性桿菌（大腸菌、赤痢菌、サルモネラ菌、チフス菌、ペスト菌、コレラ菌、百日咳菌、腸炎ビブリオ菌、緑膿菌、ブルセラ菌、レジオネラ菌、インフルエンザ（桿）菌）の細菌学的特徴とそれが引き起こす疾患を列挙できる。											○												
					⑧	Gram 陽性スピリルム属病原菌（Helicobacter pylori）の細菌学的特徴とそれが引き起こす疾患を列挙できる。											○												
					⑨	抗酸菌（結核菌、非結核性（非定型）抗酸菌 ）の細菌学的特徴とそれが引き起こす疾患を列挙できる。											○												
					⑩	真菌（アスペルギルス、クリプトコックス、カンジダ、ムーコル（ムコール））の微生物学的特徴とそれが引き起こす疾患を列挙できる。											○												
					⑪	スピロヘータ、マイコプラズマ、リケッチア、クラミジアの微生物学的特徴とそれが引き起こす疾患を列挙できる。											○												
			(5) 寄生虫	学修目標	①	原虫類・蠕虫類の分類および形態学的特徴を説明できる。																							
					②	寄生虫の生活史、感染経路と感染疫学的意義を説明できる。																							
					③	寄生虫感染宿主の生体防御の特徴を説明できる。																							
					④	各臓器・器官の主な寄生虫症を説明できる。																							
					⑤	寄生虫症の診断、治療と予防の概要を説明できる。																							
		2) 免疫と生体防御		ねらい		免疫系の機構を分子レベルで理解し、病原体に対する免疫反応、主な自己免疫疾患、先天性及び後天性免疫不全症候群(acquired immune deficiency syndrome <AIDS>)と癌細胞に対する免疫系の反応を理解する。																							
			(1) 免疫系の一般特性	学修目標	①	生体防御機構における免疫系の特徴（特異性、多様性、寛容、記憶）を説明できる。																○						
					②	免疫反応に関わる組織と細胞を説明できる。																○						
					③	免疫学的自己の確立と破綻を説明できる。																○						
					④	自然免疫と獲得免疫の違いを説明できる。																○						
			(2) 自己と非自己の識別に関与する分子とその役割	学修目標	①	主要組織適合遺伝子複合体(major histocompatibility complex <MHC>)クラスI とクラスII の基本構造、抗原提示経路の違いを説明できる。																○						
					②	免疫グロブリンとT 細胞抗原レセプターの構造と反応様式を説明できる。																○						
					③	免疫グロブリンとT 細胞抗原レセプター遺伝子の構造と遺伝子再構成に基づき、多様性獲得の機構を説明できる。																○						
					④	自己と非自己の識別機構の確立と免疫学的寛容を概説できる。																○						
			(3) 免疫反応の調節機構	学修目標	①	抗原レセプターからのシグナルを増強あるいは減弱する調節機構を概説できる。																○						
					②	代表的なサイトカイン・ケモカインの特徴を説明できる。																○						
					③	ヘルパーT 細胞(Th1 cell、Th2 cell、Th17 cell)、細胞傷害性T 細胞(cytotoxic T lymphocyte <CTL>)、制御性T 細胞(regulatory T cell <Treg>)それぞれが担当する生体防御反応を説明できる。																○						
			(4) 疾患と免疫	学修目標	①	ウイルス、細菌、真菌と寄生虫に対する免疫応答の特徴を説明できる。											○												
					②	原発性免疫不全症と後天性免疫不全症候群<AIDS>を概説できる。																○						
					③	免疫寛容の維持機構とその破綻による自己免疫疾患の発症を概説できる。																○						
					④	アレルギー発症の機序（Coombs 分類）を概説できる。						○										○						
					⑤	癌免疫に関わる細胞性機序を概説できる。							○						○									
		3) 生体と薬物		ねらい		薬物・毒物の生体への作用について、個体・細胞・分子のレベルにおける作用機序と、生体と薬物分子との相互作用を理解し、的確な薬物療法を行うための基本的な考え方を学ぶ。																							
			(1) 薬理作用の基本	学修目標	①	薬物・毒物の濃度反応曲線を描き、その決定因子を説明できる。																							
					②	薬物の受容体結合と薬理作用との定量的関連性及び活性薬・拮抗薬と分子構的薬を説明できる。																							
					③	薬物・毒物の用量反応曲線を描き、有効量・中毒量・致死量の関係を説明できる。																							
			(2) 薬物の動態	学修目標	①	薬物・毒物の吸収、分布、代謝と排泄を説明できる。																							
					②	薬物の生体膜通過に影響する因子を説明できる。																							
					③	薬物投与方法（経口、舌下、皮膚、粘膜、直腸、注射、吸入、点眼、点鼻等）を列挙し、それぞれの薬物動態を説明できる。																							
			(3) 薬物の評価	学修目標	①	薬物の評価におけるプラセボ効果の意義を説明できる。																							
	4 病因と病態	1) 遺伝的多様性と疾患		ねらい		ゲノム・染色体・遺伝子の多様性と疾患との関連を理解する。																							
				学修目標	①	ゲノムの多様性に基づく個体の多様性を説明できる。																							
					②	単一遺伝子疾患の遺伝様式を説明し、代表的な疾患を列挙できる。						○																	
					③	染色体異常による疾患の中で主なものを挙げ、概説できる。																			○				
					④	ミトコンドリア遺伝子の変異による疾患を挙げ、概説できる。						○																	
					⑤	エピゲノムの機序及び関連する疾患を概説できる。																							
					⑥	多因子疾患における遺伝要因と環境要因の関係を概説できる。																			○				
					⑦	薬剤の有効性や安全性とゲノムの多様性と関係を概説できる。																							
		2) 細胞傷害・変性と細胞死		ねらい		細胞傷害・変性と細胞死の病因と細胞・組織の形態的変化を理解する。																							
				学修目標	①	細胞傷害・変性と細胞死の多様性、病因と意義を説明できる。																							
					②	細胞傷害・変性と細胞死の細胞と組織の形態的変化の特徴を説明できる。																							
					③	ネクローシスとアポトーシスの違いを説明できる。																							
		3) 代謝障害		ねらい		糖、タンパク質、脂質等の代謝異常によって生じる多様な疾患について理解する。																							
				学修目標	①	糖質代謝異常の病態を説明できる。																							
					②	タンパク質・アミノ酸代謝異常の病態を説明できる。																							
					③	脂質代謝異常の病態を説明できる。																							
					④	核酸・ヌクレオチド代謝異常の病態を説明できる。																							
					⑤	ビタミン、微量元素の代謝異常の病態を説明できる。																							
					⑥	肥満に起因する代謝障害の病態を説明できる。																							
		4) 循環障害、臓器不全		ねらい		循環障害、臓器不全の病因と病態を理解する。																							
				学修目標	①	血行障害（阻血、虚血、充血、うっ血、出血）の違いとそれぞれの病因と病態を説明できる。							○					○							○			
					②	梗塞（血栓、塞栓）の種類と病態を説明できる。							○					○				○						

コア・カリキュラム一覧
（平成28年度改訂版）

							臨床入門実習P3	LPBLA3	リサーチP3	地域医療A3	理工B3	内科総論	外科総論	放射線診断学	臨床腫瘍学	腎尿路	感染症	循環器	呼吸器	消化器	運動器	神経	免疫・膠原病・アレルギー	内分泌・代謝	臓器再建・再生医療・外科	血液・移植	リハビリ・地域包括医療	救急・中毒
C 医学一般	4 病因と病態	4) 循環障害、臓器不全		学修目標	③	ショック（血流分布異常性ショック（アナフィラキシー、感染性（敗血症性）、神経原性）、循環血液量減少性ショック（出血性、体液喪失）、心原性ショック（心筋性、機械性、不整脈）、閉塞性ショック（心タンポナーデ、肺塞栓症、緊張性気胸））を説明できる。					○																	○
					④	血圧異常（高血圧、低血圧）を説明できる。												○										○
					⑤	臓器不全（多臓器不全、多臓器障害(multiple organ dysfunction syndrome（MODS））を説明できる。																						○
		5) 炎症と創傷治癒		ねらい		炎症の概念と感染症との関係、またそれらの治癒過程を理解する。																							
				学修目標	①	炎症の定義を説明できる。																○	○		○			
					②	炎症の分類、組織形態学的変化と経時的変化（局所的変化と全身的変化）を説明できる。																	○		○			
					③	感染症による炎症性変化を説明できる。											○								○			
					④	創傷の治癒過程を概説できる。																			○			
		6) 腫瘍		ねらい		発癌のメカニズムと、病態を理解する。																							
				学修目標	①	自律性の増殖と、良性腫瘍と悪性腫瘍の違いを説明できる。													○									
					②	癌の原因や遺伝子変化を説明できる。													○									
					③	腫瘍の分類、分化度、グレード、ステージを概説できる。													○									
					④	用語（異形成、上皮内癌、進行癌、早期癌、異型性、多形性等）を説明できる。							○						○									
					⑤	癌の診断と治療を概説できる。													○									
					⑥	癌の転移を説明できる。													○									
	5 人の行動と心理			ねらい		人の行動と心理を理解するための基礎的な知識と考え方を学ぶ。																							
		1) 人の行動		学修目標	①	行動と知覚、学習、記憶、認知、言語、思考、性格との関係を概説できる。																							
					②	行動の脳内基礎課程を説明できる。																							
					③	行動と人の内的要因、社会・文化的環境との関係を概説できる。																							
		2) 行動の成り立ち		学修目標	①	本能行動と学習行動（適応的な学習、適応的でない学習）を説明できる。																							
					②	レスポンデント条件付け（事象と事象との関係の学習）とオペラント条件付け（反応と結果との関係の学習）を説明できる。																							
					③	社会的学習（モデリング、観察学習、模倣学習）を概説できる。																							
		3) 動機付け		学修目標	①	生理的動機（個体保存、種族保存）、内発的動機（活動、感性、好奇、操作等）、及び社会的動機（達成、親和、愛着、支配等）を概説できる。																							
					②	動機付けを例示できる。																							
					③	欲求とフラストレーション・葛藤との関連を概説できる。																							
					④	適応（防衛）機制を概説できる。																							
		4) ストレス		学修目標	①	主なストレス学説を概説できる。																	○						
					②	人生、日常生活や仕事におけるストレスッサーとその健康への影響を例示できる。																							
					③	ストレス－コーピング過程に関連する心理社会的要因について説明できる。																	○						
					④	ストレス対処法について概説できる。																	○						
		5) 生涯発達		学修目標	①	こころの発達の原理を概説できる。																							
					②	ライフサイクルの各段階におけるこころの発達と発達課題をを概説できる。																							
					③	こころの発達にかかわる遺伝的要因と環境的要因を概説できる。																							
		6) 個人差		学修目標	①	パーソナリティーの類型と特性を概説できる。																							
					②	パーソナリティーの形成を概説できる。																							
					③	知能の発達と経年変化を概説できる。																							
					④	役割理論を概説できる。																							
					⑤	ジェンダーの形成並びに性的指向及び性自認への配慮方法を説明できる。																							
		7) 対人関係と対人コミュニケーション		学修目標	①	対人関係にかかわる心理的要因を概説できる。																							
					②	人間関係における欲求と行動の関係を概説できる。																							
					③	主な対人行動（援助、攻撃等）を概説できる。																							
					④	集団の中の人間関係（競争と協同、同調、服従と抵抗、リーダーシップ）を概説できる。																							
					⑤	効果的な対人コミュニケーションを説明できる。																							
					⑥	話し手と聞き手の役割を説明でき、適切なコミュニケーションスキルが使える。																							
					⑦	個と集団に及ぼす文化的影響を例示できる。																							
					⑧	文化・慣習によってコミュニケーションのあり方が異なることを例示できる。																							
		8) 行動変容における理論と技法		学修目標	①	健康行動や行動変容を行う動機付けを概説できる。																							
					②	行動療法を説明できる。																							
					③	認知行動療法を説明できる。																							
					④	心理教育を説明できる。																							
					⑤	生活習慣病における患者支援（自律性支援）や保健指導を概説できる。																							
D 人体各器官の正常構造と機能、病態、診断、治療	1 血液・造血器・リンパ系			ねらい		血液・造血器・リンパ系の構造と機能を理解し、主な疾患の病因、病態生理、症候、診断と治療を学ぶ。																							
		1) 構造と機能		学修目標	①	骨髄の構造を説明できる。																				○		
					②	造血幹細胞から各血球への分化と成熟の過程を説明できる。																				○		
					③	主な造血因子（エリスロポエチン、顆粒球コロニー刺激因子(granulocyte-colony stimulating factor（G-CSF））、トロンボポエチン）を説明できる。																	○					
					④	脾臓、胸腺、リンパ節、扁桃とPeyer板の構造と機能を説明できる。																				○		
					⑤	血漿タンパク質の種類と機能を説明できる。																							
					⑥	赤血球とヘモグロビンの構造と機能を説明できる。																							
					⑦	白血球の種類と機能を説明できる。																	○						

コア・カリキュラム一覧
（平成28年度改訂版）

						臨床実習入門P3	LPBL A3	リサーチP3	地域医療A3	理工B3	内科総論	外科総論	放射線診断学	臨床腫瘍学	腎・尿路	感染症	循環器	呼吸器	消化器	運動器	神経	免疫・膠原病・アレルギー	内分泌・代謝	臓器再建・再生医療・再生医療	血液・移植	リハビリ・地域包括医療	救急・中毒
D 人体各器官の正常構造と機能、病態、診断、治療	1 血液・造血器・リンパ系	1) 構造と機能		学修目標	⑧ 血小板の機能と止血や凝固・線溶の機序を説明できる。																					
		2) 診断と検査の基本		学修目標	① 末梢血の血球数の基準値とその変化の意義を説明できる。																					
					② 骨髄検査（骨髄穿刺、骨髄生検）を説明できる。																			○		
					③ 血漿タンパク質の基準値とその変化の意義を説明できる。																					
		3) 症候		学修目標	① 発熱																○			○		
					② 全身倦怠感																○			○		
					③ 黄疸																			○		
					④ 貧血																○			○		
					⑤ 出血傾向																○			○		
					⑥ リンパ節腫脹																○			○		
					⑦ 腹部膨隆（腹水を含む）・腫瘤																			○		
		4) 疾患	(1) 貧血	学修目標	① 貧血を分類し、鑑別に有用な検査を列挙できる。																○			○		
					② 鉄欠乏性貧血、二次性貧血の病因、病態、診断と治療を説明できる。																○			○		
					③ 再生不良性貧血・夜間発作性血色素尿症(paroxysmal nocturnal hemoglobinuria <PNH>)の病因、病態、診断、治療と予後を説明できる。																			○		
					④ 溶血性貧血の病因、病態、診断と治療を説明できる。																			○		
					⑤ 巨赤芽球性貧血の病因、病態、診断と治療を説明できる。																			○		
			(2) 出血傾向・紫斑病その他	学修目標	① 出血傾向の病因、病態、症候と診断を説明できる。																			○		
					② 免疫性血小板減少性紫斑病（immune thrombocytopenic purpura<ITP>）の病態、症候、診断と治療を説明できる。																○			○		
					③ 血友病の病態、症候、診断、治療と遺伝形式を説明できる。																			○		
					④ 播種性血管内凝固(disseminated intravascular coagulation <DIC>)の基礎疾患、病態、診断と治療を説明できる。																			○		○
					⑤ 溶血性尿毒症症候群(hemolytic-uremic syndrome <HUS>)の基礎疾患、病態、診断と治療を説明できる。																					
					⑥ IgA 血管炎(Schönlein-Henoch 紫斑病)を概説できる。																○					
					⑦ 血栓性血小板減少性紫斑病(thrombotic thrombocytopenic purpura <TTP>)を概説できる。																○					
			(3) 脾臓疾患	学修目標	① 脾腫をきたす疾患を列挙し、鑑別の要点を説明できる。																			○		
			(4) 腫瘍性疾患	学修目標	① 急性白血病の病態、症候、病理所見、治療と予後を説明できる。																			○		
					② 急性白血病のFrench-American-British <FAB>分類、WHO分類を概説できる。																			○		
					③ 慢性骨髄性白血病の病態、症候、病理所見、治療と予後を説明できる。																			○		
					④ 骨髄異形成症候群(myelodysplastic syndromes <MDS>)の臨床像と病理所見を説明できる。																			○		
					⑤ 成人T 細胞白血病の病因、疫学、臨床所見、病理所見を説明できる。																			○		
					⑥ 小児白血病と成人白血病の違いを説明できる。																			○		
					⑦ 真性赤血球増加症・本態性血小板血症、骨髄線維症の病因、病態、診断と治療を説明できる。																			○		
					⑧ 悪性リンパ腫の分類を概説し、病態、症候、病理所見、治療と予後を説明できる。																			○		
					⑨ 多発性骨髄腫の病態、症候、診断、治療と予後を説明できる。																			○		
	2 神経系			ねらい	神経系の正常構造と機能を理解し、主な神経系疾患の病因、病態生理、症候、診断と治療を学ぶ。																					
		1) 構造と機能	(1) 神経系の一般特性	学修目標	① 中枢神経系と末梢神経系の構成を概説できる。																○					
					② 脳の血管支配と血液脳関門を説明できる。																○					
					③ 脳のエネルギー代謝の特徴を説明できる。																○					
					④ 主な脳内神経伝達物質（アセチルコリン、ドパミン、ノルアドレナリン）とその作用を説明できる。																○					
					⑤ 髄膜・脳室系の構造と脳脊髄液の産生と循環を説明できる。																○					
			(2) 脊髄と脊髄神経	学修目標	① 脊髄の構造、機能局在と伝導路を説明できる。															○	○					
					② 脊髄反射（伸張反射、屈筋反射）と筋の相反神経支配を説明できる。															○	○				○	
					③ 脊髄神経と神経叢（頸神経叢、腕神経叢、腰神経叢、仙骨神経叢）の構成及び主な骨格筋支配と皮膚分布（デルマトーム）を概説できる。															○	○				○	
			(3) 脳幹と脳神経	学修目標	① 脳幹の構造と伝導路を説明できる。																○					
					② 脳神経の名称、核の局在、走行・分布と機能を概説できる。																○					
					③ 脳幹の機能を概説できる。																○					
			(4) 大脳と高次機能	学修目標	① 大脳の構造を説明できる。																○					
					② 大脳皮質の機能局在（運動野・感覚野・言語野）を説明できる。																○					
					③ 記憶、学習の機序を辺縁系の構成と関連させて概説できる。																○				○	
			(5) 運動系	学修目標	① 随意運動の発現機構を錐体路を中心として概説できる。																○					
					② 小脳の構造と機能を概説できる。																○					
					③ 大脳基底核（線条体、淡蒼球、黒質）の線維結合と機能を概説できる。																○					
			(6) 感覚系	学修目標	① 痛覚、温度覚、触覚と深部感覚の受容機序と伝導路を説明できる。																○					
					② 視覚、聴覚・平衡覚、嗅覚、味覚の受容機序と伝導路を概説できる。																○					
			(7) 自律機能と本能行動	学修目標	① 交感神経系と副交感神経系の中枢内局在、末梢分布、機能と伝達物質を概説できる。																○					
					② 視床下部の構造と機能を内分泌及び自律機能と関連付けて概説できる。																○					
					③ ストレス反応と本能・情動行動の発現機序を概説できる。																○	○				
		2) 診断と検査の基本		学修目標	① 脳・脊髄のコンピュータ断層撮影(computed tomography <CT>)・磁気共鳴画像法(magnetic resonance imaging <MRI>)検査の適応と異常所見を説明し、結果を解釈できる。																○					
					② 神経系の電気生理学的検査（脳波検査、筋電図、末梢神経伝導速度）で得られる情報を説明できる。																○				○	
		3) 症候		学修目標	① けいれん																○					○

コア・カリキュラム一覧（平成28年度改訂版）							臨床入門P3実習	LPBL A3	リサーチP3	地域医療A3	理工B3	内科総論	外科総論	放射線診断学	臨床腫瘍学	腎尿路	感染症	循環器	呼吸器	消化器	運動器	神経	免疫・膠原病・アレルギー	内分泌・代謝	皮膚科・再建外科・再生医療	血液・移植	リハビリ・地域包括医療	救急・中毒
D 人体各器官の正常構造と機能、病態、診断、治療	2 神経系	3) 症候		学修目標	②	意識障害・失神																○						○
					③	めまい																						
					④	頭痛																○						
					⑤	運動麻痺・筋力低下																○						
			(1) 運動失調障害と不随意運動	学修目標	①	小脳性・前庭性・感覚性運動失調障害を区別して説明できる。																○						
					②	振戦を概説できる。																○						
					③	その他の不随意運動（ミオクローヌス、舞踏運動、ジストニア、固定姿勢保持困難(asterixis)、アテトーシス、チック）を概説できる。																○						
			(2) 歩行障害	学修目標	①	歩行障害を病態に基づいて分類できる。																○						
			(3) 言語障害	学修目標	①	失語症と構音障害の違いを説明できる。																○					○	
			(4) 頭蓋内圧亢進	学修目標	①	脳浮腫の病態を説明できる。																○						○
					②	急性・慢性頭蓋内圧亢進の症候を説明できる。																○						○
					③	脳ヘルニアの種類と症候を説明できる。																○						○
		4) 疾患	(1) 脳・脊髄血管障害	学修目標	①	脳血管障害（脳出血、くも膜下出血、頭蓋内血腫、脳梗塞、一過性脳虚血発作）の病態、症候と診断を説明できる。																○						○
					②	脳血管障害の治療と急性期・回復期・維持期（生活期）のリハビリテーション医療を概説できる。																○					○	
			(2) 認知症と変性疾患	学修目標	①	認知症の病因を列挙できる。																○						
					②	認知症をきたす主な病態（Alzheimer 型認知症、Lewy 小体型認知症、血管性認知症）の症候と診断を説明できる。																○						
					③	Parkinson 病の病態、症候と診断を説明できる。																○					○	
					④	筋萎縮性側索硬化症を概説できる。																○					○	
					⑤	多系統萎縮症を概説できる。																○						
			(3) 感染性・炎症性・脱髄性疾患	学修目標	①	脳炎・髄膜炎、脳症の病因、症候と診断を説明できる。											○					○						○
					②	多発性硬化症の病態、症候と診断を説明できる。											○					○						
			(4) 頭部外傷	学修目標	①	頭部外傷の分類を説明できる。																○						○
					②	急性硬膜外・硬膜下血腫及び慢性硬膜下血腫の症候と診断を説明できる。																○						○
					③	頭部外傷後の高次脳機能障害を説明できる。																○					○	○
			(5) 末梢神経疾患	学修目標	①	ニューロパチーの病因（栄養障害、中毒、遺伝性）と病態を分類できる。																○						
					②	Guillain–Barré 症候群の症候、診断を説明できる。																○						
					③	Bell 麻痺の症候、診断を説明できる。																○						
					④	主な神経障害性疼痛（三叉・坐骨神経痛）を概説できる。																○						
			(6) 筋疾患	学修目標	①	重症筋無力症の病態、症候と診断を説明できる。																○						
					②	進行性筋ジストロフィーの病因、分類、症候と診断を説明できる。																○						
					③	周期性四肢麻痺を概説できる。																○						
			(7) 発作性疾患	学修目標	①	てんかんの分類、診断と治療を説明できる。																○						
			(8) 頭痛	学修目標	①	頭痛（偏頭痛、緊張型頭痛等）の分類、診断と治療を説明できる。																○						
			(9) 先天性と周産期脳障害	学修目標	①	脳性麻痺の病因、病型、症候とリハビリテーションを説明できる。																					○	
					②	水頭症の症候と治療を説明できる。																○						
			(10) 腰痛性疾患	学修目標	①	主な脳・脊髄腰痛の分類と好発部位を説明し、病態を概説できる。																○						
	3 皮膚系			ねらい		皮膚の構造と機能を理解し、主な皮膚疾患の病因、病態生理、症候、診断と治療を学ぶ。																						
		1) 構造と機能		学修目標	①	皮膚の組織構造を図示して説明できる。																			○			
					②	皮膚の細胞動態と角化の機構を説明できる。																						
					③	皮膚の免疫防御能を説明できる。																	○					
		2) 診断と検査の基本		学修目標	①	皮膚検査法（硝子圧法、皮膚描記法(Darier 徴候)、Nikolsky 現象、Tzanck 試験、光線テスト）を概説できる。																						
					②	皮膚アレルギー検査法（プリックテスト、皮内テスト、パッチテスト）を説明できる。						○																
					③	微生物検査法（検体採取法、苛性カリ（KOH）直接検鏡法）を概説できる。																						
		3) 症候		学修目標	①	発疹																						
		4) 疾患	(1) 湿疹・皮膚炎	学修目標	①	湿疹反応を説明できる。																						
					②	湿疹・皮膚炎の疾患（接触皮膚炎、アトピー性皮膚炎、脂漏性皮膚炎、貨幣状湿疹、皮脂欠乏性湿疹、自家感作性皮膚炎）を列挙し、概説できる。																						
			(2) 蕁麻疹、紅斑症、紅皮症と皮膚掻痒症	学修目標	①	蕁麻疹の病態、診断と治療を説明できる。																						
					②	多形滲出性紅斑、環状紅斑と紅皮症の病因と病態を説明できる。																						
					③	皮膚そう痒症の病因と病態を説明できる。																						
			(3) 紫斑・血流障害と血管炎	学修目標	①	皮膚血流障害と血管炎の病因、症候と病態を説明できる。																	○					
			(4) 薬疹・薬物障害	学修目標	①	薬疹や薬物障害の発生機序、症候と治療を説明できる。																						
					②	薬疹を起こしやすい主な薬物を列挙できる。																						
			(5) 水疱症と膿疱症	学修目標	①	自己免疫性水疱症の病因、病態と分類を説明できる。																						
					②	膿疱症の種類と病態を説明できる。																						
					③	水疱症鑑別のための検査法を説明できる。																						
			(6) 乾癬と角化症	学修目標	①	尋常性乾癬、扁平苔癬とGibert 薔薇色粃糠疹の病態、症候と治療を説明できる。																						
					②	魚鱗癬の病態、症候と治療を説明できる。																						
			(7) 皮膚感染症	学修目標	①	皮膚細菌感染症（伝染性膿痂疹、せつ、癤、毛嚢炎、丹毒、ブドウ球菌性熱傷様皮膚症候群）を列挙し、概説できる。											○										
					②	皮膚真菌症（表在性、深在性）の症候と病型を説明できる。											○										

コア・カリキュラム一覧
（平成28年度改訂版）

							臨床入門P3実習	LPBL A3	リサーチP3	地域医療A3	理工B3	内科総論	外科総論	放射線診断学	臨床腫瘍学	腎尿路	感染症	循環器	呼吸器	消化器	運動器	神経	免疫・膠原病・アレルギー	内分泌・代謝	臓器再建・再生医療	血液・移植	リハビリ・地域包括医療	救急・中毒
D 人体各器官の正常構造と機能、病態、診断、治療	3 皮膚系	4）疾患	(7) 皮膚感染症	学修目標	③	皮膚結核病の症候、病型と病因菌を説明できる。											○											
					④	梅毒の症候、病期と合併症を説明できる。											○											
					⑤	皮膚ウイルス感染症（単純ヘルペス、帯状疱疹、伝染性軟属腫、麻疹、風疹、水痘）を列挙し、概説できる。											○											
					⑥	後天性免疫不全症候群<AIDS>に伴う皮膚症状（梅毒、難治性ヘルペス、伝染性軟属腫、カポジ肉腫等）を列挙し、概説できる。											○											
			(8) 母斑・腫瘍性疾患・腫瘍	学修目標	①	母斑・母斑症の種類を列挙できる。																			○			
					②	皮膚良性腫瘍、前癌状態と悪性腫瘍の種類と見分け方を説明できる。																			○			
					③	皮膚悪性リンパ腫、血管肉腫を説明できる。																						
					④	基底細胞上皮腫（癌）の定義と病態、症候、皮疹とダーモスコピー像の所見、病理所見や診断、治療法を説明できる。																			○			
					⑤	有棘細胞癌の定義と病態、症候、皮疹とダーモスコピー像の所見、病理所見や診断、治療法を説明できる。																			○			
					⑥	悪性黒色腫の定義と病態、症候、皮疹とダーモスコピー像の所見、病理所見や診断、治療法を説明できる。																			○			
			(9) 付属器疾患	学修目標	①	毛の疾患の病態、症状と治療を説明できる。																			○			
					②	爪の疾患の病態、症状と治療を説明できる。																			○			
	4 運動器（筋骨格）系			ねらい		運動器系の正常構造と機能を理解し、主な運動器疾患の病因、病態生理、症候、診断と治療を学ぶ。																						
		1）構造と機能		学修目標	①	骨・軟骨・関節・靭帯の構成と機能を説明できる。							○								○		○		○			
					②	頭頸部の構成を説明できる。															○							
					③	脊柱の構成と機能を説明できる。															○							
					④	四肢の骨格、主要筋群の運動と神経支配を説明できる。							○								○							
					⑤	骨盤の構成と性差を説明できる。															○							
					⑥	骨の成長と骨形成・吸収の機序を説明できる。															○				○			
					⑦	姿勢と体幹の運動にかかわる筋群を概説できる。															○							
					⑧	抗重力筋を説明できる。															○							
		2）診断と検査の基本		学修目標	①	筋骨格系の病態に即した徒手検査（四肢・脊柱の可動域検査、神経学的検査等）を説明できる。															○							
					②	筋骨格系画像診断（エックス線撮影、コンピュータ断層撮影<CT>、核磁気共鳴画像法<MRI>、超音波検査、骨塩定量）の適応を概説できる。														○							
		3）症候		学修目標	①	運動麻痺・筋力低下															○							
					②	関節痛・関節腫脹															○		○					
					③	腰背部痛															○							
		4）疾患	(1) 運動器系の一般的疾患	学修目標	①	四肢・脊椎外傷の診断と初期治療を説明できる。															○						○	○
					②	関節の脱臼、靭帯損傷の定義、重症度分類、診断と治療を説明できる。															○							
					③	骨折の分類、症候、診断、治療と合併症を説明できる。															○				○			
					④	コンパートメント症候群の病態、症候、診断と治療を説明できる。															○							○
					⑤	骨粗鬆症の病因と病態を説明し、骨折の好発部位を列挙できる。															○							
					⑥	関節炎、腱鞘炎の病態、診断と治療を説明できる。															○		○					
					⑦	変形性関節症の症候、診断と治療を説明できる。															○							
					⑧	絞扼性末梢神経障害（手根管症候群、肘部管症候群等）を列挙し、その症候を説明できる。															○							
					⑨	頸椎症性脊髄症（脊柱靭帯骨化症を含む）・頸椎症性神経根症の神経症候を説明できる。															○							
					⑩	脊髄損傷の診断、治療を説明できる。															○						○	○
					⑪	腰椎椎間板ヘルニアの症候、診断と治療を説明できる。															○							
					⑫	腰部脊柱管狭窄症の病態、症候、診断と治療を説明できる。															○							
					⑬	腰椎分離・すべり症の症候、診断と治療を説明できる。															○							
					⑭	運動器慢性疼痛（腰背部痛、頸部痛、肩こり）の病態、診断と治療を説明できる。															○							
					⑮	運動器疾患のリハビリテーションを概説できる。															○						○	
			(2) 感染性疾患	学修目標	①	化膿性関節炎の症候、診断と治療を説明できる。															○							
					②	椎間板炎、化膿性脊椎炎、脊椎カリエス症候、診断と治療を説明できる。															○							
			(3) 腫瘍性疾患	学修目標	①	原発性骨腫瘍（骨肉腫、Ewing肉腫）の臨床所見、画像所見、病理所見、初期治療を説明できる。															○							
					②	転移性骨腫瘍の臨床所見、画像所見、検査所見を説明できる。															○							
					③	悪性軟部腫瘍（脂肪肉腫）の診断、病理所見、治療を概説できる。															○							
	5 循環器系			ねらい		循環器（心血管）系の構造と機能を理解し、各科日常診療の基本となる一般的な循環器疾患の予防、病因、病態生理、症候、診断と初期対応を中心とした治療を学ぶ。																						
		1）構造と機能		学修目標	①	心臓の構造と分布する血管・神経、冠動脈の特長とその分布域を説明できる。												○										
					②	心筋細胞の微細構造と機能を説明できる。												○										
					③	心筋細胞の電気現象と心臓の興奮（刺激）伝導系を説明できる。												○										
					④	興奮収縮連関を概説できる。												○										
					⑤	体循環、肺循環と胎児・胎盤循環を説明できる。												○										
					⑥	大動脈と主な分枝（頭頸部、上肢、胸部、腹部、下肢）を図示し、分布域を概説できる。												○										
					⑦	主な静脈を図示し、門脈系と上・下大静脈系を説明できる。												○										
					⑧	毛細血管における物質・水分交換を説明できる。												○										
					⑨	胸管を経由するリンパの流れを概説できる。												○										
					⑩	心周期にともなう血行動態を説明できる。												○										
					⑪	心機能曲線と心拍出量の調節機序を説明できる。												○										
					⑫	主な臓器（脳、心臓、肺、腎臓）の循環調節を概説できる。												○										

コア・カリキュラム一覧
（平成28年度改訂版）

							臨床入門実習P3	LPBLA3	リサーチP3	地域医療A3	理工B3	内科総論	外科総論	放射線診断学	臨床腫瘍学	腎尿路	感染症	循環器	呼吸器	消化器	運動器	神経	免疫・膠原病・アレルギー	内分泌・代謝	腎臓再建外科・再生医療	血液・移植	リハビリ・地域包括医療	救急・中毒
D 人体各器官の正常構造と機能、病態、診断、治療	5 循環器系	1) 構造と機能		学修目標	⑬	血圧調節の機序を説明できる。												○										○
					⑭	体位や運動に伴う循環反応とその機序を説明できる。												○										
		2) 診断と検査の基本		学修目標	①	胸部エックス線撮影写真、心電図の主な所見を説明できる。												○										
					②	心臓音波検査の主な所見を説明できる。												○										
					③	運動負荷心電図、ホルター心電図を説明できる。												○										
					④	心臓シンチグラフィーについて説明できる。												○										
					⑤	冠動脈造影、冠動脈コンピュータ断層撮影（CT）及び心臓磁気共鳴画像法（MRI）の主な所見を説明できる。												○										
					⑥	心カテーテル検査（心内圧、心機能、シャント率の測定）と結果の解釈を説明できる。												○										
		3) 症候		学修目標	①	発熱																						
					②	全身倦怠感																						
					③	食思（欲）不振																						
					④	体重減少・体重増加																						
					⑤	ショック																						○
					⑥	意識障害・失神																○						○
					⑦	けいれん																○						○
					⑧	めまい																						
					⑨	浮腫																						
					⑩	咳・痰																						
					⑪	呼吸困難																						○
					⑫	胸痛																						○
					⑬	動悸																						
					⑭	胸水																						
					⑮	嚥下困難・障害																						
					⑯	腹痛																						○
					⑰	悪心・嘔吐																						
					⑱	頭痛																○						○
					⑲	腰背部痛																						
					⑳	心停止																						○
		4) 疾患	(1) 心不全	学修目標	①	心不全の定義と原因、病態生理（収縮不全、拡張不全）を説明できる。												○										
					②	左心不全と右心不全の徴候、病態、診断と治療を説明できる。						○						○										
					③	急性心不全と慢性心不全の診断と薬物療法、非薬物療法（心臓リハビリテーションを含む）を説明できる。												○									○	
					④	心不全診療における多職種連携（チーム医療）による疾病管理プログラムを概説できる。												○										
					⑤	高齢者における心不全の特徴を説明できる。												○										
			(2) 虚血性心疾患	学修目標	①	安定労作性狭心症の病態、症候、診断、治療を説明できる。												○										
					②	冠攣縮性狭心症の病態、症候、診断、治療を説明できる。												○										
					③	急性冠症候群（不安定狭心症、非ST 上昇型心筋梗塞及びST 上昇型心筋梗塞）の病態、症候、診断、治療を説明できる。						○						○										
					④	虚血性心疾患の発症予防、再発予防を説明できる。												○										
					⑤	陳旧性心筋梗塞の病態、症候、診断、治療を説明できる。												○										
					⑥	虚血性心疾患の薬物治療、非薬物療法（血行再建術（経皮的冠動脈形成術、ステント留置術、冠動脈バイパス術））、心臓リハビリテーションを説明できる。												○									○	
			(3) 不整脈	学修目標	①	主な徐脈性不整脈（洞不全症候群（sick sinus 症候群）、房室ブロック）の原因、症候、心電図の特徴、治療を説明できる。												○										
					②	主な上室性頻脈性不整脈（洞性頻脈、上室性期外収縮、心房細動、心房粗動、発作性上室性頻拍症）の原因、症候、心電図の特徴、治療を説明できる。												○										
					③	主な心室性頻脈性不整脈（心室性期外収縮、心室頻拍、多源性心室頻拍（トルサード・ド・ポワント（torsadesde pointes）、心室細動）の原因、症候、心電図の特徴、治療を説明できる。												○										
					④	不整脈の原因となる疾患や病態（電解質異常、QT 延長症候群、薬剤、甲状腺機能亢進症、Wolff-Parkinson-White（WPW）症候群、Brugada 症候群等）を説明できる。												○										
					⑤	不整脈の薬物療法、非薬物療法（カテーテルアブレーション、電気的除細動、ペースメーカー植え込み、植え込み型除細動器）を概説できる。												○										
					⑥	致死性不整脈の診断、初期対応、治療を説明できる。												○										○
			(4) 弁膜症	学修目標	①	主な弁膜症（僧帽弁疾患、大動脈弁疾患）の病因、病態生理、症候と診断を説明し、治療を説明できる。												○										
			(5) 心筋・心膜疾患	学修目標	①	心肥大の病態生理、リモデリング機序を説明できる。												○										
					②	特発性心筋症（肥大型心筋症、拡張型心筋症、拘束型心筋症）と二次性心筋疾患の定義・概念と病態生理を説明できる。												○										
					③	急性心筋炎の病態、症候、診断、治療症候を説明できる。												○										
					④	感染性心内膜炎の病態、症候、診断、治療を説明できる。												○										
					⑤	急性心膜炎、収縮性心膜炎の病態、症候、診断、治療を説明できる。												○										
					⑥	心タンポナーデの病態、症候、診断、治療を説明できる。												○										○
					⑦	主な心臓腫瘍（粘液腫など）の病態、症候、診断、治療を説明できる。												○										
			(6) 先天性心疾患	学修目標	①	主な先天性心疾患（心房中隔欠損症、心室中隔欠損症、動脈管開存、Fallot 四徴症）の病態生理、症候と診断を説明し、治療を概説できる。												○										
			(7) 動脈疾患	学修目標	①	動脈硬化の危険因子、病態、非侵襲的検査法を説明できる。												○										
					②	急性大動脈解離の病態、症候、診断、治療を説明できる。												○										
					③	大動脈瘤（破裂）の病態、症候、診断、治療を説明できる。												○										
					④	閉塞性動脈硬化症とBuerger 病の病態、症候、診断、治療を説明できる。							○					○										
					⑤	高安動脈炎（大動脈炎症候群）を概説できる。												○					○					

コア・カリキュラム一覧
（平成28年度改訂版）

							臨床入門P3実習	LPBL A3	リサーチP3	地域医療A3	理工B3	内科総論	外科総論	放射線診断学	臨床腫瘍学	腎尿路	感染症	循環器	呼吸器	消化器	運動器	神経	免疫・膠原病・アレルギー	内分泌・代謝	臓器再建・再生医療・再生医療	血液・移植	リハビリ・地域包括医療	救急・中毒
D 人体各器官の正常構造と機能、病態、診断、治療	5 循環器系	4）疾患	(8) 静脈・リンパ管疾患	学修目標	①	深部静脈血栓症(deep vein thrombosis <DVT>)、血栓性静脈炎の病因、症候、合併症、治療を説明できる。												○										
					②	上大静脈症候群の病因と症候を説明できる。												○										
					③	下肢静脈瘤を説明できる。												○							○			
					④	リンパ浮腫の病因を列挙できる。												○							○			
			(9) 高血圧症	学修目標	①	本態性高血圧症の疫学、診断、合併症、予後、治療を説明できる。												○										
					②	二次性高血圧症の病因（内分泌性、腎血管性、薬剤性）、症候、診断、治療を説明できる。										○		○										
					③	各種降圧薬の作用機序、適応、禁忌、副作用を説明できる。										○		○										
					④	高血圧緊急症の病態と対応を説明できる。												○										
					⑤	他疾患（脳血管疾患、心疾患、腎疾患、糖尿病）を合併する場合の血圧管理を説明できる。												○										
					⑥	高齢者の高血圧の特徴と治療の注意点を説明できる。												○										
			(10) 低血圧症	学修目標	①	低血圧の原因疾患、病態生理、症候、診断、予後、治療を説明できる。												○										
					②	起立性低血圧、神経調節性失神の診断、予後、治療を説明できる。												○										
			(11) 腫瘍性疾患	学修目標	①	粘液腫の定義と病態、症候、検査所見、画像所見、病理所見、診断、治療法を説明できる。																			○			
	6 呼吸器系			ねらい		呼吸器系の構造と機能を理解し、主な呼吸器疾患の病因、病態生理、症候、診断と治療を学ぶ。																						
		1）構造と機能		学修目標	①	気道の構造、肺葉・肺区域と肺門の構造を説明できる。													○									
					②	肺循環と体循環の違いを説明できる。												○	○				○					
					③	縦隔と胸膜腔の構造を説明できる。													○									
					④	呼吸筋と呼吸運動の機序を説明できる。													○									
					⑤	肺気量分画、換気、死腔（換気力学（胸腔内圧、肺コンプライアンス、抵抗、クロージングボリューム(closingvolume)））を説明できる。						○							○									
					⑥	肺胞におけるガス交換と血流の関係を説明できる。													○									
					⑦	肺の換気と血流（換気血流比）が動脈血ガスにおよぼす影響（肺胞気−動脈血酸素分圧較差(alveolar−arterialoxygen difference <A−aDO2>)）を説明できる。													○									
					⑧	呼吸中枢を介する呼吸調節の機序を説明できる。													○									
					⑨	血液による酸素 と二酸化炭素 の運搬の仕組みを説明できる。													○									
					⑩	気道と肺の防御機構（免疫学的・非免疫学的）と代謝機能を説明できる。													○									
		2）診断と検査の基本		学修目標	①	単純エックス線撮影、コンピュータ断層撮影<CT>、磁気共鳴画像法<MRI>、及び核医学検査（ポジトロン断層法(positron emission tomography <PET>)検査を含む）等の画像検査の意義を説明できる。													○									
					②	気管支内視鏡検査の意義を説明できる。													○									
					③	喀痰検査(喀痰細胞診、喀痰培養)の意義を説明できる。											○		○									
		3）症候	(1) 喘鳴	学修目標	①	喘鳴の発生機序と原因疾患を説明できる。													○									
			(2) その他の症候	学修目標	①	胸水													○									
					②	胸痛・胸部圧迫感													○									○
					③	呼吸困難・息切れ													○									○
					④	咳・痰													○									
					⑤	血痰・喀血													○									
		4）疾患	(1) 呼吸不全、低酸素血症と高二酸化炭素血症	学修目標	①	呼吸不全の定義、分類、病態生理と主な病因を説明できる。													○									
					②	低酸素血症と高二酸化炭素血症の病因、分類と診断を説明し、治療を概説できる。													○									
			(2) 呼吸器感染症	学修目標	①	急性上気道感染症（かぜ症候群）と扁桃炎の病因、診断と治療を説明できる。											○		○									
					②	気管支炎・細気管支炎・肺炎（定型肺炎、非定型肺炎）の主な病原体を列挙し、症候、診断と治療を説明できる。											○		○									
					③	肺結核症と肺真菌症の症候、診断、治療と届出手続きを説明できる。											○		○									
					④	非結核性(非定型)抗酸菌症を概説できる。											○		○									
					⑤	誤嚥性肺炎の発生機序とその予防法を説明できる。											○		○									
					⑥	クループ症候群と急性喉頭蓋炎の病因、診断と治療を説明できる。											○		○									
					⑦	肺化膿症と膿胸を概説できる。											○		○									
			(3) 閉塞性換気障害・拘束性換気障害をきたす肺疾患	学修目標	①	慢性閉塞性肺疾患(chronic obstructive pulmonary disease <COPD>)の病因を列挙できる。													○									
					②	慢性閉塞性肺疾患<COPD>の病因、診断、治療、呼吸器リハビリテーションを説明できる。													○								○	
					③	気管支喘息（小児喘息を含む）の病態生理、診断と治療を説明できる。													○				○					
					④	間質性肺炎（特発性、膠原病及び血管炎関連性）の病態、診断と治療を説明できる。													○				○					
					⑤	びまん性汎細気管支炎を概説できる。													○									
					⑥	放射線肺炎を概説できる。													○									
					⑦	じん肺症(珪肺(silicosis)、石綿肺(asbestosis))を概説できる。													○									
			(4) 肺循環障害	学修目標	①	肺性心の病因、診断と治療を説明できる。												○	○									
					②	急性呼吸促(窮)迫症候群(acute respiratory distress syndrome <ARDS>)の病因、症候と治療を説明できる。													○									○
					③	肺血栓塞栓症の病因、診断と治療を説明できる。												○	○									○
					④	肺高血圧症を概説できる。												○	○				○					
			(5) 免疫学的機序による肺疾患	学修目標	①	過敏性肺炎の病因、症候と診断を説明できる。													○									
					②	サルコイドーシスの症候、診断と治療を説明できる。													○				○					
					③	好酸球性肺炎を概説できる。													○									
					④	薬剤性肺炎を概説できる。													○									
			(6) 異常呼吸	学修目標	①	過換気症候群を概説できる。													○									
					②	睡眠時無呼吸症候群を概説できる。													○									

コア・カリキュラム一覧（平成28年度改訂版）							臨床実習入門P3	LPBL A3	リサーチP3	地域医療A3	理工B3	内科総論	外科総論	放射線診断学	臨床腫瘍学	腎尿路	感染症	循環器	呼吸器	消化器	運動器	神経	免疫・膠原病・アレルギー	内分泌・代謝	臓器再建外科・再生医療	血液・移植	リハビリ・地域包括医療	救急・中毒
D 人体各器官の正常構造と機能、病態、診断、治療	6 呼吸器系	4)疾患	(6) 異常呼吸	学修目標	③	肺胞低換気症候群を概説できる。													○									
			(7) 気管支拡張症とその他の肺疾患	学修目標	①	気管支拡張症の症候、診断と治療を説明できる。													○									
					②	無気肺の病因と診断を説明できる。													○									
					③	新生児呼吸促迫症候群の症候、病態、診断と治療を説明できる。													○									
					④	肺リンパ脈管筋腫症を概説できる。													○									
					⑤	肺胞タンパク症を概説できる。													○									
			(8) 胸膜・縦隔疾患	学修目標	①	胸膜炎の病因、症候、診断と治療を説明できる。													○									
					②	気胸（自然気胸、緊張性気胸、外傷性気胸）の病因、症候、診断と治療を説明できる。													○									○
					③	縦隔気腫の病因、症候と診断を説明できる。													○									
					④	胸膜生検の適応を説明できる。													○									
			(9) 腫瘍性疾患	学修目標	①	肺癌の組織型、病期分類、病理所見、診断、治療を説明できる。													○									
					②	転移性肺腫瘍の診断と治療を説明できる。													○									
					③	縦隔腫瘍の種類を列挙し、診断と治療を説明できる。													○									
					④	胸膜中皮腫の病因、診断、治療を概説できる。													○									
	7 消化器系			ねらい		消化器系の正常構造と機能を理解し、主な消化器系疾患の病因、病態生理、症候、診断と治療を学ぶ。																						
		1) 構造と機能		学修目標	①	各消化器官の位置、形態と関係する血管を図示できる。														○								
					②	腹膜と臓器の関係を説明できる。																						
					③	食道・胃・小腸・大腸の基本構造と部位による違いを説明できる。														○								
					④	消化管運動の仕組みを説明できる。														○								
					⑤	消化器官に対する自律神経の作用を説明できる。														○								
					⑥	肝の構造と機能を説明できる。							○							○								
					⑦	胃液の作用と分泌機序を説明できる。														○								
					⑧	胆汁の作用と胆嚢収縮の調節機序を説明できる。														○								
					⑨	膵外分泌系の構造と膵液の作用を説明できる。														○								
					⑩	小腸における消化・吸収の仕組みを説明できる。														○								
					⑪	大腸における糞便形成と排便の仕組みを説明できる。							○							○								
					⑫	主な消化管ホルモンの作用を説明できる。														○								
					⑬	歯、舌、唾液腺の構造と機能を説明できる。														○					○			
					⑭	咀しゃくと嚥下の機構を説明できる。														○								
					⑮	消化管の正常細菌叢（腸内細菌叢）の役割を説明できる。														○								
		2) 診断と検査の基本		学修目標	①	代表的な肝炎ウイルス検査の検査項目を列挙し、その意義を説明できる。											○			○								
					②	消化器関連の代表的な腫瘍マーカー（α-fetoprotein <AFP>、carcinoembryonic antigen <CEA>、carbohydrateantigen <CA> 19-9、protein induced by vitamin K absence or antagonists <PIVKA>-Ⅱ）の意義を説明できる。														○								
					③	消化器系疾患の画像検査を列挙し、その適応と異常所見を説明し、結果を解釈できる。														○								
					④	消化器内視鏡検査から得られる情報を説明できる。														○								
					⑤	生検と細胞診の意義と適応を説明できる。																						
		3) 症候	(1) 肝腫大	学修目標	①	肝腫大をきたす疾患を列挙し、その病態生理を説明できる。																						
					②	肝腫大のある患者における医療面接、診察と診断の要点を説明できる。																						
			(2) その他の症候	学修目標	①	黄疸														○								
					②	腹痛														○								○
					③	悪心・嘔吐																						
					④	食思<欲>不振														○								
					⑤	便秘・下痢・血便																						
					⑥	吐血・下血														○								○
					⑦	腹部膨隆（腹水を含む）・膨満・腫瘤														○								
		4) 疾患	(1) 食道疾患	学修目標	①	食道・胃静脈瘤の病態生理、内視鏡分類と治療を説明できる。														○								
					②	胃食道逆流症(gastroesophageal reflux disease <GERD>)と逆流性食道炎の病態生理、症候と診断を説明できる。														○								
					③	Mallory-Weiss 症候群を概説できる。														○								
			(2) 胃・十二指腸疾患	学修目標	①	胃潰瘍、十二指腸潰瘍(消化性潰瘍)の病因、症候、進行度分類、診断と治療を説明できる。														○								
					②	Helicobacter pylori 感染症の診断と治療を説明できる。											○			○								
					③	胃ポリープの病理と肉眼分類を説明できる。														○								
					④	急性胃粘膜病変の概念、診断と治療を説明できる。														○								
					⑤	急性胃腸炎、慢性胃炎を概説できる。														○								
					⑥	胃切除後症候群の病態生理を説明できる。																						
					⑦	機能性消化管障害（機能性ディスペプシア(functional dyspepsia<FD>)）を説明できる。														○								
					⑧	肥厚性幽門狭窄症を概説できる。																						
			(3) 小腸・大腸疾患	学修目標	①	急性虫垂炎の症候、診断と治療を説明できる。														○								
					②	腸閉塞とイレウスの病因、症候、診断と治療を説明できる。														○								
					③	炎症性腸疾患（潰瘍性大腸炎・Crohn 病）の病態生理、症候、診断と治療を説明できる。														○								
					④	痔核と痔瘻の病態生理、症候と診断を説明できる。														○								

コア・カリキュラム一覧（平成28年度改訂版）							臨床実習入門PP3	LPBL A3	リサーチP3	地域医療A3	理工B3	内科総論	外科総論	放射線診断学	臨床腫瘍学	腎尿路	感染症	循環器	呼吸器	消化器	運動器	神経	免疫・膠原病・アレルギー	内分泌・代謝	臓器再建外科・再生医療	血液・移植	リハビリ・地域包括医療	救急・中毒
D 人体各器官の正常構造と機能、病態、診断、治療	7 消化器系	4) 疾患	(3) 小腸・大腸疾患	学修目標	⑤	機能性消化管障害（過敏性腸症候群）を概説できる。														○								
					⑥	腸管憩室症（大腸憩室炎と大腸憩室出血）を概説できる。																						
					⑦	薬物性腸炎を概説できる。														○								
					⑧	消化管ポリポーシスを概説できる。														○								
					⑨	大腸の主な先天性疾患(鎖肛、Hirschsprung 病)を概説できる。														○								
					⑩	腸重積症を概説できる。														○								
					⑪	便秘症、乳児下痢症を説明できる。																						
					⑫	感染性腸炎を概説できる。														○								
					⑬	虚血性大腸炎を概説できる。														○								
					⑭	急性出血性直腸潰瘍を概説できる。																						
					⑮	上腸間膜動脈閉塞症を概説できる。																						
					⑯	消化管神経内分泌腫瘍(neuroendocrine tumor <NET>)を概説できる。																						
					⑰	消化管間質腫瘍(gastrointestinal stromal tumor <GIST>)を概説できる。														○								
			(4) 胆道疾患	学修目標	①	胆石症の病因、症候、診断と治療を説明できる。														○								
					②	胆嚢炎と胆管炎の病因、病態生理、症候、診断、合併症と治療を説明できる。														○								
					③	胆嚢ポリープを概説できる。														○								
					④	先天性胆道拡張症と膵・胆管合流異常症を概説できる。														○								
			(5) 肝疾患	学修目標	①	A 型・B 型・C 型・D 型・E 型肝炎の疫学、症候、診断、治療、経過と予後を説明できる。											○			○								
					②	急性肝炎、慢性肝炎の定義を説明できる。														○								
					③	急性肝不全の概念、診断を説明できる。														○								
					④	肝硬変の病因、病理、症候、診断と治療を説明できる。														○								
					⑤	肝硬変の合併症（門脈圧亢進症、肝性脳症、肝癌）を概説できる。														○								
					⑥	アルコール性肝障害を概説できる。														○								
					⑦	薬物性肝障害を概説できる。														○								
					⑧	肝膿瘍の症候、診断と治療を説明できる。														○								
					⑨	原発性胆汁性胆管炎（原発性胆汁性肝硬変）と原発性硬化性胆管炎の症候、診断、治療、経過と予後を説明できる。														○								
					⑩	自己免疫性肝炎を概説できる。														○								
					⑪	脂肪性肝疾患を概説できる。														○								
			(6) 膵臓疾患	学修目標	①	急性膵炎（アルコール性、胆石性、特発性）の病態生理、症候、診断と治療を説明できる。														○								○
					②	慢性膵炎（アルコール性、特発性）の病態生理、症候、診断、合併症と治療を説明できる。														○								
					③	自己免疫性膵炎を概説できる。														○			○					
			(7) 腹膜・腹壁・横隔膜疾患	学修目標	①	腹膜炎の病因、症候、診断と治療を説明できる。														○								○
					②	ヘルニアの概念、病態（滑脱、嵌頓、絞扼）と好発部位を説明できる。																						
					③	鼠径部ヘルニアの病因、病態、診断と治療を説明できる。																						
			(8) 腫瘍性疾患	学修目標	①	食道癌の病理所見、肉眼分類と進行度分類を説明できる。														○								
					②	食道癌の症候、診断、治療と予後を説明できる。														○								
					③	胃癌の疫学、病理所見、症候、肉眼分類と進行度分類を説明できる。														○								
					④	胃癌の診断法を列挙し、所見とその意義を説明できる。														○								
					⑤	胃癌の進行度に応じた治療を概説できる。														○								
					⑥	大腸癌の病理所見、診断、肉眼分類と進行度分類を説明できる。														○								
					⑦	大腸癌の症候、診断、治療を説明できる。														○								
					⑧	胆嚢・胆管癌・乳頭部癌の病理所見、症候、診断と治療を説明できる。														○								
					⑨	原発性肝癌、転移性肝癌の病因、病理所見、症候、診断と治療を説明できる。														○								
					⑩	膵癌の病理所見、症候、診断と治療を説明できる。														○								
					⑪	嚢胞性膵腫瘍の分類と病理所見を説明できる。														○								
					⑫	腹膜中皮腫、消化管間質腫瘍<GIST>、消化管カルチノイドを概説できる。														○								
	8 腎・尿路系（体液・電解質バランスを含む）			ねらい		腎・尿路系の構造と機能を理解し、主な腎・尿路系疾患の病因、病態生理、症候、診断と治療を学ぶ。																						
		1) 構造と機能		学修目標	①	体液の量と組成・浸透圧を小児と成人を区別して説明できる。							○			○												○
					②	腎・尿路系の位置・形態と血管分布・神経支配を説明できる。										○												
					③	腎の機能の全体像やネフロン各部の構造と機能を概説できる。						○				○												
					④	腎糸球体における濾過の機序を説明できる。										○												
					⑤	尿細管各部における再吸収・分泌機構と尿の濃縮機序を説明できる。										○												
					⑥	水電解質、酸・塩基平衡の調節機構を概説できる。						○				○												
					⑦	腎で産生される又は腎に作用するホルモン・血管作動性物質（エリスロポエチン、ビタミンD、レニン、アンギオテンシンII、アルドステロン）の作用を説明できる。										○												
					⑧	蓄排尿の機序を説明できる。																						
		2) 診断と検査の基本		学修目標	①	腎・尿路系の画像診断の適応と異常所見を概説できる。										○												
					②	糸球体濾過量（実測、推算）を含む腎機能検査法を概説できる。						○				○												
					③	腎生検の適応と禁忌を説明できる。										○												
					④	尿流動態検査を説明できる。										○												

コア・カリキュラム一覧
（平成28年度改訂版）

							臨床入門P実習3	LPBLA3	リサーチP3	地域医療A3	理工B3	内科総論	外科総論	放射線診断学	臨床腫瘍学	腎尿路	感染症	循環器	呼吸器	消化器	運動器	神経	免疫・膠原病・アレルギー	内分泌・代謝	臓器再建・再生医療・再生医療	血液・移植	リハビリ・地域包括医療	救急・中毒
D 人体各器官の正常構造と機能、病態、診断、治療	8 腎・尿路系（体液・電解質バランスを含む）	3) 症候	(1) 電解質異常	学修目標	①	高・低Na 血症（原因疾患、症候、治療）を概説できる。										○												
					②	高・低K 血症（原因疾患、症候、治療）を概説できる。						○				○												
					③	高・低Ca 血症（原因疾患、症候、治療）を概説できる。										○												
					④	高・低P 血症、高・低Cl 血症、高・低Mg 血症を概説できる。										○												
			(2) アシドーシス・アルカローシス	学修目標	①	アシドーシス・アルカローシス（代謝性・呼吸性）の定義、病態生理と診断を説明できる。										○												○
					②	アシドーシス・アルカローシス（代謝性・呼吸性）の治療を概説できる。										○												○
			(3) その他の症候	学修目標	①	脱水																						
					②	浮腫																						
					③	血尿・タンパク尿						○				○												
					④	尿量・排尿の異常										○												
		4) 疾患	(1) 腎不全	学修目標	①	急性腎不全（急性腎障害）の病因、症候、診断と治療を説明できる。										○												○
					②	慢性腎不全（慢性腎臓病(chronic kidney disease <CKD>)）の病因、症候、診断と治療を説明できる。										○												
					③	慢性腎臓病<CKD>重症度分類を説明できる。										○												
					④	慢性腎不全の合併症である腎性貧血、ミネラル骨代謝異常を概説できる。										○												
					⑤	透析導入基準（慢性腎不全）を説明できる。										○												
					⑥	腎不全の治療（血液透析・腹膜透析・腎移植）を説明できる。										○												
			(2) 原発性糸球体疾患	学修目標	①	急性糸球体腎炎症候群の病因、症候、診断と治療を説明できる。										○												
					②	慢性糸球体腎炎症候群（IgA 腎症を含む）の症候、診断と治療を説明できる。										○												
					③	ネフローゼ症候群の分類、症候、診断と治療を説明できる。										○												
					④	急速進行性糸球体腎炎を概説できる。										○												
					⑤	臨床症候分類（急性腎炎症候群、慢性腎炎症候群、ネフローゼ症候群、急速進行性腎炎症候群、反復性または持続性血尿症候群）を概説できる。										○												
			(3) 高血圧および腎血管障害	学修目標	①	高血圧による腎障害（腎硬化症）を概説できる。										○												
					②	腎血管性高血圧症を概説できる。										○												
			(4) 尿細管機能異常	学修目標	①	尿細管性アシドーシスの分類、病態生理、診断と治療を説明できる。										○												
					②	Fanconi 症候群（腎性糖尿を含む）の概念、症候と診断を説明できる。										○												
			(5) 尿細管・間質性疾患	学修目標	①	急性・慢性腎盂腎炎の病因、症候、診断と治療を説明できる。										○												
					②	急性・慢性尿細管間質性腎炎の病因、症候、診断と治療を説明できる。										○												
			(6) 全身性疾患による腎障害	学修目標	①	糖尿病腎症の症候、診断と治療を説明できる。										○												
					②	ループス腎炎の症候、診断と治療を説明できる。										○							○					
					③	アミロイド腎症の症候、診断と治療を説明できる。										○												
					④	膠原病類縁疾患（血管炎症候群、抗糸球体基底膜(glomerular basement membrane <GBM>)病(Goodpasture 症候群)）の腎病変を説明できる。										○							○					
					⑤	IgA 血管炎（紫斑病性腎炎）を概説できる。										○							○					
			(7) 先天異常と外傷	学修目標	①	腎尿路の主な先天異常（多発性嚢胞腎、腎盂尿管逆流）を概説できる。										○												
					②	腎外傷の症候、診断と治療を説明できる。																						○
			(8) 尿路疾患	学修目標	①	尿路結石の病因、症候、診断と治療を説明できる。										○												
					②	尿路の炎症（膀胱炎・前立腺炎・尿道炎）の病因、診断と治療を説明できる。										○												
					③	神経因性膀胱を概説できる。										○												
			(9) 腫瘍性疾患	学修目標	①	腎癌の症候、病理所見、診断、治療を説明できる。										○												
					②	膀胱癌を含む尿路上皮癌の症候、診断、治療を説明できる。										○												
	9 生殖機能			ねらい		生殖系の構造と機能を理解し、生殖器に問題を有する患者の診断と治療に関する知識を学ぶ。																						
		1) 構造と機能		学修目標	①	生殖腺の発生と性分化の過程を説明できる。																						
					②	男性生殖器の発育の過程を説明できる。																						
					③	男性生殖器の形態と機能を説明できる。																						
					④	精巣の組織構造と精子形成の過程を説明できる。																						
					⑤	陰茎の組織構造と勃起・射精の機序を説明できる。																						
					⑥	女性生殖器の発育の過程を説明できる。																						
					⑦	女性生殖器の形態と機能を説明できる。																						
					⑧	性周期発現と排卵の機序を説明できる。																						
					⑨	閉経の過程と疾病リスクの変化を説明できる。																						
		2) 診断と検査の基本	(1) 男性生殖器	学修目標	①	精巣と前立腺の検査法（尿路造影、超音波検査、コンピュータ断層撮影<CT>、磁気共鳴画像法<MRI>）の適応と異常所見を説明し、結果を解釈できる。										○												
			(2) 女性生殖器	学修目標	①	血中ホルモン（卵胞刺激ホルモン(follicle-stimulating hormone <FSH>)、黄体形成ホルモン(luteinizinghormone <LH>)、プロラクチン、ヒト絨毛性ゴナドトロピン(human chorionic gonadotropin <hCG>)、エストロゲン、プロゲステロン）測定値を評価できる。																					
					②	骨盤内臓器と腫瘍の画像診断（超音波検査、コンピュータ断層撮影<CT>、磁気共鳴画像法<MRI>、子宮卵管造影(hysterosalpingography <HSG>)所見を概説できる。										○												
					③	基礎体温の所見を説明できる。																						
					④	腟分泌物の所見を説明できる。																						
		3) 症候	(1) 男性生殖器の主要症候	学修目標	①	勃起不全と射精障害を概説できる。																						
					②	精巣機能障害を概説できる。																						
			(2) 男性生殖器のその他の症候	学修目標	①	腹痛										○												
					②	腹部膨隆（腹水を含む）・腫満・腫瘤																						
					③	血尿・タンパク尿																						

コア・カリキュラム一覧（平成28年度改訂版）							臨床入門P実習3	LPBL A3	リサーチP3	地域医療A3	理工B3	内科総論	外科総論	放射線診断学	臨床腫瘍学	腎・尿路	感染症	循環器	呼吸器	消化器	運動器	神経	免疫・膠原病・アレルギー	内分泌・代謝	臓器再建・再生医療・外科	血液・移植	リハビリ・地域包括医療	救急・中毒
D 人体各器官の正常構造と機能、病態、診断、治療	9 生殖機能	3) 症候	(2) 男性生殖器のその他の症候	学修目標	④	尿量・排尿の異常										○													
			(3) 女性生殖器の主要症候	学修目標	①	不正性器出血、腟分泌物（帯下）の増量、腟乾燥感、性交痛、乳汁漏出症をきたす疾患を列挙し、その病態を説明できる。																						
			(4) 女性生殖器のその他の症候	学修目標	①	貧血																							
					②	腹痛																							
					③	腹部膨隆（腹水を含む）・膨満・腫瘤																							
					④	尿量・排尿の異常																							
					⑤	月経異常・無月経																							
		4) 疾患	(1) 男性生殖器疾患	学修目標	①	男性不妊症を概説できる。																							
					②	前立腺肥大症の診断と治療を説明できる。										○													
					③	停留精巣、陰嚢内腫瘤を概説できる。										○													
			(2) 女性生殖器疾患	学修目標	①	内外生殖器の先天異常を説明できる。																							
					②	卵巣機能障害、更年期障害を概説できる。																							
					③	不妊症の系統診断と治療を説明できる。																							
					④	子宮筋腫・子宮腺筋症の症候、診断と治療を概説できる。																							
					⑤	子宮内膜症の症候、診断と治療を説明できる。																							
					⑥	外陰、腟と骨盤内感染症の症候、診断と治療を説明できる。											○												
			(3) 腫瘍性疾患	学修目標	①	前立腺癌の症候、病理所見、診断、治療を説明できる。										○													
					②	精巣腫瘍の症候、診断、治療を説明できる。																							
					③	子宮頸癌・子宮体癌（子宮内膜癌）の予防、症候、病理所見、診断、治療を説明できる。																							
					④	卵巣腫瘍（卵巣癌、卵巣嚢腫）の症候、病理所見、診断、治療を説明できる。																							
					⑤	絨毛性疾患（胞状奇胎、絨毛癌）の症候、診断、治療を説明できる。																							
	10 妊娠と分娩			ねらい		妊娠、分娩と産褥期の管理に必要な基礎知識とともに、母子保健、生殖医療のあり方を学ぶ。																							
		1) 診断と検査の基本		学修目標	①	妊娠の診断法を説明できる。																							
					②	妊娠に伴う身体的変化を概説できる。																							
					③	胎児・胎盤検査法（超音波検査、分娩監視装置による）の意義を説明できる。																							
					④	羊水検査法の意義と異常所見を説明できる																							
		2) 症候		学修目標	①	腹痛																							
					②	悪心・嘔吐																							
					③	腹部膨隆（腹水を含む）・膨満・腫瘤																							
		3)正常妊娠・分娩・産褥		学修目標	①	妊娠・分娩・産褥での母体の解剖学的と生理学的変化を説明できる。																							
					②	胎児・胎盤系の発達過程での機能・形態的変化を説明できる。																							
					③	正常妊娠の経過を説明できる。																							
					④	正常分娩の経過を説明できる。																							
					⑤	産褥の過程を説明できる。																							
					⑥	育児に伴う母体の構造的・生理的な変化、身体精神問題について説明できる。																							
					⑦	母子保健の意義を医学的に説明できる。																							
					⑧	妊娠時の薬物療法の注意点を説明できる。																	○						
		4) 疾患		学修目標	①	主な異常妊娠（流産、切迫流産、子宮外妊娠（異所性妊娠）、妊娠高血圧症候群、多胎妊娠、胎児発育不全）の病態を説明できる。																							
					②	主な異常分娩（早産、微弱陣痛、遷延分娩、回旋異常、前置胎盤、癒着胎盤、常位胎盤早期剥離、弛緩出血、分娩外傷）の病態を説明できる。																							
					③	主な異常産褥（子宮復古不全、産褥熱、乳腺炎）の病態を説明できる。																							
					④	産科救急（産科出血、播種性血管内凝固<DIC>）の病態と治療を説明できる。																							
					⑤	主な合併症妊娠（耐糖能異常、甲状腺疾患、血液型不適合妊娠、toxoplasmosis, other agents, rubella, cytomegalovirus, herpes simplex <TORCH>症候群）の病態を説明できる。																	○						
		5) 産科手術		学修目標	①	人工妊娠中絶の適応を説明できる。																							
					②	帝王切開術の適応を説明できる。																							
	11 乳房			ねらい		乳房の構造と内分泌依存性の機能を理解し、主な乳房疾患の症候、診断と治療を学ぶ。																							
		1) 構造と機能		学修目標	①	乳房の構造と機能を説明できる。																							
					②	成長発達に伴う乳房の変化を説明できる。																							
					③	乳汁分泌に関するホルモンの作用を説明できる。																							
		2) 診断と検査の基本		学修目標	①	乳房腫瘤の画像診断（乳房撮影、超音波検査、核磁気共鳴画像法<MRI>）を概説できる。							○																
					②	乳房腫瘤に対する細胞・組織診断法を概説できる。							○																
		3) 症候		学修目標	①	乳房腫瘤、異常乳汁分泌（血性乳頭分泌）と乳房の腫脹・疼痛・変形をきたす主な病因を列挙できる。																							
		4) 疾患	(1) 良性乳腺疾患	学修目標	①	良性乳腺疾患の種類を列挙できる。																							
					②	女性化乳房を概説できる。																							
			(2) 腫瘍性疾患	学修目標	①	乳癌の危険因子、症候、病理所見、診断、治療と予後を説明できる。							○																
	12 内分泌・栄養・代謝系			ねらい		内分泌・代謝系の構成と機能を理解し、主な内分泌・代謝疾患の病因、病態生理、症候、診断と治療を学ぶ。																							
		1) 構造と機能		学修目標	①	ホルモンを構造から分類し作用機序と分泌調節機能を説明できる。																		○					
					②	各内分泌器官の位置を図示し、そこから分泌されるホルモンを列挙できる。																		○					
					③	視床下部ホルモン・下垂体ホルモンの名称、作用と相互関係を説明できる。																		○					
					④	甲状腺と副甲状腺（上皮小体）から分泌されるホルモンの作用と分泌調節機構を説明できる。																		○					

コア・カリキュラム一覧（平成28年度改訂版）							臨床実習入門P3	LPBL A3	リサーチP3	地域医療A3	理工B3	内科総論	外科総論	放射線診断学	臨床腫瘍学	腎尿路	感染症	循環器	呼吸器	消化器	運動器	神経	免疫・膠原病・アレルギー	内分泌・代謝	臓器再建外科・再生医療	血液・移植	リハビリ・地域包括医療	救急・中毒
D 人体各器官の正常構造と機能、病態、診断、治療	12 内分泌・栄養・代謝系	1) 構造と機能		学修目標	⑤	副腎の構造と分泌されるホルモンの作用と分泌調節機構を説明できる。																		○				
					⑥	膵島から分泌されるホルモンの作用を説明できる。																		○				
					⑦	男性ホルモン・女性ホルモンの合成・代謝経路と作用を説明できる。																		○				
					⑧	三大栄養素、ビタミン、微量元素の消化吸収と栄養素の生物学的利用効率(bioavailability)を説明できる。																		○				
					⑨	糖質・タンパク質・脂質の代謝経路と相互作用を説明できる。																		○				
		2) 診断と検査の基本		学修目標	①	ホルモンの過剰または欠乏がもたらす身体症状を説明できる。																		○				
					②	血中ホルモン濃度に影響を与える因子を列挙できる。																		○				
					③	ホルモンの日内変動の例を挙げて説明できる。																		○				
					④	ホルモン分泌刺激試験と抑制試験の原理と反応の型を説明できる。																		○				
					⑤	エネルギー摂取の過剰または欠乏がもたらす身体症状を説明できる。																		○				
		3) 症候	(1) 低身長	学修目標	①	低身長をきたす疾患を列挙し、その病態生理を説明できる。																		○				
			(2) 甲状腺腫	学修目標	①	甲状腺腫を分類し、疾患を列挙できる。																		○				
					②	甲状腺の触診ができる。																		○				
			(3) その他の症候	学修目標	①	肥満・やせ																		○				
					②	月経異常																		○				
		4) 疾患	(1) 視床下部・下垂体疾患	学修目標	①	Cushing 病の病態と診断を説明できる。																		○				
					②	先端巨大症を概説できる。																		○				
					③	汎下垂体機能低下症を概説できる。																		○				
					④	尿崩症を概説できる。																		○				
					⑤	成長ホルモン分泌不全性低身長症を概説できる。																		○				
					⑥	高プロラクチン血症を概説できる。																		○				
					⑦	抗利尿ホルモン不適合分泌症候群(syndrome of inappropriate secretion of antidiuretic hormone <SIADH>)を概説できる。																		○				
			(2) 甲状腺疾患	学修目標	①	Basedow 病の病態、症候、診断と治療を説明できる。																		○				
					②	甲状腺炎（慢性・亜急性）を概説できる。																		○				
					③	甲状腺機能低下症の症候、診断と治療を説明できる。																		○				
			(3) 副甲状腺疾患とカルシウム代謝異常	学修目標	①	カルシウム代謝の異常を疾患と関連づけて説明できる。																		○				
					②	副甲状腺機能亢進症と副甲状腺機能低下症の病因、病態、症候と診断を説明できる。																		○				
					③	悪性腫瘍に伴う高Ca 血症を概説できる。												○						○				
					④	偽性副甲状腺機能低下症を概説できる。																		○				
			(4) 副腎皮質・髄質疾患	学修目標	①	Cushing 症候群の病態、症候と診断を説明できる。																		○				
					②	アルドステロン過剰症、原発性アルドステロン症を概説できる。																		○				
					③	副腎不全（急性・慢性(Addison 病)）の病因、病態生理、症候、診断と治療を説明できる。																		○				○
					④	先天性副腎（皮質）過形成を概説できる。																		○				
			(5) 糖代謝異常	学修目標	①	糖尿病の病因、病態生理、分類、症候と診断を説明できる。						○												○				
					②	糖尿病の急性合併症を説明できる。																		○				
					③	糖尿病の慢性合併症を列挙し、概説できる。																		○				
					④	糖尿病の治療（食事療法、運動療法、薬物治療）を概説できる。										○								○				
					⑤	低血糖症を概説できる。																		○				○
			(6) 脂質代謝異常	学修目標	①	脂質異常症(高脂血症)の分類、病因と病態を説明できる。																		○				
					②	脂質異常症(高脂血症)の予防と治療を説明できる。																		○				
			(7) タンパク質及び核酸代謝異常	学修目標	①	血清タンパク質の異常を概説できる。																		○				
					②	高尿酸血症・痛風の病因と病態を説明できる。																		○				
			(8) ビタミン・微量元素の欠乏と過剰	学修目標	①	ビタミン・微量元素の欠乏症と過剰症を概説できる。																						
			(9) 先天性代謝異常	学修目標	①	ヘモクロマトーシスを概説できる。																						
					②	ポルフィリアを概説できる。																						
					③	Wilson 病を概説できる。																○						
			(10) 腫瘍性疾患	学修目標	①	甲状腺腫瘍を分類し、症候、病理所見、治療法を説明できる。																		○				
					②	褐色細胞腫の病態、症候、画像所見、病理所見、診断、治療法を説明できる。																		○				
					③	神経芽腫を概説し、小児腹部固形腫瘍（腎芽腫、肝芽腫、奇形腫）との鑑別点を説明できる。																		○				
	13 眼・視覚系			ねらい		眼・視覚系疾患の構造と機能を理解し、眼・視覚系疾患の症候、病態、診断と治療を理解する。																						
		1) 構造と機能		学修目標	①	眼球と付属器の構造と機能を説明できる。																						
					②	視覚情報の受容のしくみと伝導路を説明できる。																						
					③	眼球運動のしくみを説明できる。																			○			
					④	対光反射、輻輳反射、角膜反射の機能について説明できる。																						
		2) 診断と検査の基本		学修目標	①	基本的眼科検査（視力検査、視野検査、細隙灯顕微鏡検査、眼圧検査、眼底検査）を列挙し、それらの原理と適応を述べ、主要所見を解釈できる。																						
		3) 症候	(1) 眼・視覚系に関する主要症候	学修目標	①	眼・視覚系に関する主要症候（視力障害、視野異常、色覚異常、眼球運動障害、眼脂・眼の充血、飛蚊症、眼痛）を列挙し、それらの発生機序、原因疾患と治療を説明できる。																						
			(2) その他の症候	学修目標	①	めまい																						
					②	頭痛・頭重感																○						
					③	悪心・嘔吐																						

コア・カリキュラム一覧
（平成28年度改訂版）

							臨床入門P実習3	LPBL A3	リサーチP3	地域医療A3	理工B3	内科総論	外科総論	放射線診断学	臨床腫瘍学	腎尿路	感染症	循環器	呼吸器	消化器	運動器	神経	免疫・膠原病・アレルギー	内分泌・代謝	腸管再建・外科・再生医療	血液・移植	リハビリ・地域包括医療	救急・中毒
D 人体各器官の正常構造と機能、病態、診断、治療	13 眼・視覚系	4) 疾患	(1) 眼・視覚系の良性疾患	学修目標	①	屈折異常（近視、遠視、乱視）と調節障害の病態生理を説明できる。																						
					②	感染性角結膜疾患の症候、診断と治療を説明できる。																						
					③	白内障の病因、症候、診断と治療を説明できる。																						
					④	緑内障の病因を列挙し、それらの発症機序、症候と治療を説明できる。																						
					⑤	裂孔原性網膜剥離の症候、診断と治療を説明できる。																						
					⑥	糖尿病、高血圧・動脈硬化による眼底変化を説明できる。																						
					⑦	ぶどう膜炎の病因、症候、診断と治療を説明できる。																	○					
					⑧	視神経炎（症）・うっ血乳頭の病因、症候と診断を説明できる。																						
					⑨	アルカリ、酸による化学損傷の症候と救急処置を説明できる。																						
					⑩	網膜静脈閉塞症と動脈閉塞症の症候、診断と治療を説明できる。																						
			(2) 腫瘍性疾患	学修目標	①	網膜芽細胞腫の症候、診断と治療を説明できる。																						
	14 耳鼻・咽喉・口腔系			ねらい		耳鼻・咽喉・口腔の構造と機能を理解し、耳鼻・咽喉・口腔系疾患の症候、病態、診断と治療を理解する。																						
		1) 構造と機能		学修目標	①	外耳・中耳・内耳の構造を図示できる。																						
					②	聴覚・平衡覚の受容のしくみと伝導路を説明できる。																						
					③	口腔・鼻腔・咽頭・喉頭の構造を図示できる。																			○			
					④	喉頭の機能と神経支配を説明できる。																						
					⑤	平衡感覚機構を眼球運動、姿勢制御と関連させて説明できる。																						
					⑥	味覚と嗅覚の受容のしくみと伝導路を説明できる。																						
		2) 診断と検査の基本		学修目標	①	聴力検査と平衡機能検査を説明できる。																						
					②	味覚検査と嗅覚検査を説明できる。																						
		3) 症候	(1) 耳鼻・咽喉・口腔系に関する主要症候	学修目標	①	気道狭窄、難聴、鼻出血、咽頭痛、開口障害と反回神経麻痺（嗄声）をきたす疾患を列挙し、その病態を説明できる。																			○			
			(2) その他の症候	学修目標	①	めまい																						
					②	嚥下障害・誤嚥																						
		4) 疾患	(1) 耳鼻・咽喉・口腔系の良性疾患	学修目標	①	滲出性中耳炎、急性中耳炎と慢性中耳炎の病因、診断と治療を説明できる。																						
					②	伝音難聴と感音難聴、迷路性と中枢性難聴を病態から鑑別し、治療を説明できる。																						
					③	末梢性めまいと中枢性めまいを鑑別し、治療を説明できる。																						
					④	良性発作性頭位眩暈症の症候、診断と治療を説明できる。																						
					⑤	鼻出血の好発部位と止血法を説明できる。																						
					⑥	副鼻腔炎（急性、慢性）の病態と治療を説明できる。																						
					⑦	アレルギー性鼻炎の発症機構を説明できる																	○					
					⑧	扁桃の炎症性疾患の病態と治療を説明できる。																						
					⑨	歯科疾患（う蝕、歯周病等）とその全身への影響や口腔機能管理を概説できる。																	○					
					⑩	気管切開の適応を説明できる。																						
					⑪	外耳道・鼻腔・咽頭・喉頭・食道の代表的な異物を説明し、除去法を説明できる。																						
					⑫	唾液腺疾患を列挙できる。																						
			(2) 腫瘍性疾患	学修目標	①	口腔・咽頭癌について、病因、病期分類、検査所見、画像所見、病理所見、治療法を説明できる。																			○			
					②	喉頭癌について、病因、病期分類、検査所見、画像所見、病理所見、治療法を説明できる。																						
	15 精神系			ねらい		精神と行動の障害に対して、児童・思春期から老年期のライフステージに応じた病態生理、診断、治療を理解し、良好な患者と医師の信頼関係に基づいた全人的医療を学ぶ。																						
		1) 診断と検査の基本		学修目標	①	患者・医師の良好な信頼関係に基づく精神科面接の基本を説明できる。																						
					②	精神科診断分類法を説明できる。																						
					③	精神科医療の法と倫理に関する必須項目（精神保健及び精神障害者福祉に関する法律、心神喪失者等医療観察法、インフォームド・コンセント）を説明できる。																						
					④	コンサルテーション・リエゾン精神医学を説明できる。																						
					⑤	心理学的検査法（質問紙法、Rorschach テスト、簡易精神症状評価尺度(Brief Psychiatric Rating Scale <BPRS>)、Hamilton うつ病評価尺度、Beck のうつ病自己評価尺度、状態特性不安検査(State-Trait Anxiety Inventory<STAI>)、Mini-Mental State Examination <MMSE>、改訂長谷川式簡易知能評価スケール等）の種類と概要を説明できる。																						
		2) 症候		学修目標	①	不安・躁うつをきたす精神障害を列挙し、その鑑別診断を説明できる。																						
					②	意識障害、不眠、幻覚・妄想をきたす精神障害を列挙し、その鑑別診断を説明できる。															○						
					③	ストレスなどの心理社会的要因が症候（息苦しさ、心窩部痛、腹痛、頭痛、疲労、痺み、慢性疼痛等）に密接に関与している代表的な疾患を列挙し、その鑑別診断を説明できる。																○					
		3) 疾患・障害		学修目標	①	症状精神病の概念と診断を概説できる。																						
					②	認知症の診断と治療を説明できる。																○						
					③	薬物使用に関連する精神障害やアルコール、ギャンブル等への依存症の病態と症候を説明できる。																						
					④	統合失調症の症候と診断、救急治療を説明できる。																						
					⑤	うつ病の症候と診断を説明できる。																						
					⑥	双極性障害(躁うつ病)の症候と診断を説明できる。																						
					⑦	不安障害群と心的外傷及びストレス因関連障害群の症候と診断を説明できる。																						
					⑧	身体症状症及び関連症群、食行動障害及び摂食障害群の症候と診断を説明できる。																						
					⑨	解離性障害群の症候、診断と治療を説明できる。																						
					⑩	パーソナリティ障害群を概説できる。																						
					⑪	知的能力障害群と自閉症スペクトラム障害(autism spectrum disorder <ASD>)を概説できる。																						
					⑫	注意欠如・多動障害(attention deficit / hyperactivity disorder <ADHD>)と運動障害群を概説できる。																						

コア・カリキュラム一覧
（平成28年度改訂版）

							臨床入門P実習3	LABL	リサーチP3	地域医療A3	理工B3	内科総論	外科総論	放射線診断学	臨床腫瘍学	腎尿路	感染症	循環器	呼吸器	消化器	運動器	神経	免疫・膠原病・アレルギー	内分泌・代謝	腎・泌尿器再建再生医療	血液・移植	リハビリ・地域包括医療	救急・中毒
E 全身におよぶ生理的変化、病態、診断、治療	1 遺伝医療・ゲノム医療	1) 遺伝医療・ゲノム医療と情報の特性		ねらい		遺伝情報・ゲノム情報の特性を理解し、遺伝情報・ゲノム情報に基づいた診断と治療、未発症者を含む患者・家族の支援を学ぶ。																					
			学修目標		①	集団遺伝学の基礎としてHardy-Weinberg の法則を概説できる。																					
					②	家系図を作成、評価（Bayes の定理、リスク評価）できる。					○															
					③	生殖細胞系列変異と体細胞変異の違いを説明でき、遺伝学的検査の目的と意義を概説できる。					○															
					④	遺伝情報の特性（不変性、予見性、共有性）を説明できる。																				
					⑤	遺伝カウンセリングの意義と方法を説明できる。																				
					⑥	遺伝医療における倫理的・法的・社会的配慮を説明できる。					○															
					⑦	遺伝医学関連情報にアクセスすることができる。																				
					⑧	遺伝情報に基づく治療や予防をはじめとする適切な対処法を概説できる。					○															
	2 感染症			ねらい		主要な感染症の疫学、病態生理、症候、診断と治療を学ぶ。診断と治療に必要な病原微生物、感染臓器と治療薬の関係性を理解する。																					
		1) 病態			①	敗血症の症候と診断と治療を説明できる。										○									○		○
					②	市中感染症と院内(病院)感染症を説明できる。										○											
					③	医療器具関連感染症（血管留置カテーテル、尿道カテーテル、人工呼吸器）、術後感染症、手術部位感染症、を説明できる。							○			○											
					④	薬剤耐性(antimicrobial resistance <AMR>)、菌交代現象・菌交代症、薬剤耐性菌（Methicillin-resistantStaphylococcus aureus <MRSA>）、バンコマイシン耐性腸球菌(vancomycin-resistant Enterococci <VRE>)、基質特異性拡張型β ラクタマーゼ(extended spectrum beta-lactamase <ESBL>)産生Gram 陰性桿菌、多剤耐性アシネトバクター属菌、カルバペネム耐性腸内細菌科細菌等）を概説できる。										○											
					⑤	コロナイゼーションと感染症発症の違いを説明できる。										○											
					⑥	コンプロマイズドホストと日和見感染症を説明できる。										○						○			○		
					⑦	新興・再興感染症（中東呼吸器症候群(Middle East respiratory syndrome <MERS>)、ジカ熱、劇症型A 群レンサ球菌感染症等）、人獣共通感染症、バイオテロに関連する感染症を列挙できる。										○											
		2) 診断・検査・治療の基本			①	各病原微生物、各感染臓器の診断の手がかりとなる病歴と身体所見について説明できる。										○									○		
					②	ウイルス感染症診断における抗原検査、核酸増幅検査、血清抗体検査について説明できる。					○					○									○		
					③	細菌感染症診断における直接塗抹、Gram 染色、培養検査、抗原検査、核酸増幅検査、毒素検出検査、血清抗体検査を説明できる。					○					○									○		
					④	真菌感染症診断における直接塗抹、培養検査、抗原検査、核酸増幅検査を説明できる。										○									○		
					⑤	病原微生物及び感染臓器ごとの適切な抗微生物薬を説明できる。										○									○		
					⑥	抗菌薬適正使用(antimicrobial stewardship <AMS>)を説明できる。										○									○		
					⑦	予防接種について、適応と意義、種類とそれぞれの投与方法を説明できる。										○											
					⑧	感染症法を概説できる。										○											
		3) 症候			①	ショック										○											○
					②	発熱										○						○					
					③	けいれん										○					○						○
					④	意識障害・失神										○					○						○
					⑤	脱水										○											
					⑥	全身倦怠感										○											
					⑦	黄疸										○											
					⑧	発疹										○											
					⑨	リンパ節腫脹										○											
					⑩	浮腫										○											
					⑪	胸水										○											
					⑫	胸痛・胸部圧迫感										○											○
					⑬	呼吸困難・息切れ										○											○
					⑭	咳・痰										○											
					⑮	血痰・喀血										○											
					⑯	頭痛・頭重感										○					○						
					⑰	腹痛										○											○
					⑱	悪心、嘔吐										○											
					⑲	便秘・下痢・血便										○											
					⑳	吐血・下血										○											○
					㉑	血尿・タンパク尿					○					○											
					㉒	関節痛、関節腫脹										○											
					㉓	腰背部痛										○											
		4) 疾患	(1) ウイルス感染症・プリオン病		①	インフルエンザの症候と診断と治療を説明できる。										○											
					②	麻疹の症候と診断と合併症および予防法を説明できる。										○											
					③	風疹の症候と診断と合併症および予防法を説明できる。										○											
					④	水痘・帯状疱疹の症候と診断と治療および予防法を説明できる。										○									○		
					⑤	流行性耳下腺炎(ムンプス)の症候と診断と合併症および予防法を説明できる。										○											
					⑥	ヒト免疫不全ウイルス(HIV)感染症の症候と診断と治療および感染対策を説明できる。										○											
					⑦	単純ヘルペスウイルス感染症、伝染性紅斑、手足口病、突発性発疹、咽頭結膜熱、伝染性単核(球)症を説明できる。										○											
					⑧	サイトメガロウイルス(CMV)感染症を説明できる。										○									○		
					⑨	ヒトT 細胞白血病ウイルス(human T-cell leukemia virus type 1 <HTLV-Ⅰ>)感染症を説明できる。										○											
					⑩	プリオン病を説明できる。										○											

コア・カリキュラム一覧
（平成28年度改訂版）

							臨床実習入門P3	LPBL A3	リサーチP3	地域医療A3	理工B3	内科総論	外科総論	放射線診断学	臨床腫瘍学	腎・尿路	感染症	循環器	呼吸器	消化器	運動器	神経	免疫・膠原病・アレルギー	内分泌・代謝	臓器再建・再生医療	血液・移植	リハビリ・地域包括医療	救急・中毒
E 全身におよぶ生理的変化、病態、診断、治療	2 感染症	4) 疾患	(2) 細菌感染症	学修目標	①	黄色ブドウ球菌感染症の症候と診断と治療を説明できる。											○											○
					②	A 群β溶血性レンサ球菌感染症の症候と診断と治療を説明できる。											○											○
					③	肺炎球菌感染症の症候と診断と治療と予防法を説明できる。											○											○
					④	インフルエンザ(桿)菌感染症とMoraxella catarrhalis 感染症を説明できる。											○											
					⑤	緑膿菌感染症の症候と診断と治療を説明できる。											○											○
					⑥	大腸菌感染症の症候と診断と治療を説明できる。											○											○
					⑦	Clostridium difficile 感染症の症候と診断と治療を説明できる。											○											○
					⑧	結核症、非結核性（非定型）抗酸菌症の症候と診断と治療及び予防法を説明できる。											○											
					⑨	マイコプラズマ感染症を説明できる。											○											
					⑩	クラミジア感染症を説明できる。											○											
					⑪	レジオネラ感染症を説明できる。											○											
					⑫	リケッチア感染症を説明できる。											○											
					⑬	カンピロバクター、サルモネラ、リステリア感染症を説明できる。											○											
			(3) 真菌感染症と寄生虫症	学修目標	①	カンジダ症、クリプトコッカス症、アスペルギルス症の症候と診断と治療を説明できる。											○									○		○
					②	ニューモシスチス肺炎の症候と診断と治療を説明できる。											○									○		○
					③	主な寄生虫感染症（回虫症、アニサキス症、吸虫症）を説明できる。											○											
					④	主な原虫感染症（マラリア、トキソプラズマ症、アメーバ赤痢）を説明できる。											○											
			(4) 性感染症	学修目標	①	性感染症の原因微生物を説明できる。											○											
					②	梅毒の症候と診断と治療について説明できる。											○											
					③	淋菌性感染症の診断と治療について説明できる。											○											
					④	性器クラミジア、性器ヘルペス、尖圭コンジローマの診断と治療を説明できる。											○											
			(5) 院内感染	学修目標	①	標準予防策(standard precautions)、感染経路別予防策（飛沫感染予防策、接触感染予防策や空気感染予防策等）が必要となる病原微生物を説明できる。											○											
					②	患者から医療従事者への病原微生物曝露を防ぐための個人防護具、予防接種等について概説できる。											○											
					③	医療従事者の体液曝露後の感染予防策について概説できる。											○											
	3 腫瘍			ねらい		腫瘍の病態、診断と治療を学ぶ。																						
		1) 定義・病態		学修目標	①	腫瘍の定義と病態を説明できる。									○				○						○			
					②	腫瘍の症候を説明できる。									○				○						○			
					③	腫瘍のグレード、ステージを概説できる。									○				○						○			
		2) 診断		学修目標	①	腫瘍の検査所見を説明できる。									○				○						○	○		
					②	腫瘍の画像所見や診断を説明できる。									○				○						○	○		
					③	腫瘍の病理所見や診断を説明できる。									○				○						○	○		
		3) 治療		学修目標	①	腫瘍の集学的治療を概説できる。									○				○						○	○		
					②	腫瘍の手術療法を概説できる。							○		○	○			○	○					○	○		
					③	腫瘍の放射線療法を概説できる。									○				○							○		
					④	腫瘍の薬物療法（殺細胞性抗癌薬、分子標的薬、免疫チェックポイント阻害薬）を概説できる。									○				○							○		
					⑤	腫瘍の生物学的療法を概説できる。									○				○							○		
					⑥	腫瘍における支持療法を概説できる。									○				○							○		
					⑦	腫瘍における緩和ケアを概説できる。									○				○							○		
		4) 診療の基本的事項		学修目標	①	腫瘍の診療におけるチーム医療を概説できる。									○				○							○	○	
					②	腫瘍の診療における生命倫理（バイオエシックス）を概説できる。									○				○							○		
					③	腫瘍性疾患をもつ患者の置かれている状況を深く認識できる。									○				○									
		5) 各論		学修目標	①	血液・造血器・リンパ系：急性白血病、慢性骨髄性白血病、骨髄異形成症候群（MDS）、成人T 細胞白血病、真正赤血球増加症、本態性血小板血症、骨髄線維症、悪性リンパ腫、多発性骨髄腫						○																
					②	神経系：脳・脊髄腫瘍、転移性脳腫瘍									○							○						
					③	皮膚系：皮膚良性腫瘍、皮膚悪性リンパ腫、血管肉腫、基底細胞上皮腫（癌）、扁平上皮癌、悪性黒色腫																		○				
					④	運動器（筋骨格系）：転移性骨髄腫瘍、骨肉腫														○								
					⑤	循環器系：粘液腫																						
					⑥	呼吸器系：肺癌、転移性肺腫瘍、縦隔腫瘍、胸膜中皮腫									○				○									
					⑦	消化器系：食道癌、胃癌、大腸ポリープ、大腸癌、胆嚢・胆管癌、原発性肝癌、膵内分泌腫瘍、嚢胞性膵腫瘍、膵癌								○					○								
					⑧	腎・尿路系：腎癌、膀胱癌を含む尿路上皮癌										○												
					⑨	生殖機能：前立腺癌、精巣腫瘍、子宮頸癌、子宮体癌（子宮内膜癌）、卵巣腫瘍（卵巣癌、卵巣嚢腫）、絨毛性疾患（胞状奇胎、絨毛癌）								○												
					⑩	乳房：原発性乳癌																						
					⑪	内分泌・栄養・代謝系：甲状腺腫瘍（腺腫様甲状腺腫、甲状腺癌）、褐色細胞腫																						
					⑫	眼・視覚系：網膜芽細胞腫																						
					⑬	耳鼻・咽喉・口腔系：舌癌、咽頭癌、喉頭癌									○													
					⑭	小児腫瘍：神経芽腫																						
	4 免疫・アレルギー			ねらい		自己免疫疾患・アレルギー性疾患・免疫不全疾患の病態生理を理解し、症候、診断と治療を学ぶ。																						
		1) 診断と検査の基本		学修目標	①	自己抗体の種類と臨床的意義を説明できる。						○											○					
		2) 症候		学修目標	①	ショック																	○					○
					②	発熱																	○					

コア・カリキュラム一覧
（平成28年度改訂版）

							臨床入門P実習3	LPBL A3	リサーチP3	地域医療A3	理工B3	内科総論	外科総論	放射線診断学	臨床腫瘍学	腎尿路	感染症	循環器	呼吸器	消化器	運動器	神経	免疫・膠原病・アレルギー	内分泌・代謝	腫瘍・再建外科・再生医療	血液・移植	リハビリ・地域包括医療	救急・中毒
E 全身におよぶ生理的変化、病態、診断、治療	4 免疫・アレルギー	2) 症候		学修目標	③	全身倦怠感																	○					
					④	発疹																	○					
					⑤	貧血																	○					
					⑥	リンパ節腫脹																	○					
					⑦	浮腫																	○					
					⑧	呼吸困難・息切れ																	○					
					⑨	咳・痰																	○					
					⑩	血尿・タンパク尿																	○					
					⑪	関節痛・関節腫脹																	○					
		3) 病態と疾患	(1) 自己免疫疾患一般	学修目標	①	膠原病と自己免疫疾患を概説し、その種類を列挙できる。															○		○					
					②	関節炎をきたす疾患を列挙できる。															○		○					
					③	膠原病に特徴的な皮疹を説明し、関連する疾患を列挙できる。															○		○					
			(2) 関節リウマチと類縁疾患	学修目標	①	関節リウマチの病態生理、症候、診断、治療とリハビリテーションを説明できる。															○		○				○	
					②	関節リウマチの関節外症状を説明できる。															○		○					
					③	成人Still 病の症候、診断と治療を説明できる。															○		○					
					④	若年性特発性関節炎(juvenile idiopathic arthritis〈JIA〉)の特徴を説明できる。															○		○					
			(3) 全身性エリテマトーデス(systemic lupus erythematosus〈SLE〉)、抗リン脂質抗体症候群	学修目標	①	全身性エリテマトーデス〈SLE〉の病態生理、症候、診断と治療を説明できる。																	○					
					②	全身性エリテマトーデス〈SLE〉の合併症（神経精神全身性エリテマトーデス、ループス腎炎）を説明できる。																	○					
					③	抗リン脂質抗体症候群の病態生理、症候、診断と治療を説明できる。																	○					
			(4) 全身性強皮症、皮膚筋炎・多発性筋炎、混合性結合織病、Sjögren 症候群	学修目標	①	全身性強皮症の病態生理、分類、症候、診断及び臓器病変（特に肺・腎）を説明できる。																	○					
					②	皮膚筋炎・多発性筋炎の症候、診断、治療及び合併症（間質性肺炎、悪性腫瘍）を説明できる。																	○					
					③	混合性結合組織病を概説できる。																	○					
					④	Sjögren 症候群を概説できる。																	○					
			(5) 全身性血管炎、Behçet 病、Kawasaki 病(急性熱性皮膚粘膜リンパ節症候群)	学修目標	①	全身性血管炎を分類/列挙し、その病態生理、症候、診断と治療を説明できる。																	○					
					②	Behçet 病の症候、診断と治療を説明できる。																	○					
					③	Kawasaki 病(急性熱性皮膚粘膜リンパ節症候群)の病態生理、症候、診断と治療を説明できる。																	○					
			(6) アレルギー性疾患	学修目標	①	主要な全身性アレルギー性疾患の分類と特徴を概説できる。																	○					
					②	アナフィラキシーの症候、診断と治療を説明できる。																	○					○
					③	食物アレルギーの種類、診断と治療を概説できる。																						
			(7) 原発性免疫不全症	学修目標	①	原発性免疫不全症の病態、診断と治療を概説できる。																						
	5 物理・化学的因子による疾患			ねらい		中毒と環境要因によって生じる疾患の病態生理を理解し、症候、診断と治療を学ぶ。																						
		1) 診断と検査の基本		学修目標	①	中毒患者の検査と起因物質の分析を概説できる。																						○
		2) 症候		学修目標	①	ショック																						○
					②	発熱																						○
					③	意識障害・失神																○						○
					④	脱水																						○
					⑤	黄疸																						○
					⑥	発疹																						○
					⑦	貧血																						○
					⑧	呼吸困難・息切れ																						○
					⑨	運動麻痺・筋力低下																○						○
					⑩	腹痛																						○
					⑪	悪心・嘔吐																						○
					⑫	便秘・下痢・血便																						○
					⑬	吐血・下血																						○
					⑭	尿量・排尿の異常																						○
		3) 疾患	(1) 中毒	学修目標	①	食中毒の病因、症候と予防法を説明できる。																						○
					②	一酸化炭素中毒の発生機序、症候、診断と治療法を説明できる。																						○
					③	有機リン剤、有機塩素剤と有機溶剤による中毒の機序、診断と治療を説明できる。																						○
					④	重金属、青酸、ヒ素、パラコート、自然毒による中毒を概説できる。																						○
					⑤	アルコール、覚醒剤・麻薬・大麻などの乱用薬物による中毒を説明できる。																						○
					⑥	医薬品による中毒を説明できる。																						○
			(2) 環境要因等による疾患	学修目標	①	高温による障害（熱中症）を説明できる。																						○
					②	寒冷による障害を説明できる。																						○
					③	振動障害と騒音障害を説明できる。																						○
					④	気圧による障害の原因や対処を説明できる。																						○
			(3) 熱傷	学修目標	①	熱傷面積（9 の法則）と深(達)度から熱傷の重症度を説明できる。																		○				○
					②	熱傷の治療方針を概説できる。																		○				○

コア・カリキュラム一覧

（平成28年度改訂版）

							臨床実習入門P3	LPBL A3	リサーチP3	地域医療A3	理工B3	内科総論	外科総論	放射線診断学	臨床腫瘍学	腎尿路	感染症	循環器	呼吸器	消化器	運動器	神経	免疫・膠原病・アレルギー	内分泌・代謝	皮膚・再建外科・再生医療	血液・移植	リハビリ・地域包括医療	救急・中毒
	6 放射線の生体影響と放射線障害			ねらい		医学・医療の分野に広く応用されている放射線や電磁波等の生体への作用や応用を理解する。																							
E 全身におよぶ生理的変化、病態、診断、治療	6 放射線の生体影響と放射線障害	1) 生体と放射線		学修目標	①	放射線の種類と放射能、これらの性質・定量法・単位を説明できる。								○	○														
					②	内部被ばくと外部被ばくについて、線量評価やその病態、症候、診断と治療を説明できる。									○														
					③	放射線及び電磁波の人体（胎児を含む）への影響（急性影響と晩発影響）を説明できる。								○	○													
					④	種々の正常組織の放射線の透過性や放射線感受性の違いを説明できる。									○													
					⑤	磁気共鳴画像法（MRI）で用いられている磁場や電磁波による人体や植え込みデバイスの発熱等の現象を概説できる。								○	○													
					⑥	放射線の遺伝子、細胞への作用と放射線による細胞死の機序、局所的・全身的影響を説明できる。								○	○													
					⑦	放射線被ばく低減の3原則と安全管理を説明できる。								○	○													
		2) 医療放射線と生体影響		学修目標	①	放射線診断やインターベンショナルラジオロジーの被ばく軽減の原則を知り、それを実行できる。								○	○													
					②	放射線診断（エックス線撮影、コンピュータ断層撮影〈CT〉、核医学）や血管造影及びインターベンショナルラジオロジーの利益とコスト・リスク（被ばく線量、急性、晩発影響等）を知り、適応の有無を判断できる。								○	○													
					③	放射線治療の生物学的原理と、人体への急性影響と晩発影響を説明できる。									○													
					④	医療被ばくに関して、放射線防護と安全管理を説明できる。								○	○													
					⑤	放射線診断や治療の被ばくに関して、患者にわかりやすく説明できる。								○	○													
		3) 放射線リスクコミュニケーション		学修目標	①	患者と家族が感じる放射線特有の精神的・社会的苦痛に対して十分に配慮できる。								○	○													
					②	患者の漠然とした不安を受け止め、不安を軽減するためにわかりやすい言葉で説明でき、対話ができる。								○	○													
		4) 放射線災害医療		学修目標	①	内部被ばくと外部被ばくの病態、症候、線量評価、治療を説明できる。									○													
					②	放射線災害・原子力災害でのメンタルヘルスを説明できる。									○													
	7 成長と発達			ねらい		胎児・新生児・乳幼児・小児期から思春期にかけての生理的成長・発達とその異常の特徴および精神・社会的な問題を理解する。																						
		1) 胎児・新生児		学修目標	①	胎児の循環・呼吸の生理的特徴と出生時の変化を説明できる。																						
					②	主な先天性疾患を列挙できる。																			○			
					③	新生児の生理的特徴を説明できる。																						
					④	胎児機能不全(non-reassuring fetal status 〈NRFS〉)を説明できる。																						
					⑤	新生児仮死の病態を説明できる。																						
					⑥	新生児マススクリーニングを説明できる。																						
					⑦	新生児黄疸の鑑別と治療を説明できる。																						
					⑧	新生児期の呼吸障害の病因を列挙できる。																						
					⑨	正常児・低出生体重児・病児の管理の基本を説明できる。																						
					⑩	低出生体重児固有の疾患を概説できる。																						
		2) 乳幼児		学修目標	①	乳幼児の生理機能の発達を説明できる。						○																
					②	乳幼児の正常な精神運動発達を説明できる。						○																
					③	乳幼児の保育法・栄養法の基本を概説できる。																						
					④	乳幼児突然死症候群(sudden infant death syndrome 〈SIDS〉)を説明できる。																						
		3) 小児期全般		学修目標	①	小児の精神運動発達および心身相関を説明できる。																						
					②	小児の栄養上の問題点を列挙できる。																						
					③	小児免疫発達と感染症の関係を概説できる。																						
					④	小児保健における予防接種の意義と内容を説明できる。																						
					⑤	成長に関わる主な異常（小児心身症を含む）を列挙できる。																						
					⑥	児童虐待を概説できる。																						
					⑦	小児の診断法と治療法における特徴を概説できる。																○						
					⑧	神経発達障害群（自閉症スペクトラム障害〈ASD〉、注意欠如・多動障害〈ADHD〉、限局性学習障害、チック障害群）を列挙できる。																					
		4) 思春期		学修目標	①	思春期発現の機序と性徴を説明できる。																						
					②	思春期と関連した精神保健上の問題を列挙できる。																						
					③	移行期医療の現状と課題を説明できる。																						
	8 加齢と老化			ねらい		加齢に伴う身体的変化、精神・心理的変化、高齢者に特有な疾患・病態の診断と治療、リハビリテーション、介護、人生の最終段階における医療（エンド・オブ・ライフ・ケア）に関わる問題を学ぶ。																						
		1) 老化と高齢者の特徴		学修目標	①	老化学説、老化制御、加齢に伴う臓器の構造的・機能的変化を説明でき、これによる予備能の低下等患者にもたらされる生理的変化を説明できる。																						
					②	高齢者総合機能評価(comprehensive geriatric assessment 〈CGA〉)を実施できる。																						
					③	老年症候群（歩行障害・転倒、認知機能障害、排泄障害、栄養障害、摂食・嚥下障害等）の概念を説明できる。																					○	
					④	フレイル、サルコペニア、ロコモティブ・シンドロームの概念、その対処法、予防が説明できる。																					○	
					⑤	認知症、うつ、せん妄の違いを説明し、それぞれの鑑別、初期対応を実施できる。																						
					⑥	歩行障害・転倒の評価、鑑別診断を行い、原因に応じた転倒予防・リハビリテーションを説明できる。																					○	
					⑦	口腔機能低下、摂食・嚥下障害の評価、鑑別診断を行い、原因に応じた治療・リハビリテーション、予防を実施できる。																					○	
					⑧	高齢者の栄養マネジメントを説明できる。																						
					⑨	加齢に伴う薬物動態の変化、高齢者に対する薬物療法の注意点を説明でき、ポリファーマシーの是正等適切な介入が実施できる。																					
					⑩	高齢者の障害及び廃用症候群を説明でき、それらに対するリハビリテーションを説明できる。																					○	
					⑪	高齢者の退院支援と介護保険制度を説明できる。																						
					⑫	高齢者の人生の最終段階における医療（エンド・オブ・ライフ・ケア）を説明できる。																						
	9 人の死			ねらい		個体の死を理解する。																						
		1) 生物的死と社会的死		学修目標	①	死の概念と定義や生物学的な個体の死を説明できる。																						○
					②	植物状態と脳死の違いを説明できる。																○						○
					③	内因死と外因死について違いと内容を説明できる。																						

コア・カリキュラム一覧 （平成28年度改訂版）							臨床実習入門PP3	LPBLA3	リサーチP3	地域医療A3	理工B3	内科総論	外科総論	放射線診断学	臨床腫瘍学	腎尿路	感染症	循環器	呼吸器	消化器	運動器	神経	免疫・膠原病・アレルギー	内分泌・代謝	臓器再建外科・再生医療	血液・移植	リハビリ・地域包括医療	救急・中毒
E 全身におよぶ生理的変化、病態、診断、治療	9 人の死	1) 生物的死と社会的死		学修目標	④	突然死の定義を説明でき、突然死を来しうる疾患(乳幼児突然死症候群<SIDS>を含む)を列挙できる。																						
					⑤	診療関連死について説明できる。																						
					⑥	死に至る身体と心の過程を説明できる。その個別性にも共感配慮できる。																						
					⑦	人生の最終段階における医療(エンド・オブ・ライフ・ケア)での患者とのコミュニケーション、頻度の高い苦痛とその対処法・ケアを説明できる。																						
					⑧	水・補液、栄養管理を含む人生の最終段階における医療(エンド・オブ・ライフ・ケア)と小児の特殊性を説明できる。																						
					⑨	人生の最終段階における医療(エンド・オブ・ライフ・ケア)での本人の意思決定、事前指示、延命治療、Do not attempt resuscitation <DNAR>、尊厳死と安楽死、治療の中止と差し控えの概念を説明できる。																						
					⑩	患者の死後の家族ケア(悲嘆のケア(グリーフケア))を説明できる。																						
F 診療の基本	1 症候・病態からのアプローチ			ねらい		主な症候・病態の原因、分類、診断と治療の概要を各分野統合して学ぶことにより、医師として必須となる診療の基本を修得する。																						
		1) 発熱		学修目標	①	発熱の原因と病態生理を説明できる。		○				○					○						○					
					②	発熱をきたす疾患(群)を列挙し、診断の要点を説明できる。		○				○					○						○					
					③	発熱がある患者の治療の要点を説明し、専門的治療が必要な状態を概説できる。		○									○						○					
		2) 全身倦怠感		学修目標	①	全身倦怠感の原因と病態生理を説明できる。		○																				
					②	全身倦怠感をきたす疾患(群)を列挙し、診断の要点を説明できる。		○																				
					③	全身倦怠感がある患者の治療の要点を説明し、専門的治療が必要な状態を概説できる。		○																				
		3) 食思(欲)不振		学修目標	①	食思(欲)不振の原因と病態生理を説明できる。		○																				
					②	食思(欲)不振をきたす疾患(群)を列挙し、診断の要点を説明できる。		○																				
					③	食思(欲)不振がある患者の治療の要点を説明し、専門的治療が必要な状態を概説できる。		○																				
		4) 体重減少・体重増加		学修目標	①	体重減少・体重増加の原因と病態生理を説明できる。		○																				
					②	体重減少・体重増加をきたす疾患(群)を列挙し、診断の要点を説明できる。		○																				
					③	体重減少・体重増加がある患者の治療の要点を説明し、専門的治療が必要な状態を概説できる。		○																				
		5) ショック		学修目標	①	ショックの原因と病態生理を説明できる。		○										○										○
					②	ショックをきたす疾患(群)を列挙し、診断の要点を説明できる。		○										○										○
					③	ショック状態にある患者の治療の要点を説明し、専門的治療が必要な状態を概説できる。		○										○										○
		6) 心停止		学修目標	①	心停止の原因と病態生理を説明できる。		○																				○
					②	心停止をきたす疾患(群)を列挙し、診断の要点を説明できる。		○																				○
					③	心停止患者の治療の要点を説明し、専門的治療が必要な状態を概説できる。		○																				○
		7) 意識障害・失神		学修目標	①	意識障害・失神の原因と病態生理を説明できる。		○				○										○						○
					②	意識障害・失神をきたす疾患(群)を列挙し、診断の要点を説明できる。		○														○						○
					③	意識障害・失神がある患者の治療の要点を説明し、専門的治療が必要な状態を概説できる。		○														○						○
		8) けいれん		学修目標	①	けいれんの原因と病態生理を説明できる。		○														○						○
					②	けいれんをきたす疾患(群)を列挙し、診断の要点を説明できる。		○														○						○
					③	けいれんがある患者の治療の要点を説明し、専門的治療が必要な状態を概説できる。		○														○						○
		9) めまい		学修目標	①	めまいの原因と病態生理を説明できる。		○																				
					②	めまいをきたす疾患(群)を列挙し、診断の要点を説明できる。		○																				
					③	めまいがある患者の治療の要点を説明し、専門的治療が必要な状態を概説できる。		○																				
		10) 脱水		学修目標	①	脱水の原因と病態生理を説明できる。		○										○										
					②	脱水をきたす疾患(群)を列挙し、診断の要点を説明できる。		○										○										
					③	脱水がある患者の治療の要点を説明し、専門的治療が必要な状態を概説できる。		○										○										
		11) 浮腫		学修目標	①	浮腫の原因と病態生理を説明できる。		○										○										
					②	浮腫をきたす疾患(群)を列挙し、診断の要点を説明できる。		○								○		○										
					③	浮腫がある患者の治療の要点を説明し、専門的治療が必要な状態を概説できる。		○								○		○										
		12) 発疹		学修目標	①	発疹の原因と病態生理を説明できる。		○																				
					②	発疹をきたす疾患(群)を列挙し、診断の要点を説明できる。		○																				
					③	発疹がある患者の治療の要点を説明し、専門的治療が必要な状態を概説できる。		○																				
		13) 咳・痰		学修目標	①	咳・痰の原因と病態生理を説明できる。		○									○		○									
					②	咳・痰をきたす疾患(群)を列挙し、診断の要点を説明できる。		○									○		○									
					③	咳・痰がある患者の治療の要点を説明し、専門的治療が必要な状態を概説できる。		○									○		○									
		14) 血痰・喀血		学修目標	①	血痰・喀血の原因と病態生理を説明できる。		○											○									
					②	血痰・喀血をきたす疾患(群)を列挙し、診断の要点を説明できる。		○											○									
					③	血痰・喀血がある患者の治療の要点を説明し、専門的治療が必要な状態を概説できる。		○											○									
		15) 呼吸困難		学修目標	①	呼吸困難の原因と病態生理を説明できる。		○										○	○									○
					②	呼吸困難をきたす疾患(群)を列挙し、診断の要点を説明できる。		○				○						○	○									○
					③	呼吸困難がある患者の治療の要点を説明し、専門的治療が必要な状態を概説できる。		○										○	○									○
		16) 胸痛		学修目標	①	胸痛の原因と病態生理を説明できる。		○										○	○									○
					②	胸痛をきたす疾患(群)を列挙し、診断の要点を説明できる。		○				○						○	○									○
					③	胸痛がある患者の治療の要点を説明し、専門的治療が必要な状態を概説できる。		○										○	○									○
		17) 動悸		学修目標	①	動悸の原因と病態生理を説明できる。		○										○										
					②	動悸をきたす疾患(群)を列挙し、診断の要点を説明できる。		○				○						○										
					③	動悸がある患者の治療の要点を説明し、専門的治療が必要な状態を概説できる。		○										○										

コア・カリキュラム一覧
（平成28年度改訂版）

							臨床実習入門P3	LPBL A3	リサーチP3	地域医療A3	理工B3	内科総論	外科総論	放射線診断学	臨床腫瘍学	腎尿路	感染症	循環器	呼吸器	消化器	運動器	神経	免疫・膠原病・アレルギー	内分泌・代謝	腎臓・泌尿器再建外科・再生医療	血液・移植	リハビリ・地域包括医療	救急・中毒
F 診療の基本	1 症候・病態からのアプローチ	18) 胸水		学修目標	①	胸水の原因と病態生理を説明できる。		○										○	○									
					②	胸水をきたす疾患(群)を列挙し、診断の要点を説明できる。		○										○	○									
					③	胸水がある患者の治療の要点を説明し、専門的治療が必要な状態を概説できる。		○										○	○									
		19) 嚥下困難・障害		学修目標	①	嚥下困難・障害の原因と病態生理を説明できる。		○																				
					②	嚥下困難・障害をきたす疾患(群)を列挙し、診断の要点を説明できる。		○																				
					③	嚥下困難・障害がある患者の治療の要点を説明し、専門的治療が必要な状態を概説できる。		○																				
		20) 腹痛		学修目標	①	腹痛の原因と病態生理を説明できる。		○												○								○
					②	腹痛をきたす疾患(群)を列挙し、診断の要点を説明できる。		○												○								○
					③	腹痛がある患者の治療の要点を説明し、専門的治療が必要な状態を概説できる。		○												○								○
		21) 悪心・嘔吐		学修目標	①	悪心・嘔吐の原因と病態生理を説明できる。		○																				
					②	悪心・嘔吐をきたす疾患(群)を列挙し、診断の要点を説明できる。		○																				
					③	悪心・嘔吐がある患者の治療の要点を説明し、専門的治療が必要な状態を概説できる。		○																				
		22) 吐血・下血		学修目標	①	吐血・下血の原因と病態生理を説明できる。		○												○								○
					②	吐血・下血をきたす疾患(群)を列挙し、診断の要点を説明できる。		○																				○
					③	吐血・下血がある患者の治療の要点を説明し、専門的治療が必要な状態を概説できる。		○																				○
		23) 便秘・下痢		学修目標	①	便秘・下痢の原因と病態生理を説明できる。		○												○								
					②	便秘・下痢をきたす疾患(群)を列挙し、診断の要点を説明できる。		○												○								
					③	便秘・下痢がある患者の治療の要点を説明し、専門的治療が必要な状態を概説できる。		○																				
		24) 黄疸		学修目標	①	黄疸の原因と病態生理を説明できる。		○												○								
					②	黄疸をきたす疾患(群)を列挙し、診断の要点を説明できる。		○																				
					③	黄疸がある患者の治療の要点を説明し、専門的治療が必要な状態を概説できる。		○																				
		25) 腹部膨隆(腹水を含む)・腫瘤		学修目標	①	腹部膨隆(腹水を含む)・腫瘤の原因と病態生理を説明できる。		○												○								
					②	腹部膨隆(腹水を含む)・腫瘤をきたす疾患(群)を列挙し、診断の要点を説明できる。		○																				
					③	腹部膨隆(腹水を含む)・腫瘤がある患者の治療の要点を説明し、専門的治療が必要な状態を概説できる。		○																				
		26) 貧血		学修目標	①	貧血の原因と病態生理を説明できる。		○																		○		
					②	貧血をきたす疾患(群)を列挙し、診断の要点を説明できる。		○														○				○		
					③	貧血がある患者の治療の要点を説明し、専門的治療が必要な状態を概説できる。		○																		○		
		27) リンパ節腫脹		学修目標	①	リンパ節腫脹の原因と病態生理を説明できる。		○				○					○									○		
					②	リンパ節腫脹をきたす疾患(群)を列挙し、診断の要点を説明できる。		○				○					○									○		
					③	リンパ節腫脹がある患者の治療の要点を説明し、専門的治療が必要な状態を概説できる。		○									○									○		
		28) 尿量・排尿の異常		学修目標	①	尿量・排尿の異常の原因と病態生理を説明できる。		○																				
					②	尿量・排尿の異常をきたす疾患(群)を列挙し、診断の要点を説明できる。		○																				
					③	尿量・排尿の異常がある患者の治療の要点を説明し、専門的治療が必要な状態を概説できる。		○																				
		29) 血尿・タンパク尿		学修目標	①	血尿・タンパク尿の原因と病態生理を説明できる。		○								○												
					②	血尿・タンパク尿をきたす疾患(群)を列挙し、診断の要点を説明できる。		○								○												
					③	血尿・タンパク尿がある患者の治療の要点を説明し、専門的治療が必要な状態を概説できる。		○																				
		30) 月経異常		学修目標	①	月経異常の原因と病態生理を説明できる。		○																				
					②	月経異常をきたす疾患(群)を列挙し、診断の要点を説明できる。		○																				
					③	月経異常がある患者の治療の要点を説明し、専門的治療が必要な状態を概説できる。		○																				
		31) 不安・抑うつ		学修目標	①	不安・抑うつの原因と病態生理を説明できる。		○																				
					②	不安・抑うつをきたす疾患(群)を列挙し、診断の要点を説明できる。		○																				
					③	不安・抑うつがある患者の治療の要点を説明し、専門的治療が必要な状態を概説できる。		○																				
		32) もの忘れ		学修目標	①	もの忘れの原因と病態生理を説明できる。		○																				
					②	もの忘れをきたす疾患(群)を列挙し、診断の要点を説明できる。		○																				
					③	もの忘れがある患者の治療の要点を説明し、専門的治療が必要な状態を概説できる。		○																				
		33) 頭痛		学修目標	①	頭痛の原因と病態生理を説明できる。		○														○						
					②	頭痛をきたす疾患(群)を列挙し、診断の要点を説明できる。		○														○						
					③	頭痛がある患者の治療の要点を説明し、専門的治療が必要な状態を概説できる。		○														○						
		34) 運動麻痺・筋力低下		学修目標	①	運動麻痺・筋力低下の原因と病態生理を説明できる。		○													○	○						
					②	運動麻痺・筋力低下をきたす疾患(群)を列挙し、診断の要点を説明できる。		○													○							
					③	運動麻痺・筋力低下がある患者の治療の要点を説明し、専門的治療が必要な状態を概説できる。		○													○							
		35) 腰背部痛		学修目標	①	腰背部痛の原因と病態生理を説明できる。		○													○							
					②	腰背部痛をきたす疾患(群)を列挙し、診断の要点を説明できる。		○													○							
					③	腰背部痛がある患者の治療の要点を説明し、専門的治療が必要な状態を概説できる。		○													○							
		36) 関節痛・関節腫脹		学修目標	①	関節痛・関節腫脹の原因と病態生理を説明できる。		○													○		○					
					②	関節痛・関節腫脹をきたす疾患(群)を列挙し、診断の要点を説明できる。		○													○		○					
					③	関節痛・関節腫脹がある患者の治療の要点を説明し、専門的治療が必要な状態を概説できる。		○													○		○					
		37) 外傷・熱傷		学修目標	①	外傷・熱傷の病態生理を説明できる。		○																	○			○
					②	外傷・熱傷の診断の要点を説明できる。		○																	○			○

コア・カリキュラム一覧
（平成28年度改訂版）

							臨床実習入門PP3	LPBLA3	リサーチP3	地域医療A3	理工B3	内科総論	外科総論	放射線診断学	臨床腫瘍学	腎尿路	感染症	循環器	呼吸器	消化器	運動器	神経	免疫・膠原病・アレルギー	内分泌・代謝	臓器再建外科・再生医療	血液・移植	リハビリ・地域包括医療	救急・中毒
F 診療の基本	1 症候・病態からのアプローチ	37) 外傷・熱傷		学修目標	③	外傷・熱傷がある患者の治療の要点を説明し、専門的治療が必要な状態を概説できる。		○																	○			○
	2 基本的診療知識	1) 臨床推論		ねらい		患者に生じた健康問題を明らかにし、対応を意思決定するために、問題点を予測し，論じることができる。		○																				
				学修目標	①	問題の同定から治療やマネジメントに至るプロセスを列挙できる。		○																				
					②	情報収集には医療面接、身体診察、検査の3 つの方法があることを説明できる。		○															○					
					③	診断仮説を想起するためには、解剖学、病理学、生理学、生化学等の基礎医学や疾患頻度が重要であることを説明できる。		○																				
					④	診断仮説を検証するために、診断仮説に基づいた情報収集を実施できる。		○																				
					⑤	診断過誤の原因とその防止法を説明できる。		○																				
					⑥	状況に応じ、診断プロセスと治療やマネジメントが並行して行われることが説明できる。		○																				
					⑦	治療やマネジメントに関して意思決定するために、患者側と情報共有や摺り合わせをすることができる。		○																				
					⑧	コンサルテーションや紹介の必要な状況を説明できる。		○																				
		2) 根拠に基づいた医療〈EBM〉		ねらい		臨床現場での意思決定において、入手可能な最善の医学知見を用い、適切な意思決定を行うための方法を身に付ける。																						
				学修目標	①	根拠に基づく医療<EBM>の5つのステップを列挙できる。																						
					②	現場で遭遇した臨床上の問題に関し、PICO (PECO)を用いた問題の定式化ができる。																						
					③	研究デザイン（観察研究（記述研究、横断研究、症例対照研究、コホート研究）、介入研究（臨床研究、ランダム化比較試験）、システマティックレビュー、メタ分析（メタアナリシス）を概説できる。																						
					④	データベースや二次文献からのエビデンス、診療ガイドラインを検索することができる。																						
					⑤	得られた情報の批判的吟味ができる。																						
					⑥	診療ガイドラインの種類と使用上の注意を列挙できる。																						
					⑦	診療ガイドラインの推奨の強さについて違いを述べることができる。																						
		3) 臨床検査		ねらい		検査の方法と臨床推論における適応、意義、検査結果の解釈を説明できる。																						
				学修目標	①	臨床検査の目的と意義を説明でき、必要最小限の検査項目を選択できる。						○							○							○		
					②	臨床検査の正しい検体採取方法と検体保存方法を説明できる。													○							○		
					③	臨床検査の安全な実施方法（患者確認と検体確認、検査の合併症、感染症予防、精度管理）を説明できる。											○		○									
					④	臨床検査の特性（感度、特異度、偽陽性、偽陰性、検査前確率（事前確率）・検査後確率（事後確率）、尤度比、receiver operating characteristic <ROC>曲線）と判定基準（基準値・基準範囲、カットオフ値、パニック値）を説明できる。													○									
					⑤	臨床検査の生理的変動、測定誤差、精度管理、ヒューマンエラーを説明できる。													○									
					⑥	小児、高齢者、妊産婦の検査値特性を説明し、結果を解釈できる。																						
					⑦	病態を推察する基本的検査と確定診断のための検査の意義・相違点を理解・説明できる。																						○
					⑧	血算、凝固・線溶検査、尿・糞便検査、生化学検査の目的と適応を説明し、結果を解釈できる。													○				○			○		○
					⑨	染色体・遺伝子検査の目的と適応を説明し、結果を解釈できる。																						
					⑩	病理組織検査、細胞診検査、フローサイトメトリの意義を説明できる。													○							○		
					⑪	免疫血清学検査、輸血検査の目的と適応を説明し、結果を解釈できる。													○				○			○		
					⑫	生体機能検査（心電図、心臓機能検査、呼吸機能検査、超音波検査、内分泌・代謝機能検査、脳波検査、針筋電図検査、末梢神経伝導検査）の目的と適応を説明し、結果を解釈できる。												○	○								○	
					⑬	細菌学検査（細菌の塗抹、培養、同定、薬剤感受性試験）の目的と適応を説明し、結果を解釈できる。											○		○							○		○
					⑭	動脈血ガス分析、経皮的酸素飽和度モニターの目的と適応を説明し、結果を解釈できる。							○					○	○									○
					⑮	脳脊髄液・胸水・腹水検査の目的と適応を説明し、結果を解釈できる。																				○		
		4) 病理診断		ねらい		臨床診断に必須の病理診断、細胞診の目的、方法、意義を理解する。																						
				学修目標	①	病理診断、細胞診の適切な検体の取扱い、標本作製及び診断過程が説明できる。																						
					②	診断に必要な臨床情報の適切な提供法を説明できる。																						
					③	術中迅速診断の利点、欠点を説明できる。																						
					④	デジタル画像を用いた病理診断（遠隔診断を含む）の利点、欠点を説明できる。																						
					⑤	病理解剖の医療における位置付けと法的事項、手続等を説明できる。																						
		5) 放射線等を用いる診断と治療		ねらい		放射線等による診断と治療の基本を学ぶ。																						
				学修目標	①	エックス線撮影、コンピュータ断層撮影<CT>、磁気共鳴画像法<MRI>と核医学検査の原理を説明できる。						○		○					○									
					②	エックス線撮影、コンピュータ断層撮影<CT>、磁気共鳴画像法<MRI>と核医学検査の読影の基本を説明できる。						○		○					○									
					③	放射線治療の原理を説明し、主な放射線治療法を列挙できる。													○									
					④	放射線診断・治療による利益と不利益を説明できる。						○		○					○									
					⑤	インターベンショナルラジオロジー（画像誘導下治療）を概説できる。						○		○					○									○
		6) 内視鏡を用いる診断と治療		ねらい		内視鏡の原理とそれによる診断と治療の基本を学ぶ。																						
				学修目標	①	内視鏡機器の種類と原理を説明できる。							○						○									
					②	内視鏡検査法の種類を列挙し、概説できる。							○						○									
					③	内視鏡を用いる治療を概説できる。							○						○									
		7) 超音波を用いる診断と治療		ねらい		超音波機器の原理とそれによる診断と治療の基本を学ぶ。																						
				学修目標	①	超音波機器の種類と原理を説明できる。												○										
					②	超音波検査法の種類を列挙し、概説できる。												○										
					③	主な疾患、病態のエコー像を概説できる。						○		○														○
					④	超音波を用いる治療を概説できる。																						
					⑤	超音波の生体作用と安全性を説明できる。																						
					⑥	超音波造影法を説明できる。																						
		8) 薬物治療の基本原理		ねらい		診療に必要な薬物治療の基本（薬理作用、有害事象、投与時の注意事項）を学ぶ。																						
				学修目標	①	薬物（オピオイドを含む）の蓄積、耐性、タキフィラキシー、依存、習慣性や嗜癖を説明できる。																						

コア・カリキュラム一覧（平成28年度改訂版）							臨床実習入門P3	LPBL A3	リサーチP3	地域医療A3	理工B3	内科総論	外科総論	放射線診断学	臨床腫瘍学	腎尿路	感染症	循環器	呼吸器	消化器	運動器	神経	免疫・膠原病・アレルギー	内分泌・代謝	臓器再建外科・再生医療	血液・移植	リハビリ・地域包括医療	救急・中毒
F 診療の基本	2 基本的診療知識	8) 薬物治療の基本原理		学修目標	②	主な薬物アレルギーの症候、診察、診断を列挙し、予防策と対処法を説明できる。																						
					③	薬物によるアナフィラキシーショックの症候、診断、対処法を説明できる。																	○					○
					④	各臓器系統(中枢・末梢神経、循環器、呼吸器、消化器、腎泌尿器、血液、内分泌等)に作用する薬の薬理作用、適応、有害事象、投与時の注意事項を説明できる。													○									
					⑤	抗微生物薬の薬理作用、適応、有害事象、投与時の注意事項を説明できる。													○									
					⑥	抗腫瘍薬の適応、有害事象、投与時の注意事項を説明できる。									○				○	○								
					⑦	麻薬性鎮痛薬・鎮静薬の適応、有害事象、投与時の注意事項を説明できる。																						
					⑧	主な薬物の有害事象を概説できる。																						
					⑨	年齢や臓器障害に応じた薬物動態の特徴を考慮して薬剤投与の注意点を説明できる。																						
					⑩	薬物動態的相互作用について例を挙げて説明できる。													○									
					⑪	処方箋の書き方、服薬の基本・アドヒアランスを説明できる。																						
					⑫	分子標的薬の薬理作用と有害事象を説明できる。																	○					
					⑬	漢方医学の特徴や、主な和漢薬(漢方薬)の適応、薬理作用を概説できる。																						
					⑭	ポリファーマシー、使用禁忌、特定条件下での薬物使用(アンチ・ドーピング等)を説明できる。																						
		9) 外科的治療と周術期管理		ねらい		外科的治療と周術期管理の基本を学ぶ。																						
			(1) 外科的治療	学修目標	①	清潔の概念と必要性を説明できる。							○												○			
					②	手洗いの意味と手技を説明できる。							○												○			
					③	ガウンテクニックの必要性と手技を説明できる。							○												○			
					④	創傷治癒のメカニズムを説明できる。							○												○			
					⑤	消毒の意味と方法を説明でき、被覆材の種類と適応、効果を説明できる。							○												○			
					⑥	外科的治療の適応と合併症を説明できる。							○												○			
			(2) 周術期管理	学修目標	①	手術の危険因子を列挙し、その対応の基本を説明できる。							○															
					②	基本的バイタルサイン(体温、呼吸、脈拍、血圧)の意義とモニターの方法を説明できる。							○					○										
					③	主な術後合併症を列挙し、その予防の基本を説明できる。							○															
					④	手術に関するインフォームド・コンセントの注意点を列挙できる。							○															
					⑤	周術期管理における事前のリスク評価を説明できる。							○															
					⑥	周術期における主な薬剤の服薬管理(継続、中止等)の必要性とそれに伴うリスクの基本を説明できる。							○															
					⑦	周術期管理における輸液・輸血の基本を説明できる。							○															○
					⑧	術後痛の管理を説明できる。							○															
					⑨	術後回復室の役割を概説できる。							○															
					⑩	集中治療室の役割を概説できる。							○															○
		10) 麻酔		ねらい		全身麻酔・局所麻酔の基本を学ぶ。																						
				学修目標	①	麻酔の概念、種類と麻酔時の生体反応を説明できる。																						
					②	麻酔管理を安全に行うための術前評価と呼吸管理を概説できる。																						
					③	麻酔薬と筋弛緩薬の種類と使用上の原則を説明できる。																						
					④	吸入麻酔と静脈麻酔の適応、禁忌、方法、事故と合併症を概説できる。																						
					⑤	気管挿管を含む各種の気道確保法を概説できる。																						
					⑥	局所麻酔、末梢神経ブロック、神経叢ブロック、脊髄くも膜下麻酔、硬膜外麻酔の適応、禁忌と合併症を概説できる。																			○			
					⑦	安全な麻酔のためのモニタリングの方法、重要な異常所見と対処法を概説できる。																						
					⑧	悪性高熱症や神経筋疾患患者における麻酔管理上の注意点を概説できる。																						
		11) 食事・栄養療法と輸液療法		ねらい		食事・栄養療法と輸液療法の基本を学ぶ。																						
				学修目標	①	食行動、食事摂取基準、食事バランス、日本食品標準成分表、補助食品、食物繊維・プロバイオティクス・プレバイオティクスを概説できる。																						
					②	栄養アセスメント、栄養ケア・マネジメント、栄養サポートチーム(nutrition support team <NST>)、疾患別の栄養療法を説明できる。																						
					③	各種補液製剤(ビタミン、微量元素を含む)の特徴と病態に合わせた適応、投与時の注意事項を説明できる。										○												
					④	経静脈栄養と経管・経腸栄養の適応、方法と合併症、長期投与時の注意事項を説明できる。										○												
					⑤	乳幼児と小児の輸液療法を説明できる。																						
		12) 医療機器と人工臓器		ねらい		医用機器と人工臓器の基本を学ぶ。																						
				学修目標	①	主な医療機器の種類と原理を概説できる。							○					○										○
					②	主な人工臓器の種類と原理を概説できる。							○															○
		13) 輸血と移植		ねらい		輸血と移植の基本を学ぶ。																						
				学修目標	①	血液製剤及び血漿分画製剤の種類と適応を説明できる。																				○		○
					②	血液型(ABO、RhD)検査、血液交差適合(クロスマッチ)試験、不規則抗体検査を説明できる。																				○		
					③	輸血副反応、輸血使用記録保管義務、不適合輸血の防止手順を説明できる。																				○		
					④	輸血の適正使用、成分輸血、自己血輸血、緊急時の輸血を説明できる。							○													○		
					⑤	臓器移植、造血幹細胞移植の種類と適応を説明できる。																				○		
					⑥	移植と組織適合性の関係を説明できる。																				○		
					⑦	移植後の拒絶反応、移植片対宿主病の病態生理と発症時の対応を説明できる。																				○		
					⑧	免疫抑制薬の種類、適応と副作用を説明できる。																	○			○		
		14) リハビリテーション		ねらい		リハビリテーションの基本を学ぶ。																						
				学修目標	①	リハビリテーションの概念と適応(心大血管疾患、呼吸器疾患、癌等の内部障害を含む)を説明できる。																					○	

コア・カリキュラム一覧
（平成28年度改訂版）

							臨床実習入門P3	LPBL A3	リサーチP3	地域医療A3	理工B3	内科総論	外科総論	放射線診断学	臨床腫瘍学	腎尿路	感染症	循環器	呼吸器	消化器	運動器	神経	免疫・膠原病・アレルギー	内分泌・代謝	臓器再建・再生医療・放射	血液・移植	リハビリ・地域包括医療	救急・中毒
F 診療の基本	2 基本的診療知識	14) リハビリテーション		学修目標	②	リハビリテーション・チームの構成を理解し、医師の役割を説明できる。																					○	
					③	福祉・介護との連携におけるリハビリテーションの役割を説明できる。																					○	
					④	障害を国際生活機能分類の心身機能・身体構造、活動、参加に分けて説明できる。																					○	
					⑤	機能障害と日常生活動作(activities of daily living〈ADL〉)の評価ができる。																					○	
					⑥	理学療法、作業療法と言語聴覚療法を概説できる。																					○	
					⑦	主な歩行補助具、車椅子、義肢(義手、義足)と装具を概説できる。																					○	
		15) 在宅医療と介護		ねらい		在宅医療と介護の基本を学ぶ。																						
				学修目標	①	在宅医療の在り方、今後の必要性と課題を概説できる。																						
					②	在宅医療における多職種連携の重要性を説明できる。																						
					③	褥瘡の予防、評価、処置・治療及びチーム医療の重要性を説明できる。																		○				
					④	在宅における人生の最終段階における医療、看取りの在り方と課題を概説できる。																						
					⑤	介護の定義と種類を説明できる。																						
					⑥	日常生活動作〈ADL〉(排泄、摂食、入浴等)に応じた介護と環境整備の要点を概説できる。																					
					⑦	地域包括ケアシステムと介護保険制度、障害者総合支援法等の医療保健福祉制度を概説できる。																						
		16) 緩和ケア		ねらい		緩和ケアの基本を学ぶ。																						
				学修目標	①	緩和ケア(緩和ケアチーム、ホスピス、緩和ケア病棟、在宅緩和ケアを含む)を概説できる。													○							○		
					②	全人的苦痛を説明できる。																				○		
					③	緩和ケアにおいて頻度の高い身体的苦痛、心理社会的苦痛を列挙することができる。																				○		
					④	疼痛のアセスメント、疼痛緩和の薬物療法、癌疼痛治療法を説明できる。													○							○		
					⑤	オピオイドの適応と課題を説明できる。																				○		
					⑥	緩和ケアにおける患者・家族の心理を説明できる。													○							○		
	3基本的診療技能	1)問題志向型システムと臨床診断推論		学修目標	①	基本的診療知識に基づき、症例に関する情報を収集・分析できる。						○		○														
					②	得られた情報を基に、その症例の問題点を抽出できる。																						
					③	病歴と身体所見等の情報を統合して、鑑別診断ができる。																						
					④	主要疾患の症例に関して、診断・治療計画を立案できる。																						
		2) 医療面接		学修目標	①	適切な身だしなみ、言葉遣い及び態度で患者に接することができる。																						
					②	医療面接における基本的コミュニケーション技法を用いることができる。						○		○														
					③	病歴(主訴、現病歴、常用薬、アレルギー歴、既往歴、家族歴、嗜好、生活習慣、社会歴・職業歴、生活環境、家庭環境、海外渡航歴、システムレビュー)を聴き取り、情報を取捨選択し整理できる。																					
					④	診察時に患者に適切な体位(立位、座位、半座位、臥位、砕石位)を説明できる。																						
					⑤	診察で得た所見、診断、必要な検査を上級医に説明、報告できる。																						
		3) 診療録(カルテ)		学修目標	①	適切に患者の情報を収集し、問題志向型医療記録〈POMR〉を作成できる。																						
					②	診療経過を主観的所見・客観的所見・評価・計画〈SOAP〉で記載できる。																						
					③	症例を適切に要約する習慣を身に付け、状況に応じて提示できる。																						
					④	プライバシー保護とセキュリティーに充分配慮できる。																						
		4) 臨床判断		学修目標	①	臨床疫学的指標(感度・特異度、尤度比等)を考慮して、必要十分な検査を挙げ、症例における検査結果の臨床的意義を解釈できる。																						
					②	科学的根拠に基づいた治療法を述べることができる。																						
		5) 身体診察	(1) 基本事項	学修目標	①	患者の立場を尊重し、信頼を得ることができる。																						
					②	患者の安全を重視し、有害事象が生じた場合は適切に対応ができる。																						
					③	患者のプライバシー、羞恥心、苦痛に配慮し、個人情報等を守秘できる。																						
					④	感染を予防するため、診察前後の標準予防策(standard precautions)ができる。																						
					⑤	身だしなみ、言葉遣い及び態度等に気を配ることができる。																						
					⑥	患者の状態から診察が可能かどうかを判断し、状態に応じた診察ができる。																						
			(2) 全身状態とバイタルサイン	学修目標	①	身長・体重を測定し、body mass index〈BMI〉の算出、栄養状態を評価できる。																						
					②	上腕で触診、聴診法により血圧を測定できる。																						
					③	両側の橈骨動脈で脈拍を診察できる。																						
					④	呼吸数を測定し、呼吸の異常の有無を確認できる。																						
					⑤	腋窩で体温の測定ができる。																						
					⑥	下肢の動脈の触診等、下肢の血圧測定(触診法)、大腿の血圧測定(聴診法)を実施できる。																						
					⑦	全身の外観(体型、栄養、姿勢、歩行、顔貌、皮膚、発声)を評価できる。																						
			(3) 頭頸部	学修目標	①	頭部(顔貌、頭髪、頭皮、頭蓋)の診察ができる。						○		○											○			
					②	眼(視野、瞳孔、対光反射、眼球運動・突出、結膜)の診察ができる。																			○			
					③	耳(耳介、聴力)の診察ができる。																						
					④	耳鏡で外耳道、鼓膜を観察できる。																						
					⑤	音叉を用いて聴力試験を実施できる。																						
					⑥	口唇、口腔、咽頭、扁桃の診察ができる。						○		○											○			
					⑦	鼻腔、副鼻腔の診察ができる。																						
					⑧	鼻鏡を用いて前鼻腔を観察できる。																						
					⑨	甲状腺、頸部血管、気管、唾液腺の診察ができる。						○		○														
					⑩	頭頸部リンパ節の診察ができる。																						

コア・カリキュラム一覧（平成28年度改訂版）							臨床実習入門P3	LPBLA3	リサーチP3	地域医療A3	理工B3	内科総論	外科総論	放射線診断学	臨床腫瘍学	腎尿路	感染症	循環器	呼吸器	消化器	運動器	神経	免疫・膠原病・アレルギー	内分泌・代謝	臓器再建外科・再生医療	血液・移植	リハビリ・地域包括医療	救急・中毒
F 診療の基本	3基本的診療技能	5) 身体診察	(4) 胸部	学修目標	①	胸部の視診、触診、打診ができる。																						
					②	呼吸音と副雑音の聴診ができる。																						
					③	心音と心雑音の聴診ができる。																						
					④	背部の叩打痛を確認できる。																						
					⑤	乳房の診察を実施できる(シミュレータでも可とする)。																						
			(5) 腹部	学修目標	①	腹部の視診、聴診ができる。						○		○		○												
					②	区分に応じて腹部の打診、触診ができる。						○		○														
					③	圧痛、腹膜刺激徴候、筋性防御の有無を判断できる。						○		○														
					④	腹水の有無を判断できる。						○		○														
					⑤	腸雑音、血管雑音の聴診ができる。						○		○														
					⑥	直腸(前立腺を含む)指診を実施できる(シミュレータでも可とする)。										○												
			(6) 神経	学修目標	①	意識レベルを判定できる。																						○
					②	脳神経系の診察ができる(眼底検査を含む)。																						
					③	腱反射の診察ができる。																						
					④	小脳機能・運動系の診察ができる。																						
					⑤	感覚系(痛覚、温度覚、触覚、深部感覚)の診察ができる。																						
					⑥	髄膜刺激所見(項部硬直、Kernig 徴候)を確認できる。																						
			(7) 四肢と脊柱	学修目標	①	四肢と脊柱(彎曲、疼痛)の診察ができる。															○							
					②	関節(可動域、腫脹、疼痛、変形)の診察ができる。															○							
					③	筋骨格系の診察(徒手筋力テスト)ができる。															○							
			(8) 小児の診察	学修目標(一部方略を含む)	①	主訴からの診断推論を組み立てられる、又はたどることができる。																						
					②	疾患の病態や疫学を理解する。																						
					③	治療の立案・実施に可能な範囲で参加できる。																						
					④	保護者から必要な情報を得たり対応したりすることに可能な範囲で参加できる。																						
					⑤	小児の成長・発達の評価に可能な範囲で参加できる。																						
					⑥	基本的な小児科診察ができる。																						
					⑦	どのように小児科にコンサルテーションすればよいか説明できる。																						
		6) 基本的臨床手技	(1) 一般手技	学修目標	①	皮膚消毒を実施できる。																			○			
					②	静脈採血をシミュレータで実施できる。																			○			
					③	手指衛生等の標準予防策(standard precautions)を実施できる。																			○			
			(2) 検査手技	学修目標	①	尿検査(尿沈渣を含む)を実施できる。										○												
					②	末梢血塗抹標本を作成し、観察できる。																						
					③	微生物学検査(Gram 染色を含む)を実施できる。																						
					④	12 誘導心電図を記録できる。																						
					⑤	経皮的酸素飽和度を測定できる。																						
			(3) 外科手技	学修目標	①	無菌操作を実施できる。																			○			
					②	手術や手技のための手洗いができる。																			○			
					③	手術室におけるガウンテクニックができる。																			○			
			(4) 救命処置	学修目標	①	緊急性の高い状況かどうかをある程度判断できるようになる。																						○
					②	一次救命処置を実施できる。																						○
G 臨床実習	1 診療の基本	1) 臨床実習	(1) 医師として求められる基本的な資質・能力(A参照)			「A 医師として求められる基本的な資質・能力」(以下、再掲)を常に意識しながら、臨床実習を行う。																						
					①	プロフェッショナリズム																						
					②	医学知識と問題対応能力																						
					③	診療技能と患者ケア																						
					④	コミュニケーション能力																						
					⑤	チーム医療の実践																						
					⑥	医療の質と安全の管理																						
					⑦	社会における医療の実践																						
					⑧	科学的探究																						
					⑨	生涯にわたって共に学ぶ姿勢																						
			(2) 診療の基本(F参照)			「F 診療の基本」の内容を基盤として、臨床の現場で研鑽を積む。																						
			(3) 学生を信頼し任せられる役割			臨床実習で学生の評価を行う際はentrustable professional activities <EPA>の考え方を参考にする。下記の大項目を枠組みにしながら、それぞれの診療科で「臨床実習で学生にどのような業務を信頼して任せることができるか」「初期臨床研修の初日にできなければならない業務は何か」について考慮し、実際に行う臨床業務の形で学修目標を設定する。																						
					①	病歴を聴取して身体診察を行う。																						
					②	鑑別診断を想定する。																						
					③	基本的な検査の結果を解釈する。																						
					④	処方を計画する。																						
					⑤	診療記録(カルテ)を記載する。																						
					⑥	患者の状況について口頭でプレゼンテーションする。																						

コア・カリキュラム一覧 （平成28年度改訂版）						臨床実習入門P3	LAPBL3	リサーチP3	地域医療A3	理工B3	内科総論	外科総論	放射線診断学	臨床腫瘍学	腎尿路	感染症	循環器	呼吸器	消化器	運動器	神経	免疫・膠原病・アレルギー	内分泌・代謝	臓器再建外科・再生医療	血液・移植	リハビリ・地域包括医療	救急・中毒
G 臨床実習	1 診療の基本	1) 臨床実習	(3) 学生を信頼し任せられる役割	⑦	臨床上の問題を明確にしてエビデンスを収集する。																						
				⑧	患者さんの申し送りを行う・受け取る。																						
				⑨	多職種のチームで協働する。																						
				⑩	緊急性の高い患者さんの初期対応を行う。																						
				⑪	インフォームド・コンセントを得る。																						
				⑫	基本的臨床手技を実施する。																						
				⑬	組織上の問題の同定と改善を通して医療安全に貢献する。																						
	2 臨床推論	1) 発熱		感染症	肺炎、結核、尿路感染症																						
				腫瘍	悪性リンパ腫、腎細胞癌																						
				自己免疫	全身性エリテマトーデス<SLE>、炎症性腸疾患																						
				環境	熱中症																						○
		2) 全身倦怠感		感染症・炎症性	結核、肝炎																						
				精神	うつ病、双極性障害																						
				中毒性	アルコール依存症、薬物依存症																						
				内分泌・代謝	甲状腺機能亢進症、甲状腺機能低下症、更年期障害																						
				腫瘍	悪性腫瘍全般																						
		3) 食思（欲）不振		腫瘍	悪性腫瘍全般																						
				消化器	機能性ディスペプシア<FD>																						
				呼吸器	慢性閉塞性肺疾患<COPD>																						
				循環器	心不全																						
				精神	うつ病																						
		4) 体重減少・体重増加	（体重増加）	急性	心不全、ネフローゼ症候群																						
				慢性	甲状腺機能低下症																						
			（体重減少）	腫瘍	悪性腫瘍全般																						
				内分泌	糖尿病、甲状腺機能亢進症																						
				精神	うつ病																						
				感染症	結核																						
				自己免疫	炎症性腸疾患													○									
				消化器	慢性膵炎													○									
				中毒	アルコール依存症																						
		5) ショック		循環血液量減少性	急性消化管出血、大動脈瘤破裂、熱傷																						○
				心原性	急性心筋梗塞、心筋炎																						○
				閉塞性	緊張性気胸、肺塞栓症																						○
				血液分布異常性	敗血症、急性膵炎、アナフィラキシー、脊髄損傷																						○
		6) 心停止		心血管	急性心筋梗塞、急性大動脈解離、大動脈瘤破裂																						○
				呼吸器	緊張性気胸、外傷性気胸																						○
				神経原性	くも膜下出血、頭部外傷、脊髄損傷																○						○
				自己免疫	アナフィラキシー																						○
				環境	熱中症、寒冷による障害																						○
		7) 意識障害・失神		脳原発性	くも膜下出血、頭蓋内血腫、脳炎																○						○
				全身性	心筋梗塞、不整脈、肺塞栓症、てんかん、急性消化管出血、肝不全																						○
		8) けいれん		脳血管障害	脳梗塞																○						○
				中毒	薬物依存症、アルコール依存症																						○
				感染症	脳炎、脳症、熱性けいれん																						○
		9) めまい		末梢性	良性発作性頭位めまい症																						
				中枢性	脳出血、脳梗塞																○						
				失神性	不整脈、肺塞栓症、弁膜症																						
				心因性	パニック障害																						
		10) 脱水		消化器	急性消化管出血、乳児下痢症、急性膵炎																						○
				内分泌・代謝	糖尿病																						○
				環境	熱中症、熱傷																						○
		11) 浮腫		局所性	深部静脈血栓症																						
				全身性	心不全、ネフローゼ症候群、慢性腎臓病、肝硬変、甲状腺機能低下症																						
		12) 発疹		感染症	ウイルス性発疹症（麻疹、風疹、水痘、ヘルペス）																						
				アレルギー、自己免疫	蕁麻疹、薬疹、全身性エリテマトーデス<SLE>																						
		13) 咳・痰		感染症	気管支炎、肺炎、副鼻腔炎																						
				腫瘍	肺癌																						
				特発性	間質性肺疾患																						

コア・カリキュラム一覧
（平成28年度改訂版）

						臨床実習入門P3	LPBL A3	リサーチP3	地域医療A3	理工B3	内科総論	外科総論	放射線診断学	臨床腫瘍学	腎尿路	感染症	循環器	呼吸器	消化器	運動器	神経	免疫・膠原病・アレルギー	内分泌・代謝	腎臓・再建外科・再生医療	血液・移植	リハビリ・地域包括医療	救急・中毒
G 臨床実習	2 臨床推論	13) 咳・痰		自己免疫	気管支喘息																						
				消化器	胃食道逆流症〈GERD〉																						
		14) 血痰・喀血		呼吸器	肺結核、肺癌																						
				心血管系	僧帽弁膜症、心不全																						
				出血傾向	白血病、播種性血管内凝固〈DIC〉																						
		15) 呼吸困難		呼吸器	肺塞栓症、急性呼吸促(窮)迫症候群〈ARDS〉、気管支喘息、慢性閉塞性肺疾患〈COPD〉、緊張性気胸																						○
				循環器	心不全																						
				心因性	パニック障害、過換気症候群																						
		16) 胸痛		呼吸器	肺塞栓症、気胸																						○
				循環器	急性冠症候群																						
				消化器	胃食道逆流症〈GERD〉																						
				心因性	パニック障害																						
		17) 動悸		循環器	不整脈																						
				二次性	甲状腺機能亢進症																						
				心因性	パニック障害																						
		18) 胸水		循環器	心不全																						○
				呼吸器	肺炎、肺結核、肺癌																						○
				消化器	肝硬変、急性膵炎																						○
				自己免疫	関節リウマチ、全身性エリテマトーデス〈SLE〉																						
				腎・泌尿器	ネフローゼ症候群																						
		19) 嚥下困難・障害		神経	脳出血、脳梗塞																○						○
				呼吸器	扁桃炎、肺癌																						
				消化器	胃食道逆流症〈GERD〉、食道癌														○								
				心因性	身体症状症																						
		20) 腹痛		消化器	機能性ディスペプシア〈FD〉、過敏性腸症候群、炎症性腸疾患、消化性潰瘍、急性虫垂炎、胆石症、急性膵炎、腸閉塞、鼠径ヘルニア																						○
				泌尿・生殖器	尿路結石、流・早産																						
				循環器	急性冠症候群																						○
				心因性	身体症状症																						
		21) 悪心・嘔吐		消化管	機能性ディスペプシア〈FD〉、腸閉塞、食中毒																						
				循環器	急性心筋梗塞																						
				神経	片頭痛、脳出血、くも膜下出血、頭蓋内血腫																○						○
				精神	うつ病																						
		22) 吐血・下血	（吐血）	食道	食道静脈瘤、食道癌														○								○
				胃	消化性潰瘍、胃癌														○								○
			（下血）	上部消化管	食道静脈瘤、消化性潰瘍																						○
				下部消化管	炎症性腸疾患、大腸癌																						○
		23) 便秘・下痢	（便秘）	機能性	過敏性腸症候群、甲状腺機能低下症														○								
				器質性	腸閉塞、大腸癌														○								
			（下痢）	炎症性	急性胃腸炎、炎症性腸疾														○								
				腸管運動異常	過敏性腸症候群、甲状腺機能亢進症														○								
				浸透圧性	慢性膵炎														○								
		24) 黄疸		抱合型	急性肝炎、慢性肝炎、肝硬変、胆管炎、膵癌														○								○
				非抱合型	溶血性貧血																						○
		25) 腹部膨隆（腹水を含む）・腫瘤		消化管	腸閉塞、大腸癌																						
				腹水	肝硬変、ネフローゼ症候群、心不全																						
				腫瘤	肝癌、卵巣嚢腫																						
		26) 貧血		鉄欠乏性貧血	消化性潰瘍、痔核、子宮筋腫																						○
				造血器腫瘍	白血病、骨髄腫																						
				二次性貧血	肝硬変、慢性腎臓病、アルコール依存症																						
		27) リンパ節腫脹		感染症	ウイルス性発疹症（風疹・麻疹）、結核																						
				自己免疫	全身性エリテマトーデス〈SLE〉																						
				腫瘍	悪性リンパ腫、その他の悪性腫瘍全般																						
		28) 尿量・排尿の異常	（多尿）	浸透圧利尿	糖尿病																						
				中毒	薬剤性																						
			（頻尿）	蓄尿障害	尿路感染症、腎髄損傷																						
				排出困難（排出障害）	前立腺肥大症、尿路感染症、前立腺癌																						
		29) 血尿・タンパク尿		腎臓	糸球体腎炎症候群、ネフローゼ症候群、糖尿病腎症、腎細胞癌																						
				尿管、膀胱	尿路結石、尿路感染症、膀胱癌																						
		30) 月経異常		無月経	妊娠																						

コア・カリキュラム一覧
（平成28年度改訂版）

						臨床実習入門P3	LPBL A3	リサーチP3	地域医療A3	理工B3	内科総論	外科総論	放射線診断学	臨床腫瘍学	腎尿路	感染症	循環器	呼吸器	消化器	運動器	神経	免疫・膠原病・アレルギー	内分泌・代謝	腫瘍・再建外科・再生医療	血液・移植	リハビリ・地域包括医療	救急・中毒
G 臨床実習	2 臨床推論	30) 月経異常		月経困難	月経困難症、子宮内膜症																						
				不正性器出血	子宮頸癌、子宮体癌																						
		31) 不安・抑うつ		一次性	うつ病、双極性障害、不安障害																						
				二次性(不安障害)	甲状腺機能亢進症、悪性腫瘍全般																						
				二次性(うつ病)	甲状腺機能低下症、認知症、Parkinson 病、悪性腫瘍全般																						
		32) もの忘れ		血管	脳梗塞																○						
				変性	認知症、Parkinson 病																○						
				精神	うつ病																						
		33) 頭痛		機能性	緊張型頭痛、片頭痛																○						
				症候性	髄膜炎、脳出血、くも膜下出血、緑内障、急性副鼻腔炎																○						○
		34) 運動麻痺・筋力低下		脳病変	脳梗塞、一過性脳虚血発作、脳出血、頭蓋内血腫																○						○
				脊髄病変	脊髄損傷、椎間板ヘルニア															○							○
				末梢神経病変	糖尿病																						
				神経筋接合部病変	肺癌																						
				筋病変	甲状腺機能亢進症、アルコール性中毒																						
		35) 腰背部痛		呼吸器	肺癌																						
				心血管	急性大動脈解離																						
				消化器	胆石症																						
				泌尿・生殖器	尿管結石、腎細胞癌																						
				脊椎	椎間板ヘルニア、変形性脊椎症、脊柱管狭窄症、脊椎圧迫骨折、骨髄腫															○							
		36) 関節痛・関節腫脹		単関節炎	痛風															○							
				多発関節炎	関節リウマチ、全身性エリテマトーデス〈SLE〉															○							
		37) 外傷・熱傷		一次性	頭部外傷、骨折、外傷性気胸、脊髄損傷、熱傷																			○			○
				二次性	急性大動脈解離、脳出血、くも膜下出血、頭蓋内血腫																○						○
	3 基本的臨床手技			ねらい	基本的臨床手技の目的、適応、禁忌、合併症と実施法について事前に十分理解した上で、指導医の指導・監督の下で自ら実施する、又は指導医の実施を見学し、介助する。																						
		1) 一般手技		学修目標	① 体位交換、移送ができる。																						○
					② 皮膚消毒ができる。																			○			
					③ 外用薬の貼付・塗布ができる。																			○			
					④ 気道内吸引、ネブライザーを実施できる。																						○
					⑤ 静脈採血を実施できる。							○															○
					⑥ 末梢静脈の血管確保を実施できる。							○															○
					⑦ 中心静脈カテーテル挿入を見学し、介助する。							○															○
					⑧ 動脈血採血・動脈ラインの確保を見学し、介助する。							○															○
					⑨ 腰椎穿刺を見学し、介助する。							○															
					⑩ 胃管の挿入と抜去ができる。							○															○
					⑪ 尿道カテーテルの挿入と抜去を実施できる。							○															○
					⑫ ドレーンの挿入と抜去を見学し、介助する。							○															○
					⑬ 注射(皮内、皮下、筋肉、静脈内)を実施できる。							○															
					⑭ 全身麻酔、局所麻酔、輸血を見学し、介助する。																						
					⑮ 眼球に直接触れる治療を見学し、介助する。																						
					⑯ 診療録(カルテ)を作成する。																						○
					⑰ 各種診断書・検案書・証明書の作成を見学し、介助する。																						
		2) 検査手技		学修目標	① 尿検査(尿沈渣を含む)を実施できる。																						
					② 末梢血塗抹標本を作成し、観察できる。																						
					③ 微生物学検査(Gram 染色を含む)を実施できる。																						
					④ 妊娠反応検査を実施できる。																						
					⑤ 血液型判定を実施できる。																						
					⑥ 視力、視野、聴力、平衡機能検査を実施できる。																						
					⑦ 12 誘導心電図を記録できる。																						
					⑧ 脳波検査の記録ができる。																						
					⑨ 眼球に直接触れる検査を見学し、介助する。																						
					⑩ 心臓、腹部の超音波検査を実施できる。																						
					⑪ 経皮的酸素飽和度を測定できる。																						○
					⑫ エックス線撮影、コンピュータ断層撮影〈CT〉、磁気共鳴画像法〈MRI〉、核医学検査、内視鏡検査を見学し、介助する。																						○
		3) 外科手技		学修目標	① 無菌操作を実施できる																			○			
					② 手術や手技のための手洗いができる。																			○			
					③ 手術室におけるガウンテクニックができる。																			○			
					④ 基本的な縫合と抜糸ができる。																			○			

コア・カリキュラム一覧
（平成28年度改訂版）

							臨床実習入門P3	LPBL A3	リサーチP3	地域医療A3	理工B3	内科総論	外科総論	放射線診断学	臨床腫瘍学	腎尿路	感染症	循環器	呼吸器	消化器	運動器	神経	免疫・膠原病・アレルギー	内分泌・代謝	臓器再建外科・再生医療	血液・移植	リハビリ・地域包括医療	救急・中毒
G 臨床実習	3 基本的臨床手技	3) 外科手技		学修目標	⑤	創の消毒やガーゼ交換ができる。																						
					⑥	手術、術前・術中・術後管理を見学し、介助する。																						○
		4) 救命処置		学修目標	①	身体徴候、バイタルサインから緊急性の高い状況であることを判断できる。																						○
					②	一次救命処置を実施できる。																						○
					③	二次救命処置を含む緊急性の高い患者の初期対応に可能な範囲で参加する。																						○
	4 診療科臨床実習	1) 必ず経験すべき診療科	(1) 内科	ねらい	①	将来、内科医にならない場合にも必要な内科領域の診療能力について学ぶ。																						
					②	内科医のイメージを獲得する。																						
				学修目標（一部方略を含む）	①	主訴からの診断推論を組み立てる、又はたどる。																						○
					②	疾患の病態や疫学を理解する。																						○
					③	内科的治療の立案・実施に可能な範囲で参加する。																						○
					④	複数の臓器にまたがる問題を統合する視点を獲得する。																						○
					⑤	基本的な内科的診察技能について学ぶ。																						
					⑥	どのように内科にコンサルテーションすればよいかわかる。																						
			(2) 外科	ねらい	①	将来、外科医にならない場合にも必要な外科領域の診療能力について学ぶ。																						
					②	外科医のイメージを獲得する。																						
				学修目標（一部方略を含む）	①	外科的治療の適応を知る。																		○			○
					②	手術計画の立案に可能な範囲で参加する。																						
					③	周術期管理に可能な範囲で参加する。																						○
					④	手術等の外科的治療に可能な範囲で参加する。																						○
					⑤	基本的な外科的手技について学ぶ。																			○			
					⑥	どのように外科にコンサルテーションすればよいかわかる。																						
			(3) 小児科	ねらい	①	将来、小児科医にならない場合にも必要な小児科領域の診療能力について学ぶ。																						
					②	小児科医のイメージを獲得する。																						
				学修目標（一部方略を含む）	①	主訴からの診断推論を組み立てる、又はたどる。																						
					②	疾患の病態や疫学を理解する。																						
					③	治療の立案・実施に可能な範囲で参加する。																						
					④	保護者から必要な情報を得たり対応したりすることに可能な範囲で参加する。																						
					⑤	小児の成長・発達の評価に可能な範囲で参加する。																						
					⑥	基本的な小児科診察技能について学ぶ。																						
					⑦	どのように小児科にコンサルテーションすればよいかわかる。																						
			(4) 産婦人科	ねらい	①	将来、産婦人科医にならない場合にも必要な産婦人科領域の診療能力について学ぶ。																						
					②	産婦人科医のイメージを獲得する。																						
				学修目標（一部方略を含む）	①	妊婦の周産期診察及び分娩に可能な範囲で参加する。																						
					②	女性の健康問題に関する理解を深める。																						
					③	主訴からの診断推論を組み立てる、又はたどる。																						
					④	疾患の病態や疫学を理解する。																						
					⑤	手術を含めた婦人科的治療に可能な範囲で参加する。																						
					⑥	基本的な婦人科診察技能について学ぶ。																						
					⑦	どのように産婦人科にコンサルテーションすればよいかわかる。																						
			(5) 精神科	ねらい	①	将来、精神科医にならない場合にも必要な精神科領域の診療能力について学ぶ。																						
					②	精神科医のイメージを獲得する。																						
				学修目標	①	主訴からの診断推論を組み立てる、又はたどる。																						
					②	疾患の病態や疫学を理解する。																						
					③	精神科的治療に可能な範囲で参加する。																						
					④	基本的な精神科面接技法について学ぶ。																						
					⑤	どのように精神科にコンサルテーションすればよいかわかる。																						
			(6) 総合診療科	ねらい	①	どの科の医師になっても求められる総合診療能力について学ぶ。																						
					②	総合診療医のイメージを獲得する。																						
				学修目標	①	病歴・身体診察を重視した診断推論（診断がつかない場合を含む）を組み立てる、又はたどる。																						
					②	健康問題に対する包括的アプローチ（複数の健康問題の相互作用等）を体験する。																						
					③	家族や地域といった視点をもち、心理・社会的背景により配慮した診療に可能な範囲で参加する。																						
					④	在宅医療を体験する。																						
					⑤	多職種連携を体験してその重要性を認識する。																						
					⑥	臨床現場において、保健・医療・福祉・介護に関する制度に触れる。																						
			(7) 救急科	ねらい	①	どの科の医師になっても求められる救急診療能力について学ぶ。																						
					②	救急科医のイメージを獲得する。																						
				学修目標	①	呼吸、循環を安定化するための初期治療を学ぶ。																						○
					②	症候をベースとした診断推論を組み立てる、又はたどる。																○						○
					③	チーム医療の一員として良好なコミュニケーションを実践できる。																						○

コア・カリキュラム一覧（平成28年度改訂版）							臨床入門実習P3	LPBL A3	リサーチP3	地域医療A3	理工B3	内科総論	外科総論	放射線診断学	臨床腫瘍学	腎尿路	感染症	循環器	呼吸器	消化器	運動器	神経	免疫・膠原病・アレルギー	内分泌・代謝	皮膚科・再建外科・再生医療	血液・移植	リハビリ・地域包括医療	救急・中毒
	4 診療科臨床実習	1) 必ず経験すべき診療科	(7) 救急科	学修目標	④	家族や地域といった視点をもち、保健・医療・福祉・介護との連携を学ぶ。																							○
					⑤	救急隊員との連携を通じて、病院前救護体制とメディカルコントロールについて学ぶ。																							○
					⑥	地域の災害医療体制について学ぶ。																							○
		2) 上記以外の診療科		ねらい	①	将来、該当診療科の医師にならない場合にも必要な該当診療科領域の診療能力について学ぶ。																							
					②	該当診療科の医師のイメージを獲得する。																							
				学修目標	①	主訴からの診断推論を組み立てる、又はたどる。																							
					②	疾患の病態や疫学を理解する。																							
					③	該当診療科の治療に可能な範囲で参加する。																							
					④	該当診療科の基本的な診察技能について学ぶ。																							
					⑤	どのように該当診療科にコンサルテーションすればよいかわかる。																							
		3) 地域医療実習		ねらい		地域社会で求められる保健・医療・福祉・介護等の活動を通して地域医療と地域包括ケアシステムを一体的に構築することの必要性・重要性を学ぶ。																							
				教育方略	①	学外の臨床研修病院等の地域病院や診療所、さらに保健所や社会福祉施設等の協力を得る。																							
					②	必要に応じて臨床教授制度等を利用する。																							
					③	早期臨床体験実習を拡充し、低学年から継続的に地域医療の現場に接する機会を設ける。																							
					④	衛生学・公衆衛生学実習等と連携し、社会医学的（主に量的）な視点から地域を診る学習機会を作る。																							
					⑤	人類学・社会学・心理学・哲学・教育学等と連携し、行動科学・社会科学的（主に質的）な視点から地域における生活の中での医療を知り体験する学習機会を作る。																							
		4) シミュレーション教育		ねらい		医療安全の観点から臨床現場を想定した環境でシミュレーションによるトレーニングを積むことで、実際の臨床現場で対処できるようになる。																							
				教育方略	①	シミュレーターを用いて反復練習をすることで、臨床技能を磨く。																							○
					②	模擬患者の協力を得て、臨床技能（コミュニケーションスキルを含む）や医療者に求められる態度を身に付ける。																							
					③	シナリオを用いたトレーニングを通して、状況判断、意思決定能力を獲得する。																							
					④	チームトレーニングによって、チーム医療の実践能力を高める。																							
					⑤	振り返りによって自己省察能力を高める。																							

コア・カリキュラム一覧

（平成28年度改訂版）

							リフェ医療のシプ実ョロ践ナ	臨床実習入門			LPBL	地域医療の実践	人間と社会			麻酔・集中治療	眼・視覚	耳鼻・頭頸部	皮膚	精神・行動	周産期・生殖器	小児の成長・発達	全人的医療・行動科学
							A4	P4a	P4b	P4c	A4	P4	A4										
													(1)	(2)	(3)								
A 医師として求められる基本的な資質・能力	1 プロフェッショナリズム	1) 医の倫理と生命倫理		ねらい		医療と医学研究における倫理の重要性を学ぶ。																	
				学修目標	①	医学・医療の歴史的な流れとその意味を概説できる。							○		○								
					②	臨床倫理や生と死に関わる倫理的問題を概説できる。							○		○						○		
					③	ヒポクラテスの誓い、ジュネーブ宣言、医師の職業倫理指針、医師憲章等医療の倫理に関する規範を概説できる。							○		○						○		
		2) 患者中心の視点		ねらい		患者及びその家族の秘密を守り、医師の義務や医療倫理を遵守するとともに、患者の安全を最優先し、常に患者中心の立場に立つ。																	
				学修目標	①	リスボン宣言等に示された患者の基本的権利を説明できる。		○	○	○			○		○								
					②	患者の自己決定権の意義を説明できる。		○	○	○			○		○								
					③	選択肢が多様な場合でも適切に説明を行い患者の価値観を理解して、患者の自己決定を支援する。		○		○			○		○						○		
					④	インフォームド・コンセントとインフォームド・アセントの意義と必要性を説明できる。		○		○			○		○						○		
		3) 医師としての責務と職業種		ねらい		豊かな人間性と生命の尊厳についての深い認識を有し、人の命と健康を守る医師としての職責を自覚する。																	
				学修目標	①	診療参加型臨床実習において患者やその家族と信頼関係を築くことができる。		○		○										○			
					②	患者やその家族のもつ価値観や社会的背景が多様であり得ることを認識し、そのいずれにも柔軟に対応できる。		○		○			○		○								○
					③	医師が患者に最も適した医療を勧めなければならない理由を説明できる。		○		○			○		○						○		
					④	医師には能力と環境により診断と治療の限界があることを説明できる。		○		○			○		○						○		
					⑤	医師の法的義務を列挙し、例示できる。		○	○	○			○		○								
	2 医学知識と問題対応能力	1) 課題探求・解決能力		ねらい		自分の力で課題を発見し、自己学習によってそれを解決するための能力を獲得する。																	
				学修目標	①	必要な課題を自ら発見できる。					○		○										
					②	自分に必要な課題を、重要性・必要性に照らして順位付けできる。					○		○										
					③	課題を解決する具体的な方法を発見し、課題を解決できる。					○		○										
					④	課題の解決に当たり、他の学修者や教員と協力してよりよい解決方法を見出すことができる。					○		○										
					⑤	適切な自己評価ができ、改善のための具体的方策を立てることができる。					○		○										
		2) 学修の在り方		ねらい		科学や社会の中で医学・医療だけでなく様々な情報を客観的・批判的に取捨選択して統合整理し、表現する基本的能力（知識、技能、態度・行動）・リベラルアーツを獲得する。																	
				学修目標	①	講義、国内外の教科書・論文、検索情報等の内容について、重要事項や問題点を抽出できる。					○		○										
					②	得られた情報を統合し、客観的・批判的に整理して自分の考えを分かりやすく表現できる。					○		○										
					③	実験・実習の内容を決められた様式に従って文書と口頭で発表できる。							○										
					④	後輩等への適切な指導が実践できる。																	
					⑤	各自の興味に応じて選択制カリキュラム（医学研究等）に参加する。																	
	3 診療技能と患者ケア	1) 全人的実践的能力		ねらい		統合された知識、技能、態度に基づき、患者の立場を尊重しながら、全身を総合的に診療するための実践的能力を獲得する。																	
				学修目標	①	病歴（主訴、現病歴、既往歴、家族歴、生活歴、社会歴・職業歴、システムレビュー等）を適切に聴取するとともに患者との良好な関係を構築し、必要に応じて患者教育を行える。		○		○													○
					②	網羅的に系統立てて適切な順序で効率的な身体診察を行える。異常所見を認識・記録し、適切な鑑別診断が行える。		○		○													○
					③	基本的な臨床技能（適応、実施方法、合併症、注意点）を理解し、適切な態度で診断や治療を行える。		○		○													○
					④	診療録（カルテ）について の基本的な知識を修得し、問題志向型医療記録(problem-oriented medical record<POMR>)形式で診療録を作成し、必要に応じて医療文書を作成できる。		○	○	○													○
					⑤	患者の病状（症状、身体所見、検査所見等）、プロブレムリスト、鑑別診断、臨床経過、治療法の要点を提示し、医療チーム構成員と意見交換ができる。		○		○													○
					⑥	緊急を要する病態や疾患・外傷の基本的知識を説明できる。診療チームの一員として救急医療に参画できる。		○		○													○
					⑦	慢性疾患や慢性疼痛の病態、経過、治療を説明できる。医療を提供する場や制度に応じて、診療チームの一員として慢性期医療に参画できる。		○		○						○							○
					⑧	患者の苦痛や不安感に配慮しながら、就学・就労、育児・介護等との両立支援を含め患者と家族に対して誠実で適切な支援を行える。		○		○													○
	4 コミュニケーション能力	1) コミュニケーション		ねらい		医療内容を分かりやすく説明する等、患者やその家族との対話を通じて、良好な人間関係を築くためのコミュニケーション能力を有する。																	
				学修目標	①	コミュニケーションの方法と技能（言語的と非言語的）を説明し、コミュニケーションが態度あるいは行動に及ぼす影響を概説できる。		○		○	○		○										○
					②	コミュニケーションを通じて良好な人間関係を築くことができる。		○		○	○		○										○
					③	患者・家族の話を傾聴し、共感することができる。		○		○	○		○										○
		2) 患者と医師の関係		ねらい		患者と医師の良好な関係を築くために、患者の個別的背景を理解し、問題点を把握する能力を獲得する。																	
				学修目標	①	患者と家族の精神的・身体的苦痛に十分配慮できる。		○		○			○							○			○
					②	患者に分かりやすい言葉で説明できる。		○		○										○			○
					③	患者の心理的及び社会的背景や自立した生活を送るための課題を把握し、抱える問題点を抽出・整理できる。		○		○			○							○			○
					④	医療行為が患者と医師の契約的な信頼関係に基づいていることを説明できる。		○		○										○			○
					⑤	患者の要望（診察・転医・紹介）への対処の仕方を説明できる。		○		○													○
					⑥	患者のプライバシーに配慮できる。		○	○	○										○			○
					⑦	患者情報の守秘義務と患者等への情報提供の重要性を理解し、適切な取扱いができる。		○	○	○			○										○
	5 チーム医療の実践	1) 患者中心のチーム医療		ねらい		医療チームの構成員として、相互の尊重のもとに適切な行動をとるとともに、後輩等に対する指導を行う。																	
				学修目標	①	チーム医療の意義を説明できる。	○	○	○	○			○										○
					②	医療チームの構成や各構成員（医師、歯科医師、薬剤師、看護師、その他の医療職）の役割分担と連携・責任体制を説明し、チームの一員として参加できる。	○	○	○	○			○										○
					③	自分の能力の限界を認識し、必要に応じて他の医療従事者に援助を求めることができる。	○	○		○			○										○
					④	保健、医療、福祉と介護のチーム連携における医師の役割を説明できる。	○	○		○			○							○			○
	6 医療の質と安全の管理	1) 安全性の確保		ねらい		医療上の事故等（インシデントを含む）や医療関連感染症（院内感染を含む）等は日常的に起こる可能性があることを認識し、過去の事例に学び、事故を防止して患者の安全性確保を最優先することにより、信頼される医療を提供しなければならないことを理解する。																	
				学修目標	①	実際の医療には、多職種が多段階の医療業務内容に関与していることを具体的に説明できる。		○	○	○													
					②	医療上の事故等を防止するためには、個人の注意（ヒューマンエラーの防止）はもとより、組織的なリスク管理（制度・組織エラーの防止）が重要であることを説明できる。		○		○													
					③	医療現場における報告・連絡・相談と記録の重要性や、診療録（カルテ）改竄の違法性を説明できる。		○	○	○													
					④	医療の安全性に関する情報（薬剤等の副作用、薬害、医療過誤（事例や経緯を含む）、やってはいけないこと、優れた取組事例等）を共有し、事後に役立てるための分析の重要性を説明できる。		○		○			○										
					⑤	医療の安全性確保のため、職種・段階に応じた能力向上の必要性を説明できる。		○		○													

コア・カリキュラム一覧

（平成28年度改訂版）

							リフズェ医ムッ療のシプ実ョロ践ナ	臨床実習入門			LPBL	地域医療の実践	人間と社会			麻酔・集中治療	眼・視覚	耳鼻・頭頸部	皮膚	精神・行動	周産期・生殖器	小児の成長・発達	全人的医療・行動科学
							A4	P4a	P4b	P4c	A4	P4	A4										
													(1)	(2)	(3)								
A 医師として求められる基本的な資質・能力	6 医療の質と安全の管理	1) 安全性の確保		学修目標	⑥	医療機関における医療安全管理体制の在り方（事故報告書、インシデントレポート、医療事故防止マニュアル、医療廃棄物処理、医療安全管理者（リスクマネージャー）、安全管理委員会、事故調査委員会、医療事故調査制度、産科医療補償制度）を概説できる																	
					⑦	医療関連感染症の原因及び回避する方法（院内感染対策委員会、院内感染サーベイランス、院内感染対策チーム（infection control team<ICT>）、感染対策マニュアル等）を概説できる。			○												
					⑧	真摯に疑義に応じることができる。																	
		2) 医療上の事故等への対処と予防		ねらい		医療上の事故等（インシデントを含む）が発生した場合の対処の仕方を学ぶ。																	
				学修目標	①	医療上の事故等（インシデントを含む）と合併症の違いを説明できる。																	
					②	医療上の事故等（インシデントを含む）が発生したときの緊急処置や記録、報告を説明し、実践できる。																	
					③	医療過誤に関連した刑事・民事責任や医師法に基づく行政処分を説明できる。																	
					④	基本的予防策（ダブルチェック、チェックリスト法、薬品名称の改善、フェイルセイフ・フールプルーフの考え方等）を概説し、指導医の指導の下に実践できる。																	
		3) 医療従事者の健康と安全		ねらい		医療従事者が遭遇する危険性（事故、感染等）等について、基本的な予防・対処及び改善の方法を学ぶ。																	
				学修目標	①	医療従事者の健康管理（予防接種を含む）の重要性を説明できる。		○		○			○										
					②	標準予防策（standard precautions）の必要性を説明し、実行できる。		○		○			○										
					③	患者隔離の必要な場合を説明できる。		○		○													
					④	針刺し事故（針刺切創）等に遭遇した際の対処の仕方を説明できる。		○		○													
					⑤	医療現場における労働環境の改善の必要性を説明できる。		○		○			○										
	7 社会における医療の実践	1) 地域医療への貢献		ねらい		地域医療・地域保健の在り方と現状及び課題を理解し、地域医療に貢献するための能力を獲得する。																	
				学修目標	①	地域社会（離島・へき地を含む）における医療の状況、医師の偏在（地域、診療科及び臨床・非臨床）の現状を概説できる。						○	○										○
					②	医療計画（医療圏、基準病床数、地域医療支援病院、病診連携、病病連携、病院・診療所・薬局の連携等）及び地域医療構想を説明できる。			○			○	○										○
					③	地域包括ケアシステムの概念を理解し、地域における保健（母子保健、学校保健、成人・高齢者保健、地域保健、精神保健）・医療・福祉・介護の分野間及び多職種間（行政を含む）の連携の必要性を説明できる。						○	○										○
					④	かかりつけ医等の役割や地域医療の基盤となるプライマリ・ケアの必要性を理解し、実践に必要な能力を獲得する。						○	○										
					⑤	地域における救急医療、在宅医療及び離島・へき地医療の体制を説明できる。						○	○										
					⑥	災害医療（災害時保健医療、医療救護班、災害派遣医療チーム（Disaster Medical Assistance Team <DMAT>）、災害派遣精神医療チーム（Disaster Psychiatric Assistance Team <DPAT>）、日本医師会災害医療チーム（Japan Medical Association Team <JMAT>）、災害拠点病院、トリアージ等）を説明できる。							○										
					⑦	地域医療に積極的に参加・貢献する。						○	○										
		2) 国際医療への貢献		ねらい		国際社会における医療の現状と課題を理解し、実践するための基礎的素養を身に付ける。																	
				学修目標	①	患者の文化的背景を尊重し、英語をはじめとした異なる言語に対応することができる。							○										
					②	地域医療の中での国際化を把握し、価値観の多様性を尊重した医療の実践に配慮することができる。							○										
					③	保健、医療に関する国際的課題を理解し、説明できる。							○										
					④	日本の医療の特徴を理解し、国際社会への貢献の意義を理解している。							○										
					⑤	医療に関わる国際協力の重要性を理解し、仕組みを説明できる。							○										
	8 科学的探究	1) 医学研究への志向の涵養		ねらい		医学・医療の進歩と改善に資するために研究を遂行する意欲と基礎的素養を有する。																	
				学修目標	①	研究は、医学・医療の発展や患者の利益の増進を目的として行われるべきことを説明できる。							○										
					②	生命科学の講義・実習で得た知識を基に、診療で経験した病態の解析ができる。																	
					③	患者や疾患の分析を基に、教科書・論文等から最新の情報を検索・整理統合し、疾患の理解・診断・治療の深化につなげることができる。							○										
					④	抽出した医学・医療情報から新たな仮説を設定し、解決に向けて科学的研究（臨床研究、疫学研究、生命科学研究等）に参加することができる。							○										
	9 生涯にわたって共に学ぶ姿勢	1) 生涯学習への準備		ねらい		キャリアを意識し、生涯にわたり自己研鑽を続ける意欲と態度を有する。																	
				学修目標	①	生涯学習の重要性を説明できる。					○												
					②	生涯にわたる継続的学習に必要な情報を収集できる。					○												
					③	キャリア開発能力を獲得する。					○	○											
					④	キャリアステージにより求められる能力に異なるニーズがあることを理解する。					○	○											
					⑤	臨床実習で経験したことを省察し、自己の課題を明確にする。						○											
B 社会と医学・医療	1 集団に対する医療	1) 統計の基礎		ねらい		確率には頻度と信念の度合いの二つがあり、それを用いた統計・推計学の有用性と限界を理解し、確率変数とその分布、統計的推測（推定と検定）の原理と方法を理解する。																	
				学修目標	①	データの記述と要約（記述統計を含む）ができる。							○										
					②	主要な確率分布を説明できる。							○										
					③	正規分布の母平均の信頼区間を計算できる。							○										
					④	基本的な仮説検定の構造を説明できる。							○										
		2) 統計手法の適用		ねらい		医学、生物学でよく遭遇する標本に統計手法を適用するときに生じる問題点、統計パッケージの利用を含めた具体的な扱い方を修得する。																	
				学修目標	①	2群間の平均値の差を検定できる（群間の対応のあり、なしを含む）。																	
					②	パラメトリック検定とノンパラメトリック検定の違いを説明できる。																	
					③	カイ2乗検定法を実施できる。																	
					④	一元配置分散分析を利用できる。																	
					⑤	2変量の散布図を描き、回帰と相関の違いを説明できる。																	
					⑥	線形重回帰分析、多重ロジスティック回帰分析と交絡調整を概説できる。																	
		3) 根拠に基づいた医療<EBM>		ねらい		臨床現場での意思決定において、入手可能な最善の医学知見を用い、適切な意思決定を行うための方法を身に付ける。																	
				学修目標	①	根拠に基づいた医療<EBM>のステップを列挙できる。				○			○										
					②	Patient, population, problem, intervention（exposure）, comparison, outcome <PICO（PECO）>を用いた問題の定式化ができる。				○			○										
					③	研究デザイン（観察研究（記述研究、横断研究、症例対照研究、コホート研究）、介入研究（臨床研究、ランダム化比較試験）、システマティックレビュー、メタ分析（メタアナリシス））を概説できる。				○			○										
					④	データベースや二次文献からのエビデンス、診療ガイドラインを検索することができる。				○			○										
					⑤	得られた情報の批判的吟味ができる。				○			○										
					⑥	診療ガイドラインの種類と使用上の注意を列挙できる。				○			○										
					⑦	診療ガイドラインの推奨の強さについて違いを説明できる。				○			○										

コア・カリキュラム一覧
（平成28年度改訂版）

分類	大項目	中項目	区分	No.	内容	医療プロフェッショナリズムの実践 A4	臨床実習入門 P4a	臨床実習入門 P4b	臨床実習入門 P4c	LPBL A4	地域医療の実践 P4	人間と社会 A4 (1)	人間と社会 A4 (2)	人間と社会 A4 (3)	麻酔・集中治療	眼・視覚	耳鼻・頭頸部	皮膚	精神・行動	周産期・生殖器	小児の成長・発達	全人的医療・行動科学
B 社会と医学・医療	1 集団に対する医療	4) 疫学と予防医学	ねらい		保健統計の意義と現状、疫学とその応用、疾病の予防について学ぶ。																	
			学修目標	①	人口統計（人口静態と人口動態）、疾病・障害の分類・統計（国際疾病分類(International Classification of Diseases<ICD>)等）を説明できる。							○										
				②	平均寿命、健康寿命を説明できる。							○										
				③	罹患率と発生割合の違いを説明できる。							○										
				④	疫学とその応用（疫学の概念、疫学指標（リスク比、リスク差、オッズ比）とその比較（年齢調整率、標準化死亡比(standardized mortality ratio<SMR>)）、バイアス、交絡）を説明できる。							○										
				⑤	予防医学（一次、二次、三次予防）と健康保持増進（健康管理の概念・方法、健康診断・診査と事後指導）を概説できる。							○										
		5) 生活習慣とリスク	ねらい		生活習慣（食生活を含む）とそのリスクについて学ぶ。																	
			学修目標	①	基本概念（国民健康づくり運動、生活習慣病とリスクファクター、健康寿命の延伸と生活の質（quality of life <QOL>）向上、行動変容、健康づくり支援のための環境整備等）を説明できる。							○										○
				②	栄養、食育、食生活を説明できる。							○										○
				③	身体活動、運動を説明できる。							○										○
				④	休養・心の健康（睡眠の質、不眠、ストレス対策、過重労働対策、自殺の予防）を説明できる。							○										○
				⑤	喫煙（状況、有害性、受動喫煙防止、禁煙支援）、飲酒（状況、有害性、アルコール依存症からの回復支援）を説明できる。							○										○
				⑥	ライフステージに応じた健康管理と環境・生活習慣改善（環境レベル、知識レベル、行動レベルと行動変容）を説明できる。							○										○
		6) 社会・環境と健康	ねらい		社会と健康・疾病との関係を理解し、個体及び集団をとりまく環境諸要因の変化による個人の健康と社会生活への影響について学ぶ。																	
			学修目標	①	健康（健康の定義）、障害と疾病の概念と社会環境（機能障害、活動制限、参加制約、生活の質<QOL>、ノーマライゼーション、バリアフリー、ユニバーサルデザイン等）を説明できる。							○										
				②	社会構造（家族、コミュニティ、地域社会、国際化）と健康・疾病との関係（健康の社会的決定要因(social determinant of health)）を概説できる。							○										
				③	仕事と健康、環境と適応、生体環境系、病因と保健行動、環境基準と環境影響評価、公害と環境保全が健康と生活に与える影響を概説できる。							○										
				④	各ライフステージの健康問題（母子保健、学校保健、産業保健、成人・高齢者保健）を説明できる。							○										○
				⑤	スポーツ医学を説明できる。							○										
		7) 地域医療・地域保健	ねらい		地域医療・地域保健の在り方と現状及び課題を理解し、地域医療に貢献するための能力を獲得する。																	
			学修目標	①	地域社会（へき地・離島を含む）における医療の状況、医師の偏在（地域、診療科及び臨床・非臨床）の現状を概説できる。			○			○	○										○
				②	医療計画（医療圏、基準病床数、地域医療支援病院、病診連携、病病連携、病院・診療所・薬局の連携等）及び地域医療構想を説明できる。			○			○	○										○
				③	地域包括ケアシステムの概念を理解し、地域における、保健（母子保健、学校保健、成人・高齢者保健、地域保健、精神保健）・医療・福祉・介護の分野間及び多職種間（行政を含む）の連携の必要性を説明できる。						○	○										○
				④	かかりつけ医等の役割や地域医療の基盤となるプライマリ・ケアの必要性を理解し、実践に必要な能力を獲得する。						○	○										○
				⑤	地域における救急医療、在宅医療及び離島・へき地医療の体制を説明できる。						○	○										
				⑥	災害医療（災害時保健医療、医療救護班、災害派遣医療チーム<DMAT>、災害派遣精神医療チーム<DPAT>、日本医師会災害医療チーム<JMAT>、災害拠点病院、トリアージ等）を説明できる。							○										
				⑦	地域医療に積極的に参加・貢献する。						○	○										
		8) 保健・医療・福祉・介護の制度	ねらい		限られた医療資源の有効活用の視点を踏まえ、保健・医療・福祉・介護の制度の内容を学ぶ。																	
			学修目標	①	日本における社会保障制度と医療経済（国民医療費の収支と将来予測）を説明できる。							○		○								
				②	医療保険、介護保険及び公費医療を説明できる。							○		○								
				③	高齢者福祉と高齢者医療の特徴を説明できる。							○										
				④	産業保健（労働基準法等の労働関連法規を含む）を概説できる。							○										
				⑤	医療の質の確保（病院機能評価、国際標準化機構(International Organaization for Standardization<ISO>)、医療の質に関する評価指標、患者満足度、患者説明文書、同意書、同意撤回書、クリニカルパス等）を説明できる。			○				○										
				⑥	医師法、医療法等の医療関連法規を概説できる。			○				○	○	○								
				⑦	医療関連法規に定められた医師の義務を列挙できる。			○				○	○	○								
				⑧	医療における費用対効果分析を説明できる。							○		○								
				⑨	医療資源と医療サービスの価格形成を説明できる。診療報酬制度を説明でき、同制度に基づいた診療計画を立てることができる。			○				○		○								
				⑩	医療従事者の資格免許、現状と業務範囲、職種間連携を説明できる。			○				○										
				⑪	感染症法・食品衛生法の概要と届出義務を説明できる。							○		○							○	
				⑫	予防接種の意義と現状を説明できる。							○		○							○	
				⑬	障害者福祉・精神保健医療福祉の現状と制度を説明できる。							○										
		9) 国際保健	ねらい		国際保健の重要性について学ぶ。																	
			学修目標	①	世界の保健・医療問題（母子保健、感染症、非感染性疾患(non-communicable diseases<NCD>)、UHC(Universal Health Coverage)、保健システム（医療制度）、保健関連SDG(Sustainable Development Goals)）を概説できる。							○										
				②	国際保健・医療協力（国際連合(United Nations <UN>)、世界保健機関(World Health Organization <WHO>)、国際労働機関(International Labour Organization <ILO>)、国連合同エイズ計画(The Joint United Nations Programme on HIV/AIDS <UNAIDS>)、世界エイズ・結核・マラリア対策基金(The Global Fund to Fight AIDS,Tuberculosis and Malaria<GF>)、GAVIアライアンス(The Global Alliance for Vaccines and Immunization<GAVI>)、国際協力機構(Japan International Cooperation Agency <JICA>)、政府開発援助(Official Development Assistance <ODA>)、非政府組織(Non-Governmental Organization <NGO>)を列挙し、概説できる。							○										
	2 法医学と関連法規	1) 死と法	ねらい		死の判定や死亡診断と死体検案を理解する。																	
			学修目標	①	植物状態、脳死、心臓死及び脳死判定を説明できる。								○	○	○							
				②	異状死・異状死体の取り扱いと死体検案を説明できる。								○	○								
				③	死亡診断書と死体検案書を作成できる。								○	○								
				④	個人識別の方法を説明できる。								○	○								
				⑤	病理解剖、法医解剖（司法解剖、行政解剖、死因・身元調査法解剖、承諾解剖）を説明できる。								○	○								
		2) 診療情報と諸証明書	ねらい		診療情報の利用方法、情報管理とプライバシー保護について学ぶ。																	
			学修目標	①	診療録（カルテ）に関する基本的な知識（診療録の管理と保存（電子カルテを含む）、診療録の内容、診療情報の開示、プライバシー保護、セキュリティー、問題志向型医療記録<POMR>、主観的所見、客観的所見、評価、計画(subjective, objective, assessment, plan <SOAP>)を説明でき、実際に作成できる。			○														
				②	診療に関する諸記録（処方箋、入院診療計画書、検査・画像・手術の記録、退院時要約）を説明できる。			○												○		
				③	診断書、検案書、証明書（診断書、出生証明書、死産証書、死胎検案書、死亡診断書、死体検案書）を説明できる。			○					○	○						○		
				④	電子化された診療情報の作成ができ、管理を説明できる。			○														
	3 医学研究と倫理	1) 倫理規範と実践倫理	ねらい		医療の発展における医学研究と倫理の重要性について学ぶ。																	
			学修目標	①	医学研究と倫理（それぞれの研究に対応した倫理指針と法律）を説明できる。																	

コア・カリキュラム一覧（平成28年度改訂版）							医療プロフェッショナリズムの実践	臨床実習入門			LPBL	地域医療の実践	人間と社会			麻酔・集中治療	眼・視覚	耳鼻・頭頸部	皮膚	精神・行動	周産期・生殖器	小児の成長・発達	全人的医療・行動科学
							A4	P4a	P4b	P4c	A4	P4	A4 (1)	A4 (2)	A4 (3)								
B 社会と医学・医療	3 医学研究と倫理	1) 倫理規範と実践倫理		学修目標	②	臨床研究、臨床試験、治験と市販後臨床試験の違いを概説できる。																	
					③	臨床試験・治験と倫理性（ヘルシンキ宣言、第Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ相試験、医薬品の臨床試験の実施の基準(Good Clinical Practice <GCP>)、治験審査委員会・倫理審査委員会(institutional review board <IRB>)について説明できる。																	
					④	薬物に関する法令を概説し、医薬品の適正使用に関する事項を列挙できる。																	
					⑤	副作用報告と有害事象の違い、報告の意義（医薬品・医療機器等安全性情報報告制度等）を説明できる。																	
	4 医療に関連のある社会科学領域	1) 医師に求められる社会性		ねらい		文化的社会的文脈のなかで人の心と社会の仕組みを理解するための基礎的な知識と考え方及びリベラルアーツを学ぶ。臨床実践に行動科学・社会科学の知見を生かすことができるよう、健康・病い・医療に関する文化人類学・社会学（主に医療人類学・医療社会学）の視点・方法・理論について、理解を深める。																	
				学修目標	①	医療人類学や医療社会学等の行動科学・社会科学の基本的な視点・方法・理論を概説できる。							○										○
					②	病気・健康・医療・死をめぐる文化的な多様性を説明できる。							○		○								○
					③	自身が所属する文化を相対化することができる。							○										○
					④	人々の暮らしの現場において病気・健康がどのようにとらえられているかを説明できる。							○										○
					⑤	人の言動の意味をその人の人生史や社会関係の文脈の中で説明することができる。							○										○
					⑥	文化・ジェンダーと医療の関係を考えることができる。							○										○
					⑦	国際保健・医療協力の現場における文化的な摩擦について、文脈に応じた課題を設定して、解決案を提案できる。							○										
					⑧	社会をシステムとして捉えることができる。																	○
					⑨	病人役割を概説できる。																	
					⑩	対人サービスの困難（バーンアウトリスク）を概説できる。																	○
					⑪	経済的側面や制度的側面をふまえた上で、医療現場の実践を評価できる。							○		○								
					⑫	在宅療養と入院または施設入所との関係について総合的な考察ができる。							○										○
					⑬	多職種の医療・保健・福祉専門職、患者・利用者、その家族、地域の人々など、様々な立場の人が違った視点から医療現場に関わっていることを理解する。			○				○										○
					⑭	具体的な臨床事例に文化・社会的課題を見いだすことができる。							○										○
C 医学一般	1 生命現象の科学	1) 生命の最小単位一細胞		ねらい		細胞の構造とその様々な働きとともに、遺伝子からタンパクへの流れに基づく生命現象を学び、遺伝子工学の手法と応用やヒトゲノムの解析を理解する。																	
			(1) 細胞の構造と機能	学修目標	①	細胞の観察法を説明できる。																	
					②	細胞の全体像を図示できる。																	
					③	核とリボソームの構造と機能を説明できる。																	
					④	小胞体、ゴルジ体、リンソーム等の細胞内膜系の構造と機能を説明できる。																	
					⑤	ミトコンドリア、葉緑体の構造と機能を説明できる。																	
					⑥	細胞骨格の種類とその構造と機能を概説できる。																	
					⑦	細胞膜の構造と機能、細胞同士の接着と結合様式を説明できる。													○				
					⑧	原核細胞と真核細胞の特徴を説明できる。																	
			(2) ゲノム・染色体・遺伝子	学修目標	①	Mendelの法則、ミトコンドリア遺伝、インプリンティング及び多因子遺伝を説明できる。																○	
					②	遺伝型と表現型の関係を説明できる。																○	
					③	染色体の構造を概説し、ゲノムと染色体及び遺伝子の構造と関係性、体細胞分裂及び減数分裂における染色体の挙動を説明できる。																	
					④	デオキシリボ核酸（deoxyribonucleic acid<DNA>）の複製と修復を概説できる。																	
					⑤	デオキシリボ核酸<DNA>からリボ核酸（ribonucleic acid<RNA>）への転写、タンパク質合成に至る翻訳を含む遺伝情報の発現及び調節（セントラルドグマ）を説明できる。																	
					⑥	染色体分析・DNA配列決定を含むゲノム解析技術を概説できる。																	
		2) 生物の進化		ねらい		生物の進化を知り、比較生物学的な見地から動物の体のつくりとはたらきを学ぶ。																	
			(1) 生物の進化	学修目標	①	進化の基本的な考え方を説明できる。																	
					②	生物種とその系統関係を概説できる。																	
					③	アミノ酸配列や塩基配列の比較による分子系統樹を概説できる。																	
	2 個体の構成と機能	1) 細胞の構成と機能		ねらい		細胞の微細構造と機能を理解する。																	
			(1) 細胞膜	学修目標	①	細胞内液・外液のイオン組成、浸透圧と静止（膜）電位を説明できる。																	
					②	膜のイオンチャネル、ポンプ、受容体と酵素の機能を概説できる。																	
					③	細胞膜を介する物質の能動・受動輸送過程を説明できる。																	
					④	細胞膜を介する分泌と吸収の過程を説明できる。																	
			(2) 細胞骨格と細胞運動	学修目標	①	細胞骨格を構成するタンパク質とその機能を概説できる。																	
					②	アクチンフィラメント系による細胞運動を説明できる。																	
					③	細胞内輸送システムを説明できる。																	
					④	微小管の役割や機能を説明できる。																	
		2) 組織・各臓器の構成、機能と位置関係		ねらい		細胞集団としての組織・臓器の構成、機能分化と方向用語を理解する。																	
			(1) 組織・各臓器の構造と機能	学修目標	①	上皮組織と腺の構造と機能を説明できる。													○				
					②	支持組織を構成する細胞と細胞間質（線維成分と基質）を説明できる。													○				
					③	血管とリンパ管の微細構造と機能を説明できる。																	
					④	神経組織の微細構造を説明できる。																	
					⑤	筋組織について、骨格筋、心筋、平滑筋の構造と機能を対比して説明できる。																	
					⑥	組織の再生の機序を説明できる。																	
			(2) 器官の位置関係	学修目標	①	位置関係を方向用語（上下、前後、内・外側、浅深、頭・尾側、背・腹側）で説明できる。																	
		3) 個体の調節機構とホメオスタシス		ねらい		生体の恒常性を維持するための情報伝達と生体防御の機序を理解する。																	
			(1) 情報伝達の基本	学修目標	①	情報伝達の種類と機能を説明できる。																	
					②	受容体による情報伝達の機序を説明できる。																	

コア・カリキュラム一覧（平成28年度改訂版）							医療プロフェッショナリズムの実践	臨床実習入門			LPBL	地域医療の実践	人間と社会			麻酔・集中治療	眼・視覚	耳鼻・頭頸部	皮膚	精神・行動	周産期・生殖器	小児の成長・発達	全人的医療・行動科学
							A4	P4a	P4b	P4c	A4	P4	A4 (1)	(2)	(3)								
C 医学一般	2 個体の構成と機能	3) 個体の調節機構とホメオスタシス	(1) 情報伝達の基本	学修目標	③	細胞内シグナル伝達過程を説明できる。																	
			(2) 神経による情報伝達の基礎	学修目標	①	活動電位の発生機構と伝導を説明できる。																	
					②	シナプス（神経筋接合部を含む）の形態とシナプス伝達の機能（興奮性、抑制性）と可塑性を説明できる。																	
					③	軸索輸送、軸索の変性と再生を説明できる。																	
					④	刺激に対する感覚受容の種類と機序を説明できる。																	
					⑤	反射を説明できる。																	
			(3) 生体防御の機序	学修目標	①	生体の非特異的防御機構を説明できる。																○	
					②	特異的防御機構である免疫系の役割を説明できる。																○	
					③	体液性と細胞性免疫応答を説明できる。													○			○	
			(4) ホメオスタシス	学修目標	①	生体の恒常性維持と適応を説明できる。																○	
					②	恒常性維持のための調節機構（ネガティブフィードバック調節）を説明できる。																○	
					③	生体機能や体内環境のリズム性変化を説明できる。																○	
					④	生体の恒常性維持における常在菌・腸内細菌と宿主との相互作用の重要性を説明できる。																	
					⑤	運動生理学など、身体活動時の神経・骨格筋、循環器、代謝系の変化を説明できる。																	
		4) 個体の発生		ねらい		個体と器官が形成される発生過程を理解する。																	
				学修目標	①	配偶子の形成から出生に至る一連の経過と胚形成の全体像を説明できる。																	
					②	体節の形成と分化を説明できる。																	
					③	体幹と四肢の骨格と筋の形成過程を概説できる。																	
					④	消化・呼吸器系各器官の形成過程を概説できる。																	
					⑤	心血管系の形成過程を説明できる。																	
					⑥	泌尿生殖器系各器官の形成過程を概説できる。															○		
					⑦	胚内体腔の形成過程を概説できる。																	
					⑧	鰓弓・鰓嚢の分化と頭・頸部と顔面・口腔の形成過程を概説できる。																	
					⑨	神経管の分化と脳、脊髄、視覚器、平衡聴覚器と自律神経系の形成過程を概説できる。																	
		5) 生体物質の代謝		ねらい		生体物質の代謝の動態を理解する。																	
				学修目標	①	酵素の機能と調節を説明できる。																	
					②	解糖の経路と調節機構を説明できる。																	
					③	クエン酸回路を説明できる。																	
					④	電子伝達系と酸化的リン酸化を説明できる。																	
					⑤	糖新生の経路と調節機構を説明できる。																	
					⑥	グリコーゲンの合成と分解の経路を説明できる。																	
					⑦	五炭糖リン酸回路の意義を説明できる。																	
					⑧	脂質の合成と分解を説明できる。																	
					⑨	リポタンパクの構造と代謝を説明できる。																	
					⑩	タンパク質の合成と分解を説明できる。																	
					⑪	アミノ酸の異化と尿素合成の経路を概説できる。																	
					⑫	ヘム・ポルフィリンの代謝を説明できる。													○				
					⑬	ヌクレオチドの合成・異化・再利用経路を説明できる。																	
					⑭	酸化ストレス（フリーラジカル、活性酸素）の発生と作用を説明できる。																	
					⑮	ビタミン、微量元素の種類と作用を説明できる。																	
					⑯	エネルギー代謝（エネルギーの定義、食品中のエネルギー値、エネルギー消費量、推定エネルギー必要量）を理解し、空腹（飢餓）時、食後（過食時）と運動時における代謝を説明できる。																	
	3 個体の反応	1) 生体と微生物		ねらい		各種微生物の基本的性状、病原性とそれによって生じる病態を理解する。																	
			(1) ウイルスの基本的性状と病原性	学修目標	①	ウイルス粒子の構造を図示し、各部の機能を説明できる。																	
					②	構造と性状によりウイルスを分類できる。																	
					③	デオキシリボ核酸<DNA>ゲノムとリボ核酸<RNA>ゲノムの複製・転写を一般化し、説明できる。																	
					④	ウイルスの吸着、侵入、複製、成熟と放出の各過程を説明できる。																	
					⑤	ウイルス感染細胞に起こる変化を説明できる。																	
					⑥	ウイルス感染の種特異性、組織特異性と病原性を説明できる。																	
					⑦	主な感染様式の具体例を説明できる。																	
			(2) ウイルス感染に対する生体反応・予防	学修目標	①	ウイルスに対する中和反応と細胞性免疫を説明できる。																	
					②	ワクチンによるウイルス感染症予防の原理を説明できる。																	
					③	ワクチンの種類と問題点を説明できる。																	
			(3) 各種のウイルスの特徴と病原性	学修目標	①	主なデオキシリボ核酸<DNA>ウイルス（サイトメガロウイルス(cytomegalovirus <CMV>)、Epstein-Barr <EB>ウイルス、アデノウイルス、パルボウイルスB19 、ヒトヘルペスウイルス、B 型肝炎ウイルス、ヒトパピローマウイルス）が引き起こす疾患名を列挙できる。													○			○	
					②	主なリボ核酸<RNA>ウイルス（インフルエンザウイルス、麻疹ウイルス、ムンプスウイルス、風疹ウイルス、ポリオウイルス、コクサッキーウイルス、エコー(enteric cytopathic human orphan <ECHO>)ウイルス、ライノウイルス、A 型肝炎ウイルス、C 型肝炎ウイルス）が引き起こす疾患名を列挙できる。																○	
					③	レトロウイルス(ヒト免疫不全ウイルス(human immunodeficiency virus <HIV>)の特性と一般ゲノム構造を説明し、分類できる。																	
			(4) 細菌・真菌	学修目標	①	細菌の構造を図示し、形態と染色性により分類できる。																	
					②	細菌の感染経路を分類し、説明できる。																	
					③	細菌が疾病を引き起こす機序を説明できる。																	
					④	Gram 陽性球菌（ブドウ球菌、連鎖球菌）の細菌学的特徴とそれが引き起こす疾患を列挙できる。													○				

コア・カリキュラム一覧（平成28年度改訂版）							リフズェ医ムッ療のシ実ョロ践ナ	臨床実習入門			LPBL	地域医療の実践	人間と社会			麻酔・集中治療	眼・視覚	耳鼻・頭頸部	皮膚	精神・行動	周産期・生殖器	小児の成長・発達	全人的医療・行動科学
							A4	P4a	P4b	P4c	A4	P4	A4										
													(1)	(2)	(3)								
C 医学一般	3 個体の反応	1) 生体と微生物	(4) 細菌・真菌	学修目標	⑤	Gram 陰性球菌（淋菌、髄膜炎菌）の細菌学的特徴とそれが引き起こす疾患を列挙できる。																○	
					⑥	Gram 陰性桿菌（破傷風菌、ガス壊疽菌、ボツリヌス菌、ジフテリア菌）の細菌学的特徴とそれが引き起こす疾患を列挙できる。																
					⑦	Gram 陰性桿菌（大腸菌、赤痢菌、サルモネラ菌、チフス菌、ペスト菌、コレラ菌、百日咳菌、腸炎ビブリオ菌、緑膿菌、ブルセラ菌、レジオネラ菌、インフルエンザ（桿）菌）の細菌学的特徴とそれが引き起こす疾患を列挙できる。														○	
					⑧	Gram 陰性スピリル属病原菌（Helicobacter pylori）の細菌学的特徴とそれが引き起こす疾患を列挙できる。																
					⑨	抗酸菌（結核菌、非結核性(非定型)抗酸菌 ）の細菌学的特徴とそれが引き起こす疾患を列挙できる。												○				
					⑩	真菌（アスペルギルス、クリプトコックス、カンジダ、ムーコル（ムコール））の微生物学的特徴とそれが引き起こす疾患を列挙できる。																
					⑪	スピロヘータ、マイコプラズマ、リケッチア、クラミジアの微生物学的特徴とそれが引き起こす疾患を列挙できる。																
			(5) 寄生虫	学修目標	①	原虫類・蠕虫類の分類および形態学的特徴を説明できる。																
					②	寄生虫の生活史、感染経路と感染病学的意義を説明できる。																
					③	寄生虫感染宿主の生体防御の特徴を説明できる。																
					④	各臓器・器官の主な寄生虫症を説明できる。																
					⑤	寄生虫症の診断、治療と予防の概要を説明できる。																
		2) 免疫と生体防御		ねらい		免疫系の機構を分子レベルで理解し、病原体に対する免疫反応、主な自己免疫疾患、先天性及び後天性免疫不全症候群(acquired immune deficiency syndrome <AIDS>)と癌細胞に対する免疫系の反応を理解する。																
			(1) 免疫系の一般特性	学修目標	①	生体防御機構における免疫系の特徴（特異性、多様性、寛容、記憶）を説明できる。																
					②	免疫反応に関わる組織と細胞を説明できる。												○				
					③	免疫学的自己の確立と破綻を説明できる。																
					④	自然免疫と獲得免疫の違いを説明できる。												○				
			(2) 自己と非自己の識別に関与する分子とその役割	学修目標	①	主要組織適合遺伝子複合体(major histocompatibility complex <MHC>)クラスI とクラスII の基本構造、抗原提示経路の違いを説明できる。																
					②	免疫グロブリンと T 細胞抗原レセプターの構造と反応様式を説明できる。																
					③	免疫グロブリンと T 細胞抗原レセプター遺伝子の構造と遺伝子再構成に基づき、多様性獲得の機構を説明できる。																
					④	自己と非自己の識別機構の確立と免疫学的寛容を概説できる。																
			(3) 免疫反応の調節機構	学修目標	①	抗原レセプターからのシグナルを増強あるいは減弱する調節機構を概説できる。																
					②	代表的なサイトカイン・ケモカインの特徴を説明できる。																
					③	ヘルパーT 細胞(Th1 cell, Th2 cell, Th17 cell)、細胞傷害性T 細胞(cytotoxic T lymphocyte <CTL>)、制御性T 細胞(regulatory T cell <Treg>)それぞれが担当する生体防御反応を説明できる。																
			(4) 疾患と免疫	学修目標	①	ウイルス、細菌、真菌と寄生虫に対する免疫応答の特徴を説明できる。																
					②	原発性免疫不全症と後天性免疫不全症候群(AIDS)を概説できる。															○	
					③	免疫寛容の維持機構とその破綻による自己免疫疾患の発症を概説できる。															○	
					④	アレルギー発症の機序（Coombs 分類）を概説できる。												○			○	
					⑤	癌免疫に関わる細胞性機序を概説できる。															○	
		3) 生体と薬物		ねらい		薬物・毒物の生体への作用について、個体・細胞・分子のレベルにおける作用機序と、生体と薬物分子との相互作用を理解し、的確な薬物療法を行うための基本的な考え方を学ぶ。																
			(1) 薬理作用の基本	学修目標	①	薬物・毒物の濃度反応曲線を描き、その決定因子を説明できる。										○						
					②	薬物の受容体結合と薬理作用との定量的関連性及び活性薬・拮抗薬と分子標的薬を説明できる。										○						
					③	薬物・毒物の用量反応曲線を描き、有効量・中毒量・致死量の関係を説明できる。										○						
			(2) 薬物の動態	学修目標	①	薬物・毒物の吸収、分布、代謝と排泄を説明できる。								○		○						
					②	薬物の生体膜透過に影響する因子を説明できる。										○						
					③	薬物投与方法（経口、舌下、皮膚、粘膜、直腸、注射、吸入、点眼、点鼻等）を列挙し、それぞれの薬物動態を説明できる。										○						
			(3) 薬物の評価	学修目標	①	薬物の評価におけるプラセボ効果の意義を説明できる。																
	4 病因と病態	1) 遺伝的多様性と疾患		ねらい		ゲノム・染色体・遺伝子の多様性と疾患との関連を理解する。																
				学修目標	①	ゲノムの多様性に基づく個体の多様性を説明できる。																
					②	単一遺伝子疾患の遺伝様式を説明し、代表的な疾患を列挙できる。															○	
					③	染色体異常による疾患の中で主なものを挙げ、概説できる。															○	
					④	ミトコンドリア遺伝子の変異による疾患を挙げ、概説できる。															○	
					⑤	エピゲノムの機序及び関連する疾患を概説できる。																
					⑥	多因子疾患における遺伝要因と環境要因の関係を概説できる。															○	
					⑦	薬剤の有効性や安全性とゲノムの多様性と関係を概説できる。																
		2) 細胞傷害・変性と細胞死		ねらい		細胞傷害・変性と細胞死の病因と細胞・組織の形態的変化を理解する。																
				学修目標	①	細胞傷害・変性と細胞死の多様性、病因と意義を説明できる。																
					②	細胞傷害・変性と細胞死の細胞と組織の形態的変化の特徴を説明できる。																
					③	ネクローシスとアポトーシスの違いを説明できる。																
		3) 代謝障害		ねらい		糖、タンパク質、脂質等の代謝異常によって生じる多様な疾患について理解する。																
				学修目標	①	糖質代謝異常の病態を説明できる。																
					②	タンパク質・アミノ酸代謝異常の病態を説明できる。																
					③	脂質代謝異常の病態を説明できる。																
					④	核酸・スクレオチド代謝異常の病態を説明できる。																
					⑤	ビタミン、微量元素の代謝異常の病態を説明できる。																
					⑥	肥満に起因する代謝障害の病態を説明できる。																○
		4) 循環障害、臓器不全		ねらい		循環障害、臓器不全の病因と病態を理解する。																
				学修目標	①	血行障害（阻血、虚血、充血、うっ血、出血）の違いとそれぞれの病因と病態を説明できる。										○						
					②	梗塞（血栓、塞栓）の種類と病態を説明できる。										○						

コア・カリキュラム一覧 （平成28年度改訂版）							医療プロフェッショナリズムの実践	臨床実習入門			LPBL	地域医療の実践	人間と社会			麻酔・集中治療	眼・視覚	耳鼻・頭頸部	皮膚	精神・行動	周産期・生殖器	小児の成長・発達	全人的医療・行動科学
							A4	P4a	P4b	P4c	A4	P4	A4										
													(1)	(2)	(3)								
C 医学一般	4 病因と病態	4) 循環障害、臓器不全		学修目標	③	ショック（血流分布異常性ショック（アナフィラキシー、感染性(敗血症性)、神経原性）、循環血液量減少性ショック（出血性、体液喪失）、心原性ショック（心筋性、機械性、不整脈）、閉塞性ショック（心タンポナーデ、肺塞栓症、緊張性気胸））を説明できる。										○							
					④	血圧異常（高血圧、低血圧）を説明できる。																	
					⑤	臓器不全（多臓器不全、多臓器障害(multiple organ dysfunction syndrome <MODS>)）を説明できる。								○									
		5) 炎症と創傷治癒		ねらい		炎症の概念と感染症との関係、またそれらの治癒過程を理解する。																	
				学修目標	①	炎症の定義を説明できる。																	
					②	炎症の分類、組織形態学的変化と経時的変化（局所的変化と全身的変化）を説明できる。																	
					③	感染症による炎症性変化を説明できる。																	
					④	創傷の治癒過程を概説できる。																	
		6) 腫瘍		ねらい		発癌のメカニズムと、病態を理解する。																	
				学修目標	①	自律性の増殖と、良性腫瘍と悪性腫瘍の違いを説明できる。																○	
					②	癌の原因や遺伝子変化を説明できる。																○	
					③	腫瘍の分類、分化度、グレード、ステージを概説できる。																○	
					④	用語（異形成、上皮内癌、進行癌、早期癌、異型性、多形性等）を説明できる。																○	
					⑤	癌の診断と治療を概説できる。																○	
					⑥	癌の転移を説明できる。																○	
	5 人の行動と心理			ねらい		人の行動と心理を理解するための基礎的な知識と考え方を学ぶ。																	
		1) 人の行動		学修目標	①	行動と知覚、学習、記憶、認知、言語、思考、性格との関係を概説できる。																	○
					②	行動の脳内基礎課程を説明できる。																	○
					③	行動と人の内的要因、社会・文化的環境との関係を概説できる。																	○
		2) 行動の成り立ち		学修目標	①	本能行動と学習行動（適応的な学習、適応的でない学習）を説明できる。																	
					②	レスポンデント条件付け（事象と事象との関係の学習）とオペラント条件付け（反応と結果との関係の学習）を説明できる。																	○
					③	社会的学習（モデリング、観察学習、模倣学習）を概説できる。																	○
		3) 動機付け		学修目標	①	生理的動機（個体保存、種族保存）、内発的動機（活動、感性、好奇、操作等）、及び社会的動機（達成、親和、愛着、支配等）を概説できる。																	○
					②	動機付けを例示できる。																	○
					③	欲求とフラストレーション・葛藤との関連を概説できる。																	○
					④	適応（防衛）機制を概説できる。																	○
		4) ストレス		学修目標	①	主なストレス学説を概説できる。																	○
					②	人生、日常生活や仕事におけるストレスッサーとその健康への影響を例示できる。																	○
					③	ストレスーコーピング過程に関連する心理社会的要因について説明できる。																	○
					④	ストレス対処法について概説できる。																	○
		5) 生涯発達		学修目標	①	こころの発達の原理を概説できる。																	
					②	ライフサイクルの各段階におけるこころの発達と発達課題をを概説できる。																	○
					③	こころの発達にかかわる遺伝的要因と環境的要因を概説できる。																	
		6) 個人差		学修目標	①	パーソナリティーの類型と特性を概説できる。																	○
					②	パーソナリティーの形成を概説できる。																	○
					③	知能の発達と経年変化を概説できる。																	
					④	役割理論を概説できる。																	○
					⑤	ジェンダーの形成並びに性的指向及び性自認への配慮方法を説明できる。																	○
		7) 対人関係と対人コミュニケーション		学修目標	①	対人関係にかかわる心理的要因を概説できる。																	○
					②	人間関係における欲求と行動の関係を概説できる。																	○
					③	主な対人行動（援助、攻撃等）を概説できる。																	○
					④	集団の中の人間関係（競争と協同、同調、服従と抵抗、リーダーシップ）を概説できる。																	○
					⑤	効果的な対人コミュニケーションを説明できる。																	○
					⑥	話し手と聞き手の役割を説明でき、適切なコミュニケーションスキルが使える。																	○
					⑦	個と集団に及ぼす文化的影響を例示できる。																	○
					⑧	文化・慣習によってコミュニケーションのあり方が異なることを例示できる。																	○
		8) 行動変容における理論と技法		学修目標	①	健康行動や行動変容を行う動機付けを概説できる。																	○
					②	行動療法を説明できる。							○										○
					③	認知行動療法を説明できる。							○										○
					④	心理教育を説明できる。							○										○
					⑤	生活習慣病における患者支援（自律性支援）や保健指導を概説できる。							○										○
D 人体各器官の正常構造と機能、病態、診断、治療	1 血液・造血器・リンパ系			ねらい		血液・造血器・リンパ系の構造と機能を理解し、主な疾患の病因、病態生理、症候、診断と治療を学ぶ。																	
		1) 構造と機能		学修目標	①	骨髄の構造を説明できる。																	
					②	造血幹細胞から各血球への分化と成熟の過程を説明できる。																○	
					③	主な造血因子（エリスロポエチン、顆粒球コロニー刺激因子(granulocyte-colony stimulating factor <G-CSF>)、トロンボポエチン）を説明できる。																	
					④	脾臓、胸腺、リンパ節、扁桃とPeyer 板の構造と機能を説明できる。																	
					⑤	血漿タンパク質の種類と機能を説明できる。																	
					⑥	赤血球とヘモグロビンの構造と機能を説明できる。																	
					⑦	白血球の種類と機能を説明できる。													○				

コア・カリキュラム一覧（平成28年度改訂版）							リフズェ医ムツ療のシブ実ヨロ践ナ	臨床実習入門			LPBL	地域医療の実践	人間と社会			麻酔・集中治療	眼・視覚	耳鼻・頭頸部	皮膚	精神・行動	周産期・生殖器	小児の成長・発達	全人的医療・行動科学
							A4	P4a	P4b	P4c	A4	P4	A4										
													(1)	(2)	(3)								
D 人体各器官の正常構造と機能、病態、診断、治療	1 血液・造血器・リンパ系	1) 構造と機能		学修目標	⑧	血小板の機能と止血や凝固・線溶の機序を説明できる。																	
		2) 診断と検査の基本		学修目標	①	末梢血の血球数の基準値とその変化の意義を説明できる。																	
					②	骨髄検査（骨髄穿刺、骨髄生検）を説明できる。																	
					③	血漿タンパク質の基準値とその変化の意義を説明できる。																	
		3) 症候		学修目標	①	発熱																	
					②	全身倦怠感																	
					③	黄疸																	
					④	貧血																	
					⑤	出血傾向																	
					⑥	リンパ節腫脹																	
					⑦	腹部膨隆（腹水を含む）・腫瘤																	
		4) 疾患	(1) 貧血	学修目標	①	貧血を分類し、鑑別に有用な検査を列挙できる。																○	
					②	鉄欠乏性貧血、二次性貧血の病因、病態、診断と治療を説明できる。																○	
					③	再生不良性貧血・夜間発作性血色素尿症(paroxysmal nocturnal hemoglobinuria <PNH>)の病因、病態、診断、治療と予後を説明できる。																○	
					④	溶血性貧血の病因、病態、診断と治療を説明できる。																○	
					⑤	巨赤芽球性貧血の病因、病態、診断と治療を説明できる。																○	
			(2) 出血傾向・紫斑病その他	学修目標	①	出血傾向の病因、病態、症候と診断を説明できる。																○	
					②	免疫性血小板減少性紫斑病(immune thrombocytopenic purpura<ITP>) の病態、症候、診断と治療を説明できる。																○	
					③	血友病の病態、症候、診断、治療と遺伝形式を説明できる。																○	
					④	播種性血管内凝固(disseminated intravascular coagulation <DIC>)の基礎疾患、病態、診断と治療を説明できる。																○	
					⑤	溶血性尿毒症症候群(hemolytic–uremic syndrome <HUS>)の基礎疾患、病態、診断と治療を説明できる。																○	
					⑥	IgA 血管炎(Schönlein–Henoch 紫斑病)を概説できる。													○			○	
					⑦	血栓性血小板減少性紫斑病(thrombotic thrombocytopenic purpura <TTP>)を概説できる。																○	
			(3) 脾腫疾患	学修目標	①	脾腫をきたす疾患を列挙し、鑑別の要点を説明できる。																○	
			(4) 腫瘍性疾患	学修目標	①	急性白血病の病態、症候、病理所見、治療と予後を説明できる。																○	
					②	急性白血病のFrench–American–British <FAB>分類、WHO分類を概説できる。																○	
					③	慢性骨髄性白血病の病態、症候、病理所見、治療と予後を説明できる。																○	
					④	骨髄異形成症候群(myelodysplastic syndromes <MDS>)の臨床像と病理所見を説明できる。																○	
					⑤	成人T 細胞白血病の病因、疫学、臨床所見、病理所見を説明できる。																○	
					⑥	小児白血病と成人白血病の違いを説明できる。																○	
					⑦	真性赤血球増加症・本態性血小板血症、骨髄線維症の病因、病態、診断と治療を説明できる。																○	
					⑧	悪性リンパ腫の分類を概説し、病態、症候、病理所見、治療と予後を説明できる。													○			○	
					⑨	多発性骨髄腫の病態、症候、診断、治療と予後を説明できる。																	
	2 神経系			ねらい		神経系の正常構造と機能を理解し、主な神経系疾患の病因、病態生理、症候、診断と治療を学ぶ。																	
		1) 構造と機能	(1) 神経系の一般特性	学修目標	①	中枢神経系と末梢神経系の構成を概説できる。																	
					②	脳の血管支配と血液脳関門を説明できる。																	
					③	脳のエネルギー代謝の特徴を説明できる。																	
					④	主な脳内神経伝達物質（アセチルコリン、ドパミン、ノルアドレナリン）とその作用を説明できる。																	
					⑤	髄膜・脳室系の構造と脳脊髄液の産生と循環を説明できる。																	
			(2) 脊髄と脊髄神経	学修目標	①	脊髄の構造、機能局在と伝導路を説明できる。																	
					②	脊髄反射（伸張反射、屈筋反射）と筋の相反神経支配を説明できる。																	
					③	脊髄神経と神経叢（頸神経叢、腕神経叢、腰神経叢、仙骨神経叢）の構成及び主な骨格筋支配と皮膚分布（デルマトーム）を概説できる。																	
			(3) 脳幹と脳神経	学修目標	①	脳幹の構造と伝導路を説明できる。																	
					②	脳神経の名称、核の局在、走行・分布と機能を概説できる。																	
					③	脳幹の機能を概説できる。																	
			(4) 大脳と高次機能	学修目標	①	大脳の構造を説明できる。																	
					②	大脳皮質の機能局在（運動野・感覚野・言語野）を説明できる。																	
					③	記憶、学習の機序を辺縁系の構成と関連させて概説できる。																	
			(5) 運動系	学修目標	①	随意運動の発現機構を錐体路を中心として概説できる。																	
					②	小脳の構造と機能を概説できる。																	
					③	大脳基底核（線条体、淡蒼球、黒質）の線維結合と機能を概説できる。																	
			(6) 感覚系	学修目標	①	痛覚、温度覚、触覚と深部感覚の受容機序と伝導路を説明できる。																	
					②	視覚、聴覚・平衡覚、嗅覚、味覚の受容機序と伝導路を概説できる。												○					
			(7) 自律機能と本能行動	学修目標	①	交感神経系と副交感神経系の中枢内局在、末梢分布、機能と伝達物質を概説できる。																	○
					②	視床下部の構造と機能を内分泌及び自律機能と関連付けて概説できる。																	○
					③	ストレス反応と本能・情動行動の発現機序を概説できる。																	○
		2) 診断と検査の基本		学修目標	①	脳・脊髄のコンピュータ断層撮影(computed tomography <CT>)・磁気共鳴画像法(magnetic resonance imaging <MRI>)検査の適応と異常所見を説明し、結果を解釈できる。																	
					②	神経系の電気生理学的検査（脳波検査、筋電図、末梢神経伝導速度）で得られる情報を説明できる。																	○
		3) 症候		学修目標	①	けいれん																	

コア・カリキュラム一覧
（平成28年度改訂版）

							医療プロフェッショナリズムの実践 A4	臨床実習入門 P4a	臨床実習入門 P4b	臨床実習入門 P4c	PBL A4	地域医療の実践 P4	人間と社会 A4 (1)	人間と社会 A4 (2)	人間と社会 A4 (3)	麻酔・集中治療	眼・視覚	耳鼻・頭頸部	皮膚	精神・行動	周産期・生殖器	小児の成長・発達	全人的医療・行動科学
D 人体各器官の正常構造と機能、病態、診断、治療	2 神経系	3) 症候		学修目標	②	意識障害・失神																	
					③	めまい																	
					④	頭痛																	
					⑤	運動麻痺・筋力低下																	
			(1) 運動失調障害と不随意運動	学修目標	①	小脳性・前庭性・感覚性運動失調障害を区別して説明できる。																	
					②	振戦を概説できる。																	
					③	その他の不随意運動(ミオクローヌス、舞踏運動、ジストニア、固定姿勢保持困難(asterixis)、アテトーシス、チック)を概説できる。																	
			(2) 歩行障害	学修目標	①	歩行障害を病態に基づいて分類できる。																	
			(3) 言語障害	学修目標	①	失語症と構音障害の違いを説明できる。												○					
			(4) 頭蓋内圧亢進	学修目標	①	脳浮腫の病態を説明できる。										○							
					②	急性・慢性頭蓋内圧亢進の症候を説明できる。										○							
					③	脳ヘルニアの種類と症候を説明できる。								○		○							
		4) 疾患	(1) 脳・脊髄血管障害	学修目標	①	脳血管障害(脳出血、くも膜下出血、頭蓋内血腫、脳梗塞、一過性脳虚血発作)の病態、症候と診断を説明できる。																	
					②	脳血管障害の治療と急性期・回復期・維持期(生活期)のリハビリテーション医療を概説できる。																	
			(2) 認知症と変性疾患	学修目標	①	認知症の病因を列挙できる。																	
					②	認知症をきたす主な病態(Alzheimer 型認知症、Lewy 小体型認知症、血管性認知症)の症候と診断を説明できる。																	
					③	Parkinson 病の病態、症候と診断を説明できる。																	
					④	筋萎縮性側索硬化症を概説できる。																	
					⑤	多系統萎縮症を概説できる。																	
			(3) 感染性・炎症性・脱髄性疾患	学修目標	①	脳炎・髄膜炎、脳症の病因、症候と診断を説明できる。																○	
					②	多発性硬化症の病態、症候と診断を説明できる。																○	
			(4) 頭部外傷	学修目標	①	頭部外傷の分類を説明できる。								○								○	
					②	急性硬膜外・硬膜下血腫及び慢性硬膜下血腫の症候と診断を説明できる。								○								○	
					③	頭部外傷後の高次脳機能障害を説明できる。																	
			(5) 末梢神経疾患	学修目標	①	ニューロパチーの病因(栄養障害、中毒、遺伝性)と病態を分類できる。																	
					②	Guillain-Barré 症候群の症候、診断を説明できる。																○	
					③	Bell 麻痺の症候、診断を説明できる。																	
					④	主な神経障害性疼痛(三叉・坐骨神経痛)を概説できる。																	
			(6) 筋疾患	学修目標	①	重症筋無力症の病態、症候と診断を説明できる。																○	
					②	進行性筋ジストロフィーの病因、分類、症候と診断を説明できる。																○	
					③	周期性四肢麻痺を概説できる。																○	
			(7) 発作性疾患	学修目標	①	てんかんの分類、診断と治療を説明できる。																○	
			(8) 頭痛	学修目標	①	頭痛(偏頭痛、緊張型頭痛等)の分類、診断と治療を説明できる。																	
			(9) 先天性と周産期脳障害	学修目標	①	脳性麻痺の病因、病型、症候とリハビリテーションを説明できる。															○	○	
					②	水頭症の症候と治療を説明できる。															○	○	
			(10) 腫瘍性疾患	学修目標	①	主な脳・脊髄腫瘍の分類と好発部位を説明し、病態を概説できる。																○	
	3 皮膚系			ねらい		皮膚の構造と機能を理解し、主な皮膚疾患の病因、病態生理、症候、診断と治療を学ぶ。																	
		1) 構造と機能		学修目標	①	皮膚の組織構造を図示して説明できる。													○				
					②	皮膚の細胞動態と角化の機構を説明できる。													○				
					③	皮膚の免疫防御能を説明できる。													○				
		2) 診断と検査の基本		学修目標	①	皮膚検査法(硝子圧法、皮膚描記法(Darier 徴候)、Nikolsky 現象、Tzanck 試験、光線テスト)を概説できる。													○				
					②	皮膚アレルギー検査法(プリックテスト、皮内テスト、パッチテスト)を説明できる。													○				
					③	微生物検査法(検体採取法、苛性カリ<KOH>直接検鏡法)を概説できる。													○				
		3) 症候		学修目標	①	発疹													○				
		4) 疾患	(1) 湿疹・皮膚炎	学修目標	①	湿疹反応を説明できる。													○				
					②	湿疹・皮膚炎の疾患(接触皮膚炎、アトピー性皮膚炎、脂漏性皮膚炎、貨幣状湿疹、皮脂欠乏性湿疹、自家感作性皮膚炎)を列挙し、概説できる。													○				
			(2) 蕁麻疹、紅斑症、紅皮症と皮膚掻痒症	学修目標	①	蕁麻疹の病態、診断と治療を説明できる。													○				
					②	多形滲出性紅斑、環状紅斑と紅皮症の病因と病態を説明できる。													○				
					③	皮膚そう痒症の病因と病態を説明できる。													○				
			(3) 紫斑・血流障害と血管炎	学修目標	①	皮膚血流障害と血管炎の病因、症候と病態を説明できる。													○				
			(4) 薬疹・薬物障害	学修目標	①	薬疹や薬物障害の発生機序、症候と治療を説明できる。													○				
					②	薬疹を起こしやすい主な薬物を列挙できる。													○				
			(5) 水疱症と膿疱症	学修目標	①	自己免疫性水疱症の病因、病態と分類を説明できる。													○				
					②	膿疱症の種類と病態を説明できる。													○				
					③	水疱症鑑別のための検査法を説明できる。													○				
			(6) 乾癬と角化症	学修目標	①	尋常性乾癬、扁平苔癬とGibert 薔薇色粃糠疹の病態、症候と治療を説明できる。													○				
					②	魚鱗癬の病態、症候と治療を説明できる。													○				
			(7) 皮膚感染症	学修目標	①	皮膚細菌感染症(伝染性膿痂疹、せつ、癰、毛嚢炎、丹毒、ブドウ球菌性熱傷様皮膚症候群)を列挙し、概説できる。													○				
					②	皮膚真菌症<表在性、深在性>の症候と病型を説明できる。													○				

コア・カリキュラム一覧（平成28年度改訂版）							リフズェ医ムツ療のシプ実ョロ践ナ	臨床実習入門			LPBL	地域医療の実践	人間と社会			麻酔・集中治療	眼・視覚	耳鼻・頭頸部	皮膚	精神・行動	周産期・生殖器	小児の成長・発達	全人的医療・行動科学
							A4	P4a	P4b	P4c	A4	P4	A4										
													(1)	(2)	(3)								
D 人体各器官の正常構造と機能、病態、診断、治療	3 皮膚系	4) 疾患	(7) 皮膚感染症	学修目標	③	皮膚結核病の症候、病型と病因菌を説明できる。													○				
					④	梅毒の症候、病期と合併症を説明できる。													○				
					⑤	皮膚ウィルス感染症（単純ヘルペス、帯状疱疹、伝染性軟属腫、麻疹、風疹、水痘）を列挙し、概説できる。												○				
					⑥	後天性免疫不全症候群（AIDS）に伴う皮膚症状（梅毒、難治性ヘルペス、伝染性軟属腫、カポジ肉腫等）を列挙し、概説できる。												○				
			(8) 母斑・腫瘍性疾患・腫瘍	学修目標	①	母斑・母斑症の種類を列挙できる。													○				
					②	皮膚良性腫瘍、前癌状態と悪性腫瘍の種類と見分け方を説明できる。													○				
					③	皮膚悪性リンパ腫、血管肉腫を説明できる。													○				
					④	基底細胞と皮膚（癌）の定義と病態、症候、皮疹とダーモスコピー像の所見、病理所見や診断、治療法を説明できる。													○				
					⑤	有棘細胞癌の定義と病態、症候、皮疹とダーモスコピー像の所見、病理所見や診断、治療法を説明できる。													○				
					⑥	悪性黒色腫の定義と病態、症候、皮疹とダーモスコピー像の所見、病理所見や診断、治療法を説明できる。													○				
			(9) 付属器疾患	学修目標	①	毛の疾患の病態、症状と治療を説明できる。													○				
					②	爪の疾患の病態、症状と治療を説明できる。													○				
	4 運動器（筋骨格）系			ねらい		運動器系の正常構造と機能を理解し、主な運動器疾患の病因、病態生理、症候、診断と治療を学ぶ。																	
		1) 構造と機能		学修目標	①	骨・軟骨・関節・靭帯の構成と機能を説明できる。																	
					②	頭頸部の構成を説明できる。																	
					③	脊柱の構成と機能を説明できる。																	
					④	四肢の骨格、主要筋群の運動と神経支配を説明できる。																	
					⑤	骨盤の構成と性差を説明できる。																	
					⑥	骨の成長と骨形成・吸収の機序を説明できる。																	
					⑦	姿勢と体幹の運動にかかわる筋群を概説できる。																	
					⑧	抗重力筋を説明できる。																	
		2) 診断と検査の基本		学修目標	①	筋骨格系の病態に即した徒手検査（四肢・脊柱の可動域検査、神経学的検査等）を説明できる。																	
					②	筋骨格系画像診断（エックス線撮影、コンピュータ断層撮影〈CT〉、核磁気共鳴画像法〈MRI〉、超音波検査、骨塩定量）の適応を概説できる。																	
		3) 症候		学修目標	①	運動麻痺・筋力低下																	
					②	関節痛・関節腫脹																	
					③	腰背部痛																	○
		4) 疾患	(1) 運動器系の一般的疾患	学修目標	①	四肢・脊椎外傷の診断と初期治療を説明できる。																	
					②	関節の脱臼、靭帯損傷の定義、重症度分類、診断と治療を説明できる。																	
					③	骨折の分類、症候、診断、治療と合併症を説明できる。																	
					④	コンパートメント症候群の病態、症候、診断と治療を説明できる。																	
					⑤	骨粗鬆症の病因と病態を説明し、骨折の好発部位を列挙できる。																	
					⑥	関節炎、腱鞘炎の病態、診断と治療を説明できる。																	
					⑦	変形性関節症の症候、診断と治療を説明できる。																	
					⑧	絞扼性末梢神経障害（手根管症候群、肘部管症候群等）を列挙し、その症候を説明できる。																	
					⑨	頸椎症性脊髄症（脊柱靭帯骨化症を含む）・頸椎症性神経根症の神経症候を説明できる。																	
					⑩	脊髄損傷の診断、治療を説明できる。																	
					⑪	腰椎椎間板ヘルニアの症候、診断と治療を説明できる。																	
					⑫	腰部脊柱管狭窄症の病態、症候、診断と治療を説明できる。																	
					⑬	腰椎分離・すべり症の症候、診断と治療を説明できる。																	
					⑭	運動器慢性疼痛（腰背部痛、頸部痛、肩こり）の病態、診断と治療を説明できる。																	○
					⑮	運動器疾患のリハビリテーションを概説できる。																	
			(2) 感染性疾患	学修目標	①	化膿性関節炎の症候、診断と治療を説明できる。																	
					②	椎間板炎、化膿性脊椎炎、脊椎カリエス症候、診断と治療を説明できる。																	
			(3) 腫瘍性疾患	学修目標	①	原発性骨腫瘍（骨肉腫、Ewing肉腫）の臨床所見、画像所見、病理所見、初期治療を説明できる。																○	
					②	転移性骨腫瘍の臨床所見、画像所見、検査所見を説明できる。																	
					③	悪性軟部腫瘍（脂肪肉腫）の診断、病理所見、治療を概説できる。																	
	5 循環器系			ねらい		循環器（心血管）系の構造と機能を理解し、各科日常診療の基本となる一般的な循環器疾患の予防、病因、病態生理、症候、診断と初期対応を中心とした治療を学ぶ。																	
		1) 構造と機能		学修目標	①	心臓の構造と分布する血管・神経、冠動脈の特長とその分布域を説明できる。																	
					②	心筋細胞の微細構造と機能を説明できる。																	
					③	心筋細胞の電気現象と心臓の興奮（刺激）伝導系を説明できる。																	
					④	興奮収縮連関を概説できる。																	
					⑤	体循環、肺循環と胎児・胎盤循環を説明できる。																	
					⑥	大動脈と主な分枝（頭頸部、上肢、胸部、腹部、下肢）を図示し、分布域を概説できる。																	
					⑦	主な静脈を図示し、門脈系と上・下大静脈系を説明できる。																	
					⑧	毛細血管における物質・水分交換を説明できる。																	
					⑨	胸管を経由するリンパの流れを概説できる。																	
					⑩	心周期にともなう血行動態を説明できる。																	
					⑪	心機能曲線と心拍出量の調節機序を説明できる。																	
					⑫	主な臓器（脳、心臓、肺、腎臓）の循環調節を概説できる。																	

コア・カリキュラム一覧（平成28年度改訂版）							医療プロフェッショナリズムの実践 A4	臨床実習入門 P4a	臨床実習入門 P4b	臨床実習入門 P4c	LPBL A4	地域医療の実践 P4	人間と社会 A4 (1)	人間と社会 A4 (2)	人間と社会 A4 (3)	麻酔・集中治療	眼・視覚	耳鼻・頭頸部	皮膚	精神・行動	周産期・生殖器	小児の成長・発達	全人的医療・行動科学
D 人体各器官の正常構造と機能、病態、診断、治療	5 循環器系	1) 構造と機能		学修目標	⑬	血圧調節の機序を説明できる。																	
					⑭	体位や運動に伴う循環反応とその機序を説明できる。																	
		2) 診断と検査の基本		学修目標	①	胸部エックス線撮影写真、心電図の主な所見を説明できる。																	
					②	心臓音波検査の主な所見を説明できる。																	
					③	運動負荷心電図、ホルター心電図を説明できる。																	
					④	心臓シンチグラフィーについて説明できる。																	
					⑤	冠動脈造影、冠動脈コンピュータ断層撮影<CT>及び心臓磁気共鳴画像法<MRI>の主な所見を説明できる。																	
					⑥	心カテーテル検査（心内圧、心機能、シャント率の測定）と結果の解釈を説明できる。																	
		3) 症候		学修目標	①	発熱																	
					②	全身倦怠感																	
					③	食思(欲)不振																	
					④	体重減少・体重増加																	
					⑤	ショック																	
					⑥	意識障害・失神																	
					⑦	けいれん																	
					⑧	めまい																	
					⑨	浮腫																	
					⑩	咳・痰																	
					⑪	呼吸困難																	
					⑫	胸痛																	○
					⑬	動悸																	
					⑭	胸水																	
					⑮	嚥下困難・障害																	
					⑯	腹痛																	○
					⑰	悪心・嘔吐																	
					⑱	頭痛																	○
					⑲	腰背部痛																	○
					⑳	心停止																	
		4)疾患	(1) 心不全	学修目標	①	心不全の定義と原因、病態生理（収縮不全、拡張不全）を説明できる。										○						○	○
					②	左心不全と右心不全の徴候、病態、診断と治療を説明できる。																○	
					③	急性心不全と慢性心不全の診断と薬物療法、非薬物療法（心臓リハビリテーションを含む）を説明できる。										○						○	
					④	心不全診療における多職種連携（チーム医療）による疾病管理プログラムを概説できる。																	
					⑤	高齢者における心不全の特徴を説明できる。																	
			(2) 虚血性心疾患	学修目標	①	安定労作性狭心症の病態、症候、診断、治療を説明できる。																	
					②	冠攣縮性狭心症の病態、症候、診断、治療を説明できる。																	
					③	急性冠症候群（不安定狭心症、非ST 上昇型心筋梗塞及びST 上昇型心筋梗塞）の病態、症候、診断、治療を説明できる。																	○
					④	虚血性心疾患の発症予防、再発予防を説明できる。																	○
					⑤	陳旧性心筋梗塞の病態、症候、診断、治療を説明できる。																	
					⑥	虚血性心疾患の薬物治療、非薬物療法（血行再建術（経皮的冠動脈形成術、ステント留置術、冠動脈バイパス術））、心臓リハビリテーションを説明できる。																	○
			(3) 不整脈	学修目標	①	主な徐脈性不整脈（洞不全症候群（sick sinus 症候群）、房室ブロック）の原因、症候、心電図の特徴、治療を説明できる。																	
					②	主な上室性頻脈性不整脈（洞性頻脈、上室性期外収縮、心房細動、心房粗動、発作性上室性頻拍症）の原因、症候、心電図の特徴、治療を説明できる。																	○
					③	主な心室性頻脈性不整脈（心室性期外収縮、心室頻拍、多源性心室頻拍（トルサード・ド・ポワント(torsadesde pointes)、心室細動）の原因、症候、心電図の特徴、治療を説明できる。																	
					④	不整脈の原因となる疾患や病態（電解質異常、QT 延長症候群、薬剤、甲状腺機能亢進症、Wolff-Parkinson-White<WPW>症候群、Brugada 症候群等）を説明できる。																	○
					⑤	不整脈の薬物療法、非薬物療法（カテーテルアブレーション、電気的除細動、ペースメーカー植え込み、植え込み型除細動器）を概説できる。																	○
					⑥	致死性不整脈の診断、初期対応、治療を説明できる。																	
			(4) 弁膜症	学修目標	①	主な弁膜症（僧帽弁疾患、大動脈弁疾患）の病因、病態生理、症候と診断を説明し、治療を説明できる。																	
			(5) 心筋・心膜疾患	学修目標	①	心肥大の病態生理、リモデリング機序を説明できる。																	
					②	特発性心筋症（肥大型心筋症、拡張型心筋症、拘束型心筋症）と二次性心筋疾患の定義・概念と病態生理を説明できる。																○	○
					③	急性心筋炎の病態、症候、診断、治療症候を説明できる。																	
					④	感染性心内膜炎の病態、症候、診断、治療を説明できる。																	
					⑤	急性心膜炎、収縮性心膜炎の病態、症候、診断、治療を説明できる。																	
					⑥	心タンポナーデの病態、症候、診断、治療を説明できる。																	
					⑦	主な心臓腫瘍（粘液腫など）の病態、症候、診断、治療を説明できる。																	
			(6) 先天性心疾患	学修目標	①	主な先天性心疾患（心房中隔欠損症、心室中隔欠損症、動脈管開存、Fallot 四徴症）の病態生理、症候と診断を説明し、治療を概説できる。																○	
			(7) 動脈疾患	学修目標	①	動脈硬化の危険因子、病態、非侵襲的検査法を説明できる。										○							
					②	急性大動脈解離の病態、症候、診断、治療を説明できる。																	
					③	大動脈瘤（破裂）の病態、症候、診断、治療を説明できる。																	
					④	閉塞性動脈硬化症とBuerger 病の病態、症候、診断、治療を説明できる。																	
					⑤	高安動脈炎(大動脈炎症候群)を概説できる。																	

コア・カリキュラム一覧
（平成28年度改訂版）

							リフズェ医ムッ療のシ実ョロ践ナ	臨床実習入門			LPBL	地域医療の実践	人間と社会			麻酔・集中治療	眼・視覚	耳鼻・頭頸部	皮膚	精神・行動	周産期・生殖器	小児の成長・発達	全人的医療・行動科学
							A4	P4a	P4b	P4c	A4	P4	A4										
													(1)	(2)	(3)								
D 人体各器官の正常構造と機能、病態、診断、治療	5 循環器系	4) 疾患	(8) 静脈・リンパ管疾患	学修目標	①	深部静脈血栓症(deep vein thrombosis <DVT>)、血栓性静脈炎の病因、症候、合併症、治療を説明できる。																	
					②	上大静脈症候群の病因と症候を説明できる。																	
					③	下肢静脈瘤を説明できる。													○				
					④	リンパ浮腫の病因を列挙できる。																	
			(9) 高血圧症	学修目標	①	本態性高血圧症の疫学、診断、合併症、予後、治療を説明できる。																	○
					②	二次性高血圧症の病因（内分泌性、腎血管性、薬剤性）、症候、診断、治療を説明できる。																	
					③	各種降圧薬の作用機序、適応、禁忌、副作用を説明できる。																	
					④	高血圧緊急症の病態と対応を説明できる。																	
					⑤	他疾患（脳血管疾患、心疾患、腎疾患、糖尿病）を合併する場合の血圧管理を説明できる。																
					⑥	高齢者の高血圧の特徴と治療の注意点を説明できる。																	
			(10) 低血圧症	学修目標	①	低血圧の原因疾患、病態生理、症候、診断、予後、治療を説明できる。																	○
					②	起立性低血圧、神経調節性失神の診断、予後、治療を説明できる。																	○
			(11) 腫瘍性疾患	学修目標	①	粘液腫の定義と病態、症候、検査所見、画像所見、病理所見、診断、治療法を説明できる。																	
	6 呼吸器系			ねらい		呼吸器系の構造と機能を理解し、主な呼吸器疾患の病因、病態生理、症候、診断と治療を学ぶ。																	
		1) 構造と機能		学修目標	①	気道の構造、肺葉・肺区域と肺門の構造を説明できる。										○							
					②	肺循環と体循環の違いを説明できる。										○							
					③	縦隔と胸膜腔の構造を説明できる。										○							
					④	呼吸筋と呼吸運動の機序を説明できる。										○							
					⑤	肺気量分画、換気、死腔（換気力学（胸腔内圧、肺コンプライアンス、抵抗、クロージングボリューム(closingvolume)））を説明できる。										○							○
					⑥	肺胞におけるガス交換と血流の関係を説明できる。										○							
					⑦	肺の換気と血流（換気血流比）が動脈血ガスにおよぼす影響（肺胞気−動脈血酸素分圧較差(alveolar−arterialoxygen difference <A−aDO2>)）を説明できる。																	
					⑧	呼吸中枢を介する呼吸調節の機序を説明できる。																	○
					⑨	血液による酸素 と二酸化炭素 の運搬の仕組みを説明できる。																	
					⑩	気道と肺の防御機構（免疫学的・非免疫学的）と代謝機能を説明できる。																	
		2) 診断と検査の基本		学修目標	①	単純エックス線撮影、コンピュータ断層撮影<CT>、磁気共鳴画像法<MRI>、及び核医学検査（ポジトロン断層法(positron emission tomography <PET>)検査を含む）等の画像検査の意義を説明できる。																	
					②	気管支内視鏡検査の意義を説明できる。																	
					③	喀痰検査（喀痰細胞診、喀痰培養）の意義を説明できる。																	
		3) 症候	(1) 嗄鳴	学修目標	①	嗄鳴の発生機序と原因疾患を説明できる。																	
			(2) その他の症候	学修目標	①	胸水																	
					②	胸痛・胸部圧迫感																	○
					③	呼吸困難・息切れ																	○
					④	咳・痰																	○
					⑤	血痰・喀血																	
		4) 疾患	(1) 呼吸不全、低酸素血症と高二酸化炭素血症	学修目標	①	呼吸不全の定義、分類、病態生理と主な病因を説明できる。																	
					②	低酸素血症と高二酸化炭素血症の病因、分類と診断を説明し、治療を概説できる。										○							
			(2) 呼吸器感染症	学修目標	①	急性上気道感染症（かぜ症候群）と扁桃炎の病因、診断と治療を説明できる。																○	
					②	気管支炎・細気管支炎・肺炎（定型肺炎、非定型肺炎）の主な病原体を列挙し、症候、診断と治療を説明できる。																○	
					③	肺結核症と肺真菌症の症候、診断、治療と喀出手続きを説明できる。																	
					④	非結核性(非定型)抗酸菌症を概説できる。																	
					⑤	誤嚥性肺炎の発生機序とその予防法を説明できる。																	
					⑥	クループ症候群と急性喉頭蓋炎の病因、診断と治療を説明できる。																○	
					⑦	肺化膿症と膿胸を概説できる。																	
			(3) 閉塞性換気障害・拘束性換気障害をきたす肺疾患	学修目標	①	慢性閉塞性肺疾患(chronic obstructive pulmonary disease <COPD>)の病因を列挙できる。																	
					②	慢性閉塞性肺疾患<COPD>の病因、診断、治療、呼吸器リハビリテーションを説明できる。																	
					③	気管支喘息（小児喘息を含む）の病態生理、診断と治療を説明できる。																○	○
					④	間質性肺炎（特発性、膠原病及び血管炎関連性）の病態、診断と治療を説明できる。																	
					⑤	びまん性汎細気管支炎を概説できる。																	
					⑥	放射線肺炎を概説できる。																	
					⑦	じん肺症(珪肺(silicosis)、石綿肺(asbestosis))を概説できる。							○										
			(4) 肺循環障害	学修目標	①	肺性心の病因、診断と治療を説明できる。																	
					②	急性呼吸促(窮)迫症候群(acute respiratory distress syndrome <ARDS>)の病因、症候と治療を説明できる。																	
					③	肺血栓塞栓症の病因、診断と治療を説明できる。																	
					④	肺高血圧症を概説できる。																	
			(5) 免疫学的機序による肺疾患	学修目標	①	過敏性肺炎の病因、症候と診断を説明できる。																	
					②	サルコイドーシスの症候、診断と治療を説明できる。													○				
					③	好酸球性肺炎を概説できる。																	
					④	薬剤性肺炎を概説できる。																	
			(6) 異常呼吸	学修目標	①	過換気症候群を概説できる。																	○
					②	睡眠時無呼吸症候群を概説できる。												○					

コア・カリキュラム一覧（平成28年度改訂版）						リフズェ医ムツ療のシブ実ョロ践ナ	臨床実習入門			LPBL	地域医療の実践	人間と社会			麻酔・集中治療	眼・視覚	耳鼻・頭頸部	皮膚	精神・行動	周産期・生殖器	小児の成長・発達	全人的医療・行動科学
												A4										
						A4	P4a	P4b	P4c	A4	P4	(1)	(2)	(3)								
D 人体各器官の正常構造と機能、病態、診断、治療	6 呼吸器系	4)疾患	(6) 異常呼吸	学修目標	③ 肺胞低換気症候群を概説できる。																	
					① 気管支拡張症の症候、診断と治療を説明できる。																	
					② 無気肺の病因と診断を説明できる。																	
			(7) 気管支拡張症とその他の肺疾患	学修目標	③ 新生児呼吸促迫症候群の症候、病態、診断と治療を説明できる。																○	
					④ 肺リンパ脈管筋腫症を概説できる。																	
					⑤ 肺胞タンパク症を概説できる。																	
			(8) 胸膜・縦隔疾患	学修目標	① 胸膜炎の病因、症候、診断と治療を説明できる。																	
					② 気胸（自然気胸、緊張性気胸、外傷性気胸）の病因、症候、診断と治療を説明できる。																	
					③ 縦隔気腫の病因、症候と診断を説明できる。																	
					④ 胸膜生検の適応を説明できる。																	
			(9) 腫瘍性疾患	学修目標	① 肺癌の組織型、病期分類、病理所見、診断、治療を説明できる。																	
					② 転移性肺腫瘍の診断と治療を説明できる。																	
					③ 縦隔腫瘍の種類を列挙し、診断と治療を説明できる。																	
					④ 胸膜中皮腫の病因、診断、治療を概説できる。																	
	7 消化器系			ねらい	消化器系の正常構造と機能を理解し、主な消化器系疾患の病因、病態生理、症候、診断と治療を学ぶ。																	
		1) 構造と機能		学修目標	① 各消化器官の位置、形態と関係する血管を図示できる。										○							
					② 腹膜と臓器の関係を説明できる。																	
					③ 食道・胃・小腸・大腸の基本構造と部位による違いを説明できる。										○							○
					④ 消化管運動の仕組みを説明できる。																	○
					⑤ 消化器官に対する自律神経の作用を説明できる。																	○
					⑥ 肝の構造と機能を説明できる。										○							
					⑦ 胃液の作用と分泌機序を説明できる。																	
					⑧ 胆汁の作用と胆嚢収縮の調節機序を説明できる。																	
					⑨ 膵外分泌系の構造と膵液の作用を説明できる。																	
					⑩ 小腸における消化・吸収の仕組みを説明できる。																	
					⑪ 大腸における糞便形成と排便の仕組みを説明できる。																	
					⑫ 主な消化管ホルモンの作用を説明できる。																	
					⑬ 歯、舌、唾液腺の構造と機能を説明できる。																	
					⑭ 咀しゃくと嚥下の機構を説明できる。																	
					⑮ 消化管の正常細菌叢（腸内細菌叢）の役割を説明できる。																	
		2) 診断と検査の基本		学修目標	① 代表的な肝炎ウイルス検査の検査項目を列挙し、その意義を説明できる。																	
					② 消化器関連の代表的な腫瘍マーカー（α-fetoprotein <AFP>、carcinoembryonic antigen <CEA>、carbohydrateantigen <CA> 19-9、protein induced by vitamin K absence or antagonists -PIVKA-Ⅱ）の意義を説明できる。																	
					③ 消化器系疾患の画像検査を列挙し、その適応と異常所見を説明し、結果を解釈できる。																	○
					④ 消化器内視鏡検査から得られる情報を説明できる。																	
					⑤ 生検と細胞診の意義と適応を説明できる。																	
		3) 症候	(1) 肝腫大	学修目標	① 肝腫大をきたす疾患を列挙し、その病態生理を説明できる。																	
					② 肝腫大のある患者における医療面接、診察と診断の要点を説明できる。																	
			(2) その他の症候	学修目標	① 黄疸																	
					② 腹痛																	○
					③ 悪心・嘔吐																	○
					④ 食思〈欲〉不振																	○
					⑤ 便秘・下痢・血便																	○
					⑥ 吐血・下血																	
					⑦ 腹部膨隆（腹水を含む）・膨満・腫瘤																	
		4) 疾患	(1) 食道疾患	学修目標	① 食道・胃静脈瘤の病態生理、内視鏡分類と治療を説明できる。																	
					② 胃食道逆流症(gastroesophageal reflux disease <GERD>)と逆流性食道炎の病態生理、症候と診断を説明できる。																	○
					③ Mallory-Weiss 症候群を概説できる。																	
			(2) 胃・十二指腸疾患	学修目標	① 胃潰瘍、十二指腸潰瘍(消化性潰瘍)の病因、症候、進行度分類、診断と治療を説明できる。																	
					② Helicobacter pylori 感染症の診断と治療を説明できる。																	
					③ 胃ポリープの病理と肉眼分類を説明できる。																	
					④ 急性胃粘膜病変の概念、診断と治療を説明できる。																	
					⑤ 急性胃腸炎、慢性胃炎を概説できる。																	
					⑥ 胃切除後症候群の病態生理を説明できる。																	
					⑦ 機能性消化管障害（機能性ディスペプシア(functional dyspepsia<FD>)）を説明できる。																	○
					⑧ 肥厚性幽門狭窄症を概説できる。																○	
			(3) 小腸・大腸疾患	学修目標	① 急性虫垂炎の症候、診断と治療を説明できる。																○	
					② 腸閉塞とイレウスの病因、症候、診断と治療を説明できる。																○	
					③ 炎症性腸疾患（潰瘍性大腸炎・Crohn 病）の病態生理、症候、診断と治療を説明できる。																○	
					④ 痔核と痔瘻の病態生理、症候と診断を説明できる。																	

コア・カリキュラム一覧（平成28年度改訂版）							医療プロフェッショナリズムの実践	臨床実習入門			LPBL	地域医療の実践	人間と社会			麻酔・集中治療	眼・視覚	耳鼻・頭頸部	皮膚	精神・行動	周産期・生殖器	小児の成長・発達	全人的医療・行動科学
							A4	P4a	P4b	P4c	A4	P4	A4 (1)	A4 (2)	A4 (3)								
D 人体各器官の正常構造と機能、病態、診断、治療	7 消化器系	4) 疾患	(3) 小腸・大腸疾患	学修目標	⑤	機能性消化管障害（過敏性腸症候群）を概説できる。																	○
					⑥	腸管憩室症（大腸憩室炎と大腸憩室出血）を概説できる。																	
					⑦	薬物性腸炎を概説できる。																	
					⑧	消化管ポリポーシスを概説できる。																	
					⑨	大腸の主な先天性疾患(鎖肛、Hirschsprung 病)を概説できる。																○	
					⑩	腸重積症を概説できる。																○	
					⑪	便秘症、乳児下痢症を説明できる。																	
					⑫	感染性腸炎を概説できる。																	
					⑬	虚血性大腸炎を概説できる。																	
					⑭	急性出血性直腸潰瘍を概説できる。																	
					⑮	上腸間膜動脈閉塞症を概説できる。																	
					⑯	消化管神経内分泌腫瘍(neuroendocrine tumor <NET>)を概説できる。																	
					⑰	消化管間質腫瘍(gastrointestinal stromal tumor <GIST>)を概説できる。																	
			(4) 胆道疾患	学修目標	①	胆石症の病因、症候、診断と治療を説明できる。																	
					②	胆嚢炎と胆管炎の病因、病態生理、症候、診断、合併症と治療を説明できる。																	
					③	胆嚢ポリープを概説できる。																	
					④	先天性胆道拡張症と膵・胆管合流異常症を概説できる。																○	
			(5) 肝疾患	学修目標	①	A 型・B 型・C 型・D 型・E 型肝炎の疫学、症候、診断、治療、経過と予後を説明できる。																	
					②	急性肝炎、慢性肝炎の定義を説明できる。																	
					③	急性肝不全の概念、診断を説明できる。																	
					④	肝硬変の病因、病理、症候、診断と治療を説明できる。																	
					⑤	肝硬変の合併症（門脈圧亢進症、肝性脳症、肝癌）を概説できる。																	
					⑥	アルコール性肝障害を概説できる。																	
					⑦	薬物性肝障害を概説できる。																	
					⑧	肝膿瘍の症候、診断と治療を説明できる。																○	
					⑨	原発性胆汁性胆管炎（原発性胆汁性肝硬変）と原発性硬化性胆管炎の症候、診断、治療、経過と予後を説明できる。																	
					⑩	自己免疫性肝炎を概説できる。																	
					⑪	脂肪性肝疾患を概説できる。																	
			(6) 膵臓疾患	学修目標	①	急性膵炎（アルコール性、胆石性、特発性）の病態生理、症候、診断と治療を説明できる。																	
					②	慢性膵炎（アルコール性、特発性）の病態生理、症候、診断、合併症と治療を説明できる。																	
					③	自己免疫性膵炎を概説できる。																	
			(7) 腹膜・腹壁・横隔膜疾患	学修目標	①	腹膜炎の病因、症候、診断と治療を説明できる。																	
					②	ヘルニアの概念、病態（滑脱、嵌頓、絞扼）と好発部位を説明できる。																	
					③	鼠径部ヘルニアの病因、病態、診断と治療を説明できる。																	
			(8) 腫瘍性疾患	学修目標	①	食道癌の病理所見、肉眼分類と進行度分類を説明できる。																	
					②	食道癌の症候、診断、治療と予後を説明できる。																	
					③	胃癌の疫学、病理所見、症候、肉眼分類と進行度分類を説明できる。																	
					④	胃癌の診断法を列挙し、所見とその意義を説明できる。																	
					⑤	胃癌の進行度に応じた治療を概説できる。																	
					⑥	大腸癌の病理所見、診断、肉眼分類と進行度分類を説明できる。																	
					⑦	大腸癌の症候、診断、治療を説明できる。																	
					⑧	胆嚢・胆管癌・乳頭部癌の病理所見、症候、診断と治療を説明できる。																	
					⑨	原発性肝癌、転移性肝癌の病因、病理所見、症候、診断と治療を説明できる。																	
					⑩	膵癌の病理所見、症候、診断と治療を説明できる。																	
					⑪	嚢胞性膵腫瘍の分類と病理所見を説明できる。																	
					⑫	腹膜中皮腫、消化管間質腫瘍<GIST>、消化管カルチノイドを概説できる。																	
	8 腎・尿路系（体液・電解質バランスを含む）			ねらい		腎・尿路系の構造と機能を理解し、主な腎・尿路系疾患の病因、病態生理、症候、診断と治療を学ぶ。																	
		1) 構造と機能		学修目標	①	体液の量と組成・浸透圧を小児と成人を区別して説明できる。																○	
					②	腎・尿路系の位置・形態と血管分布・神経支配を説明できる。																	
					③	腎の機能の全体像やネフロン各部の構造と機能を概説できる。																○	
					④	腎糸球体における濾過の機序を説明できる。																○	
					⑤	尿細管各部における再吸収・分泌機構と尿の濃縮機序を説明できる。																○	
					⑥	水電解質、酸・塩基平衡の調節機構を概説できる。																○	
					⑦	腎で産生される又は腎に作用するホルモン・血管作動性物質（エリスロポエチン、ビタミンD、レニン、アンギオテンシンII、アルドステロン）の作用を説明できる。																○	
					⑧	蓄排尿の機序を説明できる。																○	
		2) 診断と検査の基本		学修目標	①	腎・尿路系の画像診断の適応と異常所見を概説できる。																	
					②	糸球体濾過量（実測、推算）を含む腎機能検査法を概説できる。																	
					③	腎生検の適応と禁忌を説明できる。																	
					④	尿流動態検査を説明できる。																	

コア・カリキュラム一覧（平成28年度改訂版）							リフズェ医ムツ療のシブ実ョロ跳ナ	臨床実習入門			LPBL	地域医療の実跳	人間と社会			麻酔・集中治療	眼・視覚	耳鼻・頭頸部	皮膚	精神・行動	周産期・生殖器	小児の成長・発達	全人的医療・行動科学
							A4	P4a	P4b	P4c	A4	P4	A4										
													(1)	(2)	(3)								
D 人体各器官の正常構造と機能、病態、診断、治療	8 腎・尿路系（体液・電解質バランスを含む）	3) 症候	(1) 電解質異常	学修目標	①	高・低Na 血症（原因疾患、症候、治療）を概説できる。										○						○	
					②	高・低K 血症（原因疾患、症候、治療）を概説できる。										○						○	
					③	高・低Ca 血症（原因疾患、症候、治療）を概説できる。										○						○	
					④	高・低P 血症、高・低Cl 血症、高・低Mg 血症を概説できる。																○	
			(2) アシドーシス・アルカローシス	学修目標	①	アシドーシス・アルカローシス（代謝性・呼吸性）の定義、病態生理と診断を説明できる。																○	
					②	アシドーシス・アルカローシス（代謝性・呼吸性）の治療を概説できる。																○	
			(3) その他の症候	学修目標	①	脱水																	
					②	浮腫																	
					③	血尿・タンパク尿																	
					④	尿量・排尿の異常																	
		4) 疾患	(1) 腎不全	学修目標	①	急性腎不全（急性腎障害）の病因、症候、診断と治療を説明できる。																	
					②	慢性腎不全（慢性腎臓病(chronic kidney disease <CKD>)）の病因、症候、診断と治療を説明できる。																	
					③	慢性腎臓病<CKD>重症度分類を説明できる。																	
					④	慢性腎不全の合併症である腎性貧血、ミネラル骨代謝異常を概説できる。																	
					⑤	透析導入基準（慢性腎不全）を説明できる。																	
					⑥	腎不全の治療（血液透析・腹膜透析・腎移植）を説明できる。																	
			(2) 原発性糸球体疾患	学修目標	①	急性糸球体腎炎症候群の病因、症候、診断と治療を説明できる。																	
					②	慢性糸球体腎炎症候群（IgA 腎症を含む）の症候、診断と治療を説明できる。																	
					③	ネフローゼ症候群の分類、症候、診断と治療を説明できる。																	
					④	急速進行性糸球体腎炎を概説できる。																	
					⑤	臨床症候分類（急性腎炎症候群、慢性腎炎症候群、ネフローゼ症候群、急速進行性腎炎症候群、反復性または持続性血尿症候群）を概説できる。															○	
			(3) 高血圧および腎血管障害	学修目標	①	高血圧による腎障害（腎硬化症）を概説できる。																	
					②	腎血管性高血圧症を概説できる。																○	
			(4) 尿細管機能異常	学修目標	①	尿細管性アシドーシスの分類、病態生理、診断と治療を説明できる。																○	
					②	Fanconi 症候群（腎性糖尿を含む）の概念、症候と診断を説明できる。																○	
			(5) 尿細管・間質性疾患	学修目標	①	急性・慢性腎盂腎炎の病因、症候、診断と治療を説明できる。																○	
					②	急性・慢性尿細管間質性腎炎の病因、症候、診断と治療を説明できる。																○	
			(6) 全身性疾患による腎障害	学修目標	①	糖尿病腎症の症候、診断と治療を説明できる。																	
					②	ループス腎炎の症候、診断と治療を説明できる。																	
					③	アミロイド腎症の症候、診断と治療を説明できる。																	
					④	膠原病類縁疾患(血管炎症候群、抗糸球体基底膜(glomerular basement membrane <GBM>)病(Goodpasture 症候群))の腎病変を説明できる。																	
					⑤	IgA 血管炎（紫斑病性腎炎）を概説できる。																○	
			(7) 先天異常と外傷	学修目標	①	腎尿路の主な先天異常（多発性嚢胞腎、膀胱尿管逆流）を概説できる。																○	
					②	腎外傷の症候、診断と治療を説明できる。																	
			(8) 尿路疾患	学修目標	①	尿路結石の病因、症候、診断と治療を説明できる。																	
					②	尿路の炎症（膀胱炎・前立腺炎・尿道炎）の病因、診断と治療を説明できる。																	
					③	神経因性膀胱を概説できる。																	
			(9) 腫瘍性疾患	学修目標	①	腎癌の症候、病理所見、診断、治療を説明できる。																	
					②	膀胱癌を含む尿路上皮癌の症候、診断、治療を説明できる。																	
	9 生殖機能			ねらい		生殖系の構造と機能を理解し、生殖器に問題を有する患者の診断と治療に関する知識を学ぶ。																	
		1) 構造と機能		学修目標	①	生殖腺の発生と性分化の過程を説明できる。														○	○	
					②	男性生殖器の発育の過程を説明できる。														○	○	
					③	男性生殖器の形態と機能を説明できる。														○		
					④	精巣の組織構造と精子形成の過程を説明できる。														○		
					⑤	陰茎の組織構造と勃起・射精の機序を説明できる。														○		
					⑥	女性生殖器の発育の過程を説明できる。														○	○	
					⑦	女性生殖器の形態と機能を説明できる。														○		
					⑧	性周期発現と排卵の機序を説明できる。														○		
					⑨	閉経の過程と疾病リスクの変化を説明できる。														○		
		2) 診断と検査の基本	(1) 男性生殖器	学修目標	①	精巣と前立腺の検査法（尿路造影、超音波検査、コンピュータ断層撮影<CT>、磁気共鳴画像法<MRI>）の適応と異常所見を説明し、結果を解釈できる。														○		
			(2) 女性生殖器	学修目標	①	血中ホルモン（卵胞刺激ホルモン(follicle-stimulating hormone <FSH>)、黄体形成ホルモン(luteinizinghormone <LH>)、プロラクチン、ヒト絨毛性ゴナドトロピン(human chorionic gonadotropin <hCG>)、エストロゲン、プロゲステロン）測定値を評価できる。														○		
					②	骨盤内臓器と腫瘍の画像診断（超音波検査、コンピュータ断層撮影<CT>、磁気共鳴画像法<MRI>、子宮卵管造影(hysterosalpingography <HSG>)所見を概説できる。														○		
					③	基礎体温の所見を説明できる。														○		
					④	腟分泌物の所見を説明できる。														○		
		3) 症候	(1) 男性生殖器の主要症候	学修目標	①	勃起不全と射精障害を概説できる。														○		
					②	精巣機能障害を概説できる。														○		
			(2) 男性生殖器のその他の症候	学修目標	①	腹痛														○		
					②	腹部膨隆（腹水を含む）・腫満・腫瘤														○		
					③	血尿・タンパク尿														○		

コア・カリキュラム一覧（平成28年度改訂版）							医療プロフェッショナリズムの実践	臨床実習入門			LPBL	地域医療の実践	人間と社会			麻酔・集中治療	眼・視覚	耳鼻・頭頸部	皮膚	精神・行動	周産期・生殖器	小児の成長・発達	全人的医療・行動科学
							A4	P4a	P4b	P4c	A4	P4	A4 (1)	A4 (2)	A4 (3)								
D 人体各器官の正常構造と機能、病態、診断、治療	9 生殖機能	3) 症候	(2) 男性生殖器のその他の症候	学修目標	④	尿量・排尿の異常															○		
			(3) 女性生殖器の主要症候	学修目標	①	不正性器出血、膣分泌物（帯下）の増量、膣乾燥感、性交痛、乳汁漏出症をきたす疾患を列挙し、その病態を説明できる。															○		
			(4) 女性生殖器のその他の症候	学修目標	①	貧血															○		
					②	腹痛															○		
					③	腹部膨隆（腹水を含む）・膨満・腫瘤															○		
					④	尿量・排尿の異常															○		
					⑤	月経異常・無月経															○		
		4) 疾患	(1) 男性生殖器疾患	学修目標	①	男性不妊症を概説できる。															○		
					②	前立腺肥大症の診断と治療を説明できる。															○		
					③	停留精巣、陰嚢内腫瘤を概説できる。															○	○	
			(2) 女性生殖器疾患	学修目標	①	内外生殖器の先天異常を説明できる。															○		
					②	卵巣機能障害、更年期障害を概説できる。															○		
					③	不妊症の系統診断と治療を説明できる。															○		
					④	子宮筋腫・子宮腺筋症の症候、診断と治療を概説できる。															○		
					⑤	子宮内膜症の症候、診断と治療を説明できる。															○		
					⑥	外陰、膣と骨盤内感染症の症候、診断と治療を説明できる。															○		
			(3) 腫瘍性疾患	学修目標	①	前立腺癌の症候、病理所見、診断、治療を説明できる。															○		
					②	精巣腫瘍の症候、診断、治療を説明できる。															○		
					③	子宮頸癌・子宮体癌（子宮内膜癌）の予防、症候、病理所見、診断、治療を説明できる。															○		
					④	卵巣腫瘍（卵巣癌、卵巣嚢腫）の症候、病理所見、診断、治療を説明できる。															○		
					⑤	絨毛性疾患（胞状奇胎、絨毛癌）の症候、診断、治療を説明できる。															○	○	
	10 妊娠と分娩			ねらい		妊娠、分娩と産褥期の管理に必要な基礎知識とともに、母子保健、生殖医療のあり方を学ぶ。																	
		1) 診断と検査の基本		学修目標	①	妊娠の診断法を説明できる。															○		
					②	妊娠に伴う身体的変化を概説できる。															○		
					③	胎児・胎盤検査法（超音波検査、分娩監視装置による）の意義を説明できる。															○		
					④	羊水検査法の意義と異常所見を説明できる															○		
		2) 症候		学修目標	①	腹痛															○		
					②	悪心・嘔吐															○		
					③	腹部膨隆（腹水を含む）・膨満・腫瘤															○		
		3)正常妊娠・分娩・産褥		学修目標	①	妊娠・分娩・産褥での母体の解剖学的と生理学的変化を説明できる。															○		
					②	胎児・胎盤系の発達過程での機能・形態的変化を説明できる。															○		
					③	正常妊娠の経過を説明できる。															○		
					④	正常分娩の経過を説明できる。															○		
					⑤	産褥の過程を説明できる。															○		
					⑥	育児に伴う母体の構造的・生理的な変化、身体精神問題について説明できる。															○		
					⑦	母子保健の意義を医学的に説明できる。							○								○	○	
					⑧	妊娠時の薬物療法の注意点を説明できる。															○		
		4) 疾患		学修目標	①	主な異常妊娠（流産、切迫流産、子宮外妊娠（異所性妊娠）、妊娠高血圧症候群、多胎妊娠、胎児発育不全）の病態を説明できる。															○		
					②	主な異常分娩（早産、微弱陣痛、遷延分娩、回旋異常、前置胎盤、癒着胎盤、常位胎盤早期剥離、弛緩出血、分娩外傷）の病態を説明できる。															○		
					③	主な異常産褥（子宮復古不全、産褥熱、乳腺炎）の病態を説明できる。															○		
					④	産科救急（産科出血、播種性血管内凝固<DIC>）の病態と治療を説明できる。										○					○		
					⑤	主な合併症妊娠（耐糖能異常、甲状腺疾患、血液型不適合妊娠、toxoplasmosis, other agents, rubella, cytomegalovirus, herpes simplex <TORCH>症候群）の病態を説明できる。															○		
		5) 産科手術		学修目標	①	人工妊娠中絶の適応を説明できる。															○		
					②	帝王切開術の適応を説明できる。															○		
	11 乳房			ねらい		乳房の構造と内分泌依存性の機能を理解し、主な乳房疾患の症候、診断と治療を学ぶ。																	
		1) 構造と機能		学修目標	①	乳房の構造と機能を説明できる。																	
					②	成長発達に伴う乳房の変化を説明できる。																○	
					③	乳汁分泌に関するホルモンの作用を説明できる。																	
		2) 診断と検査の基本		学修目標	①	乳房腫瘤の画像診断（乳房撮影、超音波検査、核磁気共鳴画像法<MRI>）を概説できる。																	
					②	乳房腫瘤に対する細胞・組織診断法を概説できる。																	
		3) 症候		学修目標	①	乳房腫瘤、異常乳汁分泌（血性乳頭分泌）と乳房の腫脹・疼痛・変形をきたす主な病因を列挙できる。																	
		4) 疾患	(1) 良性乳腺疾患	学修目標	①	良性乳腺疾患の種類を列挙できる。																	
					②	女性化乳房を概説できる。																	
			(2) 腫瘍性疾患	学修目標	①	乳癌の危険因子、症候、病理所見、診断、治療と予後を説明できる。																	
	12 内分泌・栄養・代謝系			ねらい		内分泌・代謝系の構成と機能を理解し、主な内分泌・代謝疾患の病因、病態生理、症候、診断と治療を学ぶ。																	
		1) 構造と機能		学修目標	①	ホルモンを構造から分類し作用機序と分泌調節機能を説明できる。										○							
					②	各内分泌器官の位置を図示し、そこから分泌されるホルモンを列挙できる。										○							
					③	視床下部ホルモン・下垂体ホルモンの名称、作用と相互関係を説明できる。										○							
					④	甲状腺と副甲状腺（上皮小体）から分泌されるホルモンの作用と分泌調節機構を説明できる。										○							

コア・カリキュラム一覧（平成28年度改訂版）							医療プロフェッショナリズムの実践	臨床実習入門			LPBL	地域医療の実践	人間と社会			麻酔・集中治療	眼・視覚	耳鼻・頭頸部	皮膚	精神・行動	周産期・生殖器	小児の成長・発達	全人的医療・行動科学
							A4	P4a	P4b	P4c	A4	P4	A4										
													(1)	(2)	(3)								
D 人体各器官の正常構造と機能、病態、診断、治療	12 内分泌・栄養・代謝系	1) 構造と機能		学修目標	⑤	副腎の構造と分泌されるホルモンの作用と分泌調節機構を説明できる。										○							
					⑥	膵島から分泌されるホルモンの作用を説明できる。																	
					⑦	男性ホルモン・女性ホルモンの合成・代謝経路と作用を説明できる。																	
					⑧	三大栄養素、ビタミン、微量元素の消化吸収と栄養素の生物学的利用効率(bioavailability)を説明できる。																	
					⑨	糖質・タンパク質・脂質の代謝経路と相互作用を説明できる。																	
		2) 診断と検査の基本		学修目標	①	ホルモンの過剰または欠乏がもたらす身体症状を説明できる。										○							
					②	血中ホルモン濃度に影響を与える因子を列挙できる。										○							
					③	ホルモンの日内変動の例を挙げて説明できる。																	
					④	ホルモン分泌刺激試験と抑制試験の原理と反応の型を説明できる。																	
					⑤	エネルギー摂取の過剰または欠乏がもたらす身体症状を説明できる。																	
		3) 症候	(1) 低身長	学修目標	①	低身長をきたす疾患を列挙し、その病態生理を説明できる。																○	
			(2) 甲状腺腫	学修目標	①	甲状腺腫を分類し、疾患を列挙できる。												○					
					②	甲状腺の触診ができる。																	
			(3) その他の症候	学修目標	①	肥満・やせ																	○
					②	月経異常																	
		4) 疾患	(1) 視床下部・下垂体疾患	学修目標	①	Cushing 病の病態と診断を説明できる。										○							
					②	先端巨大症を概説できる。										○							
					③	汎下垂体機能低下症を概説できる。																	
					④	尿崩症を概説できる。																○	
					⑤	成長ホルモン分泌不全性低身長症を概説できる。																○	
					⑥	高プロラクチン血症を概説できる。																	
					⑦	抗利尿ホルモン不適合分泌症候群(syndrome of inappropriate secretion of antidiuretic hormone <SIADH>)を概説できる。																○	
			(2) 甲状腺疾患	学修目標	①	Basedow 病の病態、症候、診断と治療を説明できる。										○						○	
					②	甲状腺炎（慢性・亜急性）を概説できる。												○					
					③	甲状腺機能低下症の症候、診断と治療を説明できる。												○					
			(3) 副甲状腺疾患とカルシウム代謝異常	学修目標	①	カルシウム代謝の異常を疾患と関連づけて説明できる。																	
					②	副甲状腺機能亢進症と副甲状腺機能低下症の病因、病態、症候と診断を説明できる。												○					
					③	悪性腫瘍に伴う高Ca 血症を概説できる。																	
					④	偽性副甲状腺機能低下症を概説できる。																	
			(4) 副腎皮質・髄質疾患	学修目標	①	Cushing 症候群の病態、症候と診断を説明できる。										○						○	
					②	アルドステロン過剰症、原発性アルドステロン症を概説できる。										○							
					③	副腎不全（急性・慢性(Addison 病)）の病因、病態生理、症候、診断と治療を説明できる。										○							
					④	先天性副腎（皮質）過形成を概説できる。																○	
			(5) 糖代謝異常	学修目標	①	糖尿病の病因、病態生理、分類、症候と診断を説明できる。										○						○	○
					②	糖尿病の急性合併症を説明できる。										○						○	
					③	糖尿病の慢性合併症を列挙し、概説できる。										○						○	
					④	糖尿病の治療（食事療法、運動療法、薬物治療）を概説できる。																	○
					⑤	低血糖症を概説できる。																	
			(6) 脂質代謝異常	学修目標	①	脂質異常症(高脂血症)の分類、病因と病態を説明できる。																	
					②	脂質異常症(高脂血症)の予防と治療を説明できる。																	
			(7) タンパク質及び核酸代謝異常	学修目標	①	血清タンパク質の異常を概説できる。																	
					②	高尿酸血症・痛風の病因と病態を説明できる。																	
			(8) ビタミン・微量元素の欠乏と過剰	学修目標	①	ビタミン・微量元素の欠乏症と過剰症を概説できる。																	
			(9) 先天性代謝異常	学修目標	①	ヘモクロマトーシスを概説できる。													○			○	
					②	ポルフィリアを概説できる。													○			○	
					③	Wilson 病を概説できる。																○	
			(10) 腫瘍性疾患	学修目標	①	甲状腺腫瘍を分類し、症候、病理所見、治療法を説明できる。												○					
					②	褐色細胞腫の病態、症候、画像所見、病理所見、診断、治療法を説明できる。										○							
					③	神経芽腫を概説し、小児腹部固形腫瘍（腎芽腫、胚芽腫、奇形腫）との鑑別点を説明できる。																○	
	13 眼・視覚系			ねらい		眼・視覚系疾患の構造と機能を理解し、眼・視覚系疾患の症候、病態、診断と治療を理解する。																	
		1) 構造と機能		学修目標	①	眼球と付属器の構造と機能を説明できる。											○						
					②	視覚情報の受容のしくみと伝導路を説明できる。											○						
					③	眼球運動のしくみを説明できる。											○						
					④	対光反射、輻輳反射、角膜反射の機能について説明できる。											○						
		2) 診断と検査の基本		学修目標	①	基本的眼科検査（視力検査、視野検査、細隙灯顕微鏡検査、眼圧検査、眼底検査）を列挙し、それらの原理と適応を述べ、主要所見を解釈できる。											○						
		3) 症候	(1) 眼・視覚系に関する主要症候	学修目標	①	眼・視覚系に関する主要症候（視力障害、視野異常、色覚異常、眼球運動障害、眼脂・眼の充血、飛蚊症、眼痛）を列挙し、それらの発生機序、原因疾患と治療を説明できる。											○						
			(2) その他の症候	学修目標	①	めまい																	
					②	頭痛・頭重感																	○
					③	悪心・嘔吐																	

コア・カリキュラム一覧（平成28年度改訂版）							リフズェ医ムツ療のシ実ョロ践ナ	臨床実習入門			LPBL	地域医療の実践	人間と社会			麻酔・集中治療	眼・視覚	耳鼻・頭頸部	皮膚	精神・行動	周産期・生殖器	小児の成長・発達	全人的医療・行動科学
							A4	P4a	P4b	P4c	A4	P4	A4										
													(1)	(2)	(3)								
D 人体各器官の正常構造と機能、病態、診断、治療	13 眼・視覚系	4) 疾患	(1) 眼・視覚系の良性疾患	学修目標	①	屈折異常（近視、遠視、乱視）と調節障害の病態生理を説明できる。											○						
					②	感染性角結膜疾患の症候、診断と治療を説明できる。											○						
					③	白内障の病因、症候、診断と治療を説明できる。											○						
					④	緑内障の病因を列挙し、それらの発症機序、症候と治療を説明できる。											○						
					⑤	裂孔原性網膜剥離の症候、診断と治療を説明できる。											○						
					⑥	糖尿病、高血圧・動脈硬化による眼底変化を説明できる。											○						
					⑦	ぶどう膜炎の病因、症候、診断と治療を説明できる。											○						
					⑧	視神経炎（症）・うっ血乳頭の病因、症候と診断を説明できる。											○						
					⑨	アルカリ、酸による化学損傷の症候と救急処置を説明できる。											○						
					⑩	網膜静脈閉塞症と動脈閉塞症の症候、診断と治療を説明できる。											○						
			(2) 腫瘍性疾患	学修目標	①	網膜芽細胞腫の症候、診断と治療を説明できる。											○					○	
	14 耳鼻・咽喉・口腔系			ねらい		耳鼻・咽喉・口腔の構造と機能を理解し、耳鼻・咽喉・口腔系疾患の症候、病態、診断と治療を理解する。																	
		1) 構造と機能		学修目標	①	外耳・中耳・内耳の構造を図示できる。												○					
					②	聴覚・平衡覚の受容のしくみと伝導路を説明できる。												○					
					③	口腔・鼻腔・咽頭・喉頭の構造を図示できる。												○					
					④	喉頭の機能と神経支配を説明できる。												○					
					⑤	平衡感覚機構を眼球運動、姿勢制御と関連させて説明できる。												○					
					⑥	味覚と嗅覚の受容のしくみと伝導路を説明できる。												○					
		2) 診断と検査の基本		学修目標	①	聴力検査と平衡機能検査を説明できる。												○					
					②	味覚検査と嗅覚検査を説明できる。												○					
		3) 症候	(1) 耳鼻・咽喉・口腔系に関する主要症候	学修目標	①	気道狭窄、難聴、鼻出血、咽頭痛、開口障害と反回神経麻痺（嗄声）をきたす疾患を列挙し、その病態を説明できる。												○					
			(2) その他の症候	学修目標	①	めまい												○					
					②	嚥下障害・誤嚥												○					
		4) 疾患	(1) 耳鼻・咽喉・口腔系の良性疾患	学修目標	①	滲出性中耳炎、急性中耳炎と慢性中耳炎の病因、診断と治療を説明できる。												○					
					②	伝音難聴と感音難聴、迷路性と中枢性難聴を病態から鑑別し、治療を説明できる。												○					
					③	末梢性めまいと中枢性めまいを鑑別し、治療を説明できる。												○					
					④	良性発作性頭位眩暈症の症候、診断と治療を説明できる。												○					
					⑤	鼻出血の好発部位と止血法を説明できる。												○					
					⑥	副鼻腔炎（急性、慢性）の病態と治療を説明できる。												○					
					⑦	アレルギー性鼻炎の発症機構を説明できる												○				○	
					⑧	扁桃の炎症性疾患の病態と治療を説明できる。												○					
					⑨	歯科疾患（う蝕、歯周病等）とその全身への影響や口腔機能管理を概説できる。																	
					⑩	気管切開の適応を説明できる。												○					
					⑪	外耳道・鼻腔・咽頭・喉頭・食道の代表的な異物を説明し、除去法を説明できる。												○					
					⑫	唾液腺疾患を列挙できる。												○					
			(2) 腫瘍性疾患	学修目標	①	口腔・咽頭癌について、病因、病期分類、検査所見、画像所見、病理所見、治療法を説明できる。												○					
					②	喉頭癌について、病因、病期分類、検査所見、画像所見、病理所見、治療法を説明できる。												○					
	15 精神系			ねらい		精神と行動の障害に対して、児童・思春期から老年期のライフステージに応じた病態生理、診断、治療を理解し、良好な患者と医師の信頼関係に基づいた全人的医療を学ぶ。																	
		1) 診断と検査の基本		学修目標	①	患者・医師の良好な信頼関係に基づく精神科面接の基本を説明できる。														○			
					②	精神科診断分類法を説明できる。														○			
					③	精神科医療の法と倫理に関する必須項目（精神保健及び精神障害者福祉に関する法律、心神喪失者等医療観察法、インフォームド・コンセント）を説明できる。							○						○			
					④	コンサルテーション・リエゾン精神医学を説明できる。														○			
					⑤	心理学的検査法（質問紙法、Rorschach テスト、簡易精神症状評価尺度(Brief Psychiatric Rating Scale <BPRS>)、Hamilton うつ病評価尺度、Beck のうつ病自己評価尺度、状態特性不安検査(State-Trait Anxiety Inventory<STAI>)、Mini-Mental State Examination <MMSE>、改訂長谷川式簡易知能評価スケール等）の種類と概要を説明できる。														○			○
		2) 症候		学修目標	①	不安・躁うつをきたす精神障害を列挙し、その鑑別診断を説明できる。														○			
					②	意識障害、不眠、幻覚・妄想をきたす精神障害を列挙し、その鑑別診断を説明できる。														○			
					③	ストレスなどの心理社会的要因が症候（息苦しさ、心窩部痛、腹痛、頭痛、疲労、痺み、慢性疼痛等）に密接に関与している代表的な疾患を列挙し、その鑑別診断を説明できる。														○			○
		3) 疾患・障害		学修目標	①	症状精神病の概念と診断を概説できる。														○		○	
					②	認知症の診断と治療を説明できる。														○			
					③	薬物使用に関連する精神障害やアルコール、ギャンブル等への依存症の病態と症候を説明できる。														○			
					④	統合失調症の症候と診断、救急治療を説明できる。														○			
					⑤	うつ病の症候と診断を説明できる。														○			
					⑥	双極性障害(躁うつ病)の症候と診断を説明できる。														○			
					⑦	不安障害群と心的外傷及びストレス因関連障害群の症候と診断を説明できる。														○			
					⑧	身体症状症及び関連症群、食行動障害及び摂食障害群の症候と診断を説明できる。														○		○	○
					⑨	解離性障害群の症候、診断と治療を説明できる。														○			
					⑩	パーソナリティ障害群を概説できる。														○			
					⑪	知的能力障害群と自閉症スペクトラム障害(autism spectrum disorder <ASD>)を概説できる。														○		○	
					⑫	注意欠如・多動障害(attention deficit / hyperactivity disorder <ADHD>)と運動障害群を概説できる。														○		○	

コア・カリキュラム一覧（平成28年度改訂版）							医療プロフェッショナリズムの実践	臨床実習入門			LPBL	地域医療の実践	人間と社会			麻酔・集中治療	眼・視覚	耳鼻・頭頸部	皮膚	精神・行動	周産期・生殖器	小児の成長・発達	全人的医療・行動科学
							A4	P4a	P4b	P4c	A4	P4	A4（1）	A4（2）	A4（3）								
E 全身におよぶ生理的変化、病態、診断、治療	1 遺伝医療・ゲノム医療	1）遺伝医療・ゲノム医療と情報の特性		ねらい		遺伝情報・ゲノム情報の特性を理解し、遺伝情報・ゲノム情報に基づいた診断と治療、未発症者を含む患者・家族の支援を学ぶ。																	
				学修目標	①	集団遺伝学の基礎としてHardy-Weinberg の法則を概説できる。																	
					②	家系図を作成、評価（Bayes の定理、リスク評価）できる。																	
					③	生殖細胞系列変異と体細胞変異の違いを説明でき、遺伝学的検査の目的と意義を概説できる。																	
					④	遺伝情報の特性（不変性、予見性、共有性）を説明できる。																	
					⑤	遺伝カウンセリングの意義と方法を説明できる。																○	
					⑥	遺伝医療における倫理的・法的・社会的配慮を説明できる。																○	
					⑦	遺伝医学関連情報にアクセスすることができる。																	
					⑧	遺伝情報に基づく治療や予防をはじめとする適切な対処法を概説できる。																	
	2 感染症			ねらい		主要な感染症の疫学、病態生理、症候、診断と治療を学ぶ。診断と治療に必要な病原微生物、感染臓器と治療薬の関係性を理解する。																	
		1）病態		学修目標	①	敗血症の症候と診断と治療を説明できる。										○							
					②	市中感染症と院内(病院)感染症を説明できる。																	
					③	医療器具関連感染症（血管留置カテーテル、尿道カテーテル、人工呼吸器）、術後感染症、手術部位感染症、を説明できる。																	
					④	薬剤耐性(antimicrobial resistance <AMR>)、菌交代現象・菌交代症、薬剤耐性菌（Methicillin-resistantStaphylococcus aureus <MRSA>、バンコマイシン耐性腸球菌(vancomycin-resistant Enterococci <VRE>)、基質特異性拡張型β ラクタマーゼ(extended spectrum beta-lactamase <ESBL>)産生Gram 陰性桿菌、多剤耐性アシネトバクター属菌、カルバペネム耐性腸内細菌科細菌等）を概説できる。																	
					⑤	コロナイゼーションと感染症発症の違いを説明できる。							○		○								
					⑥	コンプロマイズドホストと日和見感染症を説明できる。							○		○								
					⑦	新興・再興感染症（中東呼吸器症候群(Middle East respiratory syndrome <MERS>)、ジカ熱、劇症型A 群レンサ球菌感染症等）、人獣共通感染症、バイオテロに関連する感染症を列挙できる。							○		○								
		2）診断・検査・治療の基本		学修目標	①	各病原微生物、各感染臓器の診断の手がかりとなる病歴と身体所見について説明できる。																	
					②	ウイルス感染症診断における抗原検査、核酸増幅検査、血清抗体検査について説明できる。																	
					③	細菌感染症診断における直接塗抹、Gram 染色、培養検査、抗原検査、核酸増幅検査、毒素検出検査、血清抗体検査を説明できる。																	
					④	真菌感染症診断における直接塗抹、培養検査、抗原検査、核酸増幅検査を説明できる。													○				
					⑤	病原微生物及び感染臓器ごとの適切な抗微生物薬を説明できる。																	
					⑥	抗菌薬適正使用(antimicrobial stewardship <AMS>)を説明できる。																	
					⑦	予防接種について、適応と意義、種類とそれぞれの投与方法を説明できる。							○		○							○	
					⑧	感染症法を概説できる。							○		○								
		3）症候		学修目標	①	ショック																	○
					②	発熱																	○
					③	けいれん																	○
					④	意識障害・失神																	○
					⑤	脱水																	○
					⑥	全身倦怠感																	○
					⑦	黄疸																	○
					⑧	発疹													○				○
					⑨	リンパ節腫脹																	○
					⑩	浮腫																	○
					⑪	胸水																	○
					⑫	胸痛・胸部圧迫感																	○
					⑬	呼吸困難・息切れ																	○
					⑭	咳・痰																	○
					⑮	血痰・喀血																	○
					⑯	頭痛・頭重感																	○
					⑰	腹痛																	○
					⑱	悪心、嘔吐																	○
					⑲	便秘・下痢・血便																	○
					⑳	吐血・下血																	○
					㉑	血尿・タンパク尿																	○
					㉒	関節痛、関節腫脹																	○
					㉓	腰背部痛																	○
		4）疾患	(1) ウイルス感染症・プリオン病	学修目標	①	インフルエンザの症候と診断と治療を説明できる。																○	
					②	麻疹の症候と診断と合併症および予防法を説明できる。							○									○	
					③	風疹の症候と診断と合併症および予防法を説明できる。							○									○	
					④	水痘・帯状疱疹の症候と診断と治療および予防法を説明できる。							○						○			○	
					⑤	流行性耳下腺炎(ムンプス)の症候と診断と合併症および予防法を説明できる。							○					○				○	
					⑥	ヒト免疫不全ウイルス<HIV>感染症の症候と診断と治療および感染対策を説明できる。							○									○	
					⑦	単純ヘルペスウイルス感染症、伝染性紅斑、手足口病、突発性発疹、咽頭結膜熱、伝染性単核(球)症を説明できる。							○					○	○			○	
					⑧	サイトメガロウイルス<CMV>感染症を説明できる。																○	
					⑨	ヒトT 細胞白血病ウイルス(human T-cell leukemia virus type 1 <HTLV-Ⅰ>)感染症を説明できる。																○	
					⑩	プリオン病を説明できる。																	

コア・カリキュラム一覧（平成28年度改訂版）							医療プロフェッショナリズムの実践	臨床実習入門			LPBL	地域医療の実践	人間と社会			麻酔・集中治療	眼・視覚	耳鼻・頭頸部	皮膚	精神・行動	周産期・生殖器	小児の成長・発達	全人的医療・行動科学
							A4	P4a	P4b	P4c	A4	P4	A4 (1)	A4 (2)	A4 (3)								
E 全身におよぶ生理的変化、病態、診断、治療	2 感染症	4) 疾患	(2) 細菌感染症	学修目標	①	黄色ブドウ球菌感染症の症候と診断と治療を説明できる。													○			○	
					②	A 群β溶血性レンサ球菌感染症の症候と診断と治療を説明できる。													○			○	
					③	肺炎球菌感染症の症候と診断と治療と予防法を説明できる。							○										
					④	インフルエンザ(桿)菌感染症とMoraxella catarrhalis 感染症を説明できる。							○									○	
					⑤	緑膿菌感染症の症候と診断と治療を説明できる。																	
					⑥	大腸菌感染症の症候と診断と治療を説明できる。																	
					⑦	Clostridium difficile 感染症の症候と診断と治療を説明できる。																	
					⑧	結核症、非結核性(非定型)抗酸菌症の症候と診断と治療及び予防法を説明できる。							○						○				
					⑨	マイコプラズマ感染症を説明できる。							○										
					⑩	クラミジア感染症を説明できる。							○										
					⑪	レジオネラ感染症を説明できる。							○										
					⑫	リケッチア感染症を説明できる。							○										
					⑬	カンピロバクター、サルモネラ、リステリア感染症を説明できる。							○										
			(3) 真菌感染症と寄生虫症	学修目標	①	カンジダ症、クリプトコッカス症、アスペルギルス症の症候と診断と治療を説明できる。													○				
					②	ニューモシスチス肺炎の症候と診断と治療を説明できる。																	
					③	主な寄生虫感染症（回虫症、アニサキス症、吸虫症）を説明できる。																	
					④	主な原虫感染症（マラリア、トキソプラズマ症、アメーバ赤痢）を説明できる。																	
			(4) 性感染症	学修目標	①	性感染症の原因微生物を説明できる。													○		○		
					②	梅毒の症候と診断と治療について説明できる。													○		○		
					③	淋菌性感染症の診断と治療について説明できる。															○		
					④	性器クラミジア、性器ヘルペス、尖圭コンジローマの診断と治療を説明できる。															○		
			(5) 院内感染	学修目標	①	標準予防策(standard precautions)、感染経路別予防策（飛沫感染予防策、接触感染予防策や空気感染予防策等）が必要となる病原微生物を説明できる。																	
					②	患者から医療従事者への病原微生物曝露を防ぐための個人防護具、予防接種等について概説できる。																	
					③	医療従事者の体液曝露後の感染予防策について概説できる。							○										
	3 腫瘍			ねらい		腫瘍の病態、診断と治療を学ぶ。																	
		1) 定義・病態		学修目標	①	腫瘍の定義と病態を説明できる。																	
					②	腫瘍の症候を説明できる。																	
					③	腫瘍のグレード、ステージを概説できる。																	
		2) 診断		学修目標	①	腫瘍の検査所見を説明できる。																	
					②	腫瘍の画像所見や診断を説明できる。																	
					③	腫瘍の病理所見や診断を説明できる。																	
		3) 治療		学修目標	①	腫瘍の集学的治療を概説できる。																○	
					②	腫瘍の手術療法を概説できる。																	
					③	腫瘍の放射線療法を概説できる。																	
					④	腫瘍の薬物療法（殺細胞性抗癌薬、分子標的薬、免疫チェックポイント阻害薬）を概説できる。																	
					⑤	腫瘍の生物学的療法を概説できる。																○	
					⑥	腫瘍における支持療法を概説できる。																	○
					⑦	腫瘍における緩和ケアを概説できる。										○							○
		4) 診療の基本的事項		学修目標	①	腫瘍の診療におけるチーム医療を概説できる。															○		○
					②	腫瘍の診療における生命倫理（バイオエシックス）を概説できる。															○		
					③	腫瘍性疾患をもつ患者の置かれている状況を深く認識できる。																	○
		5) 各論		学修目標	①	血液・造血器・リンパ系：急性白血病、慢性骨髄性白血病、骨髄異形成症候群<MDS>、成人T 細胞白血病、真正赤血球増加症、本態性血小板血症、骨髄線維症、悪性リンパ腫、多発性骨髄腫													○				
					②	神経系：脳・脊髄腫瘍、転移性脳腫瘍																	
					③	皮膚系：皮膚良性腫瘍、皮膚悪性リンパ腫、血管肉腫、基底細胞上皮腫（癌）、扁平上皮癌、悪性黒色腫													○				
					④	運動器（筋骨格系）：転移性脊髄腫瘍、骨肉腫																	
					⑤	循環器系：粘液腫																	
					⑥	呼吸器系：肺癌、転移性肺腫瘍、縦隔腫瘍、胸膜中皮腫																	
					⑦	消化器系：食道癌、胃癌、大腸ポリープ、大腸癌、胆嚢・胆管癌、原発性肝癌、膵内分泌腫瘍、嚢胞性膵腫瘍、膵癌																	
					⑧	腎・尿路系：腎癌、膀胱癌を含む尿路上皮癌																	
					⑨	生殖機能：前立腺癌、精巣腫瘍、子宮頸癌、子宮体癌<子宮内膜癌>、卵巣腫瘍（卵巣癌、卵巣嚢腫）、絨毛性疾患（胞状奇胎、絨毛癌）															○		
					⑩	乳房：原発性乳癌																	
					⑪	内分泌・栄養・代謝系：甲状腺腫瘍（腺腫様甲状腺腫、甲状腺癌）、褐色細胞腫																	
					⑫	眼・視覚系：網膜芽細胞腫											○						
					⑬	耳鼻・咽喉・口腔系：舌癌、咽頭癌、喉頭癌																	
					⑭	小児腫瘍：神経芽腫																○	
	4 免疫・アレルギー			ねらい		自己免疫疾患・アレルギー性疾患・免疫不全疾患の病態生理を理解し、症候、診断と治療を学ぶ。																	
		1) 診断と検査の基本		学修目標	①	自己抗体の種類と臨床的意義を説明できる。													○			○	
		2) 症候		学修目標	①	ショック																	
					②	発熱																	

コア・カリキュラム一覧（平成28年度改訂版）							医療プロフェッショナリズムの実践	臨床実習入門			LPBL	地域医療の実践	人間と社会			麻酔・集中治療	眼・視覚	耳鼻・頭頸部	皮膚	精神・行動	周産期・生殖器	小児の成長・発達	全人的医療・行動科学
							A4	P4a	P4b	P4c	A4	P4	A4										
													(1)	(2)	(3)								
E 全身におよぶ生理的変化、病態、診断、治療	4 免疫・アレルギー	2) 症候		学修目標	③	全身倦怠感																	
					④	発疹													○				
					⑤	貧血																	
					⑥	リンパ節腫脹																	
					⑦	浮腫																	
					⑧	呼吸困難・息切れ																	
					⑨	咳・痰																	
					⑩	血尿・タンパク尿																	
					⑪	関節痛・関節腫脹																	○
		3) 病態と疾患	(1) 自己免疫疾患一般	学修目標	①	膠原病と自己免疫疾患を概説し、その種類を列挙できる。													○			○	
					②	関節炎をきたす疾患を列挙できる。																	
					③	膠原病に特徴的な皮疹を説明し、関連する疾患を列挙できる。													○				
			(2) 関節リウマチと類縁疾患	学修目標	①	関節リウマチの病態生理、症候、診断、治療とリハビリテーションを説明できる。																	
					②	関節リウマチの関節外症状を説明できる。																	
					③	成人Still 病の症候、診断と治療を説明できる。													○				
					④	若年性特発性関節炎(juvenile idiopathic arthritis <JIA>)の特徴を説明できる。																○	
			(3) 全身性エリテマトーデス(systemic lupus erythematosus <SLE>)、抗リン脂質抗体症候群	学修目標	①	全身性エリテマトーデス<SLE>の病態生理、症候、診断と治療を説明できる。													○			○	
					②	全身性エリテマトーデス<SLE>の合併症（神経精神全身性エリテマトーデス、ループス腎炎）を説明できる。																○	
					③	抗リン脂質抗体症候群の病態生理、症候、診断と治療を説明できる。													○			○	
			(4) 全身性強皮症、皮膚筋炎・多発性筋炎、混合性結合織病、Sjögren 症候群	学修目標	①	全身性強皮症の病態生理、分類、症候、診断及び臓器病変（特に肺・腎）を説明できる。													○				
					②	皮膚筋炎・多発性筋炎の症候、診断、治療及び合併症（間質性肺炎、悪性腫瘍）を説明できる。													○				
					③	混合性結合組織病を概説できる。													○			○	
					④	Sjögren 症候群を概説できる。													○				
			(5) 全身性血管炎、Behçet 病、Kawasaki 病(急性熱性皮膚粘膜リンパ節症候群)	学修目標	①	全身性血管炎を分類/列挙し、その病態生理、症候、診断と治療を説明できる。													○			○	
					②	Behçet 病の症候、診断と治療を説明できる。													○			○	
					③	Kawasaki 病(急性熱性皮膚粘膜リンパ節症候群)の病態生理、症候、診断と治療を説明できる。																○	
			(6) アレルギー性疾患	学修目標	①	主要な全身性アレルギー性疾患の分類と特徴を概説できる。													○			○	
					②	アナフィラキシーの症候、診断と治療を説明できる。													○			○	
					③	食物アレルギーの種類、診断と治療を概説できる。													○			○	
			(7) 原発性免疫不全症	学修目標	①	原発性免疫不全症の病態、診断と治療を概説できる。																○	
	5 物理・化学的因子による疾患			ねらい		中毒と環境要因によって生じる疾患の病態生理を理解し、症候、診断と治療を学ぶ。																	
		1) 診断と検査の基本		学修目標	①	中毒患者の検査と起因物質の分析を概説できる。																	
		2) 症候		学修目標	①	ショック																	
					②	発熱																	
					③	意識障害・失神																	
					④	脱水																	
					⑤	黄疸																	
					⑥	発疹													○				
					⑦	貧血																	
					⑧	呼吸困難・息切れ																	
					⑨	運動麻痺・筋力低下																	
					⑩	腹痛																	
					⑪	悪心・嘔吐																	
					⑫	便秘・下痢・血便																	
					⑬	吐血・下血																	
					⑭	尿量・排尿の異常																	
		3) 疾患	(1) 中毒	学修目標	①	食中毒の病因、症候と予防法を説明できる。							○										
					②	一酸化炭素中毒の発生機序、症候、診断と治療法を説明できる。								○									
					③	有機リン剤、有機塩素剤と有機溶剤による中毒の機序、診断と治療を説明できる。							○	○									
					④	重金属、青酸、ヒ素、パラコート、自然毒による中毒を概説できる。							○	○									
					⑤	アルコール、覚醒剤・麻薬・大麻などの乱用薬物による中毒を説明できる。								○									
					⑥	医薬品による中毒を説明できる。							○										
			(2) 環境要因等による疾患	学修目標	①	高温による障害（熱中症）を説明できる。							○										
					②	寒冷による障害を説明できる。							○										
					③	振動障害と騒音障害を説明できる。							○										
					④	気圧による障害の原因や対処を説明できる。							○										
			(3) 熱傷	学修目標	①	熱傷面積（9 の法則）と深(達)度から熱傷の重症度を説明できる。								○					○				
					②	熱傷の治療方針を概説できる。													○				

コア・カリキュラム一覧（平成28年度改訂版）							医療プロフェッショナリズムの実践	臨床実習入門			LPBL	地域医療の実践	人間と社会			麻酔・集中治療	眼・視覚	耳鼻・頭頸部	皮膚	精神・行動	周産期・生殖器	小児の成長・発達	全人的医療・行動科学
							A4	P4a	P4b	P4c	A4	P4	A4 (1)	(2)	(3)								
	6 放射線の生体影響と放射線障害			ねらい		医学・医療の分野に広く応用されている放射線や電磁波等の生体への作用や応用を理解する。																	
E 全身におよぶ生理的変化、病態、診断、治療	6 放射線の生体影響と放射線障害	1) 生体と放射線		学修目標	①	放射線の種類と放射能、これらの性質・定量法・単位を説明できる。																	
					②	内部被ばくと外部被ばくについて、線量評価やその病態、症候、診断と治療を説明できる。							○										
					③	放射線及び電磁波の人体（胎児を含む）への影響（急性影響と晩発影響）を説明できる。							○										
					④	種々の正常組織の放射線の透過性や放射線感受性の違いを説明できる。																	
					⑤	磁気共鳴画像法<MRI>で用いられている磁場や電磁波による人体や植え込みデバイスの発熱等の現象を概説できる。																	
					⑥	放射線の遺伝子、細胞への作用と放射線による細胞死の機序、局所的・全身的影響を説明できる。																	
					⑦	放射線被ばく低減の3原則と安全管理を説明できる。							○										
		2) 医療放射線と生体影響		学修目標	①	放射線診断やインターベンショナルラジオロジーの被ばく軽減の原則を知り、それを実行できる。																	
					②	放射線診断（エックス線撮影、コンピュータ断層撮影<CT>、核医学）や血管造影及びインターベンショナルラジオロジーの利益とコスト・リスク（被ばく線量、急性、晩発影響等）を知り、適応の有無を判断できる。							○										
					③	放射線治療の生物学的原理と、人体への急性影響と晩発影響を説明できる。																	
					④	医療被ばくに関して、放射線防護と安全管理を説明できる。																	
					⑤	放射線診断や治療の被ばくに関して、患者にわかりやすく説明できる。																	
		3) 放射線リスクコミュニケーション		学修目標	①	患者と家族が感じる放射線特有の精神的・社会的苦痛に対して十分に配慮できる。																	
					②	患者の漠然とした不安を受け止め、不安を軽減するためにわかりやすい言葉で説明でき、対話ができる。																	
		4) 放射線災害医療		学修目標	①	内部被ばくと外部被ばくの病態、症候、線量評価、治療を説明できる。																	
					②	放射線災害・原子力災害でのメンタルヘルスを説明できる。																	
	7 成長と発達			ねらい		胎児・新生児・乳幼児・小児期から思春期にかけての生理的成長・発達とその異常の特徴および精神・社会的な問題を理解する。																	
		1) 胎児・新生児		学修目標	①	胎児の循環・呼吸の生理的特徴と出生時の変化を説明できる。																○	
					②	主な先天性疾患を列挙できる。																○	
					③	新生児の生理的特徴を説明できる。										○						○	
					④	胎児機能不全(non-reassuring fetal status <NRFS>)を説明できる。																○	
					⑤	新生児仮死の病態を説明できる。																○	
					⑥	新生児マススクリーニングを説明できる。							○									○	
					⑦	新生児黄疸の鑑別と治療を説明できる。																○	
					⑧	新生児期の呼吸障害の病因を列挙できる。																○	
					⑨	正常児・低出生体重児・病児の管理の基本を説明できる。										○						○	
					⑩	低出生体重児固有の疾患を概説できる。																○	
		2) 乳幼児		学修目標	①	乳幼児の生理機能の発達を説明できる。										○						○	
					②	乳幼児の正常な精神運動発達を説明できる。																○	
					③	乳幼児の保育法・栄養法の基本を概説できる。																○	
					④	乳幼児突然死症候群(sudden infant death syndrome <SIDS>)を説明できる。																○	
		3) 小児期全般		学修目標	①	小児の精神運動発達および心身相関を説明できる。																○	
					②	小児の栄養上の問題点を列挙できる。																○	
					③	小児免疫発達と感染症の関係を概説できる。																○	
					④	小児保健における予防接種の意義と内容を説明できる。							○									○	
					⑤	成長に関わる主な異常（小児心身症を含む）を列挙できる。																○	
					⑥	児童虐待を概説できる。							○									○	
					⑦	小児の診断法と治療法における特徴を概説できる。																○	
					⑧	神経発達障害群（自閉症スペクトラム障害<ASD>、注意欠如・多動障害<ADHD>、限局性学習障害、チック障害群）を列挙できる。																○	○
		4) 思春期		学修目標	①	思春期発現の機序と性徴を説明できる。																○	
					②	思春期と関連した精神保健上の問題を列挙できる。							○									○	○
					③	移行期医療の現状と課題を説明できる。																○	
	8 加齢と老化	1) 老化と高齢者の特徴		ねらい		加齢に伴う身体的変化、精神・心理的変化、高齢者に特有な疾患・病態の診断と治療、リハビリテーション、介護、人生の最終段階における医療（エンド・オブ・ライフ・ケア）に関わる問題を学ぶ。																	
				学修目標	①	老化学説、老化制御、加齢に伴う臓器の構造的・機能的変化を説明でき、これによる予備能の低下等患者にもたらされる生理的変化を説明できる。																	
					②	高齢者総合機能評価(comprehensive geriatric assessment <CGA>)を実施できる。																	
					③	老年症候群（歩行障害・転倒、認知機能障害、排泄障害、栄養障害、摂食・嚥下障害等）の概念を説明できる。																	
					④	フレイル、サルコペニア、ロコモティブ・シンドロームの概念、その対処法、予防が説明できる。							○										
					⑤	認知症、うつ、せん妄の違いを説明し、それぞれの鑑別、初期対応を実施できる。							○							○			
					⑥	歩行障害・転倒の評価、鑑別診断を行い、原因に応じた転倒予防・リハビリテーションを説明できる。																	
					⑦	口腔機能低下、摂食・嚥下障害の評価、鑑別診断を行い、原因に応じた治療・リハビリテーション、予防を実施できる。																	
					⑧	高齢者の栄養マネジメントを説明できる。																	
					⑨	加齢に伴う薬物動態の変化、高齢者に対する薬物療法の注意点を説明でき、ポリファーマシーの是正等適切な介入が実施できる。																	
					⑩	高齢者の障害及び廃用症候群を説明でき、それらに対するリハビリテーションを説明できる。																	
					⑪	高齢者の退院支援と介護保険制度を説明できる。							○										
					⑫	高齢者の人生の最終段階における医療（エンド・オブ・ライフ・ケア）を説明できる。																	
	9 人の死	1) 生物的死と社会的死		ねらい		個体の死を理解する。																	
				学修目標	①	死の概念と定義や生物学的な個体の死を説明できる。								○		○							
					②	植物状態と脳死の違いを説明できる。								○		○							
					③	内因死と外因死について違いと内容を説明できる。								○									

コア・カリキュラム一覧（平成28年度改訂版）						医療プロフェッショナリズムの実践	臨床実習入門			LPBL	地域医療の実践	人間と社会			麻酔・集中治療	眼・視覚	耳鼻・頭頸部	皮膚	精神・行動	周産期・生殖器	小児の成長・発達	全人的医療・行動科学
						A4	P4a	P4b	P4c	A4	P4	A4										
												(1)	(2)	(3)								
E 全身におよぶ生理的変化、病態、診断、治療	9 人の死	1) 生物的死と社会的死	学修目標	④	突然死の定義を説明でき、突然死を来しうる疾患（乳幼児突然死症候群<SIDS>を含む）を列挙できる。								○									
				⑤	診療関連死について説明できる。								○									
				⑥	死に至る身体と心の過程を説明できる。その個別性にも共感配慮できる。																	
				⑦	人生の最終段階における医療（エンド・オブ・ライフ・ケア）での患者とのコミュニケーション、頻度の高い苦痛とその対処法・ケアを説明できる。																	
				⑧	水・補液、栄養管理を含む人生の最終段階における医療（エンド・オブ・ライフ・ケア）と小児の特殊性を説明できる。																	
				⑨	人生の最終段階における医療（エンド・オブ・ライフ・ケア）での本人の意思決定、事前指示、延命治療、Do not attempt resuscitation <DNAR>、尊厳死と安楽死、治療の中止と差し控えの概念を説明できる。										○							
				⑩	患者の死後の家族ケア（悲嘆のケア（グリーフケア））を説明できる。																	○
F 診療の基本	1 症候・病態からのアプローチ		ねらい		主な症候・病態の原因、分類、診断と治療の概要を各分野統合して学ぶことにより、医師として必須となる診療の基本を修得する。																	
		1) 発熱	学修目標	①	発熱の原因と病態生理を説明できる。					○												○
				②	発熱をきたす疾患(群)を列挙し、診断の要点を説明できる。					○												○
				③	発熱がある患者の治療の要点を説明し、専門的治療が必要な状態を概説できる。					○												○
		2) 全身倦怠感	学修目標	①	全身倦怠感の原因と病態生理を説明できる。					○												○
				②	全身倦怠感をきたす疾患(群)を列挙し、診断の要点を説明できる。					○												○
				③	全身倦怠感がある患者の治療の要点を説明し、専門的治療が必要な状態を概説できる。					○												○
		3) 食思(欲)不振	学修目標	①	食思(欲)不振の原因と病態生理を説明できる。					○												○
				②	食思(欲)不振をきたす疾患(群)を列挙し、診断の要点を説明できる。					○												○
				③	食思(欲)不振がある患者の治療の要点を説明し、専門的治療が必要な状態を概説できる。					○												○
		4) 体重減少・体重増加	学修目標	①	体重減少・体重増加の原因と病態生理を説明できる。					○												○
				②	体重減少・体重増加をきたす疾患(群)を列挙し、診断の要点を説明できる。					○												○
				③	体重減少・体重増加がある患者の治療の要点を説明し、専門的治療が必要な状態を概説できる。					○												○
		5) ショック	学修目標	①	ショックの原因と病態生理を説明できる。					○					○							○
				②	ショックをきたす疾患(群)を列挙し、診断の要点を説明できる。					○					○							○
				③	ショック状態にある患者の治療の要点を説明し、専門的治療が必要な状態を概説できる。					○					○							○
		6) 心停止	学修目標	①	心停止の原因と病態生理を説明できる。					○												
				②	心停止をきたす疾患(群)を列挙し、診断の要点を説明できる。					○												
				③	心停止患者の治療の要点を説明し、専門的治療が必要な状態を概説できる。					○												
		7) 意識障害・失神	学修目標	①	意識障害・失神の原因と病態生理を説明できる。					○												○
				②	意識障害・失神をきたす疾患(群)を列挙し、診断の要点を説明できる。					○												○
				③	意識障害・失神がある患者の治療の要点を説明し、専門的治療が必要な状態を概説できる。					○												○
		8) けいれん	学修目標	①	けいれんの原因と病態生理を説明できる。					○												○
				②	けいれんをきたす疾患(群)を列挙し、診断の要点を説明できる。					○												○
				③	けいれんがある患者の治療の要点を説明し、専門的治療が必要な状態を概説できる。					○												○
		9) めまい	学修目標	①	めまいの原因と病態生理を説明できる。					○							○					○
				②	めまいをきたす疾患(群)を列挙し、診断の要点を説明できる。					○												○
				③	めまいがある患者の治療の要点を説明し、専門的治療が必要な状態を概説できる。					○												○
		10) 脱水	学修目標	①	脱水の原因と病態生理を説明できる。					○												○
				②	脱水をきたす疾患(群)を列挙し、診断の要点を説明できる。					○												○
				③	脱水がある患者の治療の要点を説明し、専門的治療が必要な状態を概説できる。					○												○
		11) 浮腫	学修目標	①	浮腫の原因と病態生理を説明できる。					○												○
				②	浮腫をきたす疾患(群)を列挙し、診断の要点を説明できる。					○												○
				③	浮腫がある患者の治療の要点を説明し、専門的治療が必要な状態を概説できる。					○												○
		12) 発疹	学修目標	①	発疹の原因と病態生理を説明できる。					○								○				○
				②	発疹をきたす疾患(群)を列挙し、診断の要点を説明できる。					○								○				○
				③	発疹がある患者の治療の要点を説明し、専門的治療が必要な状態を概説できる。					○								○				○
		13) 咳・痰	学修目標	①	咳・痰の原因と病態生理を説明できる。					○												○
				②	咳・痰をきたす疾患(群)を列挙し、診断の要点を説明できる。					○												○
				③	咳・痰がある患者の治療の要点を説明し、専門的治療が必要な状態を概説できる。					○												○
		14) 血痰・喀血	学修目標	①	血痰・喀血の原因と病態生理を説明できる。					○												○
				②	血痰・喀血をきたす疾患(群)を列挙し、診断の要点を説明できる。					○												○
				③	血痰・喀血がある患者の治療の要点を説明し、専門的治療が必要な状態を概説できる。					○												○
		15) 呼吸困難	学修目標	①	呼吸困難の原因と病態生理を説明できる。					○												○
				②	呼吸困難をきたす疾患(群)を列挙し、診断の要点を説明できる。					○												○
				③	呼吸困難がある患者の治療の要点を説明し、専門的治療が必要な状態を概説できる。					○												○
		16) 胸痛	学修目標	①	胸痛の原因と病態生理を説明できる。					○												○
				②	胸痛をきたす疾患(群)を列挙し、診断の要点を説明できる。					○												○
				③	胸痛がある患者の治療の要点を説明し、専門的治療が必要な状態を概説できる。					○												○
		17) 動悸	学修目標	①	動悸の原因と病態生理を説明できる。					○												○
				②	動悸をきたす疾患(群)を列挙し、診断の要点を説明できる。					○												○
				③	動悸がある患者の治療の要点を説明し、専門的治療が必要な状態を概説できる。					○												○

コア・カリキュラム一覧（平成28年度改訂版）							医療プロフェッショナリズムの実践	臨床実習入門			LPBL	地域医療の実践	人間と社会			麻酔・集中治療	眼・視覚	耳鼻・頭頸部	皮膚	精神・行動	周産期・生殖器	小児の成長・発達	全人的医療・行動科学
							A4	P4a	P4b	P4c	A4	P4	A4										
													(1)	(2)	(3)								
F 診療の基本	1 症候・病態からのアプローチ	18) 胸水		学修目標	①	胸水の原因と病態生理を説明できる。					○												○
					②	胸水をきたす疾患(群)を列挙し、診断の要点を説明できる。					○												○
					③	胸水がある患者の治療の要点を説明し、専門的治療が必要な状態を概説できる。					○												○
		19) 嚥下困難・障害		学修目標	①	嚥下困難・障害の原因と病態生理を説明できる。					○							○					○
					②	嚥下困難・障害をきたす疾患(群)を列挙し、診断の要点を説明できる。					○							○					○
					③	嚥下困難・障害がある患者の治療の要点を説明し、専門的治療が必要な状態を概説できる。					○							○					○
		20) 腹痛		学修目標	①	腹痛の原因と病態生理を説明できる。					○												○
					②	腹痛をきたす疾患(群)を列挙し、診断の要点を説明できる。					○												○
					③	腹痛がある患者の治療の要点を説明し、専門的治療が必要な状態を概説できる。					○												○
		21) 悪心・嘔吐		学修目標	①	悪心・嘔吐の原因と病態生理を説明できる。					○												○
					②	悪心・嘔吐をきたす疾患(群)を列挙し、診断の要点を説明できる。					○												○
					③	悪心・嘔吐がある患者の治療の要点を説明し、専門的治療が必要な状態を概説できる。					○												○
		22) 吐血・下血		学修目標	①	吐血・下血の原因と病態生理を説明できる。					○												○
					②	吐血・下血をきたす疾患(群)を列挙し、診断の要点を説明できる。					○												○
					③	吐血・下血がある患者の治療の要点を説明し、専門的治療が必要な状態を概説できる。					○												○
		23) 便秘・下痢		学修目標	①	便秘・下痢の原因と病態生理を説明できる。					○												○
					②	便秘・下痢をきたす疾患(群)を列挙し、診断の要点を説明できる。					○												○
					③	便秘・下痢がある患者の治療の要点を説明し、専門的治療が必要な状態を概説できる。					○												○
		24) 黄疸		学修目標	①	黄疸の原因と病態生理を説明できる。					○												○
					②	黄疸をきたす疾患(群)を列挙し、診断の要点を説明できる。					○												○
					③	黄疸がある患者の治療の要点を説明し、専門的治療が必要な状態を概説できる。					○												○
		25) 腹部膨隆(腹水を含む)・腫瘤		学修目標	①	腹部膨隆(腹水を含む)・腫瘤の原因と病態生理を説明できる。					○												○
					②	腹部膨隆(腹水を含む)・腫瘤をきたす疾患(群)を列挙し、診断の要点を説明できる。					○												○
					③	腹部膨隆(腹水を含む)・腫瘤がある患者の治療の要点を説明し、専門的治療が必要な状態を概説できる。					○												○
		26) 貧血		学修目標	①	貧血の原因と病態生理を説明できる。					○												○
					②	貧血をきたす疾患(群)を列挙し、診断の要点を説明できる。					○												○
					③	貧血がある患者の治療の要点を説明し、専門的治療が必要な状態を概説できる。					○												○
		27) リンパ節腫脹		学修目標	①	リンパ節腫脹の原因と病態生理を説明できる。					○							○					○
					②	リンパ節腫脹をきたす疾患(群)を列挙し、診断の要点を説明できる。					○							○					○
					③	リンパ節腫脹がある患者の治療の要点を説明し、専門的治療が必要な状態を概説できる。					○							○					○
		28) 尿量・排尿の異常		学修目標	①	尿量・排尿の異常の原因と病態生理を説明できる。					○												○
					②	尿量・排尿の異常をきたす疾患(群)を列挙し、診断の要点を説明できる。					○												○
					③	尿量・排尿の異常がある患者の治療の要点を説明し、専門的治療が必要な状態を概説できる。					○												○
		29) 血尿・タンパク尿		学修目標	①	血尿・タンパク尿の原因と病態生理を説明できる。					○												○
					②	血尿・タンパク尿をきたす疾患(群)を列挙し、診断の要点を説明できる。					○												○
					③	血尿・タンパク尿がある患者の治療の要点を説明し、専門的治療が必要な状態を概説できる。					○												○
		30) 月経異常		学修目標	①	月経異常の原因と病態生理を説明できる。					○												○
					②	月経異常をきたす疾患(群)を列挙し、診断の要点を説明できる。					○												○
					③	月経異常がある患者の治療の要点を説明し、専門的治療が必要な状態を概説できる。					○												○
		31) 不安・抑うつ		学修目標	①	不安・抑うつの原因と病態生理を説明できる。					○									○			○
					②	不安・抑うつをきたす疾患(群)を列挙し、診断の要点を説明できる。					○									○			○
					③	不安・抑うつがある患者の治療の要点を説明し、専門的治療が必要な状態を概説できる。					○									○			○
		32) もの忘れ		学修目標	①	もの忘れの原因と病態生理を説明できる。					○									○			○
					②	もの忘れをきたす疾患(群)を列挙し、診断の要点を説明できる。					○									○			○
					③	もの忘れがある患者の治療の要点を説明し、専門的治療が必要な状態を概説できる。					○									○			○
		33) 頭痛		学修目標	①	頭痛の原因と病態生理を説明できる。					○												○
					②	頭痛をきたす疾患(群)を列挙し、診断の要点を説明できる。					○												○
					③	頭痛がある患者の治療の要点を説明し、専門的治療が必要な状態を概説できる。					○												○
		34) 運動麻痺・筋力低下		学修目標	①	運動麻痺・筋力低下の原因と病態生理を説明できる。					○												○
					②	運動麻痺・筋力低下をきたす疾患(群)を列挙し、診断の要点を説明できる。					○												○
					③	運動麻痺・筋力低下がある患者の治療の要点を説明し、専門的治療が必要な状態を概説できる。					○												○
		35) 腰背部痛		学修目標	①	腰背部痛の原因と病態生理を説明できる。					○												○
					②	腰背部痛をきたす疾患(群)を列挙し、診断の要点を説明できる。					○												○
					③	腰背部痛がある患者の治療の要点を説明し、専門的治療が必要な状態を概説できる。					○												○
		36) 関節痛・関節腫脹		学修目標	①	関節痛・関節腫脹の原因と病態生理を説明できる。					○												○
					②	関節痛・関節腫脹をきたす疾患(群)を列挙し、診断の要点を説明できる。					○												○
					③	関節痛・関節腫脹がある患者の治療の要点を説明し、専門的治療が必要な状態を概説できる。					○												○
		37) 外傷・熱傷		学修目標	①	外傷・熱傷の病態生理を説明できる。					○			○									
					②	外傷・熱傷の診断の要点を説明できる。					○			○									

コア・カリキュラム一覧（平成28年度改訂版）							医療プロフェッショナリズムの実践	臨床実習入門			LPBL	地域医療の実践	人間と社会			麻酔・集中治療	眼・視覚	耳鼻・頭頸部	皮膚	精神・行動	周産期・生殖器	小児の成長・発達	全人的医療・行動科学
							A4	P4a	P4b	P4c	A4	P4	A4 (1)	A4 (2)	A4 (3)								
F 診療の基本	1 症候・病態からのアプローチ	37) 外傷・熱傷		学修目標	③	外傷・熱傷がある患者の治療の要点を説明し、専門的治療が必要な状態を概説できる。					○												
	2 基本的診療知識	1) 臨床推論		ねらい		患者に生じた健康問題を明らかにし、対応を意思決定するために、問題点を予測し，論じることができる。				○	○												
				学修目標	①	問題の同定から治療やマネジメントに至るプロセスを列挙できる。				○	○												
					②	情報収集には医療面接、身体診察、検査の3 つの方法があることを説明できる。				○	○												○
					③	診断仮説を想起するためには、解剖学、病理学、生理学、生化学等の基礎医学や疾患頻度が重要であることを説明できる。				○	○												○
					④	診断仮説を検証するために、診断仮説に基づいた情報収集を実施できる。				○	○												
					⑤	診断過誤の原因とその防止法を説明できる。				○	○												
					⑥	状況に応じ、診断プロセスと治療やマネジメントが並行して行われることが説明できる。				○	○												
					⑦	治療やマネジメントに関して意思決定するために、患者側と情報共有や摺り合わせをすることができる。				○	○												
					⑧	コンサルテーションや紹介の必要な状況を説明できる。				○	○												
		2) 根拠に基づいた医療〈EBM〉		ねらい		臨床現場での意思決定において、入手可能な最善の医学知見を用い、適切な意思決定を行うための方法を身に付ける。				○													
				学修目標	①	根拠に基づく医療<EBM>の5つのステップを列挙できる。				○			○										
					②	現場で遭遇した臨床上の問題に関し、PICO (PECO)を用いた問題の定式化ができる。				○			○										
					③	研究デザイン(観察研究(記述研究、横断研究、症例対照研究、コホート研究)、介入研究(臨床研究、ランダム化比較試験)、システマティックレビュー、メタ分析(メタアナリシス)を概説できる。				○			○										
					④	データベースや二次文献からのエビデンス、診療ガイドラインを検索することができる。				○			○										
					⑤	得られた情報の批判的吟味ができる。				○			○										
					⑥	診療ガイドラインの種類と使用上の注意を列挙できる。				○			○										
					⑦	診療ガイドラインの推奨の強さについて違いを述べることができる。				○			○										
		3) 臨床検査		ねらい		検査の方法と臨床推論における適応、意義、検査結果の解釈を説明できる。																	
				学修目標	①	臨床検査の目的と意義を説明でき、必要最小限の検査項目を選択できる。																	
					②	臨床検査の正しい検体採取方法と検体保存方法を説明できる。																	
					③	臨床検査の安全な実施方法(患者確認と検体確認、検査の合併症、感染症予防、精度管理)を説明できる。																	
					④	臨床検査の特性(感度、特異度、偽陽性、偽陰性、検査前確率(事前確率)・検査後確率(事後確率)、尤度比、receiver operating characteristic <ROC>曲線)と判定基準(基準値・基準範囲、カットオフ値、パニック値)を説明できる。																	
					⑤	臨床検査の生理的変動、測定誤差、精度管理、ヒューマンエラーを説明できる。																	
					⑥	小児、高齢者、妊産婦の検査値特性を説明し、結果を解釈できる。																○	
					⑦	病態を推察する基本的検査と確定診断のための検査の意義・相違点を理解・説明できる。																	
					⑧	血算、凝固・線溶検査、尿・糞便検査、生化学検査の目的と適応を説明し、結果を解釈できる。																	
					⑨	染色体・遺伝子検査の目的と適応を説明し、結果を解釈できる。																	
					⑩	病理組織検査、細胞診検査、フローサイトメトリの意義を説明できる。													○				
					⑪	免疫血清学検査、輸血検査の目的と適応を説明し、結果を解釈できる。									○								
					⑫	生体機能検査(心電図、心臓機能検査、呼吸機能検査、超音波検査、内分泌・代謝機能検査、脳波検査、針筋電図検査、末梢神経伝導検査)の目的と適応を説明し、結果を解釈できる。																	
					⑬	細菌学検査(細菌の塗抹、培養、同定、薬剤感受性試験)の目的と適応を説明し、結果を解釈できる。																	
					⑭	動脈血ガス分析、経皮的酸素飽和度モニターの目的と適応を説明し、結果を解釈できる。									○								
					⑮	脳脊髄液・胸水・腹水検査の目的と適応を説明し、結果を解釈できる。																	
		4) 病理診断		ねらい		臨床診断に必須の病理診断、細胞診の目的、方法、意義を理解する。																	
				学修目標	①	病理診断、細胞診の適切な検体の取扱い、標本作製及び診断過程が説明できる。																	
					②	診断に必要な臨床情報の適切な提供法を説明できる。																	
					③	術中迅速診断の利点、欠点を説明できる。																	
					④	デジタル画像を用いた病理診断(遠隔診断を含む)の利点、欠点を説明できる。																	
					⑤	病理解剖の医療における位置付けと法的事項、手続等を説明できる。																	
		5) 放射線等を用いる診断と治療		ねらい		放射線等による診断と治療の基本を学ぶ。																	
				学修目標	①	エックス線撮影、コンピュータ断層撮影<CT>、磁気共鳴画像法<MRI>と核医学検査の原理を説明できる。																	
					②	エックス線撮影、コンピュータ断層撮影<CT>、磁気共鳴画像法<MRI>と核医学検査の読影の基本を説明できる。																	
					③	放射線治療の原理を説明し、主な放射線治療法を列挙できる。																	
					④	放射線診断・治療による利益と不利益を説明できる。																	
					⑤	インターベンショナルラジオロジー(画像誘導下治療)を概説できる。																	
		6) 内視鏡を用いる診断と治療		ねらい		内視鏡の原理とそれによる診断と治療の基本を学ぶ。																	
				学修目標	①	内視鏡機器の種類と原理を説明できる。																	
					②	内視鏡検査法の種類を列挙し、概説できる。																	
					③	内視鏡を用いる治療を概説できる。																	
		7) 超音波を用いる診断と治療		ねらい		超音波機器の原理とそれによる診断と治療の基本を学ぶ。																	
				学修目標	①	超音波機器の種類と原理を説明できる。									○								
					②	超音波検査法の種類を列挙し、概説できる。									○								
					③	主な疾患、病態のエコー像を概説できる。																	
					④	超音波を用いる治療を概説できる。									○								
					⑤	超音波の生体作用と安全性を説明できる。																	
					⑥	超音波造影法を説明できる。																	
		8) 薬物治療の基本原理		ねらい		診療に必要な薬物治療の基本(薬理作用、有害事象、投与時の注意事項)を学ぶ。																	
				学修目標	①	薬物(オピオイドを含む)の蓄積、耐性、タキフィラキシー、依存、習慣性や嗜癖を説明できる。																	

コア・カリキュラム一覧
（平成28年度改訂版）

							リフェ医療のシプ実ョロ践ナ	臨床実習入門			LPBL	地域医療の実践	人間と社会			麻酔・集中治療	眼・視覚	耳鼻・頭頸部	皮膚	精神・行動	周産期・生殖器	小児の成長・発達	全人的医療・行動科学
							A4	P4a	P4b	P4c	A4	P4	A4										
													(1)	(2)	(3)								
F 診療の基本	2 基本的診療知識	8) 薬物治療の基本原理		学修目標	②	主な薬物アレルギーの症候、診察、診断を列挙し、予防策と対処法を説明できる。													○				
					③	薬物によるアナフィラキシーショックの症候、診断、対処法を説明できる。													○				
					④	各臓器系統（中枢・末梢神経、循環器、呼吸器、消化器、腎泌尿器、血液、内分泌等）に作用する薬の薬理作用、適応、有害事象、投与時の注意事項を説明できる。									○							
					⑤	抗微生物薬の薬理作用、適応、有害事象、投与時の注意事項を説明できる。																	
					⑥	抗腫瘍薬の適応、有害事象、投与時の注意事項を説明できる。																	
					⑦	麻薬性鎮痛薬・鎮静薬の適応、有害事象、投与時の注意事項を説明できる。										○							
					⑧	主な薬物の有害事象を概説できる。																	
					⑨	年齢や臓器障害に応じた薬物動態の特徴を考慮して薬剤投与の注意点を説明できる。																○	
					⑩	薬物動態的相互作用について例を挙げて説明できる。																	
					⑪	処方箋の書き方、服薬の基本・アドヒアランスを説明できる。																	○
					⑫	分子標的薬の薬理作用と有害事象を説明できる。													○				
					⑬	漢方医学の特徴や、主な和漢薬（漢方薬）の適応、薬理作用を概説できる。																	○
					⑭	ポリファーマシー、使用禁忌、特定条件下での薬物使用（アンチ・ドーピング等）を説明できる。																	
		9) 外科的治療と周術期管理		ねらい		外科的治療と周術期管理の基本を学ぶ。																	
			(1) 外科的治療	学修目標	①	清潔の概念と必要性を説明できる。				○													
					②	手洗いの意味と手技を説明できる。				○													
					③	ガウンテクニックの必要性と手技を説明できる。				○													
					④	創傷治癒のメカニズムを説明できる。																	
					⑤	消毒の意味と方法を説明でき、被覆材の種類と適応、効果を説明できる。																	
					⑥	外科的治療の適応と合併症を説明できる。																	
			(2) 周術期管理	学修目標	①	手術の危険因子を列挙し、その対応の基本を説明できる。										○							
					②	基本的バイタルサイン（体温、呼吸、脈拍、血圧）の意義とモニターの方法を説明できる。																	
					③	主な術後合併症を列挙し、その予防の基本を説明できる。										○							
					④	手術に関するインフォームド・コンセントの注意点を列挙できる。										○							
					⑤	周術期管理における事前のリスク評価を説明できる。																	
					⑥	周術期における主な薬剤の服薬管理（継続、中止等）の必要性とそれに伴うリスクの基本を説明できる。																	
					⑦	周術期管理における輸液・輸血の基本を説明できる。										○							
					⑧	術後痛の管理を説明できる。																	
					⑨	術後回復室の役割を概説できる。																	
					⑩	集中治療室の役割を概説できる。										○							
		10) 麻酔		ねらい		全身麻酔・局所麻酔の基本を学ぶ。																	
				学修目標	①	麻酔の概念、種類と麻酔時の生体反応を説明できる。										○							
					②	麻酔管理を安全に行うための術前評価と呼吸管理を概説できる。										○							
					③	麻酔薬と筋弛緩薬の種類と使用上の原則を説明できる。										○							
					④	吸入麻酔と静脈麻酔の適応、禁忌、方法、事故と合併症を概説できる。										○							
					⑤	気管挿管を含む各種の気道確保法を概説できる。										○							
					⑥	局所麻酔、末梢神経ブロック、神経叢ブロック、脊髄くも膜下麻酔、硬膜外麻酔の適応、禁忌と合併症を概説できる。										○							
					⑦	安全な麻酔のためのモニタリングの方法、重要な異常所見と対処法を概説できる。										○							
					⑧	悪性高熱症や神経筋疾患患者における麻酔管理上の注意点を概説できる。										○							
		11) 食事・栄養療法と輸液療法		ねらい		食事・栄養療法と輸液療法の基本を学ぶ。																	
				学修目標	①	食行動、食事摂取基準、食事バランス、日本食品標準成分表、補助食品、食物繊維・プロバイオティクス・プレバイオティクスを概説できる。							○										○
					②	栄養アセスメント、栄養ケア・マネジメント、栄養サポートチーム(nutrition support team ‹NST›)、疾患別の栄養療法を説明できる。																	
					③	各種補液製剤（ビタミン、微量元素を含む）の特徴と病態に合わせた適応、投与時の注意事項を説明できる。																	
					④	経静脈栄養と経管・経腸栄養の適応、方法と合併症、長期投与時の注意事項を説明できる。																	
					⑤	乳幼児と小児の輸液療法を説明できる。										○						○	
		12) 医療機器と人工臓器		ねらい		医用機器と人工臓器の基本を学ぶ。																	
				学修目標	①	主な医療機器の種類と原理を概説できる。										○							
					②	主な人工臓器の種類と原理を概説できる。																	
		13) 輸血と移植		ねらい		輸血と移植の基本を学ぶ。																	
				学修目標	①	血液製剤及び血漿分画製剤の種類と適応を説明できる。										○							
					②	血液型(ABO、RhD)検査、血液交差適合（クロスマッチ）試験、不規則抗体検査を説明できる。																	
					③	輸血副反応、輸血使用記録保管義務、不適合輸血の防止手順を説明できる。																	
					④	輸血の適正使用、成分輸血、自己血輸血、緊急時の輸血を説明できる。										○							
					⑤	臓器移植、造血幹細胞移植の種類と適応を説明できる。																	
					⑥	移植と組織適合性の関係を説明できる。																	
					⑦	移植後の拒絶反応、移植片対宿主病の病態生理と発症時の対応を説明できる。																	
					⑧	免疫抑制薬の種類、適応と副作用を説明できる。																	
		14) リハビリテーション		ねらい		リハビリテーションの基本を学ぶ。																	
				学修目標	①	リハビリテーションの概念と適応（心大血管疾患、呼吸器疾患、癌等の内部障害を含む）を説明できる。														○			

コア・カリキュラム一覧（平成28年度改訂版）							リハビリテーション医療のシステムと実践	臨床実習入門			LPBL	地域医療の実践	人間と社会			麻酔・集中治療	眼・視覚	耳鼻・頭頸部	皮膚	精神・行動	周産期・生殖器	小児の成長・発達	全人的医療・行動科学
							A4	P4a	P4b	P4c	A4	P4	A4										
													(1)	(2)	(3)								
F 診療の基本	2 基本的診療知識	14) リハビリテーション		学修目標	②	リハビリテーション・チームの構成を理解し、医師の役割を説明できる。														○			
					③	福祉・介護との連携におけるリハビリテーションの役割を説明できる。														○			
					④	障害を国際生活機能分類の心身機能・身体構造、活動、参加に分けて説明できる。														○			
					⑤	機能障害と日常生活動作(activities of daily living <ADL>)の評価ができる。														○			
					⑥	理学療法、作業療法と言語聴覚療法を概説できる。														○			
					⑦	主な歩行補助具、車椅子、義肢(義手、義足)と装具を概説できる。																	
		15) 在宅医療と介護		ねらい		在宅医療と介護の基本を学ぶ。																	
				学修目標	①	在宅医療の在り方、今後の必要性と課題を概説できる。							○										○
					②	在宅医療における多職種連携の重要性を説明できる。							○										○
					③	褥瘡の予防、評価、処置・治療及びチーム医療の重要性を説明できる。																	
					④	在宅における人生の最終段階における医療、看取りの在り方と課題を概説できる。																	○
					⑤	介護の定義と種類を説明できる。							○			○							
					⑥	日常生活動作<ADL>(排泄、摂食、入浴等)に応じた介護と環境整備の要点を概説できる。							○			○							
					⑦	地域包括ケアシステムと介護保険制度、障害者総合支援法等の医療保健福祉制度を概説できる。							○										○
		16) 緩和ケア		ねらい		緩和ケアの基本を学ぶ。																	
				学修目標	①	緩和ケア(緩和ケアチーム、ホスピス、緩和ケア病棟、在宅緩和ケアを含む)を概説できる。							○		○	○							○
					②	全人的苦痛を説明できる。																	○
					③	緩和ケアにおいて頻度の高い身体的苦痛、心理社会的苦痛を列挙することができる。																	○
					④	疼痛のアセスメント、疼痛緩和の薬物療法、癌疼痛治療法を説明できる。										○							○
					⑤	オピオイドの適応と課題を説明できる。																	○
					⑥	緩和ケアにおける患者・家族の心理を説明できる。							○		○	○				○			○
	3基本的診療技能	1) 問題志向型システムと臨床診断推論		学修目標	①	基本的診療知識に基づき、症例に関する情報を収集・分析できる。																	○
					②	得られた情報を基に、その症例の問題点を抽出できる。																	○
					③	病歴と身体所見等の情報を統合して、鑑別診断ができる。																	○
					④	主要疾患の症例に関して、診断・治療計画を立案できる。																	○
		2) 医療面接		学修目標	①	適切な身だしなみ、言葉遣い及び態度で患者に接することができる。		○															○
					②	医療面接における基本的コミュニケーション技法を用いることができる。		○															○
					③	病歴(主訴、現病歴、常用薬、アレルギー歴、既往歴、家族歴、嗜好、生活習慣、社会歴・職業歴、生活環境、家庭環境、海外渡航歴、システムレビュー)を聴き取り、情報を取捨選択し整理できる。		○															○
					④	診察時に患者に適切な体位(立位、座位、半座位、臥位、砕石位)を説明できる。		○															○
					⑤	診察で得た所見、診断、必要な検査を上級医に説明、報告できる。		○															○
		3) 診療録(カルテ)		学修目標	①	適切に患者の情報を収集し、問題志向型医療記録<POMR>を作成できる。			○	○													
					②	診療経過を主観的所見・客観的所見・評価・計画<SOAP>で記載できる。			○	○													
					③	症例を適切に要約する習慣を身に付け、状況に応じて提示できる。			○	○													
					④	プライバシー保護とセキュリティーに充分配慮できる。			○	○													
		4) 臨床判断		学修目標	①	臨床疫学的指標(感度・特異度、尤度比等)を考慮して、必要十分な検査を挙げ、症例における検査結果の臨床的意義を解釈できる。				○			○										
					②	科学的根拠に基づいた治療法を述べることができる。				○			○										
		5) 身体診察	(1) 基本事項	学修目標	①	患者の立場を尊重し、情報を得ることができる。		○															○
					②	患者の安全を重視し、有害事象が生じた場合は適切に対応ができる。		○															○
					③	患者のプライバシー、羞恥心、苦痛に配慮し、個人情報等を守秘できる。		○	○														○
					④	感染を予防するため、診察前後の標準予防策(standard precautions)ができる。		○															
					⑤	身だしなみ、言葉遣い及び態度等に気を配ることができる。		○															
					⑥	患者の状態から診察が可能かどうかを判断し、状態に応じた診察ができる。		○															
			(2) 全身状態とバイタルサイン	学修目標	①	身長・体重を測定し、body mass index <BMI>の算出、栄養状態を評価できる。		○															
					②	上腕で触診、聴診法により血圧を測定できる。		○															
					③	両側の橈骨動脈で脈拍を診察できる。		○															
					④	呼吸数を測定し、呼吸の異常の有無を確認できる。		○															
					⑤	腋窩で体温の測定ができる。		○															
					⑥	下肢の動脈の触診等、下腿の血圧測定(触診法)、大腿の血圧測定(聴診法)を実施できる。		○															
					⑦	全身の外観(体型、栄養、姿勢、歩行、顔貌、皮膚、発声)を評価できる。		○															
			(3) 頭頸部	学修目標	①	頭部(顔貌、頭髪、頭皮、頭蓋)の診察ができる。		○															
					②	眼(視野、瞳孔、対光反射、眼球運動・突出、結膜)の診察ができる。		○									○						
					③	耳(耳介、聴力)の診察ができる。		○															
					④	耳鏡で外耳道、鼓膜を観察できる。		○															
					⑤	音叉を用いて聴力試験を実施できる。		○															
					⑥	口唇、口腔、咽頭、扁桃の診察ができる。		○															
					⑦	鼻腔、副鼻腔の診察ができる。		○															
					⑧	鼻鏡を用いて前鼻腔を観察できる。		○															
					⑨	甲状腺、頸部血管、気管、唾液腺の診察ができる。		○															
					⑩	頭頸部リンパ節の診察ができる。		○															

コア・カリキュラム一覧（平成28年度改訂版）							医療プロフェッショナリズムの実践	臨床実習入門			LPBL	地域医療の実践	人間と社会			麻酔・集中治療	眼・視覚	耳鼻・頭頸部	皮膚	精神・行動	周産期・生殖器	小児の成長・発達	全人的医療・行動科学
							A4	P4a	P4b	P4c	A4	P4	A4 (1)	(2)	(3)								
F 診療の基本	3基本的診療技能	5) 身体診察	(4) 胸部	学修目標	①	胸部の視診、触診、打診ができる。		○															
					②	呼吸音と副雑音の聴診ができる。		○															
					③	心音と心雑音の聴診ができる。		○															
					④	背部の叩打痛を確認できる。		○															
					⑤	乳房の診察を実施できる（シミュレータでも可とする）。		○															
			(5) 腹部	学修目標	①	腹部の視診、聴診ができる。		○															
					②	区分に応じて腹部の打診、触診ができる。		○															
					③	圧痛、腹膜刺激徴候、筋性防御の有無を判断できる。		○															
					④	腹水の有無を判断できる。		○															
					⑤	腸雑音、血管雑音の聴診ができる。		○															
					⑥	直腸（前立腺を含む）指診を実施できる（シミュレータでも可とする）。		○															
			(6) 神経	学修目標	①	意識レベルを判定できる。		○															
					②	脳神経系の診察ができる（眼底検査を含む）。		○															
					③	腱反射の診察ができる。		○															
					④	小脳機能・運動系の診察ができる。		○															
					⑤	感覚系（痛覚、温度覚、触覚、深部感覚）の診察ができる。		○															
					⑥	髄膜刺激所見（項部硬直、Kernig 徴候）を確認できる。		○															
			(7) 四肢と脊柱	学修目標	①	四肢と脊柱（弯曲、疼痛）の診察ができる。		○															
					②	関節（可動域、腫脹、疼痛、変形）の診察ができる。		○															
					③	筋骨格系の診察（徒手筋力テスト）ができる。		○															
			(8) 小児の診察	学修目標（一部方略を含む）	①	主訴からの診断推論を組み立てられる、又はたどることができる。																	
					②	疾患の病態や疫学を理解する。																	
					③	治療の立案・実施に可能な範囲で参加できる。																	
					④	保護者から必要な情報を得たり対応したりすることに可能な範囲で参加できる。																	
					⑤	小児の成長・発達の評価に可能な範囲で参加できる。																	
					⑥	基本的な小児科診察ができる。																○	
					⑦	どのように小児科にコンサルテーションすればよいか説明できる。																	
		6) 基本的臨床手技	(1) 一般手技	学修目標	①	皮膚消毒を実施できる。		○											○				
					②	静脈採血をシミュレータで実施できる。		○															
					③	手指衛生等の標準予防策(standard precautions)を実施できる。		○															
			(2) 検査手技	学修目標	①	尿検査（尿沈渣を含む）を実施できる。		○															
					②	末梢血塗抹標本を作成し、観察できる。		○															
					③	微生物学検査（Gram 染色を含む）を実施できる。		○															
					④	12 誘導心電図を記録できる。		○															
					⑤	経皮的酸素飽和度を測定できる。		○															
			(3) 外科手技	学修目標	①	無菌操作を実施できる。		○		○													
					②	手術や手技のための手洗いができる。		○		○													
					③	手術室におけるガウンテクニックができる。		○		○													
			(4) 救命処置	学修目標	①	緊急性の高い状況かどうかをある程度判断できるようになる。		○															
					②	一次救命処置を実施できる。		○															
G 臨床実習	1 診療の基本	1) 臨床実習	(1) 医師として求められる基本的な資質・能力(A参照)			「A 医師として求められる基本的な資質・能力」（以下、再掲）を常に意識しながら、臨床実習を行う。																	
					①	プロフェッショナリズム				○													
					②	医学知識と問題対応能力																	
					③	診療技能と患者ケア																	
					④	コミュニケーション能力																	
					⑤	チーム医療の実践																	
					⑥	医療の質と安全の管理				○													
					⑦	社会における医療の実践																	
					⑧	科学的探究																	
					⑨	生涯にわたって共に学ぶ姿勢																	
			(2) 診療の基本(F参照)			「F 診療の基本」の内容を基盤として、臨床の現場で研鑽を積む。																	
			(3) 学生を信頼し任せられる役割			臨床実習で学生の評価を行う際はentrustable professional activities <EPA>の考え方を参考にする。下記の大項目を枠組みにしながら、それぞれの診療科で「臨床実習で学生にどのような業務を信頼して任せることができるか」「初期臨床研修の初日にできなければならない業務は何か」について考慮し、実際に行う臨床業務の形で学修目標を設定する。																	
					①	病歴を聴取して身体診察を行う。																	
					②	鑑別診断を想定する。																	
					③	基本的な検査の結果を解釈する。																	
					④	処方を計画する。																	
					⑤	診療記録（カルテ）を記載する。																	
					⑥	患者の状況について口頭でプレゼンテーションする。																	

コア・カリキュラム一覧（平成28年度改訂版）						医療プロフェッショナリズムの実践 A4	臨床実習入門 P4a	臨床実習入門 P4b	臨床実習入門 P4c	LPBL A4	地域医療の実践 P4	人間と社会 A4 (1)	人間と社会 A4 (2)	人間と社会 A4 (3)	麻酔・集中治療	眼・視覚	耳鼻・頭頸部	皮膚	精神・行動	周産期・生殖器	小児の成長・発達	全人的医療・行動科学
G 臨床実習	1 診療の基本	1) 臨床実習	(3) 学生を信頼し任せられる役割	⑦	臨床上の問題を明確にしてエビデンスを収集する。																	
				⑧	患者さんの申し送りを行う・受け取る。																	
				⑨	多職種のチームで協働する。																	
				⑩	緊急性の高い患者さんの初期対応を行う。																	
				⑪	インフォームド・コンセントを得る。																	
				⑫	基本的臨床手技を実施する。																	
				⑬	組織上の問題の同定と改善を通して医療安全に貢献する。																	
	2 臨床推論	1) 発熱		感染症	肺炎、結核、尿路感染症																	
				腫瘍	悪性リンパ腫、腎細胞癌																	
				自己免疫	全身性エリテマトーデス<SLE>、炎症性腸疾患																	
				環境	熱中症																	
		2) 全身倦怠感		感染症・炎症性	結核、肝炎																	
				精神	うつ病、双極性障害														○			
				中毒性	アルコール依存症、薬物依存症																	
				内分泌・代謝	甲状腺機能亢進症、甲状腺機能低下症、更年期障害																	
				腫瘍	悪性腫瘍全般																	
		3) 食思（欲）不振		腫瘍	悪性腫瘍全般																	
				消化器	機能性ディスペプシア<FD>																	
				呼吸器	慢性閉塞性肺疾患<COPD>																	
				循環器	心不全																	
				精神	うつ病														○			
		4) 体重減少・体重増加	（体重増加）	急性	心不全、ネフローゼ症候群																	
				慢性	甲状腺機能低下症																	
			（体重減少）	腫瘍	悪性腫瘍全般																	
				内分泌	糖尿病、甲状腺機能亢進症																	
				精神	うつ病														○			
				感染症	結核																	
				自己免疫	炎症性腸疾患																	
				消化器	慢性膵炎																	
				中毒	アルコール依存症																	
		5) ショック		循環血液量減少性	急性消化管出血、大動脈瘤破裂、熱傷																	
				心原性	急性心筋梗塞、心筋炎																	
				閉塞性	緊張性気胸、肺塞栓症																	
				血液分布異常性	敗血症、急性膵炎、アナフィラキシー、脊髄損傷																	
		6) 心停止		心血管	急性心筋梗塞、急性大動脈解離、大動脈瘤破裂																	
				呼吸器	緊張性気胸、外傷性気胸																	
				神経原性	くも膜下出血、頭部外傷、脊髄損傷																	
				自己免疫	アナフィラキシー																	
				環境	熱中症、寒冷による障害																	
		7) 意識障害・失神		脳原発性	くも膜下出血、頭蓋内血腫、脳炎																	
				全身性	心筋梗塞、不整脈、肺塞栓症、てんかん、急性消化管出血、肝不全																	
		8) けいれん		脳血管障害	脳梗塞																	
				中毒	薬物依存症、アルコール依存症																	
				感染症	脳炎、脳症、熱性けいれん																	
		9) めまい		末梢性	良性発作性頭位めまい症																	
				中枢性	脳出血、脳梗塞																	
				失神性	不整脈、肺塞栓症、弁膜症																	
				心因性	パニック障害														○			
		10) 脱水		消化器	急性消化管出血、乳児下痢症、急性膵炎																	
				内分泌・代謝	糖尿病																	
				環境	熱中症、熱傷																	
		11) 浮腫		局所性	深部静脈血栓症																	
				全身性	心不全、ネフローゼ症候群、慢性腎臓病、肝硬変、甲状腺機能低下症																	
		12) 発疹		感染症	ウイルス性発疹症（麻疹、風疹、水痘、ヘルペス）													○				
				アレルギー、自己免疫	蕁麻疹、薬疹、全身性エリテマトーデス<SLE>													○				
		13) 咳・痰		感染症	気管支炎、肺炎、副鼻腔炎																	
				腫瘍	肺癌																	
				特発性	間質性肺疾患																	

コア・カリキュラム一覧（平成28年度改訂版）						リフズェ医ムッ療のシブ実ョロ践ナ	臨床実習入門			LPBL	地域医療の実践	人間と社会			麻酔・集中治療	眼・視覚	耳鼻・頭頸部	皮膚	精神・行動	周産期・生殖器	小児の成長・発達	全人的医療・行動科学
						A4	P4a	P4b	P4c	A4	P4	A4										
												(1)	(2)	(3)								
G 臨床実習	2 臨床推論	13) 咳・痰		自己免疫	気管支喘息																	
				消化器	胃食道逆流症<GERD>																	
		14) 血痰・喀血		呼吸器	肺結核、肺癌																	
				心血管系	僧帽弁膜症、心不全																	
				出血傾向	白血病、播種性血管内凝固<DIC>																	
		15) 呼吸困難		呼吸器	肺塞栓症、急性呼吸促(窮)迫症候群<ARDS>、気管支喘息、慢性閉塞性肺疾患<COPD>、緊張性気胸																	
				循環器	心不全																	
				心因性	パニック障害、過換気症候群														○			
		16) 胸痛		呼吸器	肺塞栓症、気胸																	
				循環器	急性冠症候群																	
				消化器	胃食道逆流症<GERD>																	
				心因性	パニック障害														○			
		17) 動悸		循環器	不整脈																	
				二次性	甲状腺機能亢進症																	
				心因性	パニック障害														○			
		18) 浮腫		循環器	心不全																	
				呼吸器	肺炎、肺結核、肺癌																	
				消化器	肝硬変、急性膵炎																	
				自己免疫	関節リウマチ、全身性エリテマトーデス<SLE>																	
				腎・泌尿器	ネフローゼ症候群																	
		19) 嚥下困難・障害		神経	脳出血、脳梗塞																	
				呼吸器	扁桃炎、肺癌																	
				消化器	胃食道逆流症<GERD>、食道癌																	
				心因性	身体症状症														○			
		20) 腹痛		消化器	機能性ディスペプシア<FD>、過敏性腸症候群、炎症性腸疾患、消化性潰瘍、急性虫垂炎、胆石症、急性膵炎、腸閉塞、鼠径ヘルニア																	
				泌尿・生殖器	尿路結石、流・早産																	
				循環器	急性冠症候群																	
				心因性	身体症状症														○			
		21) 悪心・嘔吐		消化管	機能性ディスペプシア<FD>、腸閉塞、食中毒																	
				循環器	急性心筋梗塞																	
				神経	片頭痛、脳出血、くも膜下出血、頭蓋内血腫																	
				精神	うつ病														○			
		22) 吐血・下血	（吐血）	食道	食道静脈瘤、食道癌																	
				胃	消化性潰瘍、胃癌																	
			（下血）	上部消化管	食道静脈瘤、消化性潰瘍																	
				下部消化管	炎症性腸疾患、大腸癌																	
		23) 便秘・下痢	（便秘）	機能性	過敏性腸症候群、甲状腺機能低下症																	
				器質性	腸閉塞、大腸癌																	
			（下痢）	炎症性	急性胃腸炎、炎症性腸疾																	
				腸管運動異常	過敏性腸症候群、甲状腺機能亢進症																	
				浸透圧性	慢性膵炎																	
		24) 黄疸		抱合型	急性肝炎、慢性肝炎、肝硬変、胆管炎、膵癌																	
				非抱合型	溶血性貧血																	
		25) 腹部膨隆（腹水を含む）・腫瘤		消化管	腸閉塞、大腸癌																	
				腹水	肝硬変、ネフローゼ症候群、心不全																	
				腫瘤	肝癌、卵巣嚢腫																	
		26) 貧血		鉄欠乏性貧血	消化性潰瘍、痔核、子宮筋腫																	
				造血器腫瘍	白血病、骨髄腫																	
				二次性貧血	肝硬変、慢性腎臓病、アルコール依存症																	
		27) リンパ節腫脹		感染症	ウイルス性発疹症（風疹・麻疹）、結核																	
				自己免疫	全身性エリテマトーデス<SLE>													○				
				腫瘍	悪性リンパ腫、その他の悪性腫瘍全般																	
		28) 尿量・排尿の異常	（多尿）	浸透圧利尿	糖尿病																	
				中毒	薬剤性																	
			（頻尿）	器尿障害	尿路感染症、腎髄質嚢胞																	
				排出困難（排出障害）	前立腺肥大症、尿路感染症、前立腺癌																	
		29) 血尿・タンパク尿		腎臓	糸球体腎炎症候群、ネフローゼ症候群、糖尿病腎症、腎細胞癌																	
				尿管、膀胱	尿路結石、尿路感染症、膀胱癌																	
		30) 月経異常		無月経	妊娠															○		

コア・カリキュラム一覧（平成28年度改訂版）						医療プロフェッショナリズムの実践 A4	臨床実習入門 P4a	臨床実習入門 P4b	臨床実習入門 P4c	LPBL A4	地域医療の実践 P4	人間と社会 A4 (1)	人間と社会 A4 (2)	人間と社会 A4 (3)	麻酔・集中治療	眼・視覚	耳鼻・頭頸部	皮膚	精神・行動	周産期・生殖器	小児の成長・発達	全人的医療・行動科学
G 臨床実習	2 臨床推論	30) 月経異常	月経困難		月経困難症、子宮内膜症															○		
			不正性器出血		子宮頸癌、子宮体癌															○		
		31) 不安・抑うつ	一次性		うつ病、双極性障害、不安障害														○			
			二次性（不安障害）		甲状腺機能亢進症、悪性腫瘍全般														○			
			二次性（うつ病）		甲状腺機能低下症、認知症、Parkinson 病、悪性腫瘍全般														○			
		32) もの忘れ	血管		脳梗塞																	
			変性		認知症、Parkinson 病														○			
			精神		うつ病														○			
		33) 頭痛	機能性		緊張型頭痛、片頭痛																	
			症候性		髄膜炎、脳出血、くも膜下出血、緑内障、急性副鼻腔炎																	
		34) 運動麻痺・筋力低下	脳病変		脳梗塞、一過性脳虚血発作、脳出血、頭蓋内血腫																	
			脊髄病変		脊髄損傷、椎間板ヘルニア																	
			末梢神経病変		糖尿病																	
			神経筋接合部病変		肺癌																	
			筋病変		甲状腺機能亢進症、アルコール性中毒																	
		35) 腰背部痛	呼吸器		肺癌																	
			心血管		急性大動脈解離																	
			消化器		胆石症																	
			泌尿・生殖器		尿管結石、腎細胞癌																	
			脊椎		椎間板ヘルニア、変形性脊椎症、脊柱管狭窄症、脊椎圧迫骨折、骨髄腫																	
		36) 関節痛・関節腫脹	単関節炎		痛風																	
			多発関節炎		関節リウマチ、全身性エリテマトーデス<SLE>																	
		37) 外傷・熱傷	一次性		頭部外傷、骨折、外傷性気胸、脊髄損傷、熱傷																	
			二次性		急性大動脈解離、脳出血、くも膜下出血、頭蓋内血腫																	
	3 基本的臨床手技		ねらい		基本的臨床手技の目的、適応、禁忌、合併症と実施法について事前に十分理解した上で、指導医の指導・監督の下で自ら実施する、又は指導医の実施を見学し、介助する。																	
		1) 一般手技	学修目標	①	体位交換、移送ができる。																	
				②	皮膚消毒ができる。													○				
				③	外用薬の貼付・塗布ができる。													○				
				④	気道内吸引、ネブライザーを実施できる。																	
				⑤	静脈採血を実施できる。																	
				⑥	末梢静脈の血管確保を実施できる。																	
				⑦	中心静脈カテーテル挿入を見学し、介助する。																	
				⑧	動脈血採血・動脈ラインの確保を見学し、介助する。																	
				⑨	腰椎穿刺を見学し、介助する。																	
				⑩	胃管の挿入と抜去ができる。																	
				⑪	尿道カテーテルの挿入と抜去を実施できる。																	
				⑫	ドレーンの挿入と抜去を見学し、介助する。																	
				⑬	注射(皮内、皮下、筋肉、静脈内)を実施できる。																	
				⑭	全身麻酔、局所麻酔、輸血を見学し、介助する。																	
				⑮	眼球に直接触れる治療を見学し、介助する。																	
				⑯	診療録（カルテ）を作成する。																	
				⑰	各種診断書・検案書・証明書の作成を見学し、介助する。																	
		2) 検査手技	学修目標	①	尿検査（尿沈渣を含む）を実施できる。																	
				②	末梢血塗抹標本を作成し、観察できる。																	
				③	微生物学検査（Gram 染色を含む）を実施できる。																	
				④	妊娠反応検査を実施できる。																	
				⑤	血液型判定を実施できる。																	
				⑥	視力、視野、聴力、平衡機能検査を実施できる。											○						
				⑦	12 誘導心電図を記録できる。																	
				⑧	脳波検査の記録ができる。														○			
				⑨	眼球に直接触れる検査を見学し、介助する。											○						
				⑩	心臓、腹部の超音波検査を実施できる。																	
				⑪	経皮的酸素飽和度を測定できる。																	
				⑫	エックス線撮影、コンピュータ断層撮影<CT>、磁気共鳴画像法<MRI>、核医学検査、内視鏡検査を見学し、介助する。																	
		3) 外科手技	学修目標	①	無菌操作を実施できる																	
				②	手術や手技のための手洗いができる。																	
				③	手術室におけるガウンテクニックができる。																	
				④	基本的な縫合と抜糸ができる。																	

コア・カリキュラム一覧（平成28年度改訂版）							リフズェ医ムッ療のシプ実ョロ践ナ	臨床実習入門			LPBL	地域医療の実践	人間と社会			麻酔・集中治療	眼・視覚	耳鼻・頭頸部	皮膚	精神・行動	周産期・生殖器	小児の成長・発達	全人的医療・行動科学
							A4	P4a	P4b	P4c	A4	P4	A4										
													(1)	(2)	(3)								
G 臨床実習	3 基本的臨床手技	3) 外科手技		学修目標	⑤	創の消毒やガーゼ交換ができる。																	
					⑥	手術、術前・術中・術後管理を見学し、介助する。																	
		4) 救命処置		学修目標	①	身体徴候、バイタルサインから緊急性の高い状況であることを判断できる。																	
					②	一次救命処置を実施できる。																	
					③	二次救命処置を含む緊急性の高い患者の初期対応に可能な範囲で参加する。																	
	4 診療科臨床実習	1) 必ず経験すべき診療科	(1) 内科	ねらい	①	将来、内科医にならない場合にも必要な内科領域の診療能力について学ぶ。																	
					②	内科医のイメージを獲得する。																	
				学修目標（一部方略を含む）	①	主訴からの診断推論を組み立てる、又はたどる。																	
					②	疾患の病態や疫学を理解する。																	
					③	内科的治療の立案・実施に可能な範囲で参加する。																	
					④	複数の臓器にまたがる問題を統合する視点を獲得する。																	
					⑤	基本的な内科的診察技能について学ぶ。																	
					⑥	どのように内科にコンサルテーションすればよいかわかる。																	
			(2) 外科	ねらい	①	将来、外科医にならない場合にも必要な外科領域の診療能力について学ぶ。																	
					②	外科医のイメージを獲得する。																	
				学修目標（一部方略を含む）	①	外科的治療の適応を知る。																	
					②	手術計画の立案に可能な範囲で参加する。																	
					③	周術期管理に可能な範囲で参加する。																	
					④	手術等の外科的治療に可能な範囲で参加する。																	
					⑤	基本的な外科的手技について学ぶ。																	
					⑥	どのように外科にコンサルテーションすればよいかわかる。																	
			(3) 小児科	ねらい	①	将来、小児科にならない場合にも必要な小児科領域の診療能力について学ぶ。																	
					②	小児科医のイメージを獲得する。																	
				学修目標（一部方略を含む）	①	主訴からの診断推論を組み立てる、又はたどる。																	
					②	疾患の病態や疫学を理解する。																	
					③	治療の立案・実施に可能な範囲で参加する。																	
					④	保護者から必要な情報を得たり対応したりすることに可能な範囲で参加する。																	
					⑤	小児の成長・発達の評価に可能な範囲で参加する。																	
					⑥	基本的な小児科診察技能について学ぶ。																	
					⑦	どのように小児科にコンサルテーションすればよいかわかる。																	
			(4) 産婦人科	ねらい	①	将来、産婦人科医にならない場合にも必要な産婦人科領域の診療能力について学ぶ。																	
					②	産婦人科医のイメージを獲得する。																	
				学修目標（一部方略を含む）	①	妊婦の周産期診察及び分娩に可能な範囲で参加する。																	
					②	女性の健康問題に関する理解を深める。																	
					③	主訴からの診断推論を組み立てる、又はたどる。																	
					④	疾患の病態や疫学を理解する。																	
					⑤	手術を含めた婦人科的治療に可能な範囲で参加する。																	
					⑥	基本的な婦人科診察技能について学ぶ。																	
					⑦	どのように産婦人科にコンサルテーションすればよいかわかる。																	
			(5) 精神科	ねらい	①	将来、精神科医にならない場合にも必要な精神科領域の診療能力について学ぶ。																	
					②	精神科医のイメージを獲得する。																	
				学修目標	①	主訴からの診断推論を組み立てる、又はたどる。														○			
					②	疾患の病態や疫学を理解する。														○			
					③	精神科的治療に可能な範囲で参加する。														○			
					④	基本的な精神科面接技法について学ぶ。														○			
					⑤	どのように精神科にコンサルテーションすればよいかわかる。														○			
			(6) 総合診療科	ねらい	①	どの科の医師になっても求められる総合診療能力について学ぶ。																	
					②	総合診療医のイメージを獲得する。																	
				学修目標	①	病歴・身体診察を重視した診断推論（診断がつかない場合を含む）を組み立てる、又はたどる。																	
					②	健康問題に対する包括的アプローチ（複数の健康問題の相互作用等）を体験する。																	
					③	家族や地域といった視点をもち、心理・社会的背景により配慮した診療に可能な範囲で参加する。																	
					④	在宅医療を体験する。																	
					⑤	多職種連携を体験してその重要性を認識する。																	
					⑥	臨床現場において、保健・医療・福祉・介護に関する制度に触れる。																	
			(7) 救急科	ねらい	①	どの科の医師になっても求められる救急診療能力について学ぶ。																	
					②	救急科医のイメージを獲得する。																	
				学修目標	①	呼吸、循環を安定化するための初期治療を学ぶ。																	
					②	症候をベースとした診断推論を組み立てる、又はたどる。																	
					③	チーム医療の一員として良好なコミュニケーションを実践できる。																	

コア・カリキュラム一覧（平成28年度改訂版）							リフズェ医ムッ療のシプ実ョロ践ナ	臨床実習入門			LPBL	地域医療の実践	人間と社会			麻酔・集中治療	眼・視覚	耳鼻・頭頸部	皮膚	精神・行動	周産期・生殖器	小児の成長・発達	全人的医療・行動科学
							A4	P4a	P4b	P4c	A4	P4	A4										
													(1)	(2)	(3)								
	4 診療科臨床実習	1) 必ず経験すべき診療科	(7) 救急科	学修目標	④	家族や地域といった視点をもち、保健・医療・福祉・介護との連携を学ぶ。																	
					⑤	救急隊員との連携を通じて、病院前救護体制とメディカルコントロールについて学ぶ。																	
					⑥	地域の災害医療体制について学ぶ。																	
		2) 上記以外の診療科		ねらい	①	将来、該当診療科の医師にならない場合にも必要な該当診療科領域の診療能力について学ぶ。																	
					②	該当診療科の医師のイメージを獲得する。																	
				学修目標	①	主訴からの診断推論を組み立てる、又はたどる。																	
					②	疾患の病態や疫学を理解する。																	
					③	該当診療科の治療に可能な範囲で参加する。																	
					④	該当診療科の基本的な診察技能について学ぶ。																	
					⑤	どのように該当診療科にコンサルテーションすればよいかわかる。																	
		3) 地域医療実習		ねらい		地域社会で求められる保健・医療・福祉・介護等の活動を通して地域医療と地域包括ケアシステムを一体的に構築することの必要性・重要性を学ぶ。																	
				教育方略	①	学外の臨床研修病院等の地域病院や診療所、さらに保健所や社会福祉施設等の協力を得る。							○										
					②	必要に応じて臨床教授制度等を利用する。																	
					③	早期臨床体験実習を拡充し、低学年から継続的に地域医療の現場に接する機会を設ける。																	
					④	衛生学・公衆衛生学実習等と連携し、社会医学的（主に量的）な視点から地域を診る学習機会を作る。							○										
					⑤	人類学・社会学・心理学・哲学・教育学等と連携し、行動科学・社会科学的（主に質的）な視点から地域における生活の中での医療を知り体験する学習機会を作る。							○										
		4) シミュレーション教育		ねらい		医療安全の観点から臨床現場を想定した環境でシミュレーションによるトレーニングを積むことで、実際の臨床現場で対処できるようになる。																	
				教育方略	①	シミュレーターを用いて反復練習をすることで、臨床技能を磨く。																	
					②	模擬患者の協力を得て、臨床技能（コミュニケーションスキルを含む）や医療者に求められる態度を身に付ける。																	
					③	シナリオを用いたトレーニングを通して、状況判断、意思決定能力を獲得する。																	
					④	チームトレーニングによって、チーム医療の実践能力を高める。																	
					⑤	振り返りによって自己省察能力を高める。																	

関西医科大学学則

第１章　使命及び目的

第１条　本学は、教育基本法及び学校教育法に基づき、特に私学の本領を発揮しつつ、独創的な知性と豊かな人間性を備え、社会に貢献し得る医療人を育成するとともに、深く医学、看護学及びリハビリテーション学を研究し、広く文化の発展と公共の健康・福祉に寄与することを使命とする。

２　本学は、建学の精神である慈しみ、めぐみ、愛を心の規範とした人材の養成に関する目的を、学部ごとに次のとおり定める。

(1) 医学部は、医学及び医療の進歩と質の向上に努め、豊かな人間性と知識を備え、生涯にわたり国際社会や地域社会に貢献できる医人を育成する。

(2) 看護学部は、幅広い教養と高い倫理観・人間愛を基盤とした思考力と判断力をもち、グローバルな視野のもと社会に貢献できる柔軟な創造力と行動力を備え、人間の生命・健康・生活を統合し時代や地域を超えて通用する高度な看護実践力をもつ人材を育成する。

(3) リハビリテーション学部は、理学療法学及び作業療法学を中心に幅広い教養を基礎として、理学療法士、作業療法士として必要な知識と技術を教授し、将来にわたって活躍できる高度な実践力を持ち、専門職として多職種と連携し医療・社会に貢献できる人材を育成する。

第２条　本学は、教育研究水準の向上を図り、大学の目的及び社会的使命を達成するため、本学における教育研究及びこれに関連する活動等の状況について、自ら点検及び評価を行う。

２　前項の点検及び評価を行う評価体制及び評価項目は、別に定める。

第２章　組織、修業年限及び在学年限

第３条　本学に次の学部及び学科をおく。

医学部　医学科

看護学部　看護学科

リハビリテーション学部　理学療法学科

作業療法学科

第４条　医学部の修業年限は６年とする。

２　看護学部の修業年限は４年とする。

３　リハビリテーション学部の修業年限は４年とする。

第５条　医学部の在学年限は、通算10年を超えることはできず、かつ同一学年の在学年限は２年とする。ただし、同一学年の在学年限は、学長が特別の事由があると認めた場合は、１年を限度としてその期間を延長することができる。

２　看護学部の在学年限は８年以内とする。

３　リハビリテーション学部の在学年限は８年以内とする。

第３章　学年、学期及び休業日

第６条　学年は４月１日に始まり、翌年３月31日に終わる。

第７条　学年を次の学期に分ける。

医学部第１・２・３・４・５・６学年においては

１学期　４月１日から８月31日に至る。

２学期　９月１日から12月31日に至る。

３学期　翌年１月１日から３月31日に至る。
看護学部第１・２・３・４学年においては
１学期　４月１日から８月31日に至る。
２学期　９月１日から11月30日に至る。
３学期　12月１日から翌年３月31日に至る。
リハビリテーション学部第１・２・３・４学年においては
前期　４月１日から９月30日に至る。
後期　10月１日から翌年３月31日に至る。
第８条　定期休業日を次のとおり定める。
（１）　日曜日
（２）　国民の祝日
（３）　本大学創立記念日（６月30日）
（４）　毎月の第２・４土曜日
（５）　春季休業
医学部及び看護学部においては、３月21日から４月10日に至る。リハビリテーション学部においては、２月15日から３月31日に至る。
（６）　夏季休業
医学部及び看護学部においては、７月21日から８月31日に至る。リハビリテーション学部においては、８月15日から９月30日に至る。
（７）　冬季休業
医学部及び看護学部においては、12月25日から翌年１月７日に至る。リハビリテーション学部においては、12月27日から１月５日に至る。
ただし、休業日においても、特に授業あるいは試験を行うことがある。また春、夏、冬季の休業日の期日を変更することがある。
２　前項第２号または第３号に定める休業日が、同項第１号に定める休日に当るときは、その翌日を休業日とする。

第４章　教育課程、授業科目及び履修方法等

第９条　１年間の授業を行う期間は、35週にわたることを原則とする。
第10条　本学において教授する科目及び単位数は別表第１、別表第２、及び別表第３のとおりとする。
第11条　授業は、講義、演習、実習のいずれかにより、またはこれらの併用により行うものとする。
２　前項の授業は、多様なメディアを高度に利用して、教室等以外の場所で履修させることができる。
３　授業科目の単位は、大学設置基準（昭和31年文部省令第28号）により、原則として授業時間内での学修とそれ以外での自主的な学修とを合わせて45時間の学修内容をもって１単位とし、各授業の方法に応じ次の各号の基準により単位数を計算する。
（１）　講義及び演習については、15時間から30時間の授業をもって１単位とする。
（２）　実習については、30時間から45時間までの授業をもって１単位とする。
（３）　講義、演習または実習のうち二以上の方法により行う場合については、その組み合わせに応じ、前項に規定する基準を考慮した授業時間をもって１単位とする。
第12条　本学における教室、講座及び領域は、別表第４のとおりとする。

第５章　学科課程の修了認定

第13条　授業科目履修修了の認定は試験その他によって行う。

第14条　履修修了認定に関する細則は別に定める。

第15条　進級の認定については、学年末または大学が定めた時期に、当該学部長が第58条に定める当該教授会の議を経て学長に報告し、学長が決定する。

第６章　卒業及び学位

第16条　医学部においては６年以上在学し、第14条及び別表第１に定めるすべての授業科目に合格した者について、当該学部長は当該教授会の議を経て学長へ報告し、学長が卒業を認定した上、学士（医学）の学位を授与する。

２　看護学部においては４年以上在学し、第14条及び別表第２に定めるすべての授業科目に合格した者について、当該学部長は当該教授会の議を経て学長へ報告し、学長が卒業を認定した上、学士（看護学）の学位を授与する。

３　リハビリテーション学部においては４年以上在学し、第14条及び別表第３に定めるすべての授業科目に合格した者について、当該学部長は当該教授会の議を経て学長へ報告し、学長が卒業を認定した上、理学療法学科　学士（理学療法学）、作業療法学科　学士（作業療法学）の学位を授与する。

第７章　入学

第17条　入学の時期は学年の始めとする。ただし、再入学及び転入学はこの限りではない。

第18条　本学の入学資格は次の各号のいずれかに該当する者とする。

（１）　高等学校（中等教育学校の後期課程を含む。以下同じ。）を卒業した者

（２）　通常の課程による12年の学校教育を修了した者

（３）　学校教育法施行規則第150条の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者

①　外国において学校教育における12年の課程を修了した者、又これに準ずる者で文部科学大臣の指定した者

②　文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者

③　専修学校の高等課程（修業年限が３年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）を修了した者

④　文部科学大臣が指定した者

⑤　高等学校卒業程度認定試験規則による高等学校卒業程度認定試験に合格した者（旧規定による大学入学資格検定に合格した者を含む。）

⑥　個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると本学が認めた者で18歳に達した者

第19条　入学は前条の資格のある者について、厳正な銓衡を行った上、学長がこれを許可する。

第20条　入学志願者は入学志願票に、所定の書類及び別に定める入学検定料を添えて提出しなければならない。

第21条　入学を許可された者は、保証人連署の誓約書及び所定の書類を提出しなければならない。

第22条　保証人は、独立の生計を営む成年者２名とし、うち１名は、父母又はこれに代わる保護者としなければならない。

2　前項の保証人が遠隔の地に居住しているときは、他の保証人は、原則として大阪府または近隣府県に住所を有する独立の生計を営む成年者でなければならない。
3　保証人は、学生在学中に係る一切の事項についてその責任を負うものとする。
第23条　保証人を変更する必要が生じた時は、速やかにその旨を届け出なければならない。
第24条　学生及び保証人が氏名、本籍（本人のみ）、住所等を変更した時は、直ちに届け出ねばならない。

第８章　欠席、休学、退学及び転学

第25条　疾病または事故などのため欠席する場合は、必ずその事由を届け出なければならない。疾病のために欠席７日以上に及ぶ場合は、医師の診断書を添えなければならない。
第26条　疾病または事故などやむを得ない事由で３カ月以上修学を中止しようとする場合は、期間を定め、事由を証明する書類を添え、保護者連署で、休学を願い出なければならない。
第27条　休学期間は引き続き１年を超えることはできない。ただし、学長が特別の事由があると認めた場合は、１年を限度としてその期間を延長することができる。
2　休学期間は、通算２年を超えることができない。ただし、学長が特別の事由があると認めた場合は、原則１年を限度としてその期間を延長することができる。
3　休学の期間は、在学年限に算入しない。
第28条　本学が、疾病のため一定期間休養が必要であると認めた学生及び伝染性疾患のため他の学生に迷惑を及ぼす虞れがあると認めた学生に対しては、休学を命ずることがある。
第29条　休学期間内にその事由が終わったときは、復学を願い出て許可を得なければならない。ただし、疾病による休学者は医師の証明書の添付を必要とする。
第30条　疾病その他の事由で退学しようとする学生は、保護者連署で願い出て、学長の許可を受けなければならない。ただし、疾病の場合は、医師の診断書を添えなければならない。
第31条　退学した者が再入学を願い出た時は、その理由、在学中の成績及び勤惰を銓衡して、原学年以下に再入学を許可することがある。
第32条　他の大学から本学に、転学を願い出た者がある時は、別に定める規定により、学長がこれを許可することがある。
第33条　本学から他の大学へ、転学を願い出た者がある時は、別に定める規定により、学長がこれを許可することがある。

第９章　賞罰及び除籍

第34条　成績優秀、操行善良で、他の模範であると認めた者は、これを褒賞することがある。
第35条　学生が本学の秩序を乱し、その他学生としての本分に反した行為を行った時は、当該学部長が当該教授会の議を経て学長へ報告し、学長がこれを懲戒する。
2　前項の懲戒の種類は、訓告・停学・退学とする。
3　前項の退学は、次の各号のいずれかに該当する者に対して行う。
（１）　性行不良で改善の見込みがないと認められる者
（２）　学力劣等で成業の見込みがないと認められる者
（３）　正当の理由がなくて出席常でない者
（４）　本学の秩序を乱し、その他学生としての本分に著しく反した者
4　前々項の規定により停学となった者の当該停学期間は、第５条に定める在学年限に算入する。
第36条　次の各号のいずれかに該当する者は、当該学部長が当該教授会の議を経て学長へ報告し、学

長が除籍する。
（1） 正当な理由がなく授業料等規定の納付を怠り、督促してもなお納付しない者
（2） 第５条に定める在学年限をこえた者
（3） 第27条に定める休学期間をこえた者

第10章　授業料その他の納入金

第37条　授業料・実験実習費及び施設設備費の金額並びに納入期は別表第５のとおりとする。
第38条　入学金及びその他の納入金の金額並びに納入期は別表第６のとおりとする。
第39条　授業料その他の納入金は、経済情況の変化により、その金額を変更することがある。また一旦納入した納入金は別に定めのある場合のほかは還付しない。

第11章　収容定員

第40条　本学学部における入学定員及び収容定員は次のとおりとする。
医学部医学科　入学定員　収容定員
＊別表第７に定める
看護学部看護学科　入学定員　100名　収容定員　400名
リハビリテーション学部
理学療法学科　入学定員　60名　収容定員　240名
作業療法学科　入学定員　40名　収容定員　160名

第12章　委託生、聴講生及び外国人学生

第41条　本学に委託生を託された場合は、その学歴を銓衡してこれを許可することがある。
第42条　１科目または数科目の聴講生を許可することがある。
第43条　外国人学生を入学せしめることがある。外国人学生には特に規定ある場合の外は、一般規定を準用する。

第13章　公開講座

第44条　本学に公開講座を設けることがある。

第14章　学生の補導及び厚

第45条　本学に補導厚生保健施設をおく。その規定は別に定める。

第15章　学生心得

第46条　学生心得は別にこれを定める。

第16章　職員組織

第47条　本学に学長をおく。
２　学長は、校務をつかさどり、所属職員を統督する。
３　学長選考規程は別に定める。
第48条　本学に副学長をおく。
２　副学長は、学長を助け、学長の命を受けて校務をつかさどる。
３　副学長に関する規程は別に定める。

第49条　医学部に学部長をおく。医学部長選考規程は別に定める。
２　医学部長は、学長の命を受けて当該学部に関する校務をつかさどる。
３　看護学部に学部長をおく。看護学部長選考規程は別に定める。
４　看護学部長は、学長の命を受けて当該学部に関する校務をつかさどる。
５　リハビリテーション学部に学部長をおく。リハビリテーション学部長選考規程は別に定める。
６　リハビリテーション学部長は、学長の命を受けて当該学部に関する校務をつかさどる。
第50条　本学に学生を教授し、その研究を指導し、または研究に従事する教授、准教授、講師、助教をおく。また、教育、研究の円滑な実施に必要な業務に従事する助手をおく。これらの定員及び資格については別にこれを定める。
第51条　本学の事務を処理するため事務職員をおく。
第52条　本学の教職員を、専任及び兼任に区別し、その勤務規定は別にこれを定める。

第17章　大学院

第53条　本学に、大学院を置く。
２　大学院学則は、別に定める。

第18章　附属施設

第54条　本学に附属病院を設ける。その規定は別に定める。
第55条　本学に附属生命医学研究所を設ける。その規定は別に定める。
第56条　本学に附属図書館を設ける。その規定は別に定める。
第57条　本学に附属光免疫医学研究所を設ける。その規定は別に定める。

第19章　教授会

第58条　医学部、看護学部及びリハビリテーション学部にそれぞれ教授を以って組織する教授会をおく。
第59条　教授会は学長がこれを招集、出席し、各学部の学部長が議長となる。
第60条　教授会は下記の事項を審議し、学長に対し意見を述べるものとする。
（１）　学長候補推挙に関する事項
（２）　本学学則制定及び改廃に関する事項
（３）　学科課程その他授業に関する事項
（４）　入学及び進級並びに卒業に関する事項
（５）　学位の授与
（６）　教育及び研究に関する事項
（７）　教授、准教授、その他教職員の選考に関する事項
（８）　学生の補導及び厚生に関する事項
（９）　大学諮問会議に附議すべき議題の作成並びに決定事項の実施に関する事項
（10）　前各号に定める事項のほか、学長の諮問する事項
第61条　教授会は前条に定めるもののほか、学長及び学部長の求めに応じ、学長等がつかさどる校務に関する事項について審議または協議し、意見を述べるものとする。
第62条　教授会規程は別に定める。

第20章　大学諮問会議

第63条　本学の医学部、看護学部及びリハビリテーション学部に共通する事項を審議または協議するために、大学諮問会議をおく。

２　大学諮問会議の組織・運営等に関する事項は、別に定める。

第21章　学則の改廃

第64条　学則の改廃は、各学部学部長が各学部教授会の議を経て学長へ報告し、学長が決定した内容に基づいて、理事会が行う。

学則・別表第１　医学部単位表

科目区分	科目名		受講学年及び単位数							必修･選択の別
			第１学年	第２学年	第３学年	第４学年	第５学年	第６学年	計	
ユニット	生体の構造と機能	Ａ１	６						６	必修
		Ｂ１	２						２	必修
		Ｂ２		２					２	必修
		Ｃ２		８					８	必修
		Ｐ１ａ	１						１	必修
		Ｐ１ｂ	４						４	必修
		Ｐ２ｂ		６					６	必修
		Ｐ２ｃ		１					１	必修
		Ｐ２ｄ		２					２	必修
	理工学からみた医療・医学	Ａ１	３						３	必修
		Ｂ３			1.5				1.5	必修
		Ｐ１	１						１	必修
	ＩＴからみた医療・医学	Ａ１	２						２	必修
	人間と社会	Ａ１	４						４	必修
		Ａ２		１					１	必修
		Ａ４				7.5			7.5	必修
		Ｐ１ａ	１						１	必修
		Ｐ１ｂ	１						１	必修
		Ｐ５					１		１	必修
	医療プロフェッショナリズムの実践	Ａ１	２						２	必修
		Ａ２		１					１	必修
		Ａ４				0.5			0.5	必修
	医学英語	Ａ１	６						６	必修
		Ａ２		２					２	必修
	健康科学	Ａ１	３						３	必修
	リベラルアーツセミナー	Ａ１	２						２	セミナーサブユニットより２科目以上を選択必修
	臨床実習入門	Ｐ１ｂ	0.5						0.5	必修
		Ｐ２		0.5					0.5	必修
		Ｐ３			0.5				0.5	必修
		Ｐ４ａ				2.5			2.5	必修
		Ｐ４ｂ				１			１	必修
		Ｐ４ｃ				２			２	必修
	白衣の日	Ｐ１	１						１	必修

科目区分	科目名		受講学年及び単位数							必修･選択の別
			第1学年	第2学年	第3学年	第4学年	第5学年	第6学年	計	
	ＬＰＢＬ	Ａ１	２						２	必修
		Ａ２		２					２	必修
		Ａ３			１				１	必修
		Ａ４				１			１	必修
	病因と病態	Ａ２		３					３	必修
	感染と生体防御	Ａ２		７					７	必修
		Ｐ２		１					１	必修
	リサーチマインドの実践	Ａ１	１						１	選択必修
		Ａ２		１					１	必修
		Ｐ３			３				３	必修
	地域医療の実践	Ａ１	１						１	選択必修
		Ａ２		１					１	選択必修
		Ａ３			１				１	選択必修
		Ｐ４				１			１	選択必修
臓器別系統別コース	内科総論				１				１	必修
	外科総論				３				３	必修
	放射線診断学				２				２	必修
	呼吸器				３				３	必修
	感染症				３				３	必修
	循環器				4.5				4.5	必修
	腎尿路				３				３	必修
	消化器				６				６	必修
	血液・移植				2.5				2.5	必修
	臨床腫瘍学				２				２	必修
	神経				４				４	必修
	免疫・膠原病・アレルギー				４				４	必修
	内分泌・代謝				２				２	必修
	臓器再建外科・再生医療				２				２	必修
	運動器				３				３	必修
	リハビリテーション・地域包括医療				２				２	必修
	救急・中毒				３				３	必修
	麻酔・集中治療					３			３	必修
	眼・視覚					３			３	必修
	耳鼻咽喉・頭頸部外科					３			３	必修
	皮膚					2.5			2.5	必修
	精神・行動					４			４	必修

科目区分	科目名	受講学年及び単位数							必修･選択の別
		第1学年	第2学年	第3学年	第4学年	第5学年	第6学年	計	
	全人的医療・行動科学				4			4	必修
	周産期・生殖器				4			4	必修
	小児の成長・発達				4			4	必修
臨床実習	内科学（1）					1.5		1.5	必修
	内科学（2）					1.5		1.5	必修
	内科学（3）					1.5		1.5	必修
	呼吸器腫瘍内科学					1		1	必修
	心療内科学					1		1	必修
	神経内科学					1		1	必修
	精神神経科学					2		2	必修
	小児科学					2		2	必修
	外科学					2		2	必修
	心臓血管外科学					1		1	必修
	呼吸器外科学					1		1	必修
	脳神経外科学					1		1	必修
	整形外科学					1		1	必修
	リハビリテーション医学					1		1	必修
	形成外科学					1		1	必修
	皮膚科学					1		1	必修
	腎泌尿器外科学					1		1	必修
	眼科学					1		1	必修
	耳鼻咽喉科・頭頸部外科学					1		1	必修
	放射線科学					1		1	必修
	産科学・婦人科学					2		2	必修
	麻酔科学					1		1	必修
	病態検査学					1		1	必修
	救急医学					1		1	必修
	選択制臨床実習						18	18	選択必修
	自由選択制臨床実習						6	6	選択必修（6単位修得）
まとめの講義							6.5	6.5	必修
合計		43.5	38.5	57	43	30.5	30.5	243	

学則・別表第4　教室、講座及び領域

教室	数学、物理学、生物学、心理学、英語
講座	解剖学講座、生理学講座、医化学講座、薬理学講座、病理学講座、微生物学講座、iPS・幹細胞再生医学講座、iPS・幹細胞応用医学講座、衛生・公衆衛生学講座、法医学講座、内科学第一講座、内科学第二講座、内科学第三講座、呼吸器腫瘍内科学講座、心療内科学講座、神経内科学講座、精神神経科学講座、小児科学講座、上部消化管外科学講座、下部消化管外科学講座、肝臓外科学講座、胆膵外科学講座、小児外科学講座、乳腺外科学講座、心臓血管外科学講座、呼吸器外科学講座、脳神経外科学講座、整形外科学講座、リハビリテーション医学講座、形成外科学講座、皮膚科学講座、腎泌尿器外科学講座、眼科学講座、耳鼻咽喉科・頭頸部外科学講座、放射線科学講座、産科学・婦人科学講座、麻酔科学講座、救急医学講座

医学部履修修了認定に関する細則
（令和6年度以降入学者）

第１条　関西医科大学学則第13条に規定する授業科目等の履修修了認定に関する細則を、以下のとおり定める。

第２条　遅刻に関する取り扱いについて、次の各号のとおり定める。

（１）　授業における遅刻の取り扱いは、授業開始時刻から授業開始15分以内とする。授業開始15分を経過した場合は、欠席とする。

（２）　前号に定める遅刻３回を欠席１回として取り扱う。

（３）　試験における遅刻の取り扱いは、試験開始30分以内とする。

（４）　交通機関延着に伴う遅刻については別途定める。

第３条　成績評価に関する異議について、次の各号のとおり定める。

（１）　各科目の成績評価について、異議を申し立てることができる。

（２）　異議申し立てに関する手続きについては、別途定める。

第４条　授業科目は、ユニット、コース、臨床実習及びまとめの講義で構成する。各学年の所定の授業科目については、次の各号のとおり定める。

（１）　第１学年所定の17科目（研究マインド育成プログラム学生及び特別枠・地域枠学生18科目）：

・ユニット

生体の構造と機能　Ａ１、Ｂ１、Ｐ１ａ、Ｐ１ｂ

理工学からみた医療・医学　Ａ１、Ｐ１

ＩＴからみた医療・医学　Ａ１

人間と社会　Ａ１、Ｐ１ａ、Ｐ１ｂ

医療プロフェッショナリズムの実践　Ａ１

医学英語　Ａ１

健康科学　Ａ１

リベラルアーツセミナー　Ａ１

臨床実習入門　Ｐ１ｂ

白衣の日　Ｐ１

ＬＰＢＬ　Ａ１

研究マインド育成プログラム学生必修科目：リサーチマインドの実践　Ａ１

特別枠・地域枠学生必修科目：地域医療の実践　Ａ１

（２）　第２学年所定の15科目（特別枠・地域枠学生16科目）：

・ユニット

生体の構造と機能　Ｂ２、Ｃ２、Ｐ２ｂ、Ｐ２ｃ、Ｐ２ｄ

人間と社会　Ａ２

医療プロフェッショナリズムの実践　Ａ２

医学英語　Ａ２

臨床実習入門　Ｐ２

白衣の日　Ｐ２

ＬＰＢＬ　Ａ２

病因と病態　Ａ２

感染と生体防御　Ａ２、Ｐ２

リサーチマインドの実践　Ａ２

特別枠・地域枠学生必修科目：地域医療の実践　Ａ２

（３）　第３学年所定の21科目（特別枠・地域枠学生22科目）：

・ユニット

理工学からみた医療・医学　Ｂ３

医学英語　Ａ３

臨床実習入門　Ｐ３
ＬＰＢＬ　Ａ３
リサーチマインドの実践　Ｐ３
特別枠・地域枠学生必修科目：地域医療の実践　Ａ３
・コース
医学総論、放射線診断学、呼吸器、感染症、循環器、腎尿路、消化器、血液・移植、臨床腫瘍学、神経、免疫・膠原病・アレルギー、内分泌・代謝、臓器再建外科・再生医療、運動器、リハビリテーション・地域包括医療、救急・中毒
（４）　第４学年所定の15科目（特別枠・地域枠学生16科目）：
・ユニット
医療プロフェッショナリズムの実践　Ａ４
人間と社会　Ａ４
医学英語　Ａ４
臨床実習入門　Ｐ４ａ、Ｐ４ｂ、Ｐ４ｃ
ＬＰＢＬ　Ａ４
特別枠・地域枠学生必修科目：地域医療の実践　Ｐ４
・コース
麻酔・集中治療、眼・視覚、耳鼻咽喉・頭頸部外科、皮膚、精神・行動、全人的医療・行動科学、周産期・生殖器、小児の成長・発達
（５）　第５学年所定の25科目：
・人間と社会　Ｐ５
・臨床実習
内科学（１）、内科学（２）、内科学（３）、呼吸器腫瘍内科学、心療内科学、神経内科学、精神神経科学、小児科学、外科学、心臓血管外科学、呼吸器外科学、脳神経外科学、整形外科学、リハビリテーション医学、形成外科学、皮膚科学、腎泌尿器外科学、眼科学、耳鼻咽喉科・頭頸部外科学、放射線科学、産科学・婦人科学、麻酔科学、病態検査学、救急医学
（６）　第６学年所定の３科目：
・臨床実習
選択制臨床実習、自由選択制臨床実習
・まとめの講義
第５条　前条に定める各科目の試験に加え、各学年において実施する必須試験を次の各号のとおり定める。
（１）　第３学年：プレＣＢＴ総合試験
（２）　第４学年：共用試験ＣＢＴ（Ｃｏｍｐｕｔｅｒ　Ｂａｓｅｄ　Ｔｅｓｔｉｎｇ）及び臨床実習前ＯＳＣＥ
（３）　第５学年：クリニカル・クラークシップ総合試験（中間試験を含む。）
（４）　第６学年：臨床実習後ＯＳＣＥ及び卒業試験
（５）　次条第２号②に定める学習、生活態度等の評価を加味する。
第６条　進級及び卒業判定について、次の各号のとおり定める。
（１）　進級及び卒業判定は、医学部長が医学部教授会の議を経て学長へ報告し、学長が決定する。進級にあたっては、講義については、各科目の３分の２以上に出席し、全科目の成績評価を受けなければならない。実習については、原則としてすべてに出席し、評価を受けなければならない。欠席した場合は必ず届出を提出し、正当な欠席と認められた場合は、科目責任者に欠席分の実習を補う内容（補講、レポート等）を課してもらい欠席を補わなければならない。
（２）　合格、進級及び卒業判定の基準は次のとおりとする。
①　各科目の成績評価は100点満点で行い、60点以上を合格とする。なお、共用試験ＣＢＴ（Ｃｏｍｐｕｔｅｒ　Ｂａｓｅｄ　Ｔｅｓｔｉｎｇ）及び臨床実習前ＯＳＣＥの成績評価は、医療系大学間共用試験実施評価機構が示す全国基準を用いて評価する。また、プレＣＢＴ総合試験、クリニカル・クラークシップ総合試験（中間試験を含む。）及び卒業試験の成績評価は絶対評

価を用いて行い、合格基準については別に定める。臨床実習後ＯＳＣＥの成績評価についても絶対評価を用いて行う。

② 本学が定めるディプロマ・ポリシー、成績の評価に付与するＧＰ（Ｇｒａｄｅ　Ｐｏｉｎｔ）及びＧＰＡ（Ｇｒａｄｅ　Ｐｏｉｎｔ　Ａｖｅｒａｇｅ）に加え、クラスアドバイザー及びメンター等が記録した学生への助言、指導等記録等をもとに、学習、生活態度等も加味したうえで判定を行う。

③ ①及び②にかかわらず、各科目においては、点数化せずに成績評価をする場合がある。

④ 各学年の進級及び卒業判定の基準は、次のとおりとする。

第１学年から第２学年まで：当該学年所定の全科目（第２学年白衣の日Ｐ２除く。）で合格の評価を受けた者を進級可とする。

第３学年：当該学年所定の全科目で合格の評価を受け、かつプレＣＢＴ総合試験の成績で合格の評価を受けた者を進級可とする。

第４学年：当該学年所定の全科目で合格の評価を受け、かつ共用試験ＣＢＴ及び臨床実習前ＯＳＣＥの成績で合格の評価を受けた者を進級可とする。

第５学年：当該学年所定の全科目で合格の評価を受け、かつクリニカル・クラークシップ総合試験（中間試験を含む。）の成績で合格の評価を受けた者を進級可とする。

第６学年：当該学年所定の全臨床実習科目で合格の評価を受け、臨床実習後ＯＳＣＥ及び卒業試験（まとめの講義の評価に相当する試験も含む。）の成績で合格の評価を受けた者を卒業可とする。

（３） 前号の規定にかかわらず、全科目のうちユニット科目において、当該ユニットの構成に別表１に定めるサブユニットが含まれる場合には、進級判定に用いる成績評価の基準を次のとおり定める。

① 講義については、原則として各サブユニットの３分の２以上に出席し、全サブユニットの成績評価を受けなければならない。

② 各サブユニットの成績評価は100点満点で行い、原則として60点以上を合格とする。

③ ユニットの科目責任者は、当該ユニットを構成する全サブユニットの成績評価を勘案した上で、ユニット科目の成績評価を行うものとする。

（４） 成績の評価に付与するＧＰ（Ｇｒａｄｅ　Ｐｏｉｎｔ）及びＧＰＡ（Ｇｒａｄｅ　Ｐｏｉｎｔ　Ａｖｅｒａｇｅ）については、別に定める。

第７条　各科目及び別表１に定めるサブユニットの試験は、次の各号のとおり行う。

（１） 科目の試験においては、試験施行日までの当該科目及びサブユニットの全授業時間（実授業時間数とし、休講時間数は含まない。）の３分の１を超えて欠席した学生は、欠席届を提出することにより本試験の受験は認めるが、別に定める手続きを経たうえで再試験受験対象者とする。ただし、大学が指定する一部のサブユニットについては、その限りではない。

（２） 卒業試験においては、前号に加えまとめの講義の全授業時間（実授業時間数とし、休講時間数は含まない。）の３分の１を超えて欠席した学生は、当該試験の受験資格が認められない。

（３） 前々号の学生のうちやむを得ない事由（表Ⅰ・Ⅱ）によって認められた者に限り、再試験或いは追試験を受けることができる。

表Ⅰ

対象となる欠席事由	「欠席届」に添付すべき証明書、文書等
1　病気・ケガ（本人）	（１）　診断書又は（２）　氏名、通院日明記の領収書等
2　出産	（１）　「出生届」又は（２）　「出産証明書」
（１）　本人（産前６週間・産後８週間）	
（２）　配偶者（２日）	
3　忌引	（１）　欠席日を確認できる会葬御礼又は（２）　死亡を確認できる公的証明書等
（１）　父母・配偶者・子（５日）	
（２）　祖父母・兄弟姉妹（２日）	
4　交通事故、非常災害（本人）	交通事故証明書、被災証明書

5　公共交通機関の不通	当該公共交通機関発行の不通証明書
6　親族の看護	被看護者の診断書
7　その他斟酌すべき事由	科目責任者と教務部長が協議の上可否を決定する。

なお、表Ⅱによる欠席の場合は、公認欠席とする。

表Ⅱ

対象となる欠席事由	「欠席届」に添付すべき証明書、文書等
1　学校保健安全法施行規則第18条に基づく第一種・第二種・第三種感染症による出席停止	診断書
2　裁判員制度による裁判員及び裁判員候補者に選任された場合	裁判所からの通知書

（４）　２分の１以上欠席した学生の扱いは、別に定める。

（５）　試験中不正行為を行った者に対しては直ちに退場を命じ、当該学年において既に受験した科目についてはこれを無効とし、残りの科目については受験を許可しない。

第８条　再試験及び追試験について、次の各号のとおり定める。

（１）　疾病又は事故などやむを得ない事由（表Ⅲ）により受験できない場合は、試験開始の日時までにその旨届け出なければならない。ただし、再試験を伴う試験のみとし、試験欠席届に下記一覧に記載された証明書、文書等を添えて試験日から５日以内に医学部事務部教務課へ提出し、受験の可否を受けるものとする。

表Ⅲ

追試験の対象となる欠席事由	「試験欠席届」に添付すべき証明書、文書等
1　病気・ケガ（本人）	（１）　診断書又は（２）　氏名、通院日明記の領収書等
2　出産	（１）　「出生届」又は（２）　「出産証明書」
（１）　本人（産前６週間・産後８週間）	
（２）　配偶者（２日）	
3　忌引	（１）　欠席日を確認できる会葬御礼又は（２）　死亡を確認できる公的証明書等
（１）　父母・配偶者・子（５日）	
（２）　祖父母・兄弟姉妹（２日）	
4　交通事故、非常災害（本人）	交通事故証明書、被災証明書
5　公共交通機関の不通・遅延	当該公共交通機関発行の不通・遅延証明書
6　親族の看護	被看護者の診断書
7　学校保健安全法施行規則第18条に基づく第一種・第二種・第三種感染症による出席停止	診断書
8　裁判員制度による裁判員及び裁判員候補者に選任された場合	裁判所からの通知書
9　その他斟酌すべき事由	科目責任者と教務部長が協議の上可否を決定する。

（２）　前号の届出を行い、認められた者については追試験を行う。

（３）　試験に不合格の場合は、再試験を行うことがある。

（４）　再試験の点数は最高点を60点、追試験の点数は最高点を80点とする。ただし、裁判員制度による裁判員及び裁判員候補者に選任された場合、学校保健安全法施行規則第18条に基づく第一種・第二種・第三種感染症による出席停止の場合の追試験の点数は、公認欠席扱いと見なし、最高点を100点とする。

尚、プレＣＢＴ総合試験、クリニカル・クラークシップ総合試験（中間試験を含む。）及び卒業試験の点数は再試験並びに追試験ともに最高点を100点とする。

（５）　追・再試験受験者は「追・再試験受験願」を、その試験前日（ただし、土曜日を除く。）の12時50分までに医学部事務部教務課へ提出しなければ当該科目の追・再試験を受験することがで

きない。
（６） 再試験を受験する場合は、１試験につき5,000円の再試験料を徴収する。
（７） 再試験及び追試験は、原則として１回限りとする。
（８） 追試験の再試験、再試験の追試験は実施しない。
第９条　留年者の履修について、次の各号のとおり定める。
（１） 進級又は卒業の認定を受けることができなかった者は、同一学年次に留め置く。
（２） 留年者は、当該学年の全科目を再履修し、成績の再評価を受けなければならない。ただし、前年度に評価を受けた結果、合格基準に達したと認められた科目に限っては、当該科目の３分の２以上の講義等に出席することを条件に再評価を免除する場合がある。
（３） 前号及び前々号の定めにかかわらず、６学年は別に定める。
第１０条　本細則の改廃は、医学部教務委員会及び医学部教授会の議を経て、医学部長が決定する。

附　則

本細則は、令和６年４月１日より施行し、令和６年度１学年に適用する。令和５年度１学年の学生が留年した場合の令和６年度１学年の履修については、別に定める。

別表１

	コース名	ユニット		サブユニット
Ⅰ	生体の構造と機能	A	1	（1）
				（2）
				（3）
				（4）
				（5）
		B	1	（1）
				（2）
			2	
		C	2	（1）
				（2）
				（3）
				（4）
		P	1 a	
			1 b	
			2 b	（1）
				（2）
			2 c	
			2 d	
Ⅱ	理工学からみた医療・医学	A	1	（1）
				（2）
		B	3	
		P	1	
Ⅲ	ITからみた医療・医学	A	1	
Ⅳ	人間と社会	A	1	（1）
				（2）
				（3）
				（4）
			2	
			4	（1）

				（２）
				（３）
		P	１ａ	
			１ｂ	
			5	
Ⅴ	医療プロフェッショナリズムの実践	A	1	
			2	
			4	
Ⅵ	医学英語	A	1	（１）
				（２）
				（３）
			2	
			3	
			4	
Ⅶ	健康科学	A	1	
Ⅷ	リベラルアーツセミナー	A	1	
Ⅸ	臨床実習入門	P	1ｂ	
			2	
			3	
			４ａ	
			４ｂ	
			４ｃ	
Ⅹ	白衣の日	P	1	
			2	
ⅩⅠ	ＬＰＢＬ	A	1	
			2	
			3	
			4	
ⅩⅡ	病因と病態	A	2	（１）
				（２）
ⅩⅢ	感染と生体防御	A	2	（１）
				（２）
				（３）
				（４）
		P	2	
ⅩⅣ	リサーチマインドの実践	A	1	
			2	
		P	3	
ⅩⅤ	地域医療の実践 （特別枠、地域枠学生のみ）	A	1	
			2	
			3	
		P	4	

医学部履修修了認定に関する細則
（令和5年度入学者）

第１条　関西医科大学学則第13条に規定する授業科目等の履修修了認定に関する細則を、以下のとおり定める。

第２条　遅刻に関する取り扱いについて、次の各号のとおり定める。

（１）　授業における遅刻の取り扱いは、授業開始時刻から授業開始15分以内とする。授業開始15分を経過した場合は、欠席とする。

（２）　前号に定める遅刻３回を欠席１回として取り扱う。

（３）　試験における遅刻の取り扱いは、試験開始30分以内とする。

（４）　交通機関延着に伴う遅刻については別途定める。

第３条　成績評価に関する異議について、次の各号のとおり定める。

（１）　各科目の成績評価について、異議を申し立てることができる。

（２）　異議申し立てに関する手続きについては、別途定める。

第４条　授業科目は、ユニット、コース、臨床実習及びまとめの講義で構成する。各学年の所定の授業科目については、次の各号のとおり定める。

（１）　第１学年所定の16科目（研究マインド育成プログラム学生及び特別枠・地域枠学生17科目）：

・ユニット

生体の構造と機能　Ａ１、Ｂ１、Ｐ１ａ、Ｐ１ｂ

理工学からみた医療・医学　Ａ１、Ｐ１

人間と社会　Ａ１、Ｐ１ａ、Ｐ１ｂ

医療プロフェッショナリズムの実践　Ａ１

医学英語　Ａ１

健康科学　Ａ１

リベラルアーツセミナー　Ａ１

臨床実習入門　Ｐ１ａ、Ｐ１ｂ

ＬＰＢＬ　Ａ１

研究マインド育成プログラム学生必修科目：リサーチマインドの実践　Ａ１

特別枠・地域枠学生必修科目：地域医療の実践　Ａ１

（２）　第２学年所定の14科目（特別枠・地域枠学生15科目）：

・ユニット

生体の構造と機能　Ｂ２、Ｃ２、Ｐ２ｂ、Ｐ２ｃ、Ｐ２ｄ

人間と社会　Ａ２

医療プロフェッショナリズムの実践　Ａ２

医学英語　Ａ２

臨床実習入門　Ｐ２

ＬＰＢＬ　Ａ２

病因と病態　Ａ２

感染と生体防御　Ａ２、Ｐ２

リサーチマインドの実践　Ａ２

特別枠・地域枠学生必修科目：地域医療の実践　Ａ２

（３）　第３学年所定の21科目（特別枠・地域枠学生22科目）：

・ユニット

理工学からみた医療・医学　Ｂ３

臨床実習入門　Ｐ３

ＬＰＢＬ　Ａ３

リサーチマインドの実践　Ｐ３

特別枠・地域枠学生必修科目：地域医療の実践　Ａ３

・コース
内科総論、外科総論、放射線診断学、呼吸器、感染症、循環器、腎尿路、消化器、血液・移植、臨床腫瘍学、神経、免疫・膠原病・アレルギー、内分泌・代謝、臓器再建外科・再生医療、運動器、リハビリテーション・地域包括医療、救急・中毒

（４） 第４学年所定の14科目（特別枠・地域枠学生15科目）：

・ユニット
医療プロフェッショナリズムの実践　Ａ４
人間と社会　Ａ４
臨床実習入門　Ｐ４ａ、Ｐ４ｂ、Ｐ４ｃ
ＬＰＢＬ　Ａ４
特別枠・地域枠学生必修科目：地域医療の実践　Ｐ４

・コース
麻酔・集中治療、眼・視覚、耳鼻咽喉・頭頸部外科、皮膚、精神・行動、全人的医療・行動科学、周産期・生殖器、小児の成長・発達

（５） 第５学年所定の25科目：

・人間と社会　Ｐ５

・臨床実習
内科学（１）、内科学（２）、内科学（３）、呼吸器腫瘍内科学、心療内科学、神経内科学、精神神経科学、小児科学、外科学、心臓血管外科学、呼吸器外科学、脳神経外科学、整形外科学、リハビリテーション医学、形成外科学、皮膚科学、腎泌尿器外科学、眼科学、耳鼻咽喉科・頭頸部外科学、放射線科学、産科学・婦人科学、麻酔科学、病態検査学、救急医学

（６） 第６学年所定の３科目：

・臨床実習
選択制臨床実習、自由選択制臨床実習

・まとめの講義

第５条　前条に定める各科目の試験に加え、各学年において実施する必須試験を次の各号のとおり定める。

（１） 第１学年：総合試験

（２） 第３学年：プレＣＢＴ総合試験

（３） 第４学年：共用試験ＣＢＴ（Ｃｏｍｐｕｔｅｒ　Ｂａｓｅｄ　Ｔｅｓｔｉｎｇ）及び臨床実習前ＯＳＣＥ

（４） 第５学年：クリニカル・クラークシップ総合試験（中間試験を含む。）

（５） 第６学年：臨床実習後ＯＳＣＥ及び卒業試験

（６） 次条第２号②に定める学習、生活態度等の評価を加味する。

第６条　進級及び卒業判定について、次の各号のとおり定める。

（１） 進級及び卒業判定は、医学部長が医学部教授会の議を経て学長へ報告し、学長が決定する。進級にあたっては、講義については、各科目の３分の２以上に出席し、全科目の成績評価を受けなければならない。実習については、原則としてすべてに出席し、評価を受けなければならない。欠席した場合は必ず届出を提出し、正当な欠席と認められた場合は、科目責任者に欠席分の実習を補う内容（補講、レポート等）を課してもらい欠席を補わなければならない。

（２） 合格、進級及び卒業判定の基準は次のとおりとする。

① 各科目の成績評価は100点満点で行い、60点以上を合格とする。なお、共用試験ＣＢＴ（Ｃｏｍｐｕｔｅｒ　Ｂａｓｅｄ　Ｔｅｓｔｉｎｇ）及び臨床実習前ＯＳＣＥの成績評価は、医療系大学間共用試験実施評価機構が示す全国基準を用いて評価する。また、プレＣＢＴ総合試験、クリニカル・クラークシップ総合試験（中間試験を含む。）及び卒業試験の成績評価は絶対評価を用いて行い、合格基準については別に定める。臨床実習後ＯＳＣＥの成績評価についても絶対評価を用いて行う。

② 本学が定めるディプロマ・ポリシー、成績の評価に付与するＧＰ（Ｇｒａｄｅ　Ｐｏｉｎｔ）及びＧＰＡ（Ｇｒａｄｅ　Ｐｏｉｎｔ　Ａｖｅｒａｇｅ）に加え、クラスアドバイザー及びメ

ンター等が記録した学生への助言、指導等記録等をもとに、学習、生活態度等も加味したうえで判定を行う。

③　①及び②にかかわらず、各科目においては、点数化せずに成績評価をする場合がある。

④　各学年の進級及び卒業判定の基準は、次のとおりとする。

第１学年：当該学年所定の全科目で合格の評価を受け、かつ総合試験の成績で合格の評価を受けた者を進級可とする。

第２学年：当該学年所定の全科目で合格の評価を受けた者を進級可とする。

第３学年：当該学年所定の全科目で合格の評価を受け、かつプレＣＢＴ総合試験の成績で合格の評価を受けた者を進級可とする。

第４学年：当該学年所定の全科目で合格の評価を受け、かつ共用試験ＣＢＴ及び臨床実習前ＯＳＣＥの成績で合格の評価を受けた者を進級可とする。

第５学年：当該学年所定の全科目で合格の評価を受け、かつクリニカル・クラークシップ総合試験（中間試験を含む。）の成績で合格の評価を受けた者を進級可とする。

第６学年：当該学年所定の全臨床実習科目で合格の評価を受け、臨床実習後ＯＳＣＥ及び卒業試験（まとめの講義の評価に相当する試験も含む。）の成績で合格の評価を受けた者を卒業可とする。

（３）　前号の規定にかかわらず、全科目のうちユニット科目において、当該ユニットの構成に別表１に定めるサブユニットが含まれる場合には、進級判定に用いる成績評価の基準を次のとおり定める。

①　講義については、原則として各サブユニットの３分の２以上に出席し、全サブユニットの成績評価を受けなければならない。

②　各サブユニットの成績評価は100点満点で行い、原則として60点以上を合格とする。

③　ユニットの科目責任者は、当該ユニットを構成する全サブユニットの成績評価を勘案した上で、ユニット科目の成績評価を行うものとする。

（４）　成績の評価に付与するＧＰ（Ｇｒａｄｅ　Ｐｏｉｎｔ）及びＧＰＡ（Ｇｒａｄｅ　Ｐｏｉｎｔ　Ａｖｅｒａｇｅ）については、別に定める。

第７条　各科目及び別表１に定めるサブユニットの試験は、次の各号のとおり行う。

（１）　科目の試験においては、試験施行日までの当該科目及びサブユニットの全授業時間（実授業時間数とし、休講時間数は含まない。）の３分の１を超えて欠席した学生は、欠席届を提出することにより本試験の受験は認めるが、別に定める手続きを経たうえで再試験受験対象者とする。ただし、大学が指定する一部のサブユニットについては、その限りではない。

（２）　卒業試験においては、前号に加えまとめの講義の全授業時間（実授業時間数とし、休講時間数は含まない。）の３分の１を超えて欠席した学生は、当該試験の受験資格が認められない。

（３）　前々号の学生のうちやむを得ない事由（表Ⅰ・Ⅱ）によって認められた者に限り、再試験或いは追試験を受けることができる。

表Ⅰ

対象となる欠席事由	「欠席届」に添付すべき証明書、文書等
1　病気・ケガ（本人）	（１）　診断書又は（２）　氏名、通院日明記の領収書等
2　出産	（１）　「出生届」又は（２）　「出産証明書」
（１）　本人（産前６週間・産後８週間）	
（２）　配偶者（２日）	
3　忌引	（１）　欠席日を確認できる会葬御礼又は（２）　死亡を確認できる公的証明書等
（１）　父母・配偶者・子（５日）	
（２）　祖父母・兄弟姉妹（２日）	
4　交通事故、非常災害（本人）	交通事故証明書、被災証明書
5　公共交通機関の不通	当該公共交通機関発行の不通証明書
6　親族の看護	被看護者の診断書
7　その他斟酌すべき事由	科目責任者と教務部長が協議の上可否を決定する。

なお、表Ⅱによる欠席の場合は、公認欠席とする。

表Ⅱ

対象となる欠席事由	「欠席届」に添付すべき証明書、文書等
1　学校保健安全法施行規則第18条に基づく第一種・第二種・第三種感染症による出席停止	診断書
2　裁判員制度による裁判員及び裁判員候補者に選任された場合	裁判所からの通知書

（４）　２分の１以上欠席した学生の扱いは、別に定める。

（５）　試験中不正行為を行った者に対しては直ちに退場を命じ、当該学年において既に受験した科目についてはこれを無効とし、残りの科目については受験を許可しない。

第８条　再試験及び追試験について、次の各号のとおり定める。

（１）　疾病又は事故などやむを得ない事由（表Ⅲ）により受験できない場合は、試験開始の日時までにその旨届け出なければならない。ただし、再試験を伴う試験のみとし、試験欠席届に下記一覧に記載された証明書、文書等を添えて試験日から５日以内に医学部事務部教務課へ提出し、受験の可否を受けるものとする。

表Ⅲ

追試験の対象となる欠席事由	「試験欠席届」に添付すべき証明書、文書等
1　病気・ケガ（本人）	（１）　診断書又は（２）　氏名、通院日明記の領収書等
2　出産	（１）　「出生届」又は（２）　「出産証明書」
（１）　本人（産前６週間・産後８週間）	
（２）　配偶者（２日）	
3　忌引	（１）　欠席日を確認できる会葬御礼又は（２）　死亡を確認できる公的証明書等
（１）　父母・配偶者・子（５日）	
（２）　祖父母・兄弟姉妹（２日）	
4　交通事故、非常災害（本人）	交通事故証明書、被災証明書
5　公共交通機関の不通・遅延	当該公共交通機関発行の不通・遅延証明書
6　親族の看護	被看護者の診断書
7　学校保健安全法施行規則第18条に基づく第一種・第二種・第三種感染症による出席停止	診断書
8　裁判員制度による裁判員及び裁判員候補者に選任された場合	裁判所からの通知書
9　その他斟酌すべき事由	科目責任者と教務部長が協議の上可否を決定する。

（２）　前号の届出を行い、認められた者については追試験を行う。

（３）　試験に不合格の場合は、再試験を行うことがある。

（４）　再試験の点数は最高点を60点、追試験の点数は最高点を80点とする。ただし、裁判員制度による裁判員及び裁判員候補者に選任された場合、学校保健安全法施行規則第18条に基づく第一種・第二種・第三種感染症による出席停止の場合の追試験の点数は、公認欠席扱いと見なし、最高点を100点とする。

尚、プレＣＢＴ総合試験、クリニカル・クラークシップ総合試験（中間試験を含む。）及び卒業試験の点数は再試験並びに追試験ともに最高点を100点とする。

（５）　追・再試験受験者は「追・再試験受験願」を、その試験前日（ただし、土曜日を除く。）の12時50分までに医学部事務部教務課へ提出しなければ当該科目の追・再試験を受験することができない。

（６）　再試験を受験する場合は、１試験につき5,000円の再試験料を徴収する。

（７）　再試験及び追試験は、原則として１回限りとする。

（８）　追試験の再試験、再試験の追試験は実施しない。

第９条　留年者の履修について、次の各号のとおり定める。
（１）　進級又は卒業の認定を受けることができなかった者は、同一学年次に留め置く。
（２）　留年者は、当該学年の全科目を再履修し、成績の再評価を受けなければならない。ただし、前年度に評価を受けた結果、合格基準に達したと認められた科目に限っては、当該科目の３分の２以上の講義等に出席することを条件に再評価を免除する場合がある。
（３）　前号及び前々号の定めにかかわらず、６学年は別に定める。
第10条　本細則の改廃は、医学部教務委員会及び医学部教授会の議を経て、医学部長が決定する。

附　則
本細則は、令和５年４月１日より施行する。

附　則
本細則は、令和６年４月１日より施行し、令和６年度２学年に適用する。令和５年度２学年の学生が留年した場合の令和６年度１学年の履修については、別に定める。

別表１

	コース名	ユニット		サブユニット
Ⅰ	生体の構造と機能	A	1	（1）
				（2）
				（3）
				（4）
		B	1	
			2	
		C	2	（1）
				（2）
				（3）
				（4）
		P	1 a	
			1 b	
			2 b	（1）
				（2）
			2 c	
			2 d	
Ⅱ	理工学からみた医療・医学	A	1	（1）
				（2）
		B	3	
		P	1	
Ⅲ	人間と社会	A	1	（1）
				（2）
				（3）
				（4）
			2	
			4	（1）
				（2）
				（3）
		P	1 a	
			1 b	

			5	
Ⅳ	医療プロフェッショナリズムの実践	A	1	
			2	
			4	
Ⅴ	医学英語	A	1	（１）
				（２）
				（３）
			2	
Ⅵ	健康科学	A	1	
Ⅶ	リベラルアーツセミナー	A	1	
Ⅷ	臨床実習入門	P	１ａ	
			１ｂ	
			2	
			3	
			４ａ	
			４ｂ	
			４ｃ	
Ⅸ	ＬＰＢＬ	A	1	
			2	
			3	
			4	
Ⅹ	病因と病態	A	2	（１）
				（２）
ⅩⅠ	感染と生体防御	A	2	（１）
				（２）
				（３）
				（４）
		P	2	
ⅩⅡ	リサーチマインドの実践	A	1	
			2	
		P	3	
ⅩⅢ	地域医療の実践 （特別枠、地域枠学生のみ）	A	1	
			2	
			3	
		P	4	

医学部履修修了認定に関する細則
（令和4年度入学者）

第１条　関西医科大学学則第13条に規定する授業科目等の履修修了認定に関する細則を、以下のとおり定める。

第２条　遅刻に関する取り扱いについて、次の各号のとおり定める。

（１）　授業における遅刻の取り扱いは、授業開始時刻から授業開始15分以内とする。授業開始15分を経過した場合は、欠席とする。

（２）　前号に定める遅刻３回を欠席１回として取り扱う。

（３）　試験における遅刻の取り扱いは、試験開始30分以内とする。

（４）　交通機関延着に伴う遅刻については別途定める。

第３条　成績評価に関する異議について、次の各号のとおり定める。

（１）　各科目の成績評価について、異議を申し立てることができる。

（２）　異議申し立てに関する手続きについては、別途定める。

第４条　授業科目は、ユニット、コース、臨床実習及びまとめの講義で構成する。各学年の所定の授業科目については、次の各号のとおり定める。

（１）　第１学年所定の16科目（研究マインド育成プログラム学生及び特別枠・地域枠学生17科目）：

・ユニット

生体の構造と機能　Ａ１、Ｂ１、Ｃ１、Ｐ１

理工学からみた医療・医学　Ａ１、Ｐ１

人間と社会　Ａ１、Ｐ１ａ、Ｐ１ｂ

医療プロフェッショナリズムの実践　Ａ１

医学英語　Ａ１

健康科学　Ａ１

リベラルアーツセミナー　Ａ１

臨床実習入門　Ｐ１ａ、Ｐ１ｂ

ＬＰＢＬ　Ａ１

研究マインド育成プログラム学生必修科目：リサーチマインドの実践　Ａ１

特別枠・地域枠学生必修科目：地域医療の実践　Ａ１

（２）　第２学年所定の14科目（特別枠・地域枠学生15科目）：

・ユニット

生体の構造と機能　Ｂ２、Ｃ２、Ｐ２ｂ、Ｐ２ｃ、Ｐ２ｄ

人間と社会　Ａ２

医療プロフェッショナリズムの実践　Ａ２

医学英語　Ａ２

臨床実習入門　Ｐ２

ＬＰＢＬ　Ａ２

病因と病態　Ａ２

感染と生体防御　Ａ２、Ｐ２

リサーチマインドの実践　Ａ２

特別枠・地域枠学生必修科目：地域医療の実践　Ａ２

（３）　第３学年所定の21科目（特別枠・地域枠学生22科目）：

・ユニット

理工学からみた医療・医学　Ｂ３

臨床実習入門　Ｐ３

ＬＰＢＬ　Ａ３

リサーチマインドの実践　Ｐ３

特別枠・地域枠学生必修科目：地域医療の実践　Ａ３

・コース

内科総論、外科総論、放射線診断学、呼吸器、感染症、循環器、腎尿路、消化器、血液・移植、臨床腫瘍学、神経、免疫・膠原病・アレルギー、内分泌・代謝、臓器再建外科・再生医療、運動器、リハビリテーション・地域包括医療、救急・中毒

（４） 第４学年所定の14科目（特別枠・地域枠学生15科目）：

・ユニット

医療プロフェッショナリズムの実践　Ａ４

人間と社会　Ａ４

臨床実習入門　Ｐ４ａ、Ｐ４ｂ、Ｐ４ｃ

ＬＰＢＬ　Ａ４

特別枠・地域枠学生必修科目：地域医療の実践　Ｐ４

・コース

麻酔・集中治療、眼・視覚、耳鼻咽喉・頭頸部外科、皮膚、精神・行動、全人的医療・行動科学、周産期・生殖器、小児の成長・発達

（５） 第５学年所定の25科目：

・人間と社会　Ｐ５

・臨床実習

内科学（１）、内科学（２）、内科学（３）、呼吸器腫瘍内科学、心療内科学、神経内科学、精神神経科学、小児科学、外科学、心臓血管外科学、呼吸器外科学、脳神経外科学、整形外科学、リハビリテーション医学、形成外科学、皮膚科学、腎泌尿器外科学、眼科学、耳鼻咽喉科・頭頸部外科学、放射線科学、産科学・婦人科学、麻酔科学、病態検査学、救急医学

（６） 第６学年所定の３科目：

・臨床実習

選択制臨床実習、自由選択制臨床実習

・まとめの講義

第５条　前条に定める各科目の試験に加え、各学年において実施する必須試験を次の各号のとおり定める。

（１） 第１学年から第２学年まで：総合試験

（２） 第３学年：プレＣＢＴ総合試験

（３） 第４学年：共用試験ＣＢＴ（Ｃｏｍｐｕｔｅｒ　Ｂａｓｅｄ　Ｔｅｓｔｉｎｇ）及び臨床実習前ＯＳＣＥ

（４） 第５学年：クリニカル・クラークシップ総合試験（中間試験を含む。）

（５） 第６学年：臨床実習後ＯＳＣＥ及び卒業試験

（６） 次条第２号②に定める学習、生活態度等の評価を加味する。

第６条　進級及び卒業判定について、次の各号のとおり定める。

（１） 進級及び卒業判定は、医学部長が医学部教授会の議を経て学長へ報告し、学長が決定する。進級にあたっては、講義については、各科目の３分の２以上に出席し、全科目の成績評価を受けなければならない。実習については、原則としてすべてに出席し、評価を受けなければならない。欠席した場合は必ず届出を提出し、正当な欠席と認められた場合は、科目責任者に欠席分の実習を補う内容（補講、レポート等）を課してもらい欠席を補わなければならない。

（２） 合格、進級及び卒業判定の基準は次のとおりとする。

① 各科目の成績評価は100点満点で行い、60点以上を合格とする。なお、共用試験ＣＢＴ（Ｃｏｍｐｕｔｅｒ　Ｂａｓｅｄ　Ｔｅｓｔｉｎｇ）及び臨床実習前ＯＳＣＥの成績評価は、医療系大学間共用試験実施評価機構が示す全国基準を用いて評価する。また、総合試験、クリニカル・クラークシップ総合試験（中間試験を含む。）及び卒業試験の成績評価は絶対評価を用いて行い、合格基準については別に定める。臨床実習後ＯＳＣＥの成績評価についても絶対評価を用いて行う。

② 本学が定めるディプロマ・ポリシー、成績の評価に付与するＧＰ（Ｇｒａｄｅ　Ｐｏｉｎｔ）及びＧＰＡ（Ｇｒａｄｅ　Ｐｏｉｎｔ　Ａｖｅｒａｇｅ）に加え、クラスアドバイザー及びメンター等が記録した学生への助言、指導等記録等をもとに、学習、生活態度等も加味したうえで判定を行う。

③　①及び②にかかわらず、各科目においては、点数化せずに成績評価をする場合がある。

④　各学年の進級及び卒業判定の基準は、次のとおりとする。

第１学年から第２学年まで：当該学年所定の全科目で合格の評価を受け、かつ総合試験の成績で合格の評価を受けた者を進級可とする。

第３学年：当該学年所定の全科目で合格の評価を受け、かつプレＣＢＴ総合試験の成績で合格の評価を受けた者を進級可とする。

第４学年：当該学年所定の全科目で合格の評価を受け、かつ共用試験ＣＢＴ及び臨床実習前ＯＳＣＥの成績で合格の評価を受けた者を進級可とする。

第５学年：当該学年所定の全科目で合格の評価を受け、かつクリニカル・クラークシップ総合試験（中間試験を含む。）の成績で合格の評価を受けた者を進級可とする。

第６学年：当該学年所定の全臨床実習科目で合格の評価を受け、臨床実習後ＯＳＣＥ及び卒業試験（まとめの講義の評価に相当する試験も含む。）の成績で合格の評価を受けた者を卒業可とする。

（３）　前号の規定にかかわらず、全科目のうちユニット科目において、当該ユニットの構成に別表１に定めるサブユニットが含まれる場合には、進級判定に用いる成績評価の基準を次のとおり定める。

①　講義については、原則として各サブユニットの３分の２以上に出席し、全サブユニットの成績評価を受けなければならない。

②　各サブユニットの成績評価は100点満点で行い、原則として60点以上を合格とする。

③　ユニットの科目責任者は、当該ユニットを構成する全サブユニットの成績評価を勘案した上で、ユニット科目の成績評価を行うものとする。

（４）　成績の評価に付与するＧＰ（Ｇｒａｄｅ　Ｐｏｉｎｔ）及びＧＰＡ（Ｇｒａｄｅ　Ｐｏｉｎｔ　Ａｖｅｒａｇｅ）については、別に定める。

第７条　各科目及び別表１に定めるサブユニットの試験は、次の各号のとおり行う。

（１）　科目の試験においては、試験施行日までの当該科目及びサブユニットの全授業時間（実授業時間数とし、休講時間数は含まない。）の３分の１を超えて欠席した学生は、欠席届を提出することにより本試験の受験は認めるが、別に定める手続きを経たうえで再試験受験対象者とする。ただし、大学が指定する一部のサブユニットについては、その限りではない。

（２）　卒業試験においては、前号に加えまとめの講義の全授業時間（実授業時間数とし、休講時間数は含まない。）の３分の１を超えて欠席した学生は、当該試験の受験資格が認められない。

（３）　前々号の学生のうちやむを得ない事由（表Ⅰ・Ⅱ）によって認められた者に限り、再試験或いは追試験を受けることができる。

表Ⅰ

対象となる欠席事由	「欠席届」に添付すべき証明書、文書等
1　病気・ケガ（本人）	（１）　診断書又は（２）　氏名、通院日明記の領収書等
2　出産	（１）　「出生届」又は（２）　「出産証明書」
（１）　本人（産前６週間・産後８週間）	
（２）　配偶者（２日）	
3　忌引	（１）　欠席日を確認できる会葬御礼又は（２）　死亡を確認できる公的証明書等
（１）　父母・配偶者・子（５日）	
（２）　祖父母・兄弟姉妹（２日）	
4　交通事故、非常災害（本人）	交通事故証明書、被災証明書
5　公共交通機関の不通	当該公共交通機関発行の不通証明書
6　親族の看護	被看護者の診断書
7　その他斟酌すべき事由	科目責任者と教務部長が協議の上可否を決定する。

なお、表Ⅱによる欠席の場合は、公認欠席とする。

表Ⅱ

対象となる欠席事由	「欠席届」に添付すべき証明書、文書等

1　学校保健安全法施行規則第18条に基づく第一種・第二種・第三種感染症による出席停止	診断書
2　裁判員制度による裁判員及び裁判員候補者に選任された場合	裁判所からの通知書

（４）　２分の１以上欠席した学生の扱いは、別に定める。

（５）　試験中不正行為を行った者に対しては直ちに退場を命じ、当該学年において既に受験した科目についてはこれを無効とし、残りの科目については受験を許可しない。

第８条　再試験及び追試験について、次の各号のとおり定める。

（１）　疾病又は事故などやむを得ない事由（表Ⅲ）により受験できない場合は、試験開始の日時までにその旨届け出なければならない。ただし、再試験を伴う試験のみとし、試験欠席届に下記一覧に記載された証明書、文書等を添えて試験日から５日以内に医学部事務部教務課へ提出し、受験の可否を受けるものとする。

表Ⅲ

追試験の対象となる欠席事由	「試験欠席届」に添付すべき証明書、文書等
1　病気・ケガ（本人）	（１）　診断書又は（２）　氏名、通院日明記の領収書等
2　出産	（１）　「出生届」又は（２）　「出産証明書」
（１）　本人（産前６週間・産後８週間）	
（２）　配偶者（２日）	
3　忌引	（１）　欠席日を確認できる会葬御礼又は（２）　死亡を確認できる公的証明書等
（１）　父母・配偶者・子（５日）	
（２）　祖父母・兄弟姉妹（２日）	
4　交通事故、非常災害（本人）	交通事故証明書、被災証明書
5　公共交通機関の不通・遅延	当該公共交通機関発行の不通・遅延証明書
6　親族の看護	被看護者の診断書
7　学校保健安全法施行規則第18条に基づく第一種・第二種・第三種感染症による出席停止	診断書
8　裁判員制度による裁判員及び裁判員候補者に選任された場合	裁判所からの通知書
9　その他斟酌すべき事由	科目責任者と教務部長が協議の上可否を決定する。

（２）　前号の届出を行い、認められた者については追試験を行う。

（３）　試験に不合格の場合は、再試験を行うことがある。

（４）　再試験の点数は最高点を60点、追試験の点数は最高点を80点とする。ただし、裁判員制度による裁判員及び裁判員候補者に選任された場合、学校保健安全法施行規則第18条に基づく第一種・第二種・第三種感染症による出席停止の場合の追試験の点数は、公認欠席扱いと見なし、最高点を100点とする。

尚、プレＣＢＴ総合試験、クリニカル・クラークシップ総合試験（中間試験を含む。）及び卒業試験の点数は再試験並びに追試験ともに最高点を100点とする。

（５）　追・再試験受験者は「追・再試験受験願」を、その試験前日（ただし、土曜日を除く。）の12時50分までに医学部事務部教務課へ提出しなければ当該科目の追・再試験を受験することができない。

（６）　再試験を受験する場合は、１試験につき5,000円の再試験料を徴収する。

（７）　再試験及び追試験は、原則として１回限りとする。

（８）　追試験の再試験、再試験の追試験は実施しない。

第９条　留年者の履修について、次の各号のとおり定める。

（１）　進級又は卒業の認定を受けることができなかった者は、同一学年次に留め置く。

（２）　留年者は、当該学年の全科目を再履修し、成績の再評価を受けなければならない。ただし、

前年度に評価を受けた結果、合格基準に達したと認められた科目に限っては、当該科目の３分の２以上の講義等に出席することを条件に再評価を免除する場合がある。

（３）　前号及び前々号の定めにかかわらず、６学年は別に定める。

第10条　本細則の改廃は、医学部教務委員会及び医学部教授会の議を経て、医学部長が決定する。

附　則（令和５年４月１８日第05－21号）

本細則は、令和５年４月１日より施行する。

附　則

本細則は、令和５年４月１日より施行する。

別表１

	コース名	ユニット		サブユニット
Ⅰ	生体の構造と機能	A	1	（1）
				（2）
				（3）
				（4）
		B	1	
			2	
		C	1	
			2	（1）
				（2）
				（3）
				（4）
		P	1	
			2 b	
			2 c	
			2 d	
Ⅱ	理工学からみた医療・医学	A	1	（1）
				（2）
		B	3	
		P	1	
Ⅲ	人間と社会	A	1	（1）
				（2）
				（3）
				（4）
			2	
			4	（1）
				（2）
				（3）
		P	1 a	
			1 b	
			5	
Ⅳ	医療プロフェッショナリズムの実践	A	1	
			2	
			4	

Ⅴ	医学英語	A	1	（1）
				（2）
				（3）
			2	
Ⅵ	健康科学	A	1	
Ⅶ	リベラルアーツセミナー	A	1	
Ⅷ	臨床実習入門	P	1 a	
			1 b	
			2	
			3	
			4 a	
			4 b	
			4 c	
Ⅸ	ＬＰＢＬ	A	1	
			2	
			3	
Ⅹ	病因と病態	A	2	（1）
				（2）
ⅩⅠ	感染と生体防御	A	2	（1）
				（2）
				（3）
				（4）
		P	2	
ⅩⅡ	リサーチマインドの実践	A	1	
			2	
		P	3	
ⅩⅢ	地域医療の実践 （特別枠、地域枠学生のみ）	A	1	
			2	
			3	
		P	4	

医学部履修修了認定に関する細則
（令和2年度以降入学者）

第１条　関西医科大学学則第13条に規定する授業科目等の履修修了認定に関する細則を、以下のとおり定める。

第２条　遅刻に関する取り扱いについて、次の各号のとおり定める。

（１）　授業における遅刻の取り扱いは、授業開始時刻から授業開始15分以内とする。授業開始15分を経過した場合は、欠席とする。

（２）　前号に定める遅刻３回を欠席１回として取り扱う。

（３）　試験における遅刻の取り扱いは、試験開始30分以内とする。

（４）　交通機関延着に伴う遅刻については別途定める。

第３条　成績評価に関する異議について、次の各号のとおり定める。

（１）　各科目の成績評価について、異議を申し立てることができる。

（２）　異議申し立てに関する手続きについては、別途定める。

第４条　授業科目は、ユニット、コース、臨床実習及びまとめの講義で構成する。各学年の所定の授業科目については、次の各号のとおり定める。

（１）　第１学年所定の16科目（研究マインド育成プログラム学生及び特別枠・地域枠学生17科目）：

・ユニット

生体の構造と機能　Ａ１、Ｂ１、Ｃ１、Ｐ１

理工学からみた医療・医学　Ａ１、Ｐ１

人間と社会　Ａ１、Ｐ１ａ、Ｐ１ｂ

医療プロフェッショナリズムの実践　Ａ１

医学英語　Ａ１

健康科学　Ａ１

リベラルアーツセミナー　Ａ１

臨床実習入門　Ｐ１ａ、Ｐ１ｂ

ＬＰＢＬ　Ａ１

研究マインド育成プログラム学生必修科目：リサーチマインドの実践　Ａ１

特別枠・地域枠学生必修科目：地域医療の実践　Ａ１

（２）　第２学年所定の15科目（特別枠・地域枠学生16科目）：

・ユニット

生体の構造と機能　Ｂ２、Ｃ２、Ｐ２ａ、Ｐ２ｂ、Ｐ２ｃ、Ｐ２ｄ

人間と社会　Ａ２

医療プロフェッショナリズムの実践　Ａ２

医学英語　Ａ２

臨床実習入門　Ｐ２

ＬＰＢＬ　Ａ２

病因と病態　Ａ２

感染と生体防御　Ａ２、Ｐ２

リサーチマインドの実践　Ａ２

特別枠・地域枠学生必修科目：地域医療の実践　Ａ２

（３）　第３学年所定の21科目（特別枠・地域枠学生22科目）：

・ユニット

理工学からみた医療・医学　Ｂ３

臨床実習入門　Ｐ３

ＬＰＢＬ　Ａ３

リサーチマインドの実践　Ｐ３

特別枠・地域枠学生必修科目：地域医療の実践　Ａ３

・コース

内科総論、外科総論、放射線診断学、呼吸器、感染症、循環器、腎尿路、消化器、血液・移植、臨床腫瘍学、神経、免疫・膠原病・アレルギー、内分泌・代謝、臓器再建外科・再生医療、運動器、リハビリテーション・地域包括医療、救急・中毒

（４）　第４学年所定の15科目（特別枠・地域枠学生16科目）：

・ユニット

医療プロフェッショナリズムの実践　Ａ４

人間と社会　Ａ４、Ｐ４

臨床実習入門　Ｐ４ａ、Ｐ４ｂ、Ｐ４ｃ

ＬＰＢＬ　Ａ４

特別枠・地域枠学生必修科目：地域医療の実践　Ｐ４

・コース

麻酔・集中治療、眼・視覚、耳鼻咽喉・頭頸部外科、皮膚、精神・行動、全人的医療・行動科学、周産期・生殖器、小児の成長・発達

（５）　第５学年所定の25科目：

・臨床実習

内科学（１）、内科学（２）、内科学（３）、呼吸器腫瘍内科学、心療内科学、神経内科学、精神神経科学、小児科学、外科学、心臓血管外科学、呼吸器外科学、脳神経外科学、整形外科学、リハビリテーション医学、形成外科学、皮膚科学、腎泌尿器外科学、眼科学、耳鼻咽喉科・頭頸部外科学、放射線科学、産科学・婦人科学、麻酔科学、病態検査学、救急医学

・人間と社会　Ｐ５

（６）　第６学年所定の３科目：

・臨床実習

選択制臨床実習、自由選択制臨床実習

・まとめの講義

第５条　前条に定める各科目の試験に加え、各学年において実施する必須試験を次の各号のとおり定める。

（１）　第１学年から第３学年まで：総合試験

（２）　第４学年：共用試験ＣＢＴ（Ｃｏｍｐｕｔｅｒ　Ｂａｓｅｄ　Ｔｅｓｔｉｎｇ）及び臨床実習前ＯＳＣＥ

（３）　第５学年：クリニカル・クラークシップ総合試験（中間試験を含む。）

（４）　第６学年：臨床実習後ＯＳＣＥ及び卒業試験

（５）　次条第２号②に定める学習、生活態度等の評価を加味する。

第６条　進級及び卒業判定について、次の各号のとおり定める。

（１）　進級及び卒業判定は、医学部長が医学部教授会の議を経て学長へ報告し、学長が決定する。進級にあたっては、講義については、各科目の３分の２以上に出席し、全科目の成績評価を受けなければならない。実習については、原則としてすべてに出席し、評価を受けなければならない。欠席した場合は必ず届出を提出し、正当な欠席と認められた場合は、科目責任者に欠席分の実習を補う内容（補講、レポート等）を課してもらい欠席を補わなければならない。

（２）　合格、進級及び卒業判定の基準は次のとおりとする。

①　各科目の成績評価は100点満点で行い、60点以上を合格とする。なお、共用試験ＣＢＴ（Ｃｏｍｐｕｔｅｒ　Ｂａｓｅｄ　Ｔｅｓｔｉｎｇ）及び臨床実習前ＯＳＣＥの成績評価は、医療系大学間共用試験実施評価機構が示す全国基準を用いて評価する。また、総合試験、クリニカル・クラークシップ総合試験（中間試験を含む。）及び卒業試験の成績評価は絶対評価を用いて行い、合格基準については別に定める。臨床実習後ＯＳＣＥの成績評価についても絶対評価を用いて行う。

②　本学が定めるディプロマ・ポリシー、成績の評価に付与するＧＰ（Ｇｒａｄｅ　Ｐｏｉｎｔ）及びＧＰＡ（Ｇｒａｄｅ　Ｐｏｉｎｔ　Ａｖｅｒａｇｅ）に加え、クラスアドバイザー及びメンター等が記録した学生への助言、指導等記録等をもとに、学習、生活態度等も加味したうえで判定を行う。

③　①及び②にかかわらず、各科目においては、点数化せずに成績評価をする場合がある。

④　各学年の進級及び卒業判定の基準は、次のとおりとする。

第１学年から第３学年まで：当該学年所定の全科目で合格の評価を受け、かつ総合試験の成績で合格の評価を受けた者を進級可とする。

第４学年：当該学年所定の全科目で合格の評価を受け、かつ共用試験ＣＢＴ及び臨床実習前ＯＳＣＥの成績で合格の評価を受けた者を進級可とする。

第５学年：当該学年所定の全科目で合格の評価を受け、かつクリニカル・クラークシップ総合試験（中間試験を含む）の成績で合格の評価を受けた者を進級可とする。

第６学年：当該学年所定の全臨床実習科目で合格の評価を受け、臨床実習後ＯＳＣＥ及び卒業試験（まとめの講義の評価に相当する試験も含む。）の成績で合格の評価を受けた者を卒業可とする。

（３）　前号の規定にかかわらず、全科目のうちユニット科目において、当該ユニットの構成に別表１に定めるサブユニットが含まれる場合には、進級判定に用いる成績評価の基準を次のとおり定める。

①　講義については、原則として各サブユニットの３分の２以上に出席し、全サブユニットの成績評価を受けなければならない。

②　各サブユニットの成績評価は100点満点で行い、原則として60点以上を合格とする。

③　ユニットの科目責任者は、当該ユニットを構成する全サブユニットの成績評価を勘案した上で、ユニット科目の成績評価を行うものとする。

（４）　成績の評価に付与するＧＰ（Ｇｒａｄｅ　Ｐｏｉｎｔ）及びＧＰＡ（Ｇｒａｄｅ　Ｐｏｉｎｔ　Ａｖｅｒａｇｅ）については、別に定める。

第７条　各科目及び別表１に定めるサブユニットの試験は、次の各号のとおり行う。

（１）　科目の試験においては、試験施行日までの当該科目及びサブユニットの全授業時間（実授業時間数とし、休講時間数は含まない。）の３分の１を超えて欠席した学生は、欠席届を提出することにより本試験の受験は認めるが、別に定める手続きを経たうえで再試験受験対象者とする。ただし、大学が指定する一部のサブユニットについては、その限りではない。

（２）　卒業試験においては、前号に加えまとめの講義の全授業時間（実授業時間数とし、休講時間数は含まない。）の３分の１を超えて欠席した学生は、当該試験の受験資格が認められない。

（３）　前々号の学生のうちやむを得ない事由（表Ⅰ・Ⅱ）によって認められた者に限り、再試験或いは追試験を受けることができる。

表Ⅰ

対象となる欠席事由	「欠席届」に添付すべき証明書、文書等
1　病気・ケガ（本人）	（1）　診断書又は（2）　氏名、通院日明記の領収書等
2　出産	（1）　「出生届」又は（2）　「出産証明書」
（1）　本人（産前６週間・産後８週間）	
（2）　配偶者（２日）	
3　忌引	（1）　欠席日を確認できる会葬御礼又は（2）　死亡を確認できる公的証明書等
（1）　父母・配偶者・子（５日）	
（2）　祖父母・兄弟姉妹（２日）	
4　交通事故、非常災害（本人）	交通事故証明書、被災証明書
5　公共交通機関の不通	当該公共交通機関発行の不通証明書
6　親族の看護	被看護者の診断書
7　その他斟酌すべき事由	科目責任者と教務部長が協議の上可否を決定する。

なお、表Ⅱによる欠席の場合は、公認欠席とする。

表Ⅱ

対象となる欠席事由	「欠席届」に添付すべき証明書、文書等
1　学校保健安全法施行規則第18条に基づく第一種・第二種・第三種感染症による出席停止	診断書

2　裁判員制度による裁判員及び裁判員候補者に選任された場合	裁判所からの通知書

（４）　２分の１以上欠席した学生の扱いは、別に定める。

（５）　試験中不正行為を行った者に対しては直ちに退場を命じ、当該学年において既に受験した科目についてはこれを無効とし、残りの科目については受験を許可しない。

第８条　再試験及び追試験について、次の各号のとおり定める。

（１）　疾病又は事故などやむを得ない事由（表Ⅲ）により受験できない場合は、試験開始の日時までにその旨届け出なければならない。ただし、再試験を伴う試験のみとし、試験欠席届に下記一覧に記載された証明書、文書等を添えて試験日から５日以内に医学部事務部教務課へ提出し、受験の可否を受けるものとする。

表Ⅲ

追試験の対象となる欠席事由	「試験欠席届」に添付すべき証明書、文書等
1　病気・ケガ（本人）	（１）　診断書又は（２）　氏名、通院日明記の領収書等
2　出産	（１）　「出生届」又は（２）　「出産証明書」
（１）　本人（産前６週間・産後８週間）	
（２）　配偶者（２日）	
3　忌引	（１）　欠席日を確認できる会葬御礼又は（２）　死亡を確認できる公的証明書等
（１）　父母・配偶者・子（５日）	
（２）　祖父母・兄弟姉妹（２日）	
4　交通事故、非常災害（本人）	交通事故証明書、被災証明書
5　公共交通機関の不通・遅延	当該公共交通機関発行の不通・遅延証明書
6　親族の看護	被看護者の診断書
7　学校保健安全法施行規則第18条に基づく第一種・第二種・第三種感染症による出席停止	診断書
8　裁判員制度による裁判員及び裁判員候補者に選任された場合	裁判所からの通知書
9　その他斟酌すべき事由	科目責任者と教務部長が協議の上可否を決定する。

（２）　前号の届出を行い、認められた者については追試験を行う。

（３）　試験に不合格の場合は、再試験を行うことがある。

（４）　再試験の点数は最高点を60点、追試験の点数は最高点を80点とする。ただし、裁判員制度による裁判員及び裁判員候補者に選任された場合、学校保健安全法施行規則第18条に基づく第一種・第二種・第三種感染症による出席停止の場合の追試験の点数は、公認欠席扱いと見なし、最高点を100点とする。

尚、クリニカル・クラークシップ総合試験（中間試験を含む。）及び卒業試験の点数は再試験並びに追試験ともに最高点を100点とする。

（５）　追・再試験受験者は「追・再試験受験願」を、その試験前日（ただし、土曜日を除く。）の12時50分までに医学部事務部教務課へ提出しなければ当該科目の追・再試験を受験することができない。

（６）　再試験を受験する場合は、１試験につき5,000円の再試験料を徴収する。

（７）　再試験及び追試験は、原則として１回限りとする。

（８）　追試験の再試験、再試験の追試験は実施しない。

第９条　留年者の履修について、次の各号のとおり定める。

（１）　進級又は卒業の認定を受けることができなかった者は、同一学年次に留め置く。

（２）　留年者は、当該学年の全科目を再履修し、成績の再評価を受けなければならない。ただし、前年度に評価を受けた結果、合格基準に達したと認められた科目に限っては、当該科目の３分の２以上の講義等に出席することを条件に再評価を免除する場合がある。

（３）　前号及び前々号の定めにかかわらず、６学年は別に定める。

第10条　本細則の改廃は、医学部教務委員会及び医学部教授会の議を経て、医学部長が決定する。

附　則（令和５年４月１８日第05－22号）

本細則は、令和５年４月１日から施行する。

附　則

本細則は、令和６年４月１日から施行する。ただし、令和６年度４学年の所定科目のうち「人間と社会Ｐ４」及び令和６年度５学年の所定科目の内「人間と社会Ｐ５」については令和６年度進級判定に必要な所定科目の対象外とする。

別表１

	コース名	ユニット		サブユニット
Ⅰ	生体の構造と機能	A	1	（１）
				（２）
				（３）
				（４）
		B	1	
			2	
		C	1	（１）
				（２）
			2	（１）
				（２）
				（３）
		P	1	
			2 a	
			2 b	
			2 c	
			2 d	
Ⅱ	理工学からみた医療・医学	A	1	（１）
				（２）
		B	3	
		P	1	
Ⅲ	人間と社会	A	1	（１）
				（２）
				（３）
				（４）
			2	
			4	（１）
				（２）
				（３）
		P	1 a	
			1 b	
			4	
			5	
Ⅳ	医療プロフェッショナリズムの実践	A	1	
			2	
			4	

Ⅴ	医学英語	A	1	（1）
				（2）
				（3）
			2	
Ⅵ	健康科学	A	1	
Ⅶ	リベラルアーツセミナー	A	1	
Ⅷ	臨床実習入門	P	1 a	
			1 b	
			2	
			3	
			4 a	
			4 b	
			4 c	
Ⅸ	ＬＰＢＬ	A	1	
			2	
			3	
Ⅹ	病因と病態	A	2	（1）
				（2）
ⅩⅠ	感染と生体防御	A	2	（1）
				（2）
				（3）
				（4）
		P	2	
ⅩⅡ	リサーチマインドの実践	A	1	
			2	
		P	3	
ⅩⅢ	地域医療の実践 （特別枠、地域枠学生のみ）	A	1	
			2	
			3	
		P	4	

医学部履修修了認定に関する細則
（平成 30 年度以降入学者）

第１条　関西医科大学学則第13条に規定する授業科目等の履修修了認定に関する細則を、以下のとおり定める。

第２条　遅刻に関する取り扱いについて、次の各号のとおり定める。

（１）　授業における遅刻の取り扱いは、授業開始時刻から授業開始15分以内とする。授業開始15分を経過した場合は、欠席とする。

（２）　前号に定める遅刻３回を欠席１回として取り扱う。

（３）　試験における遅刻の取り扱いは、試験開始30分以内とする。

（４）　交通機関延着に伴う遅刻については別途定める。

第３条　成績評価に関する異議について、次の各号のとおり定める。

（１）　各科目の成績評価について、異議を申し立てることができる。

（２）　異議申し立てに関する手続きについては、別途定める。

第４条　授業科目は、ユニット、コース、臨床実習及びまとめの講義で構成する。各学年の所定の授業科目について、次の各号のとおり定める。

（１）　第１学年所定の16科目（研究マインド育成プログラム学生及び特別枠・地域枠学生17科目）：

・ユニット

生体の構造と機能　Ａ１、Ｂ１、Ｃ１、Ｐ１

理工学からみた医療・医学　Ａ１、Ｐ１

人間と社会　Ａ１、Ｐ１ａ、Ｐ１ｂ

医療プロフェッショナリズムの実践　Ａ１

医学英語　Ａ１

健康科学　Ａ１

リベラルアーツセミナー　Ａ１

臨床実習入門　Ｐ１ａ、Ｐ１ｂ

ＬＰＢＬ　Ａ１

研究マインド育成プログラム学生必修科目：リサーチマインドの実践　Ａ１

特別枠・地域枠学生必修科目：地域医療の実践　Ａ１

（２）　第２学年所定の15科目（特別枠・地域枠学生16科目）：

・ユニット

生体の構造と機能　Ｂ２、Ｃ２、Ｐ２ａ、Ｐ２ｂ、Ｐ２ｃ、Ｐ２ｄ

人間と社会　Ａ２

医療プロフェッショナリズムの実践　Ａ２

医学英語　Ａ２

臨床実習入門　Ｐ２

ＬＰＢＬ　Ａ２

病因と病態　Ａ２

感染と生体防御　Ａ２、Ｐ２

リサーチマインドの実践　Ａ２

特別枠・地域枠学生必修科目：地域医療の実践　Ａ２

（３）　第３学年所定の21科目（特別枠・地域枠学生22科目）：

・ユニット

理工学からみた医療・医学　Ｂ３

臨床実習入門　Ｐ３

ＬＰＢＬ　Ａ３

リサーチマインドの実践　Ｐ３

特別枠・地域枠学生必修科目：地域医療の実践　Ａ３

・コース

内科総論、外科総論、放射線診断学、呼吸器、感染症、循環器、腎尿路、消化器、血液・移植、臨床腫瘍学、神経、免疫・膠原病・アレルギー、内分泌・代謝、臓器再建外科・再生医療、運動器、リハビリテーション・地域包括医療、救急・中毒

（４）　第４学年所定の15科目（特別枠・地域枠学生16科目）：

・ユニット

医療プロフェッショナリズムの実践　Ａ４

人間と社会　Ａ４、Ｐ４

臨床実習入門　Ｐ４ａ、Ｐ４ｂ、Ｐ４ｃ

ＬＰＢＬ　Ａ４

特別枠・地域枠学生必修科目：地域医療の実践　Ｐ４

・コース

麻酔・集中治療、眼・視覚、耳鼻咽喉・頭頸部外科、皮膚、精神・行動、全人的医療・行動科学、周産期・生殖器、小児の成長・発達

（５）　第５学年所定の24科目：

・臨床実習

内科学（１）、内科学（２）、内科学（３）、呼吸器腫瘍内科学、心療内科学、神経内科学、精神神経科学、小児科学、外科学、心臓血管外科学、呼吸器外科学、脳神経外科学、整形外科学、リハビリテーション医学、形成外科学、皮膚科学、腎泌尿器外科学、眼科学、耳鼻咽喉科・頭頸部外科学、放射線科学、産科学・婦人科学、麻酔科学、病態検査学、救急医学

（６）　第６学年所定の３科目：

・臨床実習

選択制臨床実習、自由選択制臨床実習

・まとめの講義

第５条　前条に定める各科目の試験に加え、各学年において実施する必須試験を次の各号のとおり定める。

（１）　第１学年から第３学年まで：総合試験

（２）　第４学年：共用試験ＣＢＴ（Ｃｏｍｐｕｔｅｒ　Ｂａｓｅｄ　Ｔｅｓｔｉｎｇ）及び臨床実習前ＯＳＣＥ

（３）　第５学年：クリニカル・クラークシップ総合試験（中間試験を含む。）

（４）　第６学年：臨床実習後ＯＳＣＥ及び卒業試験

（５）　次条第２号②に定める学習、生活態度等の評価を加味する。

第６条　進級及び卒業判定について、次の各号のとおり定める。

（１）　進級及び卒業判定は、医学部長が医学部教授会の議を経て学長へ報告し、学長が決定する。進級にあたっては、講義については、各科目の３分の２以上に出席し、全科目の成績評価を受けなければならない。実習については、原則としてすべてに出席し、評価を受けなければならない。欠席した場合は必ず届出を提出し、正当な欠席と認められた場合は、科目責任者に欠席分の実習を補う内容（補講、レポート等）を課してもらい欠席を補わなければならない。

（２）　合格、進級及び卒業判定の基準は次のとおりとする。

①　各科目の成績評価は100点満点で行い、60点以上を合格とする。なお、共用試験ＣＢＴ（Ｃｏｍｐｕｔｅｒ　Ｂａｓｅｄ　Ｔｅｓｔｉｎｇ）及び臨床実習前ＯＳＣＥの成績評価は、医療系大学間共用試験実施評価機構が示す全国基準を用いて評価する。また、総合試験、クリニカル・クラークシップ総合試験（中間試験を含む。）及び卒業試験の成績評価は絶対評価を用いて行い、合格基準については別に定める。臨床実習後ＯＳＣＥの成績評価についても絶対評価を用いて行う。

②　本学が定めるディプロマ・ポリシー、成績の評価に付与するＧＰ（Ｇｒａｄｅ　Ｐｏｉｎｔ）及びＧＰＡ（Ｇｒａｄｅ　Ｐｏｉｎｔ　Ａｖｅｒａｇｅ）に加え、クラスアドバイザー及びメンター等が記録した学生への助言、指導等記録等をもとに、学習、生活態度等も加味したうえで判定を行う。

③　①及び②にかかわらず、各科目においては、点数化せずに成績評価をする場合がある。

④　各学年の進級及び卒業判定の基準は、次のとおりとする。

第１学年から第３学年まで：当該学年所定の全科目で合格の評価を受け、かつ総合試験の成績で合格の評価を受けた者を進級可とする。

第４学年：当該学年所定の全科目で合格の評価を受け、かつ共用試験ＣＢＴ及び臨床実習前ＯＳＣＥの成績で合格の評価を受けた者を進級可とする。

第５学年：当該学年所定の全科目で合格の評価を受け、かつクリニカル・クラークシップ総合試験（中間試験を含む。）の成績で合格の評価を受けた者を進級可とする。

第６学年：当該学年所定の全臨床実習科目で合格の評価を受け、臨床実習後ＯＳＣＥ及び卒業試験（まとめの講義の評価に相当する試験も含む。）の成績で合格の評価を受けた者を卒業可とする。

（３） 前号の規定にかかわらず、全科目のうちユニット科目において、当該ユニットの構成に別表１に定めるサブユニットが含まれる場合には、進級判定に用いる成績評価の基準を次のとおり定める。

① 講義については、原則として各サブユニットの３分の２以上に出席し、全サブユニットの成績評価を受けなければならない。

② 各サブユニットの成績評価は100点満点で行い、原則として60点以上を合格とする。

③ ユニットの科目責任者は、当該ユニットを構成する全サブユニットの成績評価を勘案した上で、ユニット科目の成績評価を行うものとする。

（４） 成績の評価に付与するＧＰ（Ｇｒａｄｅ　Ｐｏｉｎｔ）及びＧＰＡ（Ｇｒａｄｅ　Ｐｏｉｎｔ　Ａｖｅｒａｇｅ）については、別に定める。

第７条　各科目及び別表１に定めるサブユニットの試験は、次の各号のとおり行う。

（１） 科目の試験においては、試験施行日までの当該科目及びサブユニットの全授業時間（実授業時間数とし、休講時間数は含まない。）の３分の１を超えて欠席した学生は、欠席届を提出することにより本試験の受験は認めるが、別に定める手続きを経たうえで再試験受験対象者とする。ただし、大学が指定する一部のサブユニットについては、その限りではない。

（２） 卒業試験においては、前号に加えまとめの講義の全授業時間（実授業時間数とし、休講時間数は含まない。）の３分の１を超えて欠席した学生は、当該試験の受験資格が認められない。

（３） 前々号の学生のうちやむを得ない事由（表Ⅰ・Ⅱ）によって認められた者に限り、再試験或いは追試験を受けることができる。

表Ⅰ

対象となる欠席事由	「欠席届」に添付すべき証明書、文書等
1　病気・ケガ（本人）	（1）　診断書又は（2）　氏名、通院日明記の領収書等
2　出産	（1）　「出生届」又は（2）　「出産証明書」
（1）　本人（産前６週間・産後８週間）	
（2）　配偶者（２日）	
3　忌引	（1）　欠席日を確認できる会葬御礼又は（2）　死亡を確認できる公的証明書等
（1）　父母・配偶者・子（５日）	
（2）　祖父母・兄弟姉妹（２日）	
4　交通事故、非常災害（本人）	交通事故証明書、被災証明書
5　公共交通機関の不通	当該公共交通機関発行の不通証明書
6　親族の看護	被看護者の診断書
7　その他斟酌すべき事由	科目責任者と教務部長が協議の上可否を決定する。

なお、表Ⅱによる欠席の場合は、公認欠席とする。

表Ⅱ

対象となる欠席事由	「欠席届」に添付すべき証明書, 文書等
1　学校保健安全法施行規則第18条に基づく第一種・第二種・第三種感染症による出席停止	診断書
2　裁判員制度による裁判員及び裁判員	裁判所からの通知書

候補者に選任された場合	

（４）　２分の１以上欠席した学生の扱いは、別に定める。

（５）　試験中不正行為を行った者に対しては直ちに退場を命じ、当該学年において既に受験した科目についてはこれを無効とし、残りの科目については受験を許可しない。

第８条　再試験及び追試験について、次の各号のとおり定める。

（１）　疾病又は事故などやむを得ない事由（表Ⅲ）により受験できない場合は、試験開始の日時までにその旨届け出なければならない。ただし、再試験を伴う試験のみとし、試験欠席届に下記一覧に記載された証明書、文書等を添えて試験日から５日以内に医学部事務部教務課へ提出し、受験の可否を受けるものとする。

表Ⅲ

追試験の対象となる欠席事由	「試験欠席届」に添付すべき証明書、文書等
1　病気・ケガ（本人）	（１）　診断書又は（２）　氏名、通院日明記の領収書等
2　出産	（１）　「出生届」又は（２）　「出産証明書」
（１）　本人（産前６週間・産後８週間）	
（２）　配偶者（２日）	
3　忌引	（１）　欠席日を確認できる会葬御礼又は（２）　死亡を確認できる公的証明書等
（１）　父母・配偶者・子（５日）	
（２）　祖父母・兄弟姉妹（２日）	
4　交通事故、非常災害（本人）	交通事故証明書、被災証明書
5　公共交通機関の不通・遅延	当該公共交通機関発行の不通・遅延証明書
6　親族の看護	被看護者の診断書
7　学校保健安全法施行規則第18条に基づく第一種・第二種・第三種感染症による出席停止	診断書
8　裁判員制度による裁判員及び裁判員候補者に選任された場合	裁判所からの通知書
9　その他斟酌すべき事由	科目責任者と教務部長が協議の上可否を決定する。

（２）　前号の届出を行い、認められた者については追試験を行う。

（３）　試験に不合格の場合は、再試験を行うことがある。

（４）　再試験の点数は最高点を60点、追試験の点数は最高点を80点とする。ただし、裁判員制度による裁判員及び裁判員候補者に選任された場合、学校保健安全法施行規則第18条に基づく第一種・第二種・第三種感染症による出席停止の場合の追試験の点数は、公認欠席扱いと見なし、最高点を100点とする。

尚、クリニカル・クラークシップ総合試験（中間試験を含む。）及び卒業試験の点数は再試験並びに追試験ともに最高点を100点とする。

（５）　追・再試験受験者は「追・再試験受験願」を、その試験前日（ただし、土曜日を除く。）の12時50分までに医学部事務部教務課へ提出しなければ当該科目の追・再試験を受験することができない。

（６）　再試験を受験する場合は、１試験につき5,000円の再試験料を徴収する。

（７）　再試験及び追試験は、原則として１回限りとする。

（８）　追試験の再試験、再試験の追試験は実施しない。

第９条　留年者の履修について、次の各号のとおり定める。

（１）　進級又は卒業の認定を受けることができなかった者は、同一学年次に留め置く。

（２）　留年者は、当該学年の全科目を再履修し、成績の再評価を受けなければならない。ただし、前年度に評価を受けた結果、合格基準に達したと認められた科目に限っては、当該科目の３分の２以上の講義等に出席することを条件に再評価を免除する場合がある。

（３）　前号及び前々号の定めにかかわらず、６学年は別に定める。

第10条　本細則の改廃は、医学部教務委員会及び医学部教授会の議を経て、医学部長が決定する。

附　則（令和５年４月１８日第05－23号）
本細則は、令和５年４月１日から施行する。

附　則
本細則は、令和６年４月１日から施行する。

別表１

	コース名	ユニット		サブユニット
Ⅰ	生体の構造と機能	A	1	（1）
				（2）
				（3）
				（4）
		B	1	
			2	
		C	1	（1）
				（2）
			2	（1）
				（2）
				（3）
				（4）
		P	1	
			2 a	
			2 b	
			2 c	
			2 d	
Ⅱ	理工学からみた医療・医学	A	1	（1）
				（2）
		B	3	
		P	1	
Ⅲ	人間と社会	A	1	（1）
				（2）
				（3）
				（4）
			2	
			4	（1）
				（2）
				（3）
		P	1 a	
			1 b	
			4	
Ⅳ	医療プロフェッショナリズムの実践	A	1	
			2	
			4	
Ⅴ	医学英語	A	1	（1）
				（2）
				（3）
			2	

Ⅵ	健康科学	A	1	
Ⅶ	リベラルアーツセミナー	A	1	
Ⅷ	臨床実習入門	P	1 a	
			1 b	
			2	
			3	
			4 a	
			4 b	
			4 c	
Ⅸ	ＬＰＢＬ	A	1	
			2	
			3	
			4	
Ⅹ	病因と病態	A	2	（1）
				（2）
ⅩⅠ	感染と生体防御	A	2	（1）
				（2）
				（3）
				（4）
		P	2	
ⅩⅡ	リサーチマインドの実践	A	1	
			2	
		P	3	
ⅩⅢ	地域医療の実践 （特別枠、地域枠学生のみ）	A	1	
			2	
			3	
		P	4	

関西医科大学医学部における学生の成績等の開示及び異議申立てに関する規程

（趣旨）

第１条　この規程は、関西医科大学医学部（以下「医学部」という。）における学生の成績等の開示及び異議申立てに関し、必要な事項を定める。

２　社団法人医療系大学間共用試験実施評価機構の共用試験（以下「共用試験」という。）の成績等は、この規程の対象外とする。

（対応組織）

第２条　学生の成績等の開示及び異議申立てに関する対応は、医学部教務委員会がこれを担う。

（成績等の開示）

第３条　医学部で実施する各科目試験、プレＣＢＴ総合試験、クリニカル・クラークシップ総合試験（中間試験を含む。以下「ＣＣ総合試験」という。）及び卒業試験における成績等の開示の範囲は別表のとおりとする。

（疑義照会）

第４条　医学部の学生は、前条に掲げる試験等の問題に疑義がある場合は当該学生の学年代表者を通じて、試験終了日の翌日（翌日が、土曜日、日曜日及び国民の祝日に関する法律に規定する休日の場合は、その後の直近の平日）17 時 00 分までに申し出ることができる。

２　学年代表者は、前項の期限内に医学部教務部長宛の「疑義照会申請書（別記様式第１号）」を医学部の教務事務担当者に提出しなければならない。

３　医学部教務部長は、前項の「疑義照会申請書（別記様式第１号）」を受理した場合、当該試験の責任者に通知の上、速やかに調査を開始し、その結果を当該学生の学年代表者に回答しなければならない。

４　疑義照会の回答に対する異議申立ては、これを認めない。

（異議申立て）

第５条　医学部の学生は、次の各号のいずれかに該当することを理由とする場合に限り、異議申立てを行うことができる。ただし、異議申立ての内容が、教学上の判定に関し、救済措置を依頼するものである場合、個人的事情を依頼するなどの歎願と見受けられる内容である場合、他学生と比較し不満を訴えるものである場合、または、内容が不明確で具体的かつ明確な根拠がない場合については、異議申立てを受け付けない。

（１）第 3 条に掲げる試験等の試験結果の誤記入等、明らかに担当教員の採点誤りであると想定できるとき。

（２）成績評価に関し、シラバスや担当教員が授業時間内に指示等により周知している成績評価の基準及び方法とは明らかに逸脱したものであると想定できるとき。

２　異議申立ての受付期間は、第１項第１号の場合は第 3 条に掲げる試験結果を発表した日の翌日（翌日が、土曜日、日曜日及び国民の祝日に関する法律に規定する休日の場合は、その後の直近の平日）から、同項第２号の場合はあらかじめ周知した成績発表

の公示日翌日（翌日が、土曜日、日曜日及び国民の祝日に関する法律に規定する休日の場合は、その後の直近の平日）から、それぞれ３日以内（３日目日が、土曜日、日曜日及び国民の祝日に関する法律に規定する休日の場合は、その後の直近の平日）のそれぞれ 17 時 00 分までとする。

３　異議申立てを行う学生は、前項の期限内に「教学上の判定及び試験結果に関する異議申立書（別記様式第２号）」（以下「異議申立書」という。）を医学部長に提出しなければならない。

４　医学部長は、前項の「異議申立書」を受理した場合、速やかに調査等を行い、申立ての日の翌日から起算して原則として７日以内に異議申立てに対する回答（却下、認定または継続調査）を行うものとする。

５　前項の異議申立てに対する回答への異議申立ては、これを認めない。

６　医学部長は、第４項の調査等を行った結果、大学側に過失が認められたとき又は疑義が想定されるに至ったとき等の理由で、申立ての日の翌日から７日以内に回答することが困難な場合は、当該学生に状況を説明するとともに、その内容を学長及び教育担当副学長に報告し、当該対応について協議するものとする。

７　第４項に規定する調査等の方法については、医学部長が別に定める。

８　第４項に規定する調査等を行う者（以下「調査担当者」という。）が当該調査科目の担当教員である場合は、調査担当者になることはできない。この場合、学長（医学部長が当該調査科目の担当教員でない場合は、医学部長）は代替の調査担当者を指名するものとする。

（調査及び調査結果報告等）

第６条　医学部長は、異議申立てに関する調査の結果、大学側に過失が認められたとき又は疑義が想定されるとき等は、過失又は疑義の発生原因が特定される時期まで遡って、直ちに組織的に調査等を行うものとし、その具体的手法については、医学部長及び医学部教務部長が協議の上決定するものとする。

２　前項の調査等は、異議申立ての日の翌日から起算して原則として 30 日以内に終了するものとし、調査終了後、医学部長は、速やかに調査等の結果を学長及び教育担当副学長に報告するものとする。ただし、調査等に時間を要する場合は、適宜進捗状況を申立てた当該学生に報告するものとする。

３　医学部長は、異議申立てを行った当該学生に対し、適宜、調査等の経過を説明するとともに、調査等終了後にはその結果を説明するものとする。

４　医学部長は、調査等の結果、大学側に成績評価等における重大な過失又は疑義が判明し、成績評価の訂正の必要が生じた場合は、担当教員から速やかに成績訂正願を提出させ、当該学生の成績評価を訂正する。

５　医学部長は、前項の結果を受け、成績評価基準、進級判定基準等の在り方について、点検及び見直しを行うこととし、併せて、重大な過失が判明した場合については、学外有識者等による検証も実施するものとする。

（改廃）

第７条　この規程の改廃は、医学部教務委員会の議を経て、医学部長が決定する。

附　　則

この規程は、令和６年４月１日から施行する。

別表

試験種類	試験点数	合格基準点	平均点	試験問題	解答例又は正解のポイント
各科目試験					
本試験	◎	60 点	○	○	○
追・再試験	○	60 点	×	△	△
プレ CBT 総合試験					
(3 学年総合試験)	○	60 点	○	○	○
追・再試験	○	※1	○	○	○
CC 総合試験					
(5 学年中間試験)	◎	※2　絶対評価	○	○	○
(5 学年 CC 総合試験)	◎		○	○	○
追・再試験	○	※1	○	○	○
卒業試験					
(卒業試験①)	◎	※2　絶対評価	○	○	○
(卒業試験②)	◎		○	○	○
追・再試験	○	※1	○	○	○

試験点数：◎印の点数開示は試験結果発表予定日、○印の点数開示は留年者には進級及び卒業判定発表後速やかに、進級・卒業者にはガイダンス等にて開示する。

合格基準点：※１印の試験における試験点数及び合格基準点は、進級及び卒業判定を発表する際に開示する。※２印の試験における絶対評価の試験点数及び合格基準点は、シラバスにて開示する。

平均点、試験問題、解答例又は正解のポイント：○印は開示し、×印は開示しない。△は科目責任者による判断とする。

気象警報発令時等における試験・講義・実習の取扱いについて

1.気象警報等による休講について

1)試験・講義・実習(※1 を除く)の場合

午前 7 時の時点で特別警報(※2)又は台風による暴風警報が下記(※3)のいずれかの地域で発令されている場合、その日の午前中(1、2 時限目)の試験・講義・実習(※1 を除く)は休講とする。なお、午前 11 時において特別警報又は台風による暴風警報の発令が継続されている場合は全日休講とし、いずれも解除されている場合は、午後(3 時限目)から試験・講義・実習(※1 を除く)を行う。

2)実習(※1)の場合

午前 7 時の時点で特別警報又は台風による暴風警報が下記(※3)のいずれかの地域で発令されている場合、その日の実習(※1)は休講とする。

3)特例措置

災害等(地震、風水害、雪害、広域停電および落雷)の緊急事態が発生し、試験・講義・実習に支障があると判断した場合は、その都度、大学から指示するので、これに従うこと。

2.京阪電気鉄道(本線)の交通ストライキ又は不通による休講について

1)試験・講義・実習(※1 を除く)の場合

午前 7 時の時点で京阪電気鉄道(本線)が運休している場合、その日の午前中(1、2 時限目)の試験・講義・実習(※1 を除く)は休講とする。なお、午前 11 時において運休が継続している場合は全日休講とし、解除されている場合は、午後(3 時限目)から試験・講義・実習(※1 を除く)を行う。

2)実習(※1)の場合

午前 7 時の時点で京阪電気鉄道(本線)が運休している場合、その日の実習(※1)は休講とする。

※1　本学附属の病院で行う実習(1～4 学年)、クリニカル・クラークシップ(5、6 学年)
(但し 1～6 学年ともに学外施設は別とし、先方に指示を仰ぐこと)。

※2　特別警報とは警報の発表基準をはるかに超える規模で起きる様な甚大な災害、被害が発生する恐れがあり、最大級の警戒をする必要がある場合に適用される警報のことを言う。　　例　特別大雨警報、特別暴風警報、特別高潮警報

※3　特別警報又は台風による暴風警報の発令域は大阪府 3 地区(北大阪、東部大阪、大阪市)、京都府(山城中部)のいずれかの地域とする。

大阪府	北大阪	豊中市、池田市、吹田市、高槻市、茨木市、箕面市、摂津市、島本町、豊能町、能勢町
	東部大阪	守口市、枚方市、八尾市、寝屋川市、大東市、柏原市、門真市、東大阪市、四條畷市、交野市
	大阪市	大阪市
京都府	山城中部	宇治市、城陽市、八幡市、京田辺市、久御山町、井手町、宇治田原町

(注)本学への電話等の問合せは一切受け付けない

(各学生は自主的に判断すること)

試験時の交通機関延着について

試験開始から４０分以内に到着した場合で、延着証明書を提出すれば、試験会場に入室できる。

４０分を超えた場合は、本試験が欠席扱いとなり、追試験を受験する。その場合、延着証明書を添付し、試験欠席届および追試験受験願を医学部事務部教務課に提出しなければならない。

「延着」…居所から通学のために利用する交通機関において延着事由が生じ、当該交通機関の延着証明書を有する場合に限る。

公共交通機関を用いない者については、理由の如何にかかわらず、延着を認めない。

令和6年度　教務関係日程表

※令和6年4月1日現在（変更の可能性有り）

1学年	
4/5(金)	入学式
4/8(月)～10(水)	新入生健康診断・ガイダンス
4/11(水)	１学期開講
4/18(木)･19(金)	合宿研修
5/3(金)～5/6(月)	休講(5月連休)
6/30(日)	創立記念日
7/23(火)	１学期終講
7/24(水)～8/16(金)	夏季休業
8/20(火)	２学期開講
10/25(金)～10/27(日)	学園祭
12/20(金)	２学期終講
12/23(月)～1/3(金)	冬季休業
1/6(月)	３学期開講
2/3(月)	３学期終講
3/5(水)	卒業式

2学年	
4/8(月)	１学期開講
4/24(水)	学生定期健康診断
5/3(金)～5/6(月)	休講(5月連休)
6/30(日)	創立記念日
7/18(木)	１学期終講
7/22(月)～8/16(金)	夏季休業
8/19(月)	２学期開講
10/25(金)～10/27(日)	学園祭
12/20(金)	２学期終講
12/23(月)～1/7(火)	冬季休業
1/8(水)	３学期開講
1/24(金)･28(火)･29(水)	臨床実習 P2(看護実習)
1/30(木)	３学期終講
3/5(水)	卒業式

3学年	
4/8(月)	１学期開講
4/23(火)	学生定期健康診断
5/3(金)～5/6(月)	休講(5月連休)
5/15(水)	解剖体追悼法要
6/28(金)･7/1(月)･7/8(月)	臨床実習 P3(医療面接入門)
6/30(日)	創立記念日
7/19(金)	１学期終講
7/30(火)～8/16(金)	夏季休業
8/19(月)	２学期開講
10/25(金)～10/27(日)	学園祭
12/23(月)	２学期終講
12/27(金)～1/3(金)	冬季休業
1/6(月)	３学期開講
1/6(月)	プレCBT総合試験
1/7(火)～2/10(月)	リサーチ P3(配属実習)
2/10(月)	３学期終講
3/5(水)	卒業式

4学年	
4/8(月)	１学期開講
4/24(水)	学生定期健康診断
5/3(金)～5/6(月)	休講(5月連休)
6/30(日)	創立記念日
7/22(月)	１学期終講
7/30(火)～8/26(月)	夏季休業
8/27(火)	２学期開講
10/1(火)	共用試験 ＣＢＴ
10/2(水)～10/31(木)	臨床実習 P4a(総合臨床医学実習)
10/25(金)～10/27(日)	学園祭
11/1(金)～11/2(土)	臨床実習前 OSCE
11/5(火)～11/6(水)	臨床実習 P4b(医療情報学)
11/7(木)～12/6(金)	臨床実習 P4c(プレクリニカル・クラークシップ)
12/6(金)	２学期終講
12/9(月)～1/3(金)	冬季休業
1/6(月)	３学期開講
1/6(月)～3/21(金)	臨床実習
3/5(水)	卒業式
3/21(金)	3学期終講

5学年	
4/1(月)	１学期開講
4/1(月)～7/26(金)	臨床実習
4/23(火)	学生定期健康診断
4/27(土)～5/6(月)	休講(5月連休)
未定	CC中間検討会
7/26(金)	１学期終講
7/29(月)～8/21(水)	夏季休業
8/22(木)	２学期開講
8/22(木)	中間試験
8/26(月)～10/31(金)	臨床実習
11/7(木)	ｸﾘﾆｶﾙ･ｸﾗｰｸｼｯﾌﾟ 総合試験
11/11(月)～12/20(金)	臨床実習
12/20(金)	２学期終講
12/23(月)～1/3(金)	冬季休業
1/6(月)	３学期開講
1/6(月)～3/21(金)	臨床実習
3/5(水)	卒業式
3/21(金)	３学期終講

6学年	
4/1(月)	１学期開講
4/1(月)～7/12(金)	臨床実習
4/8(月)	学生定期健康診断
4/27(土)～5/6(月)	休講(5月連休)
7/12(金)	１学期終講
7/16(火)～8/16(金)	夏季休業
8/19(月)	２学期開講
8/19(月)～8/20(火)	卒業試験①
8/22(木)～10/4(金)	まとめの講義(予備・自習含む)
9/27(金)～9/28(土)	臨床実習後 OSCE
10/16(水)～10/17(木)	卒業試験②
10/18(金)	２学期終講
10/21(月)	冬季休業開始(以降自習期間)
3/5(水)	卒業式

注)休講日及び休業期間においても試験・授業等を行うことがあるので、注意すること。

令和6年度1学期【週当り時間割】

3学年コース　4学年コース

令和6年4月1日現在
(変更の可能性あり)

週	時限	Ⅰ 9:00～10:10	Ⅱ 10:25～11:35	Ⅲ 12:50～14:00	Ⅳ 14:15～15:25	Ⅴ 15:40～16:50	Ⅰ 9:00～10:10	Ⅱ 10:25～11:35	Ⅲ 12:50～14:00	Ⅳ 14:15～15:25	Ⅴ 15:40～16:50	Ⅰ 9:00～10:10	Ⅱ 10:25～11:35	Ⅲ 12:50～14:00	Ⅳ 14:15～15:25	Ⅴ 15:40～16:50	Ⅰ 9:00～10:10	Ⅱ 10:25～11:35	Ⅲ 12:50～14:00	Ⅳ 14:15～15:25	Ⅴ 15:40～16:50	Ⅰ 9:00～10:10	Ⅱ 10:25～11:35	Ⅲ 12:50～14:00	Ⅳ 14:15～15:25	Ⅴ 15:40～16:50	
春休み	学年	3/18(月)					3/19(火)					3/20(水)					3/21(木)					3/22(金)					3/23(土)
	1											休講（春分の日）															
	2	2学年春季休業→																									
	3	3学年春季休業→																									
	4	4学年春季休業→																									
	5																										
	6																										
春休み	学年	3/25(月)					3/26(火)					3/27(水)					3/28(木)					3/29(金)					3/30(土)
	1																										
	2	2学年春季休業→																									
	3	3学年春季休業→																									
	4	4学年春季休業→																									
	5																										
	6																										
1W	学年	4/1(月)					4/2(火)					4/3(水)					4/4(木)					4/5(金)					4/6(土)
	1																					入学式					
	2	2学年春季休業→																									
	3	3学年春季休業→																									
	4	4学年春季休業→																									
	5	臨床実習(クリクラ)					臨床実習(クリクラ)					臨床実習(クリクラ)					臨床実習(クリクラ)					臨床実習(クリクラ)					
	6	臨床実習(クリクラ)					臨床実習(クリクラ)					臨床実習(クリクラ)					臨床実習(クリクラ)					臨床実習(クリクラ)					
2W	学年	4/8(月)					4/9(火)					4/10(水)					4/11(木)					4/12(金)					4/13(土)
	1	健康診断			IT A1		ガイダンス期間					ガイダンス期間					IT A1		理工A1(1)		生体A1(1)	英語A1	生体A1(1)			地域A1オリ	
	2	生体B2		生体P2b(1)			生体C2(1)		生体P2b(2)			生体C2(1)		生体P2b(2)			生体B2						英語A2	生体P2b(1)			
	3	内科総論			理工B3		内科総論					内科総論		理工B3			内科総論					内科総論		理工B3			
	4	① 4/8～4/17：麻酔・集中治療																									
	5	臨床実習(クリクラ)					臨床実習(クリクラ)					臨床実習(クリクラ)					臨床実習(クリクラ)					臨床実習(クリクラ)					
	6	臨床実習(クリクラ)			健康診断		臨床実習(クリクラ)					臨床実習(クリクラ)					臨床実習(クリクラ)					臨床実習(クリクラ)					
3W	学年	4/15(月)					4/16(火)					4/17(水)					4/18(木)					4/19(金)					4/20(土)
	1	人間A1(1)	人間A1(3)	健康A1		LPBL A1 オリ	理工A1(1)		生体A1(1)		白衣の日P1 オリ	英語A1		生体P1a			合宿研修日					合宿研修日					
	2	生体C2(1)		生体P2b(1)				生体C2(1)	生体P2b(1)			生体C2(1)	人間A2オリ				生体B2		生体P2b(1)				英語A2	生体P2b(1)			
	3	内科総論			理工B3		内科総論					内科総論		理工B3			外科総論					外科総論		理工B3			
	4	① 4/8～4/17：麻酔・集中治療																						麻酔・集中治療 本試験 14:00～15:00			
	5	臨床実習(クリクラ)					臨床実習(クリクラ)					臨床実習(クリクラ)					臨床実習(クリクラ)					臨床実習(クリクラ)					
	6	臨床実習(クリクラ)					臨床実習(クリクラ)					臨床実習(クリクラ)					臨床実習(クリクラ)					臨床実習(クリクラ)					

週	時限	Ⅰ 9:00～10:10	Ⅱ 10:25～11:35	Ⅲ 12:50～14:00	Ⅳ 14:15～15:25	Ⅴ 15:40～16:50	Ⅰ 9:00～10:10	Ⅱ 10:25～11:35	Ⅲ 12:50～14:00	Ⅳ 14:15～15:25	Ⅴ 15:40～16:50	Ⅰ 9:00～10:10	Ⅱ 10:25～11:35	Ⅲ 12:50～14:00	Ⅳ 14:15～15:25	Ⅴ 15:40～16:50	Ⅰ 9:00～10:10	Ⅱ 10:25～11:35	Ⅲ 12:50～14:00	Ⅳ 14:15～15:25	Ⅴ 15:40～16:50	Ⅰ 9:00～10:10	Ⅱ 10:25～11:35	Ⅲ 12:50～14:00	Ⅳ 14:15～15:25	Ⅴ 15:40～16:50	
4W	学年	4/22(月)					4/23(火)					4/24(水)					4/25(木)					4/26(金)					4/27(土)
	1	人間A1(1)	人間A1(3)	健康A1		生体A1(1)			白衣の日P1 オリ	生体A1(1)	医プロA1 オリ	英語A1		医プロA1				生体A1(1)	理工A1(1)		LPBL A1①A	英語A1	生体A1(1)	生体P1a			
	2	生体B2		生体P2b(1)			生体C2(1)		生体P2b(1)			生体C2(1)			健康診断		生体B2		生体P2b(1)				英語A2	生体P2b(1)			
	3	外科総論			理工B3		外科総論		健康診断			②4/18～5/2：外科総論															
	4	② 4/22～5/7：眼・視覚													健康診断		② 4/22～5/7：眼・視					医プロA4 IPE					
	5	臨床実習(クリクラ)					臨床実習(クリクラ)			健康診断		臨床実習(クリクラ)					臨床実習(クリクラ)					臨床実習(クリクラ)					
	6	臨床実習(クリクラ)					臨床実習(クリクラ)					臨床実習(クリクラ)					臨床実習(クリクラ)					臨床実習(クリクラ)					
5W	学年	4/29(月)					4/30(火)					5/1(水)					5/2(木)					5/3(金)					5/4(土)
	1	休講（昭和の日）					医プロA1	人間A1(1)	生体A1(1)		LPBL A1①B		IT A1	生体P1a					理工A1(1)		人間A1(3)	休講（憲法記念日）					休講（みどりの日）
	2						生体C2(1)										生体B2										
	3						②4/18～5/2：外科総論																				
	4						② 4/22～5/7：眼・視覚																				
	5																										
	6																										
6W	学年	5/6(月)					5/7(火)					5/8(水)					5/9(木)					5/10(金)					5/11(土)
	1	休講（振替休日）					白衣の日P1			医プロA1	LPBL A1 オリ	英語A1		生体A1(1) 本試験 13:00～15:00		医プロA1		生体A1(2)	理工A1(1)		地域A1	英語A1	生体A1(2)		生体P1a		
	2								生体P2b(1)			生体C2(1)					生体B2		生体P2b(1)				英語A2	生体P2b(1)			
	3							内科総論 本試験 14:00～14:40		外科総論 本試験 15:30～16:30		③ 5/8～5/10：放射線診断学															
	4						② 4/22～5/7：眼・視覚					③ 5/8～5/17：耳鼻咽喉・頭頸部外科															
	5						臨床実習(クリクラ)					臨床実習(クリクラ)					臨床実習(クリクラ)					臨床実習(クリクラ)					
	6						臨床実習(クリクラ)					臨床実習(クリクラ)					臨床実習(クリクラ)					臨床実習(クリクラ)					
7W	学年	5/13(月)					5/14(火)					5/15(水)					5/16(木)					5/17(金)					5/18(土)
	1	人間A1(1)	人間A1(3)	ｾﾐﾅｰ	健康A1		白衣の日P1			ｾﾐﾅｰ	ｾﾐﾅｰ	英語A1		生体A1(2)			IT A1	人間A1(3)	理工A1(1)		ｾﾐﾅｰ	英語A1	生体A1(2)	生体P1a			一部ｾﾐﾅｰ
	2	生体B2		生体P2b(1)			生体C2(1)		生体P2b(1)								生体B2		生体P2b(1)				英語A2	生体P2b(1)			
	3	④ 5/13～5/17：臨床腫瘍学										（解剖体追悼法要）					④ 5/13～5/17：臨床腫瘍学										
	4	③ 5/8～5/17：耳鼻咽喉・頭頸部外科																									
	5	臨床実習(クリクラ)					臨床実習(クリクラ)					臨床実習(クリクラ)					臨床実習(クリクラ)					臨床実習(クリクラ)					
	6	臨床実習(クリクラ)					臨床実習(クリクラ)					臨床実習(クリクラ)					臨床実習(クリクラ)					臨床実習(クリクラ)					
8W	学年	5/20(月)					5/21(火)					5/22(水)					5/23(木)					5/24(金)					5/25(土)
	1	人間A1(1)	人間A1(3)	ｾﾐﾅｰ	健康A1		白衣の日P1			ｾﾐﾅｰ	ｾﾐﾅｰ	英語A1		生体P1a			生体A1(2)	人間A1(3)	理工A1(1)		ｾﾐﾅｰ	医プロA1 IPE					
	2	生体C2(1)		生体P2b(1)			生体C2(1)		生体P2b(1)			生体C2(1)		生体P2b(2)			生体C2(1)		生体P2b(2)				英語A2				
	3		放射線診断学 本試験 14:00～15:00		臨床腫瘍学 本試験 15:30～16:30		⑤ 5/21～5/31：腎尿路																				
	4												眼・視覚 本試験 14:00～15:00		耳鼻 本試験 15:30～16:30		④ 5/23～5/30　皮膚										
	5	臨床実習(クリクラ)					臨床実習(クリクラ)					臨床実習(クリクラ)					臨床実習(クリクラ)					臨床実習(クリクラ)					
	6	臨床実習(クリクラ)					臨床実習(クリクラ)					臨床実習(クリクラ)					臨床実習(クリクラ)					臨床実習(クリクラ)					

週	時限	Ⅰ 9:00～10:10	Ⅱ 10:25～11:35	Ⅲ 12:50～14:00	Ⅳ 14:15～15:25	Ⅴ 15:40～16:50	Ⅰ 9:00～10:10	Ⅱ 10:25～11:35	Ⅲ 12:50～14:00	Ⅳ 14:15～15:25	Ⅴ 15:40～16:50	Ⅰ 9:00～10:10	Ⅱ 10:25～11:35	Ⅲ 12:50～14:00	Ⅳ 14:15～15:25	Ⅴ 15:40～16:50	Ⅰ 9:00～10:10	Ⅱ 10:25～11:35	Ⅲ 12:50～14:00	Ⅳ 14:15～15:25	Ⅴ 15:40～16:50	Ⅰ 9:00～10:10	Ⅱ 10:25～11:35	Ⅲ 12:50～14:00	Ⅳ 14:15～15:25	Ⅴ 15:40～16:50	
9W	学年	5/27(月)					5/28(火)					5/29(水)					5/30(木)					5/31(金)					6/1(土)
	1	人間A1(1)	人間A1(3)	ｾﾐﾅｰ	健康A1		白衣の日P1			ｾﾐﾅｰ	ｾﾐﾅｰ	英語A1		生体P1a			生体A1(2)			理工A1(1)	ｾﾐﾅｰ	英語A1	生体A1(2)	生体P1a			ｾﾐﾅｰ 地域A1
	2	生体B2 本試験 9:30～11:00					生体C2(1)		生体P2b(2)				LPBL A2	生体P2b(2)									英語A2	生体P2b(1)本試験 13:00～16:00			
	3	⑤ 5/21～5/31：腎尿路																									
	4	④ 5/23～5/30　皮膚																				⑤ 5/31～6/11：精神・行動					
	5	臨床実習(クリクラ)					臨床実習(クリクラ)					臨床実習(クリクラ)					臨床実習(クリクラ)					臨床実習(クリクラ)					
	6	臨床実習(クリクラ)					臨床実習(クリクラ)					臨床実習(クリクラ)					臨床実習(クリクラ)					臨床実習(クリクラ)					
10W	学年	6/3(月)					6/4(火)					6/5(水)					6/6(木)					6/7(金)					6/8(土)
	1		人間A1(3)	ｾﾐﾅｰ	健康A1		IT A1	理工A1(1)	LPBL A1			医ﾌﾟﾛA1	理工A1(1)	B:人間P1a				生体A1(2)		生体A1(2)	ｾﾐﾅｰ	英語A1	IT A1	地域A1	生体P1a		
	2		生体C2(2)				生体C2(2)		生体P2b(2)			生体C2(2)		生体P2b(2)			生体C2(2)		人間A2				英語A2				
	3	⑥ 6/3～6/12：感染症																									
	4	⑤ 5/31～6/11：精神・行動																									
	5	臨床実習(クリクラ)					臨床実習(クリクラ)					臨床実習(クリクラ)					臨床実習(クリクラ)					臨床実習(クリクラ)					
	6	臨床実習(クリクラ)					臨床実習(クリクラ)					臨床実習(クリクラ)					臨床実習(クリクラ)					臨床実習(クリクラ)					
11W	学年	6/10(月)					6/11(火)					6/12(水)					6/13(木)					6/14(金)					6/15(土)
	1	人間A1(1)	人間A1(3)	ｾﾐﾅｰ	健康A1		理工A1(1) 本試験 9:30～11:00		地域A1	ｾﾐﾅｰ	ｾﾐﾅｰ	英語A1		B:LPBL A1 A:人間P1a					理工A1(2)		ｾﾐﾅｰ	英語A1		生体A1(2) 本試験 13:00～15:00			ｾﾐﾅｰ 地域A1
	2	生体C2(1) 本試験 9:30～10:30						生体C2(2)	生体P2b(2)					生体P2b(2)			生体C2(2)		生体P2b(2)				英語A2	生体P2b(2)			
	3	⑥ 6/3～6/12：感染症																									
	4	⑤ 5/31～6/11：精神・行動																皮膚 本試験 14:00～15:00		精神・行動 本試験 15:30～16:30		＊6/14～7/3:人間A4					
	5	臨床実習(クリクラ)					臨床実習(クリクラ)					臨床実習(クリクラ)					臨床実習(クリクラ)					臨床実習(クリクラ)					
	6	臨床実習(クリクラ)					臨床実習(クリクラ)					臨床実習(クリクラ)					臨床実習(クリクラ)					臨床実習(クリクラ)					
12W	学年	6/17(月)					6/18(火)					6/19(水)					6/20(木)					6/21(金)					6/22(土)
	1	人間A1(1)	人間A1(3)	ｾﾐﾅｰ	健康A1		白衣の日P1			ｾﾐﾅｰ	ｾﾐﾅｰ	英語A1		A:人間P1a			生体A1(3)		理工A1(2)		ｾﾐﾅｰ	英語A1	生体A1(3)	IT A1		生体A1(3)	
	2	生体C2(2)		生体P2b(2)			生体C2(2)		生体P2b(2)			生体C2(2)	LPBL A2	LPBL A2			生体C2(2)		生体P2b(2)				英語A2	生体P2b(2)			
	3		腎尿路 本試験 14:00～15:00		感染症 本試験 15:30～16:30		⑦ 6/18～7/3：循環器																				
	4	＊6/14～7/3:人間A4																									
	5	臨床実習(クリクラ)					臨床実習(クリクラ)					臨床実習(クリクラ)					臨床実習(クリクラ)					臨床実習(クリクラ)					
	6	臨床実習(クリクラ)					臨床実習(クリクラ)					臨床実習(クリクラ)					臨床実習(クリクラ)					臨床実習(クリクラ)					
13W	学年	6/24(月)					6/25(火)					6/26(水)					6/27(木)					6/28(金)					6/29(土)
	1	人間A1(1)	人間A1(3)	ｾﾐﾅｰ	健康A1		白衣の日P1			ｾﾐﾅｰ	ｾﾐﾅｰ	英語A1		A:LPBL A1 B:人間P1a			生体A1(3)		理工A1(2)		ｾﾐﾅｰ	英語A1	生体A1(3)	TOEFL 13:00～15：30			ｾﾐﾅｰ
	2			生体P2b(2)			生体C2(2)		生体P2b(2)			生体C2(2)		人間A2				人間A2	生体P2b(2)				英語A2				
	3	⑦ 6/18～7/3：循環器																				臨床実習入門P3 ガイダンス					
	4	＊6/14～7/3:人間A4																									
	5	臨床実習(クリクラ)					臨床実習(クリクラ)					臨床実習(クリクラ)					臨床実習(クリクラ)					臨床実習(クリクラ)					
	6	臨床実習(クリクラ)					臨床実習(クリクラ)					臨床実習(クリクラ)					臨床実習(クリクラ)					臨床実習(クリクラ)					

週	時限	Ⅰ 9:00～10:10	Ⅱ 10:25～11:35	Ⅲ 12:50～14:00	Ⅳ 14:15～15:25	Ⅴ 15:40～16:50	Ⅰ 9:00～10:10	Ⅱ 10:25～11:35	Ⅲ 12:50～14:00	Ⅳ 14:15～15:25	Ⅴ 15:40～16:50	Ⅰ 9:00～10:10	Ⅱ 10:25～11:35	Ⅲ 12:50～14:00	Ⅳ 14:15～15:25	Ⅴ 15:40～16:50	Ⅰ 9:00～10:10	Ⅱ 10:25～11:35	Ⅲ 12:50～14:00	Ⅳ 14:15～15:25	Ⅴ 15:40～16:50	Ⅰ 9:00～10:10	Ⅱ 10:25～11:35	Ⅲ 12:50～14:00	Ⅳ 14:15～15:25	Ⅴ 15:40～16:50	
14W	学年	7/1(月)					7/2(火)					7/3(水)					7/4(木)					7/5(金)					7/6(土)
	1	入間A1(1) 本試験 9:00～10:00	人間A1(3)	ｾﾐﾅｰ	健康A1		白衣の日P1			ｾﾐﾅｰ	ｾﾐﾅｰ	英語A1		A:人間P1a			生体A1(3)		理工A1(2)		ｾﾐﾅｰ	英語A1		IT A1		生体A1(3)	ｾﾐﾅｰ
	2			生体C2(2) 本試験 13:00～14:30				人間A2	生体P2b(2)										生体P2b(2)				英語A2	生体P2b(2)			
	3	臨床実習入門P3					⑦ 6/18～7/3：循環器										⑧ 7/4～7/17：呼吸器										
	4	＊6/14～7/3:人間A4																					人間A4(1)(3) 本試験 11:00～12:30		人間A4(2) 本試験 15:40～16:50			
	5	臨床実習(クリクラ)					臨床実習(クリクラ)					臨床実習(クリクラ)					臨床実習(クリクラ)					臨床実習(クリクラ)					
	6	臨床実習(クリクラ)					臨床実習(クリクラ)					臨床実習(クリクラ)					臨床実習(クリクラ)					臨床実習(クリクラ)					
15W	学年	7/8(月)					7/9(火)					7/10(水)					7/11(木)					7/12(金)					7/13(土)
	1	ドイツセミナー		健康A1		生体A1(3)	白衣の日P1			ｾﾐﾅｰ	ｾﾐﾅｰ	英語A1		地域A1	生体A1(3)			生体A1(3)				英語A1	地域A1	IT A1		医プロA1	
	2			生体P2b(2)					生体P2b(2)										生体P2b(2) 本試験 13:00～16:00				英語A2	生体P2b(2)			
	3	臨床実習入門P3					⑧ 7/4～7/17：呼吸器																				
	4	⑥ 7/8～7/19：周産期・生殖器																									
	5	臨床実習(クリクラ)					臨床実習(クリクラ)					臨床実習(クリクラ)					臨床実習(クリクラ)					臨床実習(クリクラ)					
	6	臨床実習(クリクラ)					臨床実習(クリクラ)					臨床実習(クリクラ)					臨床実習(クリクラ)					臨床実習(クリクラ)					
16W	学年	7/15(月)					7/16(火)					7/17(水)					7/18(木)					7/19(金)					7/20(土)
	1	休講（海の日）								健康A1 本試験 15:00～16:00				B:人間P1a					生体A1(3) 本試験 13:30～14:50			理工A1(1) 再試験 9:30～11:00					ドイツセミナー
	2											生体B2 再試験 9:30～11:00										生体C2(1) 再試験 9:30～10:30					
	3						⑧ 7/4～7/17：呼吸器																循環器 本試験 14:00～15:00		呼吸器 本試験 15:30～16:30		
	4						⑥ 7/8～7/19：周産期・生殖器																				
	5						臨床実習(クリクラ)					臨床実習(クリクラ)					臨床実習(クリクラ)					臨床実習(クリクラ)					
	6						6学年夏季休業→																				
夏休み	学年	7/22(月)					7/23(火)					7/24(水)					7/25(木)					7/26(金)					7/27(土)
	1			生体A1(1) 再試験 13:00～15:30			人間A1(3) 本試験 10:00～11:00					1学年夏季休業→															
	2	2学年夏季休業→																									
	3												内科総論 再試験 14:00～14:40		外科総論 再試験 15:30～16:30								放射線診断学 再試験 14:00～15:00		臨床腫瘍学 再試験 15:30～16:30		
	4				周産期 本試験 15:30～16:30									麻酔 再試験 14:00～15:00				眼・視覚 再試験 14:00～15:00		耳鼻 再試験 15:30～16:30							
	5	臨床実習(クリクラ)					臨床実習(クリクラ)					臨床実習(クリクラ)					臨床実習(クリクラ)					臨床実習(クリクラ)					
	6	6学年夏季休業→																									
夏休み	学年	7/29(月)					7/30(火)					7/31(水)					8/1(木)					8/2(金)					8/3(土)
	1	1学年夏季休業→																									
	2	2学年夏季休業→																									
	3		腎尿路 再試験 14:00～15:00		感染症 再試験 15:30～16:30		3学年夏季休業→																				
	4		皮膚 再試験 14:00～15:00		精神・行動 再試験 15:30～16:30		4学年夏季休業→																				
	5	5学年夏季休業→																									
	6	6学年夏季休業→																									

令和6年度2学期【週当り時間割】

3学年コース　4学年コース

令和6年4月1日現在
（変更の可能性あり）

週	時限	Ⅰ 9:00～10:10	Ⅱ 10:25～11:35	Ⅲ 12:50～14:00	Ⅳ 14:15～15:25	Ⅴ 15:40～16:50	Ⅰ 9:00～10:10	Ⅱ 10:25～11:35	Ⅲ 12:50～14:00	Ⅳ 14:15～15:25	Ⅴ 15:40～16:50	Ⅰ 9:00～10:10	Ⅱ 10:25～11:35	Ⅲ 12:50～14:00	Ⅳ 14:15～15:25	Ⅴ 15:40～16:50	Ⅰ 9:00～10:10	Ⅱ 10:25～11:35	Ⅲ 12:50～14:00	Ⅳ 14:15～15:25	Ⅴ 15:40～16:50	Ⅰ 9:00～10:10	Ⅱ 10:25～11:35	Ⅲ 12:50～14:00	Ⅳ 14:15～15:25	Ⅴ 15:40～16:50	
夏休み	学年	8/5(月)					8/6(火)					8/7(水)					8/8(木)					8/9(金)					8/10(土)
	1	1学年夏季休業→																									
	2	2学年夏季休業→																									
	3	3学年夏季休業→																									
	4	4学年夏季休業→																									
	5	5学年夏季休業→																									
	6	6学年夏季休業→																									
夏休み	学年	8/12(月)					8/13(火)					8/14(水)					8/15(木)					8/16(金)					8/17(土)
	1	振替休日					1学年夏季休業→																				
	2						2学年夏季休業→																				
	3						3学年夏季休業→																				
	4						4学年夏季休業→																				
	5						5学年夏季休業→																				
	6						6学年夏季休業→																				
1W	学年	8/19(月)					8/20(火)					8/21(水)					8/22(木)					8/23(金)					8/24(土)
	1	人間A1(1) 再試験 9:00～10:00			生体A1(2) 再試験 14:30～16:20		白衣の日P1							人間A1(3) 再試験 13:00～14:00			生体A1(4)	IT A1	理工A1(2)	一部セミナー			生体A1(4)	生体A1(3) 再試験 13:00～15:30		
	2		地域A2 オリ	生体P2c					生体P2c										生体P2c			生体C2(2) 再試験 9:30～11:00		生体P2c			
	3	⑨ 8/19～9/6：消化器																									
	4																										
	5																CC中間試験					CC中間試験（予備日）					
	6	卒業試験①					卒業試験①					卒業試験①（予備日）															
2W	学年	8/26(月)					8/27(火)					8/28(水)					8/29(木)					8/30(金)					8/31(土)
	1	人間A1(2)	人間A1(4)	一部セミナー	生体A1(4)		白衣の日P1		セミナー	セミナー		英語A1		理工P1	生体A1(4)	医プロA1		生体A1(4)	理工A1(2)		セミナー	英語A1	生体A1(4)	医学教育学入門セミナー			地域A1 セミナー
	2	生体C2(3)		生体P2c			生体C2(3)		生体P2c						生体C2(3)		生体C2(3)		生体P2c			人間A2	英語A2	生体C2(3)			地域A2
	3	⑨ 8/19～9/6：消化器																									
	4						⑦ 8/27～9/5：小児の成長・発達																				地域P4
	5	臨床実習（クリクラ）					臨床実習（クリクラ）					臨床実習（クリクラ）					臨床実習（クリクラ）					臨床実習（クリクラ）					
	6																										
3W	学年	9/2(月)					9/3(火)					9/4(水)					9/5(木)					9/6(金)					9/7(土)
	1	人間A1(2)	人間A1(4)	セミナー	健康A1		白衣の日P1		セミナー	セミナー		英語A1		B:理工P1 数				生体A1(4)	理工A1(2)		セミナー	英語A1	生体A1(4)			医プロA1	一部セミナー
	2	生体C2(3)					生体C2(3)										生体C2(3)						英語A2		生体P2b(1) 再試験 15:00～16:30		
	3	⑨ 8/19～9/6：消化器																									
	4	⑦ 8/27～9/5：小児の成長・発達																									
	5	臨床実習（クリクラ）					臨床実習（クリクラ）					臨床実習（クリクラ）					臨床実習（クリクラ）					臨床実習（クリクラ）					
	6																										

週	時限	Ⅰ 9:00～10:10	Ⅱ 10:25～11:35	Ⅲ 12:50～14:00	Ⅳ 14:15～15:25	Ⅴ 15:40～16:50	Ⅰ 9:00～10:10	Ⅱ 10:25～11:35	Ⅲ 12:50～14:00	Ⅳ 14:15～15:25	Ⅴ 15:40～16:50	Ⅰ 9:00～10:10	Ⅱ 10:25～11:35	Ⅲ 12:50～14:00	Ⅳ 14:15～15:25	Ⅴ 15:40～16:50	Ⅰ 9:00～10:10	Ⅱ 10:25～11:35	Ⅲ 12:50～14:00	Ⅳ 14:15～15:25	Ⅴ 15:40～16:50	Ⅰ 9:00～10:10	Ⅱ 10:25～11:35	Ⅲ 12:50～14:00	Ⅳ 14:15～15:25	Ⅴ 15:40～16:50	
4W	学年	9/9(月)					9/10(火)					9/11(水)					9/12(木)					9/13(金)					9/14(土)
	1	人間A1(2)	人間A1(4)	ｾﾐﾅｰ	健康A1		白衣の日P1			ｾﾐﾅｰ	ｾﾐﾅｰ	英語A1		A:理工P1 数 LPBL②B			地域A1	生体A1(4)	理工A1(2)		ｾﾐﾅｰ	英語A1	生体A1(4)	A:理工P1 数物			
	2	生体C2(3)					生体C2(3)					LPBL A2	LPBL A2				生体C2(3)						英語A2		生体P2b(2) 再試験 15:00～16:30		
	3			消化器 本試験 14:00～15:00		地域A3	⑩ 9/10～9/19：運動器																				
	4				小児 本試験 15:30～16:30		⑧ 9/10～9/24：全人的医療・行動科学																				
	5	臨床実習(クリクラ)					臨床実習(クリクラ)					臨床実習(クリクラ)					臨床実習(クリクラ)					臨床実習(クリクラ)					
	6																										
5W	学年	9/16(月)					9/17(火)					9/18(水)					9/19(木)					9/20(金)					9/21(土)
	1	休講(敬老の日)					白衣の日P1			ｾﾐﾅｰ	ｾﾐﾅｰ	英語A1		LPBL②A B:理工P1 数物					理工A1(2)		ｾﾐﾅｰ	英語A1		生体A1(4) 本試験 13:00～15:30			一部ｾﾐﾅｰ
	2						生体C2(3)	LPBL A2	LPBL A2								生体C2(3)			医プロA2		感染A2(4)					
	3						⑩ 9/10～9/19：運動器																			地域A3	
	4						⑧ 9/10～9/24：全人的医療・行動科学																				
	5						臨床実習(クリクラ)					臨床実習(クリクラ)					臨床実習(クリクラ)					臨床実習(クリクラ)					
	6																										
6W	学年	9/23(月)					9/24(火)					9/25(水)					9/26(木)					9/27(金)					9/28(土)
	1	休講(振替休日)					白衣の日P1		医プロA1			生体A1(5)		A:理工P1 数 B:理工P1 物			生体A1(5)			人間P1b		臨床実習後OSCE					臨床実習後OSCE
	2						生体C2(4)										生体C2(3) 本試験 9:30～10:40		感染A2(4)								
	3						⑪ 9/24～10/8：神経																				
	4						⑧ 9/10～9/24：全人的医療・行動科学													全人的医療 本試験 15:30～16:30							
	5																										
	6																					臨床実習後OSCE					臨床実習後OSCE
7W	学年	9/30(月)					10/1(火)					10/2(水)					10/3(木)					10/4(金)					10/5(土)
	1	人間A1(2)	人間A1(4)	ｾﾐﾅｰ	健康A1		CBT本試験							A:理工P1 物 B:理工P1 数					生体A1(5)		一部ｾﾐﾅｰ		生体A1(5)	A:理工P1 数 B:理工P1 物			ドイツセミナー 医療経済学セミナーⅠ
	2	生体C2(4)		医プロA2											感染A2(4)		感染A2(4)		生体C2(4)			生体C2(4)			感染A2(4)		
	3	⑪ 9/24～10/8：神経										⑪ 9/24～10/8：神経															
	4						CBT本試験					☆ 10/2～10/31：臨床実習入門P4a															
	5	臨床実習(クリクラ)										臨床実習(クリクラ)					臨床実習(クリクラ)					臨床実習(クリクラ)					
	6																										
8W	学年	10/7(月)					10/8(火)					10/9(水)					10/10(木)					10/11(金)					10/12(土)
	1	人間A1(2)	人間A1(4)	ｾﾐﾅｰ	健康A1		白衣の日P1			ｾﾐﾅｰ	一部ｾﾐﾅｰ	英語A1		A:理工P1 物 B:理工P1 数			理工A1(2) 本試験 9:30～11:00		生体A1(5)		ｾﾐﾅｰ	英語A1	生体A1(5)		医プロA1		
	2	感染A2(4)			病因A2(1)		感染A2(4)		生体C2(4)					医プロA2	生体C2(4)		感染A2(4)			病因A2(1)		生体C2(4)	英語A2	地域A2			
	3	⑪ 9/24～10/8：神経																運動器 本試験 14:00～15:00		神経 本試験 15:30～16:30		⑫ 10/11～10/24：免疫・					
	4	☆ 10/2～10/31：臨床実習入門P4a																									
	5	臨床実習(クリクラ)					臨床実習(クリクラ)					臨床実習(クリクラ)					臨床実習(クリクラ)					臨床実習(クリクラ)					
	6																										

週	時限	Ⅰ 9:00～10:10	Ⅱ 10:25～11:35	Ⅲ 12:50～14:00	Ⅳ 14:15～15:25	Ⅴ 15:40～16:50	Ⅰ 9:00～10:10	Ⅱ 10:25～11:35	Ⅲ 12:50～14:00	Ⅳ 14:15～15:25	Ⅴ 15:40～16:50	Ⅰ 9:00～10:10	Ⅱ 10:25～11:35	Ⅲ 12:50～14:00	Ⅳ 14:15～15:25	Ⅴ 15:40～16:50	Ⅰ 9:00～10:10	Ⅱ 10:25～11:35	Ⅲ 12:50～14:00	Ⅳ 14:15～15:25	Ⅴ 15:40～16:50	Ⅰ 9:00～10:10	Ⅱ 10:25～11:35	Ⅲ 12:50～14:00	Ⅳ 14:15～15:25	Ⅴ 15:40～16:50	
9W	学年	10/14(月)					10/15(火)					10/16(水)					10/17(木)					10/18(金)					10/19(土)
	1	休講(スポーツの日)					白衣の日P1			セミナー	一部セミナー	英語A1		B:LPBL A1			生体A1(5)		医プロA1	人間P1b		英語A1	生体A1(5)	B:理工P1 物			
																								A:LPBL A1			
	2						感染A2(4)		LPBL A2	LPBL A2		感染A2(1)		医プロA2	病因A2(1)		感染A2(1)				医プロA2		英語A2	感染A2(1)		医プロA2	地域A2
	3						⑫ 10/11～10/24：免疫・膠原病・アレルギー																				
	4						☆ 10/2～10/31：臨床実習入門P4a																				
	5						臨床実習(クリクラ)					臨床実習(クリクラ)					臨床実習(クリクラ)					臨床実習(クリクラ)					
	6											卒業試験②					卒業試験②					卒業試験②(予備日)					
10W	学年	10/21(月)					10/22(火)					10/23(水)					10/24(木)					10/25(金)					10/26(土)
	1	人間A1(2)	人間A1(4)	セミナー	健康A1		白衣の日P1			セミナー	セミナー	地域A1	生体A1(5)	A:理工P1 物			生体B1(1)/2		人間P1b:A			学園祭準備日					学園祭
														B:理工P1 数													
	2	病因A2(1)			感染A2(1)			病因A2(1)		感染A2(1)		感染A2(1)							病因A2(1)	感染A2(2) 寄生虫							
	3	⑫ 10/11～10/24：免疫・膠原病・アレルギー																									
	4	☆ 10/2～10/31：臨床実習入門P4a																									
	5	臨床実習(クリクラ)					臨床実習(クリクラ)					臨床実習(クリクラ)					臨床実習(クリクラ)					臨床実習(クリクラ)					
	6																										
11W	学年	10/28(月)					10/29(火)					10/30(水)					10/31(木)					11/1(金)					11/2(土)
	1	人間A1(2)	人間A1(4)		健康A1		白衣の日P1			医プロA1	イノベセミナー	英語A1		A:理工P1 数				生体B1(1)	人間P1b:B			臨床実習前OSCE					臨床実習前OSCE
	2	感染A2(1)		感染A2(2) 寄生虫		人間A2			感染A2(2) 寄生虫		医プロA2	人間A2	感染A2(1)		感染A2(2) 寄生虫		感染A2(1)										
	3	⑬ 10/28～11/8：内分泌・代謝																									
	4	☆ 10/2～10/31：臨床実習入門P4a																				臨床実習前OSCE					臨床実習前OSCE
	5	臨床実習(クリクラ)					臨床実習(クリクラ)					臨床実習(クリクラ)					臨床実習(クリクラ)										
	6																										
12W	学年	11/4(月)					11/5(火)					11/6(水)					11/7(木)					11/8(金)					11/9(土)
	1	休講(振替休日)					白衣の日P1				イノベセミナー	生体A1(5) 本試験 9:30～11:20		臨床入門P1b オリ	人間A1(4)		生体B1(1)	人間A1(4)			TOEFL-ITPセミナー	英語A1	生体B1(1)	医プロA1			
	2						生体C2(4) 本試験 10:00～11:00		病因A2(2)					生体P2d					生体P2d				英語A2	生体P2d			
	3						⑬ 10/28～11/8：内分泌・代謝																				
	4						☆ 11/5～11/6：臨床実習入門P4b										☆ 11/7～12/6：臨床実習入門P4c										
	5																CC総合試験					CC総合試験(予備日)					
	6																										
13W	学年	11/11(月)					11/12(火)					11/13(水)					11/14(木)					11/15(金)					11/16(土)
	1	人間A1(2)	人間A1(4)	セミナー	健康A1		生体B1(1)			臨床実習入門P1b		CBT追・再試験					生体B1(1)				TOEFL-ITPセミナー	臨床実習後OSCE延期試験					臨床実習後OSCE延期試験
	2	感染A2(1) 本試験 9:30～11:00			生体P2d			病因A2(2)		生体P2d							感染A2(2)		生体P2d								
	3		免疫 本試験 14:00～15:00		内分泌・代謝 本試験 15:30～16:30												⑭ 11/14～11/21：臓器再建外科・再生医療										
	4	☆ 11/7～12/6：臨床実習入門P4c										CBT追・再試験					☆ 11/7～12/6：臨床実習入門P4c										
	5	臨床実習(クリクラ)					臨床実習(クリクラ)										臨床実習(クリクラ)										
	6																					臨床実習後OSCE延期試験					

週	時限	Ⅰ 9:00～10:10	Ⅱ 10:25～11:35	Ⅲ 12:50～14:00	Ⅳ 14:15～15:25	Ⅴ 15:40～16:50	Ⅰ 9:00～10:10	Ⅱ 10:25～11:35	Ⅲ 12:50～14:00	Ⅳ 14:15～15:25	Ⅴ 15:40～16:50	Ⅰ 9:00～10:10	Ⅱ 10:25～11:35	Ⅲ 12:50～14:00	Ⅳ 14:15～15:25	Ⅴ 15:40～16:50	Ⅰ 9:00～10:10	Ⅱ 10:25～11:35	Ⅲ 12:50～14:00	Ⅳ 14:15～15:25	Ⅴ 15:40～16:50	Ⅰ 9:00～10:10	Ⅱ 10:25～11:35	Ⅲ 12:50～14:00	Ⅳ 14:15～15:25	Ⅴ 15:40～16:50	
14W	学年	11/18(月)					11/19(火)					11/20(水)					11/21(木)					11/22(金)					11/23(土)
	1	人間A1(2) 本試験 9:00～10:00		人間A1(4)	健康A1		白衣の日P1			人間P1b		英語A1		A：LPBL A1			生体B1(1) 本試験 9:30～10:30					英語A1	人間P1b	B：LPBL A1			勤労感謝の日
	2	病因A2(2)		生体P2d/21			感染A2(2)		生体P2d			病因A2(2)		生体P2d			感染A2(2)		生体P2d			感染A2(2)	英語A2	生体P2d			
	3	⑭ 11/14～11/21：臓器再建外科・再生医療																				⑮11/22～11/29：血液・移植					
	4			周産期 再試験 14:00～15:00					全人的医療 再試験 14:00～14:40			人間A4(2) 再試験 9:30～10:30		人間A4(1)(3) 再試験 11:00～12:30										小児 再試験 14:00～15:00		
	5	臨床実習(クリクラ)					臨床実習(クリクラ)					臨床実習(クリクラ)					臨床実習(クリクラ)					臨床実習(クリクラ)					
	6																										
15W	学年	11/25(月)					11/26(火)					11/27(水)					11/28(木)					11/29(金)					11/30(土)
	1	臨床実習入門P1b					臨床実習入門P1b					臨床実習入門P1b					臨床実習入門P1b					臨床実習入門P1b					
	2			生体P2d			感染A2(2)		生体P2d			感染A2(2)		生体P2d			感染A2(2)		生体P2d			感染A2(2)	英語A2	生体P2d			
	3	⑮11/22～11/29：血液・移植																									
	4	☆ 11/7～12/6：臨床実習入門P4c																									
	5	臨床実習(クリクラ)					臨床実習(クリクラ)					臨床実習(クリクラ)					臨床実習(クリクラ)					臨床実習(クリクラ)					
	6						卒業試験 追・再試験																				
16W	学年	12/2(月)					12/3(火)					12/4(水)					12/5(木)					12/6(金)					12/7(土)
	1	人間A1(4)																						生体P1b			地域A1
	2	感染A2(2)		生体P2d					生体P2d			感染A2(2)			病因A2(2)		病因A2(2)										
	3		臓器再建 本試験 14:00～15:00		血液・移植 本試験 15:30～16:30		地域A3					⑯ 12/4～12/10：リハビリテーション・地域包括医療															
	4	☆ 11/7～12/6：臨床実習入門P4c																									
	5	臨床実習(クリクラ)					臨床実習(クリクラ)					臨床実習(クリクラ)					CC総合試験 追・再試験					臨床実習(クリクラ)					
	6																										
17W	学年	12/9(月)					12/10(火)					12/11(水)					12/12(木)					12/13(金)					12/14(土)
	1	人間A1(4) 本試験 9:30～10:30		生体P1b					生体P1b					生体P1b			生体A1(4) 再試験 9:30～11:20		生体P1b								
	2			感染A2(4) 本試験 13:00～15:00										病因A2(1) 本試験 15:30～16:30					感染A2(2) 本試験 13:30～15:00								
	3	⑯ 12/4～12/10：リハビリテーション・地域包括										⑰ 12/11～12/20：救急・中毒															
	4						臨床実習前OSCE 再試験					臨床実習前OSCE 再試験										臨床実習前OSCE延期試験					臨床実習前OSCE延期試験
	5	臨床実習(クリクラ)					臨床実習(クリクラ)					臨床実習(クリクラ)					臨床実習(クリクラ)					臨床実習(クリクラ)					
	6																										
冬休み	学年	12/16(月)					12/17(火)					12/18(水)					12/19(木)					12/20(金)					12/21(土)
	1						英語A1(1) 本試験 10:00～11:00					英語A1(3) 本試験 9:30～12:30					理工A1(2) 再試験 9:30～11:00							英語A1(2) 本試験 13:00～14:00		
	2								病因A2(2) 本試験 13:00-14:30								生体C2(3) 再試験 9:30～10:40					医学英語A2 本試験 9:30～11:00					
	3	⑰ 12/11～12/20：救急・中毒																									
	4																										
	5	臨床実習(クリクラ)					臨床実習(クリクラ)					臨床実習(クリクラ)					臨床実習(クリクラ)					臨床実習(クリクラ)					
	6																										
冬休み	学年	12/23(月)					12/24(火)					12/25(水)					12/26(木)					12/27(金)					12/28(土)
	1	1学年冬季休業→																									年末年始 大学休業
	2	2学年冬季休業→																									
	3		リハビリ 本試験 14:00～15:00		救急 本試験 15:30～16:30			循環器 再試験 14:00～14:40		呼吸器 再試験 15:30～16:30			消化器 再試験 14:00～15:00					運動器 再試験 14:00～15:00		神経 再試験 15:30～16:30							
	4	4学年冬季休業→																									
	5	5学年冬季休業→																									
	6	6学年冬季休業→																									

令和6年度3学期【週当り時間割】

3学年コース　4学年コース

令和6年4月1日現在
(変更の可能性あり)

週	時限	Ⅰ 9:00～10:10	Ⅱ 10:25～11:35	Ⅲ 12:50～14:00	Ⅳ 14:15～15:25	Ⅴ 15:40～16:50	Ⅰ 9:00～10:10	Ⅱ 10:25～11:35	Ⅲ 12:50～14:00	Ⅳ 14:15～15:25	Ⅴ 15:40～16:50	Ⅰ 9:00～10:10	Ⅱ 10:25～11:35	Ⅲ 12:50～14:00	Ⅳ 14:15～15:25	Ⅴ 15:40～16:50	Ⅰ 9:00～10:10	Ⅱ 10:25～11:35	Ⅲ 12:50～14:00	Ⅳ 14:15～15:25	Ⅴ 15:40～16:50	Ⅰ 9:00～10:10	Ⅱ 10:25～11:35	Ⅲ 12:50～14:00	Ⅳ 14:15～15:25	Ⅴ 15:40～16:50	
1W	学年	12/30(月)					12/31(火)					1/1(水)					1/2(木)					1/3(金)					1/4(土)
	1	年末年始 大学休業					年末年始 大学休業					年末年始 大学休業					年末年始 大学休業					年末年始 大学休業					
	2																										
	3																										
	4																										
	5																										
	6																										
2W	学年	1/6(月)					1/7(火)					1/8(水)					1/9(木)					1/10(金)					1/11(土)
	1			生体P1b			生体B1(2)	生体P1b					生体B1(2)	生体P1b				生体B1(2)	生体P1b				生体B1(2)	生体P1b			
	2								リサーチA2			リサーチA2		LPBL A2	LPBL A2		リサーチA2					リサーチA2					
	3	プレCBT総合試験					リサーチマインドの実践P3					リサーチマインドの実践P3					リサーチマインドの実践P3					リサーチマインドの実践P3					
	4	臨床実習(クリクラ) ※次年度5学年カリキュラム					臨床実習(クリクラ) ※次年度5学年カリキュラム					臨床実習(クリクラ) ※次年度5学年カリキュラム					臨床実習(クリクラ) ※次年度5学年カリキュラム					臨床実習(クリクラ) ※次年度5学年カリキュラム					
	5	臨床実習(クリクラ) ※次年度6学年カリキュラム					臨床実習(クリクラ) ※次年度6学年カリキュラム					臨床実習(クリクラ) ※次年度6学年カリキュラム					臨床実習(クリクラ) ※次年度6学年カリキュラム					臨床実習(クリクラ) ※次年度6学年カリキュラム					
	6																										
3W	学年	1/13(月)					1/14(火)					1/15(水)					1/16(木)					1/17(金)					1/18(土)
	1						白衣の日P1		生体B1(2)				生体B1(2)	生体P1b					生体P1b				生体B1(2)	生体P1b			TOEFL2回目 9:20～12:00
	2						感染P2					感染P2			LPBL A2	LPBL A2			感染P2			感染P2					
	3	休講（成人の日）					リサーチマインドの実践P3					リサーチマインドの実践P3					リサーチマインドの実践P3					リサーチマインドの実践P3					
	4						臨床実習(クリクラ) ※次年度5学年カリキュラム					臨床実習(クリクラ) ※次年度5学年カリキュラム					臨床実習(クリクラ) ※次年度5学年カリキュラム					臨床実習(クリクラ) ※次年度5学年カリキュラム					
	5						臨床実習(クリクラ) ※次年度6学年カリキュラム					臨床実習(クリクラ) ※次年度6学年カリキュラム					臨床実習(クリクラ) ※次年度6学年カリキュラム					臨床実習(クリクラ) ※次年度6学年カリキュラム					
	6																										
4W	学年	1/20(月)					1/21(火)					1/22(水)					1/23(木)					1/24(金)					1/25(土)
	1	生体A1(5) 再試験 9:00～11:30		生体P1b			白衣の日P1							生体P1b					生体P1b			生体B1(2) 本試験 9:30～10:30		生体P1b			
	2	感染P2						感染P2						感染P2			感染P2					臨床実習入門P2(看護実習) ガイダンス					
	3	リサーチマインドの実践P3					リサーチマインドの実践P3					リサーチマインドの実践P3					リサーチマインドの実践P3					リサーチマインドの実践P3					
	4	臨床実習(クリクラ) ※次年度5学年カリキュラム					臨床実習(クリクラ) ※次年度5学年カリキュラム					臨床実習(クリクラ) ※次年度5学年カリキュラム					臨床実習(クリクラ) ※次年度5学年カリキュラム					臨床実習(クリクラ) ※次年度5学年カリキュラム					
	5	臨床実習(クリクラ) ※次年度6学年カリキュラム					臨床実習(クリクラ) ※次年度6学年カリキュラム					臨床実習(クリクラ) ※次年度6学年カリキュラム					臨床実習(クリクラ) ※次年度6学年カリキュラム					臨床実習(クリクラ) ※次年度6学年カリキュラム					
	6																										
5W	学年	1/27(月)					1/28(火)					1/29(水)					1/30(木)					1/31(金)					2/1(土)
	1	人間A1(2) 再試験 9:00～10:00		生体P1b					生体P1b					生体P1b					人間A1(4) 再試験 13:00～14:00			入試					
	2	生体C2(4) 再試験 10:00～11:00					臨床実習入門P2(看護実習)					臨床実習入門P2(看護実習)							感染P2 本試験 13:00～14:00								
	3	リサーチマインドの実践P3					リサーチマインドの実践P3					リサーチマインドの実践P3					リサーチマインドの実践P3										
	4	臨床実習(クリクラ) ※次年度5学年カリキュラム					臨床実習(クリクラ) ※次年度5学年カリキュラム					臨床実習(クリクラ) ※次年度5学年カリキュラム					臨床実習(クリクラ) ※次年度5学年カリキュラム										
	5	臨床実習(クリクラ) ※次年度6学年カリキュラム					臨床実習(クリクラ) ※次年度6学年カリキュラム					臨床実習(クリクラ) ※次年度6学年カリキュラム					臨床実習(クリクラ) ※次年度6学年カリキュラム										
	6																										

週	時限	Ⅰ 9:00～10:10	Ⅱ 10:25～11:35	Ⅲ 12:50～14:00	Ⅳ 14:15～15:25	Ⅴ 15:40～16:50	Ⅰ 9:00～10:10	Ⅱ 10:25～11:35	Ⅲ 12:50～14:00	Ⅳ 14:15～15:25	Ⅴ 15:40～16:50	Ⅰ 9:00～10:10	Ⅱ 10:25～11:35	Ⅲ 12:50～14:00	Ⅳ 14:15～15:25	Ⅴ 15:40～16:50	Ⅰ 9:00～10:10	Ⅱ 10:25～11:35	Ⅲ 12:50～14:00	Ⅳ 14:15～15:25	Ⅴ 15:40～16:50	Ⅰ 9:00～10:10	Ⅱ 10:25～11:35	Ⅲ 12:50～14:00	Ⅳ 14:15～15:25	Ⅴ 15:40～16:50	
6W	学年	2/3(月)					2/4(火)					2/5(水)					2/6(木)					2/7(金)					2/8(土)
	1			生体P1b 本試験 14:00～16:30						健康A1 再試験 15:00～16:00		英語A1(3) 再試験 10:00～11:00					生体B1(1) 再試験 9:30～10:30					英語A1(2) 再試験 10:00～11:00					
	2								感染A2(4) 再試験 13:00～15:00										感染A2(1) 再試験 13:30～15:00					病因A2(2) 再試験 13:00～14:30			
	3	リサーチマインドの実践P3					リサーチマインドの実践P3					リサーチマインドの実践P3					リサーチマインドの実践P3					リサーチマインドの実践P3					
	4	臨床実習(クリクラ) ※次年度5学年カリキュラム					臨床実習(クリクラ) ※次年度5学年カリキュラム					臨床実習(クリクラ) ※次年度5学年カリキュラム					臨床実習(クリクラ) ※次年度5学年カリキュラム					臨床実習(クリクラ) ※次年度5学年カリキュラム					
	5	臨床実習(クリクラ) ※次年度6学年カリキュラム					臨床実習(クリクラ) ※次年度6学年カリキュラム					臨床実習(クリクラ) ※次年度6学年カリキュラム					臨床実習(クリクラ) ※次年度6学年カリキュラム					臨床実習(クリクラ) ※次年度6学年カリキュラム					
	6																										
7W	学年	2/10(月)					2/11(火)					2/12(水)					2/13(木)					2/14(金)					2/15(土)
	1						休講 (建国記念の日)					英語A1(1) 再試験 10:00～11:00															
	2			感染A2(2) 再試験 13:30～15:00										病因A2(1) 再試験 13:00～14:00									英語A2 再試験 10:30～12:00					
	3	リサーチマインドの実践P3																						免疫 再試験 14:00～15:00	内分泌・代謝 再試験 15:30～16:30		
	4	臨床実習(クリクラ) ※次年度5学年カリキュラム										臨床実習(クリクラ) ※次年度5学年カリキュラム					臨床実習(クリクラ) ※次年度5学年カリキュラム					臨床実習(クリクラ) ※次年度5学年カリキュラム					
	5	臨床実習(クリクラ) ※次年度6学年カリキュラム										臨床実習(クリクラ) ※次年度6学年カリキュラム					臨床実習(クリクラ) ※次年度6学年カリキュラム					臨床実習(クリクラ) ※次年度6学年カリキュラム					
	6																										
8W	学年	2/17(月)					2/18(火)					2/19(水)					2/20(木)					2/21(金)					2/22(土)
	1	生体B1(2) 再試験 9:30～10:30												生体P1b 再試験 13:00～15:30													
	2																										
	3		臓器再建 再試験 14:00～15:00	血液・移植 再試験 15:30～16:30									リハビリ 再試験 14:00～15:00	救急 再試験 15:30～16:30													
	4	臨床実習(クリクラ) ※次年度5学年カリキュラム					臨床実習(クリクラ) ※次年度5学年カリキュラム					臨床実習(クリクラ) ※次年度5学年カリキュラム					臨床実習(クリクラ) ※次年度5学年カリキュラム					臨床実習(クリクラ) ※次年度5学年カリキュラム					
	5	臨床実習(クリクラ) ※次年度6学年カリキュラム					臨床実習(クリクラ) ※次年度6学年カリキュラム					臨床実習(クリクラ) ※次年度6学年カリキュラム					臨床実習(クリクラ) ※次年度6学年カリキュラム					臨床実習(クリクラ) ※次年度6学年カリキュラム					
	6																										
9W	学年	2/24(月)					2/25(火)					2/26(水)					2/27(木)					2/28(金)					3/1(土)
	1	休講(振替休日)																									
	2																										
	3																					プレCBT総合試験　追・再試験					
	4	臨床実習(クリクラ) ※次年度5学年カリキュラム					臨床実習(クリクラ) ※次年度5学年カリキュラム					臨床実習(クリクラ) ※次年度5学年カリキュラム					臨床実習(クリクラ) ※次年度5学年カリキュラム					臨床実習(クリクラ) ※次年度5学年カリキュラム					
	5	臨床実習(クリクラ) ※次年度6学年カリキュラム					臨床実習(クリクラ) ※次年度6学年カリキュラム					臨床実習(クリクラ) ※次年度6学年カリキュラム					臨床実習(クリクラ) ※次年度6学年カリキュラム					臨床実習(クリクラ) ※次年度6学年カリキュラム					
	6																										
春休み	学年	3/3(月)					3/4(火)					3/5(水)					3/6(木)					3/7(金)					3/8(土)
	1	1学年春季休業→																									
	2	2学年春季休業→																									
	3	3学年春季休業→																									
	4	臨床実習(クリクラ) ※次年度5学年カリキュラム					臨床実習(クリクラ) ※次年度5学年カリキュラム					臨床実習(クリクラ) ※次年度5学年カリキュラム					臨床実習(クリクラ) ※次年度5学年カリキュラム					臨床実習(クリクラ) ※次年度5学年カリキュラム					
	5	臨床実習(クリクラ) ※次年度6学年カリキュラム					臨床実習(クリクラ) ※次年度6学年カリキュラム					臨床実習(クリクラ) ※次年度6学年カリキュラム					臨床実習(クリクラ) ※次年度6学年カリキュラム					臨床実習(クリクラ) ※次年度6学年カリキュラム					
	6											卒業式															

週	時限	Ⅰ 9:00～10:10	Ⅱ 10:25～11:35	Ⅲ 12:50～14:00	Ⅳ 14:15～15:25	Ⅴ 15:40～16:50	Ⅰ 9:00～10:10	Ⅱ 10:25～11:35	Ⅲ 12:50～14:00	Ⅳ 14:15～15:25	Ⅴ 15:40～16:50	Ⅰ 9:00～10:10	Ⅱ 10:25～11:35	Ⅲ 12:50～14:00	Ⅳ 14:15～15:25	Ⅴ 15:40～16:50	Ⅰ 9:00～10:10	Ⅱ 10:25～11:35	Ⅲ 12:50～14:00	Ⅳ 14:15～15:25	Ⅴ 15:40～16:50	Ⅰ 9:00～10:10	Ⅱ 10:25～11:35	Ⅲ 12:50～14:00	Ⅳ 14:15～15:25	Ⅴ 15:40～16:50	
春休み	学年	3/10(月)					3/11(火)					3/12(水)					3/13(木)					3/14(金)					3/15(土)
	1	1学年春季休業→																									
	2	2学年春季休業→																									
	3	3学年春季休業→																									
	4	臨床実習(クリクラ) ※次年度5学年カリキュラム					臨床実習(クリクラ) ※次年度5学年カリキュラム					臨床実習(クリクラ) ※次年度5学年カリキュラム					臨床実習(クリクラ) ※次年度5学年カリキュラム					臨床実習(クリクラ) ※次年度5学年カリキュラム					
	5	臨床実習(クリクラ) ※次年度6学年カリキュラム					臨床実習(クリクラ) ※次年度6学年カリキュラム					臨床実習(クリクラ) ※次年度6学年カリキュラム					臨床実習(クリクラ) ※次年度6学年カリキュラム					臨床実習(クリクラ) ※次年度6学年カリキュラム					
	6																										
春休み	学年	3/17(月)					3/18(火)					3/19(水)					3/20(木)					3/21(金)					3/22(土)
	1	1学年春季休業→																									
	2	2学年春季休業→																									
	3	3学年春季休業→															休講(春分の日)										
	4	臨床実習(クリクラ) ※次年度5学年カリキュラム					臨床実習(クリクラ) ※次年度5学年カリキュラム					臨床実習(クリクラ) ※次年度5学年カリキュラム										臨床実習(クリクラ) ※次年度5学年カリキュラム					
	5	臨床実習(クリクラ) ※次年度6学年カリキュラム					臨床実習(クリクラ) ※次年度6学年カリキュラム					臨床実習(クリクラ) ※次年度6学年カリキュラム										臨床実習(クリクラ) ※次年度6学年カリキュラム					
	6																										
春休み	学年	3/24(月)					3/25(火)					3/26(水)					3/27(木)					3/28(金)					3/29(土)
	1	1学年春季休業→																									
	2	2学年春季休業→																									
	3	3学年春季休業→																									
	4	4学年春季休業→																									
	5	5学年春季休業→																									
	6																										

3月最終週は、新2～4、6学年のガイダンスが入る予定。

3月最終週は、新2～4、6学年のガイダンスが入る予定。

令和6年度【1学年】試験日程

※令和6年4月1日現在(変更の可能性あり)

No	科目	本試験			結果発表日（予定）	追・再試験			ユニットディレクター／サブユニットディレクター
		月日	時間	場所		月日	時間	場所	
1	生体A1(1)	5/8(水)	13:00～15:00	試験・実習室	5/22(水)	7/22(月)	13:00～15:30	第1講義室	平野教授
2	生体A1(2)	6/14(金)	13:00～15:00	試験・実習室	6/28(金)	8/19(月)	14:30～16:20	第4講義室	平野教授
3	生体A1(3)	7/18(木)	13:30～14:50	試験・実習室	8/1(木)	8/23(金)	13:00～15:30	第1講義室	平野教授
4	生体A1(4)	9/20(金)	13:00～15:30	試験・実習室	10/4(金)	12/12(木)	9:30～11:20	第1講義室	平野教授
5	生体A1(5)	11/6(水)	9:30～11:20	試験・実習室	11/20(水)	1/20(月)	9:00～11:30	第1講義室	平野教授
6	生体B1(1)	11/21(木)	9:30～10:30	試験・実習室	12/5(木)	2/6(木)	9:30～10:30	第1講義室	小林教授
7	生体B1(2)	1/24(金)	9:30～10:30	試験・実習室	2/7(金)	2/17(月)	9:30～10:30	第1講義室	小林教授
8	生体P1b	2/3(月)	14:00～16:30	試験・実習室	2/17(月)	2/19(水)	13:00～15:30	試験・実習室	北田教授
9	理工A1(1)	6/11(火)	9:30～11:00	試験・実習室	6/25(火)	7/19(金)	9:30～11:00	第1講義室	北脇教授
10	理工A1(2)	10/10(木)	9:30～11:00	試験・実習室	10/24(木)	12/19(木)	9:30～11:00	第1講義室	北脇教授
11	人間A1(1)	7/1(月)	9:00～10:00	試験・実習室	7/16(火)	8/19(月)	9:00～10:00	第4講義室	岡田講師
12	人間A1(2)	11/18(月)	9:00～10:00	試験・実習室	12/2(月)	1/27(月)	9:00～10:00	第1講義室	笠井講師
13	人間A1(3)	7/23(火)	10:00～11:00	試験・実習室	8/6(火)	8/21(水)	13:00～14:00	第1講義室	西垣教授
14	人間A1(4)	12/9(月)	9:30～10:30	試験・実習室	12/23(月)	1/30(木)	13:00～14:00	第1講義室	西垣教授
15	医学英語A1(1)	12/17(火)	10:00～11:00	試験・実習室	1/9(木)	2/12(水)	10:00～11:00	第1講義室	ブルーヘルマンス教授
16	医学英語A1(2)	12/20(金)	13:00～14:00	試験・実習室	1/13(月)	2/7(金)	10:00～11:00	第1講義室	ブルーヘルマンス教授
17	医学英語A1(3)	12/18(水)	9:30～12:30	学生セミナー室　他	1/10(金)	2/5(水)	10:00～11:00	第1講義室/試験・実習室	ブルーヘルマンス教授
18	健康科学A1	7/16(火)	15:00～16:00	試験・実習室	7/30(火)	2/4(火)	15:00～16:00	第1講義室	木村教授

※　上記以外にも試験が実施される場合があります。
※　変更が生じる場合は、掲示にて通知します。
※　各ユニットおよびサブユニット試験の本試験結果は、KMULASを通じて速やかに素点を開示するので、復習に役立てること。

令和6年度【2学年】試験日程

※令和6年4月1日現在(変更の可能性あり)

No	科目	本試験			結果発表日（予定）	追・再試験			ユニットディレクター／サブユニットディレクター
		月日	時間	場所		月日	時間	場所	
1	生体B2	5/27(月)	9:30～11:00	試験・実習室	6/10(月)	7/17(水)	9:30～11:00	第2講義室	小林教授
2	生体C2(1)	6/10(月)	9:30～10:30	試験・実習室	6/24(月)	7/19(金)	9:30～10:30	第2講義室	小林教授
3	生体C2(2)	7/1(月)	13:00～14:30	試験・実習室	7/15(月)	8/23(金)	9:30～11:00	第2講義室	中村教授
4	生体C2(3)	9/26(木)	9:30～10:40	試験・実習室	10/10(木)	12/19(木)	9:30～10:40	第2講義室	中邨教授
5	生体C2(4)	11/5(火)	10:00～11:00	試験・実習室	11/19(火)	1/27(月)	10:00～11:00	第2講義室	六車教授
6	生体P2b(1)	5/31(金)	13:00～16:00	試験・実習室/解剖実習室	6/14(金)	9/6(金)	15:00～16:30	試験・実習室	北田教授
7	生体P2b(2)	7/11(木)	13:00～16:00	試験・実習室/解剖実習室	7/25(木)	9/13(金)	15:00～16:30	試験・実習室	北田教授
8	医学英語A2	12/20(金)	9:30～11:00	試験・実習室	1/14(火)	2/14(金)	10:30～12:00	第2講義室	ブルーヘルマンス教授
9	病因A2(1) [病理]	12/11(水)	15:30～16:30	試験・実習室	12/25(水)	2/12(水)	13:00～14:00	第2講義室	蔦教授
10	病因A2(2) [ゲノム]	12/17(火)	13:00～14:30	試験・実習室	1/9(木)	2/7(金)	13:00～14:30	第2講義室	日笠教授
11	感染A2(1) [細菌学・真菌学]	11/11(月)	9:30～11:00	試験・実習室	11/25(月)	2/6(木)	13:30～15:00	第2講義室	大隈教授
12	感染A2(2) [ウイルス学・医動物学]	12/12(木)	13:30～15:00	試験・実習室	12/26(木)	2/10(月)	13:30～15:00	第2講義室	大隈教授
13	感染A2(4) [免疫学]	12/9(月)	13:00～15:00	試験・実習室	12/23(月)	2/4(火)	13:00～15:00	試験・実習室	植田准教授

■本試験以外の試験

No	科目	試験名	月日	時間	場所	備考	ユニットディレクター／サブユニットディレクター
14	感染P2	実習試問	1/30(木)	13:00～14:00	試験・実習室	筆記試験	大隈教授

※　上記以外にも試験が実施される場合があります。
※　変更が生じる場合は、掲示にて通知します。
※　各ユニットおよびサブユニット試験の本試験結果は、KMULASを通じて速やかに素点を開示するので、復習に役立てること。

令和6年度【3学年】試験日程

※令和6年4月1日現在(変更の可能性あり)

No	科目・コース	本試験			結果発表日（予定）	追・再試験			科目・コース責任者
		月日	時間	場所		月日	時間	場所	
1	内科総論	5/7(火)	14:00～14:40	試験・実習室	5/28(火)	7/24(水)	14:00～14:40	第3講義室	塩島教授
2	外科総論	5/7(火)	15:30～16:30	試験・実習室	5/28(火)	7/24(水)	15:30～16:30	第3講義室	海堀教授
3	放射線診断学	5/20(月)	14:00～15:00	試験・実習室	6/10(月)	7/26(金)	14:00～15:00	第3講義室	谷川教授
4	臨床腫瘍学	5/20(月)	15:30～16:30	試験・実習室	6/10(月)	7/26(金)	15:30～16:30	第3講義室	谷川教授
5	腎尿路	6/17(月)	14:00～15:00	試験・実習室	7/8(月)	7/29(月)	14:00～15:00	第3講義室	木下(秀)教授
6	感染症	6/17(月)	15:30～16:30	試験・実習室	7/8(月)	7/29(月)	15:30～16:30	第3講義室	伊藤教授
7	循環器	7/19(金)	14:00～15:00	試験・実習室	8/9(金)	12/24(火)	14:00～14:40	第3講義室	塩島教授
8	呼吸器	7/19(金)	15:30～16:30	試験・実習室	8/9(金)	12/24(火)	15:30～16:30	第3講義室	倉田教授
9	消化器	9/9(月)	14:00～15:00	試験・実習室	9/30(月)	12/25(水)	14:00～15:00	第3講義室	長沼教授
10	運動器	10/10(木)	14:00～15:00	試験・実習室	10/31(木)	12/26(木)	14:00～15:00	第3講義室	齋藤教授
11	神経	10/10(木)	15:30～16:30	試験・実習室	10/31(木)	12/26(木)	15:30～16:30	第3講義室	薬師寺教授
12	免疫・膠原病・アレルギー	11/11(月)	14:00～15:00	試験・実習室	12/2(月)	2/14(金)	14:00～15:00	第3講義室	伊藤教授
13	内分泌・代謝	11/11(月)	15:30～16:30	試験・実習室	12/2(月)	2/14(金)	15:30～16:30	第3講義室	豊田教授
14	臓器再建外科・再生医療	12/2(月)	14:00～15:00	試験・実習室	12/23(月)	2/17(月)	14:00～15:00	第3講義室	覚道教授
15	血液・移植	12/2(月)	15:30～16:30	試験・実習室	12/23(月)	2/17(月)	15:30～16:30	第3講義室	伊藤教授
16	リハビリテーション・地域包括医療	12/23(月)	14:00～15:00	試験・実習室	1/14(火)	2/19(水)	14:00～15:00	第3講義室	長谷教授
17	救急・中毒	12/23(月)	15:30～16:30	試験・実習室	1/14(火)	2/19(水)	15:30～16:30	第3講義室	鍬方教授
18	プレCBT総合試験	1/6(月)	10:00～11:30	試験・実習室	未定	2/28(金)	10:00～11:30	試験・実習室	—

※　上記以外にも試験が実施される場合があります。
※　変更が生じる場合は、掲示にて通知します。

令和6年度【4学年】試験日程

※令和6年4月1日現在(変更の可能性あり)

No	科目・コース	本試験			結果発表日（予定）	追・再試験			コース責任者／ユニットディレクター／サブユニットディレクター
		月日	時間	場所		月日	時間	場所	
1	麻酔・集中治療	4/19(金)	14:00～15:00	試験・実習室	5/10(金)	7/24(水)	14:00～15:00	第4講義室	上林教授
2	眼・視覚	5/22(水)	14:00～15:00	試験・実習室	6/12(水)	7/25(木)	14:00～15:00	第4講義室	
3	耳鼻咽喉・頭頸部外科	5/22(水)	15:30～16:30	試験・実習室	6/12(水)	7/25(木)	15:30～16:30	第4講義室	岩井教授
4	皮膚	6/13(木)	14:00～15:00	試験・実習室	7/4(木)	7/29(月)	14:00～15:00	第4講義室	谷崎教授
5	精神・行動	6/13(木)	15:30～16:30	試験・実習室	7/4(木)	7/29(月)	15:30～16:30	第4講義室	加藤教授
6	周産期・生殖器	7/22(月)	15:30～16:30	試験・実習室	8/19(月)	11/18(月)	14:00～15:00	第4講義室	岡田教授
7	小児の成長・発達	9/9(月)	15:30～16:30	試験・実習室	9/30(月)	11/22(金)	14:00～15:00	第4講義室	金子教授
8	全人的医療・行動科学	9/26(木)	15:30～16:30	試験・実習室	10/17(木)	11/19(火)	14:00～14:40	第4講義室	蓮尾教授
9	人間と社会　A4(1) [衛生・公衆衛生・社会医学]	7/5(金)	11:00～12:30	試験・実習室	7/26(金)	11/20(水)	11:00～12:30	第4講義室	甲田教授
10	人間と社会　A4(2) [法医学]	7/5(金)	15:40～16:50	試験・実習室	7/26(金)	11/20(水)	9:30～10:30	第4講義室	赤根教授
11	人間と社会　A4(3) [医療法学・医療経済学・医療倫理学]	7/5(金)	11:00～12:30	試験・実習室	7/28(金)	11/20(水)	11:00～12:30	第4講義室	甲田教授
12	CBT	10/1(火)	終日	試験・実習室	未定	11/13(水)	終日	試験・実習室	—
13	臨床実習前 OSCE	11/1(金)	終日	学生セミナー室他	未定	12/10(火)	別途指示	学生セミナー室他	—
		11/2(土)	終日	学生セミナー室他		12/11(水)			

■本試験以外の試験

No	科目	試験名	月日	時間	場所	備考	ユニットディレクター／サブユニットディレクター
14	人間と社会　A4(1)	中間試験	6/21(金)	9:00～10:00	試験・実習室	—	甲田教授

※　上記以外にも試験が実施される場合があります。

※　変更が生じる場合は、掲示にて通知します。

令和6年度　講義室・実習室年間使用予定表

場所＼月	1学期				2学期					3学期		
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
（枚方学舎1階）試験・実習室	［1・2・3・4学年］試験				［1・2・3・4学年］試験 ［5学年］中間試験 ［6学年］卒業試験		［4学年］共用試験 CBT ［6学年］卒業試験	［4学年］共用試験 CBT再試験 ［5学年］CC 総合試験	［6学年］卒業試験	［1・2・3学年］試験 ［3学年］プレCBT 総合試験	［3学年］プレCBT 再試験	
（枚方学舎1階）加多乃講堂	［1学年］健康科学講義				［6学年］まとめの講義	［1学年］健康科学講義						
（枚方学舎1階）第1講義室	［1学年］講義			［1学年］再試験	［1学年］再試験 ［1学年］講義	［1学年］理工P1			［1学年］再試験	［1学年］講義	［1学年］再試験	
（枚方学舎2階）第2講義室	［2学年］講義			［2学年］再試験	［2学年］再試験 ［2学年］講義				［2学年］再試験	［2学年］講義	［2学年］再試験	
（枚方学舎2階）第3講義室	［3学年］講義			［3学年］再試験	［3学年］講義				［3学年］再試験	［3学年］講義	［3学年］再試験	
（枚方学舎2階）第4講義室	［4学年］講義			［4学年］再試験	［4学年］講義				［4学年］再試験			
（枚方学舎1階）実習室ＩＡ	［2学年］生体 P2b(1),(2) ［1学年］生体P1a				［2学年］生体P2c	［1学年］理工P1		［2学年］生体P2d	［1学年］生体P1b			
（枚方学舎1階）実習室ＩＢ	［1学年］生体P1a				［2学年］生体	［1学年］理工P1		［2学年］生体P2d		［2学年］感染P2		
（枚方学舎2階）系統解剖実習室	［2学年］生体P2b(1),(2)											

（注）場所変更等がある場合は掲示する。

枚方学舎フロア構成図

	南棟	中央棟	北棟
13階			
12階		基礎社会系居室，実験室 （微生物学，医化学，iPS・幹細胞再生医学，衛生・公衆衛生学，生理学）	
11階		基礎社会系居室，実験室 （解剖学，iPS・幹細胞応用医学，法医学，神経機能部門，iPS・幹細胞研究支援センター） 附属光免疫医学研究所（所長室，腫瘍病理部門）	
10階		基礎社会系/臨床系居室，実験室 （病理学，薬理学，生体情報部門，モデル動物部門，分子遺伝学部門， がん生物学部門，次世代低侵襲外科治療学）	
9階		臨床系居室，研究実験室 （小児科学，形成外科学，麻酔科学，心療内科学，内科学第三，整形外科学， 内科学第一，呼吸器腫瘍内科学，心臓血管外科学，呼吸器外科学，放射線科学）	
8階		臨床系研究実験室 （内科学第二，脳神経外科学，産科学・婦人科学，腎泌尿器外科学，神経内科学，外科学， 皮膚科学，耳鼻咽喉科・頭頸部外科学，救急医学，眼科学，ゲノム解析部門，ゲノム編集部門）	附属生命医学研究所 （実験動物飼育共同施設， アイソトープ実験施設）
7階		臨床系居室 （腎泌尿器外科学，産科学・婦人科学，神経内科学，救急医学，放射線科学，内科学第三， 臨床研究支援センター，倫理審査センター，診療教授室，臨床検査医学科臨床検査医学センター）	
6階		臨床系居室 （小児科学，眼科学，皮膚科学，整形外科学，リハビリテーション医学， 心臓血管外科学，内科学第一，健康科学，研究教授・特命教授室，診療教授室）	附属生命医学研究所 （綜合研究施設，アイソトープ実験施設， 臨床綜合研究施設，侵襲反応制御部門） 病態分子イメージングセンター
5階		臨床系居室 （麻酔科学，心療内科学，形成外科学，脳神経外科学，耳鼻咽喉科・頭頸部外科学， 内科学第二，外科学）	
4階	屋上庭園 カフェテリア	自習室（国試対策室） 教育センター カンファレンスルーム，会議室	附属光免疫医学研究所 （基盤開発部門，免疫部門）
3階	学生食堂	シミュレーションセンター 学生セミナー室 図書館（書庫）	歴史資料室 附属図書館
2階	第2講義室 第3講義室 第4講義室	学生セミナー室，会議室 エントランスホール 教養系教室，共同研究室	解剖実習室
1階	加多乃講堂 第1講義室 試験・実習室	法人事務局（南） 法人事務局（北），オープンラウンジ学生談話室，学生自治会室 学生相談室，健康管理室	実習室1A 実習室1B
B1階		大学管理区域 大学管理区域	

EV　WC　EV　EV　WC　EV

学生用接遇マニュアル

本学では、1学年から態度人間性教育を積極的に行っていますが、病院での態度・振舞いについて患者さんから厳しい苦情が寄せられる場合があります。

学生諸君においては、医学生として身につけるべき品位・品格を堅持し、常に周囲から注視されていることを自覚しなければなりません。以下の事項を遵守してください。

１．服装・身だしなみ(次頁イラスト参照)

１．　服装

ア．　清潔なものを着用し、大学指定の臨床実習用白衣で実習に臨むこと。

イ．　学年別に帯色で識別された名札を必ず着用する。

ウ．　実習は、大学指定の靴を着用すること(クロックス（医療用含む）は禁止)。

エ．　スニーカーソックスは着用しない(外来着座時に不適)。

オ．　手・足にミサンガ類はつけない。

２．　身だしなみ

（１）髪型

ア．　医学部生として派手でなく、清潔であること。

イ．　肩より長い髪は後ろで束ねるか上に上げる。髪は肩にかからない。

ウ．　リボンや派手な髪留めはしない。

エ．　男性のあごヒゲ・無精ヒゲは禁止。前髪・横髪は目・顔にかからない。

オ．　極端な茶髪(病棟にあるカラーNo.7 まで可、8 以上は不可)、脱色は不可。

（２）爪

ア．　いつも短く、清潔にしておく。

イ．　付け爪、マニキュア、ネイルアートはしない。

（３）装飾品

ア．　ピアス、イヤリング、ネックレス、ブレスレット、指輪、ミサンガはつけない。

（４）その他

ア．　派手な化粧、香りの強い香水・化粧品は禁止。

イ．　カーディガンの着用は実習場所への移動、休憩時間のみとし、実習中は着用しない(白衣下の長袖のアンダーシャツは外に出さない)。

２．病院施設内での言動等の注意

病院は患者さん中心の施設であり、以下の言動等は慎むこと。

ア．　大声で話すこと、笑いながら手を打つこと、通路一杯に広がって歩くこと。

イ．　病状など患者さんの個人情報を話題にすること(特にエレベーター内)。

ウ．　歩きながら飲食物(コーヒーなど)を口にすること。

エ．　白衣のままで院内及び院外の飲食店を利用すること(職員・学生食堂は可)。

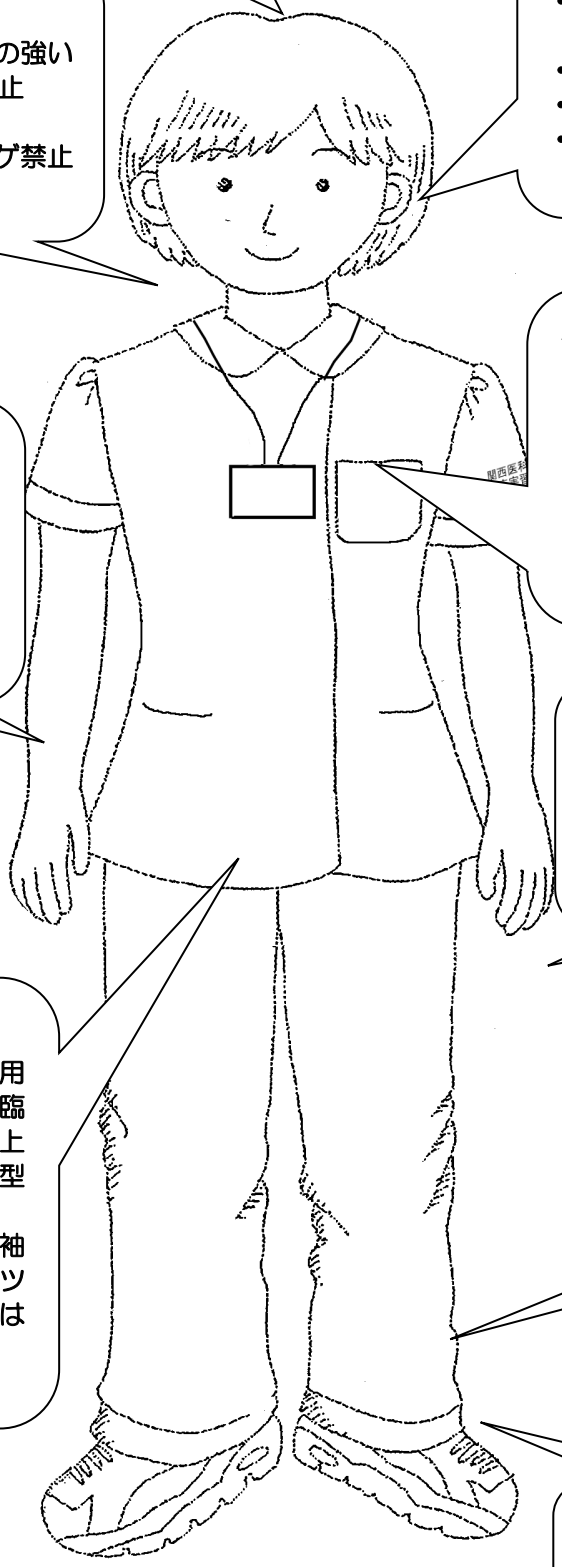
オ．　許可された場所以外で携帯電話やスマートフォンを利用すること。

サービス・マナー
- あいさつはコミュニケーションの第一歩（自ら行う）
- 実習中の私語禁止
- 大口をあけてあくびは禁止

頭髪
- リボンや派手な髪留めをしない
- 極端な茶髪、脱色は不可
- 肩にかからない
- 前髪・横髪は目・顔にかからない

メイク
- 派手な化粧、香りの強い化粧品・香水は禁止

男性
- あごヒゲ・無精ヒゲ禁止



名札・所持品
- 学年別に帯色で識別された名札を必ず着用する（ケースに入れて胸元に下げる）
- Student Doctor として、実習参加中は、CCR（クリニカル・クラークシップ・レコード）を常に携帯する

装飾品
- ピアス、イヤリング、ネックレス、ブレスレット、指輪はつけない（見えなくても不可）
- 結婚指輪も不可

手
- 爪はいつも短く、清潔にしておく
- 付け爪、マニキュア、ネイルアートはしない
- ミサンガ類はつけない

実習着
- 指定の臨床実習用白衣着用。冬期は臨床実習用白衣の上からのみコート型白衣着用可
- カーディガン・長袖のアンダーシャツは実習中の着用は不可
- 定期的な洗濯

足元
- スニーカーソックスは着用しない
- ミサンガ類はつけない

シューズ
- 白色（大学指定の靴）
- クロックス（医療用含む）は禁止

３．対　応

１．　挨拶(あいさつ３箇条)
①自分から、②明るい表情で、③大きな声でハキハキと。

２．　応対
（１）電話(最初の挨拶は明るい声で)
ア．　うける時は、学年、臨床実習生を名乗り、用件の最後に自分の名前を伝える。
イ．　かける時は、学年、臨床実習生、名前を名乗る。

（２）ナースステーション
ア．　ナースステーション内でも周囲に気を配る(高笑い不可)。
イ．　誰に対しても、気持ちの良い笑顔で挨拶(会釈)をする。
ウ．　相手に分かりやすい言葉で話しかける。正しい日本語の使用を心がける。
エ．　実習中の私語はしない。
オ．　退出時、院内の物品を持ち出さない。

３．　患者さんへの接し方、話し方(言葉遣い３箇条)
①丁寧に、②分かりやすくはっきりと、③正しい敬語で
ア．　丁寧な言葉遣いをする。例えば「医学生です」「診させていただきます」「お話をおうかがいします」など
イ．　医行為で失敗したり、事故があった時、あるいは患者さん、家族が怒りだした時など事態が変化した時、必ず指導医ないし近くの医師に報告する。

４．　クッション言葉(相手に柔らかい印象を与える)
ア．「ありがとうございました」
イ．「おそれいります」
ウ．「お手数をおかけしました」
エ．「失礼しました」
オ．「申しわけありません」
カ．「お待たせしました」
キ．「お疲れ様でした」

４．環　境

１．　患者のプライバシーへの配慮(指導医と共に)

ア．　検査結果の説明・病状説明・病名告知など、患者さんのプライバシーに関わる話し合いは、面談室あるいはカンファレンスルームなどプライバシーが配慮できる部屋で行う。

イ．　医師の診察や処置を行う際は、外部から見えないようにカーテンでベッド周囲を覆う。

ウ．　廊下側から病室が見えないように、病室のドアを閉める。また、その必要性について患者さんに説明する。

２．　騒音について

（１）話し声

ア．　実習中は私語を慎む。

イ．　団体行動時に大声や高笑いをあげない。手を叩かない。特に外来診察室・ナースステーション・休憩室・廊下・エレベーター内などでは細心の注意を。

（２）足音(入院中の患者さんにとって最も気障りなことです)

ア．　白い靴でサイズの合ったものを履く。

イ．　パタパタと足音をたてないように歩く。

ウ．　廊下は走らない。

３．　備品・設備について

ア．　使用した物品は、所定の位置に戻し整理整頓を行う。

イ．　院内設備で故障や破損があった場合は、指導医に報告し対処する。

（平成 29 年 12 月 12 日教授会承認）

個人身だしなみチェックリスト

氏名（　　）

		チェック内容　　／　　日付	／	／	／	／	／	／	／	／	／	／	／
1	頭髪	医学部生として派手でなく、清潔であること。											
2		リボンや派手な髪留めをしない。											
3		極端な茶髪、脱色は不可。											
4		髪は肩にかからない（肩より長い髪は後ろで束ねるか上に上げる）。											
5		前髪・横髪は目・顔にかからない。											
6	メイク・装飾品	派手な化粧、香りの強い香水・化粧品は禁止。											
7		男性のあごヒゲ、無精ヒゲは禁止。											
8		爪はいつも短く、清潔であること。											
9		付け爪、マニキュア、ネイルアートはしない。											
10		ネックレス・ピアス・イヤリング・ブレスレット・指輪はつけない（見えなくても不可）。											
11		手・足にミサンガ類をつけない。											
12	服装	大学指定の臨床実習用白衣を着用する。											
13		定期的に洗濯した清潔な実習着を着用する。											
14		カーディガン・長袖のアンダーシャツは実習場所への移動、休憩時間のみ。											
15		スニーカーソックスは着用しない。											
16	名札	学年別に帯色で識別された名札を着用する（ケースに入れて胸元に下げる）。											
17	シューズ	大学指定の靴を着用すること（クロックス（医療用含む）は禁止）。											
18	携帯電話	携帯電話やスマートフォンは許可された場所以外で使用しない。											
19	所持品	Student Doctorとして、実習参加中は、CCR（クリニカル・クラークシップ・レコード）を常に携帯する。											
		点検者											

※お互いチェックし合いましょう

※評価方法　　〇できている

　　×できていない

備考

附属図書館本館利用案内

開館時間

〔通常開館〕　平日：9:00～21:00　　第 1・3・5 土曜日：9:00～18:00

〔休日開館〕　日曜日・祝日・第 2・4 土曜日・年末年始：9:00～18:00

※ 開館時間の変更や臨時休館については別途図書館のウェブサイト等でお知らせします。

図書館への入退館

入館・退館には学生証が必要です。

学生証を忘れた場合はカウンターで入館の手続きを行ってください。

貸出・返却

貸出・返却の手続きは、カウンターもしくは自動貸出返却装置で行い学生証が必要となります。

貸出できるのは、図書、雑誌、視聴覚資料、合わせて 5 点までです。

希望する資料が他の人に貸出中の場合には予約を入れることができます。

図書については、返却期限内で、かつ、他の人の予約が入っていない場合のみ貸出期間の延長が 2 回までできます。

閉館時の返却は入口横の返却ポストに投函してください。（ただし、視聴覚資料については、カウンターまでお持ちください。）

複写（図書館資料のコピー）

プリペイドカード式のコピー・プリンター複合機(カラー/モノクロ)を設置しています。

利用できるのは閉館時刻の 10 分前までです。

複合機は図書館資料の複写・印刷のために設置しています。著作権法に定められた範囲での利用をお願いします。コピー利用の際は、備え付けのコピー使用申込書に必要事項を記入してください。

※ コピーカード(プリペイドカード)は 1 階の経理課か館内の自動販売機で購入できます。

経理課での取扱時間：平日 9:00～17:00　第 1・3・5 土曜日 9:00～12:50

自動販売機では 100 度数のカード(1000 円)のみを販売しています。千円札のみの取扱となります。

なお両替･領収書の発行には応じられません。

文献情報検索

館内の PC で電子ジャーナル・電子ブックを利用できます。

館内の複合機で検索結果を印刷する場合はコピーカードが必要です。

電子ジャーナル利用上の注意

次の事項はどの出版社においても、おおむね禁止されています。

・雑誌一号分にわたるような大量のデータを短時間に一括してダウンロードすること
・複製、再配布すること
・個人の学術研究、教育目的以外で利用すること
・許可なくデータを翻訳、編集、変更すること

違反すると、法人全体の電子ジャーナル利用が停止される恐れがありますので、
利用に際しましては、くれぐれもご注意ください。

休日開館日（無人開館）について

扉は施錠されていますので、入口横のカード読み取り装置に各自学生証をかざして解錠してください。

貸出・返却の手続きは、自動貸出返却装置で行ってください。

視聴覚資料の閲覧･貸出はできません。

図書館利用に際しての注意事項

■ 館内は禁煙および飲食禁止です。ただし完全に蓋ができる飲み物については持込ならびに飲用を認めています。
■ 携帯電話での通話は禁止しています。
■ 他の利用者の迷惑にならないよう静粛に努めてください。
■ 図書館への入退館の際は、一人ずつ学生証をゲートでかざし、扉が開いてから通行してください。
■ 図書館の利用は必ず本人の学生証で行ってください。他人の学生証で図書館を利用することは違反行為に当たります。また、自分の学生証を使わず他の人と一緒に入ることも違反行為です。これら違反行為は処分の対象となります。
■ 他人の学生証で入退館した場合、学生証を貸した人と借りた人の両方が処分の対象となります。
■ 資料の無断持ち出しに関しても罰則を設けています。必ず貸出手続きを済ませてから退館してください。うっかりでも回数を重ねると処分の対象となります。

▼ 入退館に関する違反の罰則
　　1ヶ月間の図書館利用停止
▼ 無断持ち出しの罰則
　　2回目：1週間の貸出停止
　　3回目：1ヶ月間の貸出停止

悪質な場合や罰則が度重なった場合は、学生部（学生委員会等）で審議され処分の対象となります。

図書館利用の詳細については学生ハンドブックをご覧ください。